
武蔵村山市第五次長期総合計画後期基本計画
策定に向けたアンケート調査

報 告 書

令和 7 年 1 月
武蔵村山市

目 次

第1章 市民意識調査	1
第1編 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数	1
3. 調査票の配布・回収方法及び調査の実施時期	1
4. 調査結果の概要について	1
第2編 市民意識調査結果	7
1. あなた（回答者）自身について	7
問1 性別（単一回答形式）	7
問2 年齢（単一回答形式）	7
問3 武蔵村山市内での居住年数（単一回答形式）	8
問4 お住まいの地区（単一回答形式）	8
問5 お住まい（単一回答形式）	10
問6 婚姻状況（単一回答形式）	12
問7 一緒にお住まいの方（複数回答形式）	14
問8 職業（単一回答形式）	16
問8-2 職場（通学地）（単一回答形式）	16
問8-3 職場（通学地）への主な交通手段（単一回答形式）	18
問8-4 最寄駅までの交通手段（単一回答形式）	20
問8-5 希望する働き方（単一回答形式）	21
問9 配偶者・パートナーの職業（単一回答形式）	21
2. 武蔵村山市に住んで感じたこと	22
問10 住みやすさ（単一回答形式）	22
問11 住み続けたいか（単一回答形式）	24
問11-2 住み続けたい理由（複数回答形式）	26
問11-3 転居したい理由（複数回答形式）	28
3. 市の取組に対する評価と今後への期待について	30
問12 武蔵村山市での生活を通しての満足度および充実希望度（単一回答形式）	30
問12-2 問12の（1）から（46）までのうち、優先して取り組むべき施策 （それぞれ単一回答形式）	44
4. 武蔵村山市のまちづくりの施策について	47
問13 地域の課題は地域の人々が互いに協力して解決すべきか（単一回答形式）	47
問14 地域の課題解決のために、何か関わりを持ちたいか（単一回答形式）	49
問15 地域の自治会に加入しているか（単一回答形式）	51
問15-2 地域の自治会に加入していない理由（複数回答形式）	52
問16 市政に関する情報の入手方法（複数回答形式）	54
問17 市が発信する情報の満足度（それぞれ単一回答形式）	55
問18 市が活用する情報媒体について、どの程度満足しているか（それぞれ単一回答形式）	56
問19 健康診断を受けているか（単一回答形式）	57
問20 市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思うか（単一回答形式）	59
問20-2 市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていない理由 （複数回答形式）	61
問21 市内に病院や診療所等の医療機関が身近に整っていると思うか（単一回答形式）	62

問 22	武蔵村山市は、安心して子育てしやすいまちだと思うか（単一回答形式）	64
問 23	安心して子育てを行うために市がすべきこと（複数回答形式）	66
問 24	少子化対策としてどのような支援や体制づくりをする必要があるか（複数回答形式）	70
問 25	武蔵村山市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思うか（単一回答形式）	72
問 26	高齢社会に向けてどのような施策が重要だと思うか（複数回答形式）	74
問 27	障害のある人の自立を支援するために市がすべきこと（複数回答形式）	76
問 28	消費者支援のために行政としてすべきこと（複数回答形式）	80
問 29	防災の準備をしているか（単一回答形式）	82
問 29-2	防災の準備として行っていること（複数回答形式）	83
問 30	災害に備えて地域（自治会等）がすべきこと（複数回答形式）	86
問 31	どのような土地利用に力を入れてほしいと思うか（複数回答形式）	88
問 32	どのような都市基盤整備を推進すべきか（複数回答形式）	90
問 33	多摩都市モノレールを利用しているか（単一回答形式）	94
問 34	多摩都市モノレールが市内まで延伸した場合の利用方法（単一回答形式）	96
問 35	通勤・通学以外で利用する施設や場所への移動時間（それぞれ単一回答形式）	98
問 35-2	通勤・通学以外で利用する施設や場所への移動手段（単一回答形式）	104
問 36	自分や家族の人権が尊重されていると思うか（単一回答形式）	111
問 36-2	人権が尊重されていると思わない理由（複数回答形式）	113
問 37	女性が結婚や出産後も働き続けるために何が必要か（複数回答形式）	114
問 38-1	育児や介護を行うために利用した制度（育児休業）（単数回答形式）	118
問 38-2	育児や介護を行うために利用した制度（子の看護休暇）（単数回答形式）	120
問 38-3	育児や介護を行うために利用した制度（介護休業）（単数回答形式）	122
問 38-4	育児や介護を行うために利用した制度（介護休暇）（単数回答形式）	124
問 39	子どもたちの教育を充実させるために市がすべきこと（複数回答形式）	126
問 40	生涯学習を充実させるために市がすべきこと（複数回答形式）	130
問 41	「SDGs」という言葉を知っているか（単一回答形式）	134
問 41-2	SDGs 目標達成のために、日常生活や職場・学校等で取り組んでいること （単一回答形式）	136
問 41-3	SDGs 目標達成のための具体的な取組について教えてください。 （自由回答形式）	138
問 42	市の産業振興として重要だと思うもの（複数回答形式）	143
問 43	武蔵村山市の観光資源といえば何をイメージするか（複数回答形式）	146
問 44	住んでいる地区は、自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていると思うか （単数回答形式）	148
問 44-2	自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていないと思う理由（複数回答形式）	150
問 45	よりよい環境づくりのために、今後、市がすべきこと（複数回答形式）	151
問 46	過去1年間に各種手続きや相談で武蔵村山市役所を訪れたか（単一回答形式）	154
問 46-2	市職員の対応等について、どのように感じているか（それぞれ単一回答形式）	156
問 47	今後、民間事業者等に窓口業務を委託することについてどう思うか（単数回答形式）	158
問 48	公共施設に関する今後の方向性について、どう思うか（それぞれ単数回答形式）	160
問 49	インターネットを活用した行政サービスについて充実すべきこと（複数回答形式）	162
問 50	武蔵村山市のデジタル化について期待すること（複数回答形式）	164
問 51	どの社会情勢を重視して行政運営を行うべきか（複数回答形式）	166
問 52①	歳出と行政サービス水準についてどのように取り組むべきか（単数回答形式）	168

問 52② 福祉に関するサービス水準についてどのように取り組むべきか（単数回答形式）	172
問 52③ 道路や公共施設などの整備水準についてどのように取り組むべきか （単数回答形式）	174
問 52④ 公共施設の使用料とサービス水準についてどのように取り組むべきか （単数回答形式）	176
問 53 今後、近隣自治体と連携し、どのような事業を行うべきだと思うか（複数回答形式）	178
問 54 市政運営やまちづくりに対する意見や要望（自由回答形式）	180
第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）	195
第1編 調査の概要	195
1. 調査目的	195
2. 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数	195
3. 調査票の配布・回収方法及び調査の実施時期	195
4. 調査結果の概要について	195
第2編 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）結果	197
1. あなた（回答者）自身について	197
問 1 性別（単一回答形式）	197
問 2 年齢（単一回答形式）	197
問 3 同居者の属性（複数回答形式）	198
問 4 職業（単一回答形式）	199
問 5 勤務先、通学先（単一回答形式）	200
問 6 お住まいの地域（単一回答形式）	202
問 7 武蔵村山市の転入前のお住まい（住居）（単一回答形式）	203
問 8 武蔵村山市への転入後のお住まい（住居）（単一回答形式）	204
問 9 武蔵村山市への転入前の住所（単一回答形式）	206
問 10 武蔵村山市への転入以前に、武蔵村山市にお住まいの経験（単一回答形式）	207
問 10-2 過去に武蔵村山市にお住まいだった際の年齢（単一回答形式）	207
問 10-3 過去に武蔵村山市から引っ越しをした理由（単一回答形式）	208
2. 武蔵村山市への転入理由、市の住みやすさ	210
問 11 武蔵村山市へ引っ越しをした理由（単一回答形式）	210
問 12 引っ越し先を選択する際、武蔵村山市を意識して選んだか（単一回答形式）	212
問 12-2 武蔵村山市を選択した理由（複数回答形式）	213
問 13 引っ越し先を選択する際、候補に挙がった自治体（複数回答形式）	216
問 14 将来的に武蔵村山市に住み続けたいか（単一回答形式）	218
問 15 将来、武蔵村山市から転出することになった場合に考えられる理由 （最も大きな理由1つを回答）	219
問 16 武蔵村山市にお住まいになって、以下の各項目に対してどのように思っていたか （それぞれ単一回答形式）	222
問 17 武蔵村山市に住んで感じていること（自由回答形式）	224
第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）	231
第1編 調査の概要	231
1. 調査目的	231
2. 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数	231
3. 調査票の配布・回収方法及び調査の実施時期	231
4. 調査結果の概要について	231
第2編 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）結果	233

1. あなた（回答者）自身について.....	233
問1 性別（単一回答形式）	233
問2 年齢（単一回答形式）	233
問3 同居者の属性（複数回答形式）	234
問4 職業（単一回答形式）	235
問5 勤務先、通学先（単一回答形式）	236
問6 お住まいだった地域（単一回答形式）	238
問7 武蔵村山市からの転出前のお住まい（住居）（単一回答形式）	239
問8 武蔵村山市からの転出後のお住まい（住居）（単一回答形式）	239
問9 武蔵村山市からの転出先の住所（単一回答形式）	240
2. 武蔵村山市からの転出理由、市の住みやすさ	241
問10 武蔵村山市から引っ越しをした理由（単一回答形式）	241
問11 引っ越し先を選択する際、武蔵村山市でもお住まいをさがしたか（単一回答形式）	243
問11-2 武蔵村山市からの転出先を選択する際、候補に挙がった自治体（複数回答形式）	244
問12 お住まいの自治体を選択した理由（複数回答形式）	245
問13 現在お住まいの自治体のよい点（複数回答形式）	248
問14 武蔵村山市にお住まいになっていたとき、以下の各項目に対して、どのように思っ ていたか（それぞれ単一回答形式）	251
問15 武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいと思うか（複数回答形式）	253
問16 武蔵村山市に住んでいた頃感じていたこと（自由回答形式）	256
第4章 子ども意見の聴取	261
第1編 調査の概要	261
1. 調査目的	261
2. 調査対象及び回収数	261
3. 調査票の配布・回収方法及び調査の実施時期	261
第2編 子ども意見の聴取結果	262
1. あなた（回答者）自身について.....	262
問1 学年（単一回答形式）	262
問2 性別（単一回答形式）	262
問3 学校について（単一回答形式）	263
問4 武蔵村山市へのイメージ（自由回答形式）	264
問5 武蔵村山市の好きな点（複数回答形式）	267
問6 武蔵村山市の改善してほしい点（複数回答形式）	268
問7 将来も武蔵村山市に住みたいか（単一回答形式）	269
問8 武蔵村山市にどのようなまちになってほしいか（自由回答形式）	271
問9 武蔵村山市に対しての自由な意見（自由回答形式）	274
巻末資料 各調査の調査票・調査項目	277
資料① 市民意識調査票	277
資料② 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）調査票	300
資料③ 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）調査票	305
資料④ 子ども意見の聴取 調査項目	310

報告書の見方

- ・比率は全て百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- ・基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- ・本文中の「単一回答形式」、「複数回答形式」、「自由回答形式」は以下の略称となります。
 - 単一回答形式: 選択肢の中から1つを選択
 - 複数回答形式: 選択肢の中から複数を選択
 - 自由回答形式: 文字や数値を回答欄に記述
- ・図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていないものです。

第1章 市民意識調査

第1編 調査の概要

1. 調査目的

武蔵村山市第五次長期総合計画後期基本計画策定に当たり、市民の皆様のニーズを的確に捉える必要があるため、市民の皆様の日常生活について「意識」と「行動」の両面から捉え、それらを踏まえて、よりよい計画づくりを行うことを目的として実施しました。

2. 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数

調査名	概要	抽出数	回収数 (回収率)
市民意識調査	令和6年5月の時点で市内にお住まいの18歳以上の方々2,000名を無作為に抽出	2,000	384 (19.2%)

3. 調査票の配布・回収方法及び調査の実施時期

- ①調査票の配布・回収方法：郵送による配布・郵送又はWebを通じての回収
 ②調査実施時期：令和6年5月28日（火）～6月19日（水）

4. 調査結果の概要について

（1）調査について

○対象者数2,000人、有効回収384件、有効回収率19.2%（前回調査（平成30年度）22.5%）である。

※以下、平成30年8月に実施した前回調査については、「前回調査」又は「前回」と表記している。

（2）武蔵村山市に住んで感じたこと

○住みやすさは、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」が59.4%であり、前回調査の56.7%より2.7ポイント増加している。

○住み続けたいか否かは、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」が58.6%であり、前回調査の62.7%より4.1ポイント減少している。

○住み続けたい理由は、「家や土地を持っているから」が最多で67.1%、次いで、「緑が多く、自然環境がよいから」が23.6%、「生活の利便性（交通・買物）がよいから」が17.8%となっている。

（3）市の取組に対する評価と今後への期待について

○今後重点的に取り組むべき施策（満足度が低く、充実希望度が高いもの）は、「医療」や「防災」、

第1章 市民意識調査

「道路の整備」、「公共交通の整備※多摩都市モノレール・市内循環バス等」、「農業」、「水と緑」等が挙げられる。

○市の取組に対する満足度は、「伝統文化・文化財の保護・活用」、「芸術・文化の振興」等が高い。

○市の取組に対する今後の充実希望度は「職員の資質向上」、「行政運営の推進 ※市民サービスの向上等」等が高い。

(4) 武蔵村山市のまちづくりの施策について

(4) - 1 市民との協働による地域振興

コミュニティ

○地域の課題解決のために、何か関わりを持ちたいか否かについては、「できる範囲で関わりたいと思っている」が最多で 35.7%、次いで、「思っているが、忙しくて関わることができない」が 26.6%、「思わない」が 19.5%となっている。

○一方で地域の自治会への加入状況を見ると、「加入していない」が最多で 69.0%、次いで、「加入している」が 17.2%、「わからない」が 11.5%となっている。前回調査（平成 30 年度）では「加入している」が 32.0%であり、14.8 ポイント減少している。

○地域の自治会に加入していない理由については、「自治会に関心がない」、「仕事や子育てなどで忙しく時間がない」、「いずれ役員等を務めることになり面倒である」等の意見が多く見られる。

パートナーシップ

○市政に関する情報の入手方法は、「市報」が最多で 76.8%となっている。前回調査（平成 30 年度）では 84.9%であり、8.1 ポイント減少している。次いで、「ホームページ」が 27.3%となっている。前回調査（平成 30 年度）では 22.2%であり、5.1 ポイント増加している。また、「フェイスブック・X（旧ツイッター）などの SNS」が 5.5%となっている。前回調査（平成 30 年度）では 3.3%であり、2.2 ポイント増加している。

○市が発信する情報への満足度（「満足している」+「ほぼ満足している」）は、以下のとおり。

・道路・公共交通（モノレール・バス等）に関する情報	43.5%
・防災、防犯対策に関する情報	48.7%
・子育てに関する情報	45.1%
・高齢者向け情報	39.1%
・生涯学習に関する情報	37.8%
・情報全体（市報・ホームページ・SNS等）	53.4%

(4) - 2 健康で明るく暮らせるまちづくり

健康・医療

○健康診断を受けているかは、「職場（学校）の健康診断を受けている」が 54.4%、「市が行っている特定健康診査を受けている」が 19.5%など、受けている割合は 79.4%となっている。前回調査（平成 30 年度）では 80.8%であり、1.4 ポイント減少している。

○市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思うかは、「そう思う」が 3.1%、「どちらかといえばそう思う」が 18.2%、合わせて 21.3%である。前回調査（平成 30 年度）では、24.6%であり、3.3 ポイント減少している。施設が整っていると思わない理由は、「施設が遠い、又は交

通が不便だから」が最多で 50.7%、次いで、「自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから」が 31.4%、「施設についての情報提供が少ないから」が 30.7%となっている。

○医療機関が身近に整っていると思うかは、「どちらかといえばそう思う」が最多で 44.8%、次いで、「どちらかといえばそう思わない」が 19.5%、「そう思う」が 17.7%となっている。

福祉

○武蔵村山市は、安心して子育てしやすいまちだと思うかは、「そう思う」が 9.1%、「どちらかといえばそう思う」が 39.1%、合わせて 48.2%となっている。前回調査（平成 30 年度）では 44.0%であり、4.2 ポイント増加している。

○安心して子育てを行うために市がすべきことは、「公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保」が最多で 37.2%、次いで、「子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」が 33.9%、「児童館・学童クラブなど、子育て支援サービスの充実」が 18.5%となっている。

○少子化対策としてどのような支援や体制づくりをする必要があるかは、「経済的支援措置（保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等）」が最多で 53.1%、次いで、「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」が 24.7%、「仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援」が 23.4%となっている。

○武蔵村山市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思うかは、「そう思う」が 8.3%、「どちらかといえばそう思う」が 34.9%、合わせて 43.2%となっている。前回調査（平成 30 年度）では 34.4%であり、8.8 ポイント増加している。

○高齢社会に向けてどのような施策が重要だと思うかは、「高齢者に配慮した交通機関や施設、道路・歩道の整備」が最多で 47.9%、次いで、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が 22.1%、「高齢者に対する医療制度の充実」が 21.1%となっている。

○障害のある人の自立を支援するために市がすべきことは、「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が最多で 47.4%、次いで、「障害者の雇用・就業機会の確保」が 36.2%、「職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実」が 23.4%となっている。

暮らし

○消費者支援のために行政としてすべきことは、「市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実」が最多で 50.3%、次いで、「商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化」が 38.3%、「ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供」が 17.4%となっている。

（４）－３ 安全で快適なまちづくり

安全・安心

○防災の準備をしているかは、「準備をしている」が 49.2%、「特に準備はしていない」が 46.6%となっている。前回調査（平成 30 年度）では「準備をしている」が 50.9%であり、準備をしている割合が 1.7 ポイント減少している。防災の準備として行っていることは、「水や食料の備蓄」が最多で 85.7%、次いで、「非常用持ち出し用品の確保」が 63.0%、「家具などの転倒防止」が 46.0%となっている。

第1章 市民意識調査

○災害に備えて地域（自治会等）がすべきことは、「避難経路や避難場所の確認及び周知」が最多で 60.7%、次いで、「災害時の活動体制の強化」が 37.2%、「地域内の危険個所の把握及び周知」が 34.6%となっている。

都市基盤

○どのような土地利用に力を入れてほしいと思うかは、「店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業」が最多で 51.0%、次いで、「緑豊かな緑地の保全」が 47.7%、「生産緑地地区などの農地の保全」が 19.0%となっている。

○どのような都市基盤整備を推進すべきかについては、「モノレールの早期延伸」が最多で 63.5%、次いで、「バス路線の増加・充実」が 38.8%、「自転車が走行しやすい空間の整備」が 32.6%となっている。

○現在のモノレールについては、「利用していない」（44.0%）と「無回答」（2.6%）を除いた何らかの形で「利用している」人は 53.4%となっている。前回調査（平成 30 年度）では 65.6%であり、12.2 ポイント減少している。

○モノレールが市内まで延伸した場合の利用方法は、「遊びやレジャー施設へ行くために利用する」が最多で 29.7%、次いで、「通勤・通学に利用する」が 19.5%、「買物等に利用する」が 18.0%となっている。

○移動手段では、身近な商店への移動手段でも「自動車」が多くなっているなど、自動車への依存が高くなっている。

（４）－４ 誰もが学び活躍できるまちづくり

人権・平和

○自分や家族の人権が尊重されていると思うかは、「そう思う」が 32.6%、「どちらかといえばそう思う」が 31.5%、合わせて 64.1%となっている。前回調査（平成 30 年度）では 67.1%であり、3.0 ポイント減少している。

○人権が尊重されていると思わない理由は、「その他の差別」が最多で 26.7%、次いで、「障害者への差別」が 20.0%、「思想・信条に基づく差別」が 20.0%となっている。

男女共同参画

○女性が結婚や出産後も働き続けるために何が必要かについては、「保育施設や学童クラブの充実」が最多で 57.6%、次いで、「短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透」が 56.8%、「職場の上司や同僚の理解や協力」が 49.7%となっている。

○育児休業・介護休業等を利用したことが「ある」のは、「育児休業」で 13.6%、「子の看護休暇」で 13.2%、「介護休業」で 3.0%、「介護休暇」で 4.5%となっている。

教育

○子どもたちの教育を充実させるために市がすべきことは、「子どもたちの基礎的な学力の向上」が最多で 47.1%、次いで、「子どもたちの体力・健康の向上」が 28.6%、「いじめ対策の強化」が 25.8%となっている。

○生涯学習を充実させるために市がすべきことは、「学習するための施設の充実」が最多で 38.3%、

次いで、「学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する」が 32.8%、「講座や教室の内容の充実」が 29.9%となっている。

SDGs

- 「SDGs」という言葉を知っているかは、「言葉も知っており、内容も知っていた」が最多で 65.1%、次いで、「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」が 21.4%、「知らなかった」が 9.6%となっている。
- SDGs 目標達成のために、日常生活や職場・学校等で取り組んでいることは、「特に何もしていない」が最多で 52.0%、次いで、「日常生活の中で気づいたことがあれば取り組んでいる」が 34.4%、「職場や学校等で具体的な活動に取り組んでいる」が 10.8%となっている。

(4)－5 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり

産業

- 市の産業振興として重要だと思うものは、「特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興」が最多で 28.9%、次いで、「地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること」が 25.0%、「消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興」が 21.6%となっている。
- 武蔵村山市の観光資源といえば何をイメージするかは、「村山デエダラまつり」が最多で 49.0%、次いで、「野山北公園・あそびの森・冒険の森」が 46.9%、「村山温泉かたくりの湯」が 40.9%となっている。

景観

- 住んでいる地区は、自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていると思うかは、「そう思う」が 8.3%、「どちらかといえばそう思う」が 36.7%、合わせて 45.0%となっている。前回調査（平成 30 年度）では 37.8%であり、7.2 ポイント増加している。
- 自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていないと思う理由は、「水辺に親しめる公園が少ない」が最多で 46.2%、次いで、「緑に親しめる公園が少ない」が 41.5%、「電線・電柱が多い」が 36.9%となっている。

環境

- よりよい環境づくりのために、今後、市がすべきことは、「公園や緑地など身近な緑の保全」が最多で 33.6%、次いで、「美しい街並みの保全整備」が 26.0%、「地球温暖化対策の推進」が 20.6%となっている。

(4)－6 計画の推進に向けて

行政運営

- 過去 1 年間に各種手続きや相談で武蔵村山市役所を訪れたかは、「はい」が 65.6%、「いいえ」が 29.9%となっている。前回調査（平成 30 年度）では、「はい」が 65.6%であり、前回と比較して同ポイントとなっている。
- 市職員の対応等について、どのように感じているかについて、「満足している」と「どちらかといえば満足」を合算したとき、「職員の説明」が最多で 68.3%、次いで、「職員の対応」が 67.9%、

第1章 市民意識調査

「待ち合いスペースの広さ」が61.9%となっている。

- 今後、民間事業者等に窓口業務を委託することについてどう思うかは、「経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい」が最多で27.6%、次いで、「経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい」が24.7%、「わからない」が21.6%となっている。
- 公共施設に関する今後の方向性について、どう思うかは、「現状維持」が全体的に高い割合になっている。「拡充すべき」では、『児童館』『学童クラブ』『温泉施設』の割合が3割以上と高くなっている。
- インターネットを活用した行政サービスについて充実すべきことは、「証明書発行の申請」が最多で57.6%、次いで、「医療・福祉サービスの申請」が51.0%、「公共施設の予約」が45.8%となっている。
- 武蔵村山市のデジタル化について期待することは、「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」が最多で63.3%、次いで、「市役所の手続きで記入の必要な書類が減る」が46.9%、「使用料・手数料の支払いをキャッシュレスでできる」が31.3%となっている。
- どの社会情勢を重視して行政運営を行うべきかについては、「安心して生活できる環境の実現」が最多で56.3%、次いで、「少子高齢化と人口減少の更なる進行」が52.9%、「経済の低迷と雇用環境の悪化」が30.7%となっている。

財政運営

- 歳出と行政サービス水準についてどのように取り組むべきかについては、「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき」が最多で39.6%、次いで、「わからない」が31.0%、「次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき」が15.1%となっている。
- 福祉に関するサービス水準についてどのように取り組むべきかについては、「福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が最多で30.5%、次いで、「わからない」が30.2%、「福祉のための経費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき」が29.4%となっている。
- 道路や公共施設などの整備水準についてどのように取り組むべきかについては、「道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が最多で41.1%、次いで、「道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき」が26.6%、「わからない」が21.6%となっている。
- 公共施設の使用料とサービス水準についてどのように取り組むべきかについては、「公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない」が最多で49.7%、次いで、「公共施設の使用料は、サービス水準を多少下げてでも、上げるべきではない」が23.2%、「わからない」が18.5%となっている。

広域行政

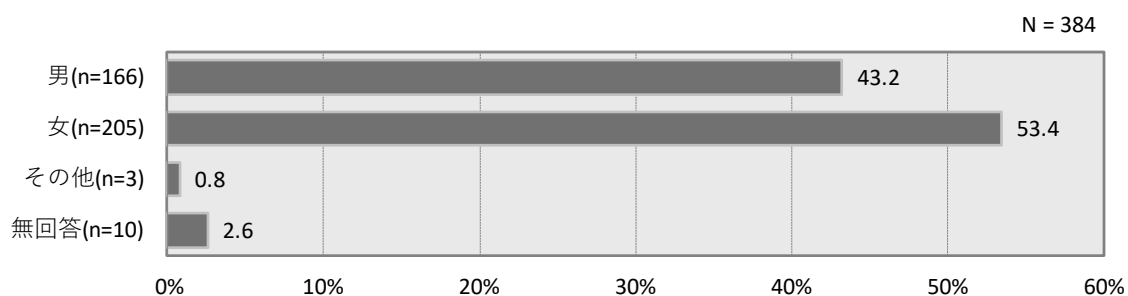
- 今後、近隣自治体と連携し、どのような事業を行うべきだと思うかについては、「コミュニティバスの連携」が最多で34.1%、次いで、「福祉サービスの相互利用」が22.1%、「狭山丘陵などの観光資源の活用」が19.8%となっている。

第2編 市民意識調査結果

1. あなた（回答者）自身について

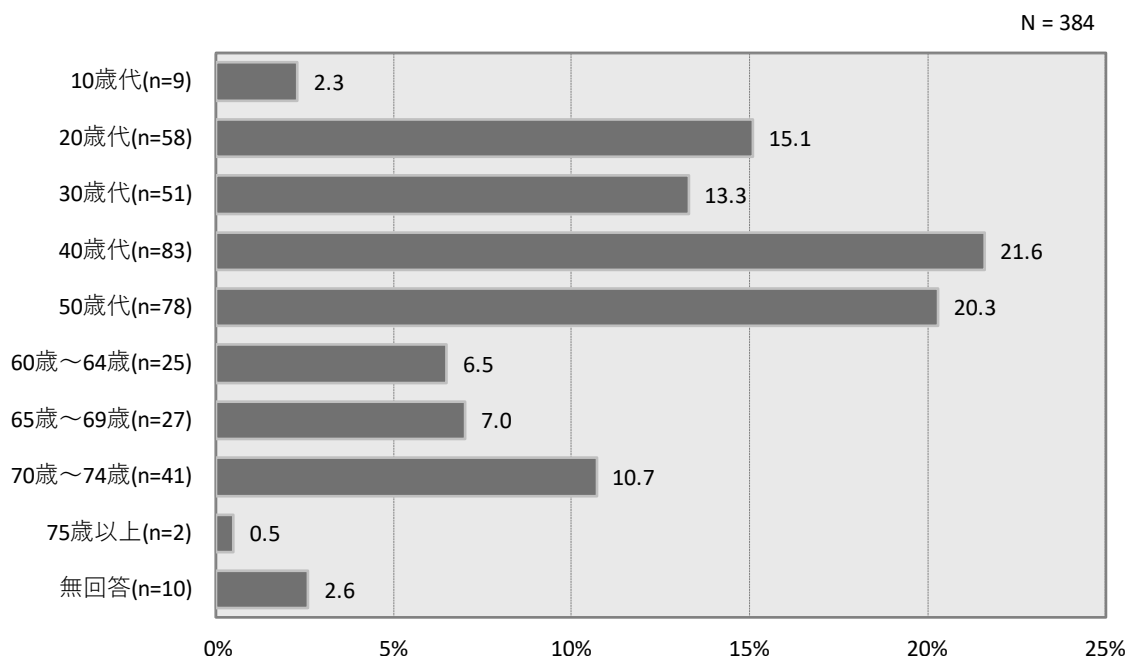
問1 性別（単一回答形式）

●「男」が43.2%、「女」が53.4%となっています。



問2 年齢（単一回答形式）

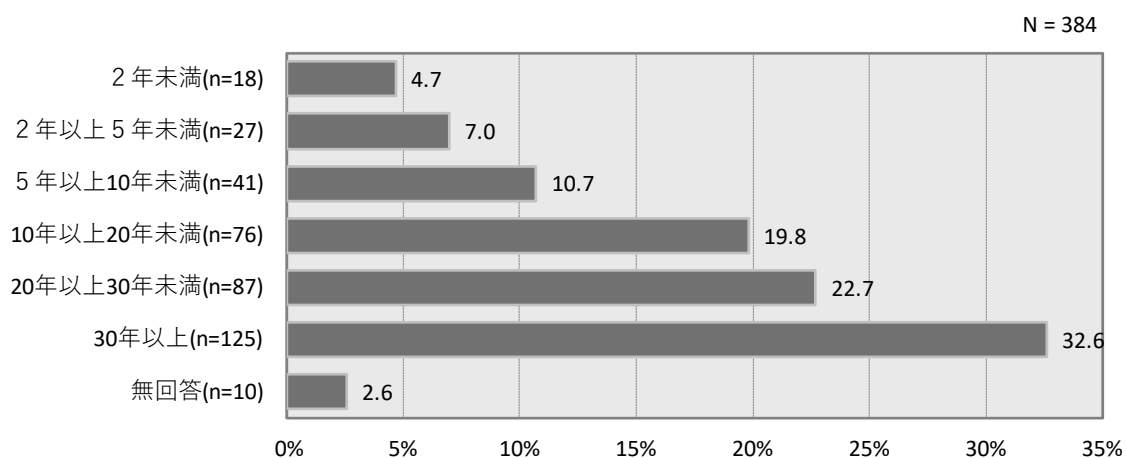
●「40 歳代」が最多で 21.6%、次いで、「50 歳代」が 20.3%、「20 歳代」が 15.1%となっています。



第1章 市民意識調査

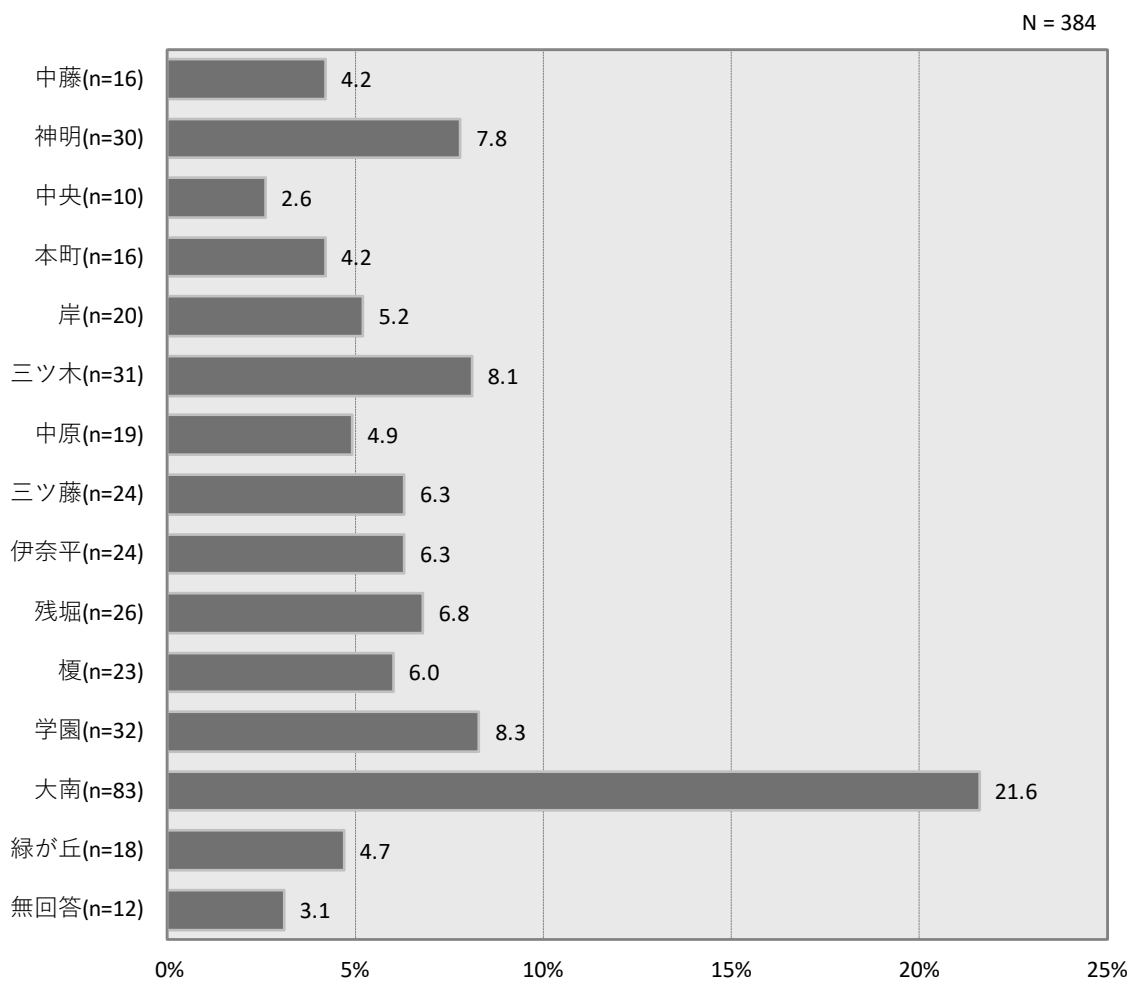
問3 武蔵村山市内での居住年数（単一回答形式）

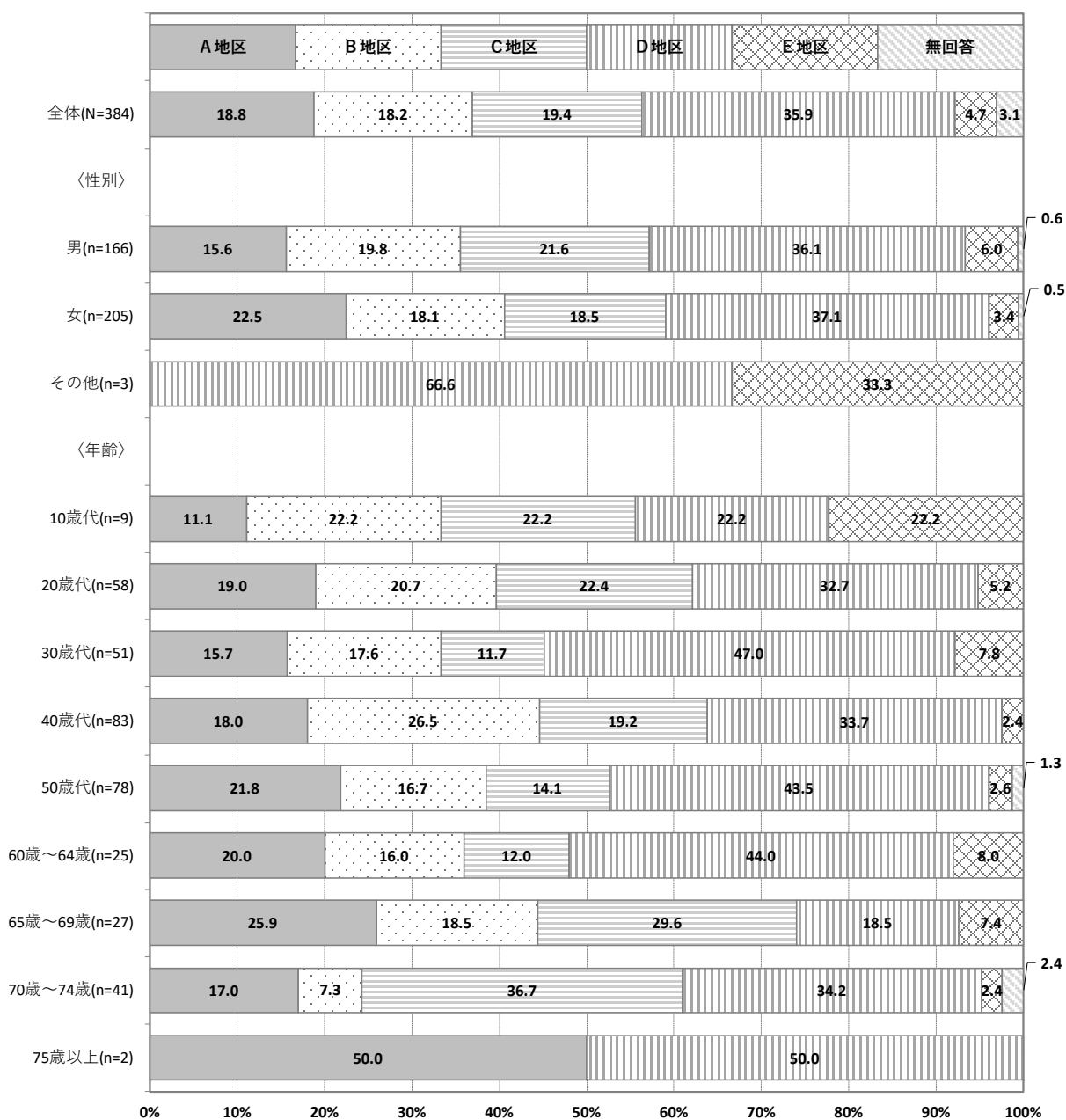
- 「30年以上」が最多で32.6%、次いで、「20年以上30年未満」が22.7%、「10年以上20年未満」が19.8%となっています。



問4 お住まいの地区（単一回答形式）

- 「大南」が最多で21.6%、次いで、「学園」が8.3%、「三ツ木」が8.1%となっています。





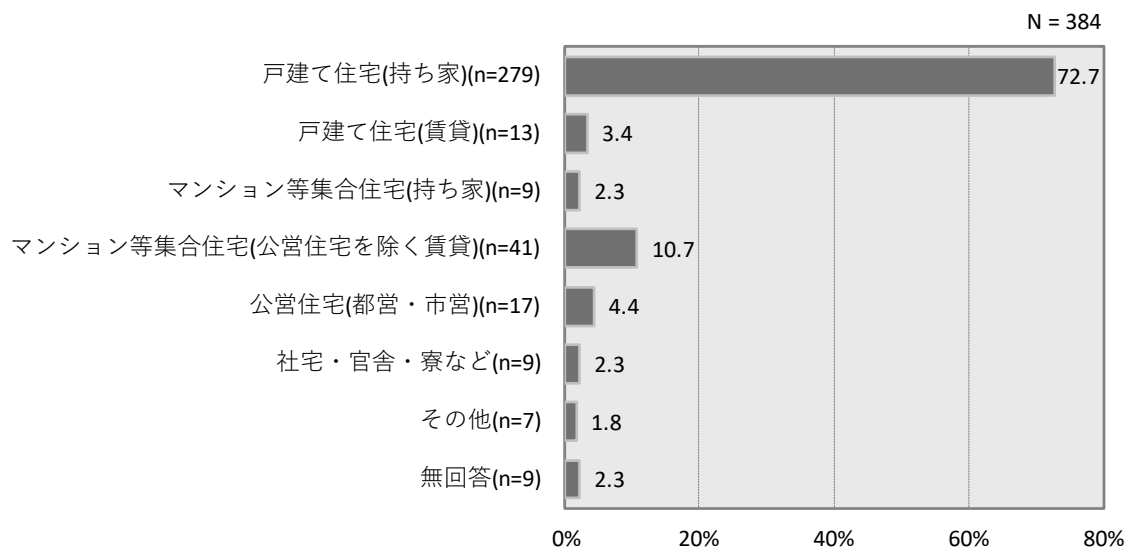
【凡例】

A地区：中藤、神明、中央、本町
 B地区：岸、三ツ木、中原
 C地区：三ツ藤、伊奈平、残堀
 D地区：榎、学園、大南
 E地区：緑が丘

第1章 市民意識調査

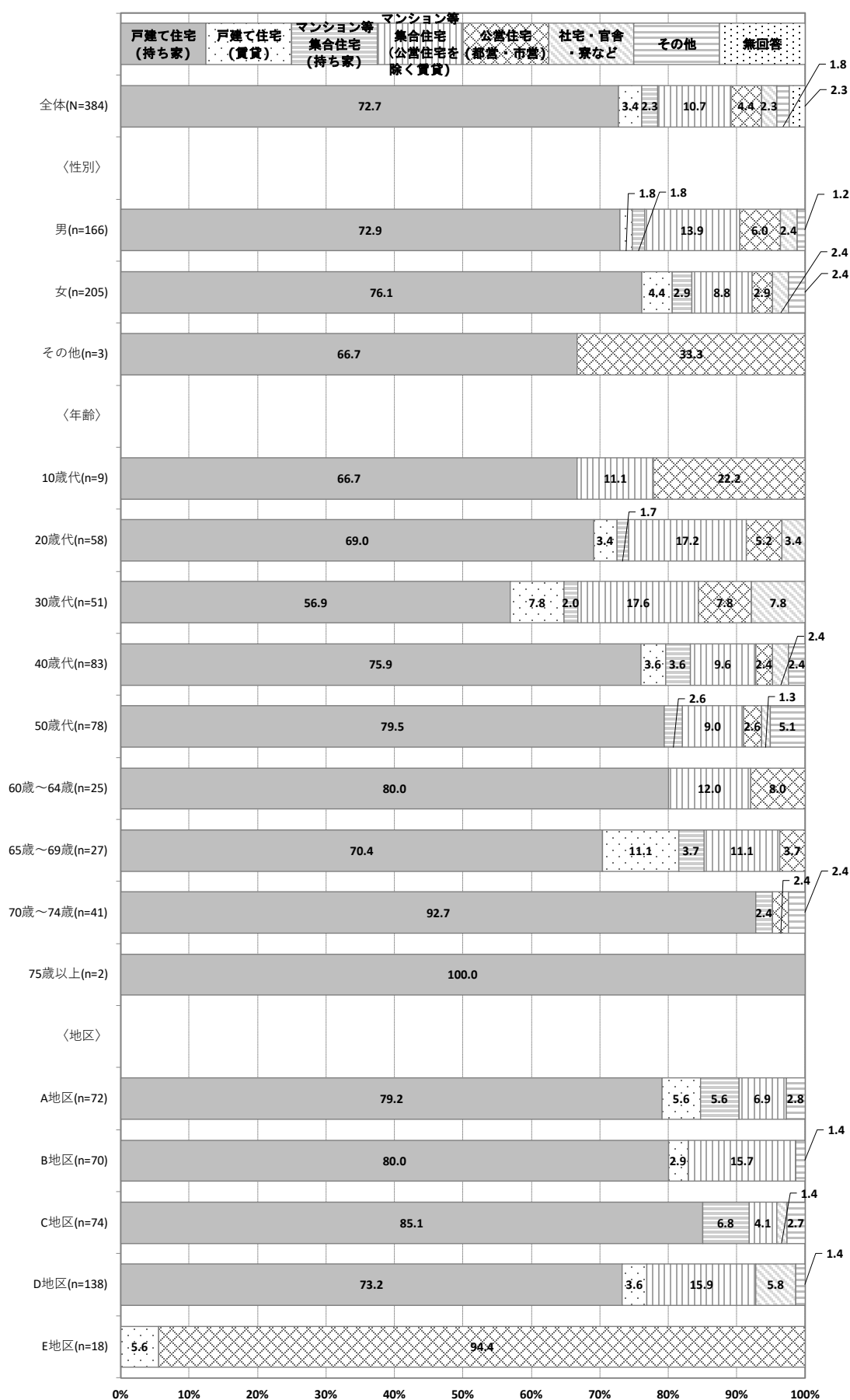
問5 お住まい（単一回答形式）

- 「戸建て住宅(持ち家)」が最多で 72.7%、次いで、「マンション等集合住宅(公営住宅を除く賃貸)」が 10.7%、「公営住宅(都営・市営)」が 4.4%となっています。



〈その他の回答〉

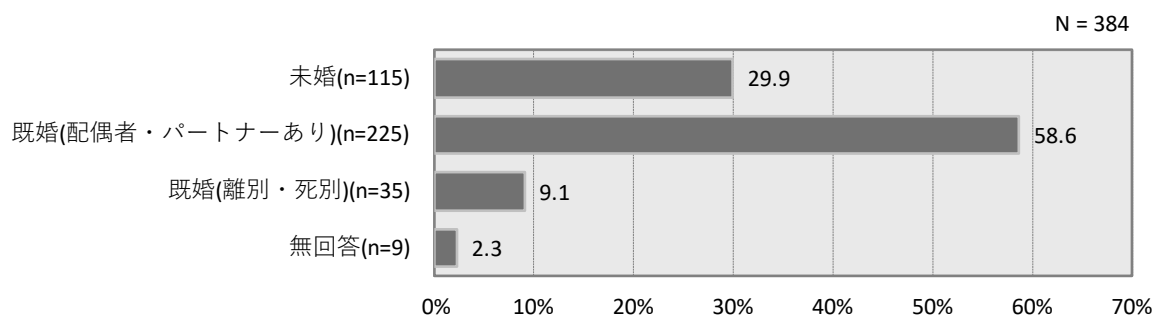
- ・ グループホーム
- ・ アパート
- ・ 障がい者支援施設
- ・ 家族の家に同居

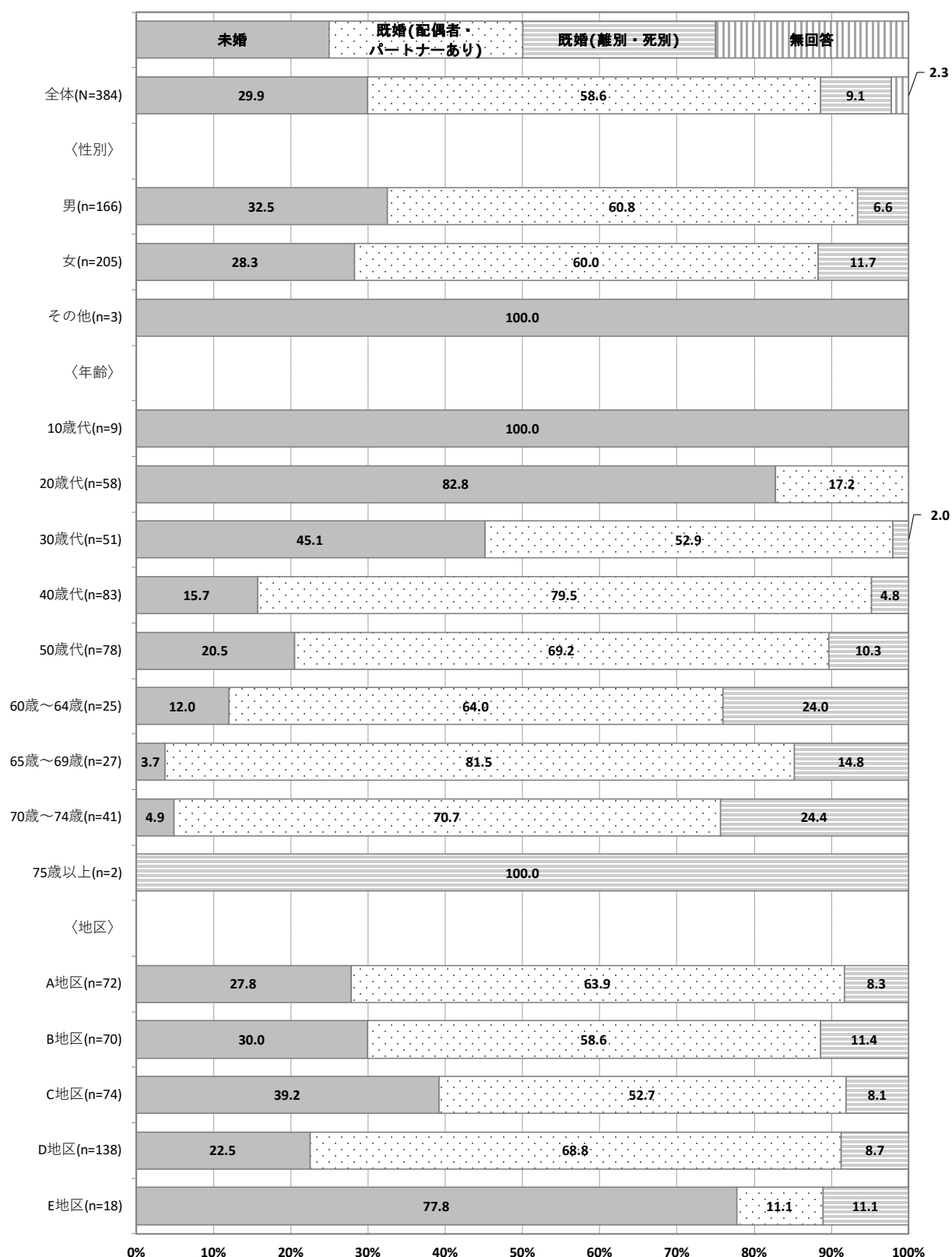


第1章 市民意識調査

問6 婚姻状況（単一回答形式）

- 「既婚（配偶者・パートナーあり）」が最多で 58.6%、次いで、「未婚」が 29.9%、「既婚（離別・死別）」が 9.1%となっています。

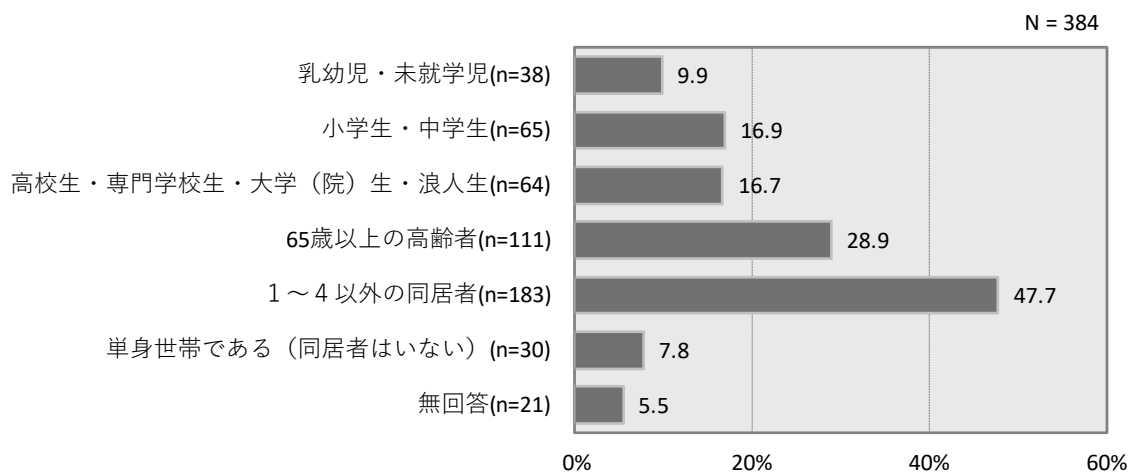




第1章 市民意識調査

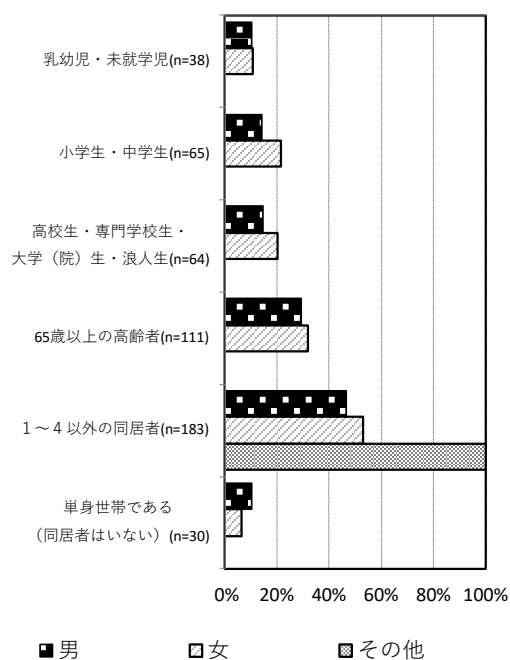
問7 一緒にお住まいの方（複数回答形式）

- 「1～4以外の同居者」が最多で47.7%、次いで、「65歳以上の高齢者」が28.9%、「小学生・中学生」が16.9%となっています。

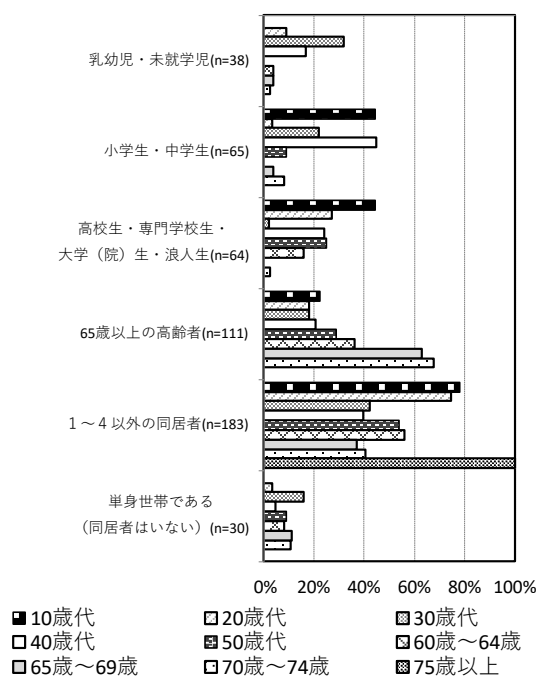


※「1～4以外の同居者」の「1～4」は「乳幼児・未就学児」、「小学生・中学生」、「高校生・専門学生・大学（院）生・浪人生」、「65歳以上の高齢者」を指す。

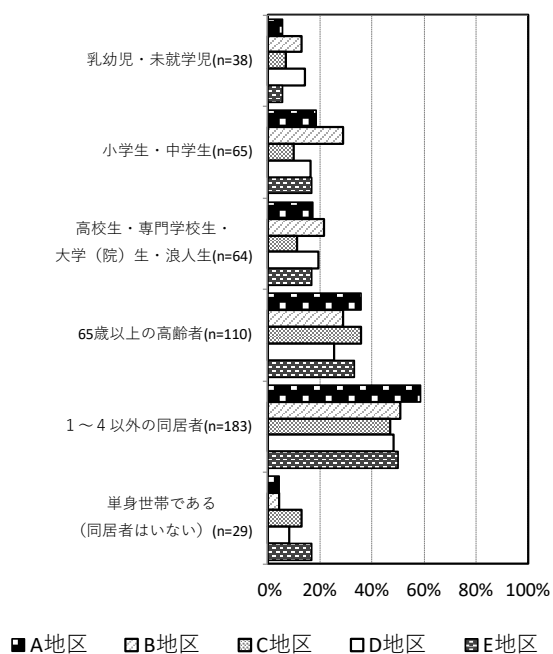
<性別>



<年齢別>



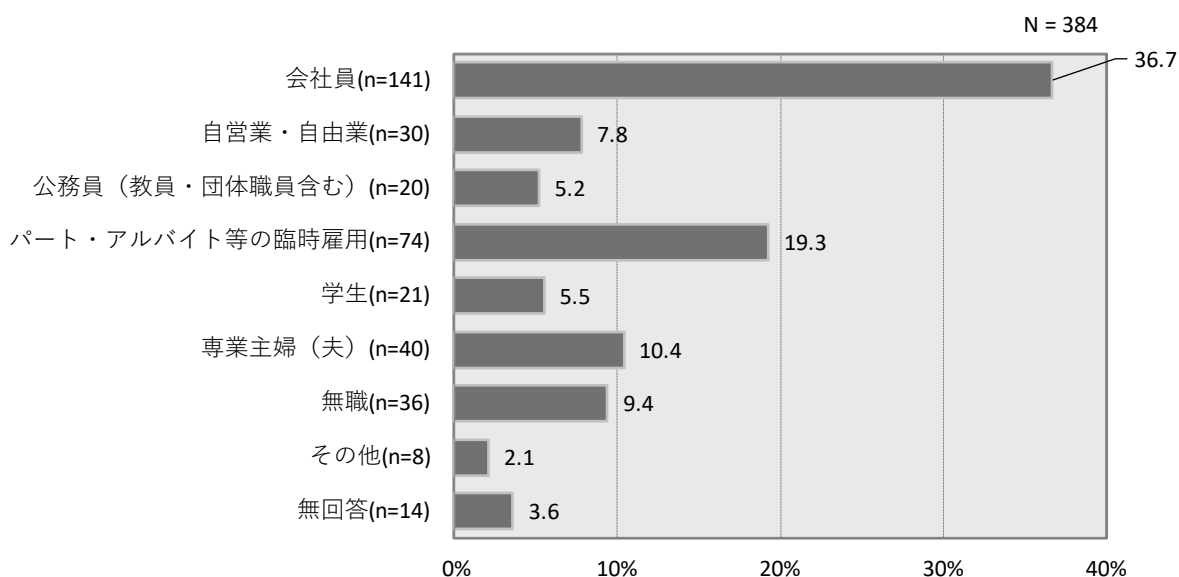
<地区別>



第1章 市民意識調査

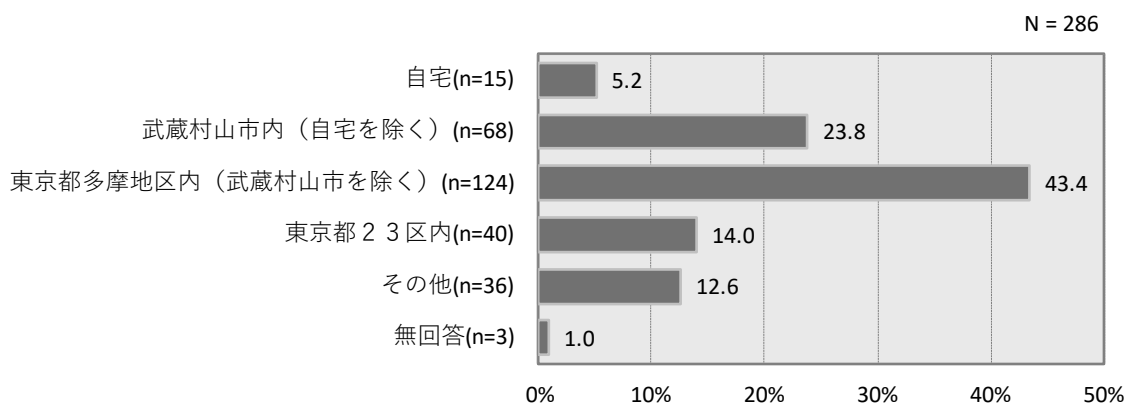
問8 職業（単一回答形式）

- 「会社員」が最多で36.7%、次いで、「パート・アルバイト等の臨時雇用」が19.3%、「専業主婦（夫）」が10.4%となっています。



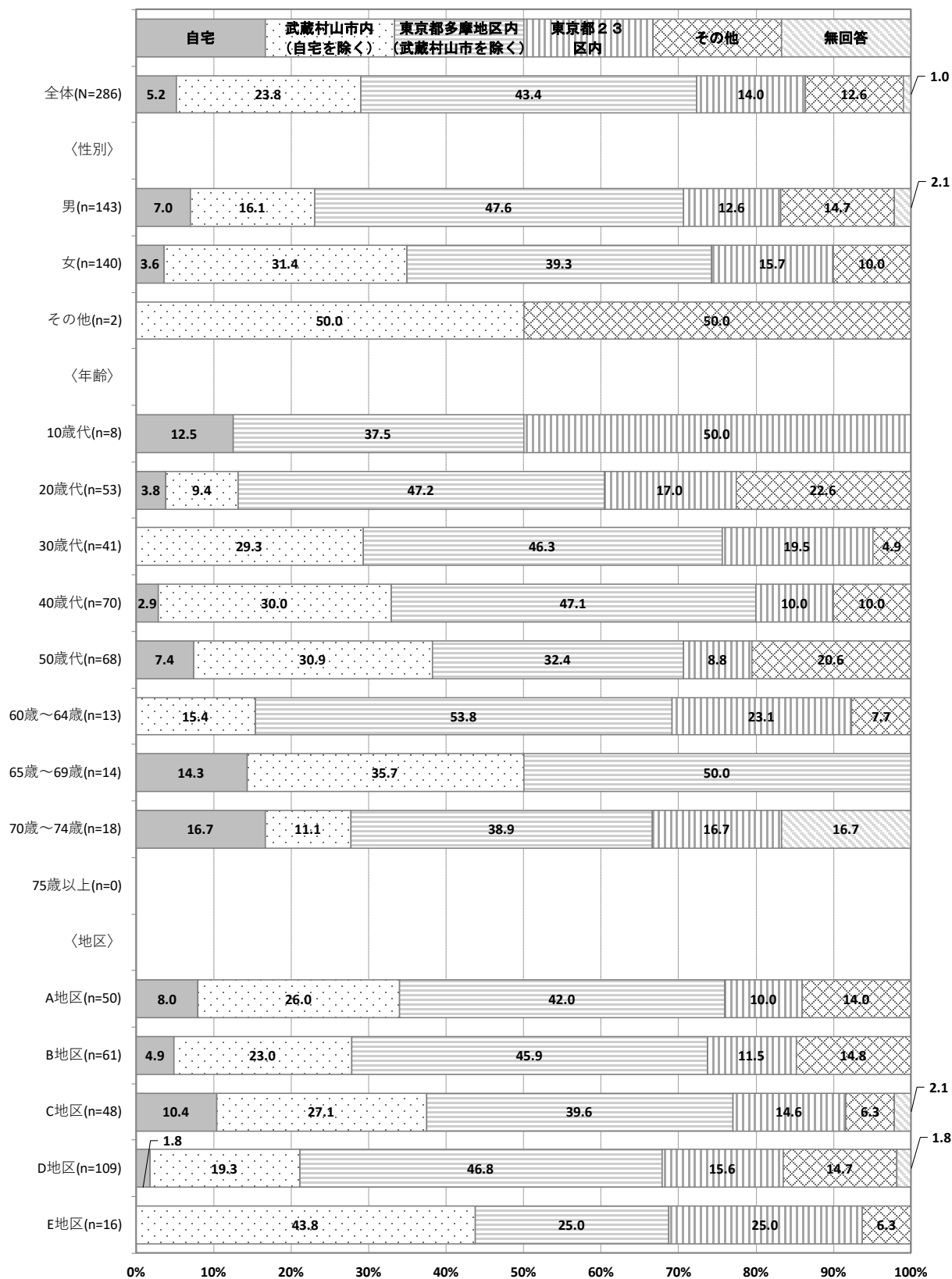
問8-2 職場（通学地）（単一回答形式）

- 【「問8」で、「会社員」「自営業・自由業」「公務員（教員・団体職員含む）」「パート・アルバイト等の臨時雇用」「学生」の場合のみ回答】
- 「東京都多摩地区内（武蔵村山市を除く）」が最多で43.4%、次いで、「武蔵村山市内（自宅を除く）」が23.8%、「東京都23区内」が14.0%となっています。



〈その他の回答〉

- ・ 神奈川県
- ・ 埼玉県
- ・ 千葉県
- ・ 県外に単身赴任
- ・ 長期出張
- ・ 海外在住

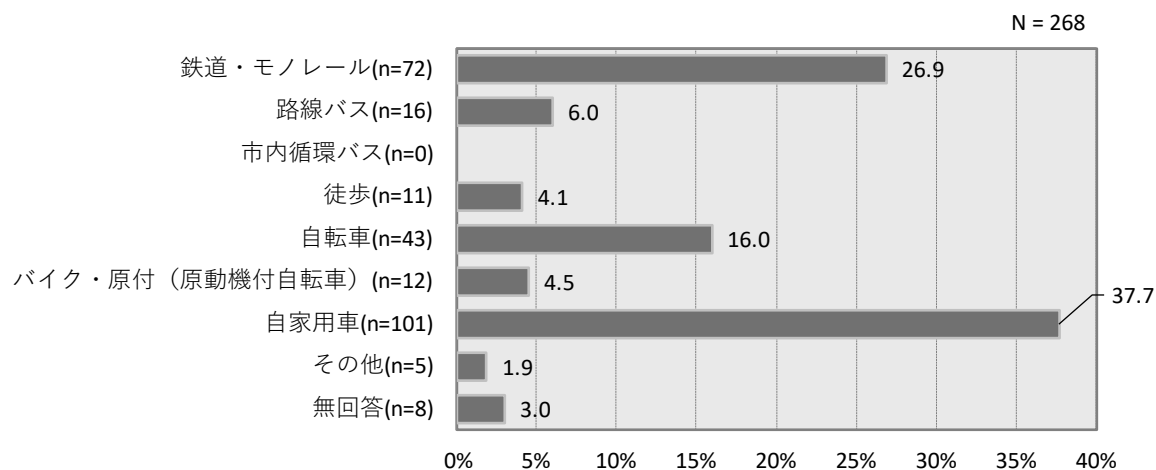


第1章 市民意識調査

問8-3 職場（通学地）への主な交通手段（単一回答形式）

【「問8-2」で、「武蔵村山市内（自宅を除く）」「東京都多摩地区内（武蔵村山市を除く）」「東京都23区内」「その他」の場合のみ回答】

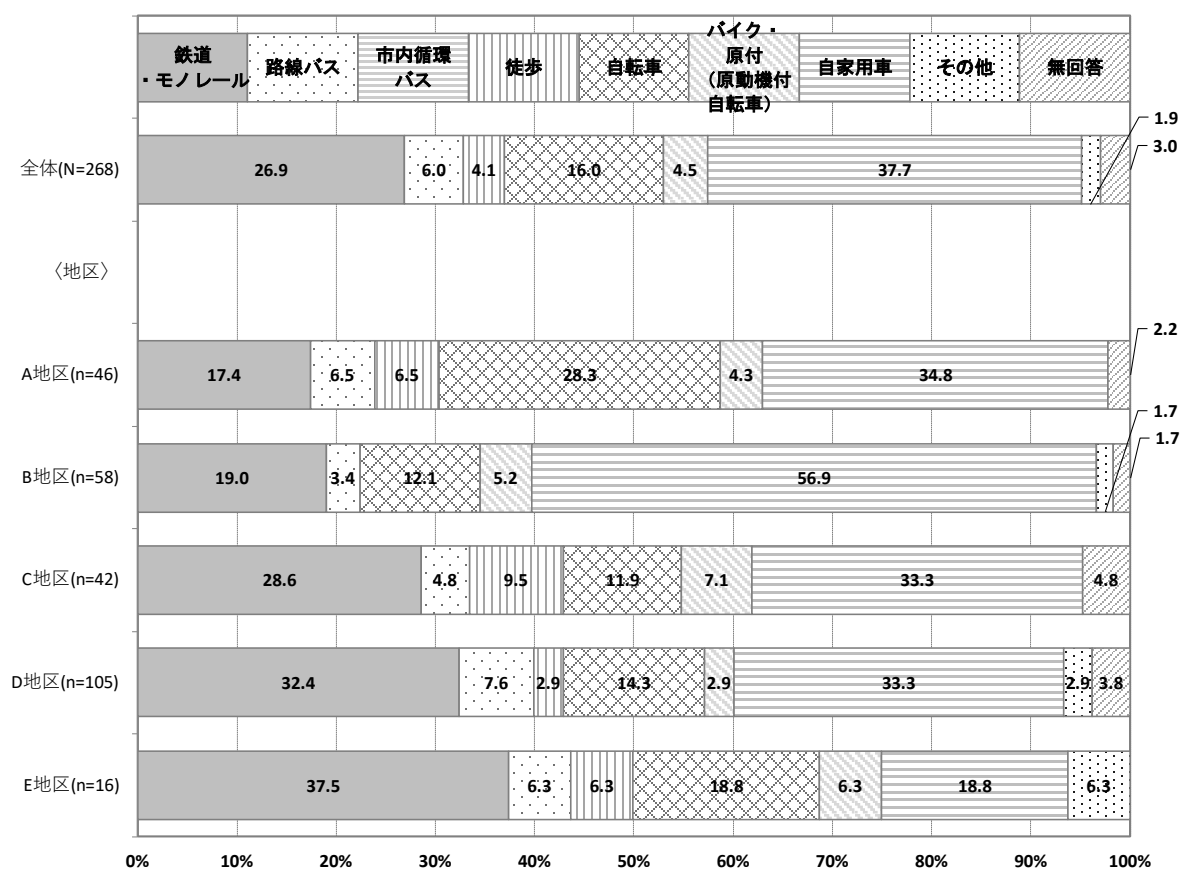
●「自家用車」が最多で37.7%、次いで、「鉄道・モノレール」が26.9%、「自転車」が16.0%となっています。



〈その他の回答〉

- ・ バス、電車
- ・ 鉄道、自転車

<地区別>

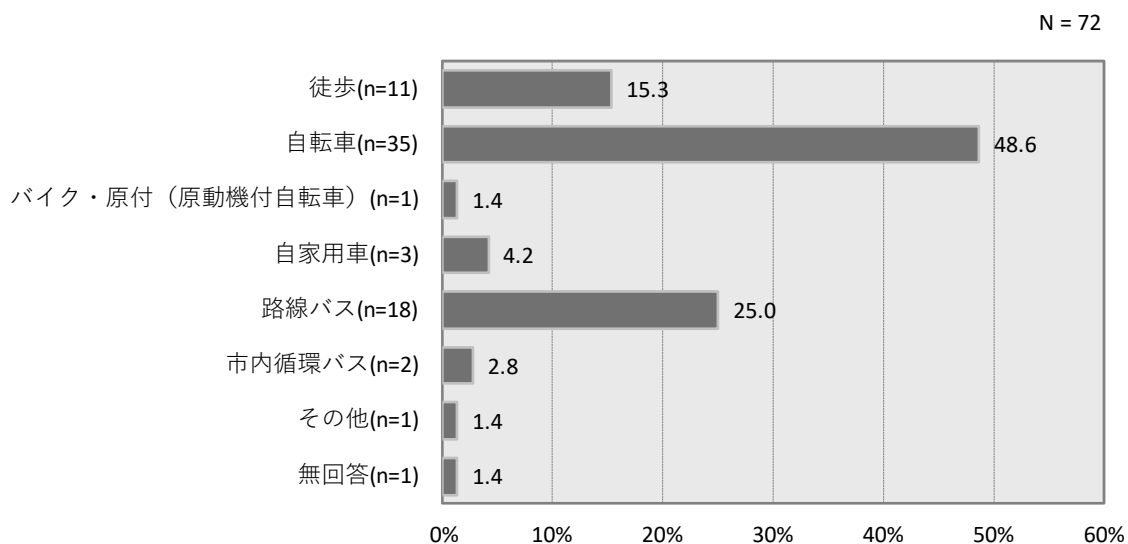


第1章 市民意識調査

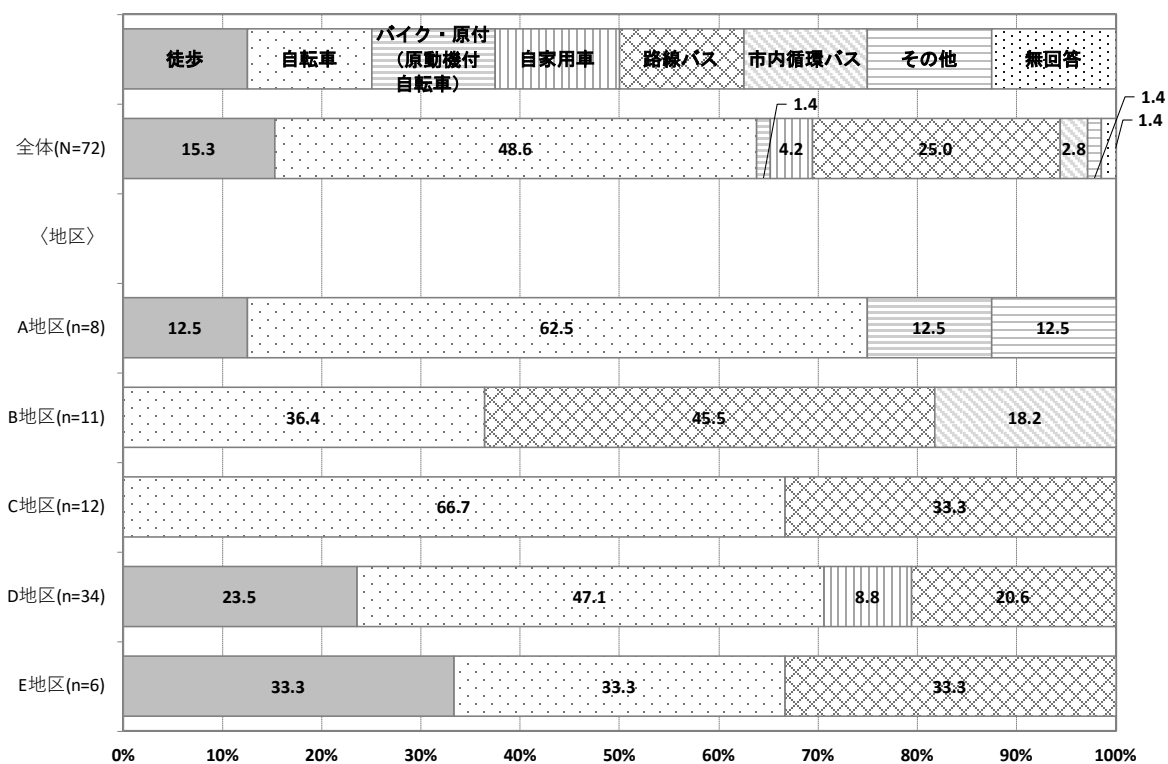
問8-4 最寄駅までの交通手段（単一回答形式）

【「問8-3」で、「鉄道・モノレール」の場合のみ回答】

●「自転車」が最多で48.6%、次いで、「路線バス」が25.0%、「徒歩」が15.3%となっています。



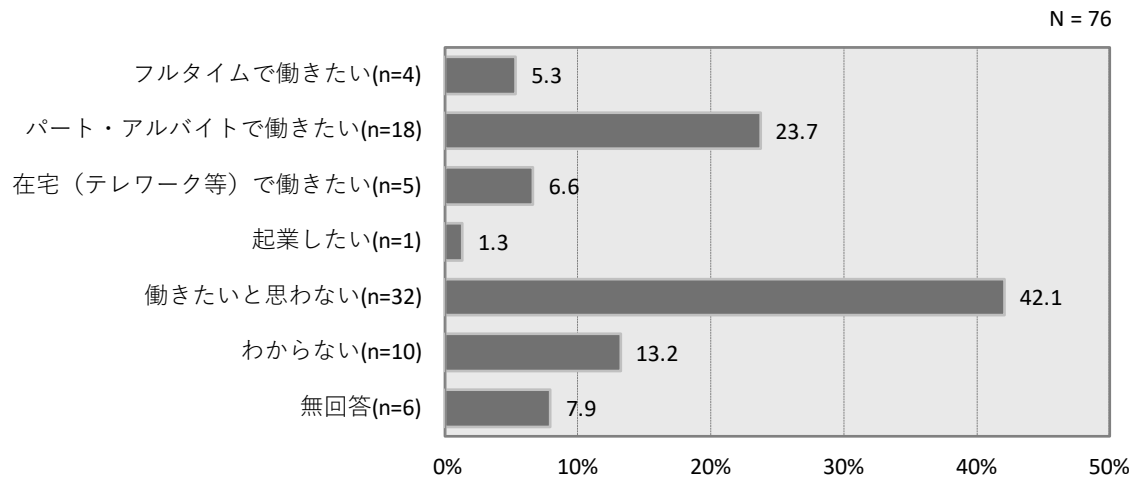
<地区別>



問8-5 希望する働き方（単一回答形式）

【「問8」で、「専業主婦（夫）」「無職」の場合のみ回答】

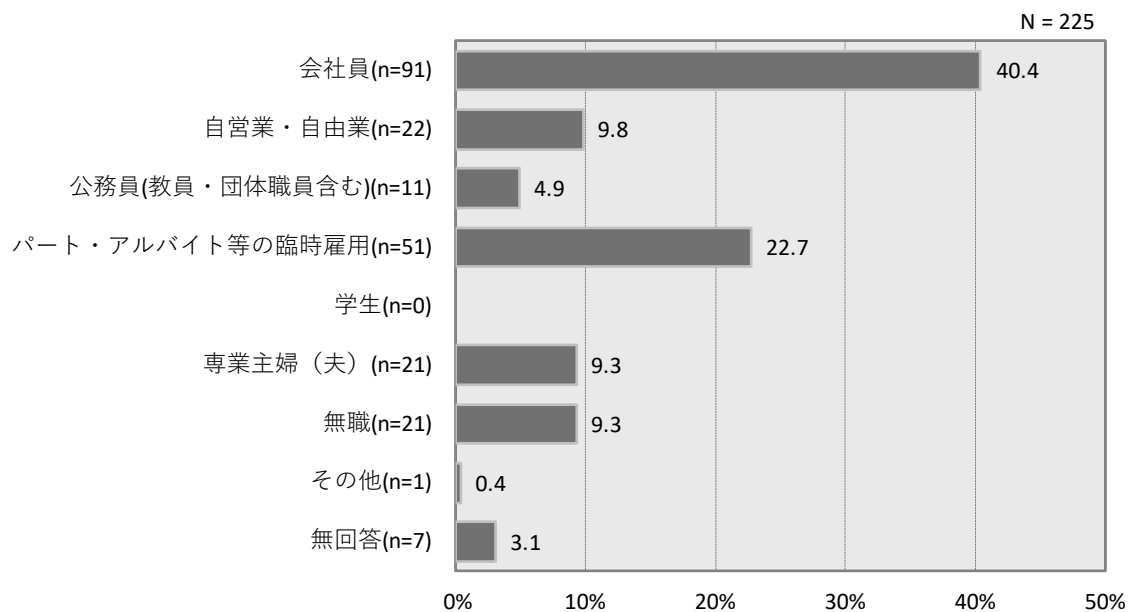
- 「働きたいと思わない」が最多で42.1%、次いで、「パート・アルバイトで働きたい」が23.7%、「わからない」が13.2%となっています。



問9 配偶者・パートナーの職業（単一回答形式）

【結婚されている方のみ回答（「問6」で「既婚（配偶者・パートナーあり）」を回答した方と推定）】

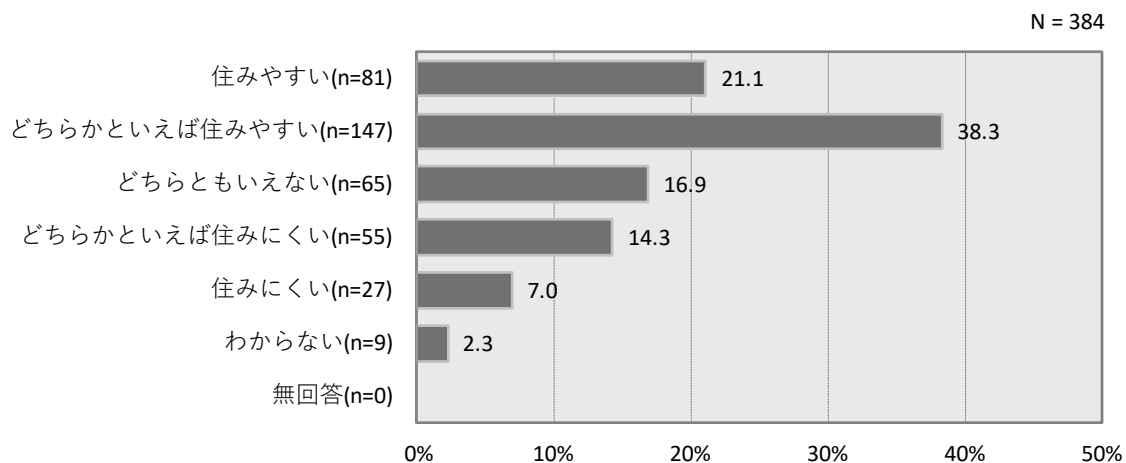
- 「会社員」が最多で40.4%、次いで、「パート・アルバイト等の臨時雇用」が22.7%、「自営業・自由業」が9.8%となっています。

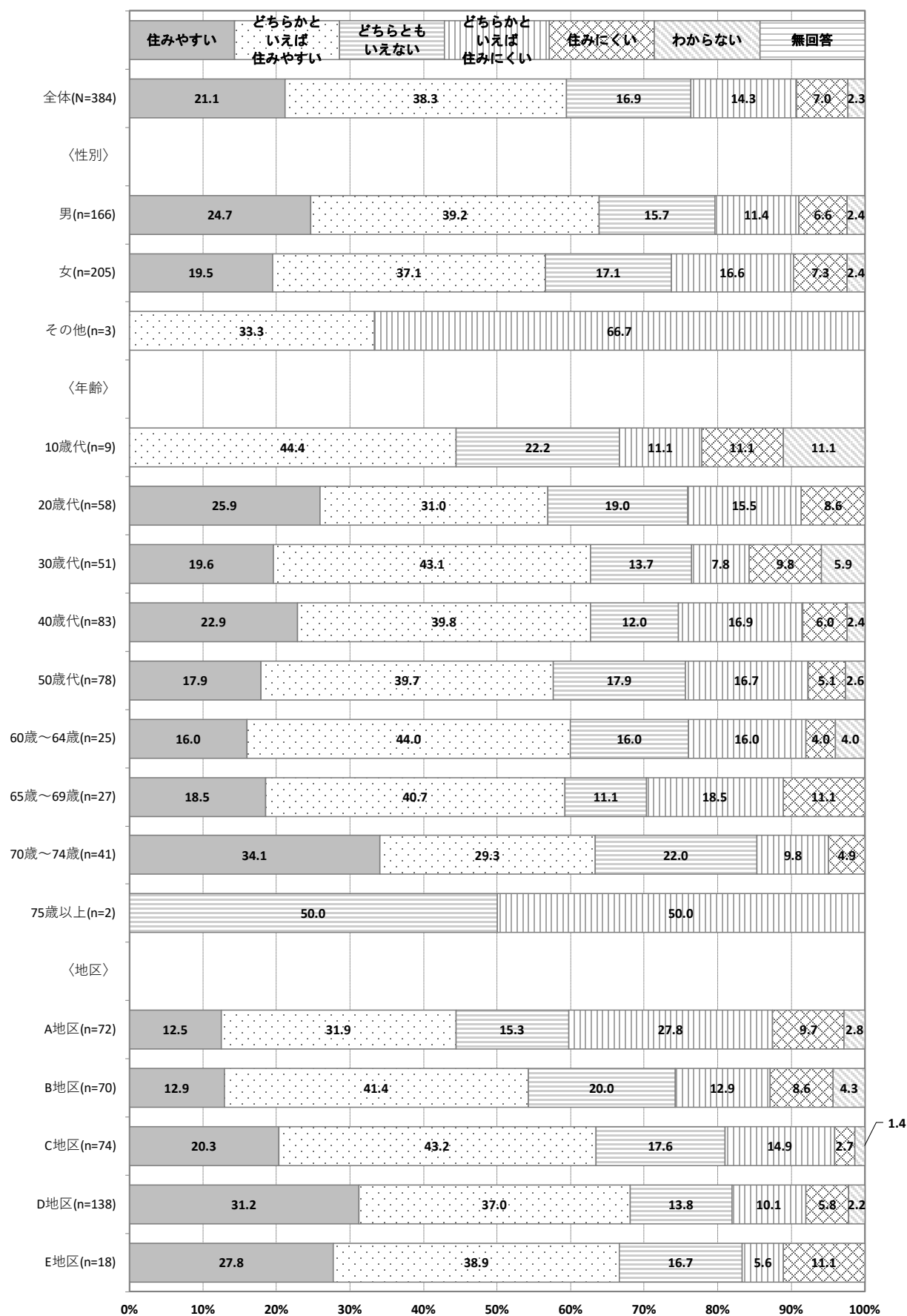


2. 武蔵村山市に住んで感じたこと

問10 住みやすさ（単一回答形式）

- 「どちらかといえば住みやすい」が最多で38.3%、次いで、「住みやすい」が21.1%、「どちらともいえない」が16.9%となっています。また、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合算したとき、59.4%となっています。

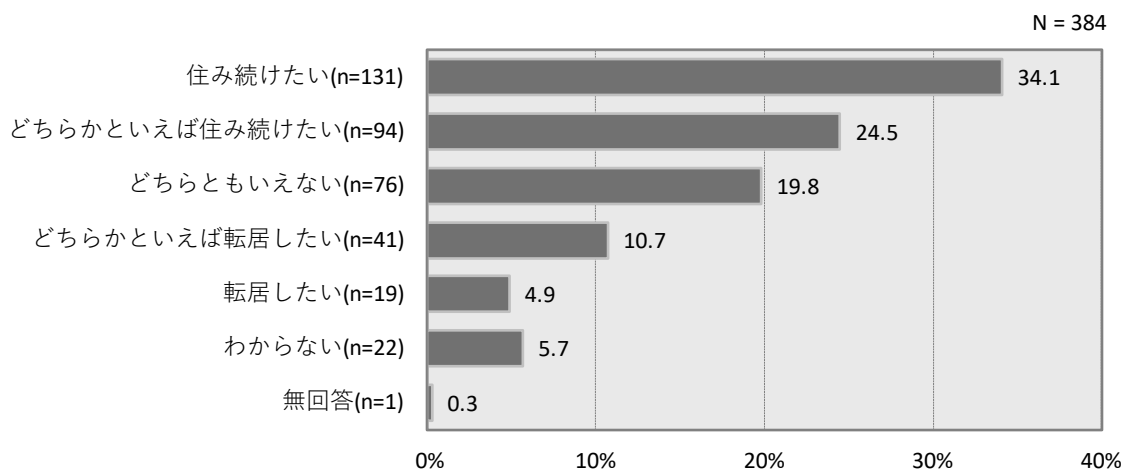


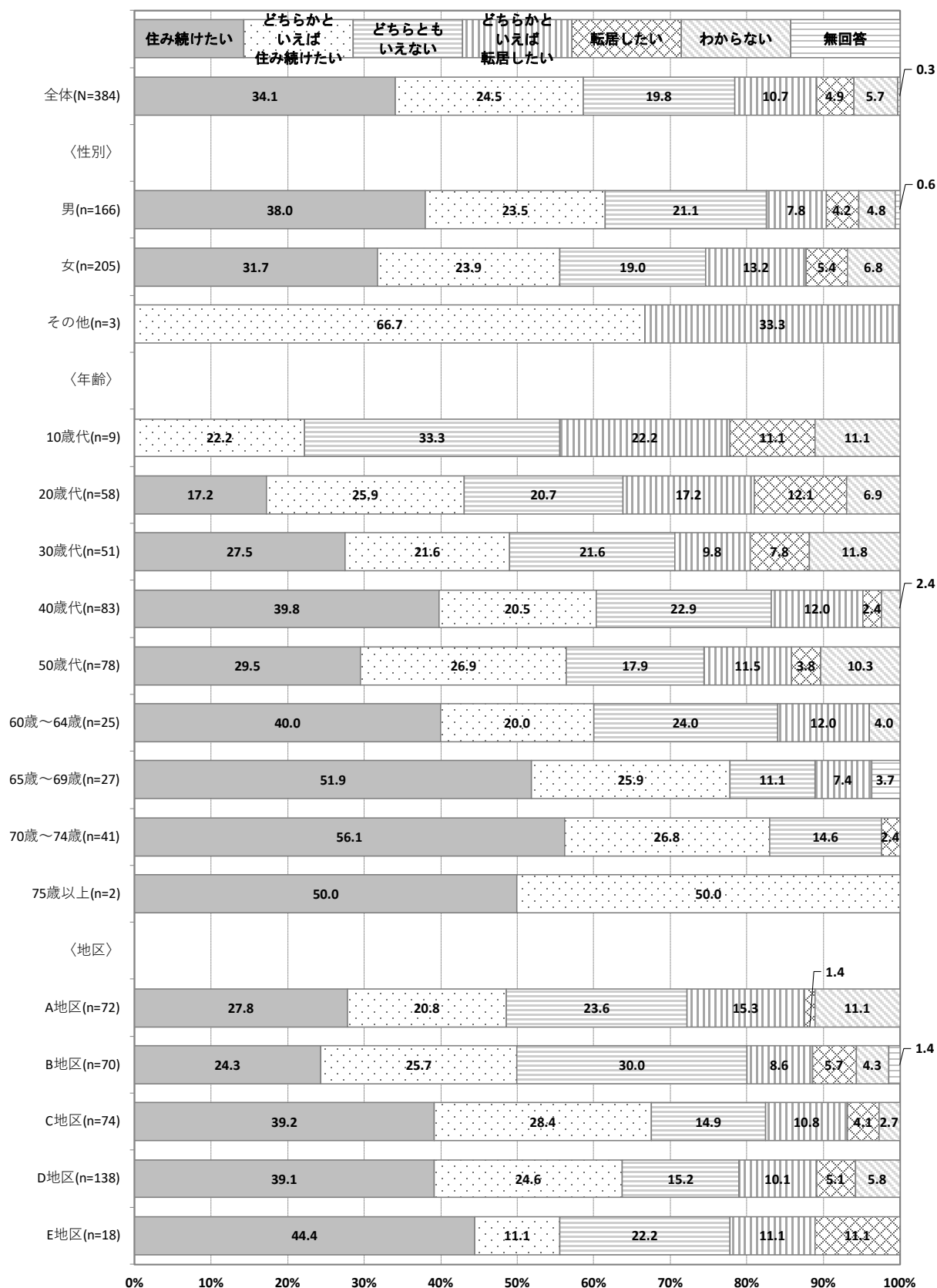


第1章 市民意識調査

問11 住み続けたいか（単一回答形式）

- 「住み続けたい」が最多で34.1%、次いで、「どちらかといえば住み続けたい」が24.5%、「どちらともいえない」が19.8%となっています。また、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合算したとき、58.6%となっています。



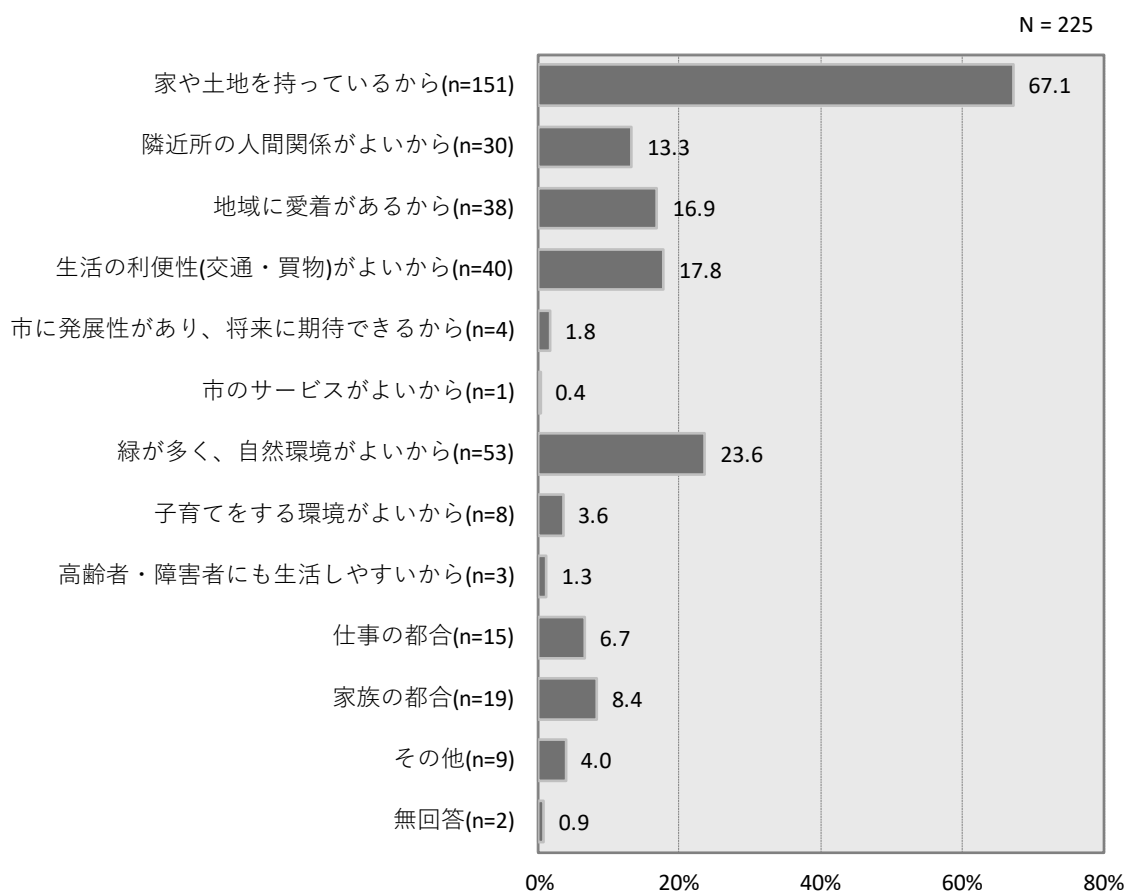


第1章 市民意識調査

問 11-2 住み続けたい理由（複数回答形式）

【「問 11」で、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」の場合のみ回答】

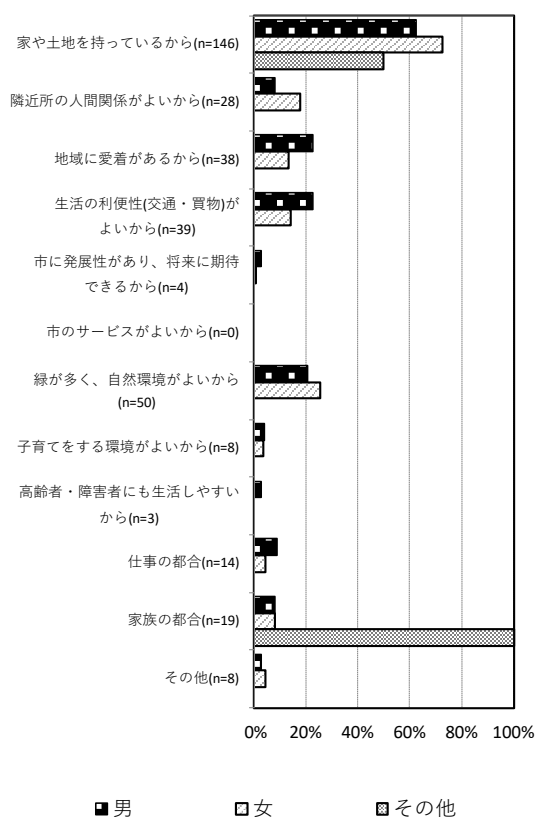
- 「家や土地を持っているから」が最多で 67.1%、次いで、「緑が多く、自然環境がよいから」が 23.6%、「生活の利便性(交通・買物)がよいから」が 17.8%となっています。



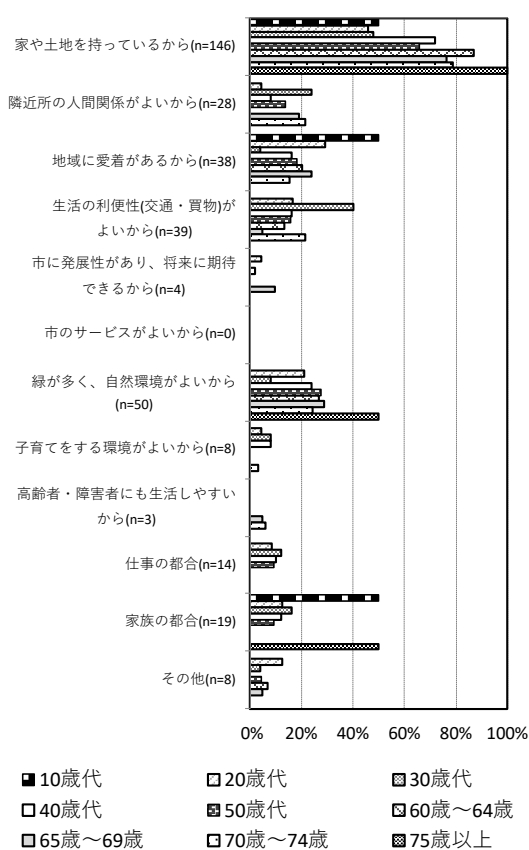
〈その他の回答〉

- ・ この中に当てはまるものがない。
- ・ 団地入居だから。
- ・ 実家があるから。
- ・ 静かなため。
- ・ 来年からの仕事場の近くだから。
- ・ 引っ越しが面倒だから。悪くはない住環境だから。
- ・ 特に不便を感じていないから。
- ・ 地元に残っている友人が多いため。
- ・ 駅が無い分家賃が安いから。

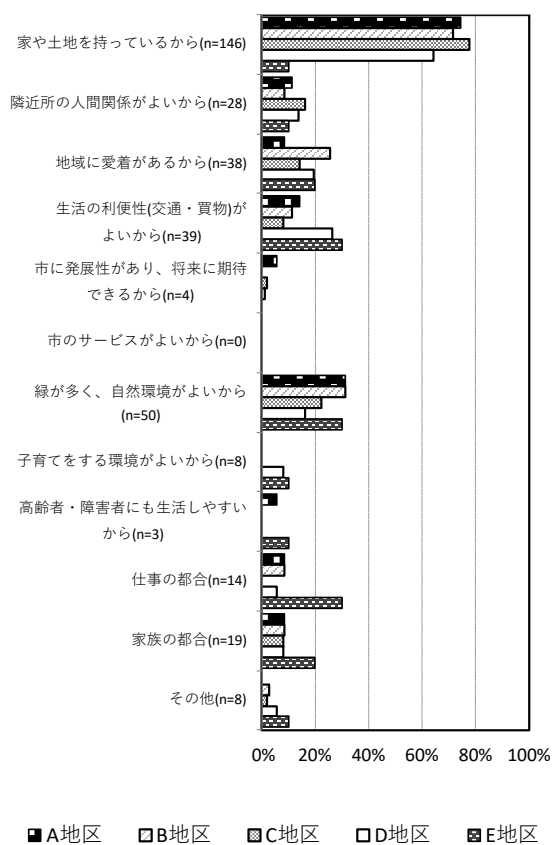
<性別>



<年齢別>



<地区別>

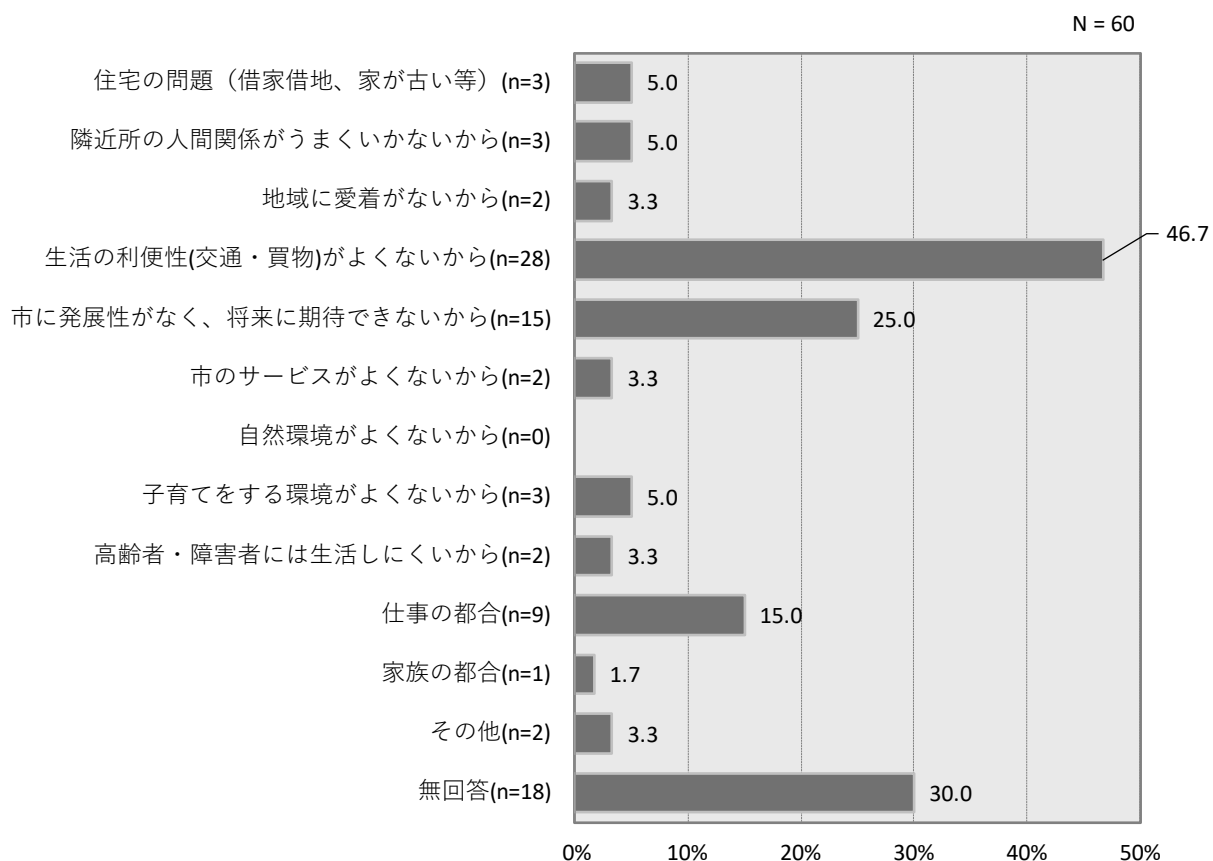


第1章 市民意識調査

問 11-3 転居したい理由（複数回答形式）

【「問 11」で、「どちらかといえば転居したい」「転居したい」の場合のみ回答】

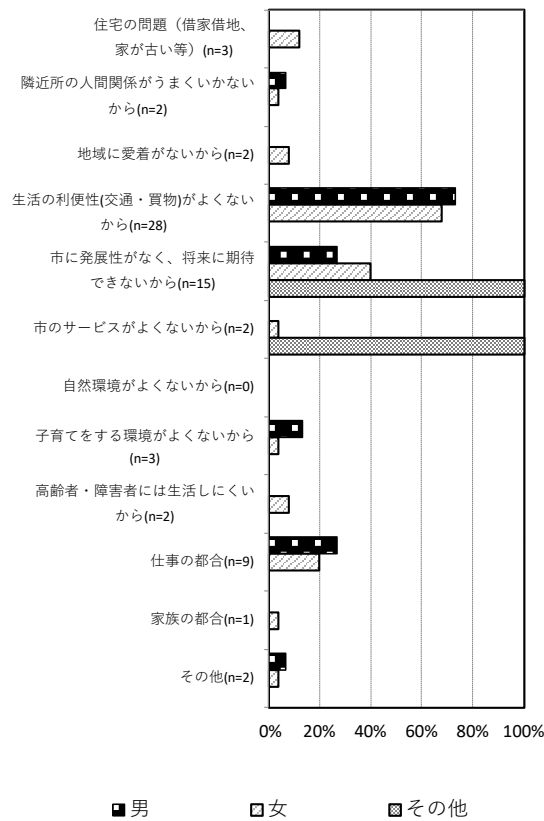
- 「生活の利便性(交通・買物)がよくないから」が最多で 46.7%、次いで、「市に発展性がなく、将来に期待できないから」が 25.0%、「仕事の都合」が 15.0%となっています。



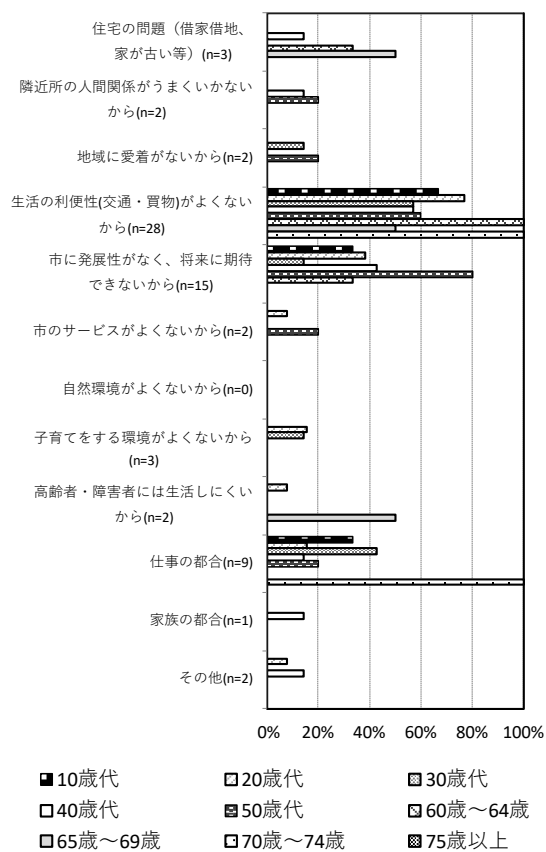
〈その他の回答〉

- ・ 住みたい土地がある。

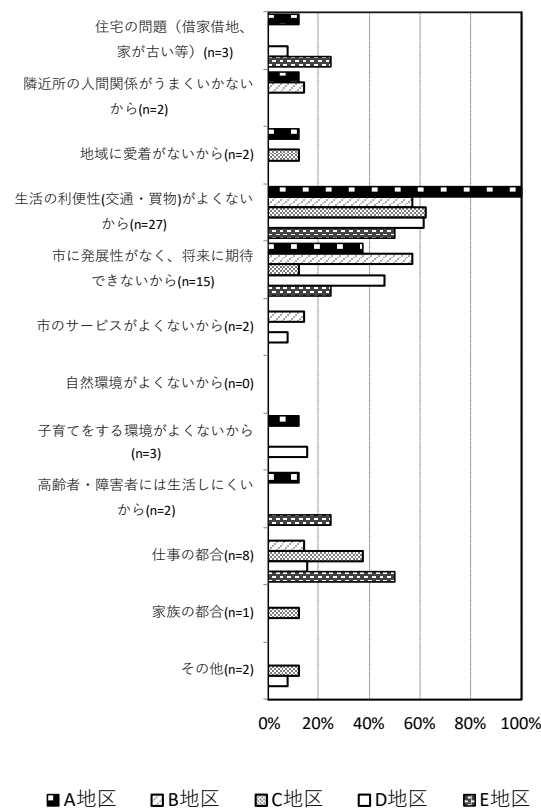
<性別>



<年齢別>



<地区別>



3. 市の取組に対する評価と今後への期待について

問12 武蔵村山市での生活を通しての満足度および充実希望度（単一回答形式）

〈相関分布図〉

「満足度」および「充実希望度」それぞれの加重平均値をもとに、X軸に「満足度」を、Y軸に「充実希望度」を設定し、各項目を散布図上に示したものが、「各施策の「満足度」と「充実希望度」の相関分布図」である。

〈満足度〉

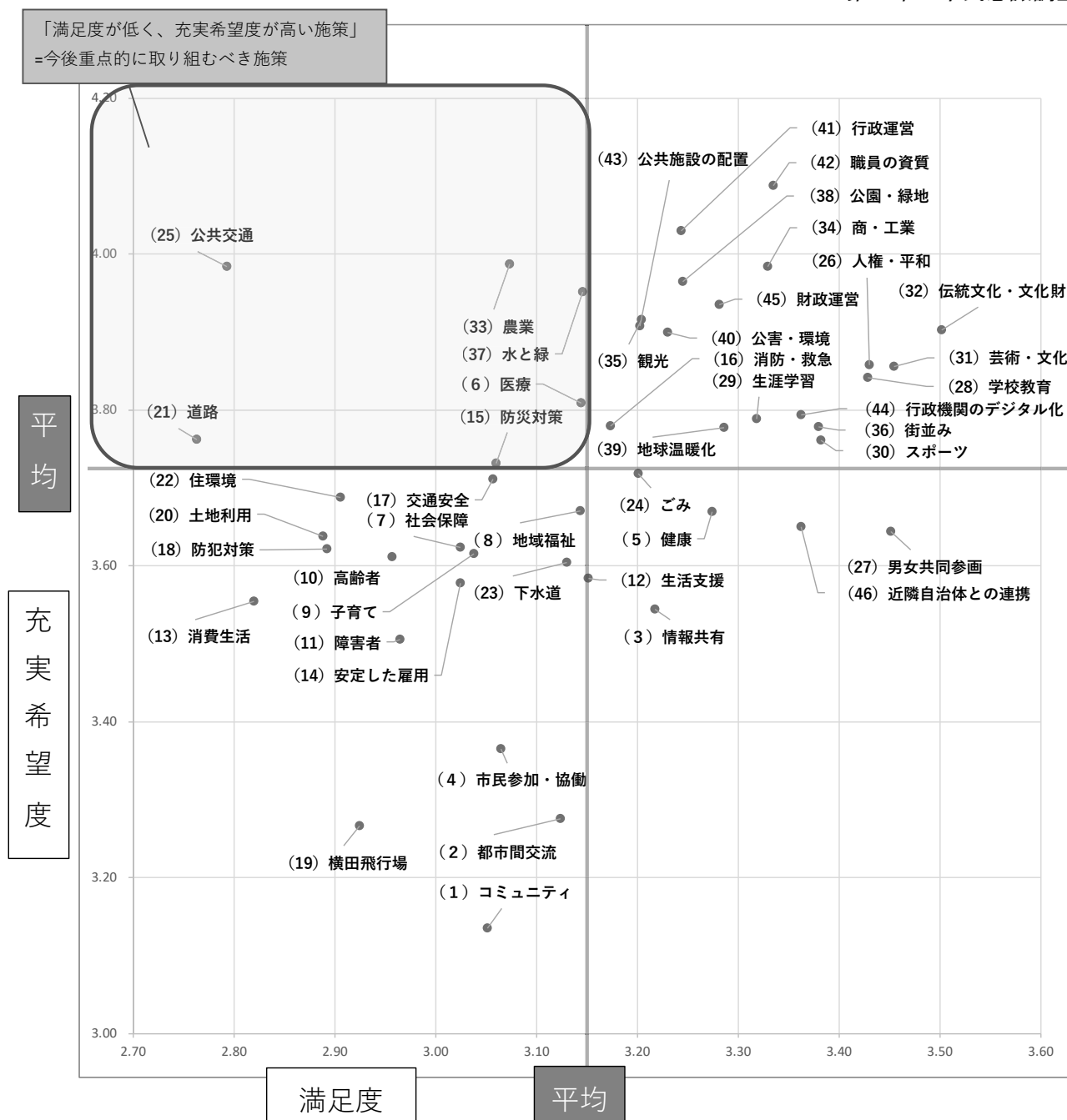
「満足している」：5点、「ほぼ満足している」：4点、「どちらともいえない」：3点、「やや不満である」：2点、「不満である」：1点とし、項目ごとの回答結果と上記配点との積の総和を（回答者件数—無回答件数）で除した値として算出した。

〈充実希望度〉

「充実してほしい」：5点、「やや充実してほしい」：4点、「どちらともいえない」：3点、「あまり充実しなくてよい」：2点、「充実しなくてよい」：1点とし、項目ごとの回答結果と上記配点との積の総和を（回答者件数—無回答件数）で除した値として算出した。

〈相関分布図〉

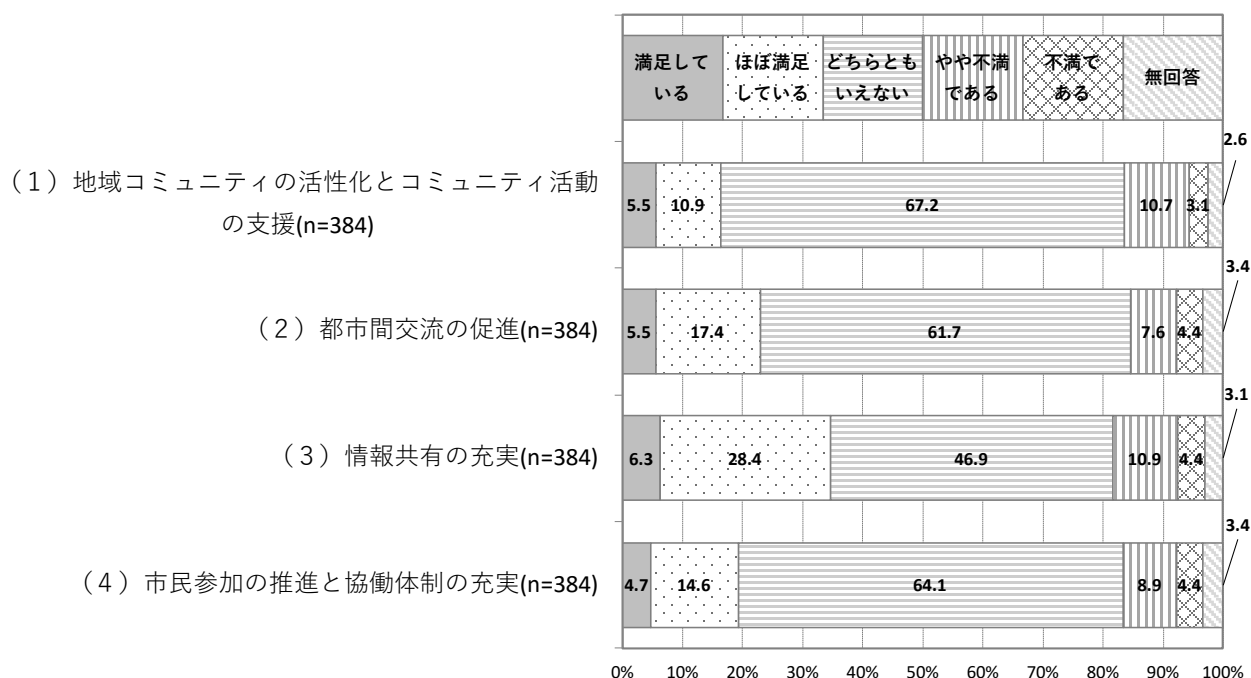
- 今後重点的に取り組むべき施策（満足度が低く、充実希望度が高いもの）は、「(6) 医療」や「(15) 防災対策」、「(21) 道路の整備」、「(25) 公共交通の整備」、「(33) 農業」、「(37) 水と緑」が挙げられます。
- 「問12 武蔵村山市での生活を通しての満足度」は、「(32) 伝統文化・文化財の保護・活用」が最も高く3.5点、次いで、「(31) 芸術・文化の振興」が3.45点となっています。
- 「問12 武蔵村山市での生活を通しての充実希望度」は、「(42) 職員の資質向上」が最も高く4.09点、次いで、「(41) 行政運営の推進」が4.03点となっています。



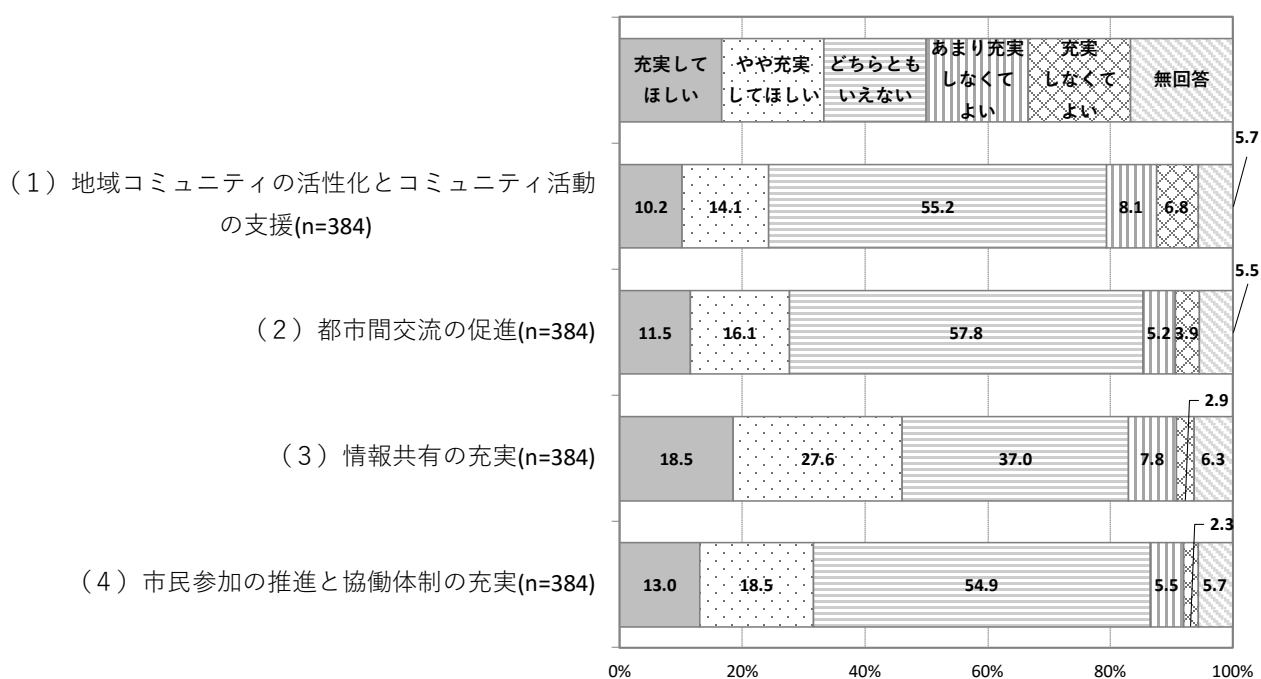
第1章 市民意識調査

1 市民との協働による地域振興

〈満足度〉グラフ



〈充実希望度〉グラフ



〈満足度〉表

市民との協働による地域振興	満足して いる	ほぼ満足 している	どちらとも いえない	やや不満 である	不満である	無回答
(1) 地域コミュニティの活性化と コミュニティ活動の支援	21 5.5	42 10.9	258 67.2	41 10.7	12 3.1	10 2.6
(2) 都市間交流の促進	21 5.5	67 17.4	237 61.7	29 7.6	17 4.4	13 3.4
(3) 情報共有の充実	24 6.3	109 28.4	180 46.9	42 10.9	17 4.4	12 3.1
(4) 市民参加の推進と協働体制の充実	18 4.7	56 14.6	246 64.1	34 8.9	17 4.4	13 3.4

上段:回答数 下段: %

〈充実希望度〉表

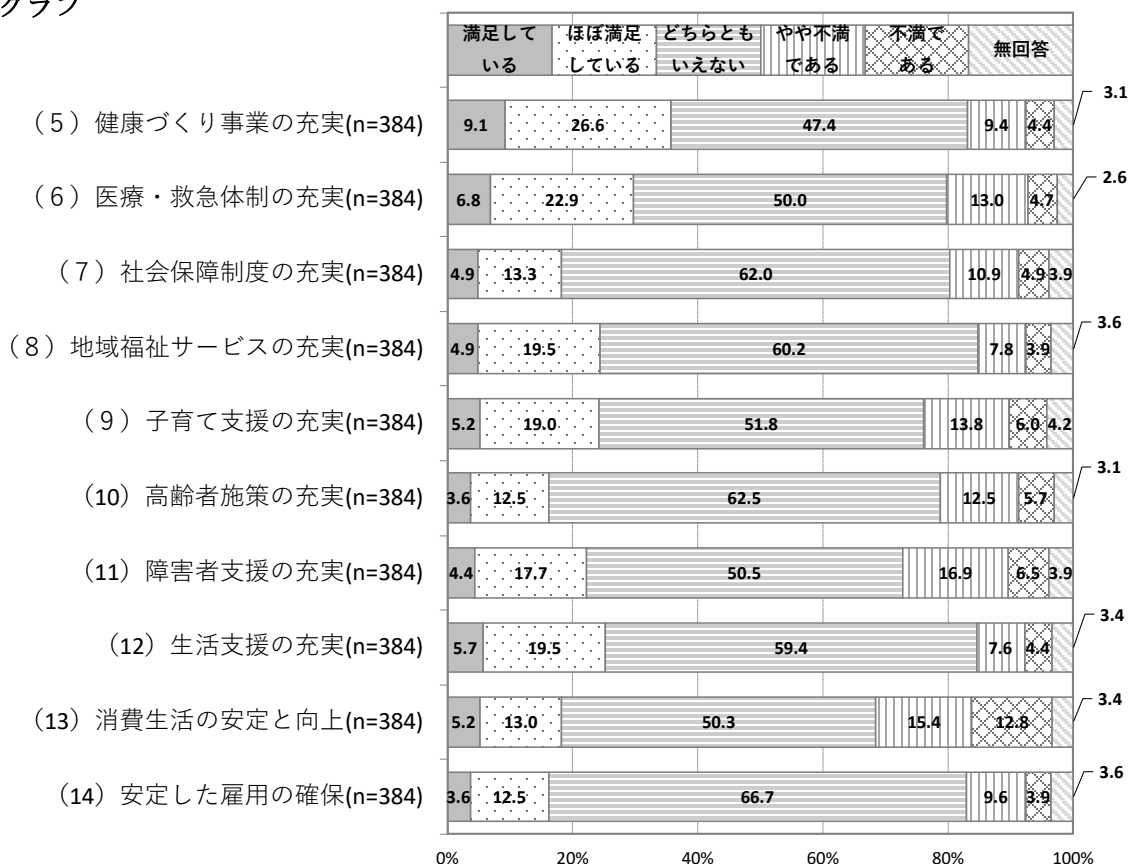
市民との協働による地域振興	充実して ほしい	やや充実 してほしい	どちらとも いえない	あまり充実 しなくて よい	充実 しなくて よい	無回答
(1) 地域コミュニティの活性化と コミュニティ活動の支援	39 10.2	54 14.1	212 55.2	31 8.1	26 6.8	22 5.7
(2) 都市間交流の促進	44 11.5	62 16.1	222 57.8	20 5.2	15 3.9	21 5.5
(3) 情報共有の充実	71 18.5	106 27.6	142 37.0	30 7.8	11 2.9	24 6.3
(4) 市民参加の推進と協働体制の充実	50 13.0	71 18.5	211 54.9	21 5.5	9 2.3	22 5.7

上段:回答数 下段: %

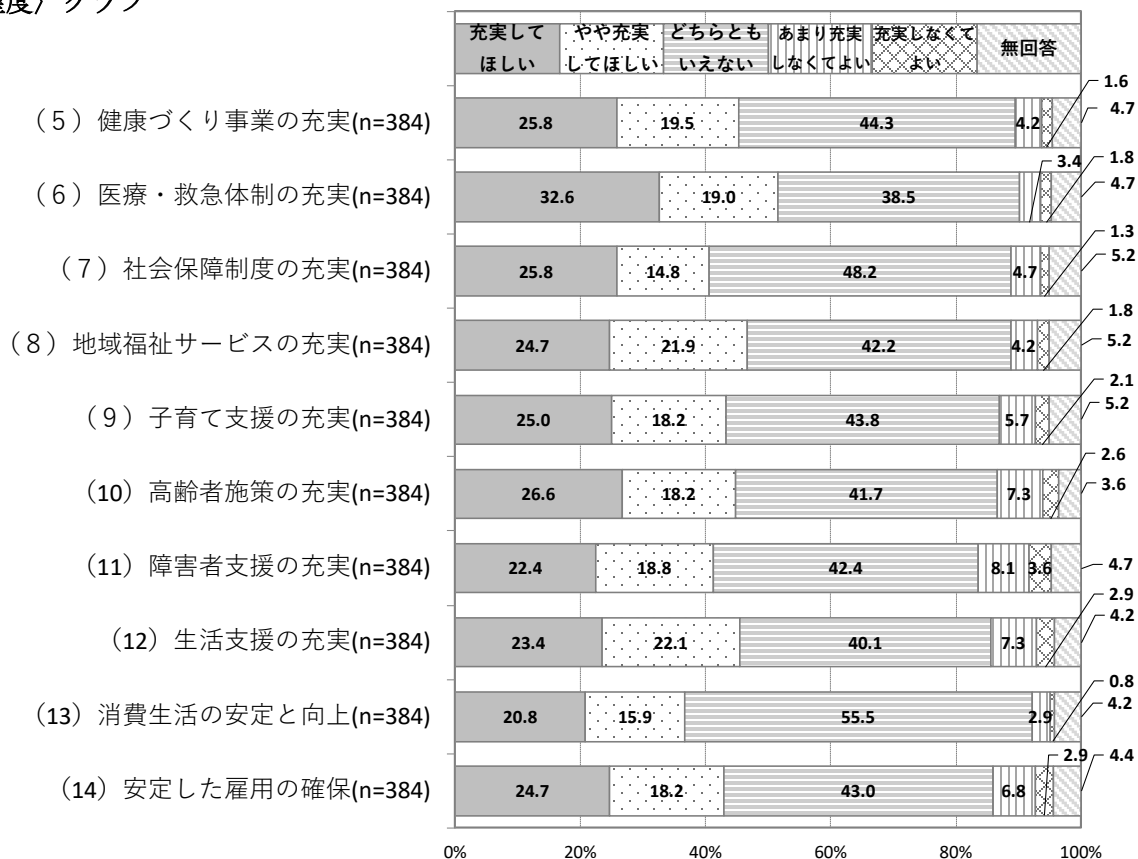
第1章 市民意識調査

2 健康で明るく暮らせるまちづくり

〈満足度〉グラフ



〈充実希望度〉グラフ



〈満足度〉表

健康で明るく暮らせるまちづくり	満足して いる	ほぼ満足 している	どちらとも いえない	やや不満 である	不満である	無回答
(5) 健康づくり事業の充実	35 9.1	102 26.6	182 47.4	36 9.4	17 4.4	12 3.1
(6) 医療・救急体制の充実	26 6.8	88 22.9	192 50.0	50 13.0	18 4.7	10 2.6
(7) 社会保障制度の充実	19 4.9	51 13.3	238 62.0	42 10.9	19 4.9	15 3.9
(8) 地域福祉サービスの充実	19 4.9	75 19.5	231 60.2	30 7.8	15 3.9	14 3.6
(9) 子育て支援の充実	20 5.2	73 19.0	199 51.8	53 13.8	23 6.0	16 4.2
(10) 高齢者施策の充実	14 3.6	48 12.5	240 62.5	48 12.5	22 5.7	12 3.1
(11) 障害者支援の充実	17 4.4	68 17.7	194 50.5	65 16.9	25 6.5	15 3.9
(12) 生活支援の充実	22 5.7	75 19.5	228 59.4	29 7.6	17 4.4	13 3.4
(13) 消費生活の安定と向上	20 5.2	50 13.0	193 50.3	59 15.4	49 12.8	13 3.4
(14) 安定した雇用の確保	14 3.6	48 12.5	256 66.7	37 9.6	15 3.9	14 3.6

上段:回答数 下段: %

〈充実希望度〉表

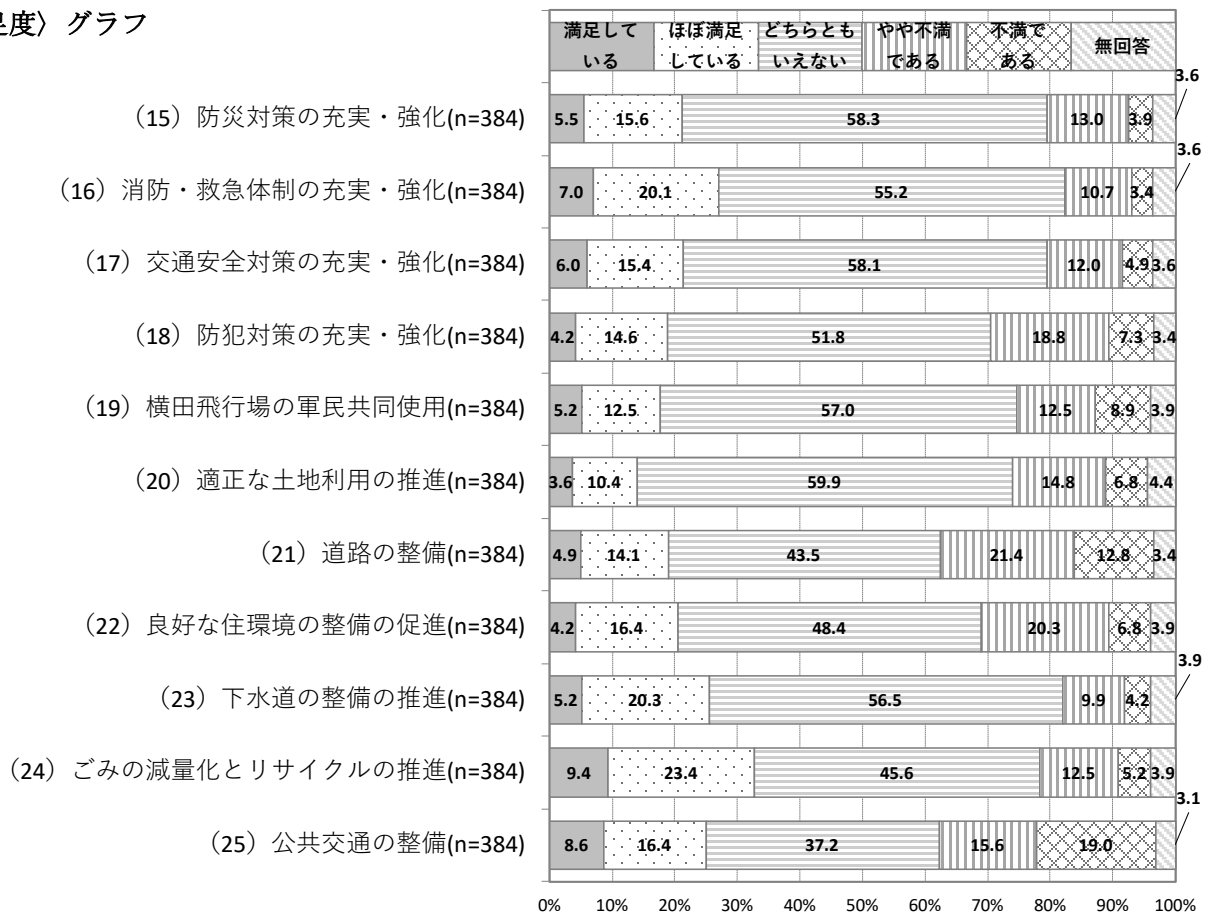
健康で明るく暮らせるまちづくり	充実して ほしい	やや充実 してほしい	どちらとも いえない	あまり充実 しないで よい	充実 しないで よい	無回答
(5) 健康づくり事業の充実	99 25.8	75 19.5	170 44.3	16 4.2	6 1.6	18 4.7
(6) 医療・救急体制の充実	125 32.6	73 19.0	148 38.5	13 3.4	7 1.8	18 4.7
(7) 社会保障制度の充実	99 25.8	57 14.8	185 48.2	18 4.7	5 1.3	20 5.2
(8) 地域福祉サービスの充実	95 24.7	84 21.9	162 42.2	16 4.2	7 1.8	20 5.2
(9) 子育て支援の充実	96 25.0	70 18.2	168 43.8	22 5.7	8 2.1	20 5.2
(10) 高齢者施策の充実	102 26.6	70 18.2	160 41.7	28 7.3	10 2.6	14 3.6
(11) 障害者支援の充実	86 22.4	72 18.8	163 42.4	31 8.1	14 3.6	18 4.7
(12) 生活支援の充実	90 23.4	85 22.1	154 40.1	28 7.3	11 2.9	16 4.2
(13) 消費生活の安定と向上	80 20.8	61 15.9	213 55.5	11 2.9	3 0.8	16 4.2
(14) 安定した雇用の確保	95 24.7	70 18.2	165 43.0	26 6.8	11 2.9	17 4.4

上段:回答数 下段: %

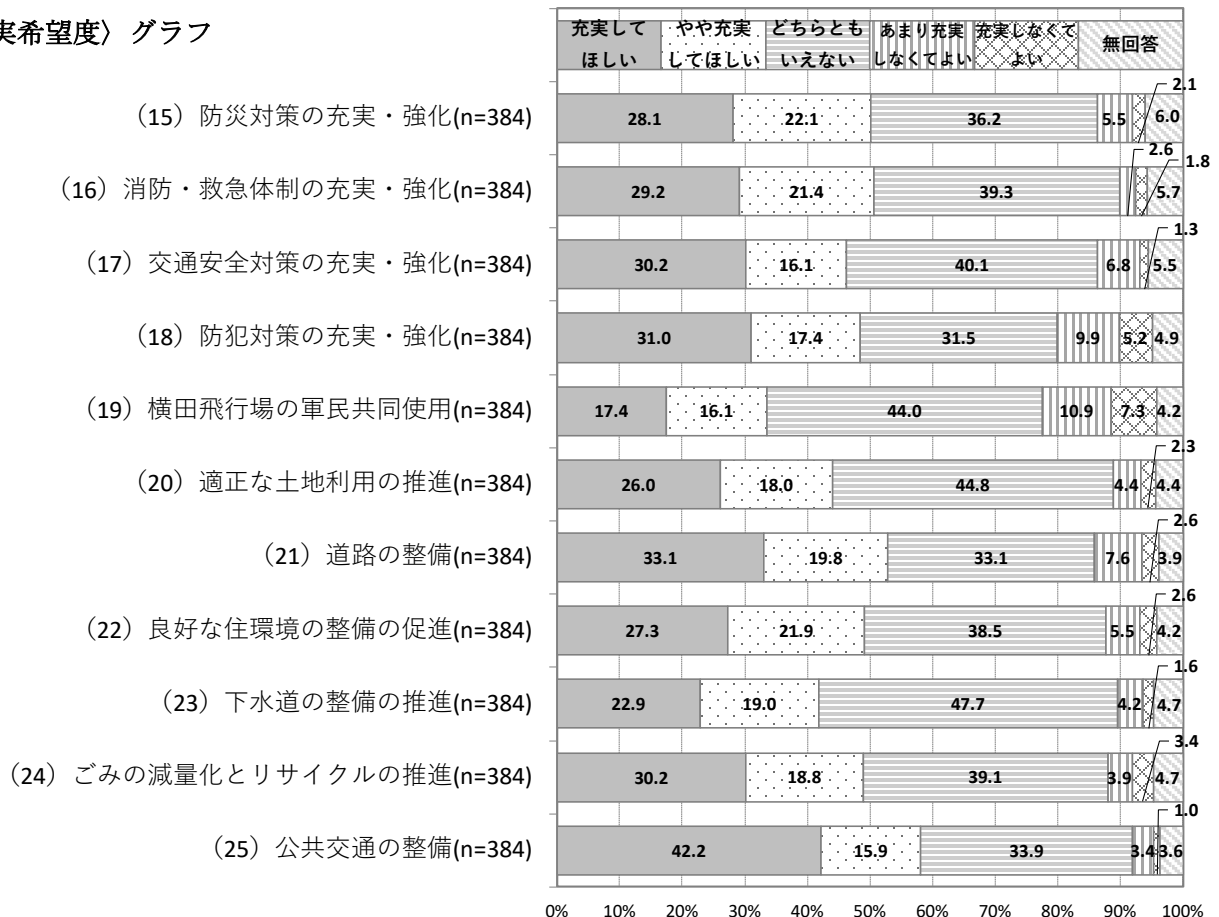
第1章 市民意識調査

3 安全で快適なまちづくり

〈満足度〉グラフ



〈充実希望度〉グラフ



〈満足度〉表

安全で快適なまちづくり	満足して いる	ほぼ満足 している	どちらとも いえない	やや不満 である	不満である	無回答
(15) 防災対策の充実・強化	21 5.5	60 15.6	224 58.3	50 13.0	15 3.9	14 3.6
(16) 消防・救急体制の充実・強化	27 7.0	77 20.1	212 55.2	41 10.7	13 3.4	14 3.6
(17) 交通安全対策の充実・強化	23 6.0	59 15.4	223 58.1	46 12.0	19 4.9	14 3.6
(18) 防犯対策の充実・強化	16 4.2	56 14.6	199 51.8	72 18.8	28 7.3	13 3.4
(19) 横田飛行場の軍民共同使用	20 5.2	48 12.5	219 57.0	48 12.5	34 8.9	15 3.9
(20) 適正な土地利用の推進	14 3.6	40 10.4	230 59.9	57 14.8	26 6.8	17 4.4
(21) 道路の整備	19 4.9	54 14.1	167 43.5	82 21.4	49 12.8	13 3.4
(22) 良好な住環境の整備の促進	16 4.2	63 16.4	186 48.4	78 20.3	26 6.8	15 3.9
(23) 下水道の整備の推進	20 5.2	78 20.3	217 56.5	38 9.9	16 4.2	15 3.9
(24) ごみの減量化とリサイクルの推進	36 9.4	90 23.4	175 45.6	48 12.5	20 5.2	15 3.9
(25) 公共交通の整備	33 8.6	63 16.4	143 37.2	60 15.6	73 19.0	12 3.1

上段:回答数 下段: %

〈充実希望度〉表

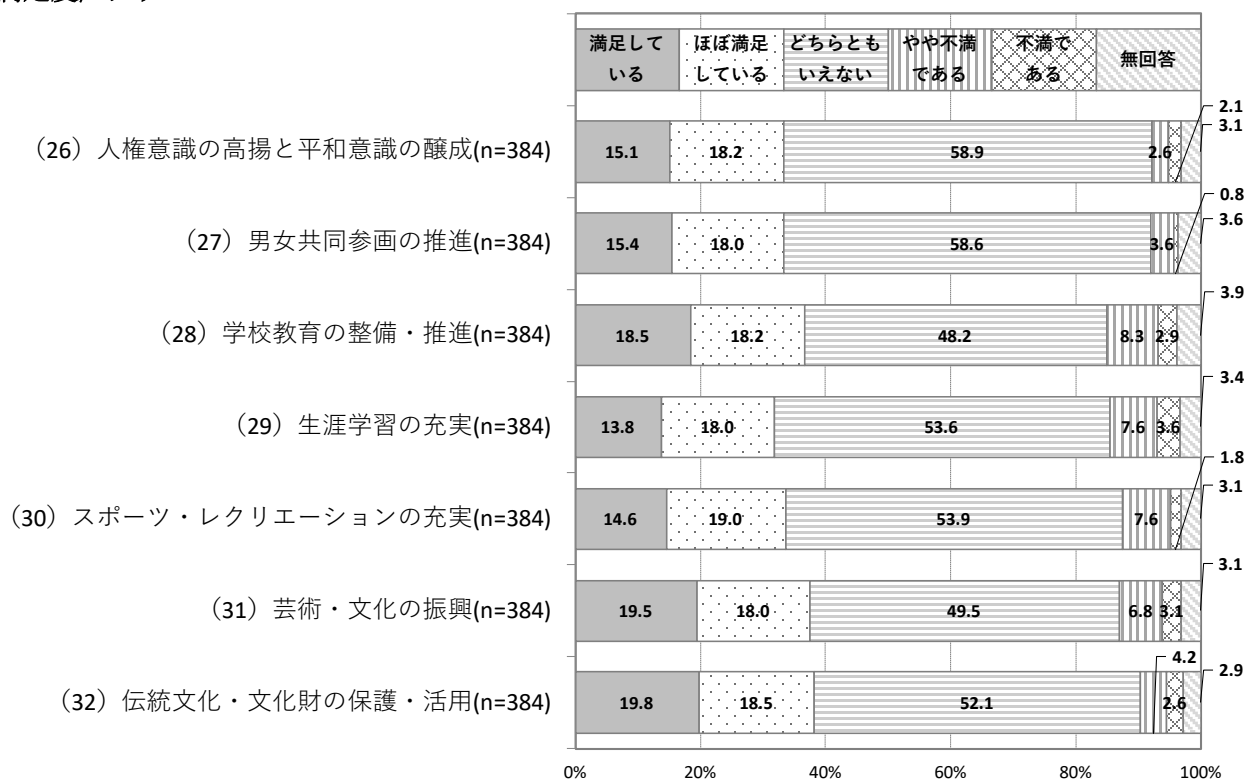
安全で快適なまちづくり	充実して ほしい	やや充実 してほしい	どちらとも いえない	あまり充実 しないで よい	充実 しないで よい	無回答
(15) 防災対策の充実・強化	108 28.1	85 22.1	139 36.2	21 5.5	8 2.1	23 6.0
(16) 消防・救急体制の充実・強化	112 29.2	82 21.4	151 39.3	10 2.6	7 1.8	22 5.7
(17) 交通安全対策の充実・強化	116 30.2	62 16.1	154 40.1	26 6.8	5 1.3	21 5.5
(18) 防犯対策の充実・強化	119 31.0	67 17.4	121 31.5	38 9.9	20 5.2	19 4.9
(19) 横田飛行場の軍民共同使用	67 17.4	62 16.1	169 44.0	42 10.9	28 7.3	16 4.2
(20) 適正な土地利用の推進	100 26.0	69 18.0	172 44.8	17 4.4	9 2.3	17 4.4
(21) 道路の整備	127 33.1	76 19.8	127 33.1	29 7.6	10 2.6	15 3.9
(22) 良好な住環境の整備の促進	105 27.3	84 21.9	148 38.5	21 5.5	10 2.6	16 4.2
(23) 下水道の整備の推進	88 22.9	73 19.0	183 47.7	16 4.2	6 1.6	18 4.7
(24) ごみの減量化とリサイクルの推進	116 30.2	72 18.8	150 39.1	15 3.9	13 3.4	18 4.7
(25) 公共交通の整備	162 42.2	61 15.9	130 33.9	13 3.4	4 1.0	14 3.6

上段:回答数 下段: %

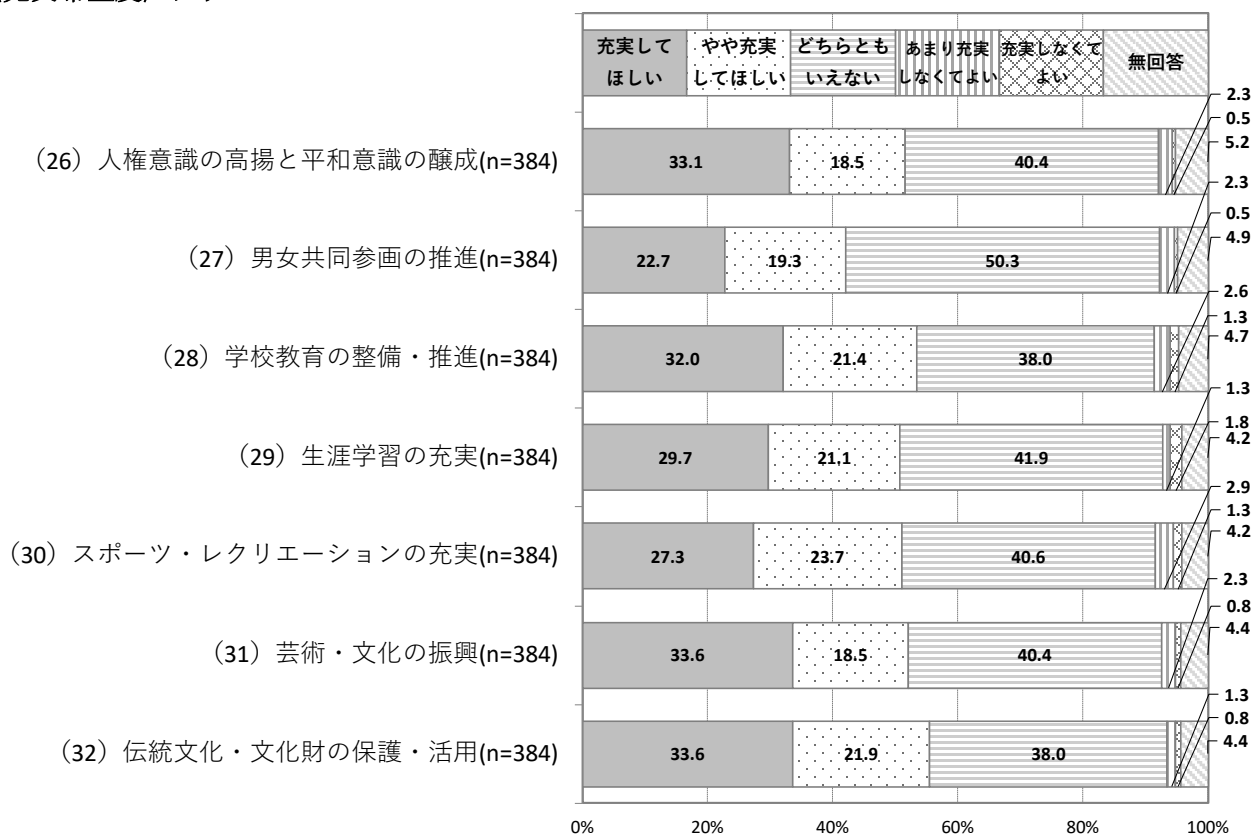
第1章 市民意識調査

4 誰もが学び活躍できるまちづくり

〈満足度〉グラフ



〈充実希望度〉グラフ



〈満足度〉表

誰もが学び活躍できるまちづくり	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
(26) 人権意識の高揚と平和意識の醸成	58 15.1	70 18.2	226 58.9	10 2.6	8 2.1	12 3.1
(27) 男女共同参画の推進	59 15.4	69 18.0	225 58.6	14 3.6	3 0.8	14 3.6
(28) 学校教育の整備・推進	71 18.5	70 18.2	185 48.2	32 8.3	11 2.9	15 3.9
(29) 生涯学習の充実	53 13.8	69 18.0	206 53.6	29 7.6	14 3.6	13 3.4
(30) スポーツ・レクリエーションの充実	56 14.6	73 19.0	207 53.9	29 7.6	7 1.8	12 3.1
(31) 芸術・文化の振興	75 19.5	69 18.0	190 49.5	26 6.8	12 3.1	12 3.1
(32) 伝統文化・文化財の保護・活用	76 19.8	71 18.5	200 52.1	16 4.2	10 2.6	11 2.9

上段:回答数 下段: %

〈充実希望度〉表

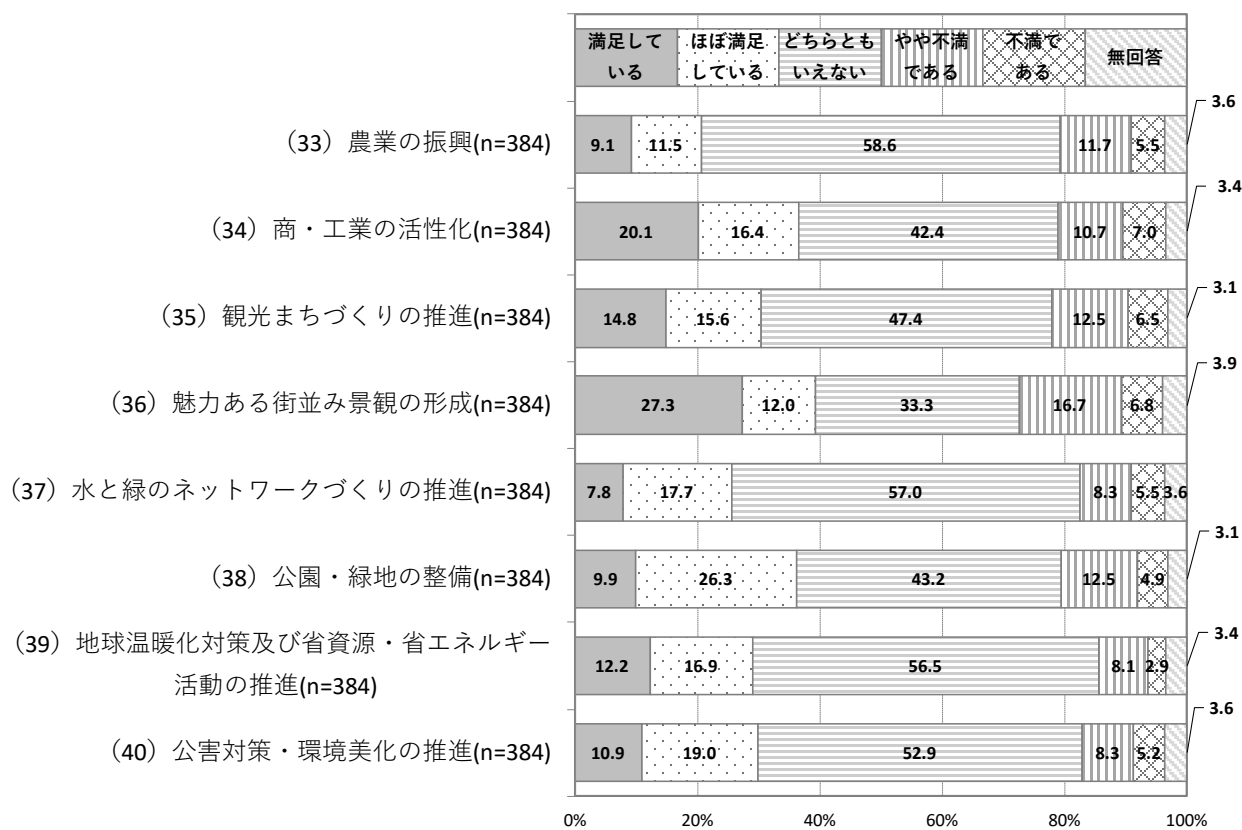
誰もが学び活躍できるまちづくり	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい	無回答
(26) 人権意識の高揚と平和意識の醸成	127 33.1	71 18.5	155 40.4	9 2.3	2 0.5	20 5.2
(27) 男女共同参画の推進	87 22.7	74 19.3	193 50.3	9 2.3	2 0.5	19 4.9
(28) 学校教育の整備・推進	123 32.0	82 21.4	146 38.0	10 2.6	5 1.3	18 4.7
(29) 生涯学習の充実	114 29.7	81 21.1	161 41.9	5 1.3	7 1.8	16 4.2
(30) スポーツ・レクリエーションの充実	105 27.3	91 23.7	156 40.6	11 2.9	5 1.3	16 4.2
(31) 芸術・文化の振興	129 33.6	71 18.5	155 40.4	9 2.3	3 0.8	17 4.4
(32) 伝統文化・文化財の保護・活用	129 33.6	84 21.9	146 38.0	5 1.3	3 0.8	17 4.4

上段:回答数 下段: %

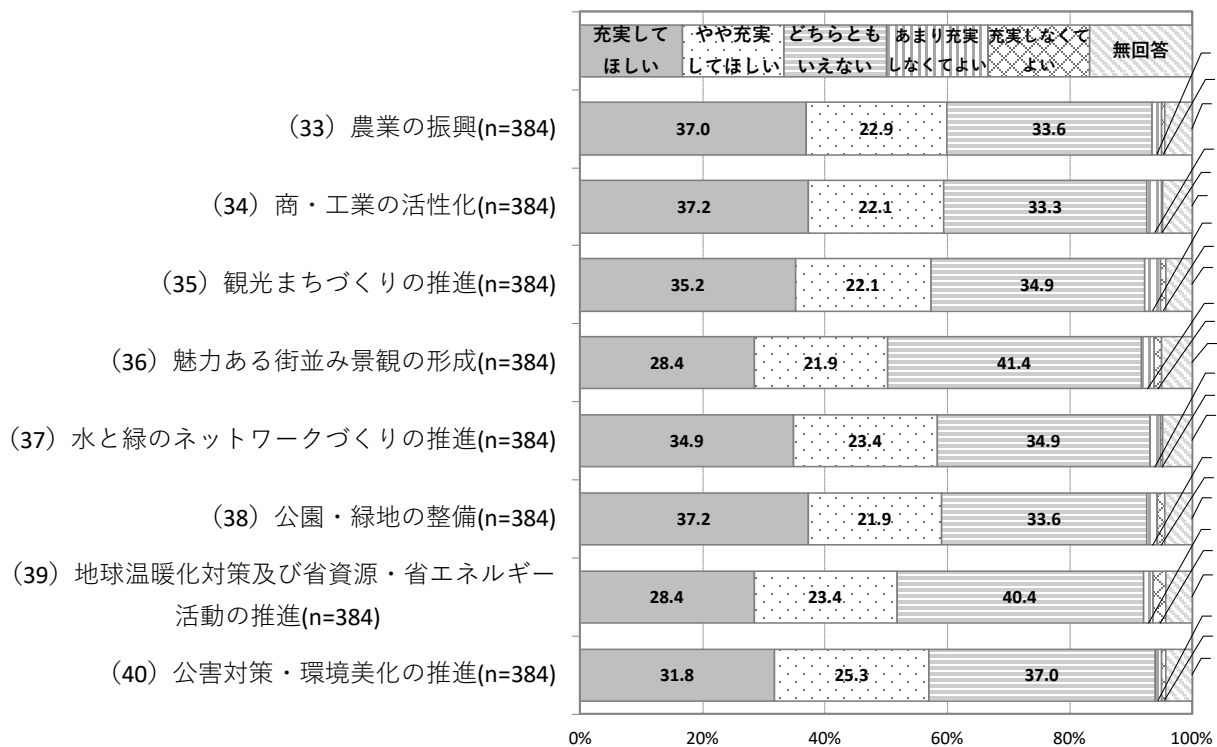
第1章 市民意識調査

5 地域の特徴をいかした自然と調和するまちづくり

〈満足度〉グラフ



〈充実希望度〉グラフ



〈満足度〉表

地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
(33) 農業の振興	35 9.1	44 11.5	225 58.6	45 11.7	21 5.5	14 3.6
(34) 商・工業の活性化	77 20.1	63 16.4	163 42.4	41 10.7	27 7.0	13 3.4
(35) 観光まちづくりの推進	57 14.8	60 15.6	182 47.4	48 12.5	25 6.5	12 3.1
(36) 魅力ある街並み景観の形成	105 27.3	46 12.0	128 33.3	64 16.7	26 6.8	15 3.9
(37) 水と緑のネットワークづくりの推進	30 7.8	68 17.7	219 57.0	32 8.3	21 5.5	14 3.6
(38) 公園・緑地の整備	38 9.9	101 26.3	166 43.2	48 12.5	19 4.9	12 3.1
(39) 地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進	47 12.2	65 16.9	217 56.5	31 8.1	11 2.9	13 3.4
(40) 公害対策・環境美化の推進	42 10.9	73 19.0	203 52.9	32 8.3	20 5.2	14 3.6

上段:回答数 下段: %

〈充実希望度〉表

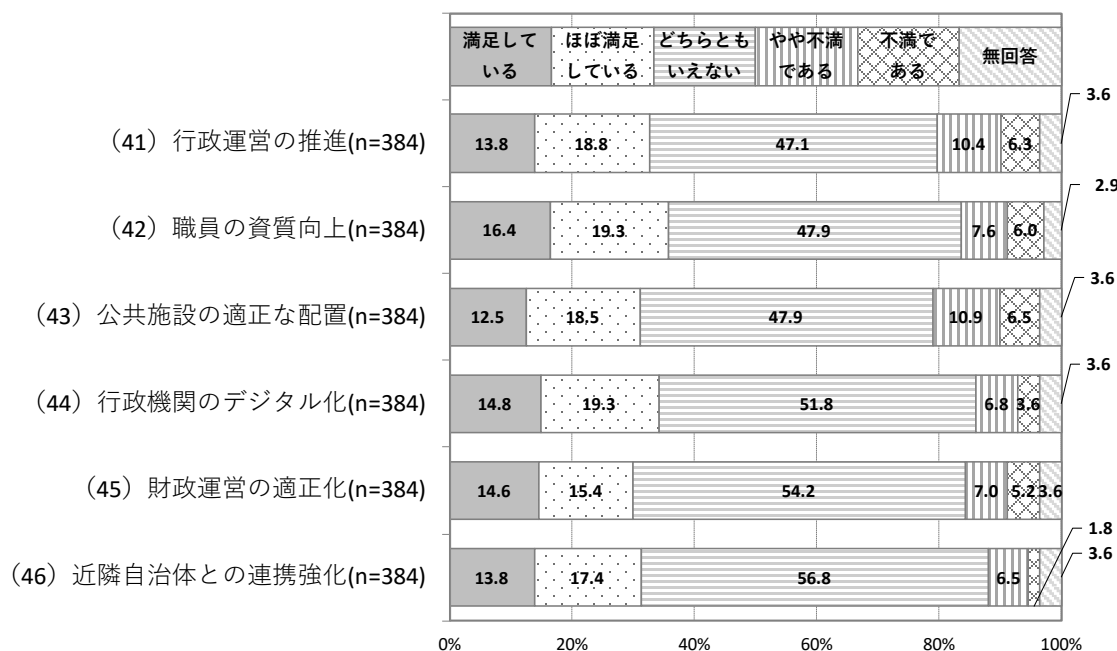
地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい	無回答
(33) 農業の振興	142 37.0	88 22.9	129 33.6	6 1.6	2 0.5	17 4.4
(34) 商・工業の活性化	143 37.2	85 22.1	128 33.3	9 2.3	1 0.3	18 4.7
(35) 観光まちづくりの推進	135 35.2	85 22.1	134 34.9	10 2.6	4 1.0	16 4.2
(36) 魅力ある街並み景観の形成	109 28.4	84 21.9	159 41.4	8 2.1	5 1.3	19 4.9
(37) 水と緑のネットワークづくりの推進	134 34.9	90 23.4	134 34.9	6 1.6	2 0.5	18 4.7
(38) 公園・緑地の整備	143 37.2	84 21.9	129 33.6	6 1.6	5 1.3	17 4.4
(39) 地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進	109 28.4	90 23.4	155 40.4	6 1.6	8 2.1	16 4.2
(40) 公害対策・環境美化の推進	122 31.8	97 25.3	142 37.0	4 1.0	3 0.8	16 4.2

上段:回答数 下段: %

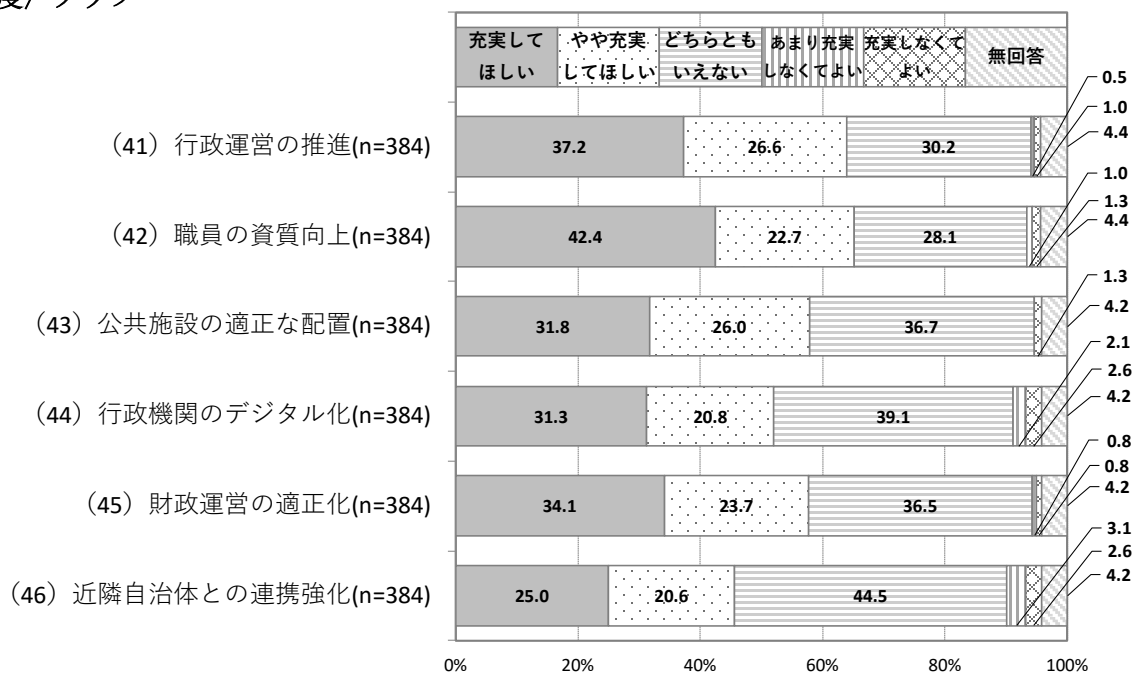
第1章 市民意識調査

6 計画の推進に向けて

〈満足度〉グラフ



〈充実希望度〉グラフ



〈満足度〉表

計画の推進に向けて	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
(41) 行政運営の推進	53 13.8	72 18.8	181 47.1	40 10.4	24 6.3	14 3.6
(42) 職員の資質向上	63 16.4	74 19.3	184 47.9	29 7.6	23 6.0	11 2.9
(43) 公共施設の適正な配置	48 12.5	71 18.5	184 47.9	42 10.9	25 6.5	14 3.6
(44) 行政機関のデジタル化	57 14.8	74 19.3	199 51.8	26 6.8	14 3.6	14 3.6
(45) 財政運営の適正化	56 14.6	59 15.4	208 54.2	27 7.0	20 5.2	14 3.6
(46) 近隣自治体との連携強化	53 13.8	67 17.4	218 56.8	25 6.5	7 1.8	14 3.6

上段:回答数 下段: %

〈充実希望度〉表

計画の推進に向けて	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい	無回答
(41) 行政運営の推進	143 37.2	102 26.6	116 30.2	2 0.5	4 1.0	17 4.4
(42) 職員の資質向上	163 42.4	87 22.7	108 28.1	4 1.0	5 1.3	17 4.4
(43) 公共施設の適正な配置	122 31.8	100 26.0	141 36.7	- -	5 1.3	16 4.2
(44) 行政機関のデジタル化	120 31.3	80 20.8	150 39.1	8 2.1	10 2.6	16 4.2
(45) 財政運営の適正化	131 34.1	91 23.7	140 36.5	3 0.8	3 0.8	16 4.2
(46) 近隣自治体との連携強化	96 25.0	79 20.6	171 44.5	12 3.1	10 2.6	16 4.2

上段:回答数 下段: %

第1章 市民意識調査

問12-2 問12の(1)から(46)までのうち、優先して取り組むべき施策(それぞれ単一回答形式)

「1位」を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として換算し、得点化する形で集計を行った。

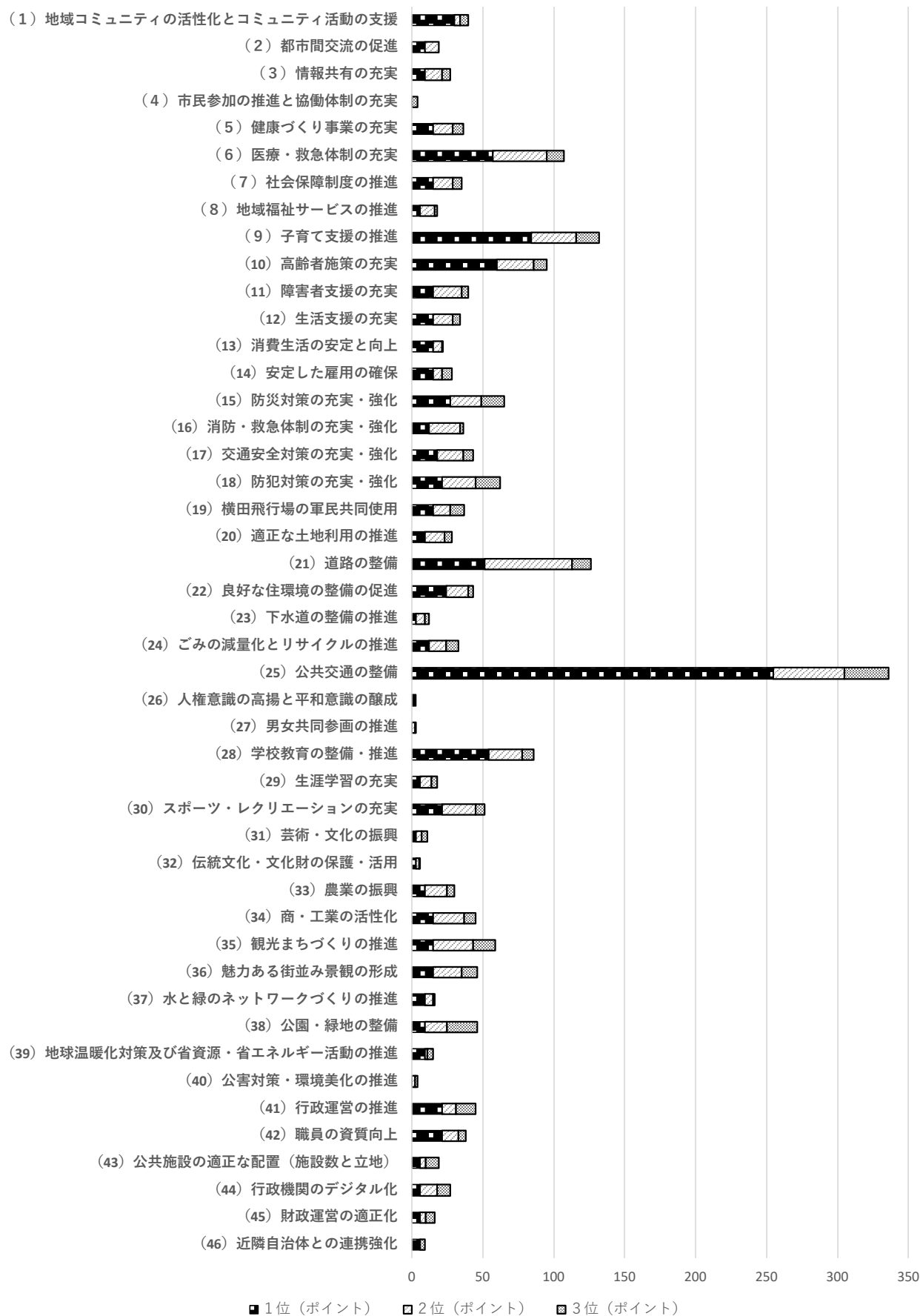
- 「1位」を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として換算したポイント数で各項目をみると、「(25) 公共交通の整備」が 最多で 336 ポイント、次いで、「(9) 子育て支援の推進」が 132 ポイント、「(21) 道路の整備」が 126 ポイントとなっています。なお、問 12 で挙げた、今後重点的に取り組むべき施策については、「(25) 公共交通の整備」、「(21) 道路の整備」、「(6) 医療・救急体制の充実」、「(15) 防災対策の充実・強化」、「(33) 農業の振興」、「(37) 水と緑のネットワークづくりの推進」の順に優先的な対応が求められていると言えます。

カテゴリ	件数			ポイント
	1 位	2 位	3 位	
(1) 地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援	10	2	6	40
(2) 都市間交流の促進	3	5	0	19
(3) 情報共有の充実	3	6	6	27
(4) 市民参加の推進と協働体制の充実	0	0	4	4
(5) 健康づくり事業の充実	5	7	7	36
(6) 医療・救急体制の充実	19	19	12	107
(7) 社会保障制度の推進	5	7	6	35
(8) 地域福祉サービスの推進	2	5	2	18
(9) 子育て支援の推進	28	16	16	132
(10) 高齢者施策の充実	20	13	9	95
(11) 障害者支援の充実	5	10	5	40
(12) 生活支援の充実	5	7	5	34
(13) 消費生活の安定と向上	5	3	1	22
(14) 安定した雇用の確保	5	3	7	28
(15) 防災対策の充実・強化	9	11	16	65
(16) 消防・救急体制の充実・強化	4	11	2	36
(17) 交通安全対策の充実・強化	6	9	7	43
(18) 防犯対策の充実・強化	7	12	17	62
(19) 横田飛行場の軍民共同使用	5	6	10	37
(20) 適正な土地利用の推進	3	7	5	28
(21) 道路の整備	17	31	13	126
(22) 良好な住環境の整備の促進	8	8	3	43
(23) 下水道の整備の推進	1	3	3	12
(24) ごみの減量化とリサイクルの推進	4	6	9	33
(25) 公共交通の整備	85	25	31	336

カテゴリ	件数			ポイント
	1 位	2 位	3 位	
(26) 人権意識の高揚と平和意識の醸成	1	0	0	3
(27) 男女共同参画の推進	0	1	1	3
(28) 学校教育の整備・推進	18	12	8	86
(29) 生涯学習の充実	2	4	4	18
(30) スポーツ・レクリエーションの充実	7	12	6	51
(31) 芸術・文化の振興	1	2	4	11
(32) 伝統文化・文化財の保護・活用	1	1	1	6
(33) 農業の振興	3	8	5	30
(34) 商・工業の活性化	5	11	8	45
(35) 観光まちづくりの推進	5	14	16	59
(36) 魅力ある街並み景観の形成	5	10	11	46
(37) 水と緑のネットワークづくりの推進	3	3	1	16
(38) 公園・緑地の整備	3	8	21	46
(39) 地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進	3	1	4	15
(40) 公害対策・環境美化の推進	0	1	2	4
(41) 行政運営の推進	7	5	14	45
(42) 職員の資質向上	7	6	5	38
(43) 公共施設の適正な配置（施設数と立地）	2	2	9	19
(44) 行政機関のデジタル化	2	6	9	27
(45) 財政運営の適正化	2	2	6	16
(46) 近隣自治体との連携強化	2	0	3	9
無回答	41	43	44	-
合計	384	384	384	-

※表中グレー部分は獲得ポイント数のトップ3を表す。

第1章 市民意識調査

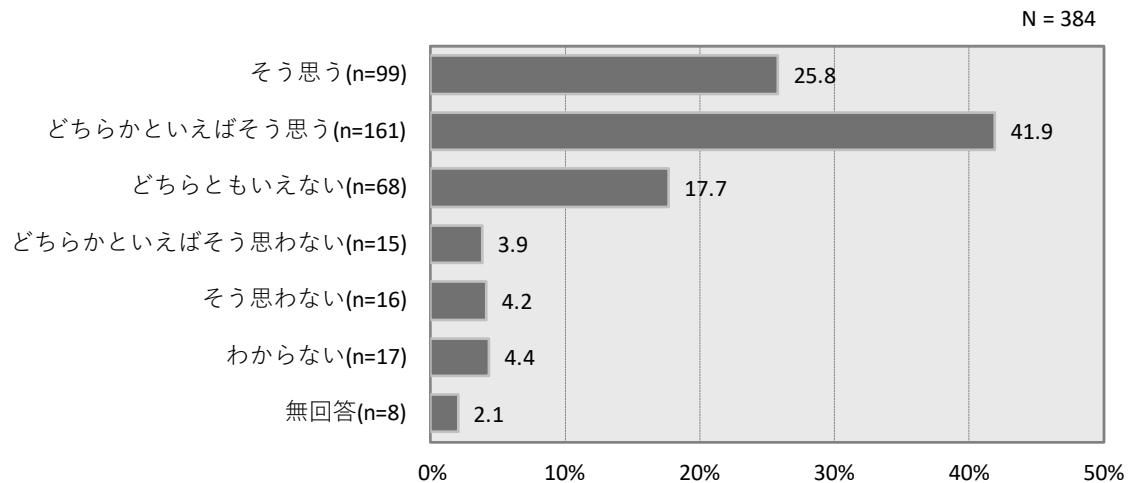


4. 武蔵村山市のまちづくりの施策について

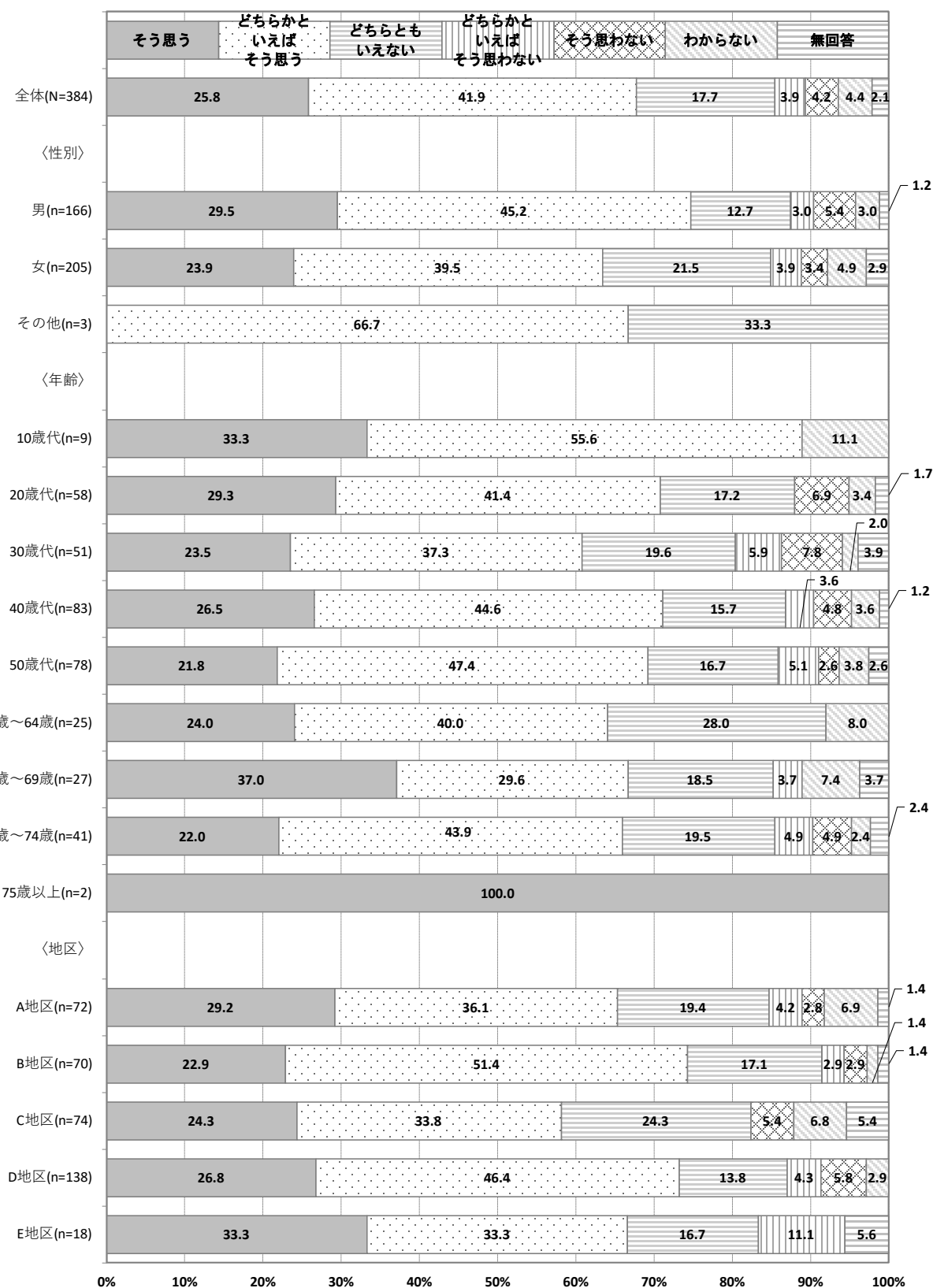
4-1 市民との協働による地域振興

問 13 地域の課題は地域の人々が互いに協力して解決すべきか（単一回答形式）

- 「どちらかといえばそう思う」が最多で41.9%、次いで、「そう思う」が25.8%、「どちらともいえない」が17.7%となっています。

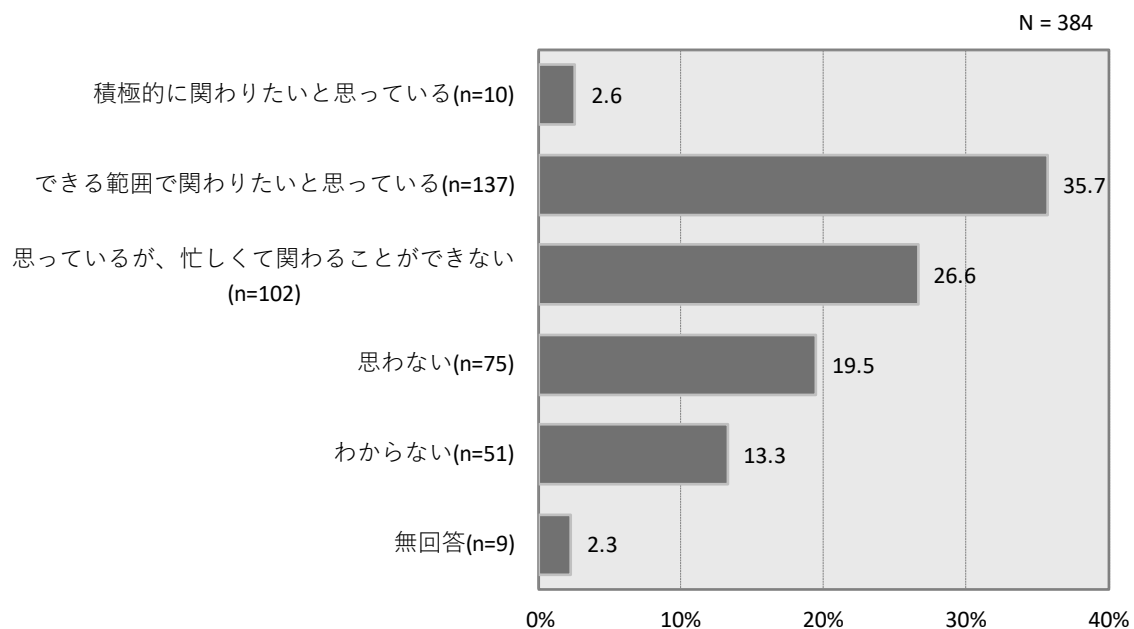


第1章 市民意識調査

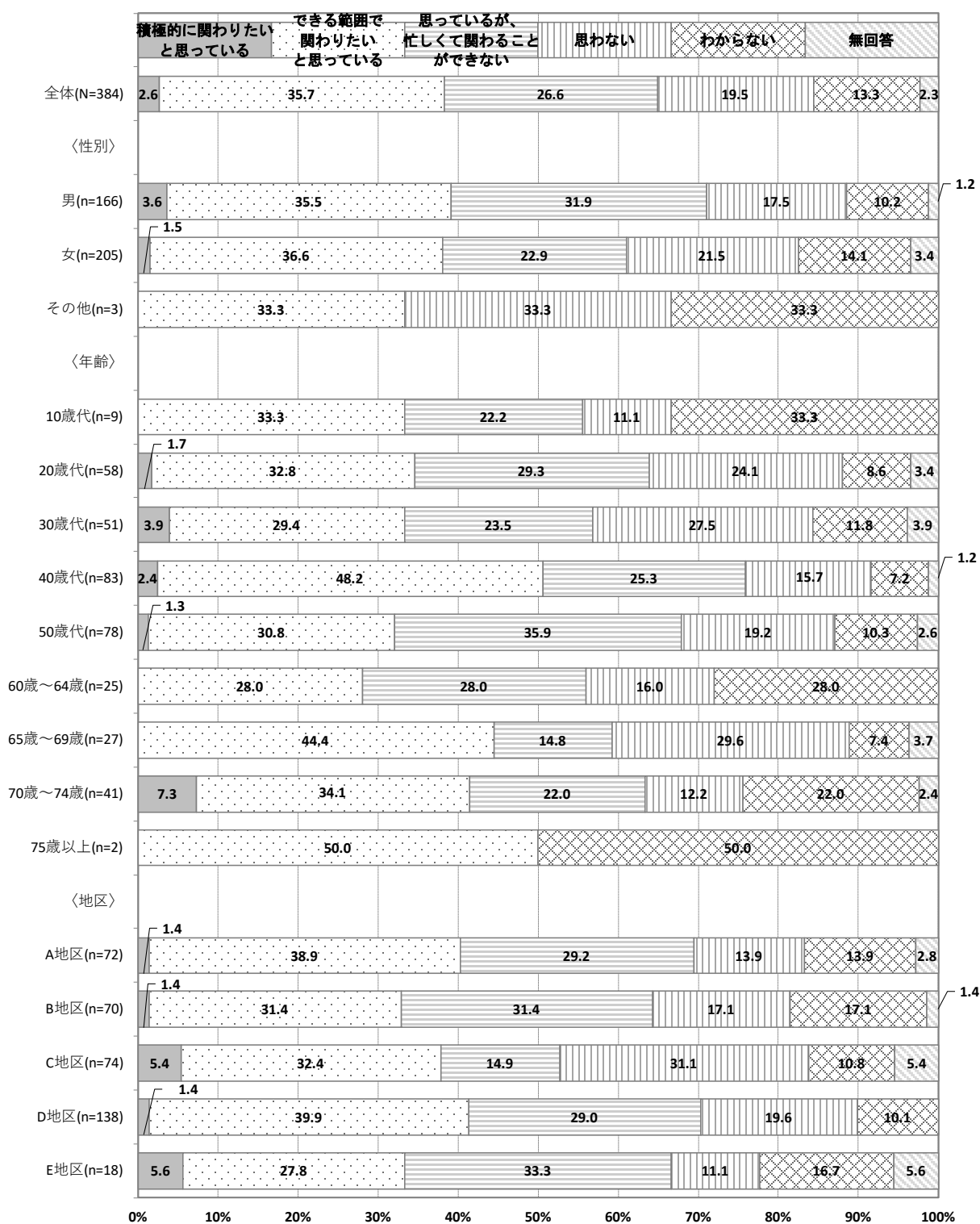


問 14 地域の課題解決のために、何か関わりを持ちたいか（単一回答形式）

- 「できる範囲で関わりたいと思っている」が最多で 35.7%、次いで、「思っているが、忙しくて関わるできない」が 26.6%、「思わない」が 19.5%となっています。

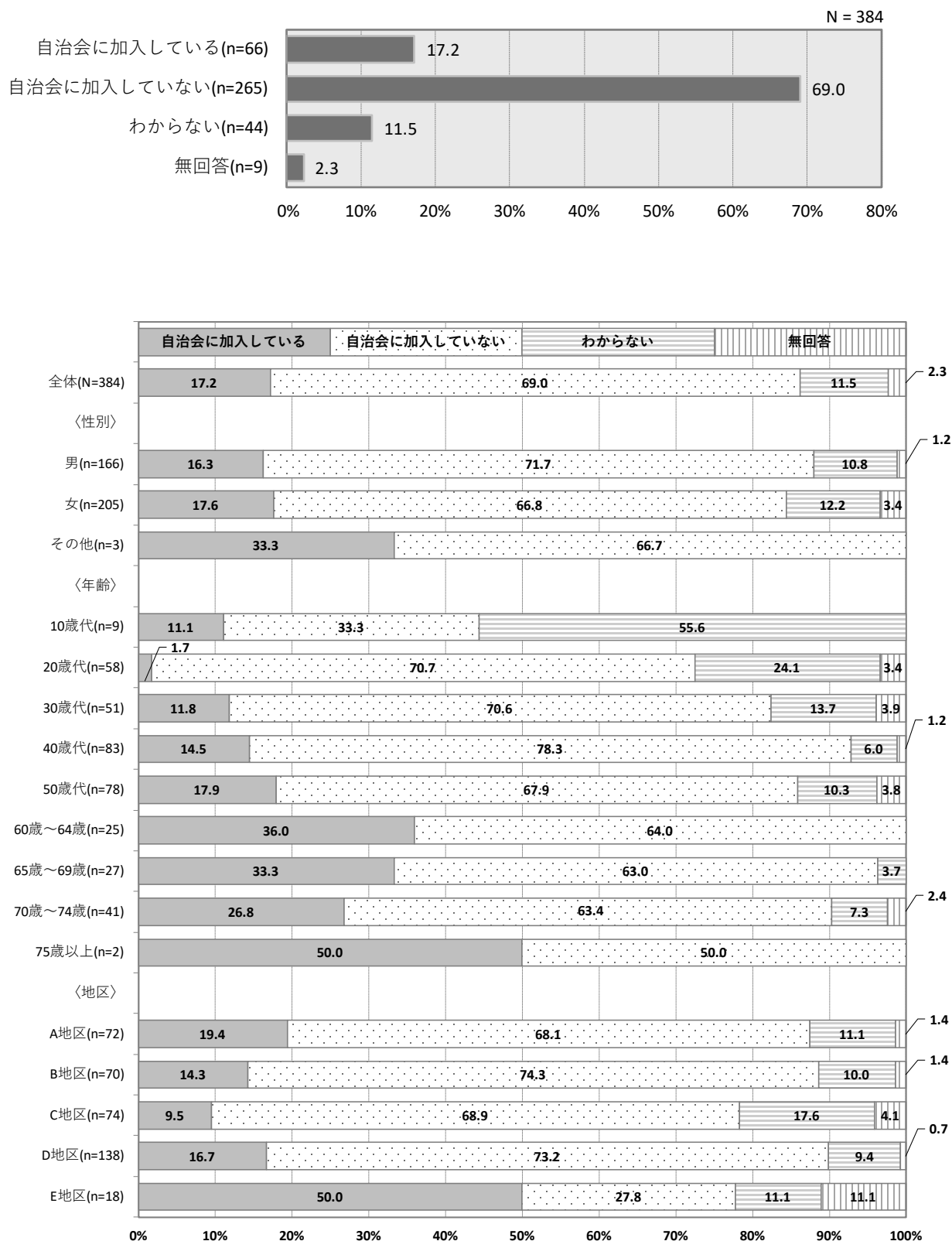


第1章 市民意識調査



問 15 地域の自治会に加入しているか（単一回答形式）

- 「自治会に加入していない」が最多で69.0%、次いで、「自治会に加入している」が17.2%、「わからない」が11.5%となっています。

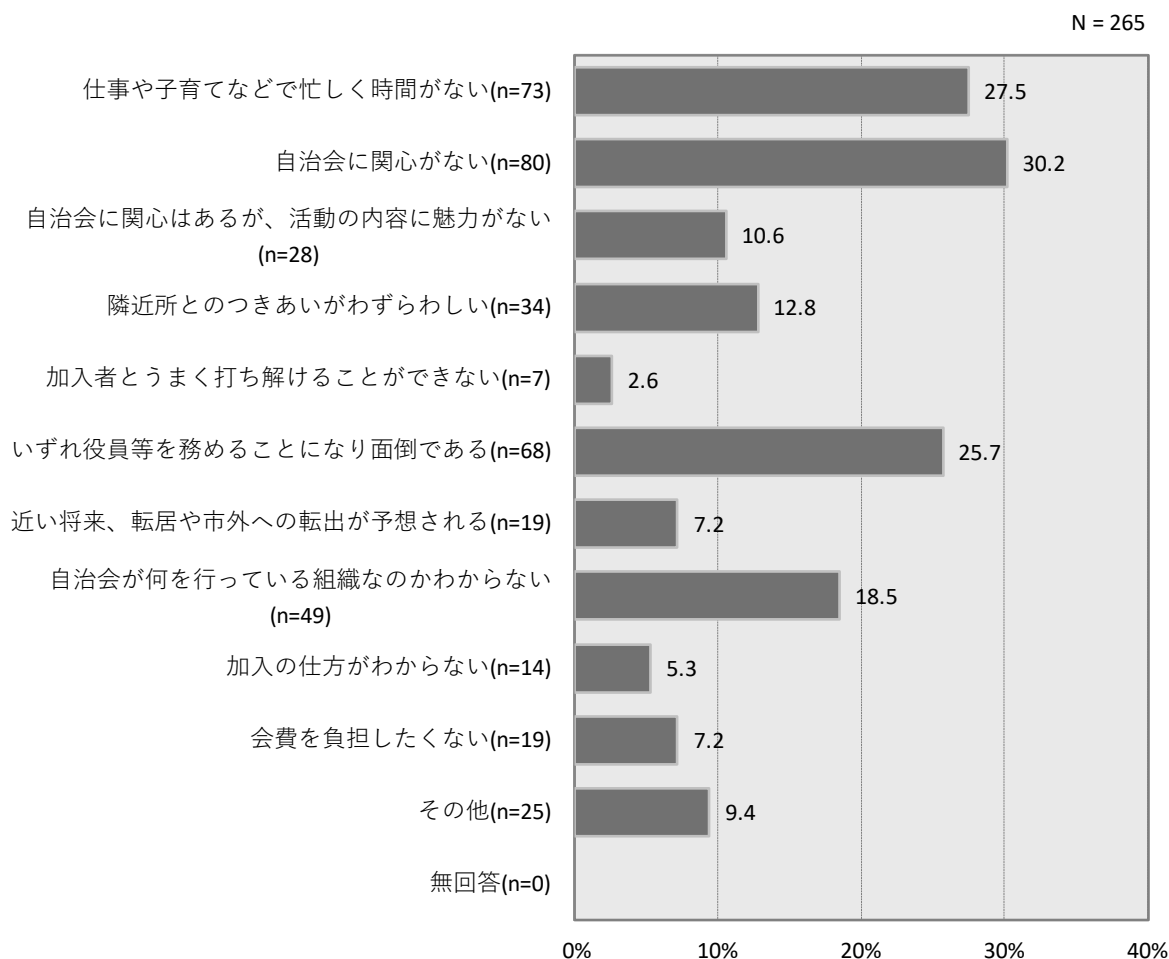


第1章 市民意識調査

問 15-2 地域の自治会に加入していない理由（複数回答形式）

【「問 15」で、「自治会に加入していない」の場合のみ回答】

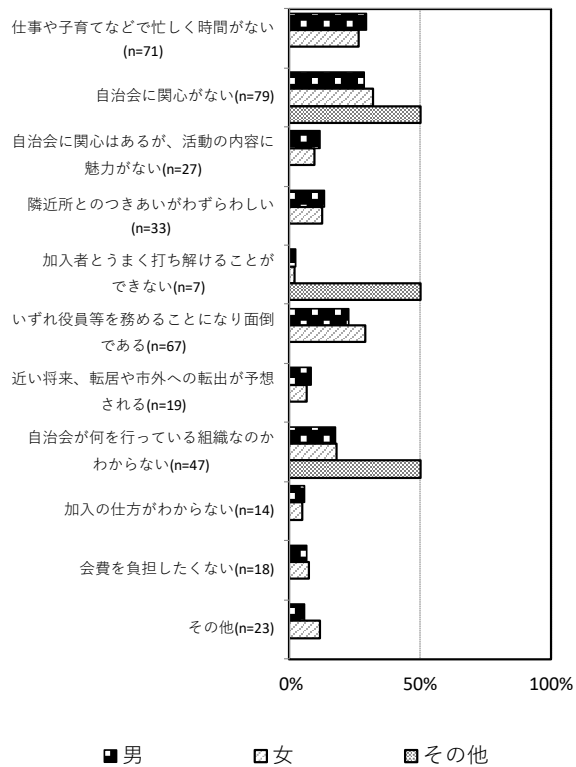
- 「自治会に関心がない」が最多で 30.2%、次いで、「仕事や子育てなどで忙しく時間がない」が 27.5%、「いずれ役員等を務めることになり面倒である」が 25.7%となっています。



〈その他の回答〉

- ・自治会のことを知らない。
- ・病気のため
- ・仕事で活動に参加できない。
- ・自治会の考え方と合わなかった。
- ・自治会の会長、役員のやる気を感じないから。
- ・自治会がない。
- ・人数が多いとかで入れてもらえなかった。
- ・アパート暮らしで声がかかったことがない。
- ・出張が多い。
- ・数年前に自治会がなくなったと聞いている。
- ・知らないうちに辞めていたみたいだ。
- ・自治会が活動を止めたため。
- ・加入しなくてもご近所の方と良好に関係が持てている。

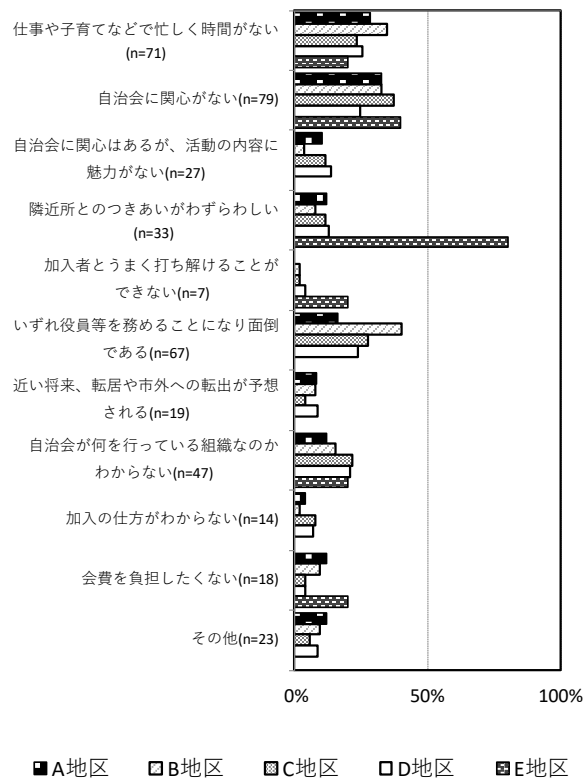
<性別>



<年齢別>



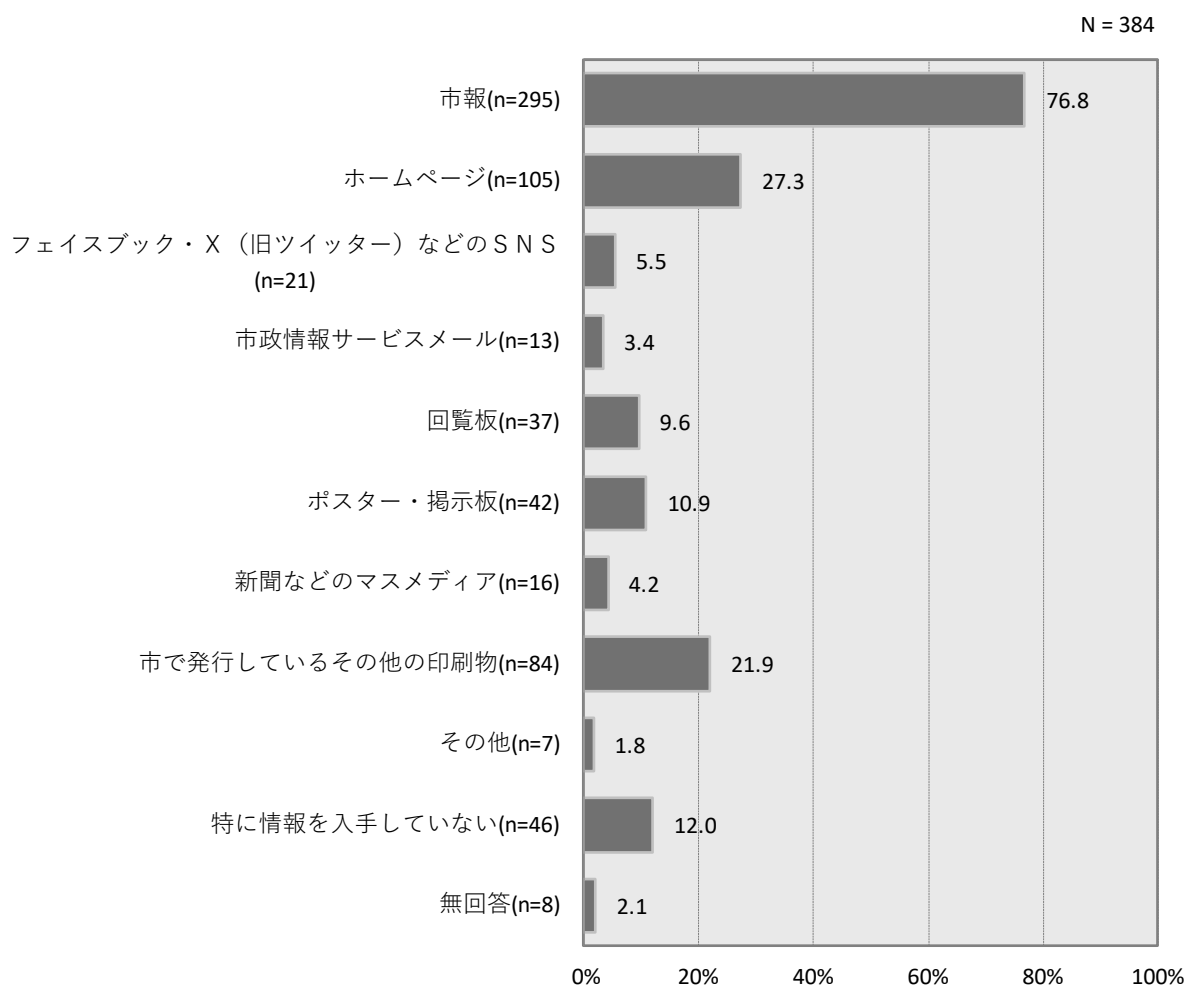
<地区別>



第1章 市民意識調査

問16 市政に関する情報の入手方法（複数回答形式）

- 「市報」が最多で76.8%、次いで、「ホームページ」が27.3%、「市で発行しているその他の印刷物」が21.9%となっています。

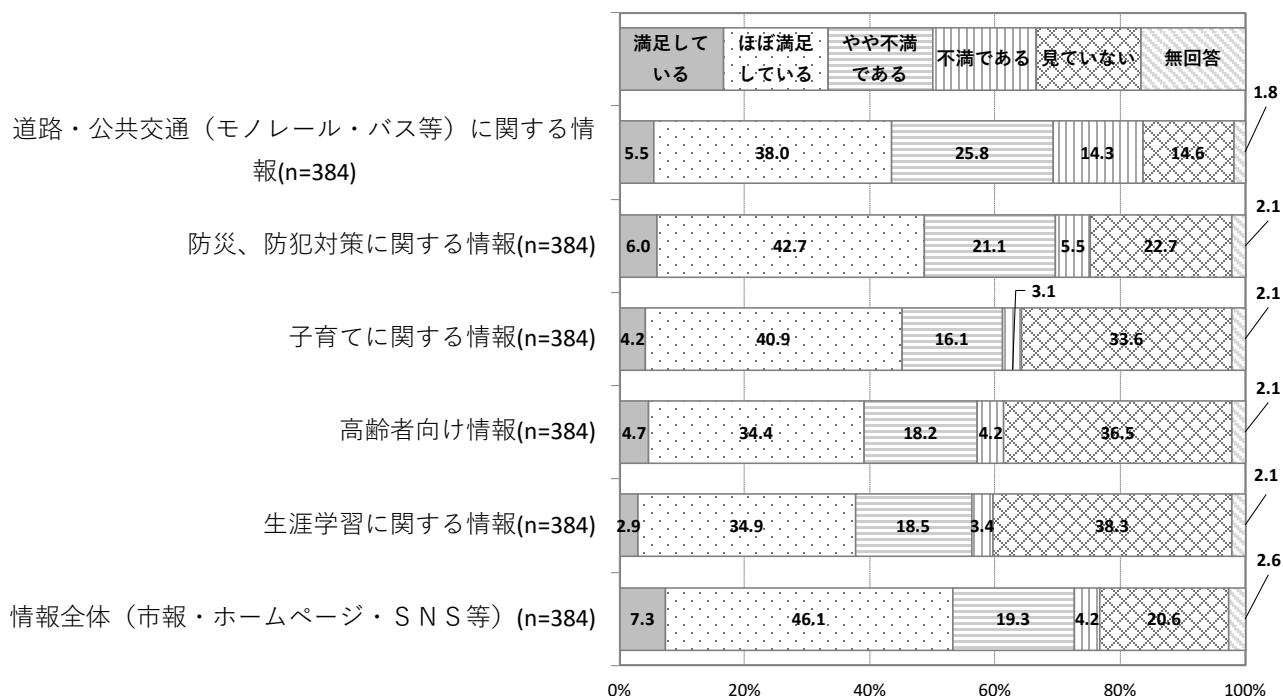


〈その他の回答〉

- ・ 知り合いや議員から入手する。
- ・ 所属する市の委嘱機関より入手する。
- ・ 家人と地域住民との対話より入手する。
- ・ 祖父母から入手する。

問 17 市が発信する情報の満足度（それぞれ単一回答形式）

- 「満足している」と「ほぼ満足している」を合算したとき、「情報全体（市報・ホームページ・SNS等）」が最多で 53.4%、次いで、「防災、防犯対策に関する情報」が 48.7%、「子育てに関する情報」が 45.1%となっています。



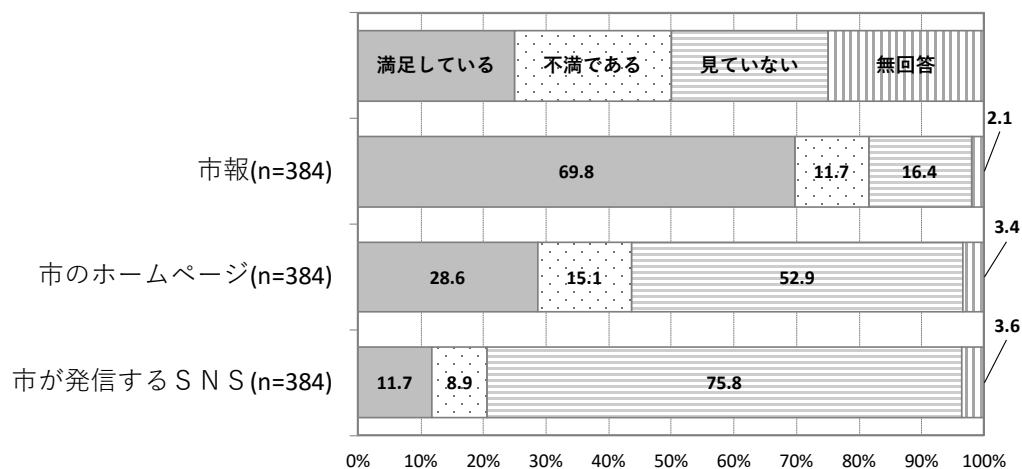
	満足している	ほぼ満足している	やや不満である	不満である	見ていない	無回答
道路・公共交通（モノレール・バス等）に関する情報	21 5.5	146 38.0	99 25.8	55 14.3	56 14.6	7 1.8
防災、防犯対策に関する情報	23 6.0	164 42.7	81 21.1	21 5.5	87 22.7	8 2.1
子育てに関する情報	16 4.2	157 40.9	62 16.1	12 3.1	129 33.6	8 2.1
高齢者向け情報	18 4.7	132 34.4	70 18.2	16 4.2	140 36.5	8 2.1
生涯学習に関する情報	11 2.9	134 34.9	71 18.5	13 3.4	147 38.3	8 2.1
情報全体（市報・ホームページ・SNS等）	28 7.3	177 46.1	74 19.3	16 4.2	79 20.6	10 2.6

上段:回答数 下段: %

第1章 市民意識調査

問 18 市が活用する情報媒体について、どの程度満足しているか（それぞれ単一回答形式）

- 「満足している」では「市報」が最多で 69.8%、次いで、「市のホームページ」が 28.6%、「市が発信する SNS」が 11.7%となっています。



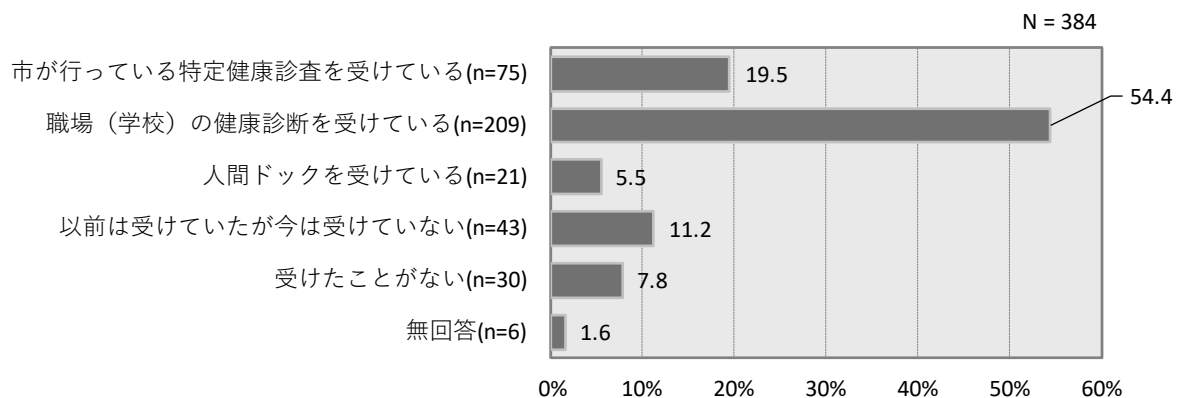
	満足して いる	不満である	見ていない	無回答
市報	268 69.8	45 11.7	63 16.4	8 2.1
市のホームページ	110 28.6	58 15.1	203 52.9	13 3.4
市が発信する SNS	45 11.7	34 8.9	291 75.8	14 3.6

上段:回答数 下段: %

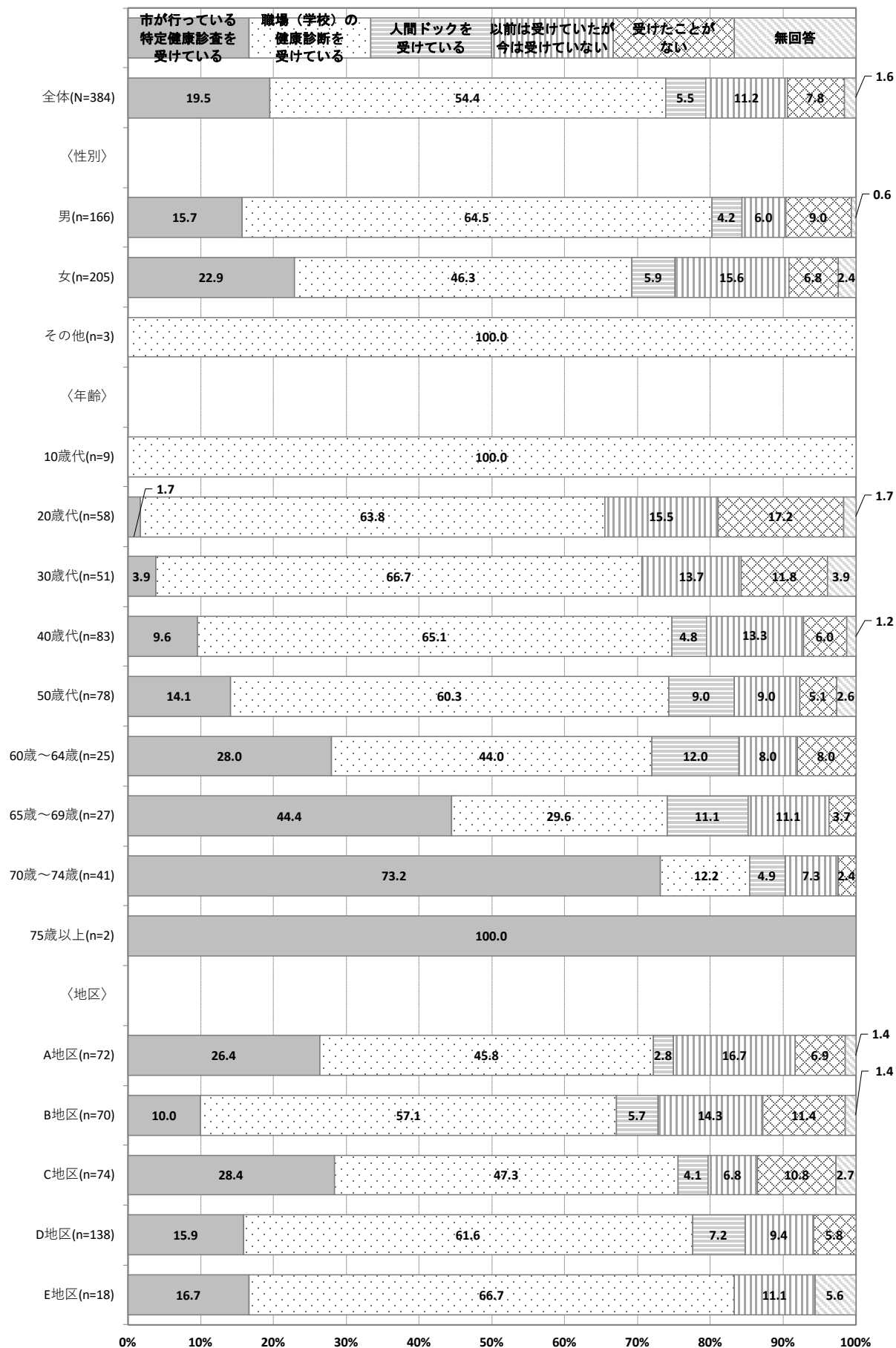
4-2 健康で明るく暮らせるまちづくり

問19 健康診断を受けているか（単一回答形式）

- 「職場（学校）の健康診断を受けている」が最多で 54.4%、次いで、「市が行っている特定健康診断を受けている」が 19.5%、「以前は受けていたが今は受けていない」が 11.2%となっています。

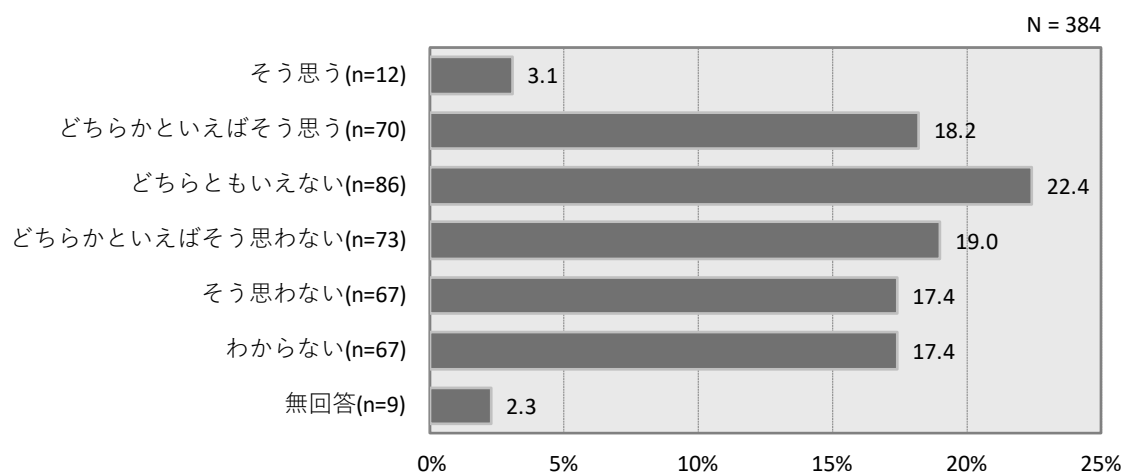


第1章 市民意識調査

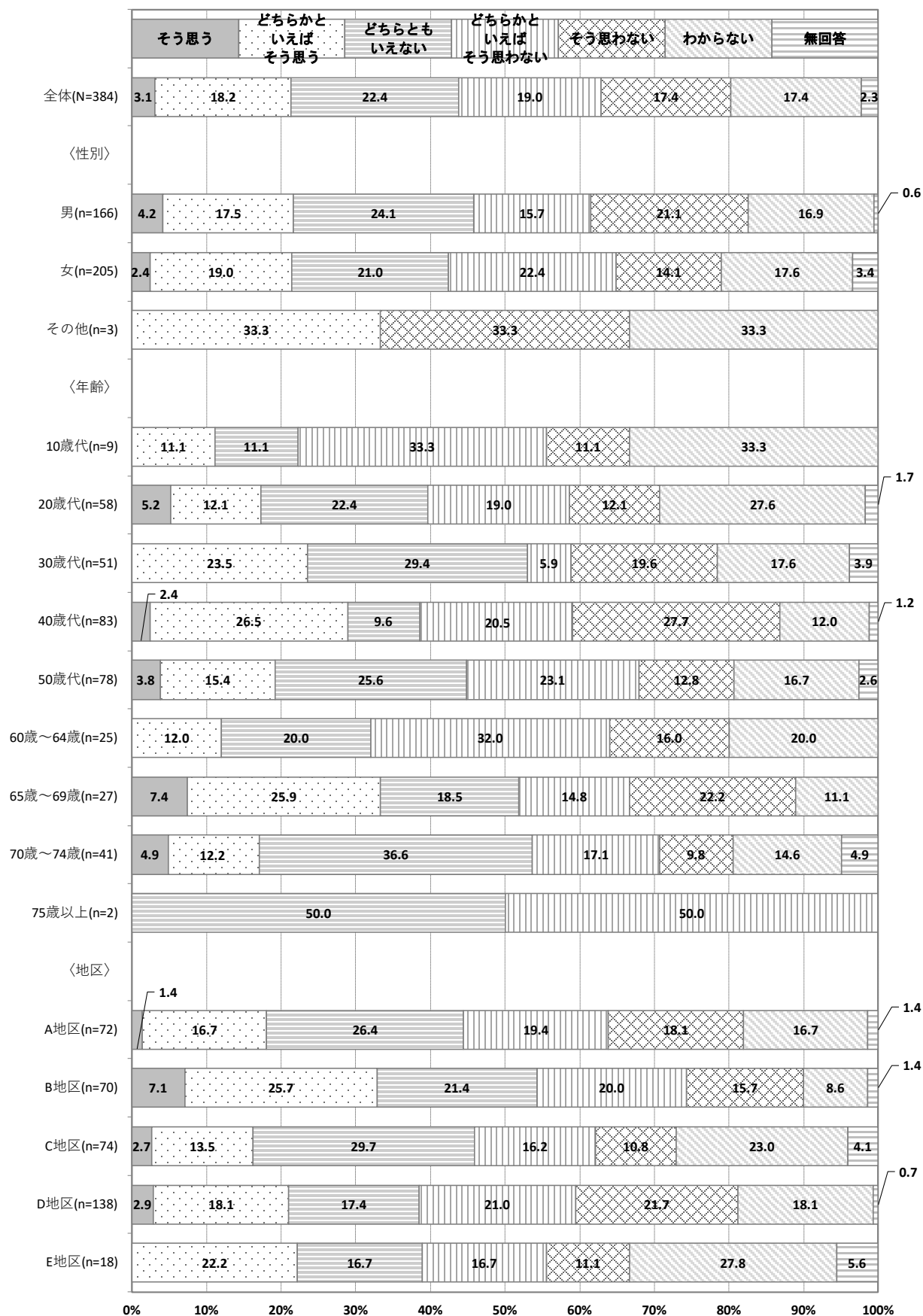


問 20 市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思うか（単一回答形式）

- 「どちらともいえない」が最多で 22.4%、次いで、「どちらかといえばそう思わない」が 19.0%、「どちらかといえばそう思う」が 18.2%となっています。



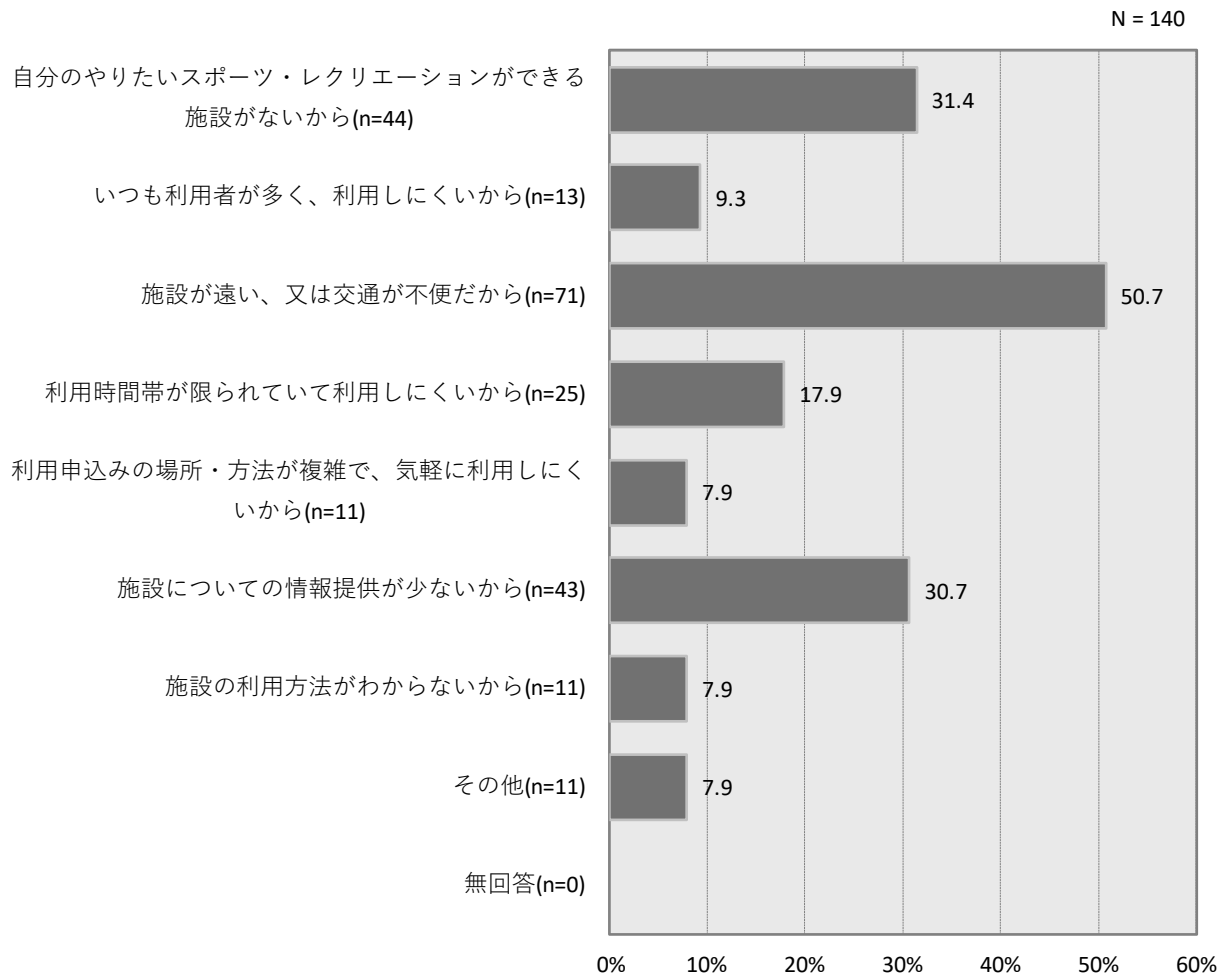
第1章 市民意識調査



問 20-2 市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思わない理由（複数回答形式）

【「問 20」で、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の場合のみ回答】

- 「施設が遠い、又は交通が不便だから」が最多で 50.7%、次いで、「自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから」が 31.4%、「施設についての情報提供が少ないから」が 30.7%となっています。



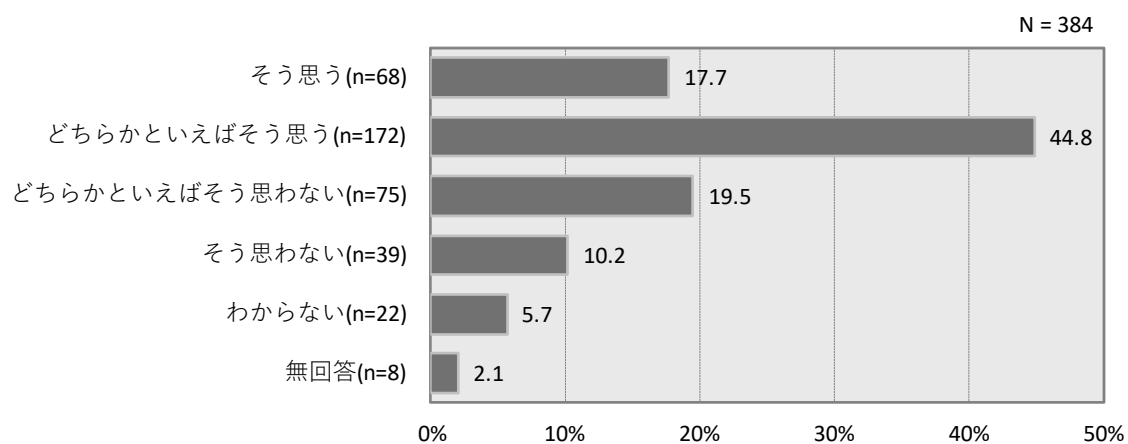
〈その他の回答〉

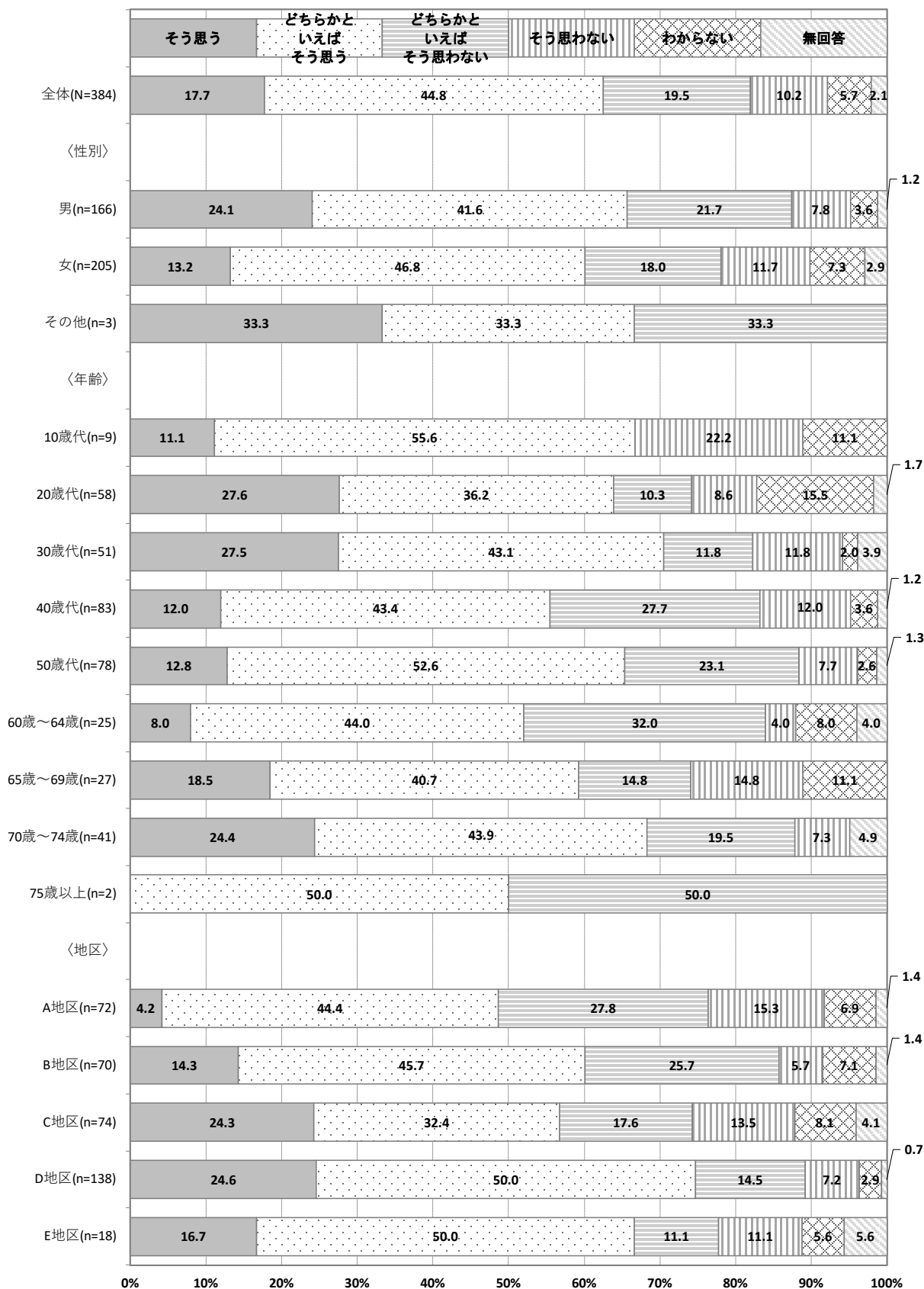
- ・ 旧青梅街道 本町～瑞穂方面に偏っている。
- ・ 施設利用したいが、市の施設なのに管理者側の都合等により使用できない不公平が存在しているから。
- ・ 施設をもう少し増やしてほしい。体育館等。又は小中学校の体育館を週末開放すること
- ・ ほぼ全部当てはまる。
- ・ 市でありながら、温水プール（室内プール）がないこと。
- ・ 以前は近くにあったがなくなってしまった。
- ・ 体育館利用の抽選の受付方法に不満だ。
- ・ 古い。
- ・ 少年野球で大変お世話になっているが子どもたちがボールで遊べる場所が少なく困っている。球場ではなくボール遊びできる場の提供をお願いしたい。
- ・ 温水プールがない。

第1章 市民意識調査

問 21 市内に病院や診療所等の医療機関が身近に整っていると思うか（単一回答形式）

- 「どちらかといえばそう思う」が最多で 44.8%、次いで、「どちらかといえばそう思わない」が 19.5%、「そう思う」が 17.7%となっています。

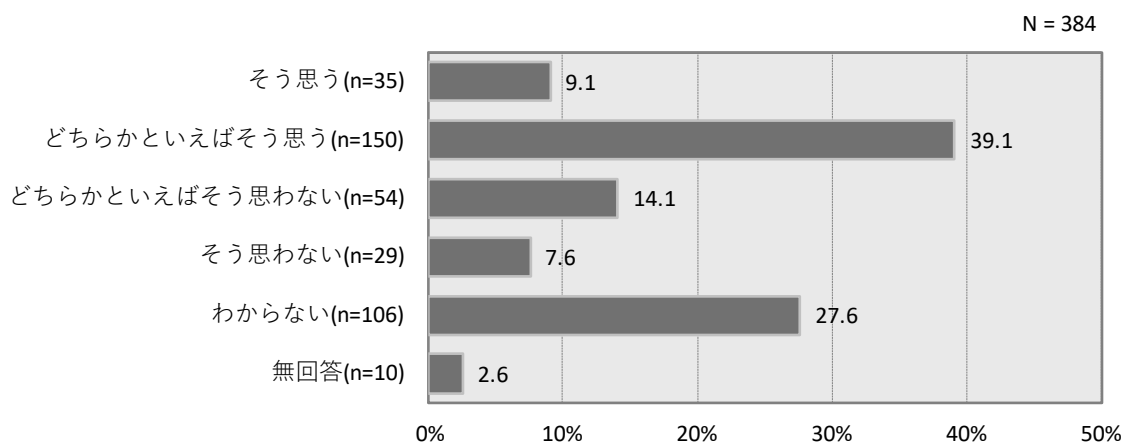




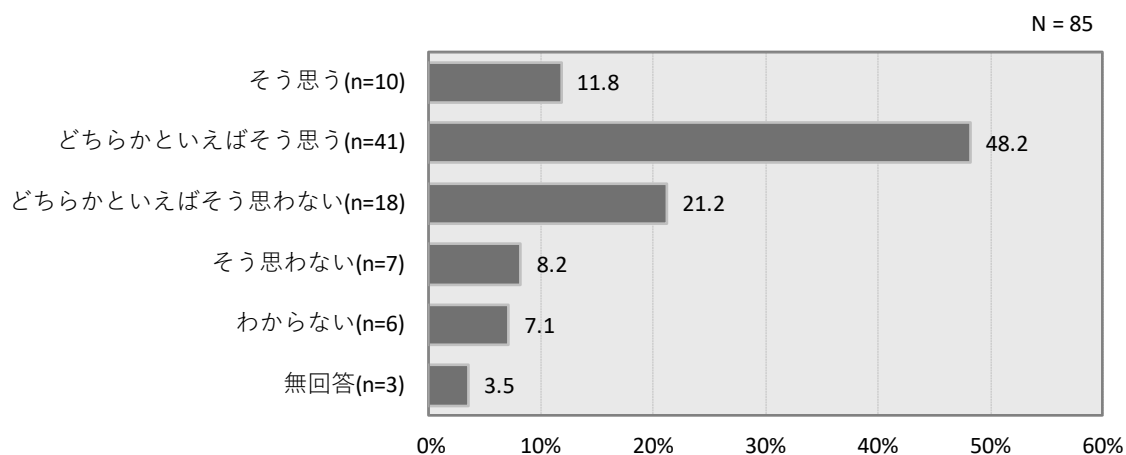
第1章 市民意識調査

問 22 武蔵村山市は、安心して子育てしやすいまちだと思うか（単一回答形式）

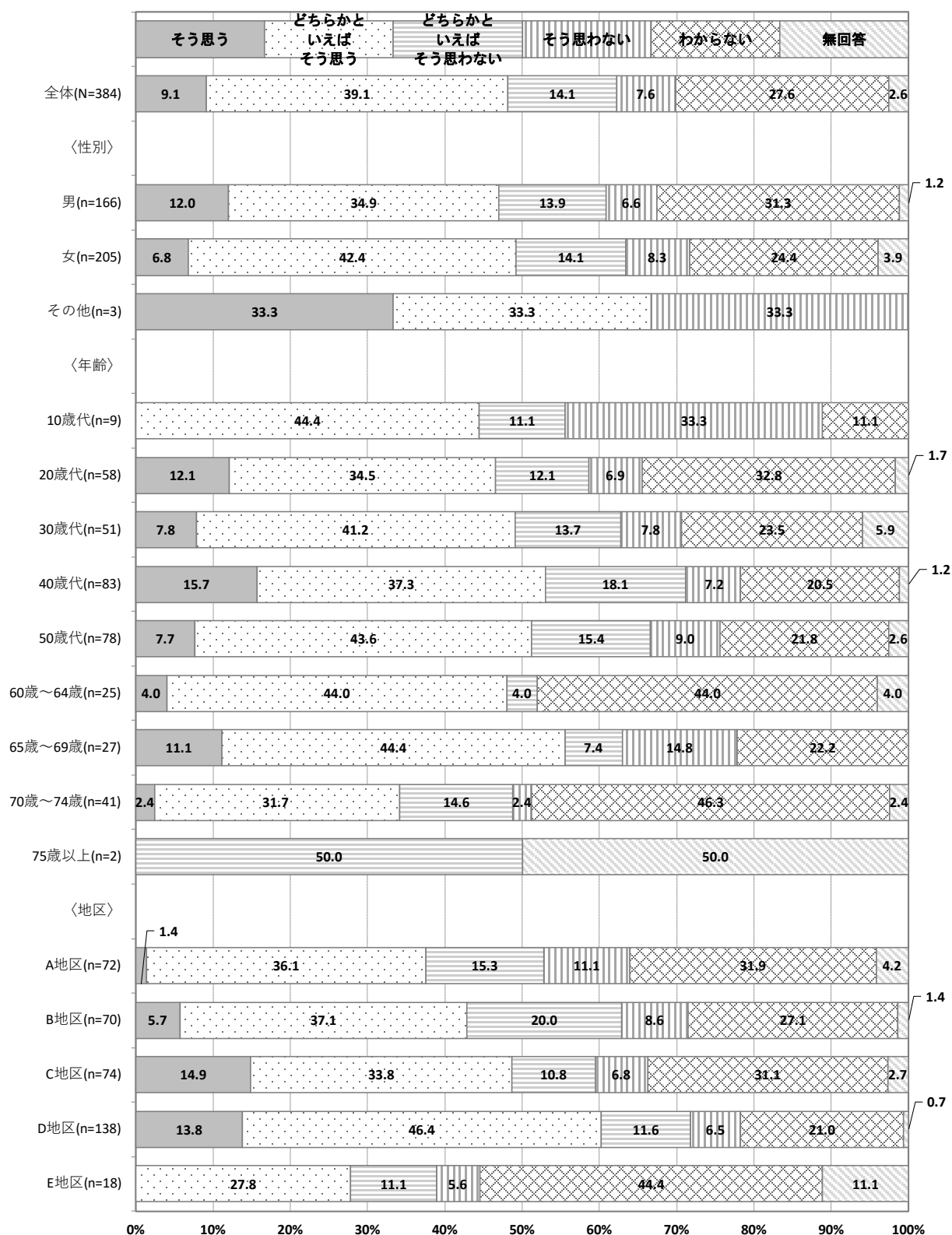
- 「どちらかといえばそう思う」が最多で 39.1%、次いで、「わからない」が 27.6%、「どちらかといえばそう思わない」が 14.1%となっています。



- 「乳幼児・未就学児」または「小学生・中学生」と一緒にお住まいの方については、「どちらかといえばそう思う」が最多で 48.2%、次いで、「どちらかといえばそう思わない」が 21.2%、「そう思う」が 11.8%となっています。



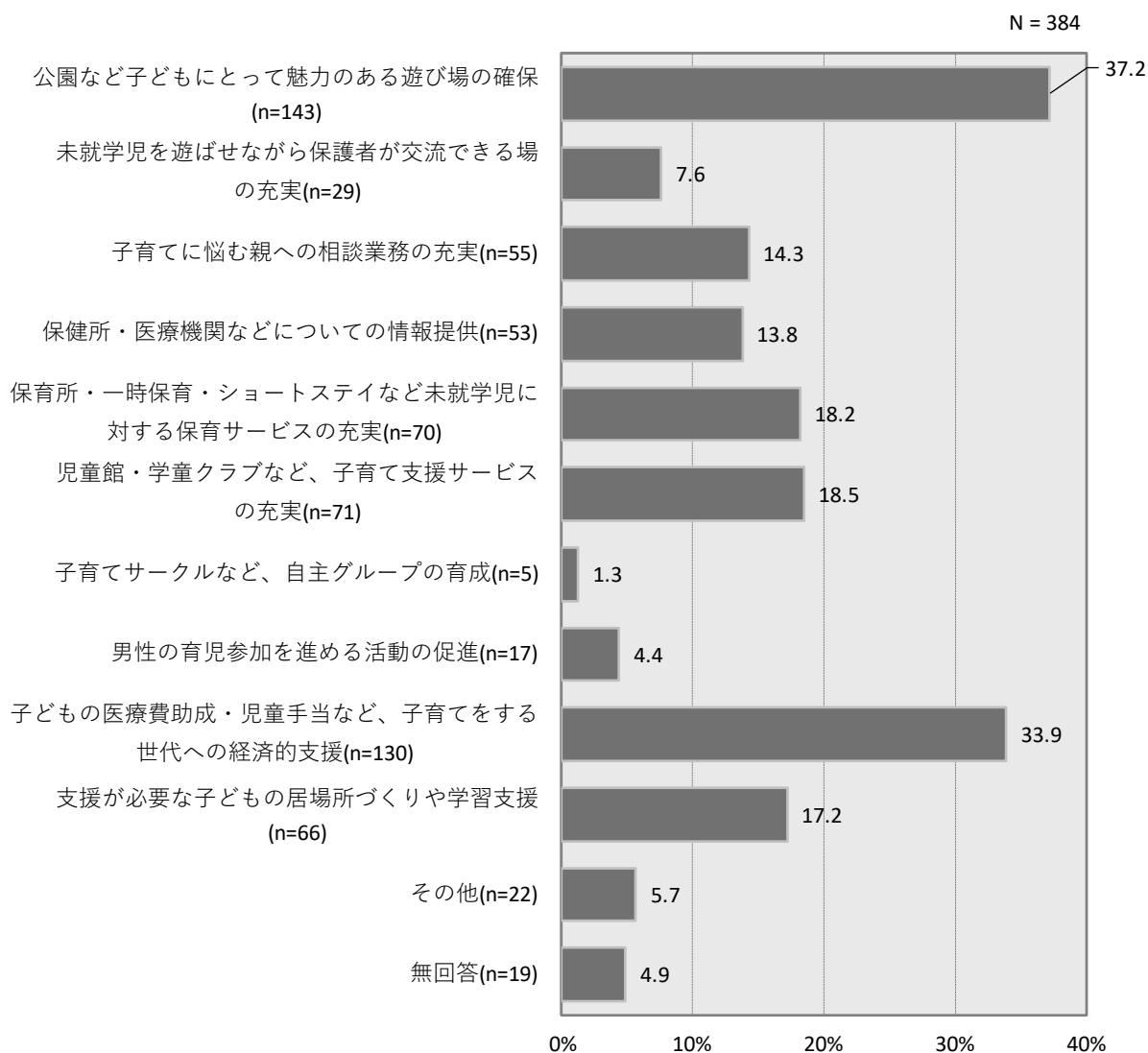
※「問 7」で、「乳幼児・未就学児」または「小学生・中学生」の場合のみ集計



第1章 市民意識調査

問23 安心して子育てを行うために市がすべきこと（複数回答形式）

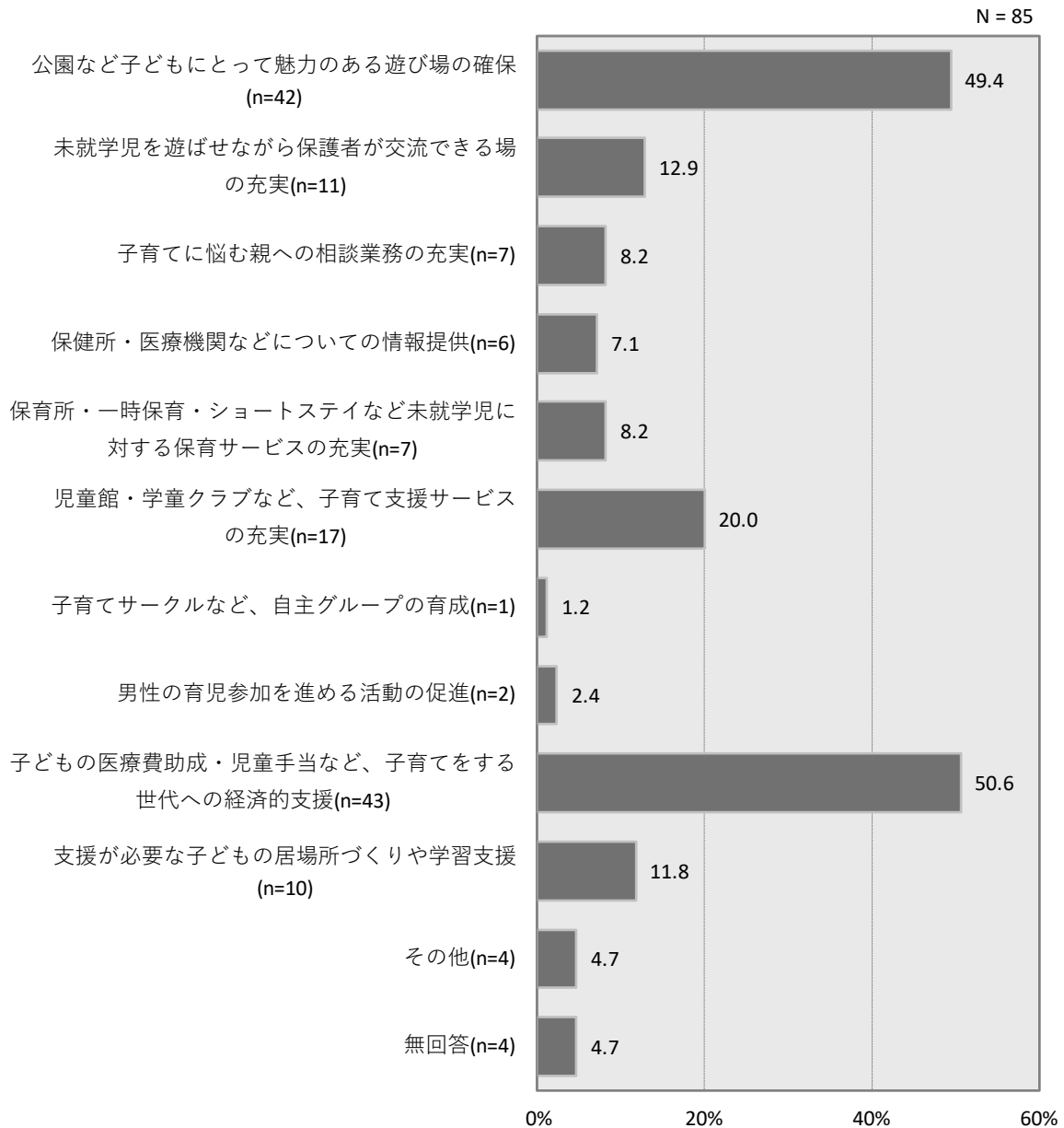
- 「公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保」が最多で 37.2%、次いで、「子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」が 33.9%、「児童館・学童クラブなど、子育て支援サービスの充実」が 18.5%となっています。



〈その他の回答〉

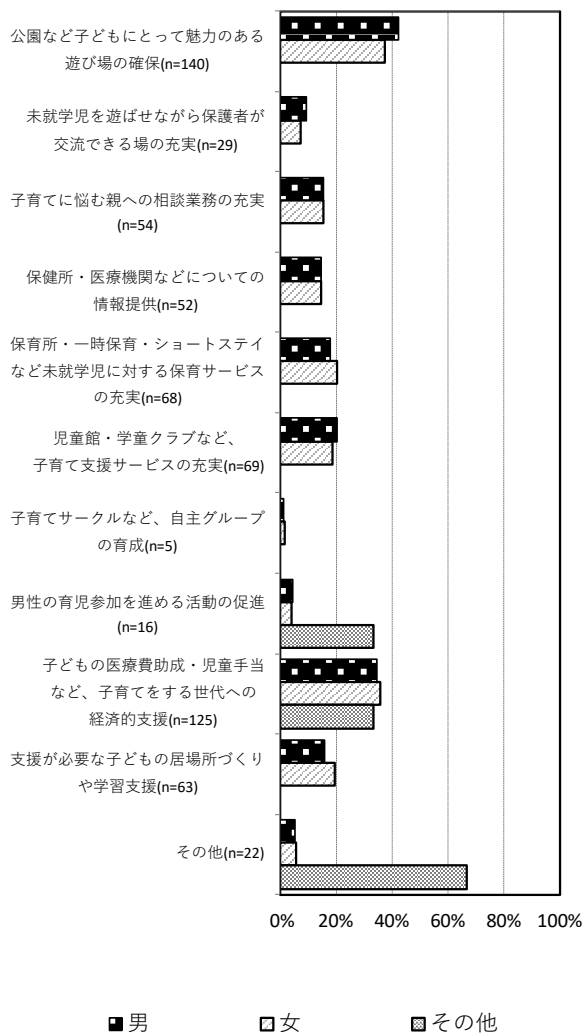
- ・ 子どもがいないのでわからない。
- ・ 市管理で遊具やバーベキュー等出来る公園があれば嬉しい。
- ・ 学費無償。
- ・ 未就学児を家で育てたい家庭への経済的支援。
- ・ 街灯を増やして防犯力 UP（暗い道が多いから）。
- ・ 校庭の開放。
- ・ 働く上で病児保育の時間を早めて欲しい。駅まで遠いのに 8 時からでは仕事に間に合わないのではないか。
- ・ 道路の整備 歩道が狭かったり、狭く往来の多い車道を子供だけで歩いたり自転車です外出させるのが怖い（他人の子を見ていても怖い時がある）。
- ・ 夏は暑いので室内遊具があると助かる。

- 「乳幼児・未就学児」または「小学生・中学生」と一緒にお住まいの方については、「子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」が最多で 50.6%、次いで、「公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保」が 49.4%、「児童館・学童クラブなど、子育て支援サービスの充実」が 20.0%となっています。

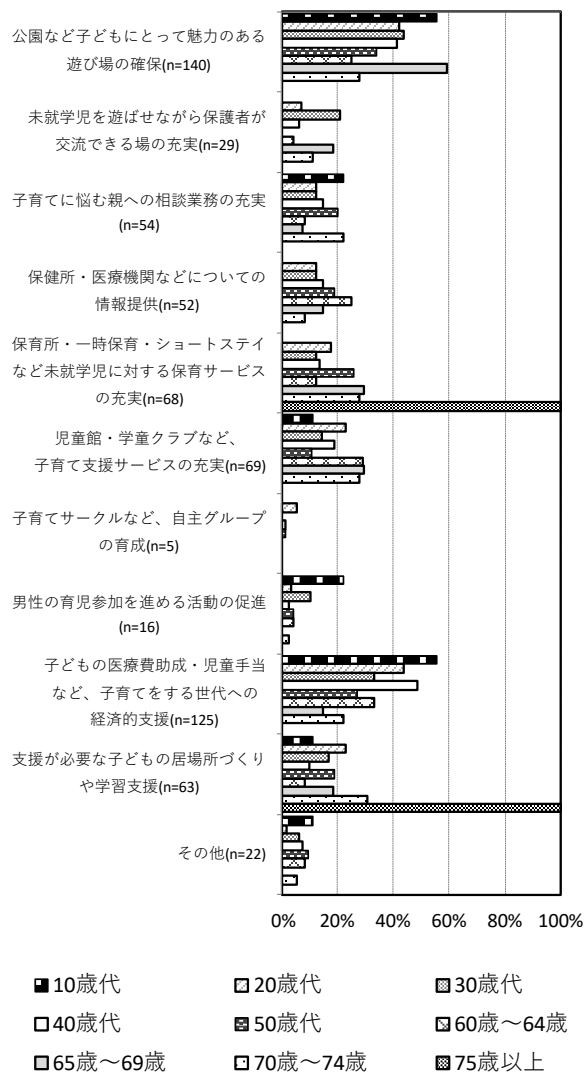


第1章 市民意識調査

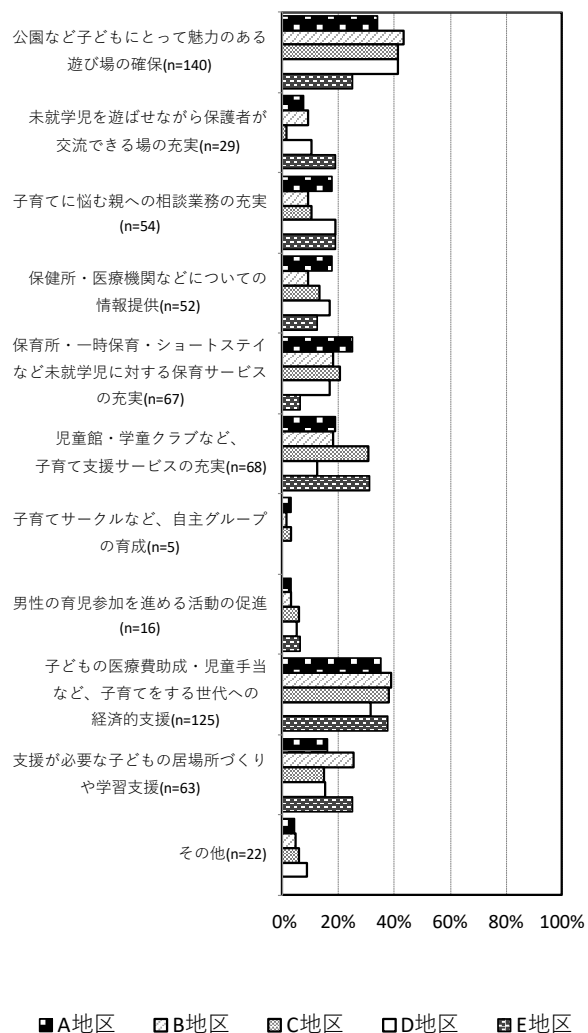
<性別>



<年齢別>



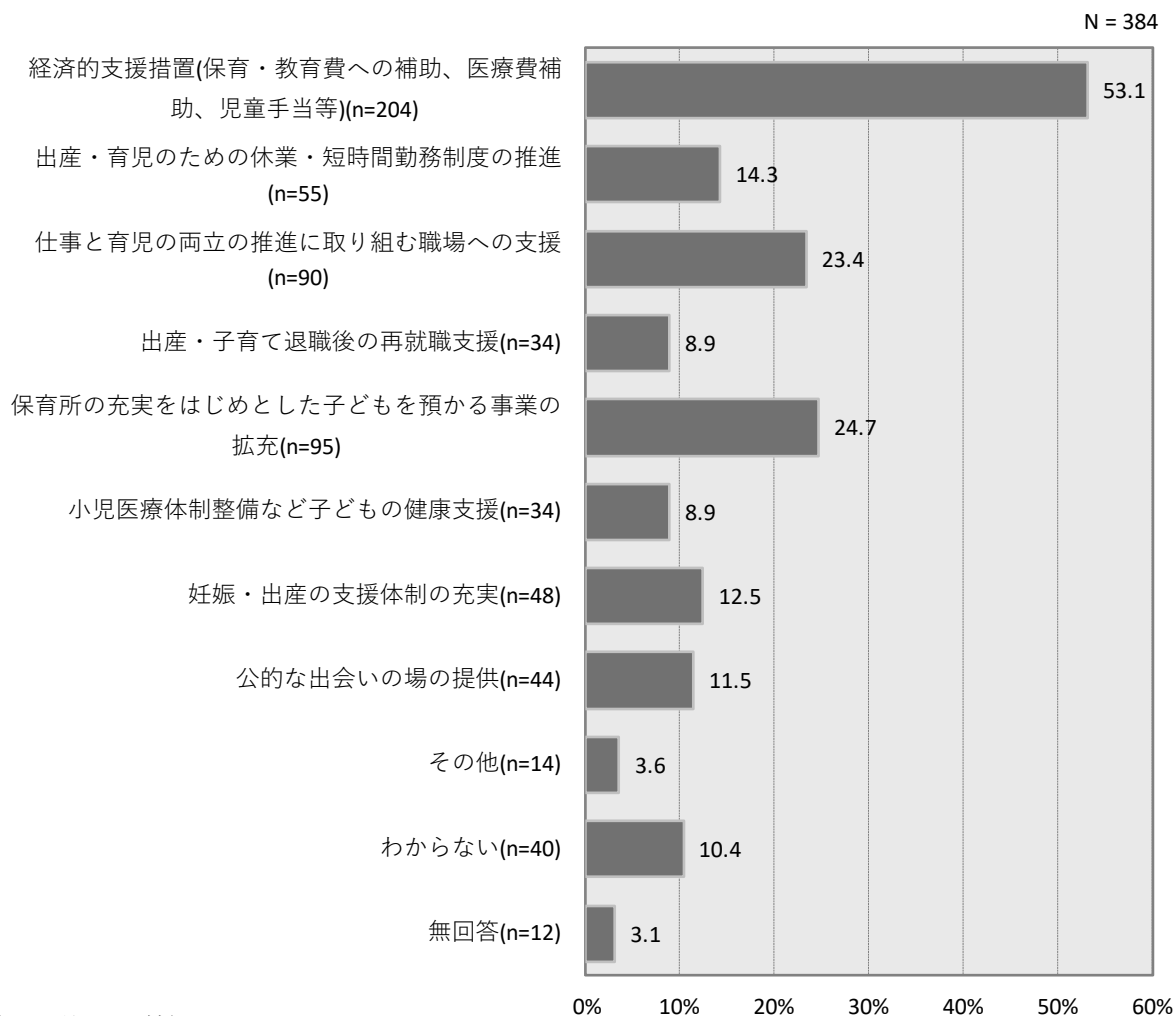
<地区別>



第1章 市民意識調査

問 24 少子化対策としてどのような支援や体制づくりをする必要があるか（複数回答形式）

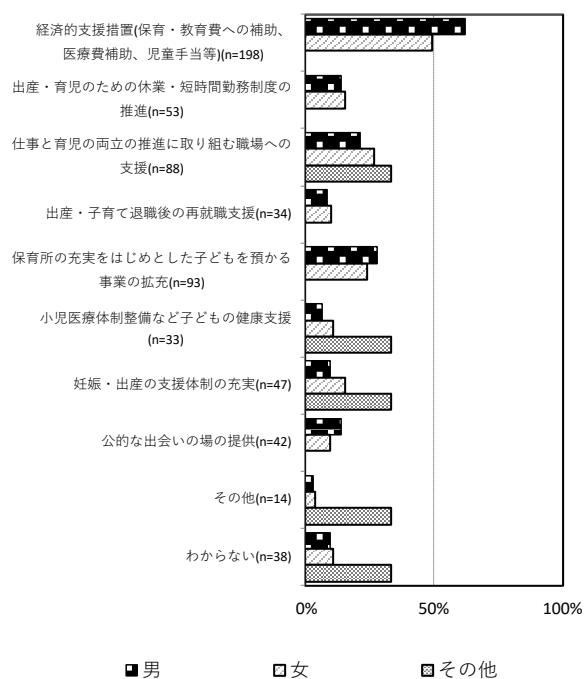
- 「経済的支援措置(保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等)」が最多で 53.1%、次いで、「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」が 24.7%、「仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援」が 23.4%となっています。



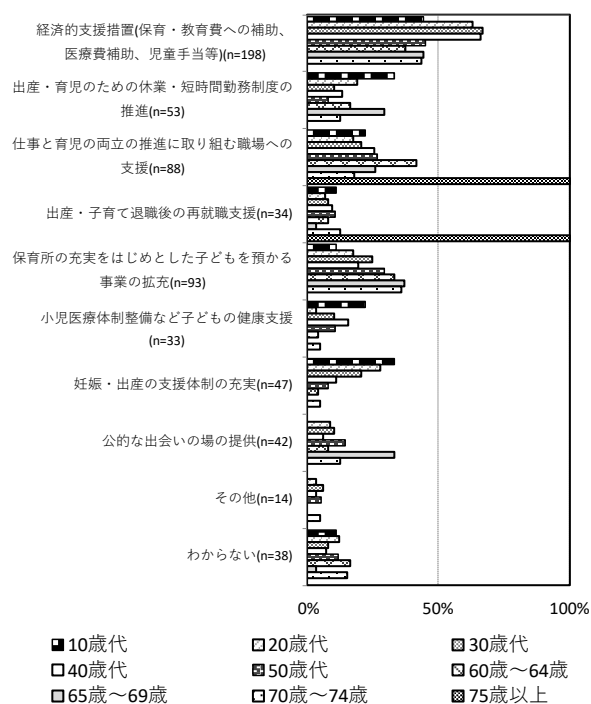
〈その他の回答〉

- ・ PTA の廃止。
- ・ 高校までの教育費の無償、制服、体操着、バッグ等のリサイクル、ヤングケアラーへの対策、相談窓口があるとよい。
- ・ 独自の子育て支援手当金、消費税の還付金制度。
- ・ やっと企画が出てきても自治会任せで若い人がいないからできない。だったら古い考えにとらわれず、若い親子世帯が楽しめる町を作るべき。他の地域からの意見より市民の意に沿う市政をしてほしい。
- ・ 子育て中は住民税、所得税、固定資産税等の免除のような支援を考えてもいいのではないかな。
- ・ 未就学児を家で育てたい家庭への経済支援＋専業主婦でも不安なく子育てできる経済支援。
- ・ 子どもがたくさんいる専業主婦の地位の向上。
- ・ 夫婦でのカウンセリング。
- ・ 大学までの教育費の明確化からどこまで支援するのかを決める。
- ・ 若い世代の非正規社員をなくし、正社員となり経済的に余裕を持てるようにする。自分の生活で精一杯の人が多くのではないかな。
- ・ 出産後すぐに働かなくても良いように男性の給与を上げることが一番大切だと思う。
- ・ 教育の場を充実させる。
- ・ 結婚に対するネガティブ意識の払拭。
- ・ 多子世帯への支援の充実。

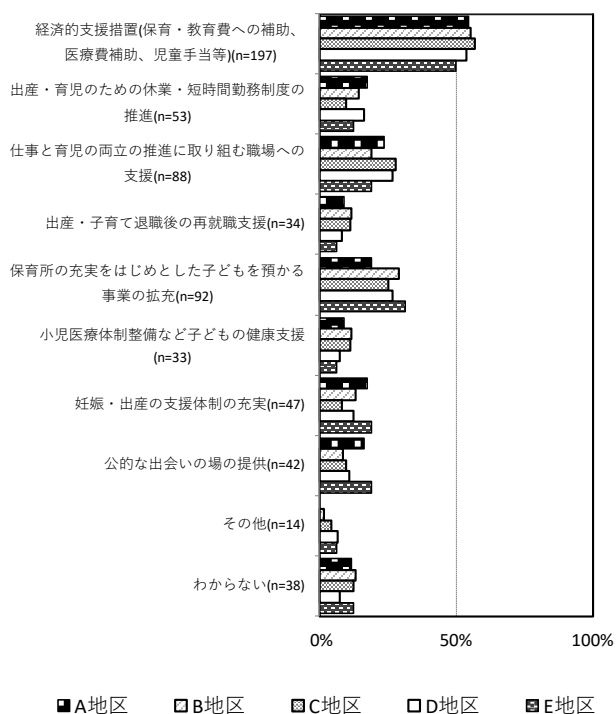
<性別>



<年齢別>



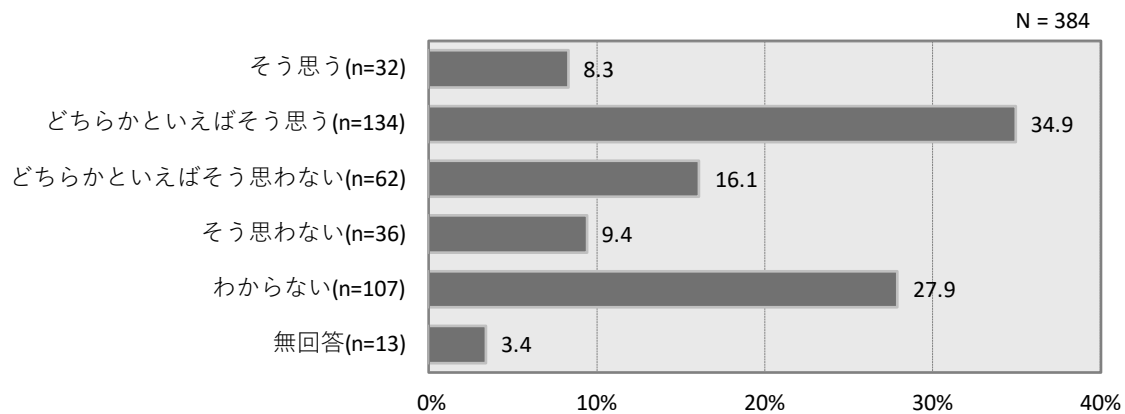
<地区別>

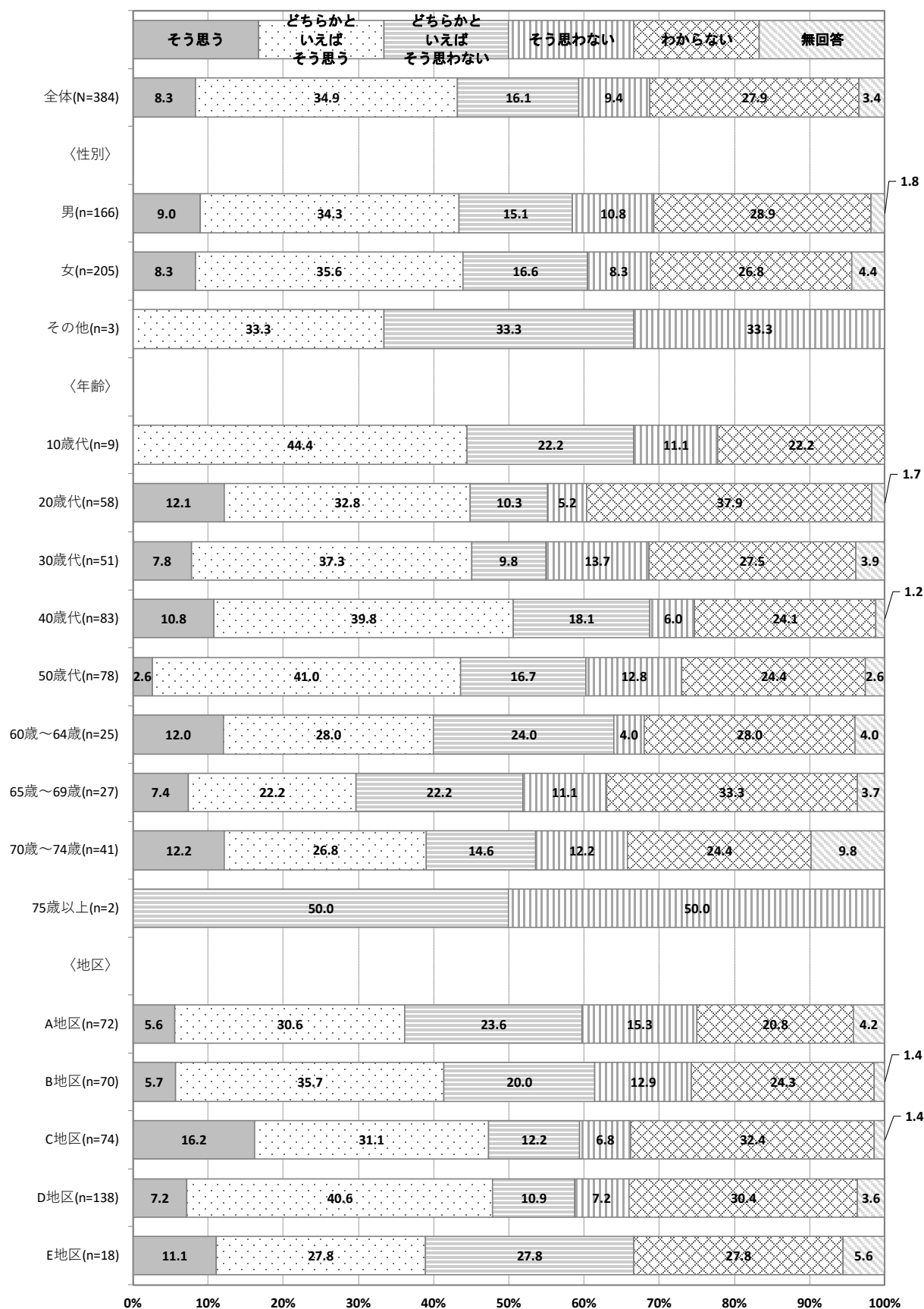


第1章 市民意識調査

問 25 武蔵村山市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思うか（単一回答形式）

- 「どちらかといえばそう思う」が最多で 34.9%、次いで、「わからない」が 27.9%、「どちらかといえばそう思わない」が 16.1%となっています。

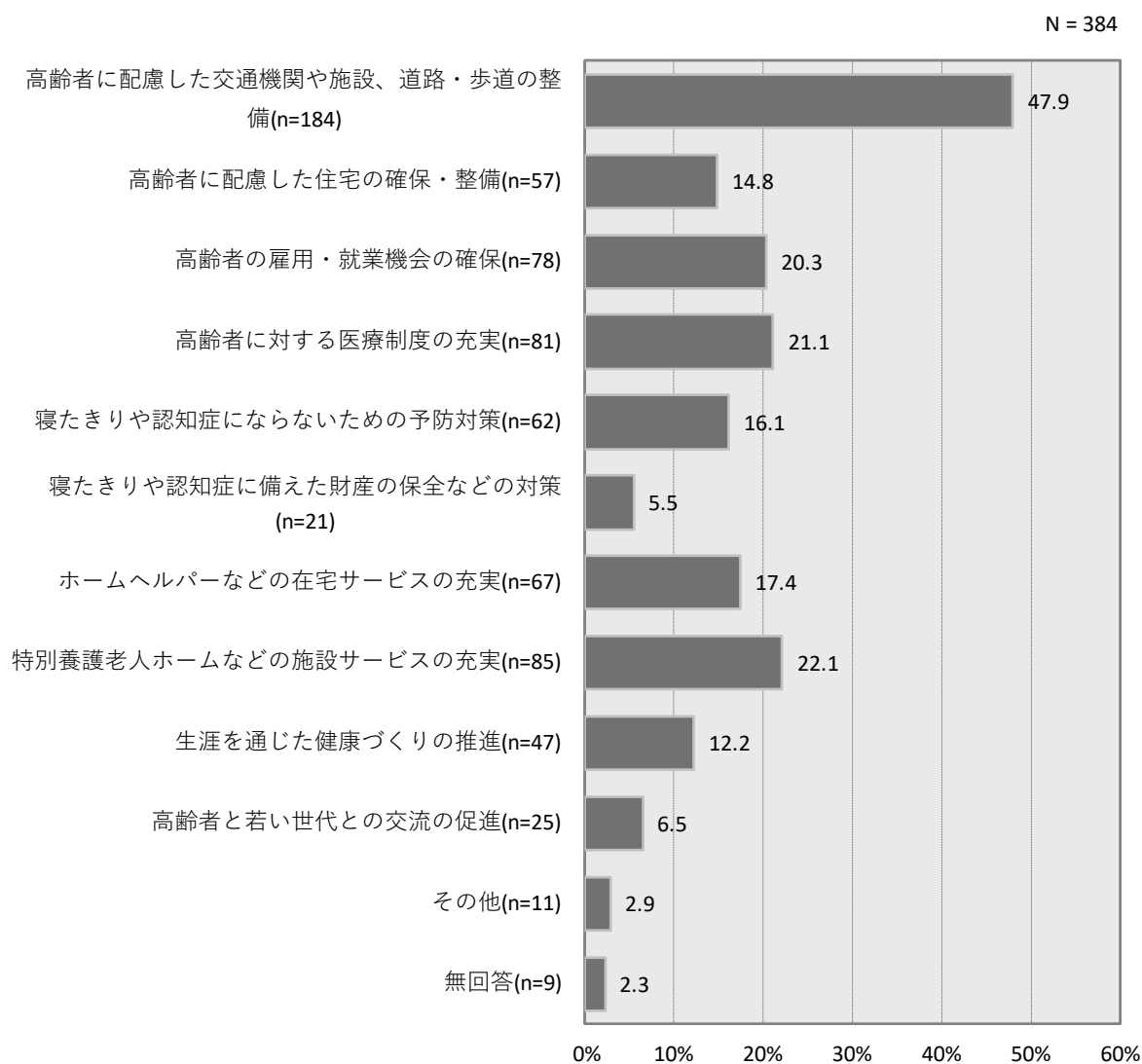




第1章 市民意識調査

問 26 高齢社会に向けてどのような施策が重要だと思うか（複数回答形式）

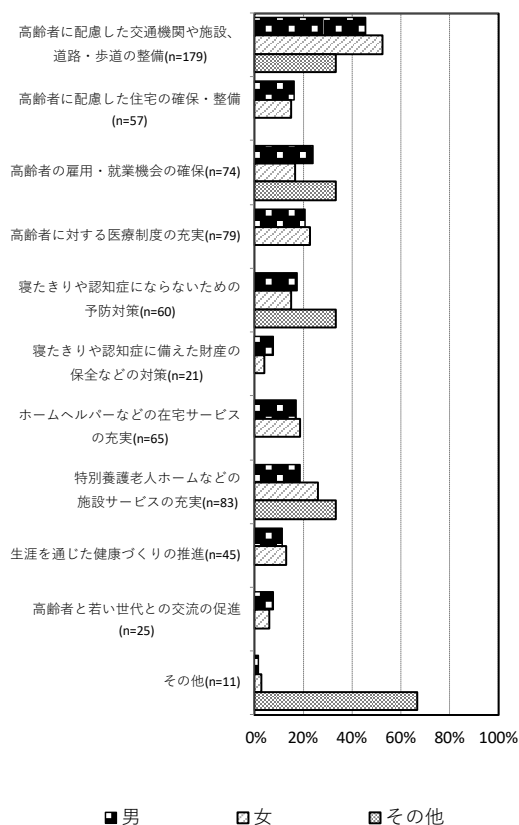
- 「高齢者に配慮した交通機関や施設、道路・歩道の整備」が最多で 47.9%、次いで、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が 22.1%、「高齢者に対する医療制度の充実」が 21.1%となっています。



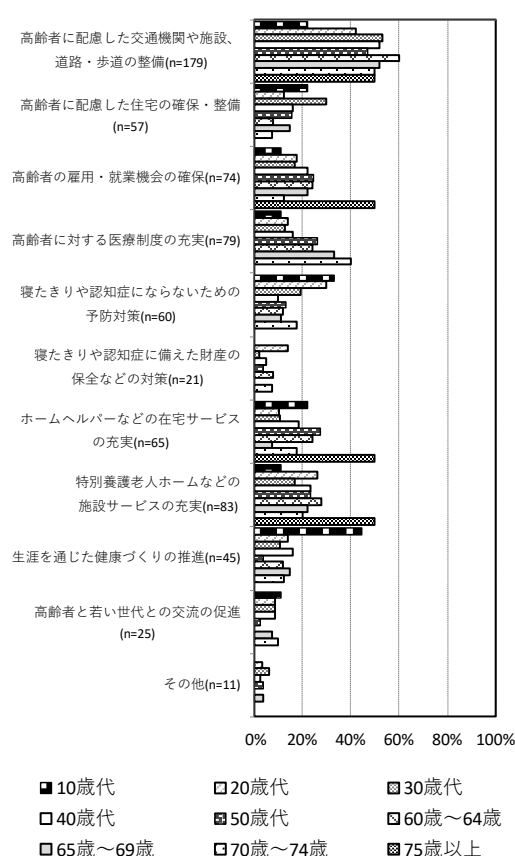
〈その他の回答〉

- ・ 家の近くにスーパーがないとき、買い物支援など。
- ・ 必ず一日一回コミュニケーションを高齢者一人一人ととるなんてことができれば孤独死や徘徊等の高齢者が少なくなるのではないかな。
- ・ 駅がないのにバスが少ない。
- ・ 趣味や生きがいを作ってメンタルの向上。
- ・ 健康診断、歯科検診などをみんなしっかりやるようにする。

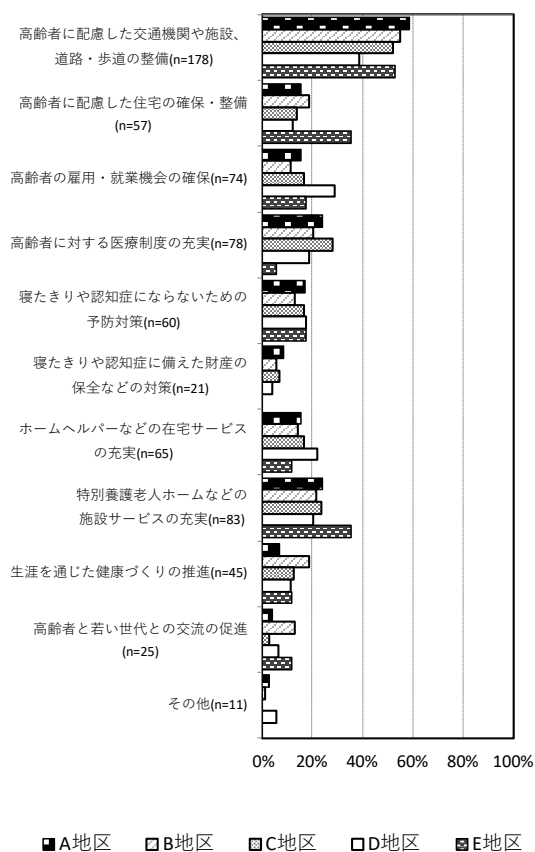
＜性別＞



＜年齢別＞



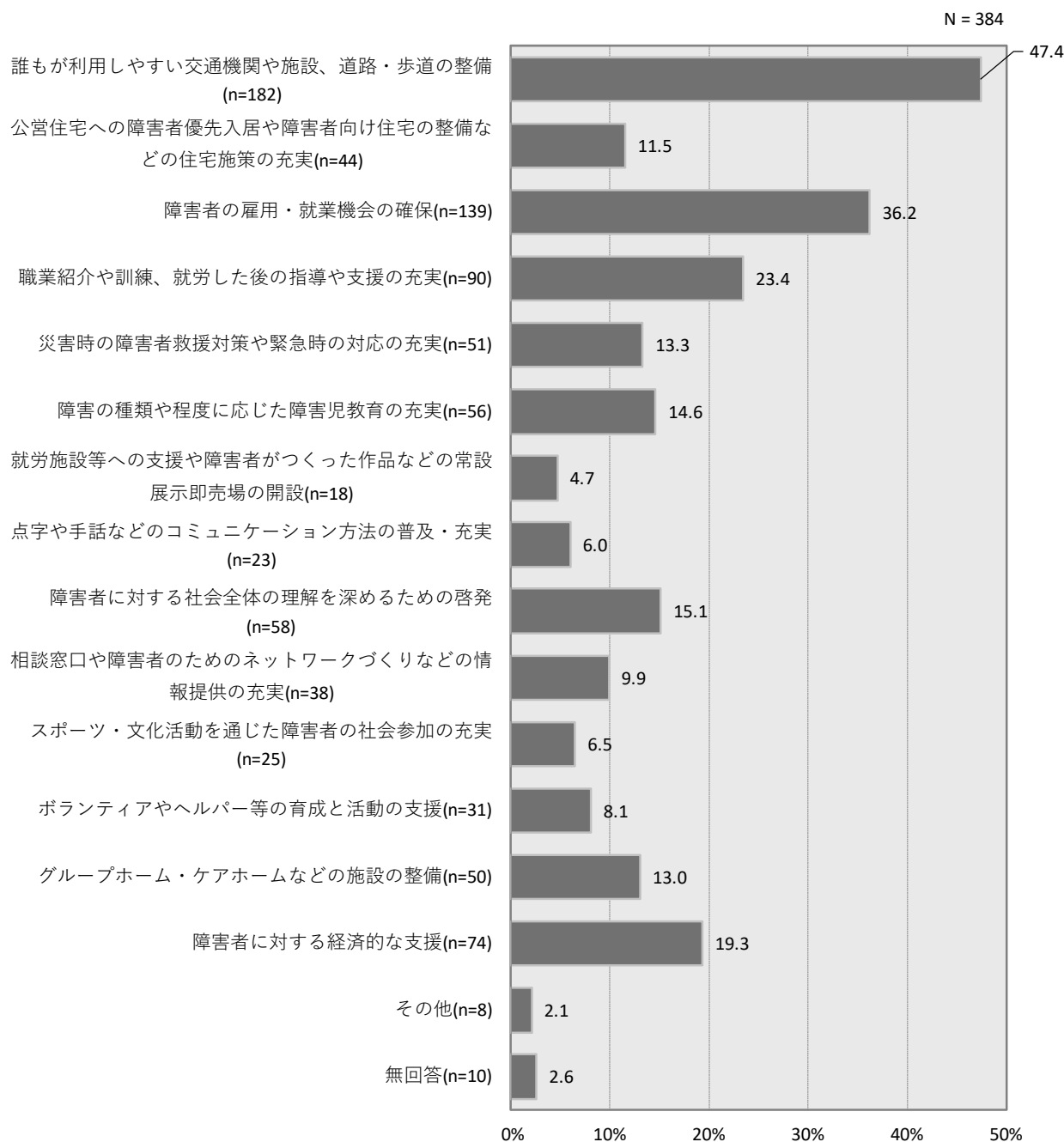
＜地区別＞



第1章 市民意識調査

問27 障害のある人の自立を支援するために市がすべきこと（複数回答形式）

●「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が最多で 47.4%、次いで、「障害者の雇用・就業機会の確保」が 36.2%、「職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実」が 23.4%となっています。

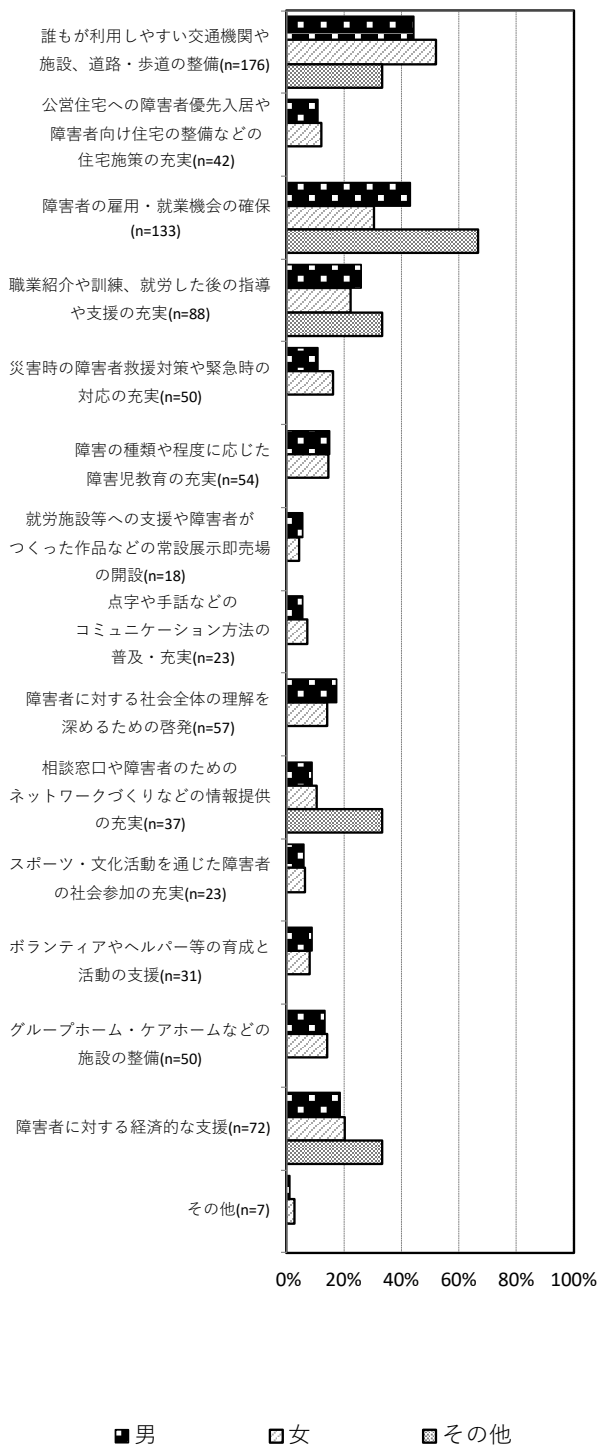


〈その他の回答〉

- ・ 健常者・障害者の合同企画の充実。フードグ
ランプリ。
 - ・ 自立不可能な重度障害者への支援。
 - ・ 工賃向上、実績を持つ事業所のバックアップ、
- 金銭面というより情報提供やアイデアの創
出。
 - ・ 雇用・就業機会の個別支援。

第1章 市民意識調査

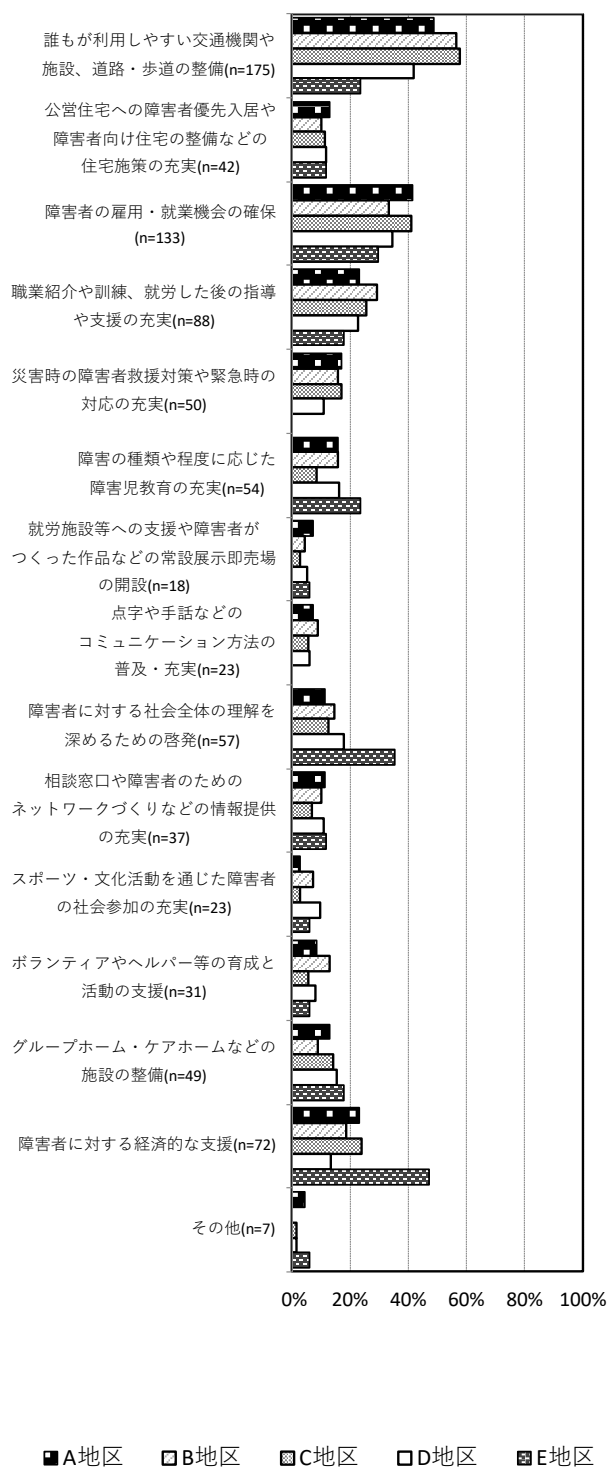
<性別>



<年齢別>



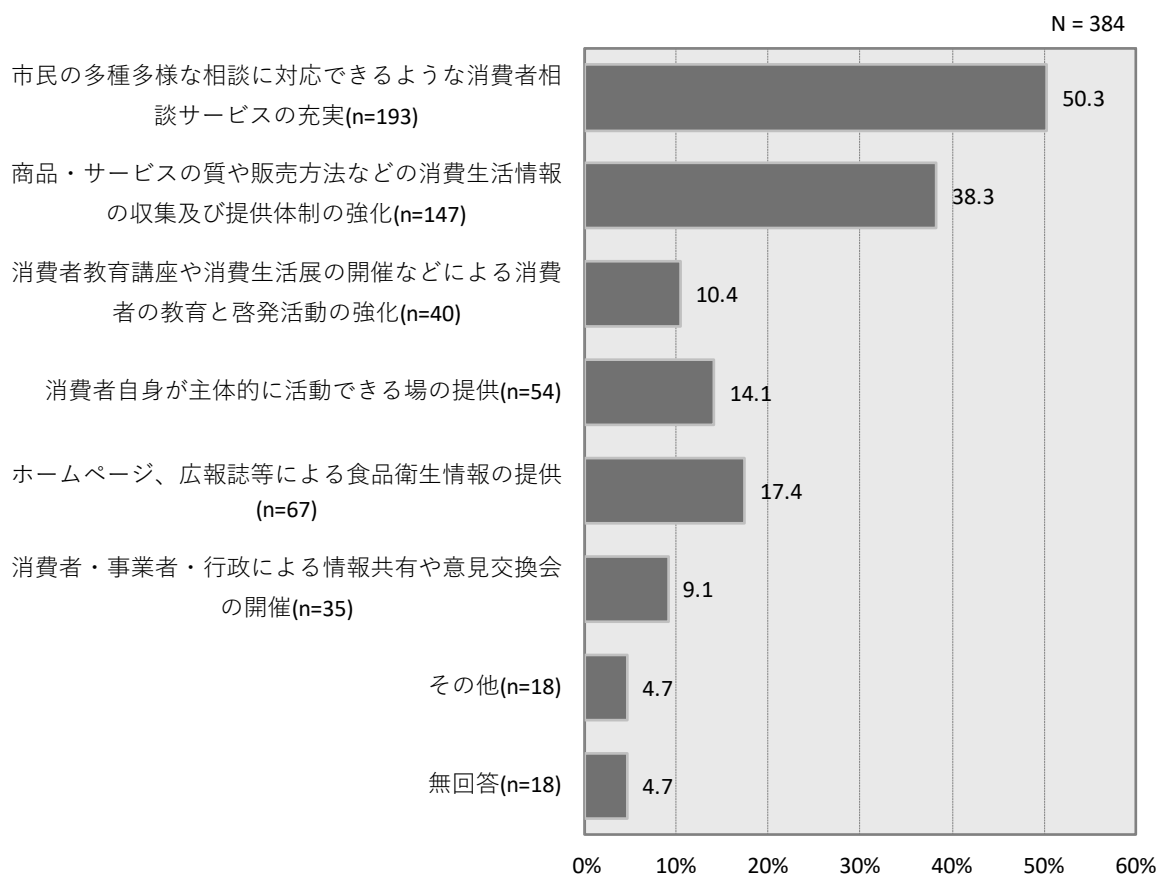
<地区別>



第1章 市民意識調査

問28 消費者支援のために行政としてすべきこと（複数回答形式）

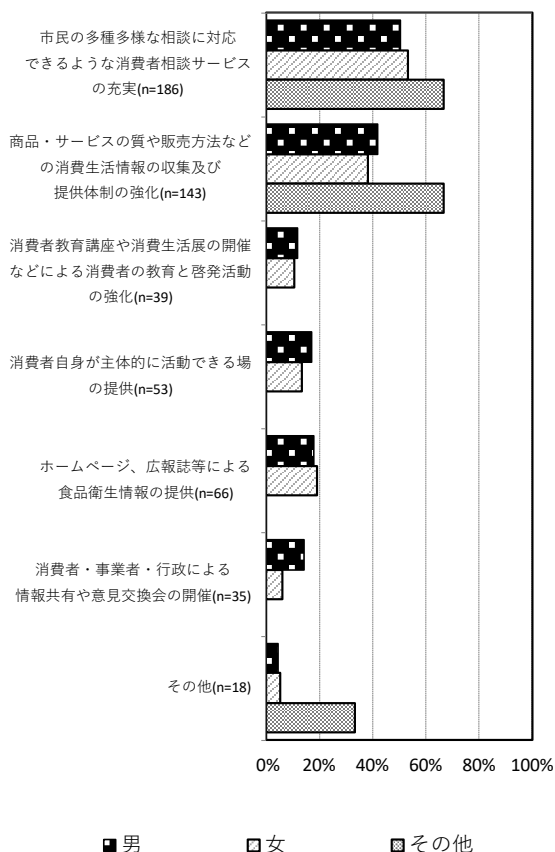
- 「市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実」が最多で 50.3%、次いで、「商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化」が 38.3%、「ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供」が 17.4%となっています。



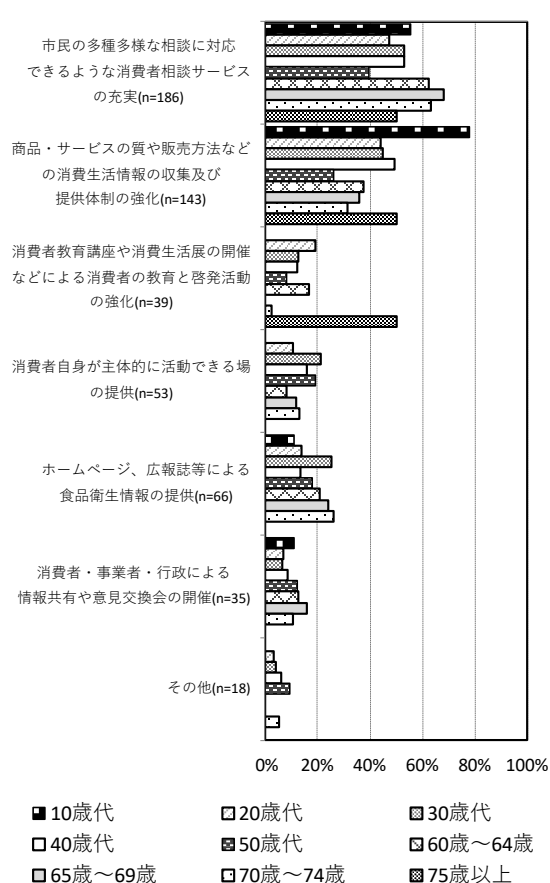
〈その他の回答〉

- ・ 一定金額使った方への消費税の還付。
- ・ 地産地消 特に農産物。
- ・ ペイペイ。
- ・ 値上げの中、市での補助（ポイントバック 30%～50%など思い切ったの取り組み）
- ・ 消費者支援の意味がわからない。市がやることなのか。
- ・ 今は公共系の値下げ支援（電気、ガソリン、ガス等）。
- ・ 中年者の就職のための資格取得の費用援助
- ・ 家計管理。お金の教育。学び。自分のライフプランを理解し、豊かなお金の使い方を知ることが必要と思う。

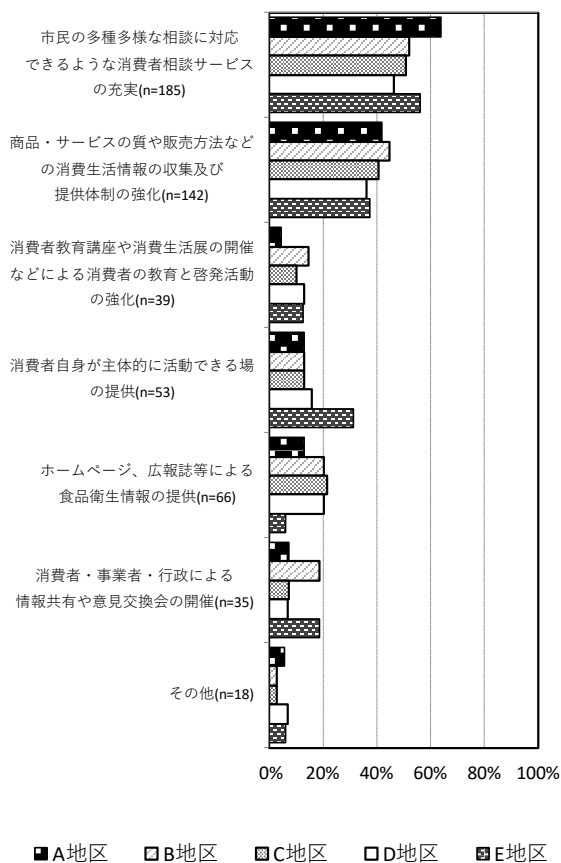
<性別>



<年齢別>



<地区別>

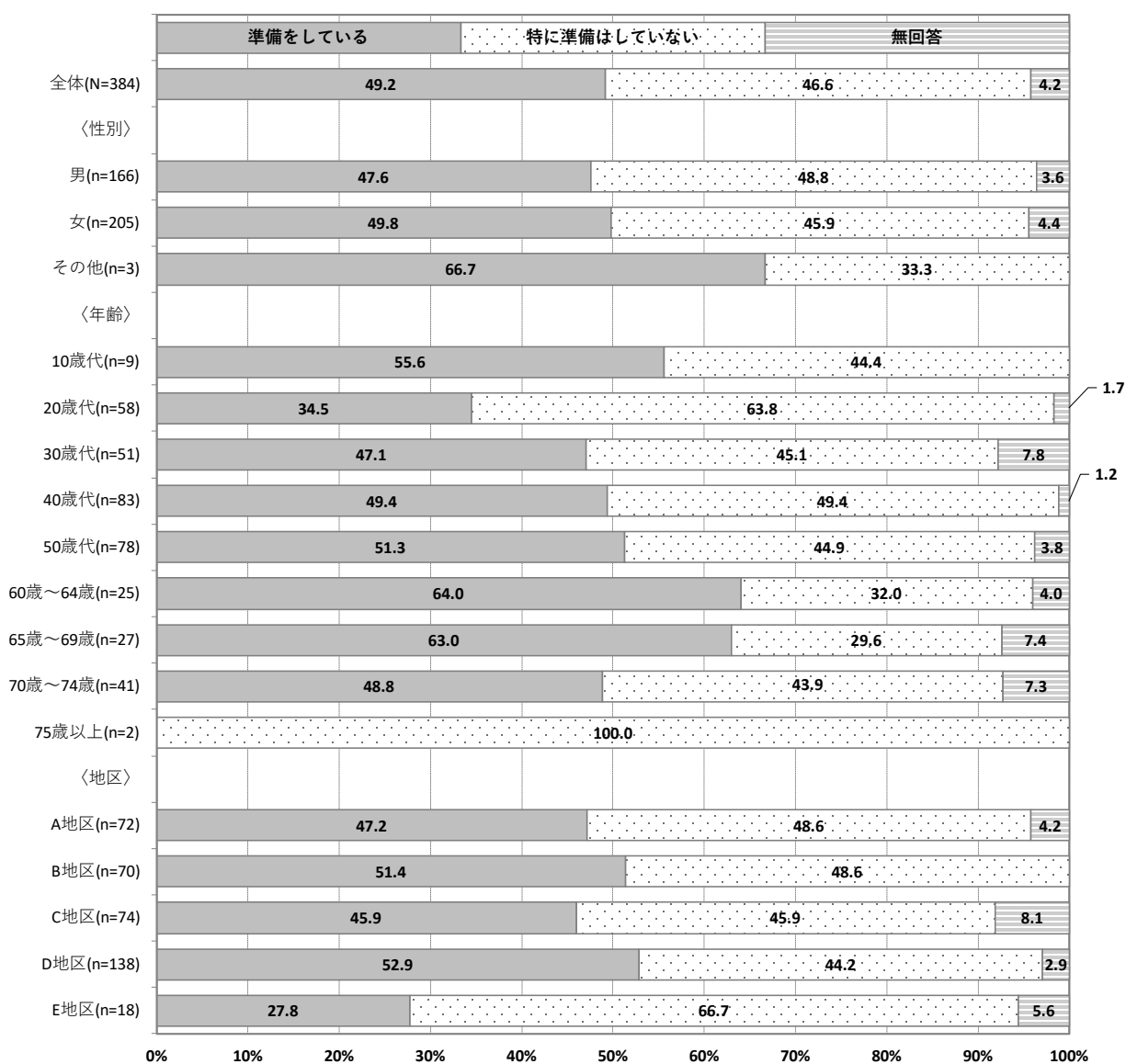
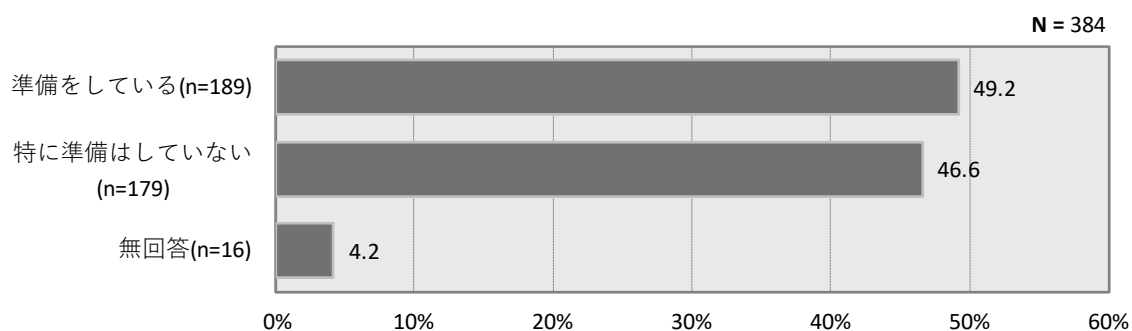


第1章 市民意識調査

4-3 安全で快適なまちづくり

問29 防災の準備をしているか（単一回答形式）

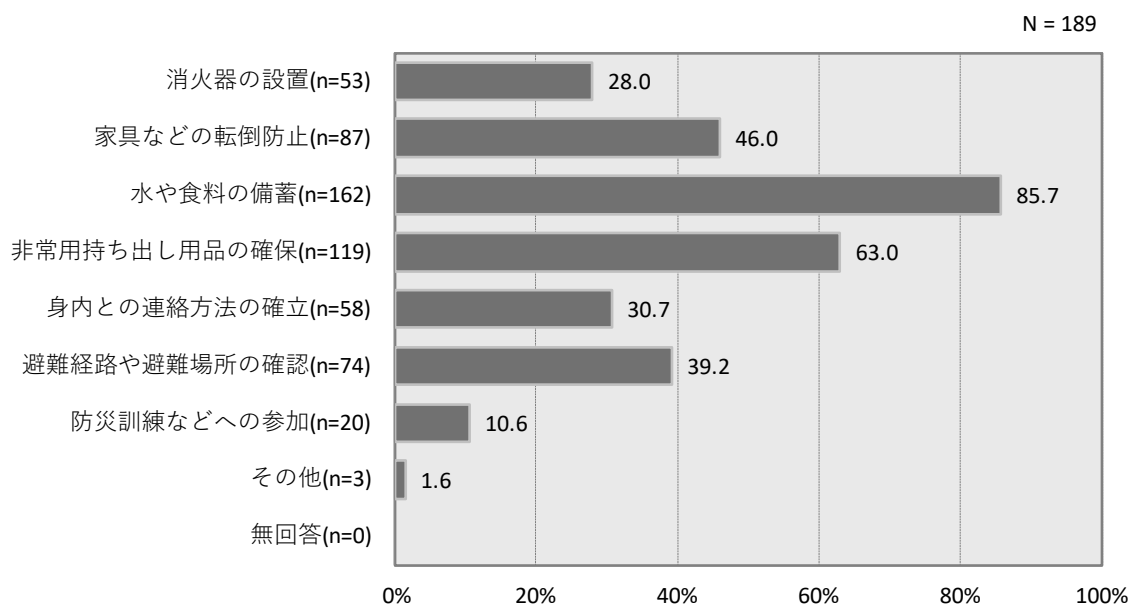
●「準備をしている」が最多で49.2%、次いで、「特に準備はしていない」が46.6%、「無回答」が4.2%となっています。



問 29-2 防災の準備として行っていること（複数回答形式）

【「問 29」で、「準備をしている」の場合のみ回答】

- 「水や食料の備蓄」が最多で85.7%、次いで、「非常用持ち出し用品の確保」が63.0%、「家具などの転倒防止」が46.0%となっています。

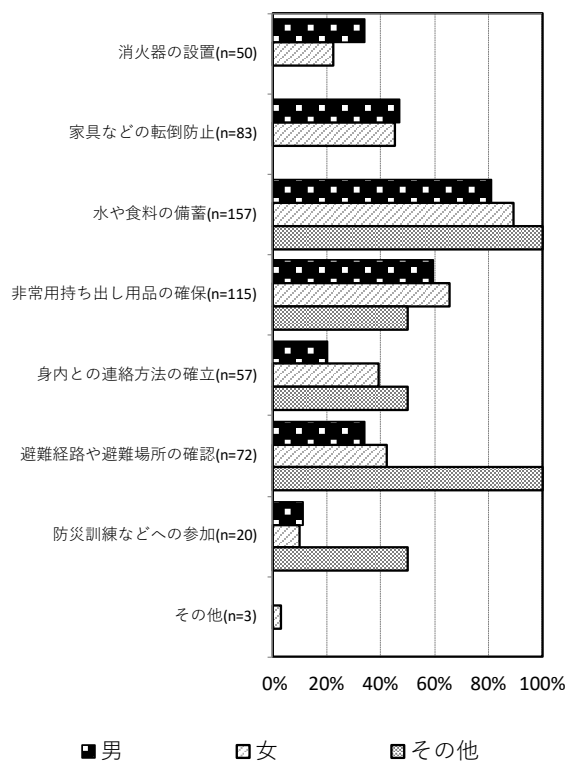


〈その他の回答〉

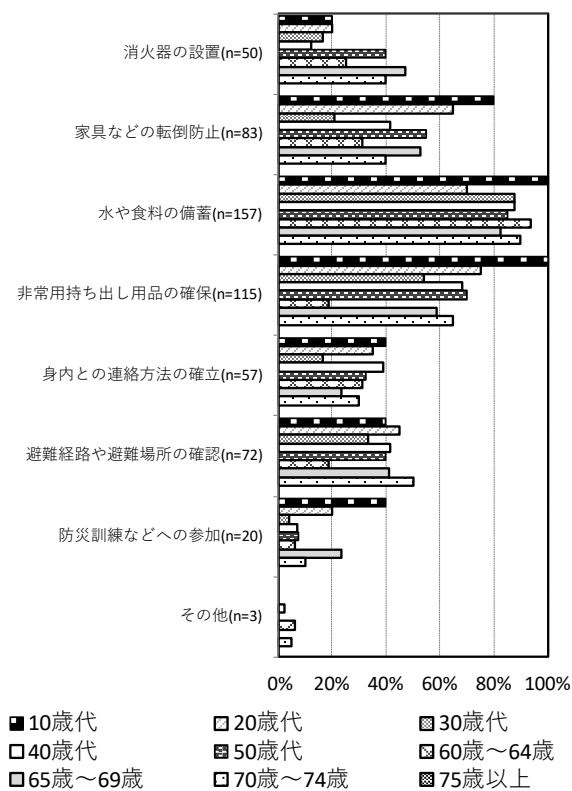
- ・ トイレやテント等の準備
- ・ 携帯トイレ
- ・ 食品アレルギーの家族がいるので、薬や専用の食料備蓄

第1章 市民意識調査

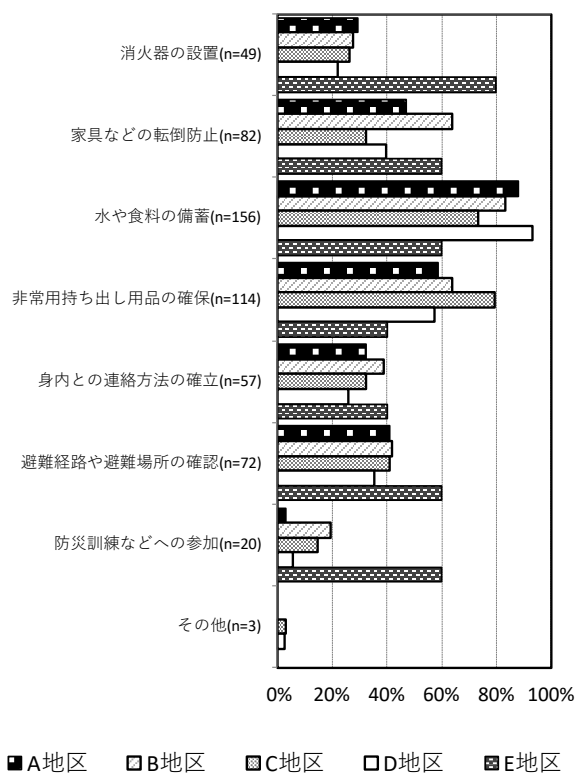
<性別>



<年齢別>



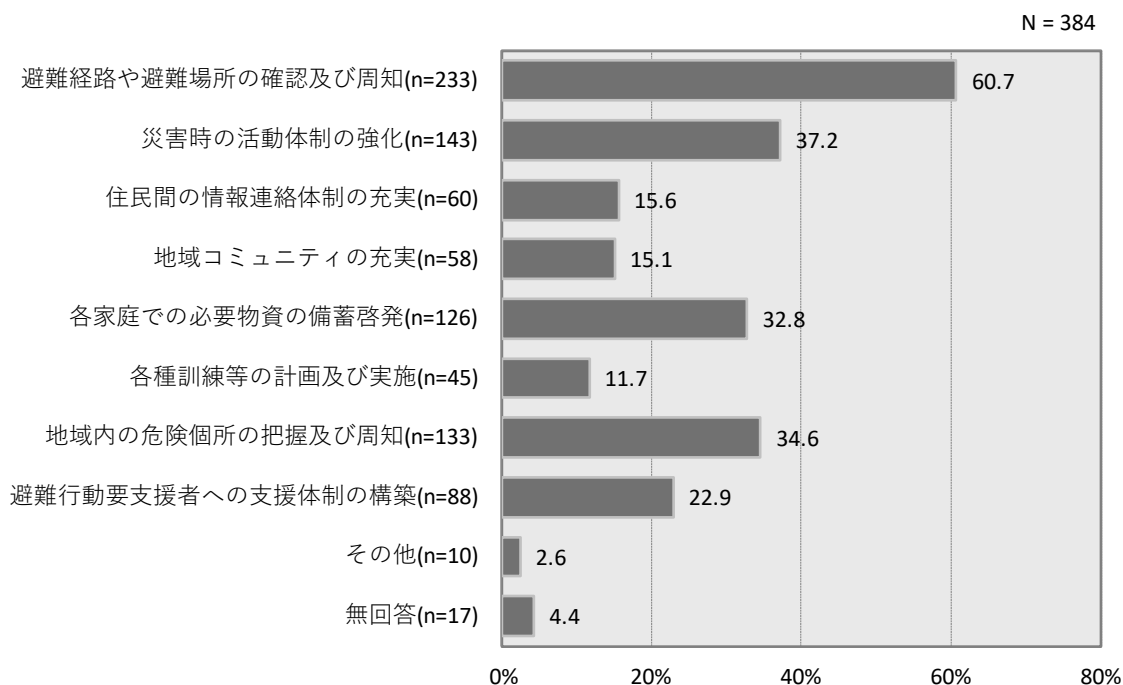
<地区別>



第1章 市民意識調査

問30 災害に備えて地域（自治会等）がすべきこと（複数回答形式）

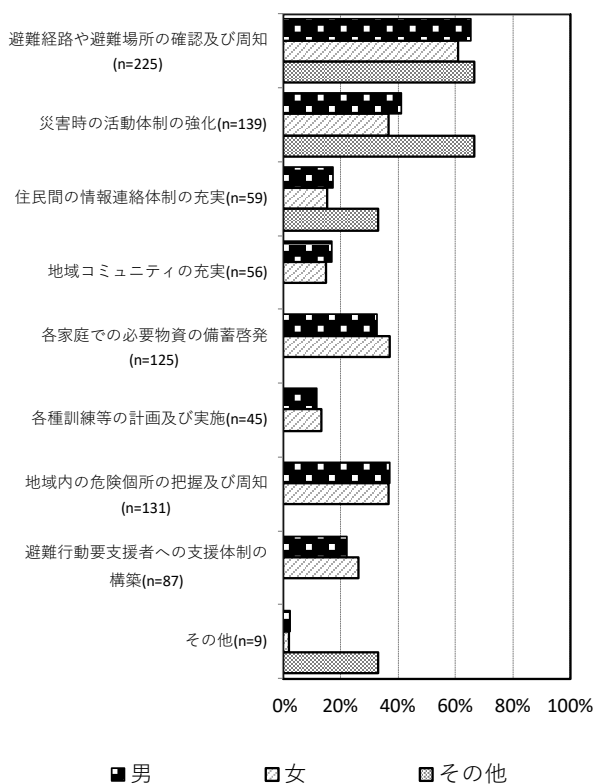
- 「避難経路や避難場所の確認及び周知」が最多で 60.7%、次いで、「災害時の活動体制の強化」が 37.2%、「地域内の危険個所の把握及び周知」が 34.6%となっています。



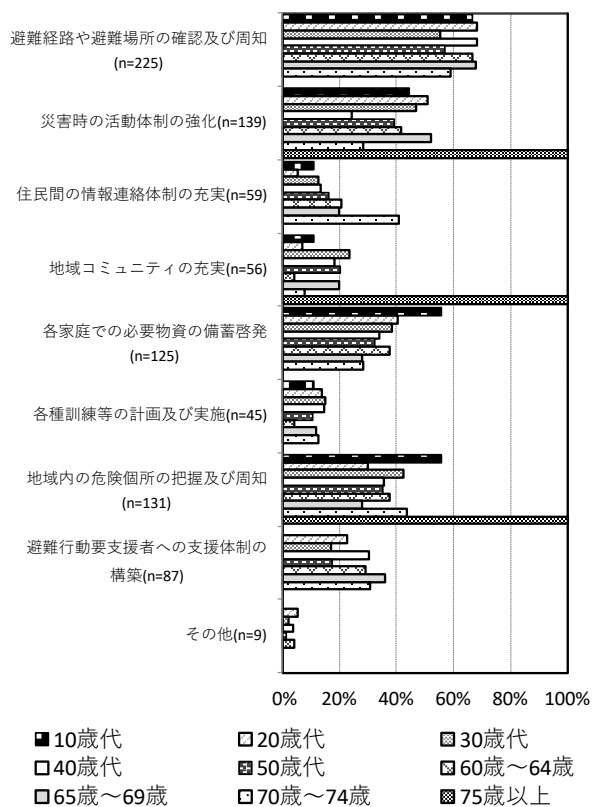
〈その他の回答〉

- ・ 一般的な通信インフラが切れたときの対応策、スターリンク設備。
- ・ 自治会はどこも縮小方向であり、自治会に託すのは無理があると思う。
- ・ 個人レベルではできないこと。避難場所で実際どのように生活するのか公表して欲しい。
- ・ 体育館の中にテントは張れるのか。段ボールの仕切りなのか。雑魚寝なのか。まったく想像ができずにどのくらい防災の準備が必要なのかわからない。
- ・ 災害時の情報発信方法の多層化。
- ・ ペットをどう避難させるか。

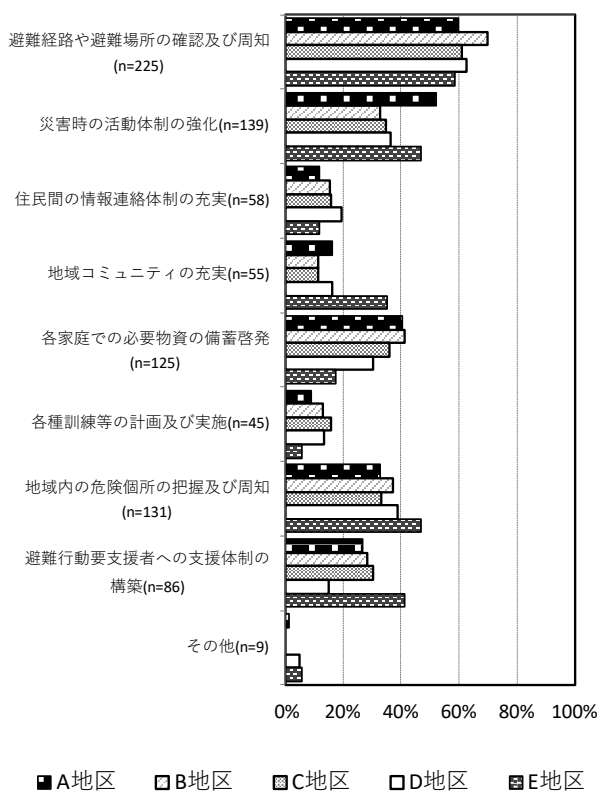
<性別>



<年齢別>



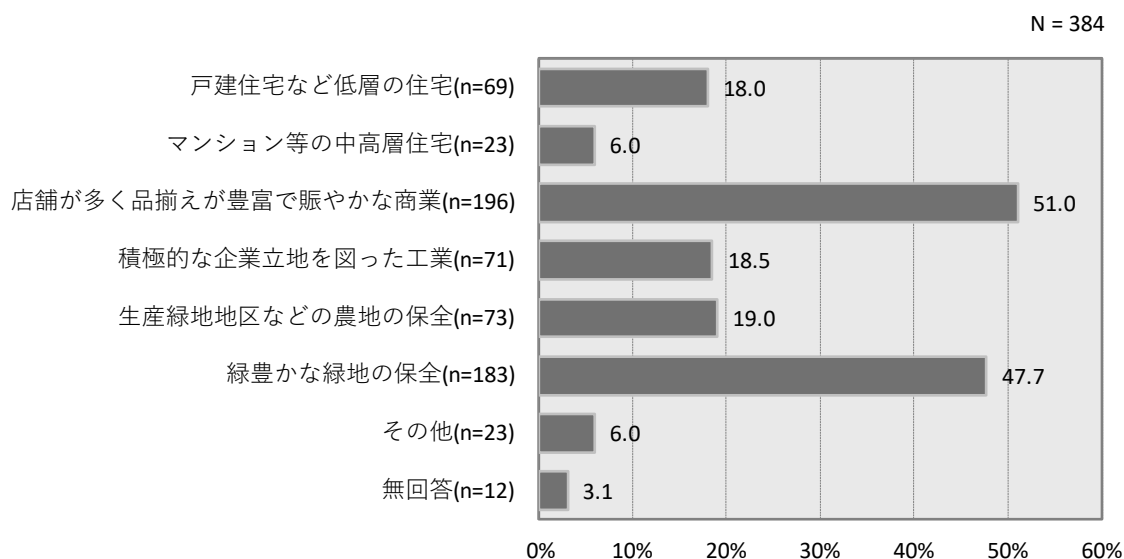
<地区別>



第1章 市民意識調査

問 31 どのような土地利用に力を入れてほしいと思うか（複数回答形式）

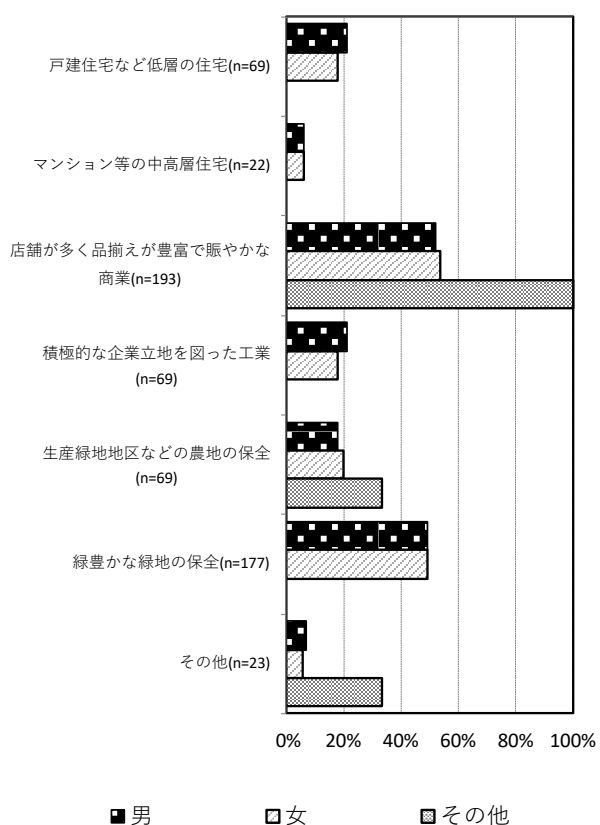
- 「店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業」が最多で 51.0%、次いで、「緑豊かな緑地の保全」が 47.7%、「生産緑地地区などの農地の保全」が 19.0%となっています。



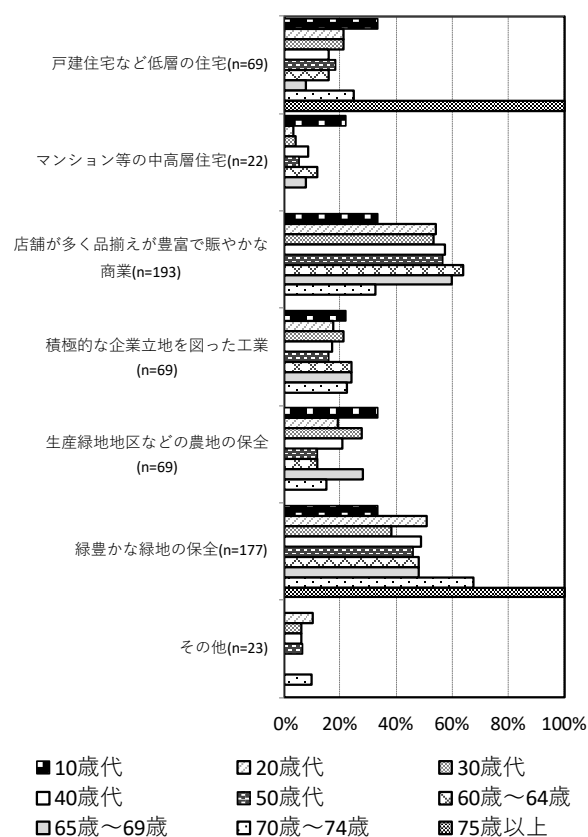
〈その他の回答〉

- ・ 大手 IT 企業の誘致・大手工場の誘致。
- ・ 中原地区にスーパーをお願いしたい。
- ・ モノレール最優先をお願いしたい。
- ・ スケボーが出来るところを作ってあげて欲しい。
- ・ 武蔵村山病院を拡大する意味はないと思う。
- ・ グランドではなく公園がほしい。
- ・ 鉄道
- ・ 安心して運転出来る道幅の確保
- ・ 娯楽施設
- ・ 公共交通機関の充実

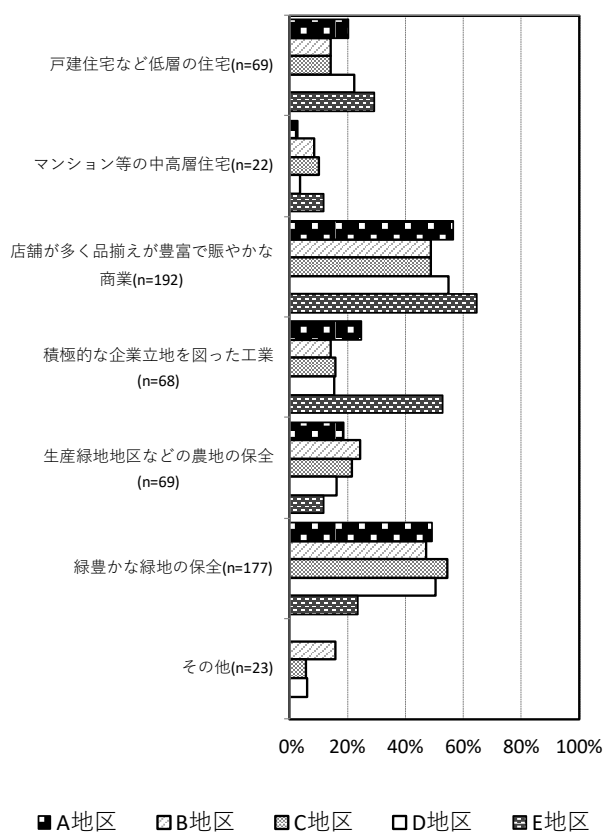
<性別>



<年齢別>



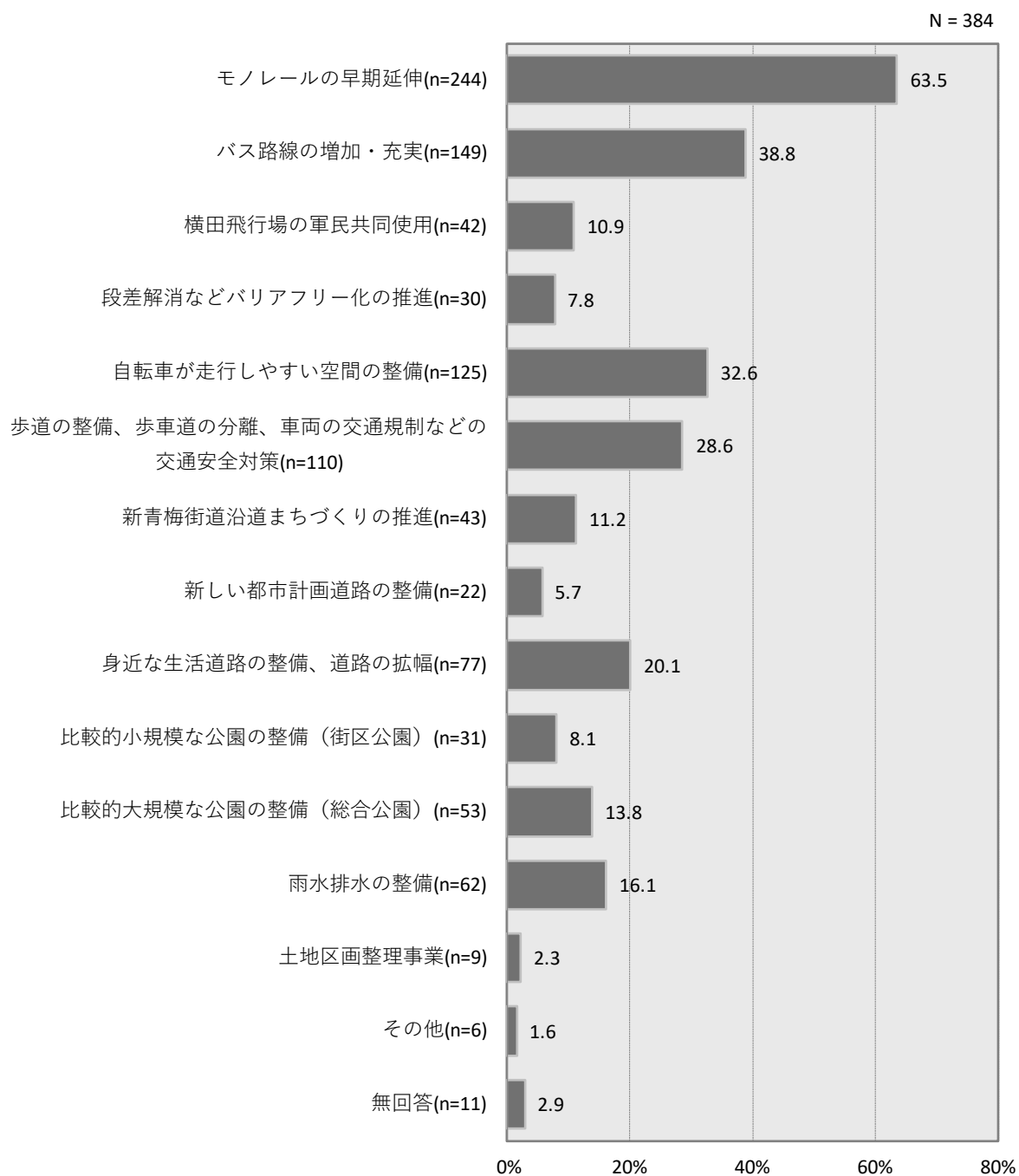
<地区別>



第1章 市民意識調査

問32 どのような都市基盤整備を推進すべきか（複数回答形式）

- 「モノレールの早期延伸」が最多で63.5%、次いで、「バス路線の増加・充実」が38.8%、「自転車が走行しやすい空間の整備」が32.6%となっています。

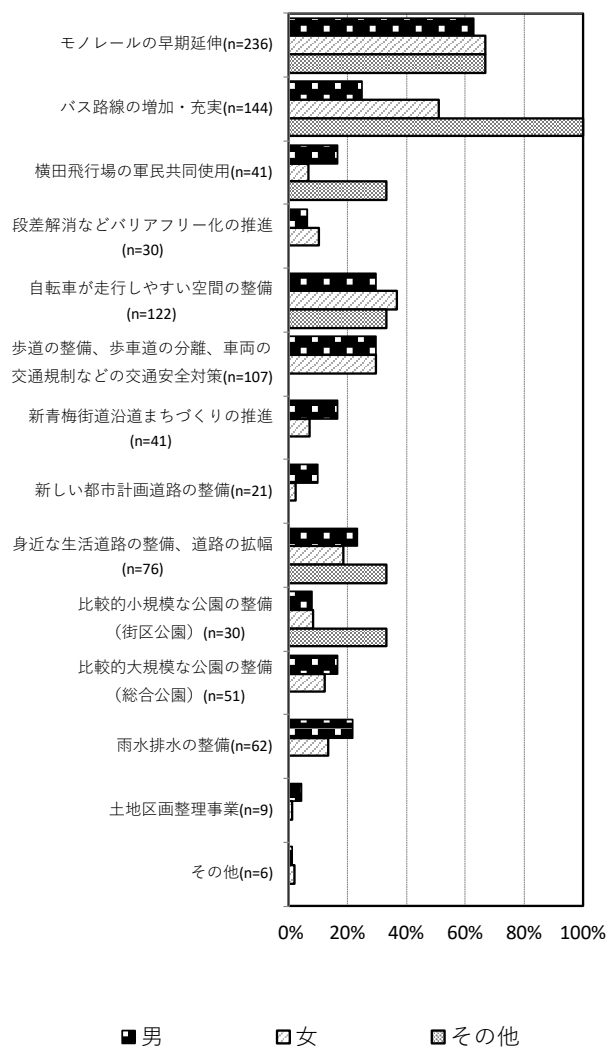


〈その他の回答〉

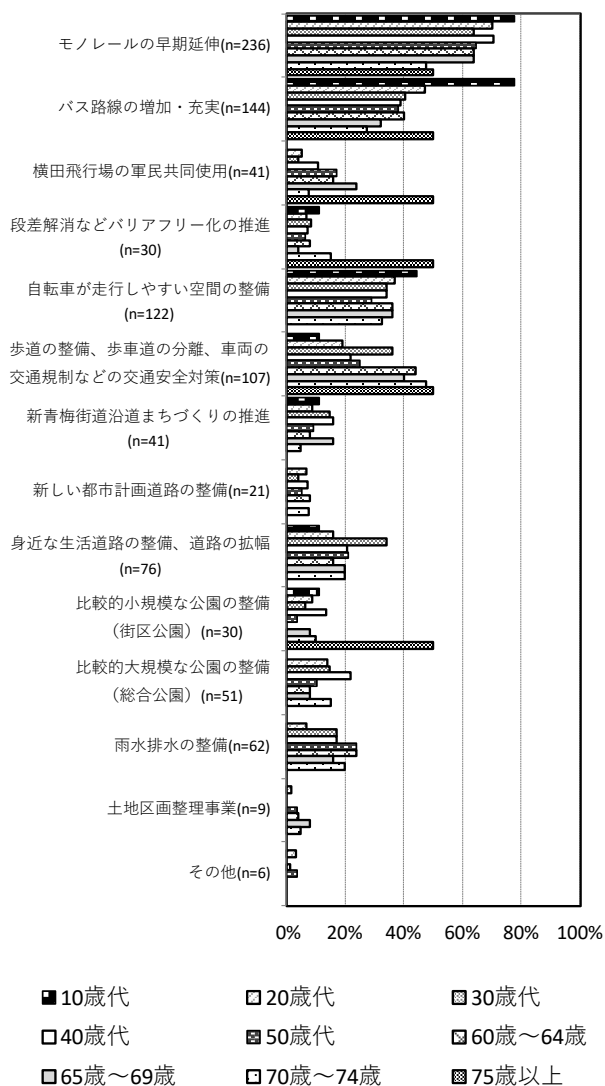
- ・ 道路の塗装整備
- ・ 無電柱化
- ・ 道路の整備
- ・ 水道管の更新。横断歩道などで消えかけているものの再整備。
- ・ 武蔵村山病院を拡大する意味ないと思う。その分別なことに土地を使ってほしい。
- ・ 市立図書館の充実

第1章 市民意識調査

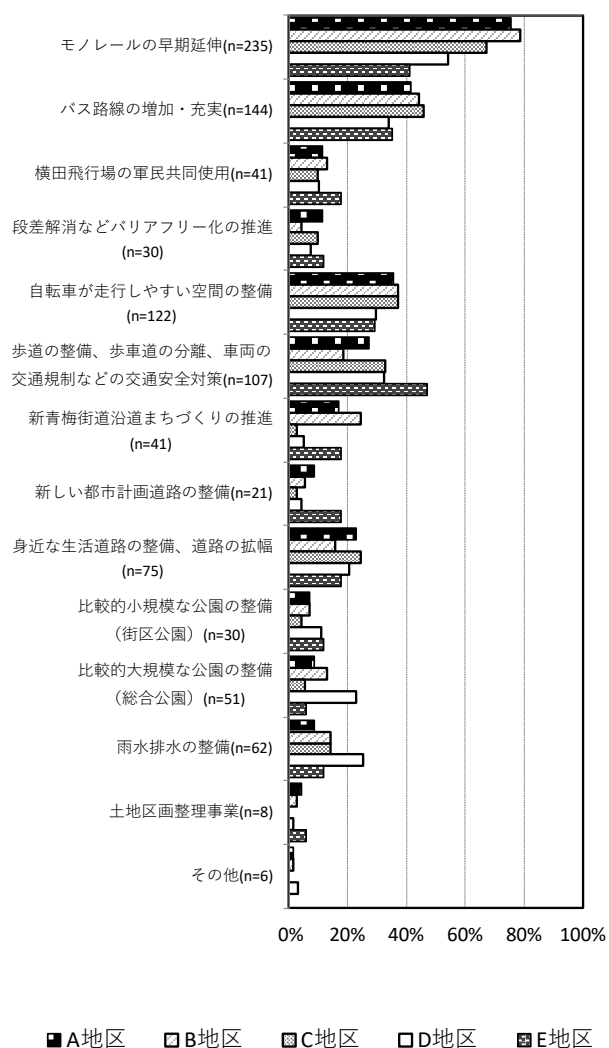
<性別>



<年齢別>



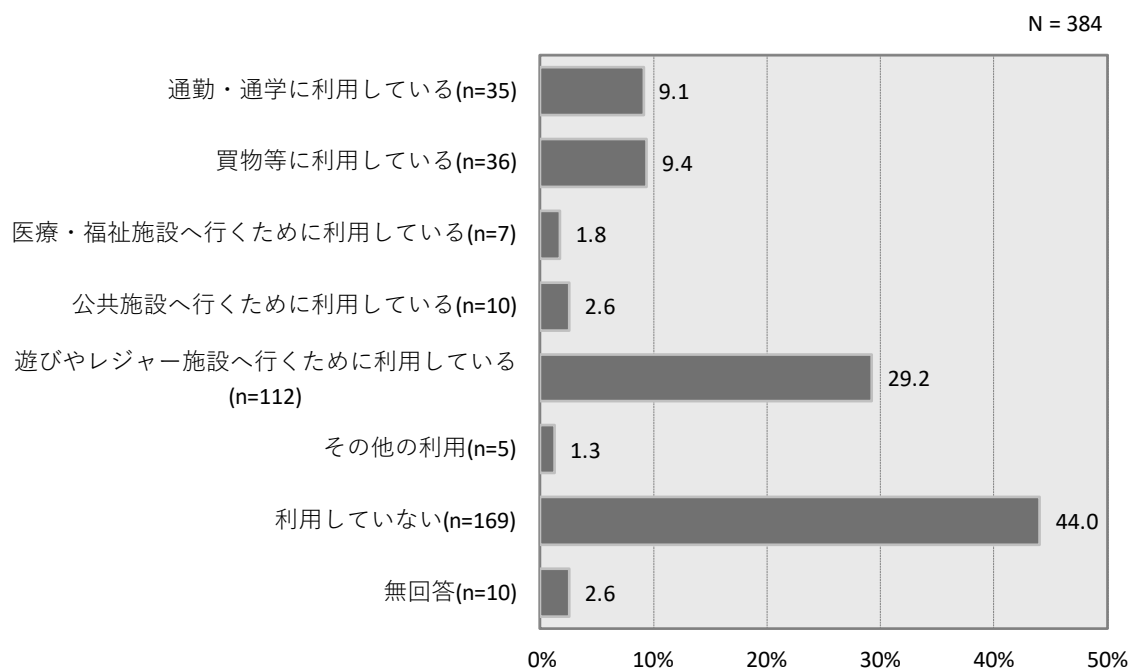
<地区別>



第1章 市民意識調査

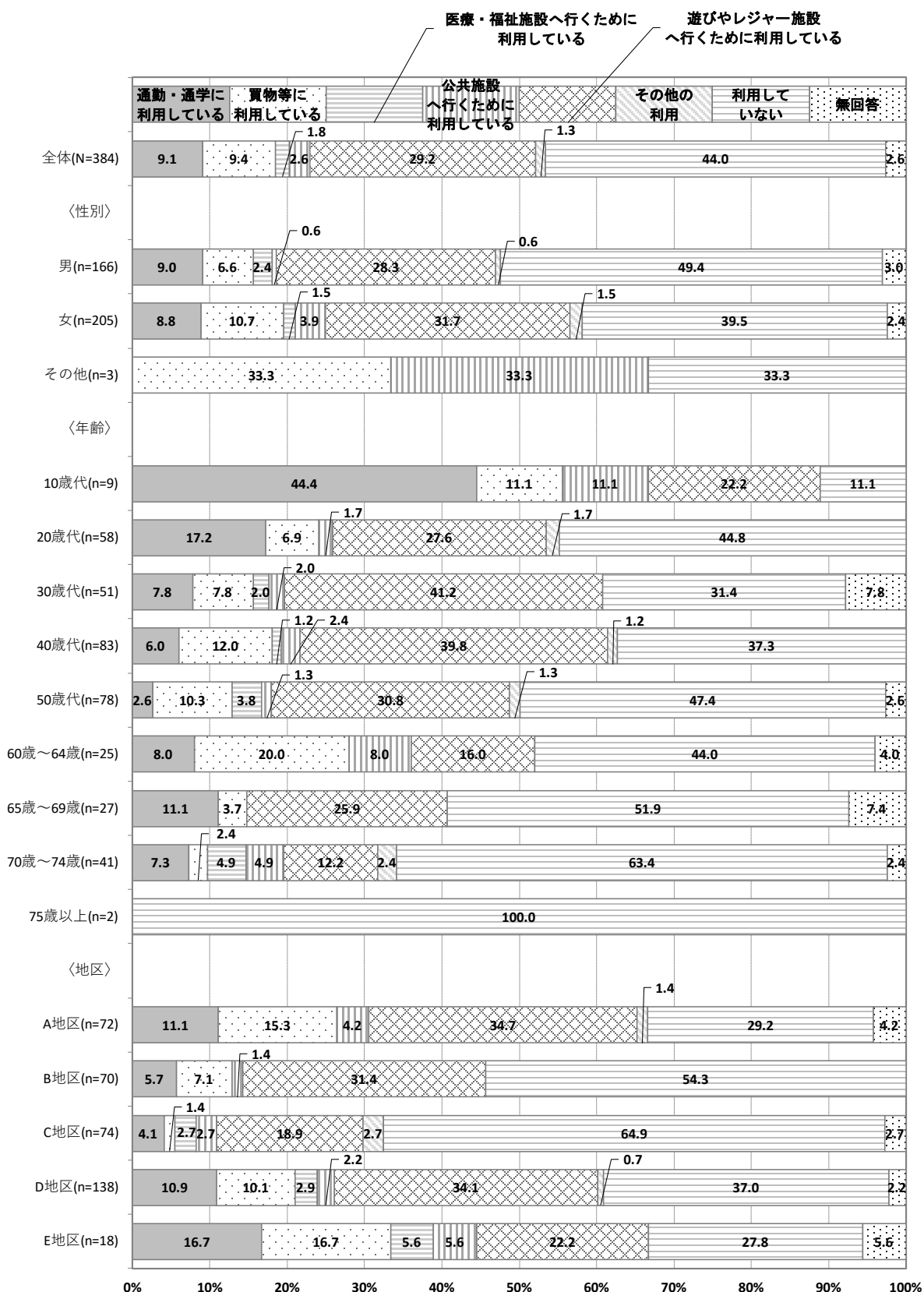
問 33 多摩都市モノレールを利用しているか（単一回答形式）

- 「利用していない」が最多で 44.0%、次いで、「遊びやレジャー施設へ行くために利用している」が 29.2%、「買物等に利用している」が 9.4%となっています。



〈その他の回答〉

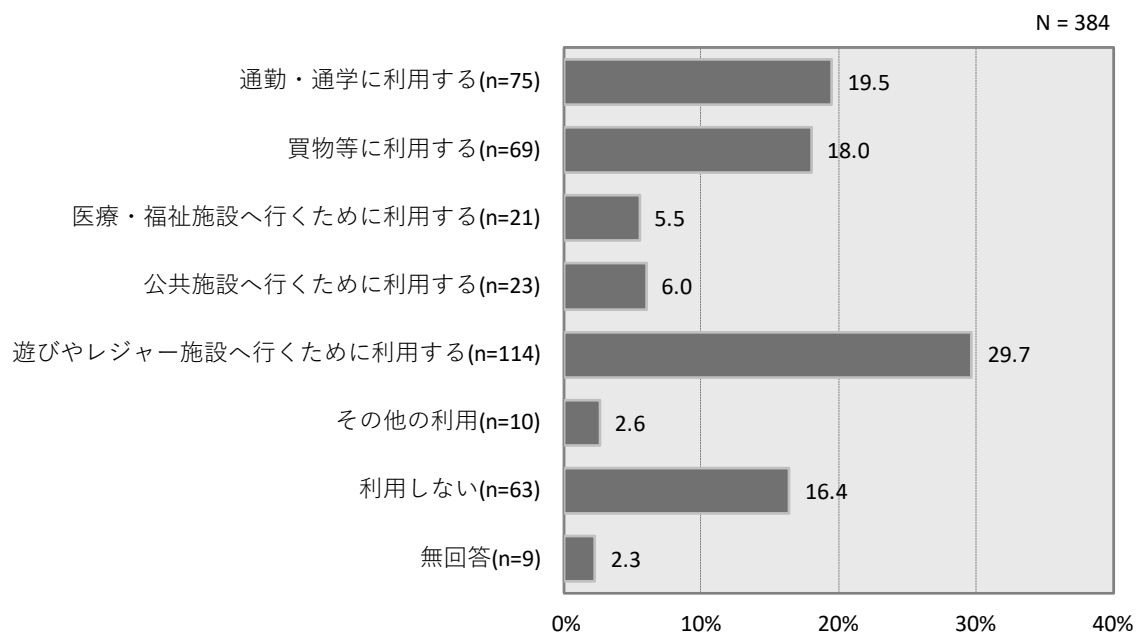
- ・ お寺へ行くため。
- ・ 中央線に乗る時



第1章 市民意識調査

問34 多摩都市モノレールが市内まで延伸した場合の利用方法（単一回答形式）

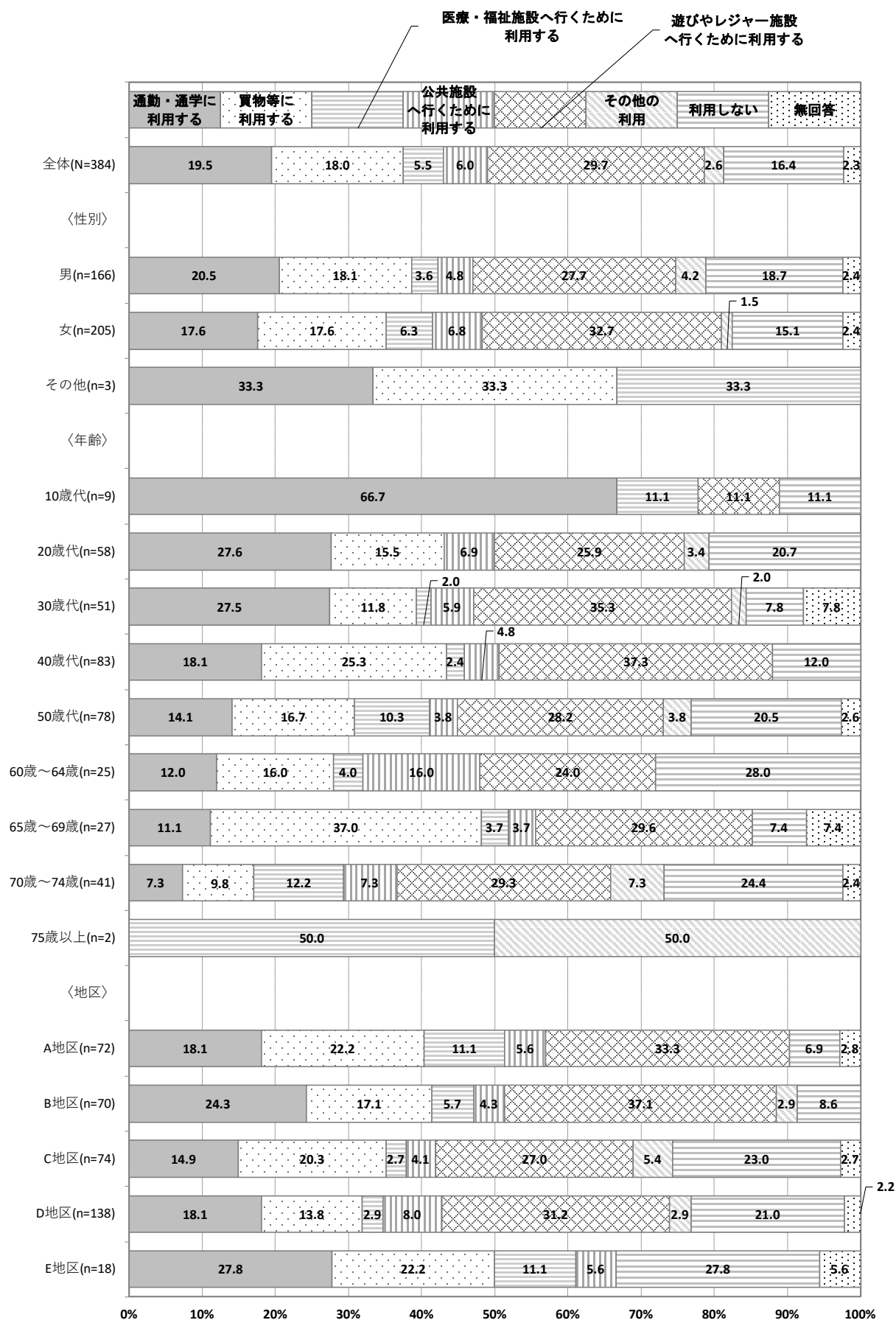
- 「遊びやレジャー施設へ行くために利用する」が最多で 29.7%、次いで、「通勤・通学に利用する」が 19.5%、「買物等に利用する」が 18.0%となっています。



〈その他の回答〉

- ・ 墓参りに利用
- ・ 現在は出来ても利用しない。
- ・ 飲み会の時に利用する。
- ・ 交通機関(西武線・中央線)への接続利用

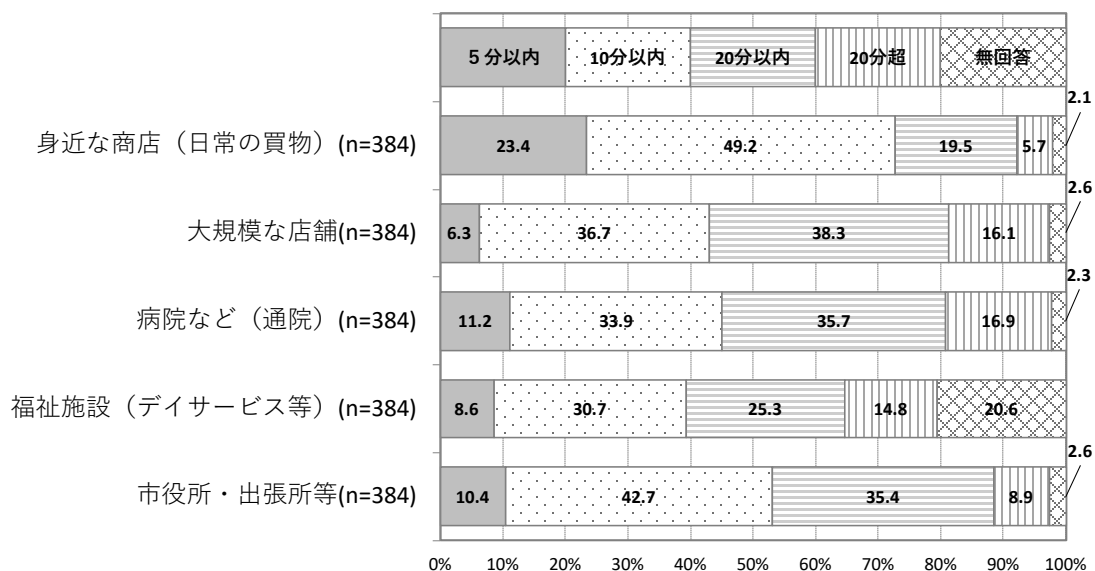
第1章 市民意識調査



第1章 市民意識調査

問 35 通勤・通学以外で利用する施設や場所への移動時間（それぞれ単一回答形式）

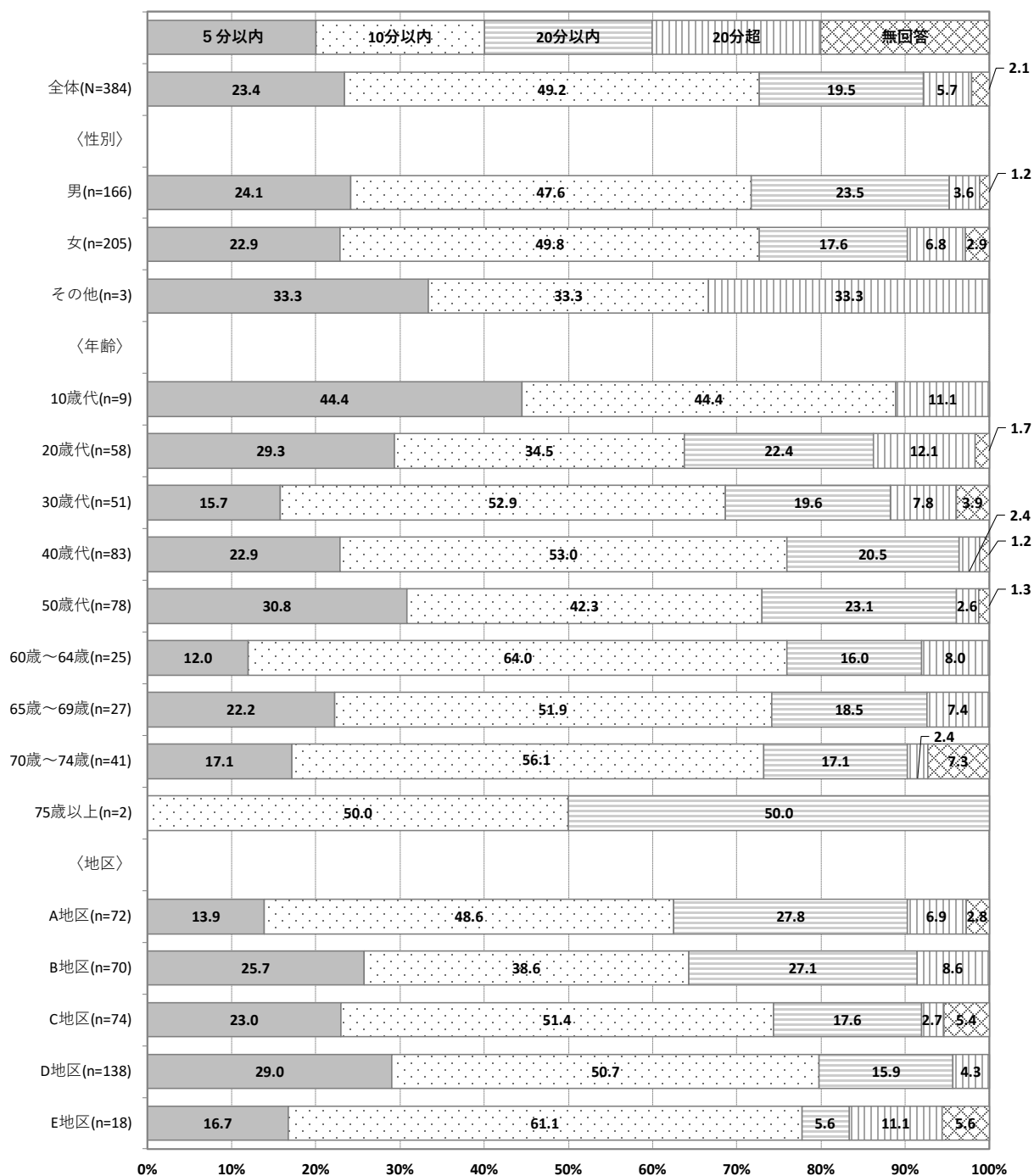
- 「身近な商店（日常の買物）」は、「10 分以内」が最多で 49.2%、「大規模な店舗」は「20 分以内」が最多で 38.3%、「病院など（通院）」は「20 分以内」が最多で 35.7%、「福祉施設（デイサービス等）」は「10 分以内」が最多で 30.7%、「市役所・出張所等」は「10 分以内」が最多で 42.7% となっています。



	5分以内	10分以内	20分以内	20分超	無回答
身近な商店（日常の買物）	90 23.4	189 49.2	75 19.5	22 5.7	8 2.1
大規模な店舗	24 6.3	141 36.7	147 38.3	62 16.1	10 2.6
病院など（通院）	43 11.2	130 33.9	137 35.7	65 16.9	9 2.3
福祉施設（デイサービス等）	33 8.6	118 30.7	97 25.3	57 14.8	79 20.6
市役所・出張所等	40 10.4	164 42.7	136 35.4	34 8.9	10 2.6

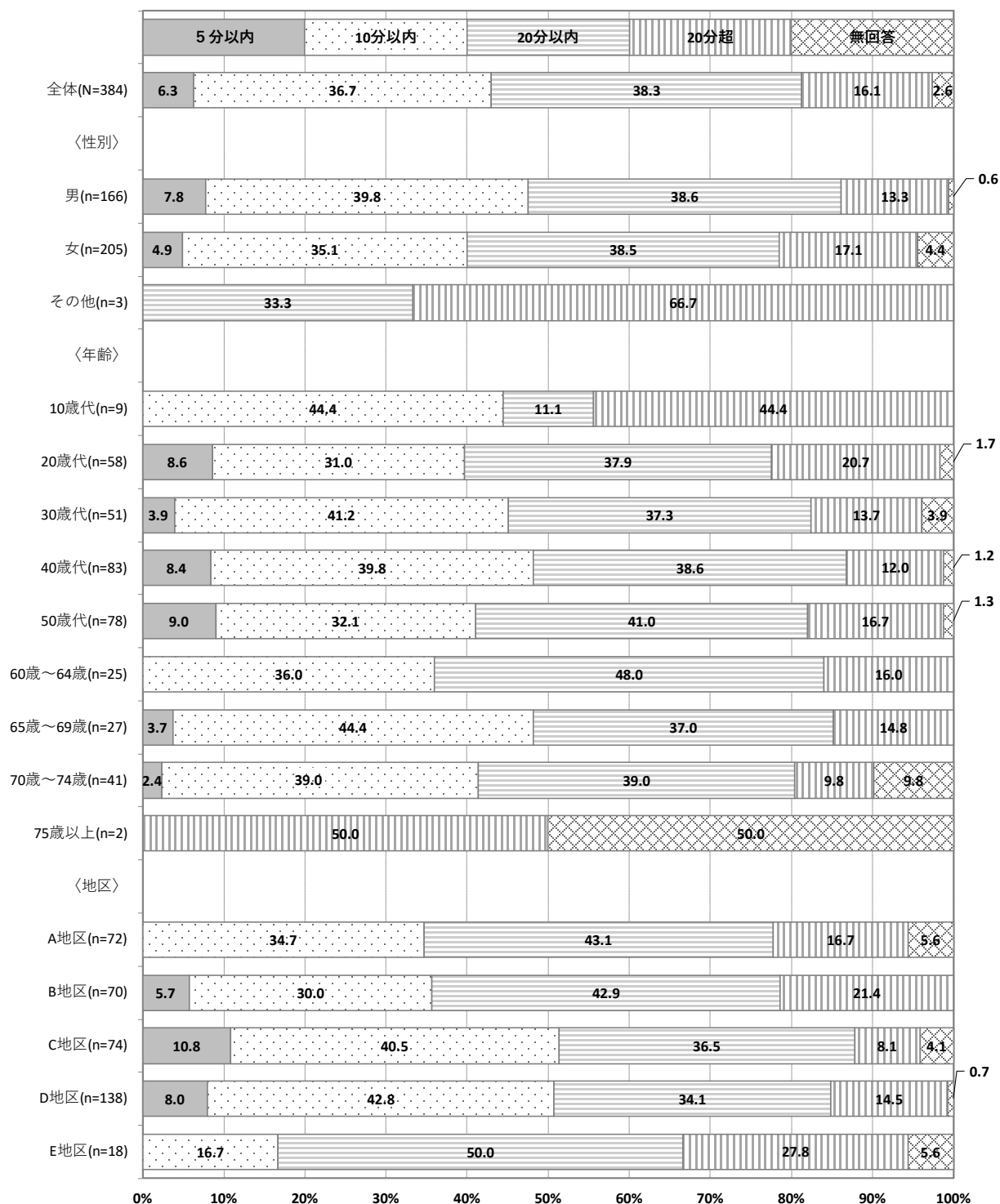
上段:回答数 下段: %

「身近な商店への移動時間」

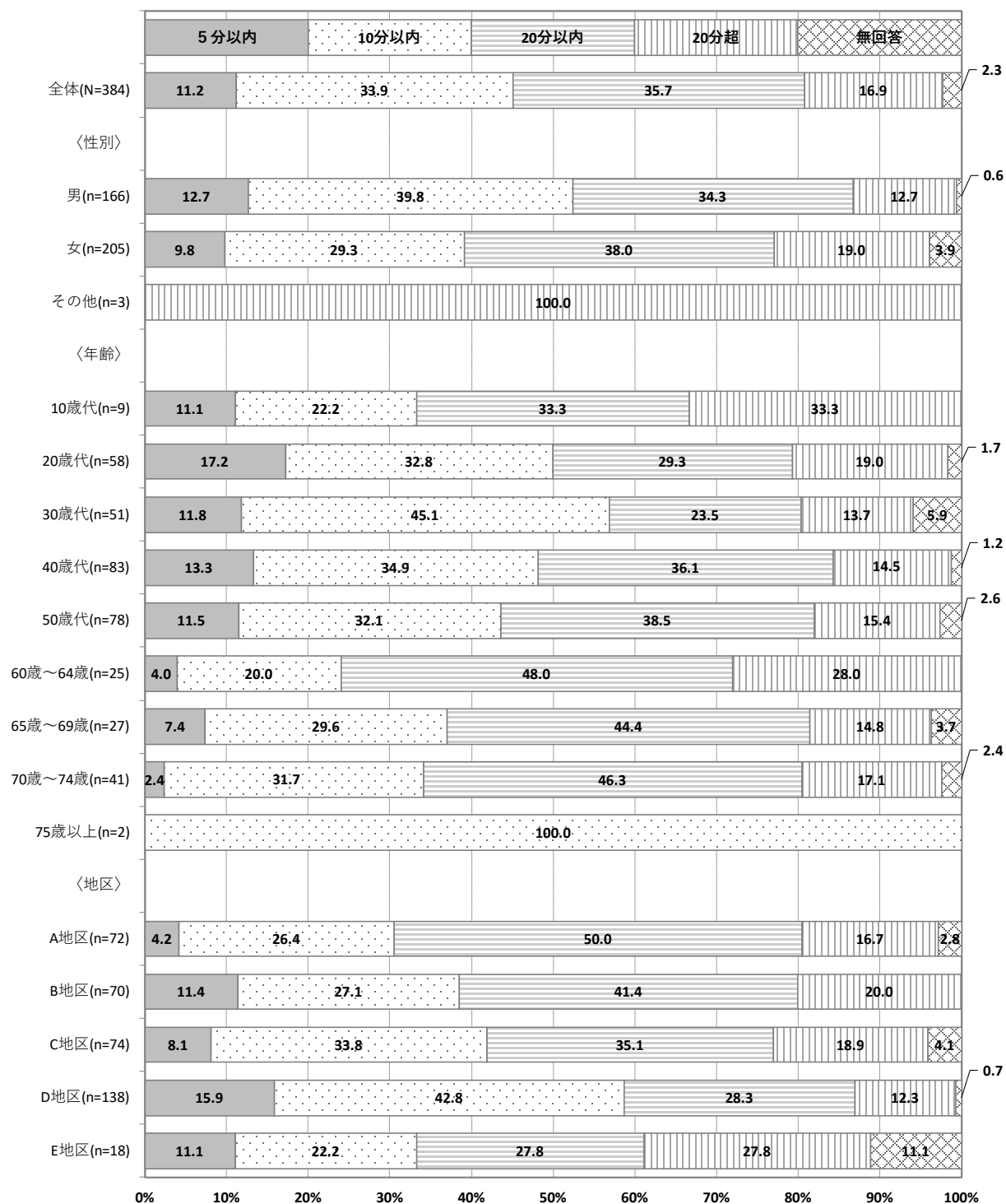


第1章 市民意識調査

「大規模な店舗への移動時間」

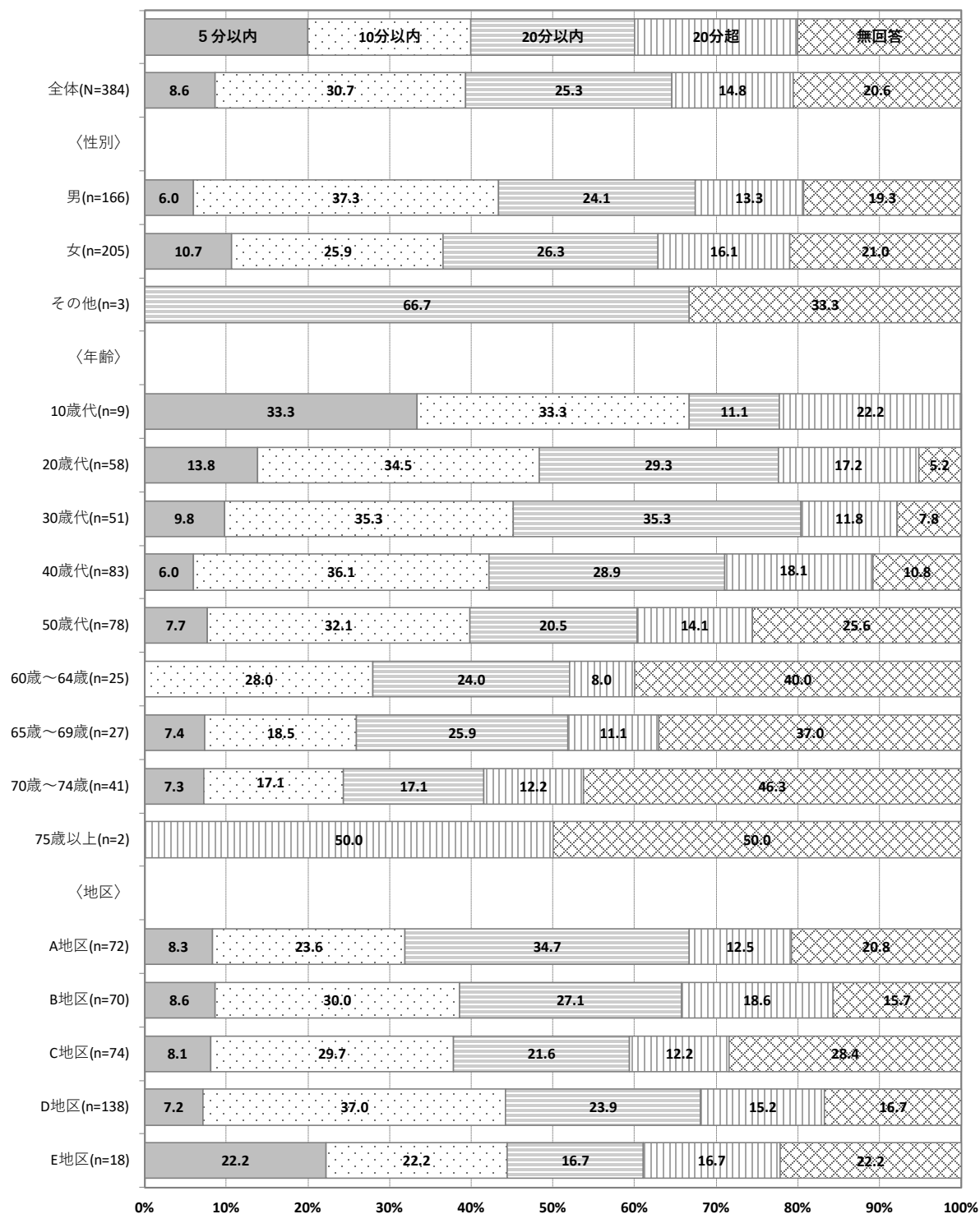


「病院などへの移動時間」

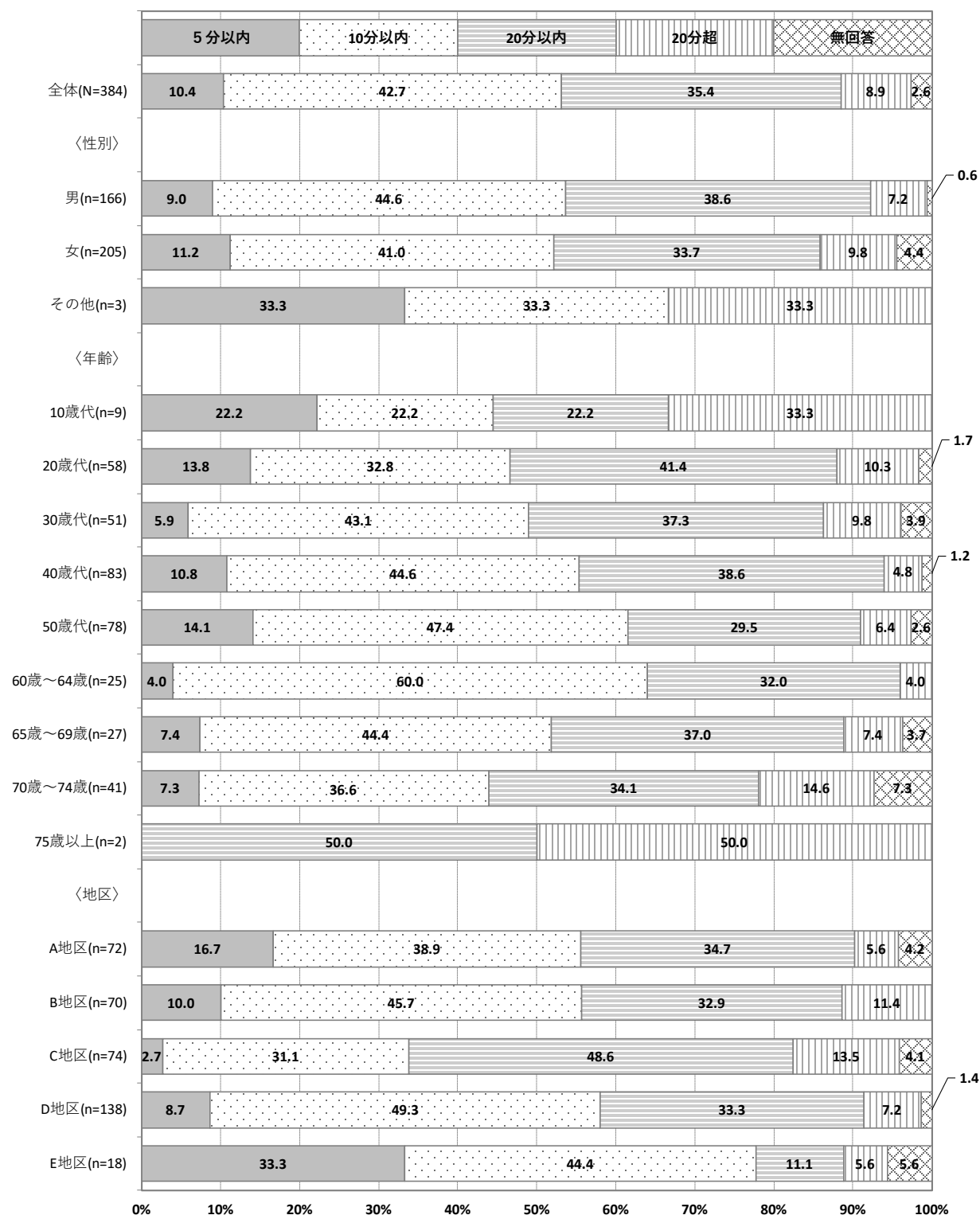


第1章 市民意識調査

「福祉施設への移動時間」



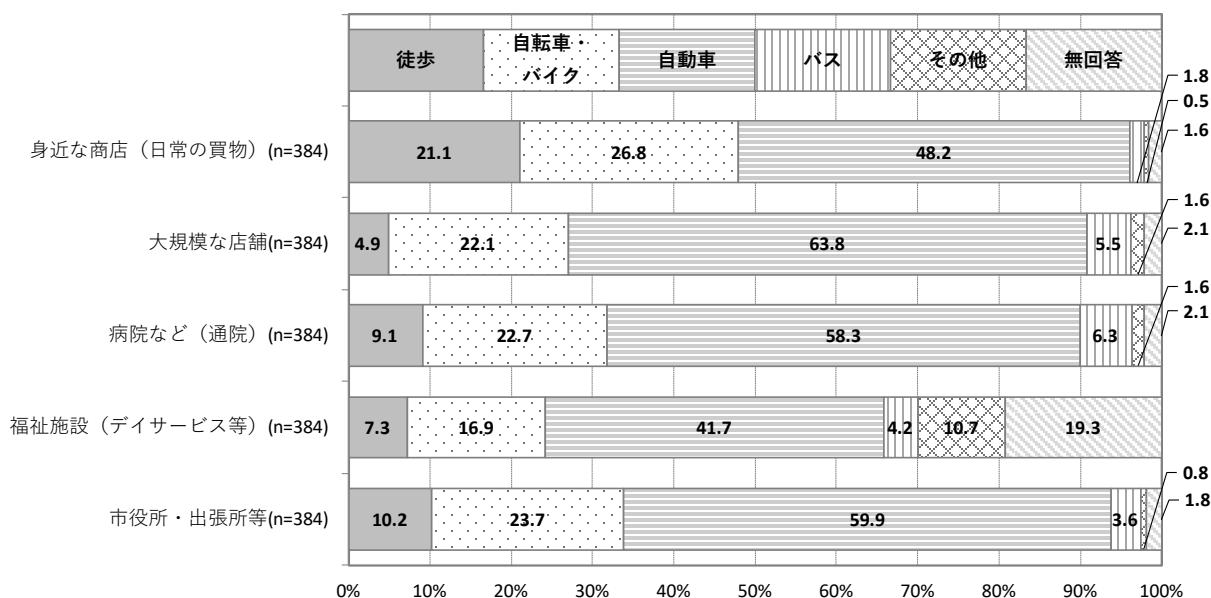
「市役所・出張所等への移動時間」



第1章 市民意識調査

問 35-2 通勤・通学以外で利用する施設や場所への移動手段（単一回答形式）

- 「身近な商店（日常の買物）」は、「自動車」が最多で 48.2%、「大規模な店舗」は「自動車」が最多で 63.8%、「病院など（通院）」は「自動車」が最多で 58.3%、「福祉施設（デイサービス等）」は「自動車」が最多で 41.7%、「市役所・出張所等」は「自動車」が最多で 59.9%となっています。



	徒歩	自転車・バイク	自動車	バス	その他	無回答
身近な商店（日常の買物）	81 21.1	103 26.8	185 48.2	7 1.8	2 0.5	6 1.6
大規模な店舗	19 4.9	85 22.1	245 63.8	21 5.5	6 1.6	8 2.1
病院など（通院）	35 9.1	87 22.7	224 58.3	24 6.3	6 1.6	8 2.1
福祉施設（デイサービス等）	28 7.3	65 16.9	160 41.7	16 4.2	41 10.7	74 19.3
市役所・出張所等	39 10.2	91 23.7	230 59.9	14 3.6	3 0.8	7 1.8

上段:回答数 下段: %

〈その他の回答〉

「身近な商店へ行くための交通手段」

- ・ 電車

「大規模な店舗へ行くための交通手段」

- ・ 電車
- ・ モノレール
- ・ むらタク

「病院などへ行くための交通手段」

- ・ 電車
- ・ モノレール
- ・ バス・電車

「福祉施設へ行くための交通手段」

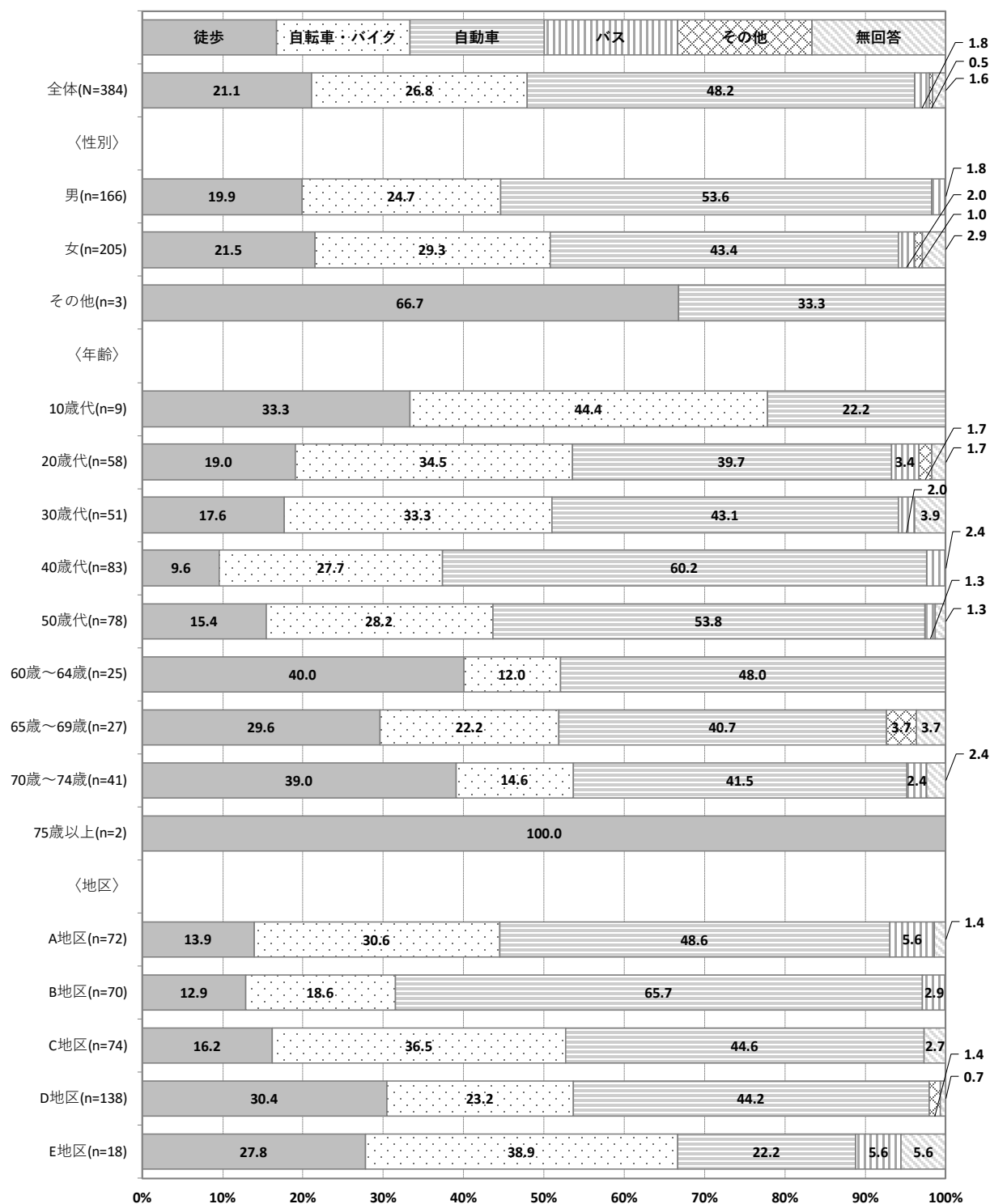
- ・ むらタク
- ・ 送迎あり
- ・ 用がない

「市役所・出張所等へ行くための交通手段」

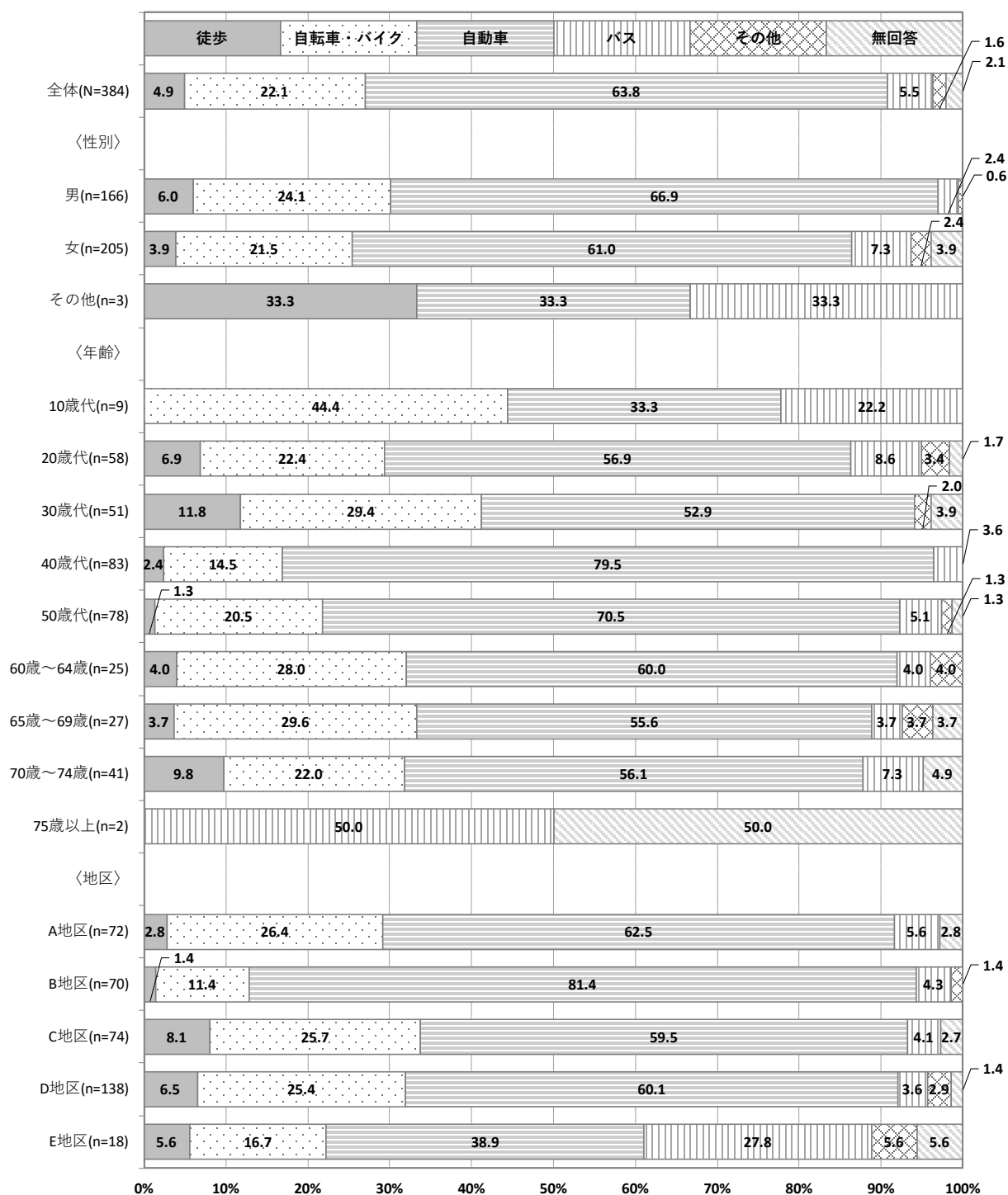
- ・ 家族に車で送ってもらう
- ・ タクシー
- ・ むらタク

第1章 市民意識調査

「身近な商店へ行くための交通手段」

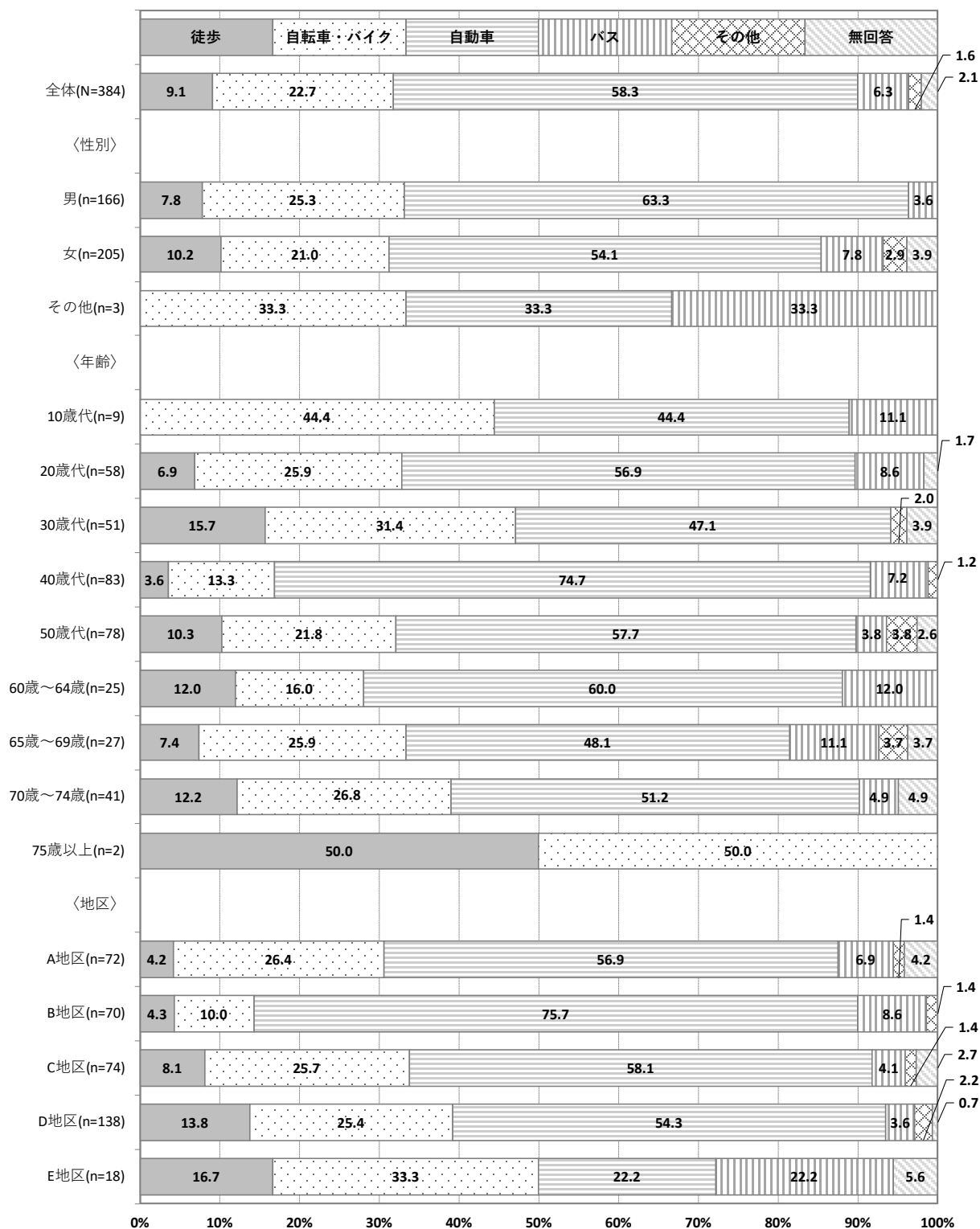


「大規模な店舗へ行くための交通手段」

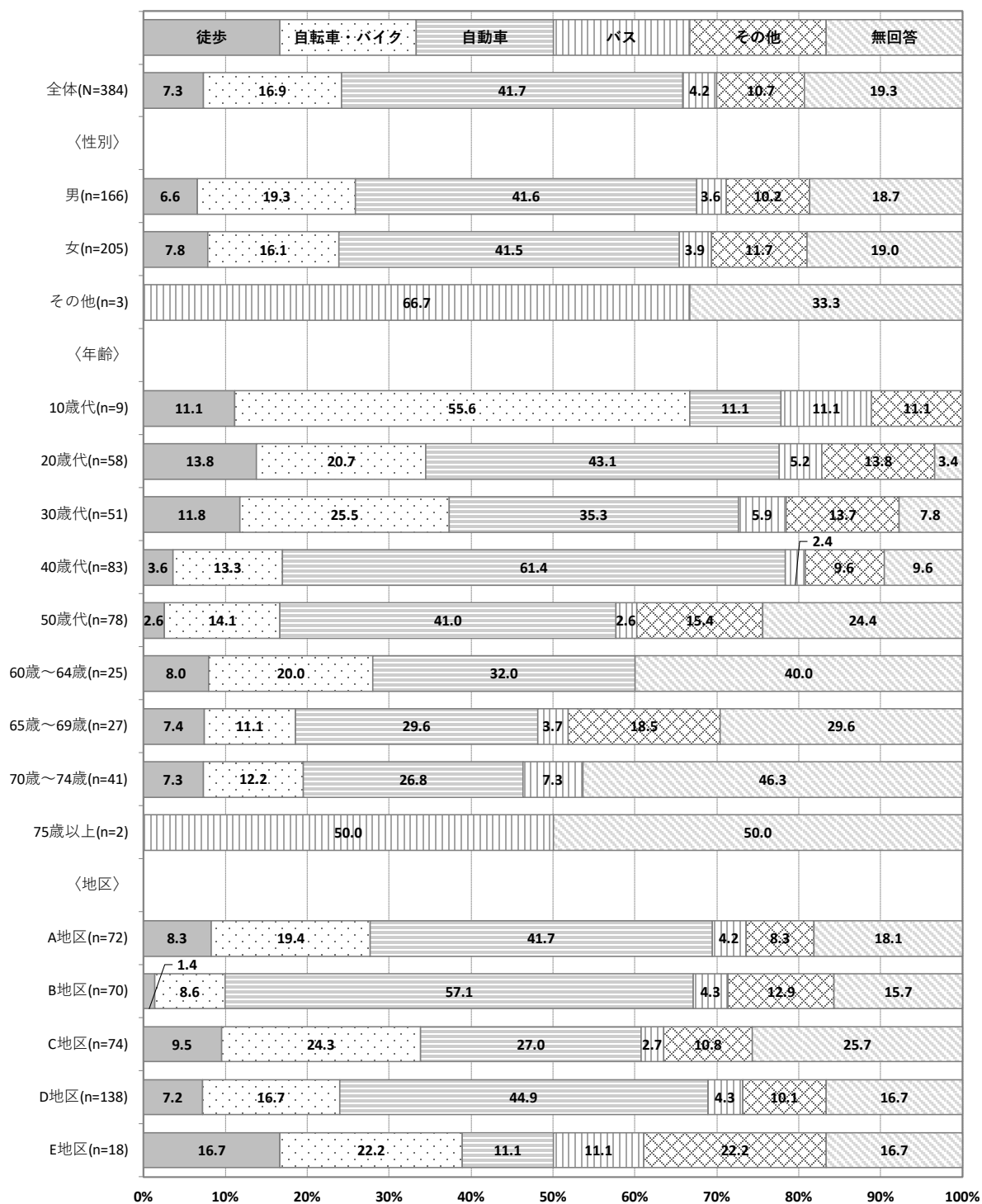


第1章 市民意識調査

「病院などへ行くための交通手段」

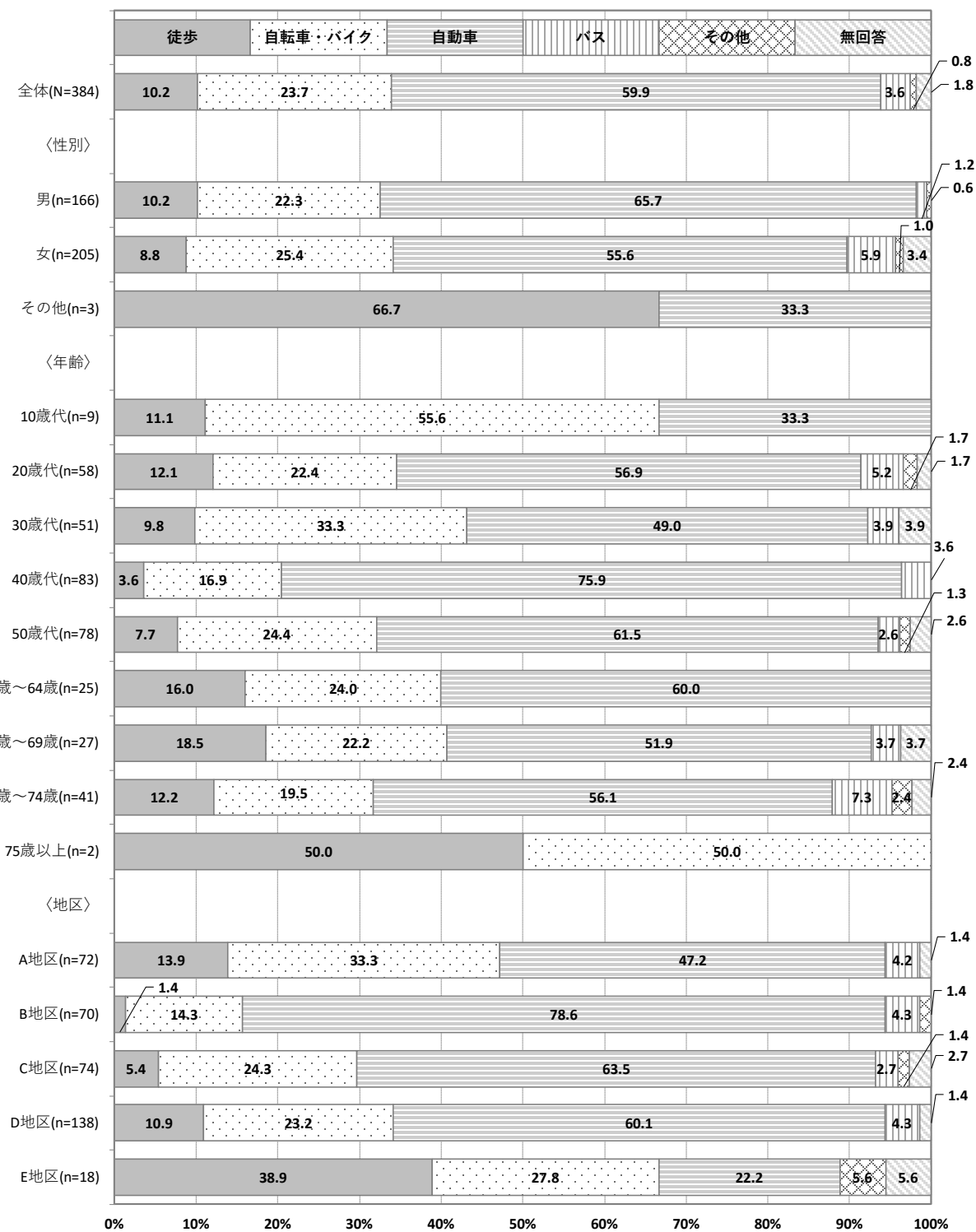


「福祉施設へ行くための交通手段」



第1章 市民意識調査

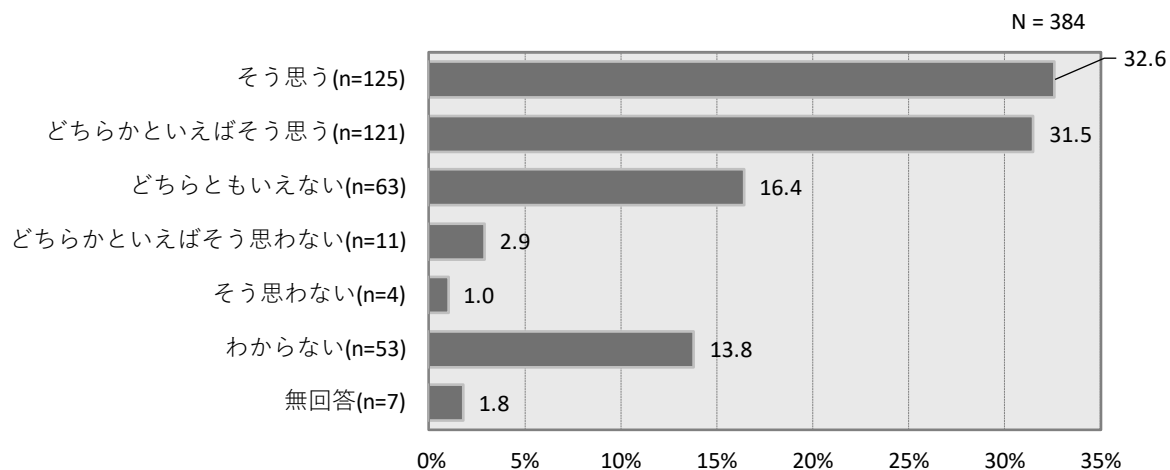
「市役所・出張所等へ行くための交通手段」



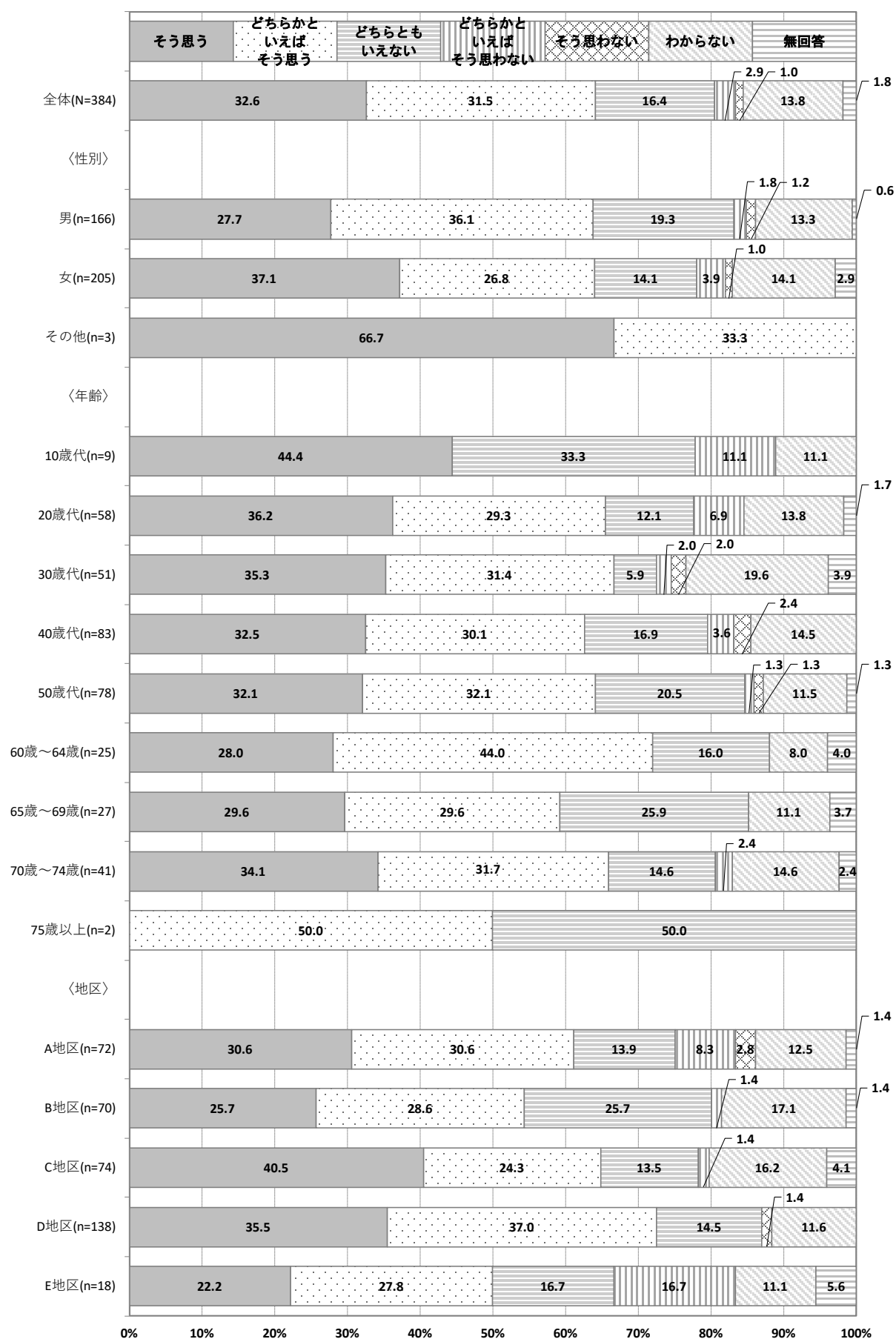
4-4 誰もが学び活躍できるまちづくり

問 36 自分や家族の人権が尊重されていると思うか（単一回答形式）

- 「そう思う」が最多で32.6%、次いで、「どちらかといえばそう思う」が31.5%、「どちらともいえない」が16.4%となっています。



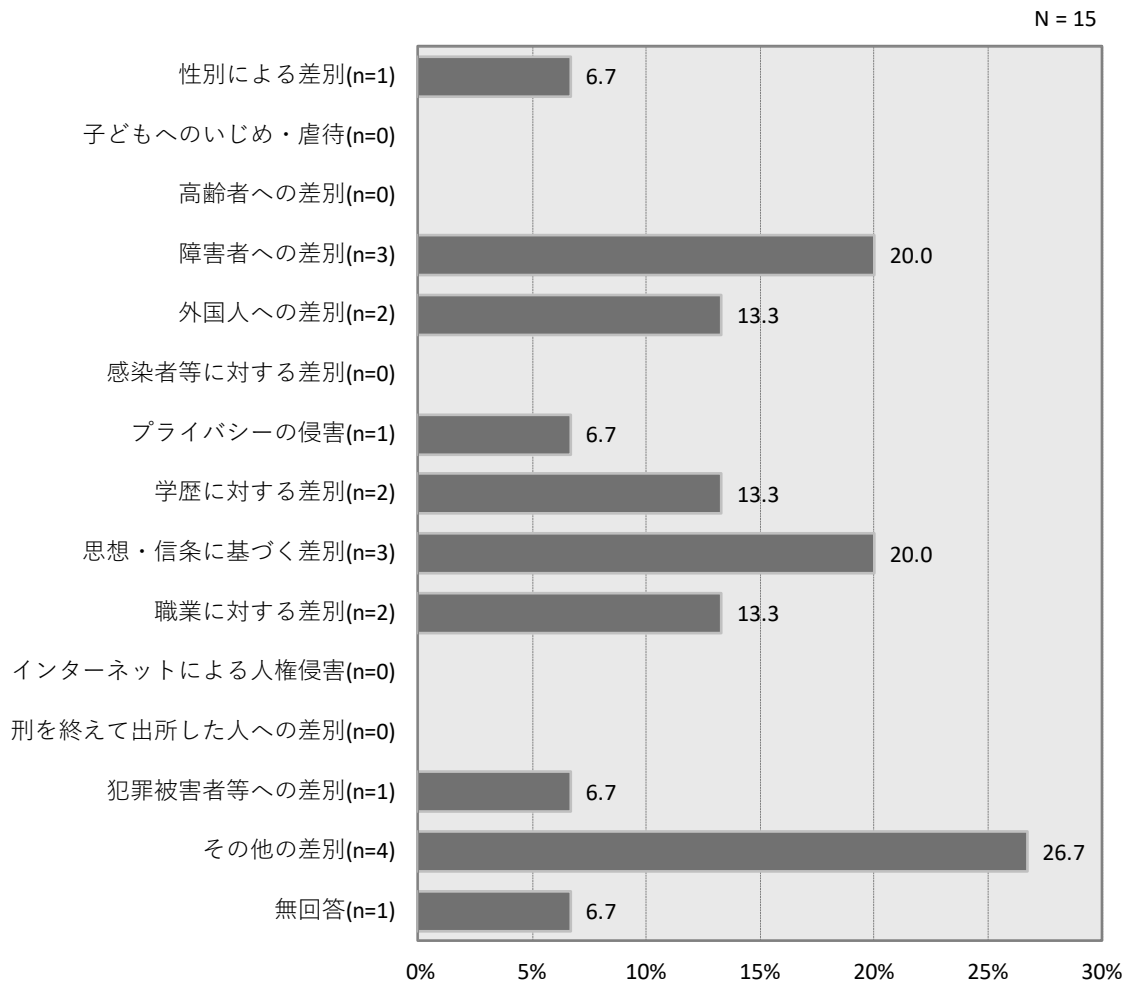
第1章 市民意識調査



問 36-2 人権が尊重されていると思わない理由（複数回答形式）

【「問 36」で、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の場合のみ回答】

- 「その他の差別」が最多で 26.7%、次いで、「障害者への差別」及び「思想・信条に基づく差別」が 20.0%となっています。



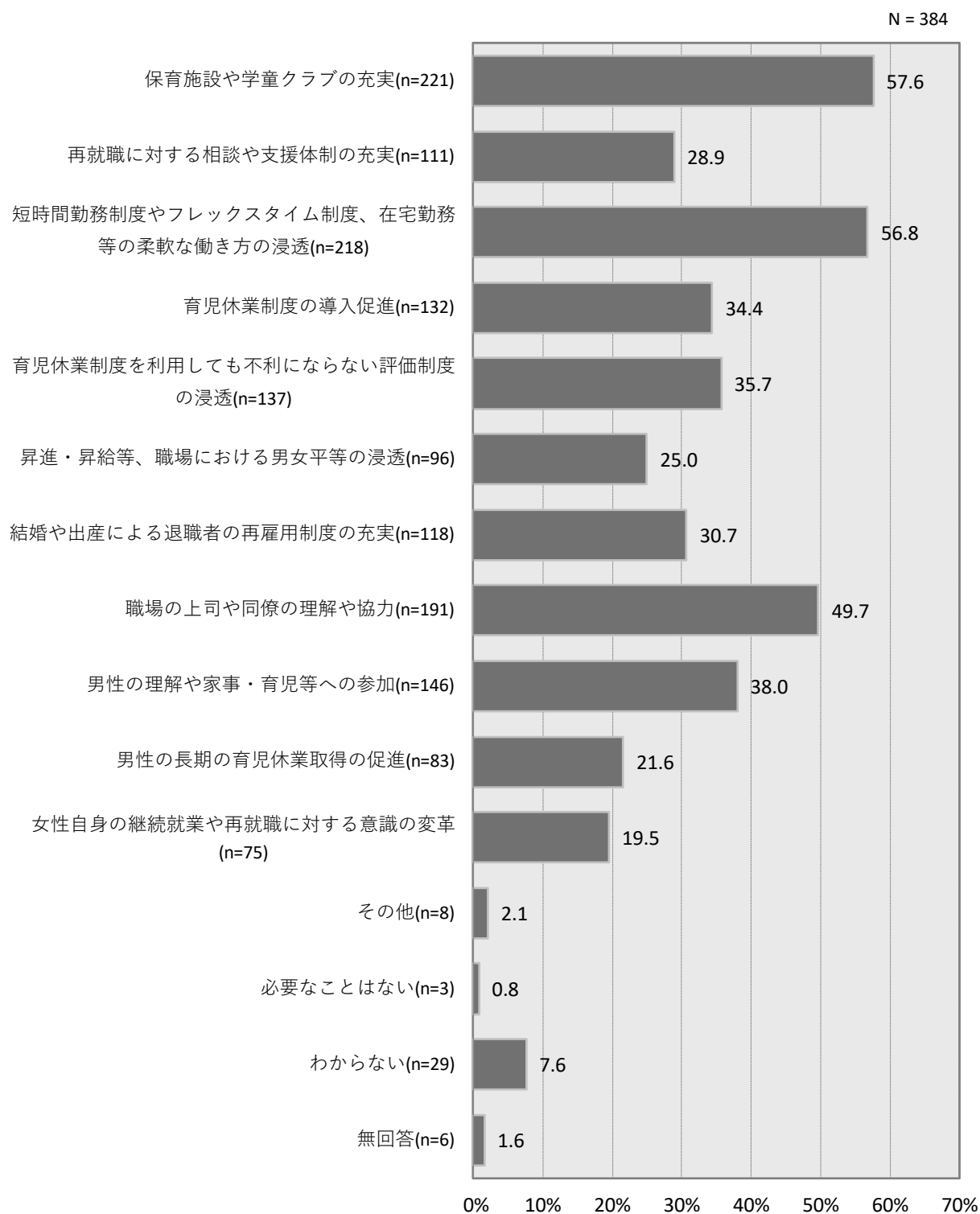
〈その他の回答〉

- ・ 差別とかの話ではない。
- ・ 性的マイノリティ
- ・ 市民として同じサービスを受けられない。
- ・ 引っ越してきた当初、よそ者扱いされた。

第1章 市民意識調査

問 37 女性が結婚や出産後も働き続けるために何が必要か（複数回答形式）

- 「保育施設や学童クラブの充実」が最多で 57.6%、次いで、「短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透」が 56.8%、「職場の上司や同僚の理解や協力」が 49.7%となっています。

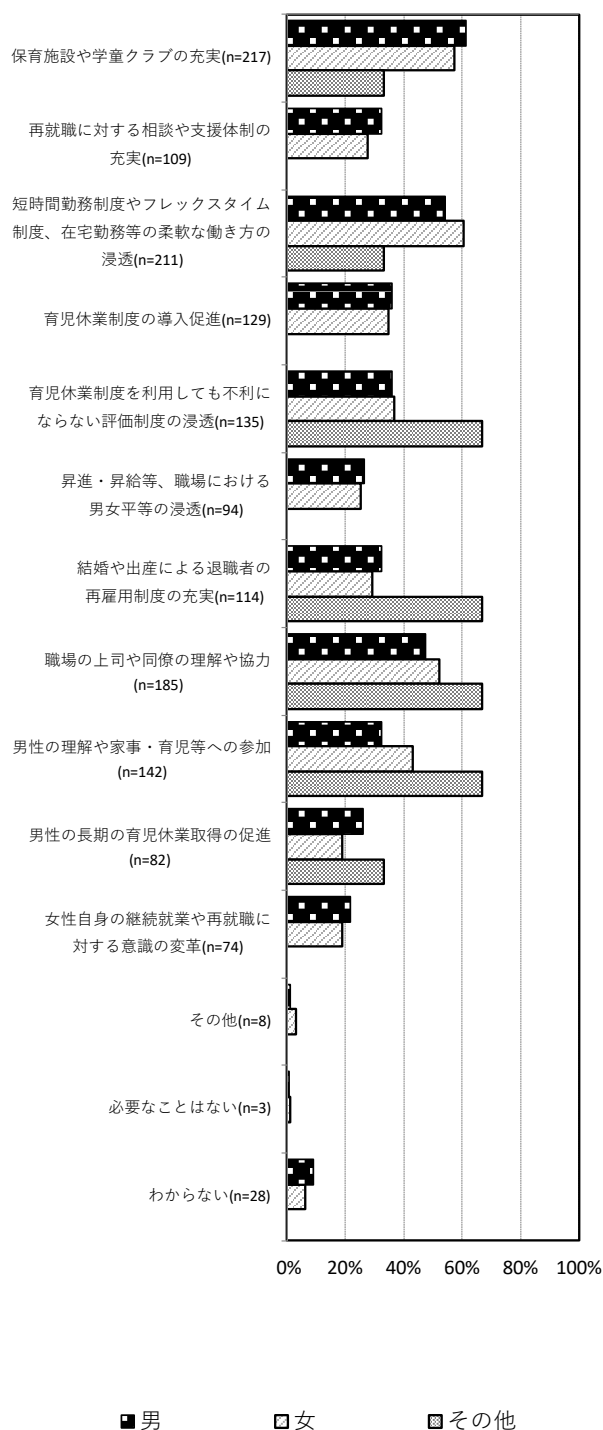


〈その他の回答〉

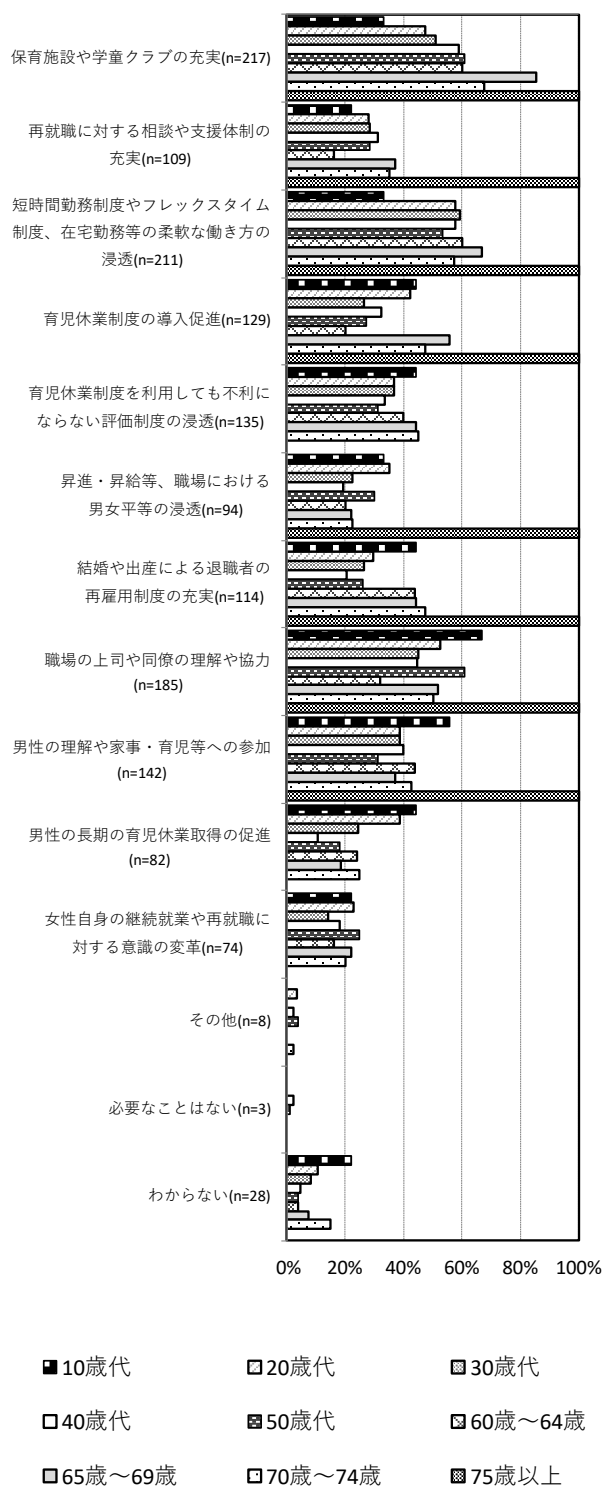
- ・ 身体を健康を維持できる環境
- ・ 子どもの夕食を保育施設等で提供していただくと働くお母さんも助かるのではと。子どもにしっかり食事をとらせるためにもっと考えたい。
- ・ 市民（国民）全員の意識の変革。
- ・ 制度は充分だと思います。
- ・ 働きやすさ、休みやすさ、金
- ・ 女性は結婚、出産後働きたい人が働き、家事をしたい人はそれを選べるのが、女性にも男性にも子どもにも暮らしやすい市制だと思う。専業主婦を選ぶ家庭にその選択もできる子育て支援をしてほしい。
- ・ 働きたい女性ばかりじゃないと思う。安心して専業主婦ができる支援などあればよい。

第1章 市民意識調査

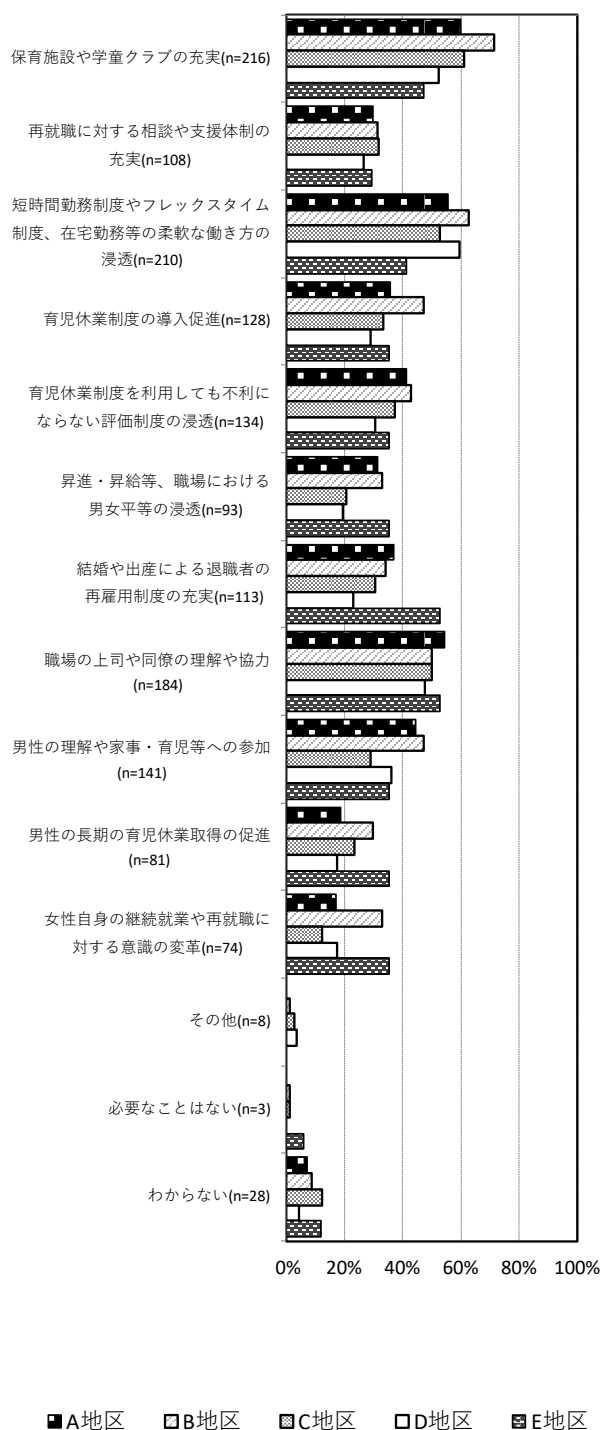
<性別>



<年齢別>



<地区別>

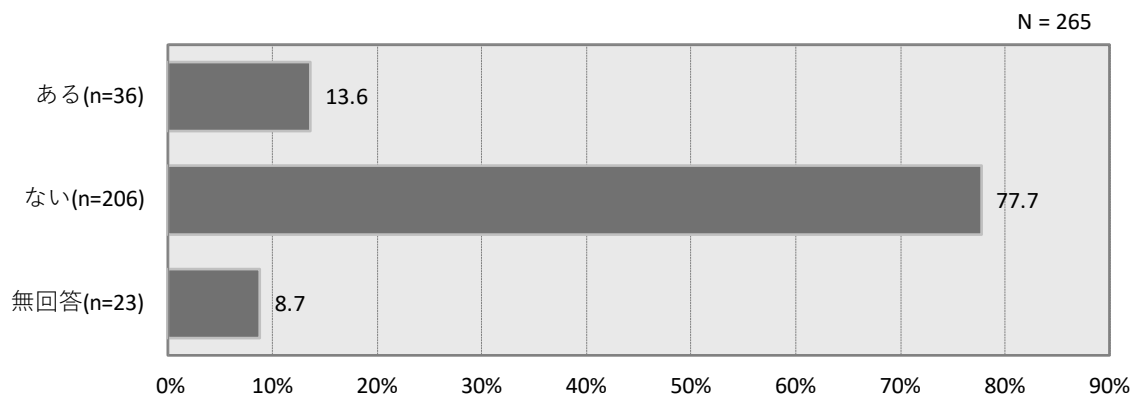


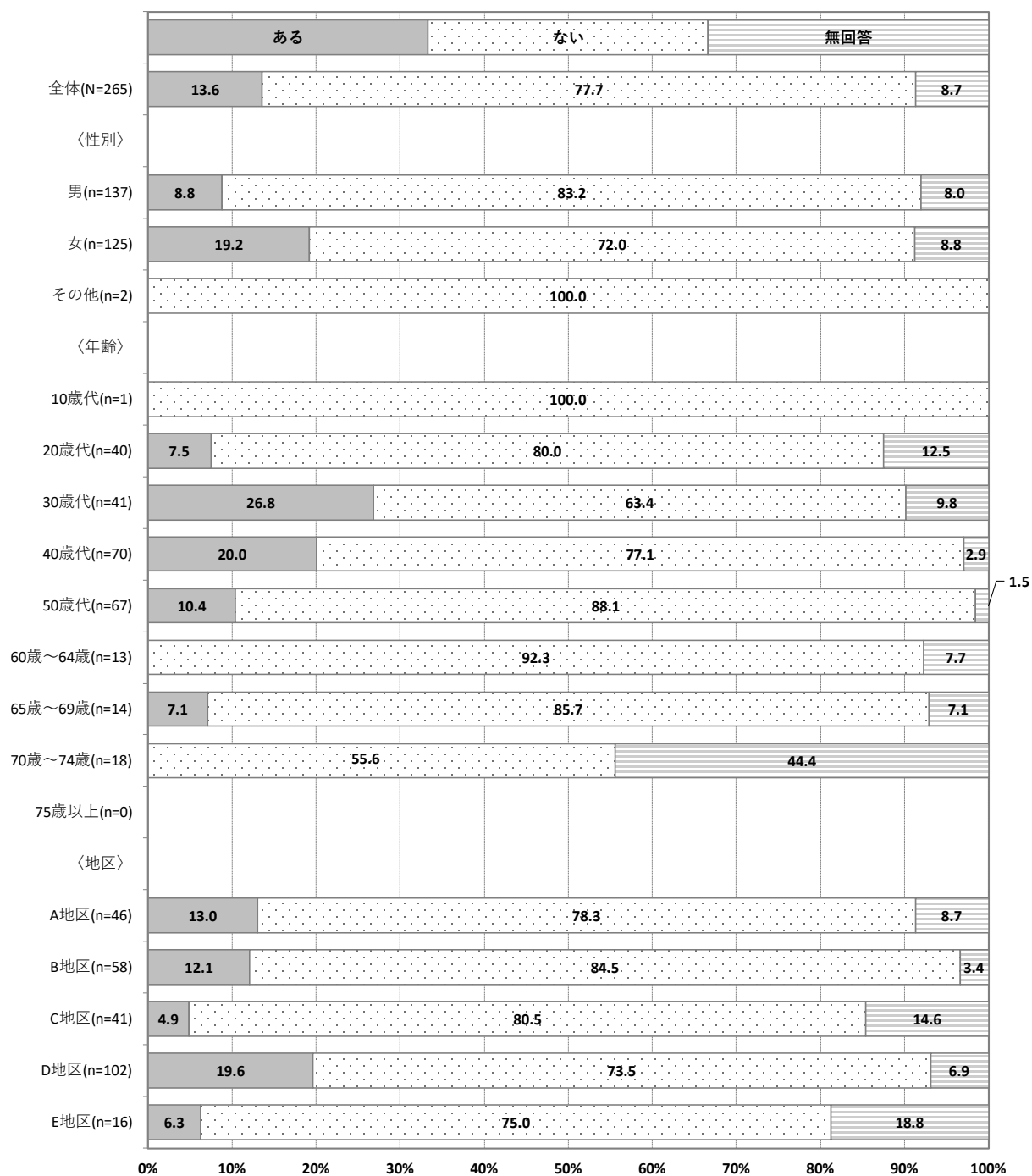
第1章 市民意識調査

問 38-1 育児や介護を行うために利用した制度（育児休業）（単数回答形式）

【現在、仕事をされている方（休業中を含む）が回答（「問8」で「会社員」、「自営業・自由業」、「公務員（教員・団体職員含む）」、「パート・アルバイト等の臨時雇用」を回答した方と推定）】

●「ある」が13.6%、「ない」が77.7%となっています。



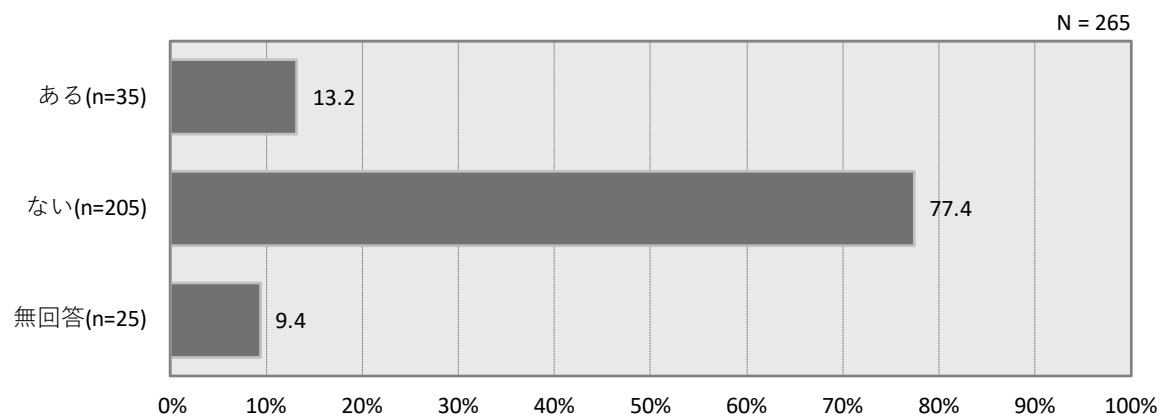


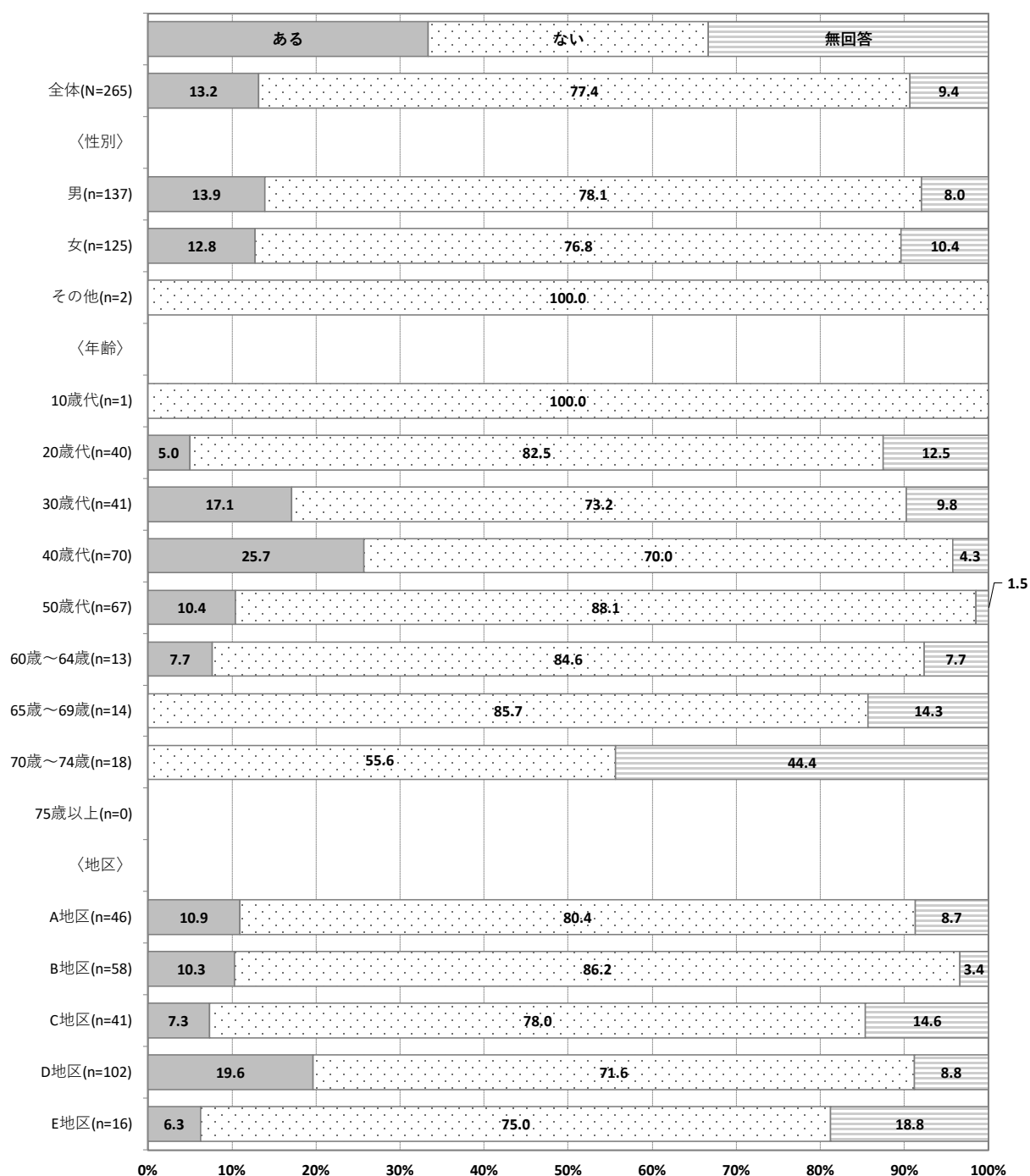
第1章 市民意識調査

問 38-2 育児や介護を行うために利用した制度（子の看護休暇）（単数回答形式）

【現在、仕事をされている方（休業中を含む）が回答（「問8」で「会社員」、「自営業・自由業」、「公務員（教員・団体職員含む）」、「パート・アルバイト等の臨時雇用」を回答した方と推定）】

● 「ある」が13.2%、「ない」が77.4%となっています。



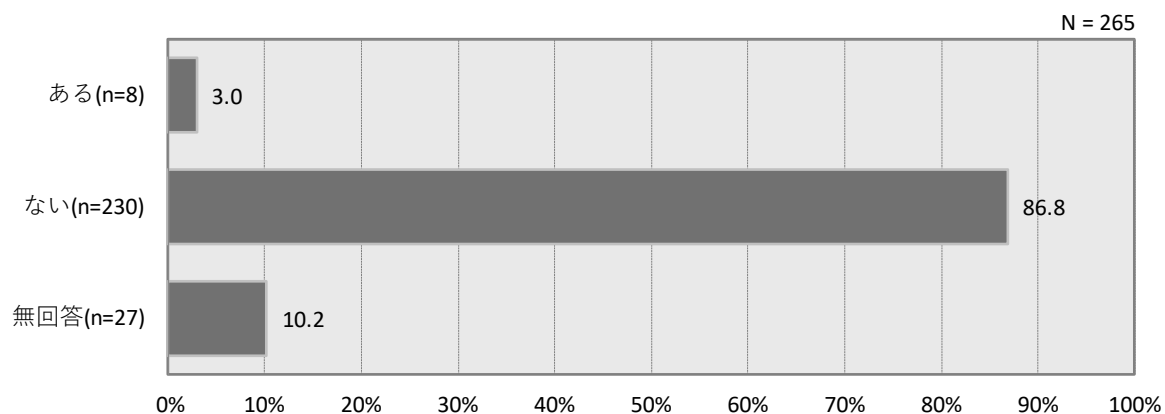


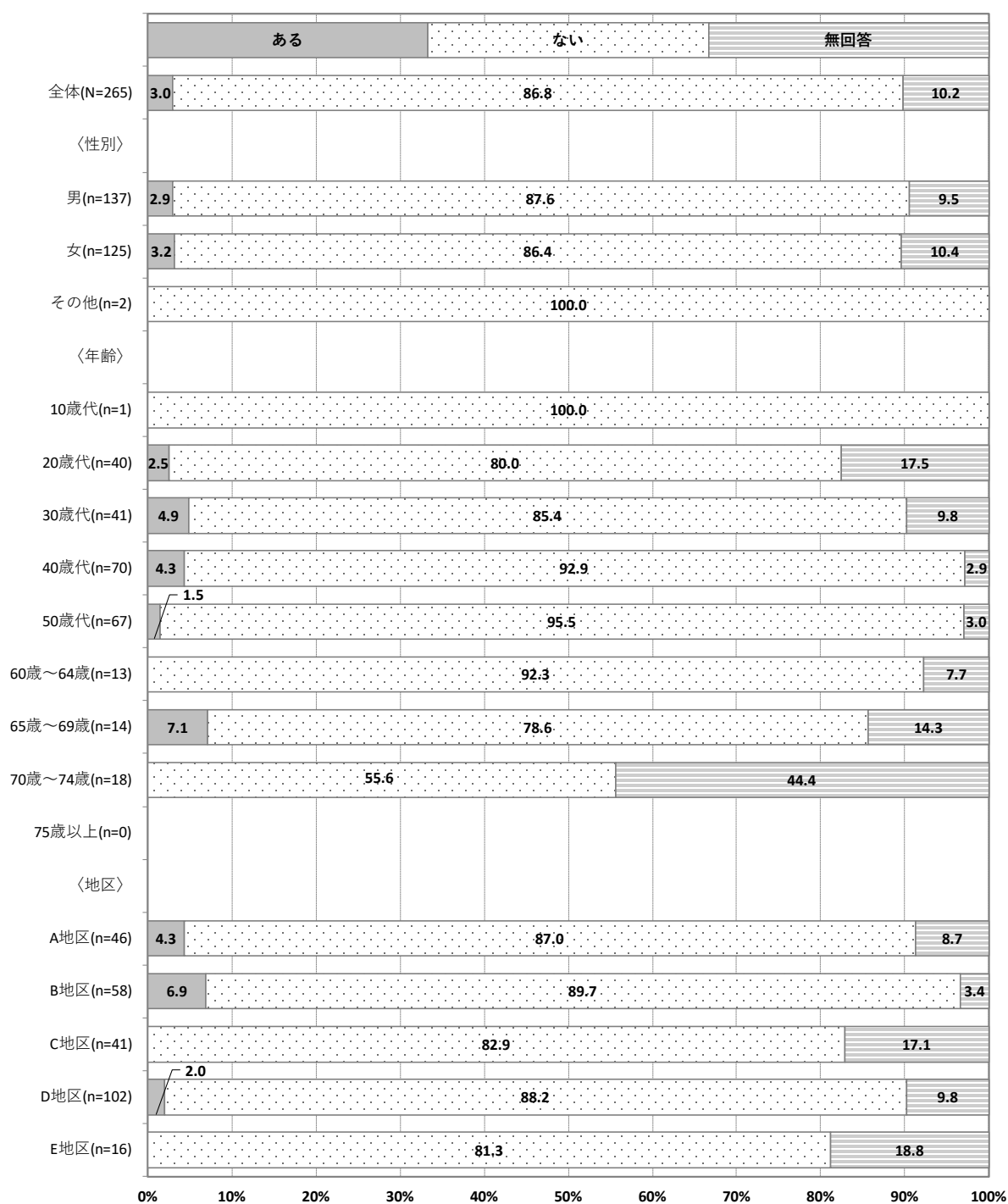
第1章 市民意識調査

問 38-3 育児や介護を行うために利用した制度（介護休業）（単数回答形式）

【現在、仕事をされている方（休業中を含む）が回答（「問8」で「会社員」、「自営業・自由業」、「公務員（教員・団体職員含む）」、「パート・アルバイト等の臨時雇用」を回答した方と推定）】

●「ある」が3.0%、「ない」が86.8%となっています。



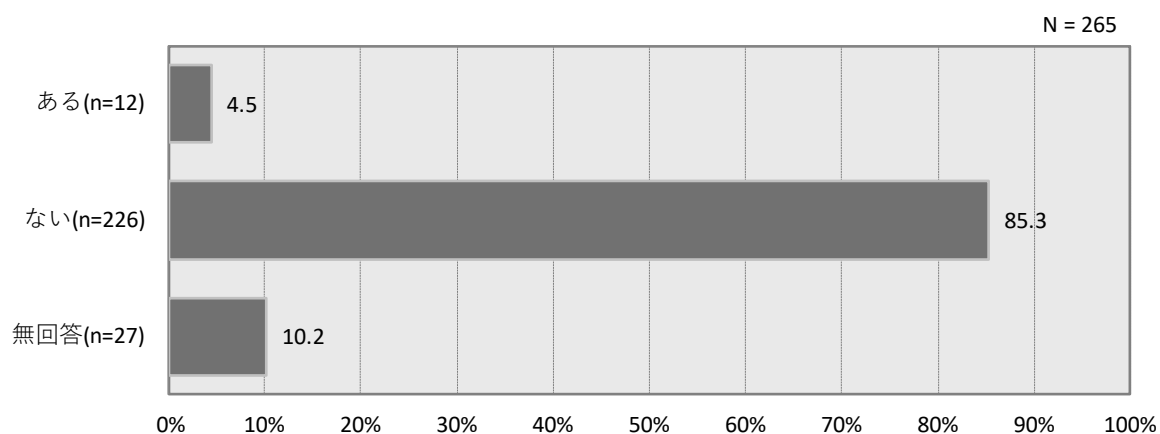


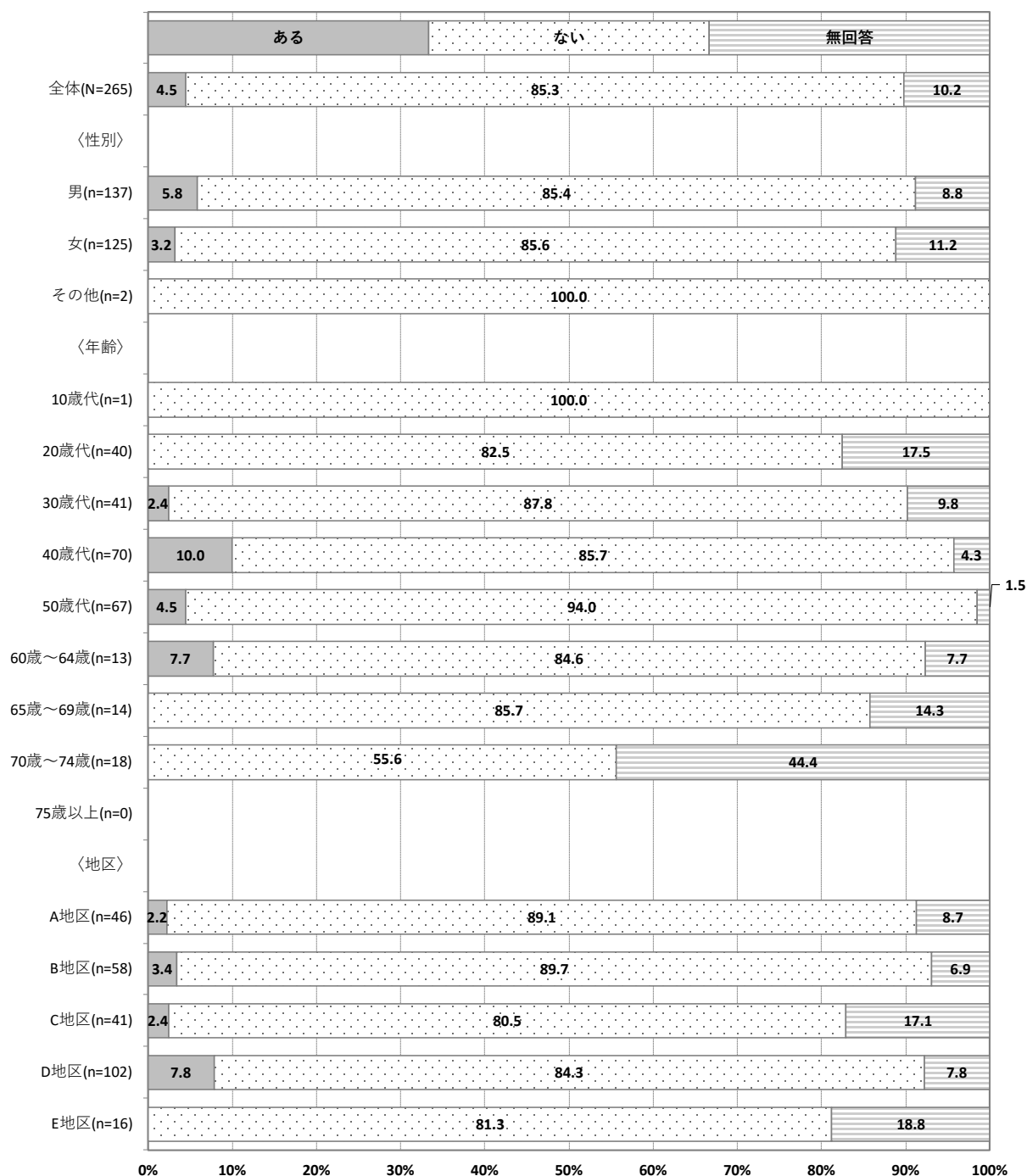
第1章 市民意識調査

問 38-4 育児や介護を行うために利用した制度（介護休暇）（単数回答形式）

【現在、仕事をされている方（休業中を含む）が回答（「問 8」で「会社員」、「自営業・自由業」、「公務員（教員・団体職員含む）」、「パート・アルバイト等の臨時雇用」を回答した方と推定）】

● 「ある」が 4.5%、「ない」が 85.3%となっています。

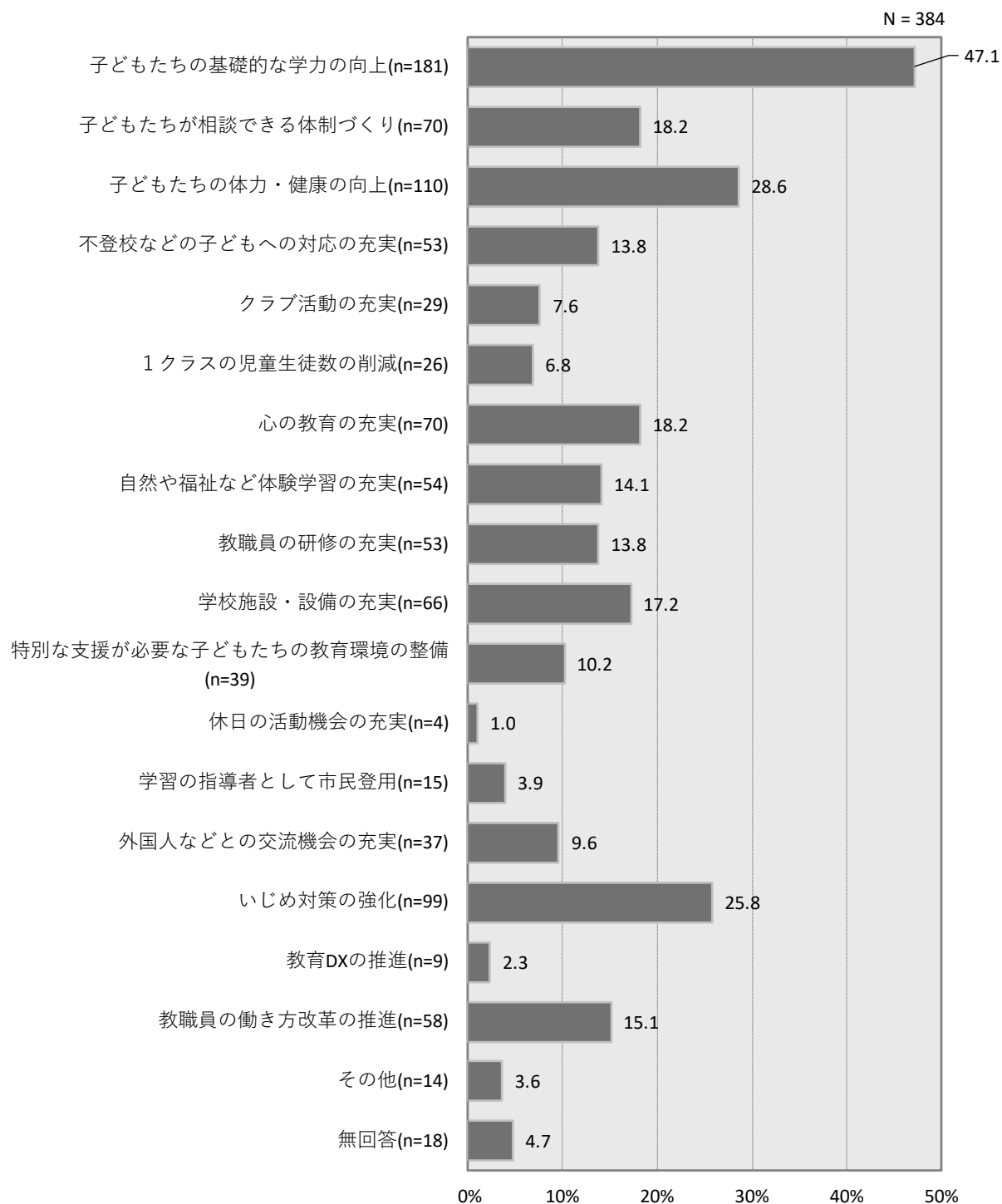




第1章 市民意識調査

問39 子どもたちの教育を充実させるために市がすべきこと（複数回答形式）

- 「子どもたちの基礎的な学力の向上」が最多で 47.1%、次いで、「子どもたちの体力・健康の向上」が 28.6%、「いじめ対策の強化」が 25.8%となっています。

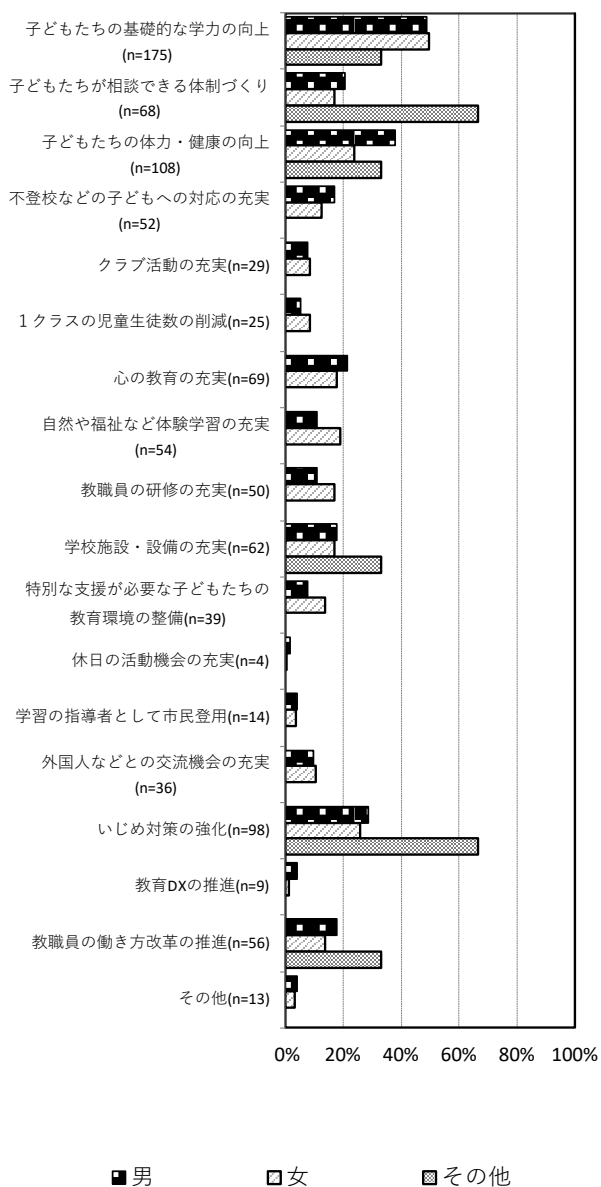


〈その他の回答〉

- ・ 税金の仕組みについての勉強
- ・ 親の教職員への主観的干渉を断絶。あと学習に使用するタブレットにアプリを自由に入れさせない。システムの整備。
- ・ 親にゆとりを持たせるための経済支援。
- ・ 子どもいないのでわからない。
- ・ 教員二名制
- ・ 考えたことがない。
- ・ 教職員の仕事の合理化。そもそも仕事を減らす。
- ・ 休日の体育館の解放
- ・ オンライン授業、動画の活用で、教職員の負担軽減、不登校生徒の授業参加などできるのではないか。
- ・ 地元で小学～中学まで通学して卒業しましたがちょっといじめや正直に先生に相談して逆にそれが仇とあることがあった。いいとも悪いとも言えない。
- ・ 外部教育員の採用による、学校教育の充実。放課後補習の充実

第1章 市民意識調査

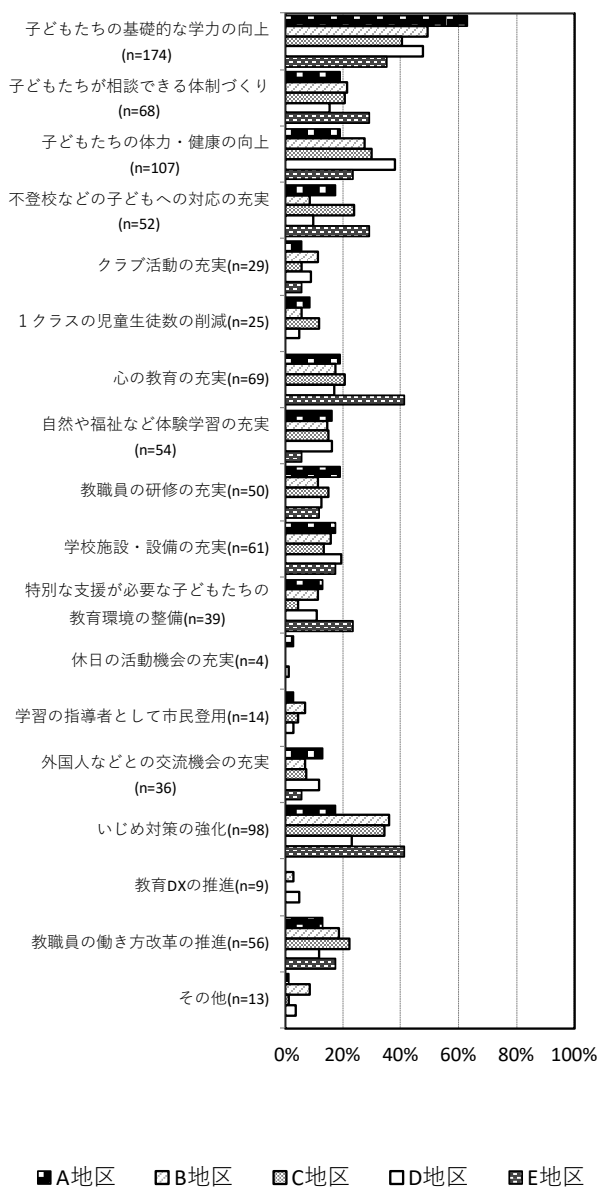
<性別>



<年齢別>



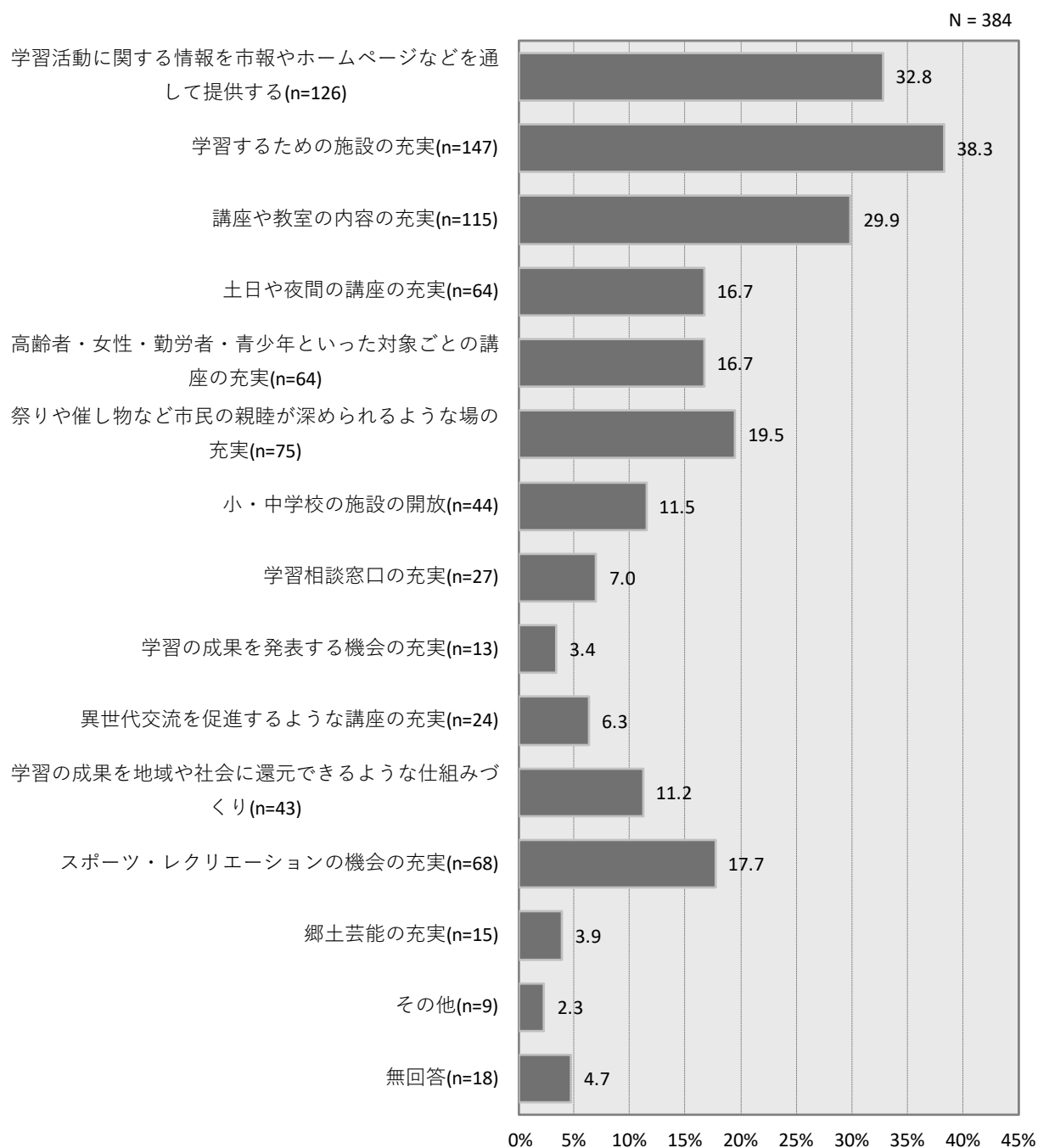
<地区別>



第1章 市民意識調査

問40 生涯学習を充実させるために市がすべきこと（複数回答形式）

- 「学習するための施設の充実」が最多で 38.3%、次いで、「学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する」が 32.8%、「講座や教室の内容の充実」が 29.9%となっています。

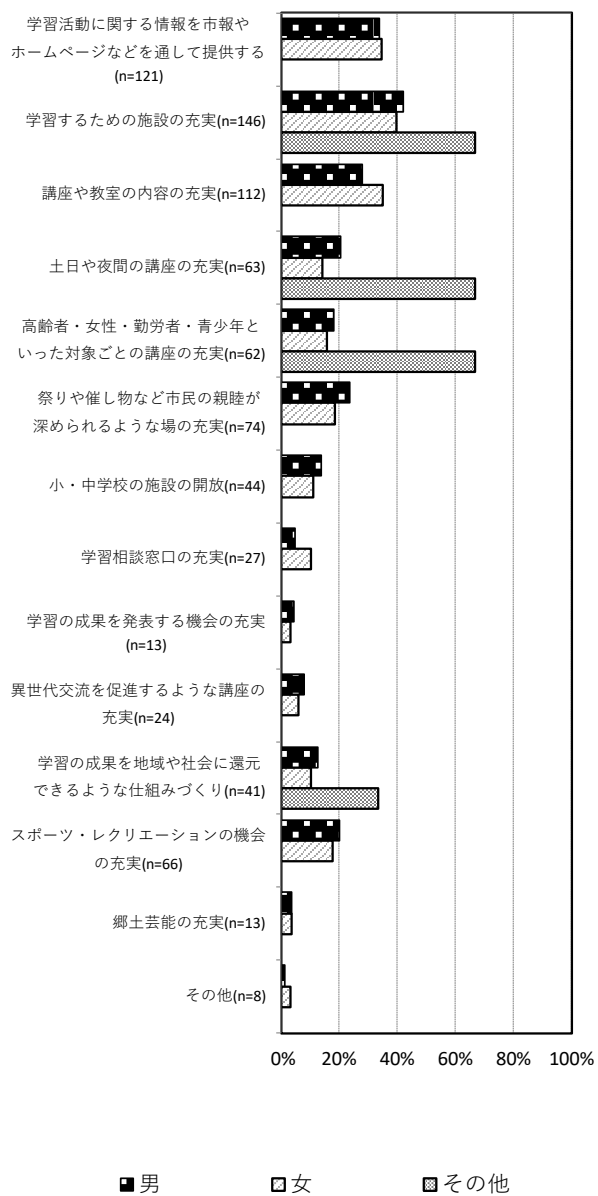


〈その他の回答〉

- ・ 生涯学習活動の充実。
- ・ オンライン講座などの活用により、時間や場所にとらわれず講座参加出来ると嬉しい。
- ・ 基本的に市のホームページ今の子供見ないため学校のホームルームにプリントや学校の掲示板上に掲載した方がいいのではない。
- ・ 各個人でやれば良いことなので行政がかかわる必要はない。
- ・ 子どもを預けながら開催される教室の充実。

第1章 市民意識調査

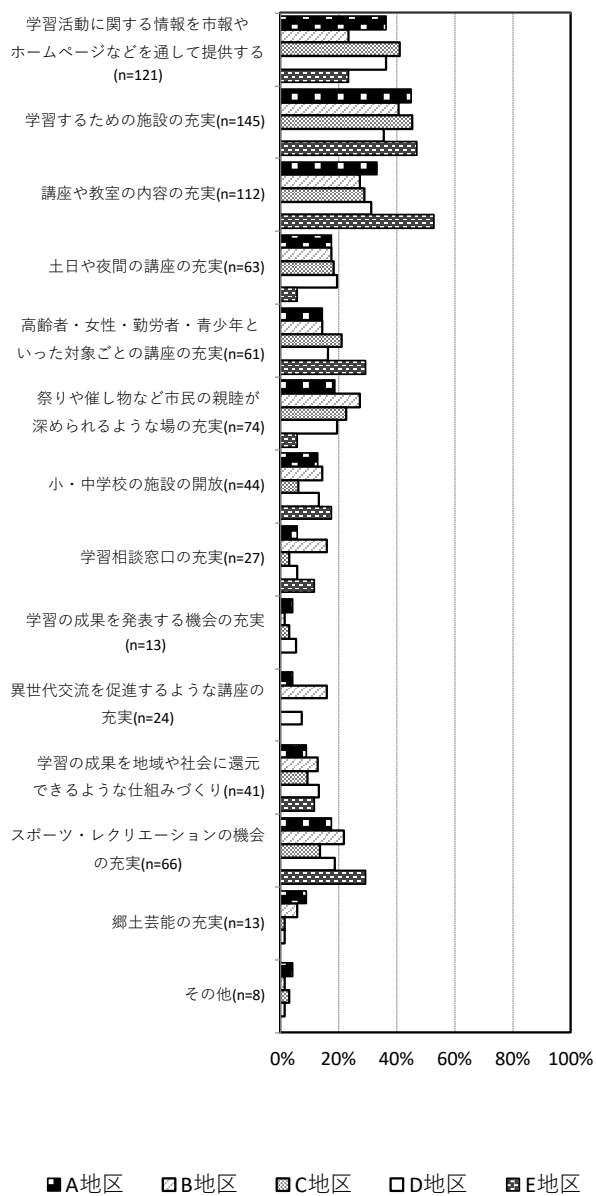
<性別>



<年齢別>



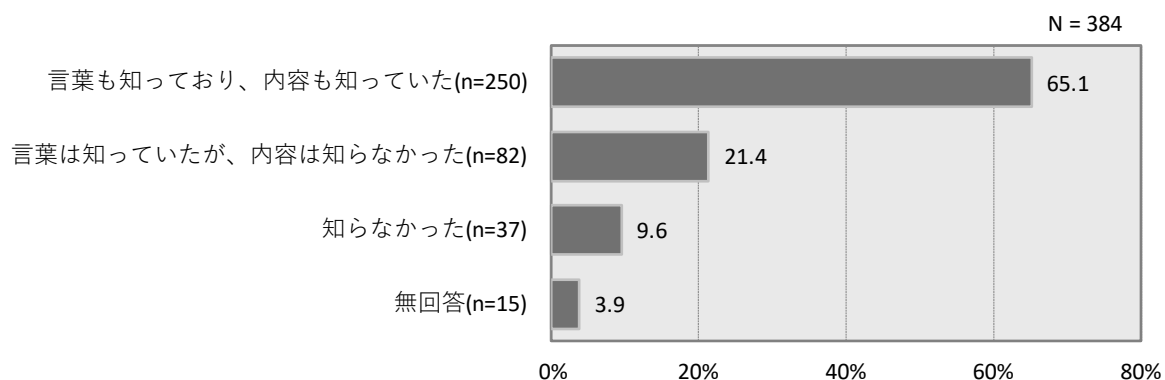
<地区別>

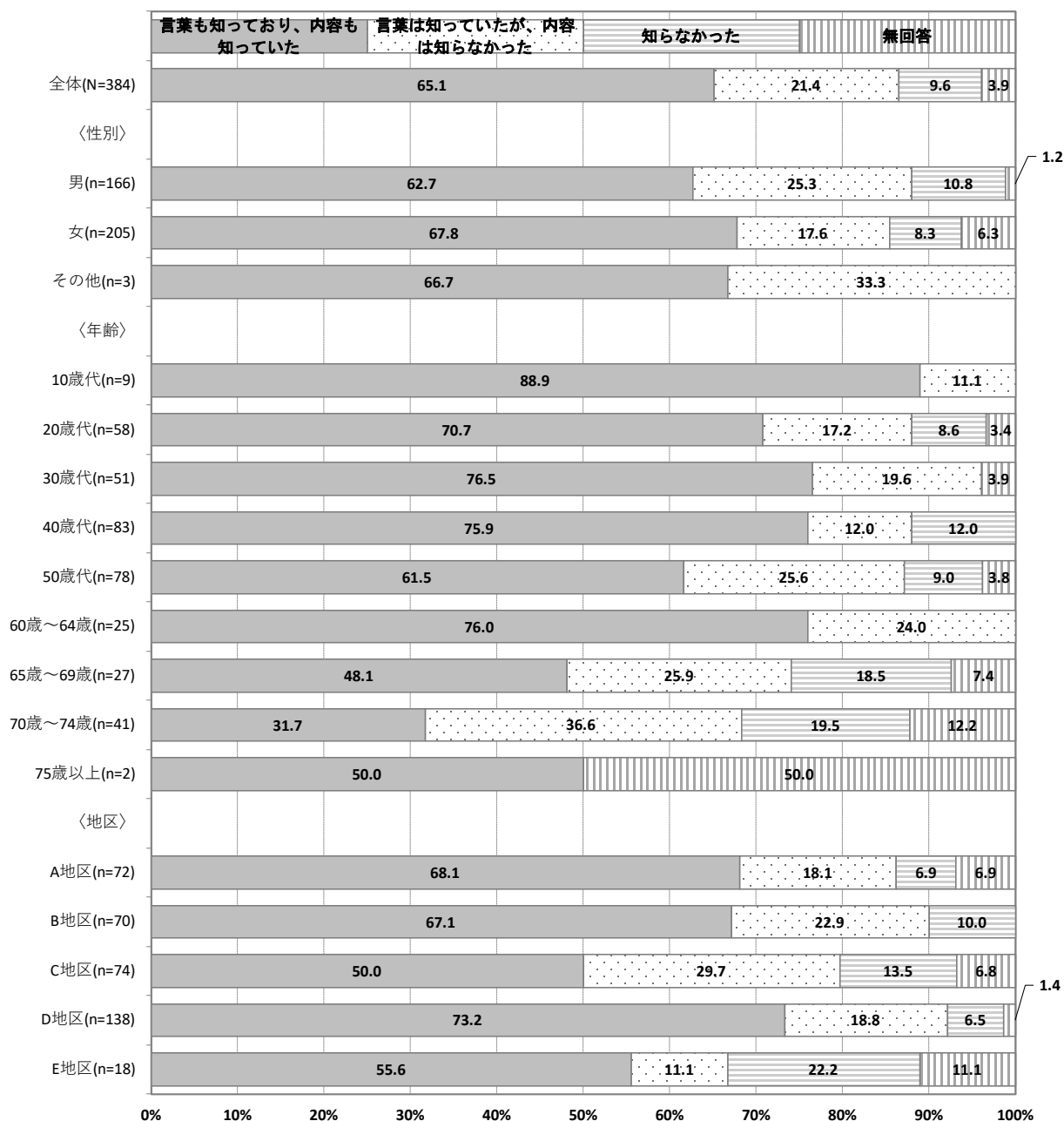


第1章 市民意識調査

問41 「SDGs」という言葉を知っているか（単一回答形式）

- 「言葉も知っており、内容も知っていた」が最多で 65.1%、次いで、「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」が 21.4%、「知らなかった」が 9.6%となっています。



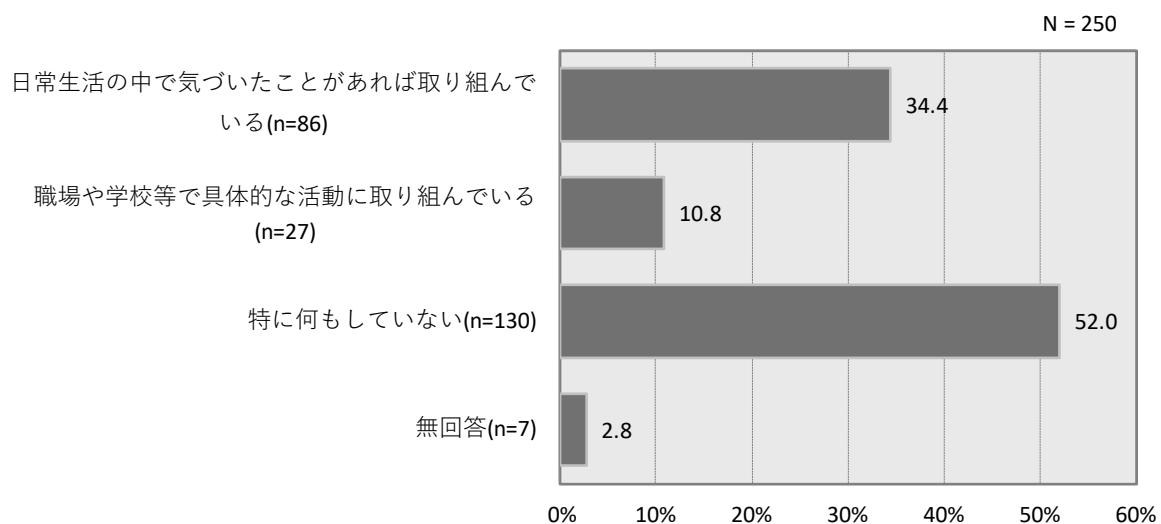


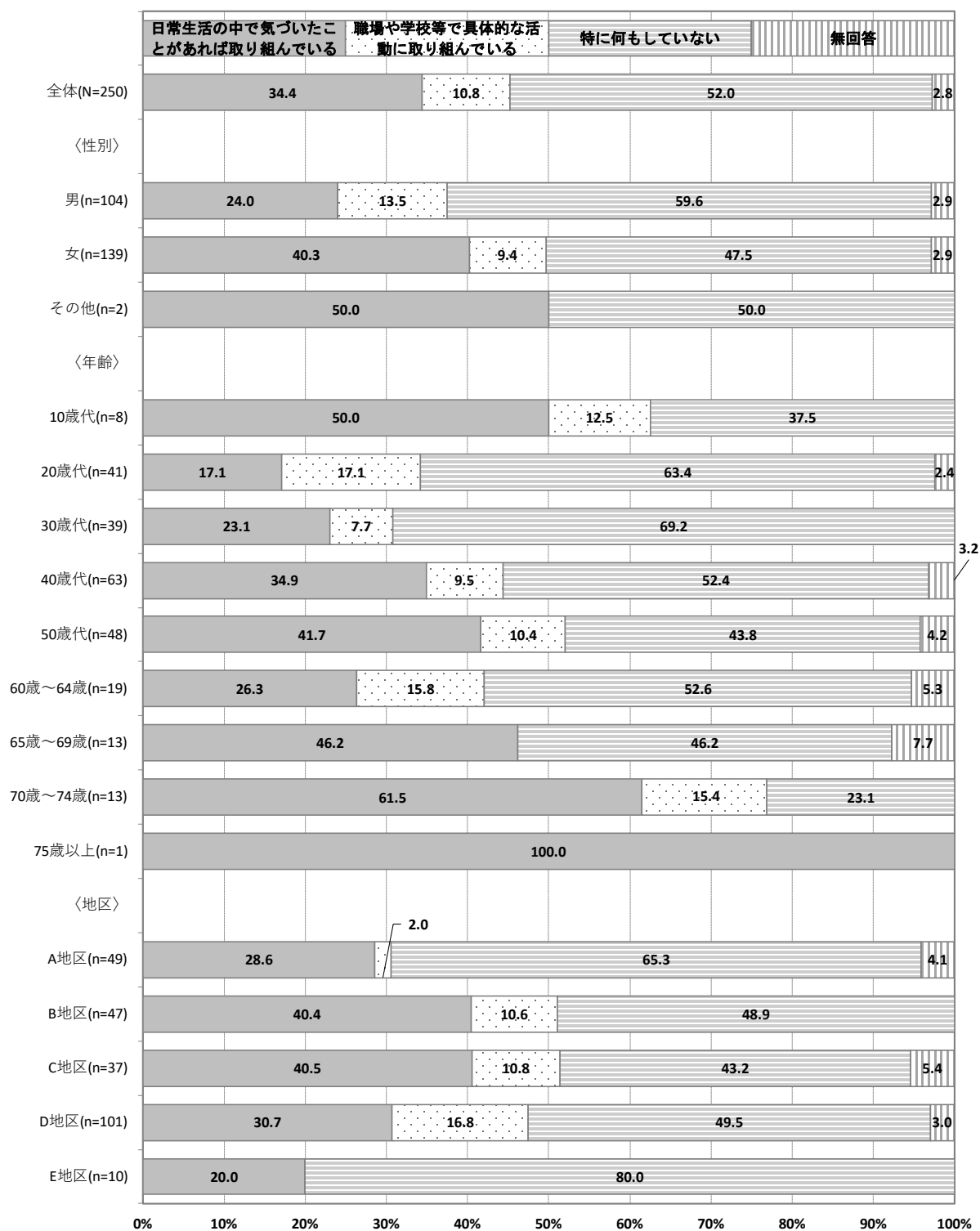
第1章 市民意識調査

問 41-2 SDG s 目標達成のために、日常生活や職場・学校等に取り組んでいること（単一回答形式）

【「問 41」で、「言葉も知っており、内容も知っていた」の場合のみ回答】

- 「特に何もしていない」が最多で 52.0%、次いで、「日常生活の中で気づいたことがあれば取り組んでいる」が 34.4%、「職場や学校等で具体的な活動に取り組んでいる」が 10.8%となっています。





第1章 市民意識調査

問 41-3 SDGs 目標達成のための具体的な取組について教えてください。(自由回答形式)

- 「リサイクル (ごみへの取組)」が最多で 48 件、次いで、「リデュース (ごみへの取組)」が 40 件、「節電・節水 (省エネへの取組)」が 20 件となっています。

取組の種類	取組の詳細	件数
ごみへの取組	リユース	16
	リデュース	40
	リサイクル	48
省エネへの取組	日常で使用・利用するものの工夫 (再生可能エネルギーの導入、公共機関の利用等)	17
	節電・節水	20
その他	情報の収集・周知	8
	清掃	2
	寄付	18
	多様性の尊重	2
合計		171
回答者数		107

性別	年齢	お住まい	自由意見
女	50 歳代	中藤	買い物の時にマイバッグを使ったり、外食した時残さず食べたり、リサイクル・リユースをしてごみを削減したりする。
女	65 歳～69 歳	中藤	ごみのリサイクル。
女	65 歳～69 歳	神明	公共機関、バス等を利用している。分別ごみ出しをする。
女	50 歳代	神明	選んで買い物をしている。
女	50 歳代	神明	出来るだけ、食品のロスを出さない。ゴミの分別をする。
男	20 歳代	神明	廃材工作等をする。
女	40 歳代	神明	流す水などの環境に配慮した生活を送っている。
女	40 歳代	神明	ゴミの削減にハードロスがないよう気をつけている。
女	40 歳代	神明	リネンを出さないようにしている。
男	60 歳～64 歳	中央	ごみの量を少なくし、再利用できるものは再利用するよう意識している。
女	50 歳代	本町	リサイクル可能なものはなるべくリサイクルする。
女	50 歳代	本町	リサイクルする。
女	50 歳代	三ツ木	消費期限が近い食品を購入する。再利用可能なゴミはしっかり分別する。
男	60 歳～64 歳	三ツ木	食品ロスをなくすよう必要なもののみ買う。ごみの分別を徹底し量を減らす。リサイクルを活用する。再生可能エネルギーを導入する (現在、太陽光発電を設置予定)。
女	40 歳代	三ツ木	出来るだけエコな方法 (ゴミを出さない) を考えて買い物をする。リサイクル等 (洋服・本・日用品) して必要な方に譲る。

性別	年齢	住まい	自由意見
女	20 歳代	三ツ木	子育て世代の方々が働きやすいように時短勤務に取り組んでいる。男女問わず、実力のある方が管理職についている。フードロス対策として、フードバンクに食料を届けた。
女	65 歳～69 歳	三ツ木	使い捨て商品は買わない。買い物バッグを持っていく。リサイクルしやすいものを買う。CO2 を出さない。
女	40 歳代	三ツ木	食べ残しをしない。リサイクルに回すためにゴミを分別する。
男	40 歳代	三ツ木	特に環境、人権に関して業務を通じて取組むが、詳細共有は控える。
女	65 歳～69 歳	三ツ木	無駄を出さないように心がける！
男	70 歳～74 歳	岸	省エネ・省資源活動として、電気の使用量の低減（LED 電球への変換、こまめな電源スイッチの ON/OFF）、コピー用紙の再活用、省エネクーラーへの変換、紙のリサイクル、食品の食べ残しの減少、5S 活動、社用車を省エネ車に変換、クールビズの採用、冷房温度、暖房温度の設定変更等をする。
女	50 歳代	岸	リサイクルできるものはなるべく捨てずリサイクルへ出すようにしている。
女	40 歳代	岸	SDGs に関する番組(教育番組)を観ることで子供達にも周知できる。自分達にできることは何だろう？と考える時間を持つキッカケになった。
男	40 歳代	岸	ゴミの分別の細分化をする。
女	40 歳代	岸	ゴミを出さないようにする。コンポストの活用。資源を大切に使う。自転車での移動をする。農業ボランティアに参加する。
女	30 歳代	岸	環境に配慮した洗剤の利用や、ゴミの分別、エコバックの利用でゴミを減らす。
男	40 歳代	岸	ゴミの分別をする。
男	40 歳代	中原	食品ロスのため、メモに書いたもの以外は買わない。生ごみは土に入れて肥料にする。
男	50 歳代	中原	照明を LED へ交換、天気がよければ通勤を車から自転車へ変える。
女	40 歳代	中原	ごみの分別をする。
女	70 歳～74 歳	中原	買い物袋や箸等はもらわないようにしている。食材の廃棄を出さないようにしている。有料のごみ袋も最小で出せるように工夫している。
男	50 歳代	中原	多様性の尊重、社会のダイバーシティとインクルージョンの推進をする。
女	20 歳代	中原	ゴミを必要最低限の排出にする、電気や水道などの省エネに取り組む。
男	10 歳代	中原	リサイクルの意識、環境保全の志向をもつ。
女	70 歳～74 歳	三ツ藤	地球を汚さないように気をつける。
女	65 歳～69 歳	三ツ藤	ごみはなるべく減らし、リサイクルできるものはリサイクルする。家具や衣類などなるべく長く使い続ける。
女	60 歳～64 歳	三ツ藤	ごみ分別、エコバッグ、不用品を売る、訳あり商品を優先に買う。
男	70 歳～74 歳	三ツ藤	家庭内の省エネとして LED 照明、冷蔵庫、エアコンの省エネタイプ車のハイブリットに買い換えた。近場の買い物は自転車利用、プラスチック削減のためコンビニ弁当等はなるべく買わないようにしている。

第1章 市民意識調査

性別	年齢	お住まい	自由意見
女	50 歳代	三ツ藤	ゴミの分別をする。
女	30 歳代	三ツ藤	使うものだけ、食べ切れるだけを意識して買い物をする。
男	40 歳代	三ツ藤	自社製品のプラ削減、工場廃棄品削減、水使用量、CO2 排出量削減や地域環境清掃活動等をする。
女	40 歳代	伊奈平	節水、節電、リサイクルに取り組む。
女	70 歳～74 歳	伊奈平	太陽光、蓄電池を備えている。毎月一定額の寄付をしている。野菜くずは少しでも土に返すよう努力している。
女	10 歳代	伊奈平	緑を守るため、ごみの分別、道に捨てないなど、小さな基本的なことを大切にしている。
女	40 歳代	伊奈平	ペットボトルを買わない。プラを出さないようにする。
女	20 歳代	伊奈平	ごみの減量、リサイクルを行う。
男	70 歳～74 歳	伊奈平	使い捨てはなるべくしないようにしている。ごみの量を減らしている。電気・水道の使用量を減らすように注意している。
男	20 歳代	伊奈平	質の高い教育を行う。
男	50 歳代	残堀	食品ロスの削減やリサイクルに関することに取り組む。
女	60 歳～64 歳	残堀	エネルギーの無駄遣いをしない。住み続けられる町づくりを。ありがとう、感謝をいつも忘れない。平和を願っての気持ちで過ごすこと。
女	40 歳代	残堀	ゴミ削減を行う。
女	20 歳代	残堀	ゴミの分別などをする。
男	20 歳代	残堀	誰もいない時は電気を消す。
男	60 歳～64 歳	男	在宅勤務の推進：長距離通勤のため、車通勤を控えることでエネルギー低減、CO2 低減に貢献する。
男	40 歳代	榎	生ゴミ乾燥機を使用する。
男	40 歳代	榎	特になし。
女	30 歳代	榎	清掃活動、リサイクル活動をする。
女	20 歳代	榎	ゴミの分別、ごみの削減をする。
女	70 歳～74 歳	学園	ウクライナに支援物を送った。ユニセフへの寄付をする。
女	60 歳～64 歳	学園	持続可能な開発目標を行っていくには、大きなことは日々実践していけないけれども、毎日のごみを減らす努力をし、地球に優しい努力をする。消費者にとって使う責任を心において無駄をなくすことを取り組んでいる。
男	65 歳～69 歳	学園	海・川などにプラスチックを捨てない。ごみの分別の徹底。省エネのために内窓の設置をする。
女	60 歳～64 歳	学園	フードロス活動、エネルギーの節減をする。
女	30 歳代	学園	地球のためにと考えて行動する。
男	30 歳代	学園	エコ活動を行う。
男	60 歳～64 歳	学園	省エネリホームによる電力量削減をする。
女	10 歳代	学園	エコバッグの持参をする。
男	40 歳代	学園	リサイクルボックスの利用をする。
男	30 歳代	学園	製造業なので、取り組みは様々である。
女	20 歳代	学園	再利用する。
女	50 歳代	学園	ゴミの削減・ゴミの分別、電気をこまめに消す。
女	50 歳代	学園	ゴミの分別、節水、節電をする。

性別	年齢	住まい	自由意見
男	50 歳代	学園	水使用量の削減を行う。
女	50 歳代	学園	ゴミの分別・不用品のリサイクル・節電・エコバッグやマイボトルの利用・請求書などのペーパーレス・防災対策等を行う。
女	30 歳代	学園	食品ロスをしないようにしている。エコバッグを持ち、レジ袋を使わない。
女	50 歳代	学園	買い物袋の持参を心掛ける。
女	75 歳以上	大南	生涯学習として勉強会に参加している。
女	70 歳～74 歳	大南	ビニール袋を洗って再利用、ごみ等を入れて捨てる、カレンダー等裏が白い物はメモ用紙、油切り、ごみ処理機が壊れるまでは生ごみで堆肥、ボカシで生ごみ処理をしたが虫が発生してしまった。
男	40 歳代	大南	リサイクルの必要性を子どもたちに教え、無駄をなくして、そういった活動をするためにも健康であることを学ばせている。
女	70 歳～74 歳	大南	健康維持のための取り組みをいくつか行っている。すでに 30 年以上、20 年以上継続のものが複数ある。まわりにそれを広める。服薬なしの人生が目標である。
男	50 歳代	大南	省エネルギー（電気・ガス）への取組をする。
女	50 歳代	大南	ごみの削減、公共交通機関の利用（CO2 削減）、無駄の削減をする。
その他	30 歳代	大南	筋トレの大切さを伝える。
男	50 歳代	大南	リサイクルやごみの分別。必要以上に物を買わない、作らない。
女	70 歳～74 歳	大南	エコバッグを使う。ペットボトルは買わない。リサイクルに努める。エアコンの適切な温度設定。こまめに電気を消す。オーガニックのものを買う。いいものを長く使う。健康情報に関心を持ち、実践するようにする。
男	50 歳代	大南	昼休みの電気消灯や廃棄物の分別化をする。
女	40 歳代	大南	物を大切にしている。
男	40 歳代	大南	リサイクルに力を入れている。
男	40 歳代	大南	節電。ゴミ削減
女	40 歳代	大南	物を減らす。増やさない。コンビニなどで箸などを断る、リサイクルを行う。
女	10 歳代	大南	ジェンダー問題やハンデのある人も含めた平等な社会についての話題に関心を持つよう心がけている。ゴミを減らすことができるよう、捨てる前に再利用したり、きちんと分別したりしている。
女	50 歳代	大南	節電節水、ゴミの分別、エコバッグの持参を心掛ける。
女	30 歳代	大南	職場での取り組みなので具体的に言及するのは難しいが、働きがいという点での休暇制度や臨時報酬制度などのモチベーション維持がある点、清掃業のため、利用し続けていける施設作りのための清掃を徹底している点などが思い浮かぶ。
女	20 歳代	大南	個の自由の尊重をする。
男	40 歳代	大南	食品ロスにならないよう気を付ける。
女	60 歳～64 歳	大南	プラスチック製品の削減に取り組む。
女	40 歳代	大南	購入したものは最後まで利用する（食べきる）。安易に物を買わない。無駄な電力等は控える。
男	20 歳代	大南	小学校の教員であるため、SDGs 教育について学んでおり、普段の授業で実践している。

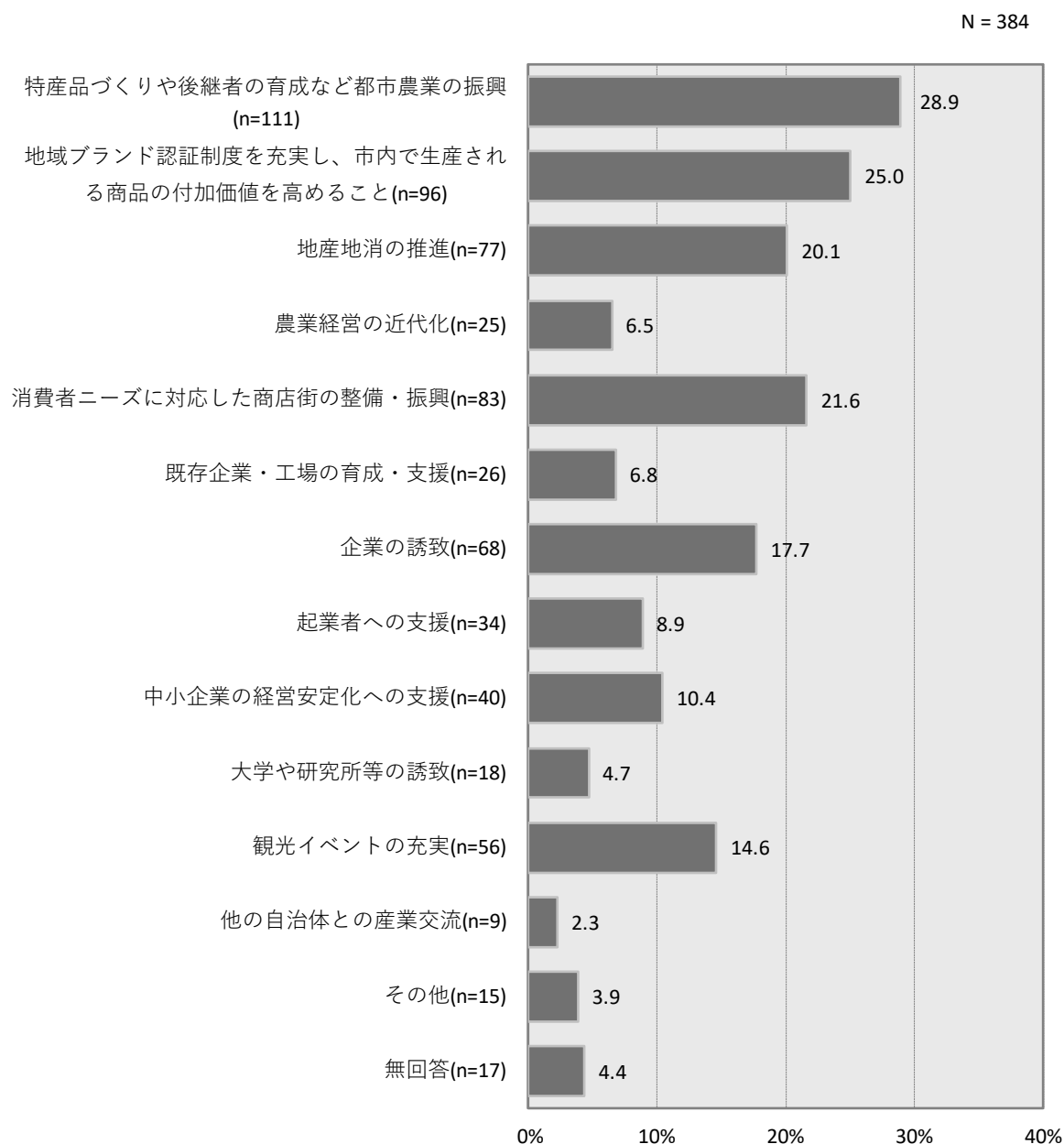
第1章 市民意識調査

性別	年齢	住まい	自由意見
女	30 歳代	大南	小さなことですがきちんと分別してゴミを出す。
男	50 歳代	大南	リサイクルを行う。
男	20 歳代	大南	本来ならば捨てるはずの果物などを使用した商品を買うようにしている。
女	40 歳代	大南	カフェに入る時は、マグカップを出すところを選ぶ。ゴミの分別。1 人での外出は公共機関や自転車です。
男	30 歳代	大南	ほんとうに必要な商品のみ購入し、使用量や頻度も適切かどうか心を配っている (Goal 12: Responsible consumption)。
女	65 歳～69 歳	緑が丘	地球を大事にと皆が心がけてくれれば良い。緑を増やしたり、ごみをきちんと分別したり、出来るだけ野菜くずを出さず料理を作ったり、洋服もリフォーム等を行っている。
男	30 歳代	緑が丘	年々増加する外国籍の人への市全体での対応と相互理解努力。LGBT のそれぞれの特徴と理解への学習を行い、自己の変革を行う。
男	70 歳～74 歳	-	ごみの減量など CO2 を減らす努力をする。
-	-	-	必要な量だけ買い、残ったものが捨てられないことがないようにする。不要なビニール袋はもらわないよう買い物袋は自前のものを持ち歩く。ごみの分別をルール通りに行い、再利用に協力する。
-	-	-	食品ロスをなくす。マイバッグを使用している。地産地消をするようにしている。電気、水の無駄遣いはしないようにしている。水の出しっぱなしや省エネ設定にする。

4-5 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり

問 42 市の産業振興として重要だと思うもの（複数回答形式）

- 「特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興」が最多で 28.9%、次いで、「地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること」が 25.0%、「消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興」が 21.6%となっています。

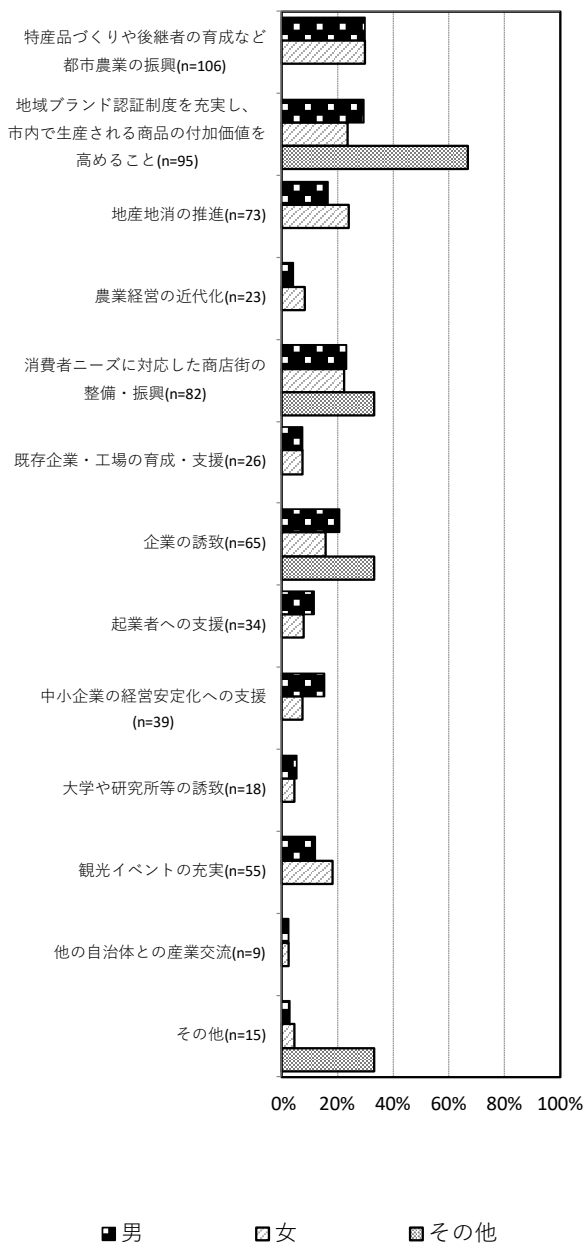


〈その他の回答〉

- ・ 入札でない業者との協力
- ・ 外国人育成、支援
- ・ 地域ブランドの拡散
- ・ 労働基準監督の強化
- ・ 考えたことがない
- ・ 商業振興支援

第1章 市民意識調査

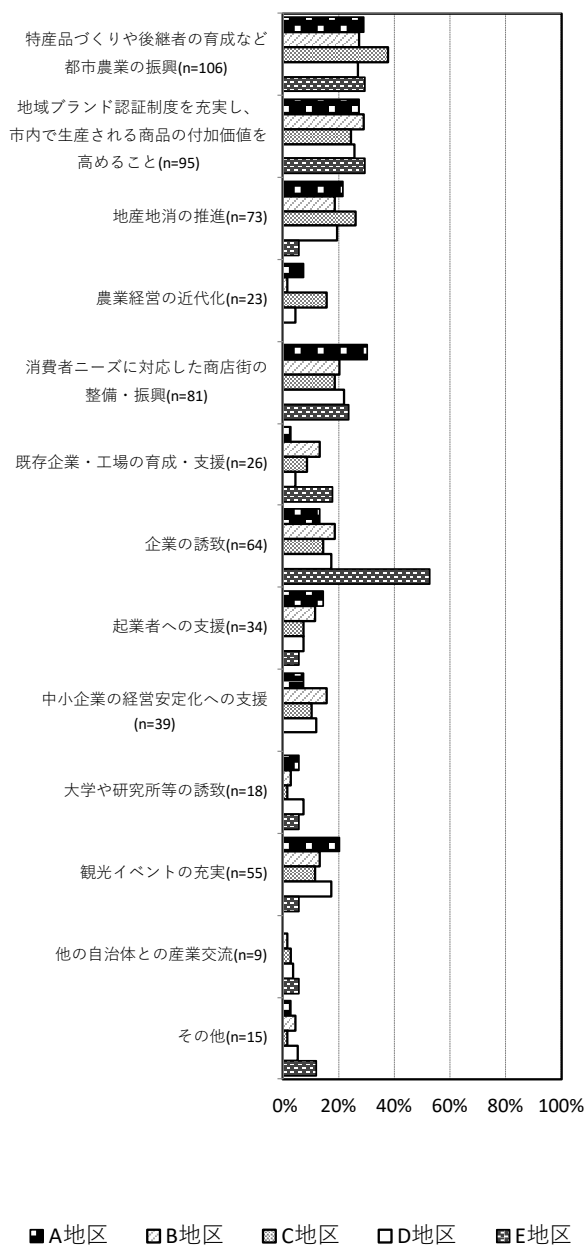
<性別>



<年齢別>



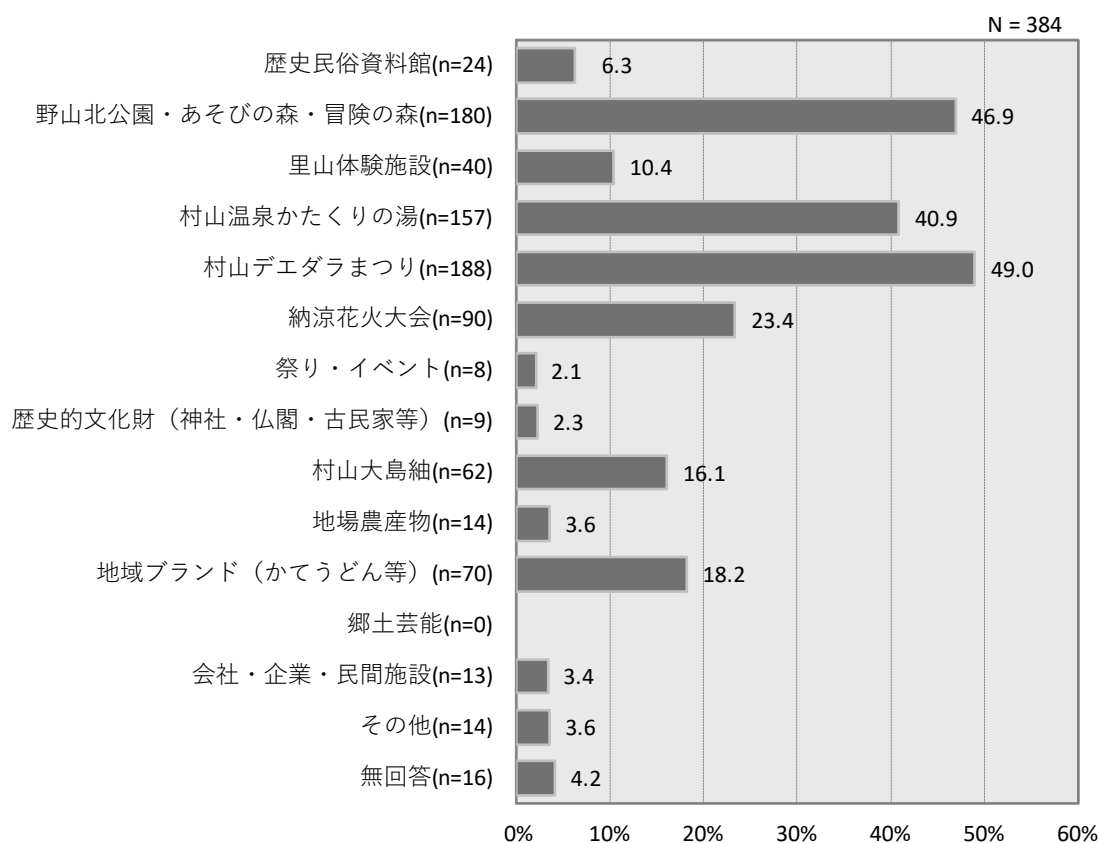
<地区別>



第1章 市民意識調査

問 43 武蔵村山市の観光資源といえば何をイメージするか（複数回答形式）

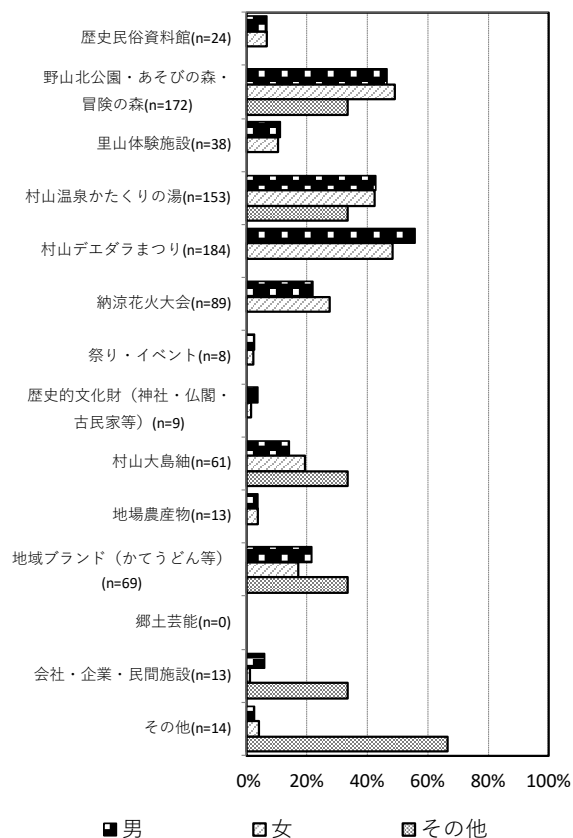
- 「村山デエダラまつり」が最多で 49.0%、次いで、「野山北公園・あそびの森・冒険の森」が 46.9%、「村山温泉かたくりの湯」が 40.9%となっています。



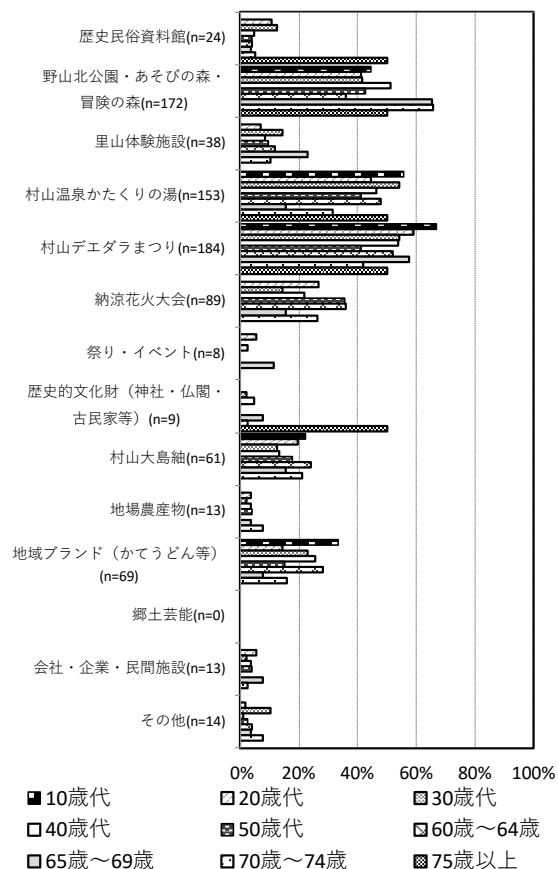
〈イメージする具体的な会社・企業・民間施設〉

- ・ イオンモール
- ・ 天乃屋
- ・ 文明堂
- ・ 真如苑
- ・ 日産村山工場跡地

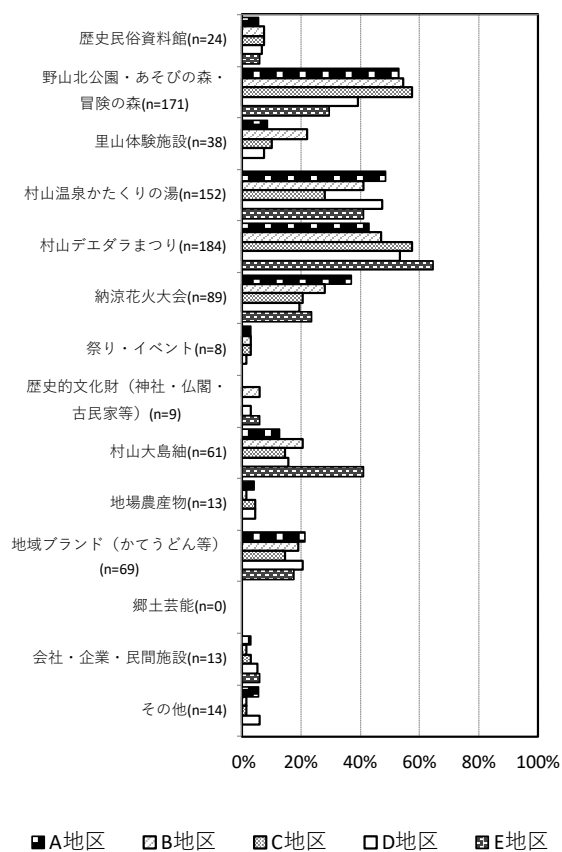
<性別>



<年齢別>



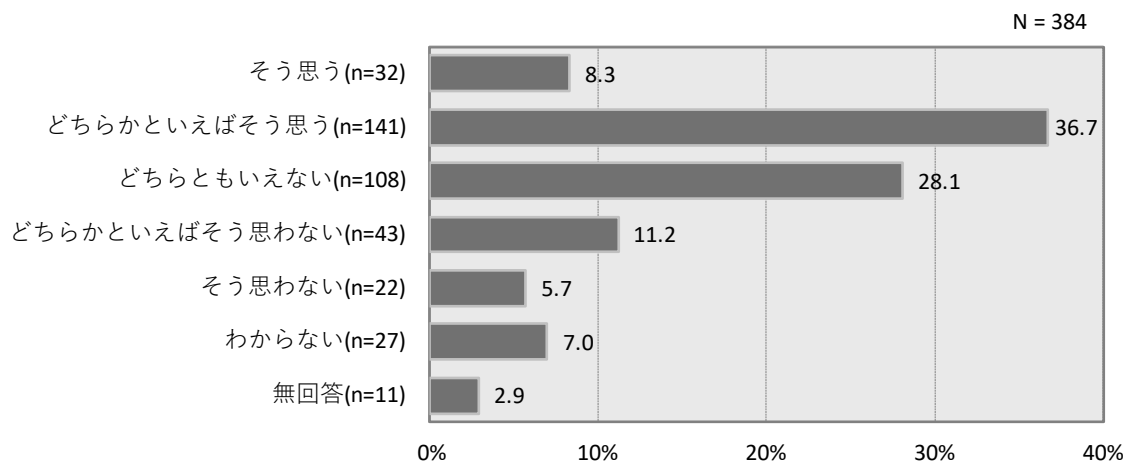
<地区別>

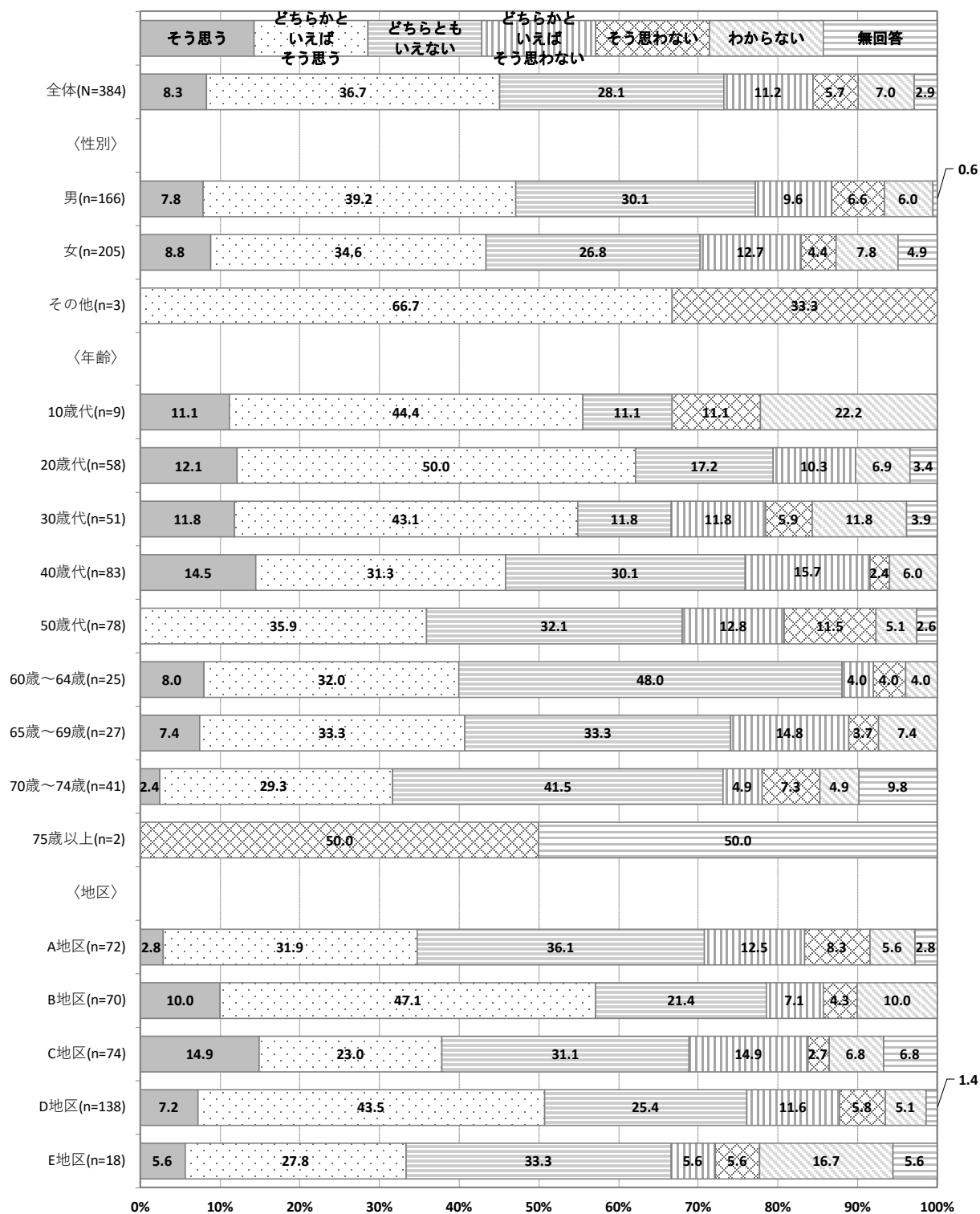


第1章 市民意識調査

問 44 住んでいる地区は、自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていると思うか（単数回答形式）

- 「どちらかといえばそう思う」が最多で 36.7%、次いで、「どちらともいえない」が 28.1%、「どちらかといえばそう思わない」が 11.2%となっています。



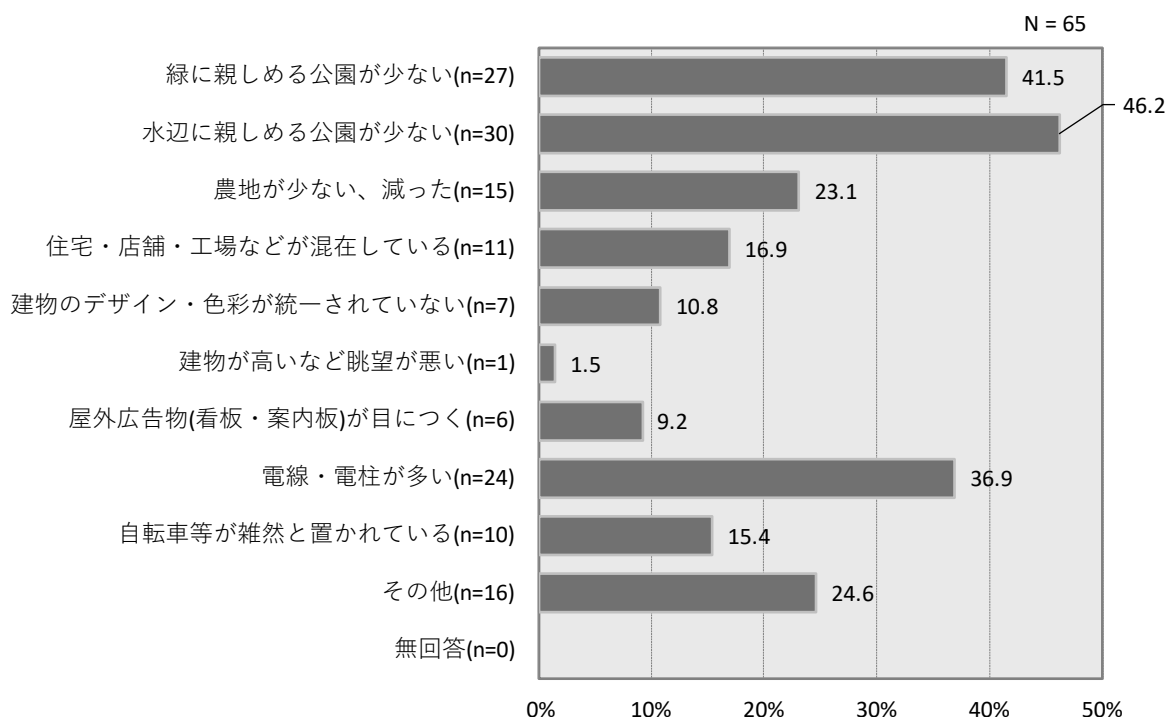


第1章 市民意識調査

問 44- 2 自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていないと思う理由（複数回答形式）

【「問 44」で、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の場合のみ回答】

- 「水辺に親しめる公園が少ない」が最多で 46.2%、次いで、「緑に親しめる公園が少ない」が 41.5%、「電線・電柱が多い」が 36.9%となっています。



〈その他の回答〉

- ・ 団地が多い。
- ・ 古い家が多く、道もクネクネしている。
- ・ 歩道が狭い。
- ・ 飲食店が少ない。
- ・ 武蔵村山に魅力などそもそもないため。
- ・ 榎地区の消防署付近の空地がなかなか整備されない。
- ・ 保全に向けての取り組みがわからない。
- ・ 狭い区画に家がびっしりあるため。
- ・ 全体的に緑が少ない。
- ・ 道が狭い。
- ・ 裏山が災害危険地帯なのに何も対策されていない。
- ・ 砂埃だけが沢山飛んできて迷惑だ。
- ・ 至る所にゴミが散乱していて不潔だ。
- ・ 歩道が狭い上に草の手入れがされていない。
- ・ 大南公園の倒れた木がすぐに撤去されないなど安全への配慮の低さを感じている。
- ・ 桜の枝を切りすぎだ。

問 45 よりよい環境づくりのために、今後、市がすべきこと（複数回答形式）

●「公園や緑地など身近な緑の保全」が最多で 33.6%、次いで、「美しい街並みの保全整備」が 26.0%、「地球温暖化対策の推進」が 20.6%となっています。

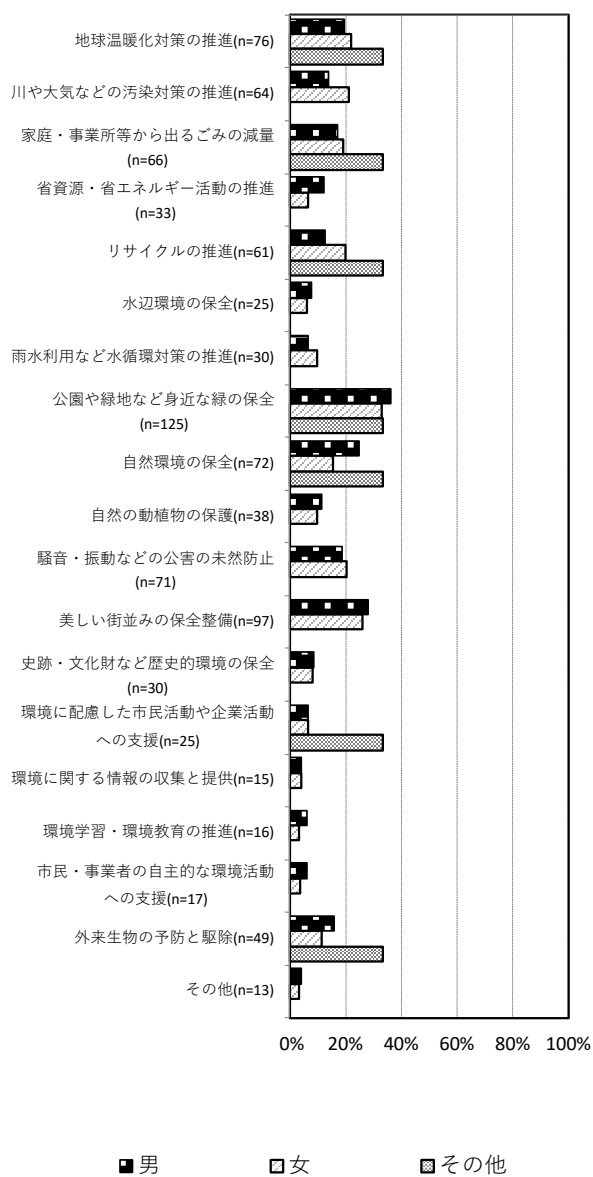


〈その他の回答〉

- ・ 民間企業の誘致
- ・ 街灯が少ない
- ・ ゴミ袋（家庭）有料の廃止
- ・ 水質の向上
- ・ 多くの宅地を農地にしてしまえばよい。
- ・ ここにある全部だ。
- ・ 空き家対策
- ・ 残堀川をきれいに。いつでも水が流れているようにしてほしい。
- ・ 公共シェルターの整備（有事対応）
- ・ 環境に関わる市民参加型の地域間での活動、コミュニティづくり
- ・ 学校の校庭、体育館の有効活用

第1章 市民意識調査

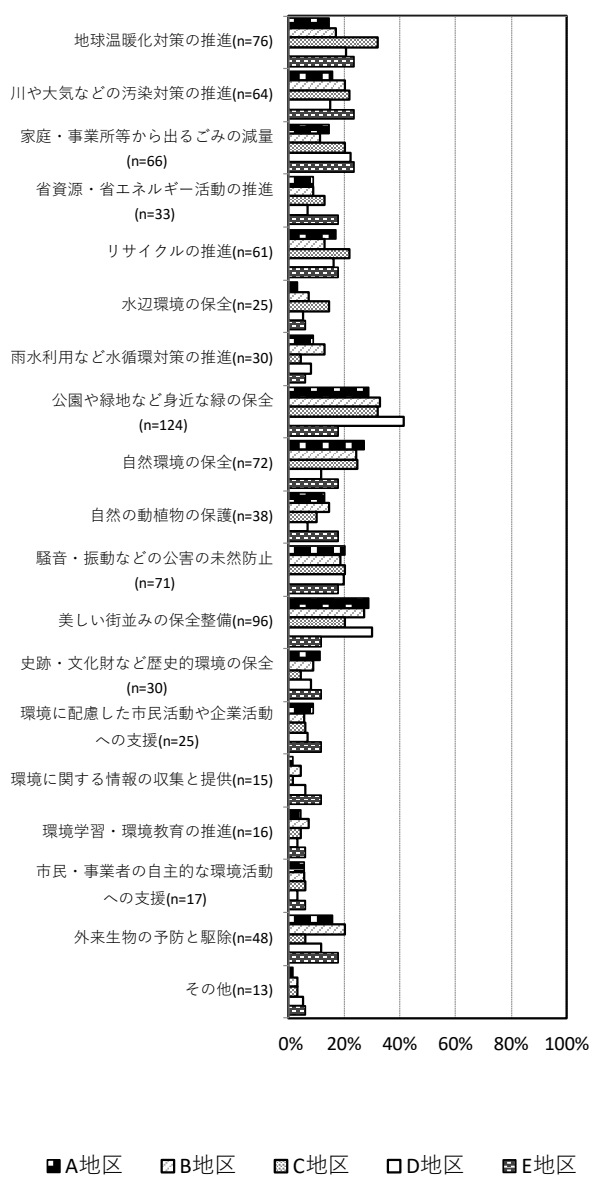
<性別>



<年齢別>



<地区別>

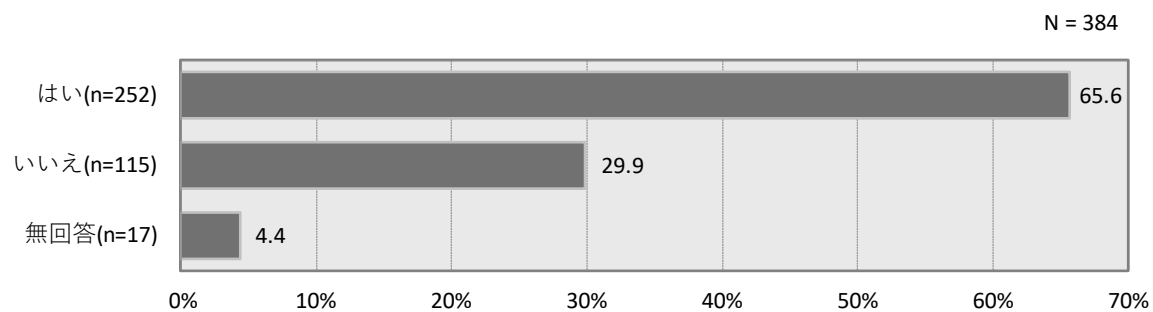


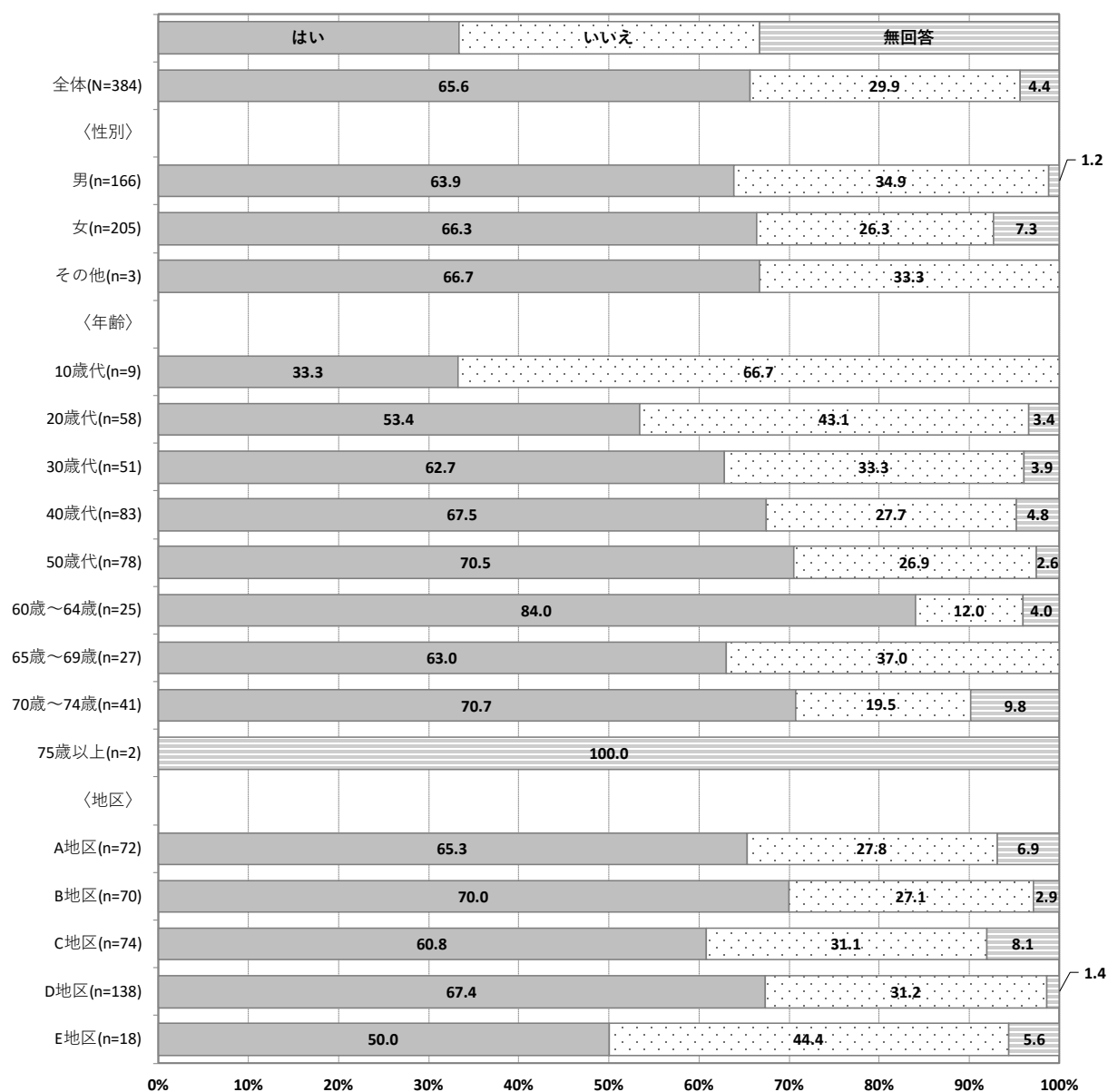
第1章 市民意識調査

4-6 計画の推進に向けて

問 46 過去1年間に各種手続きや相談で武蔵村山市役所を訪れたか（単一回答形式）

● 「はい」が65.6%、「いいえ」が29.9%となっています。



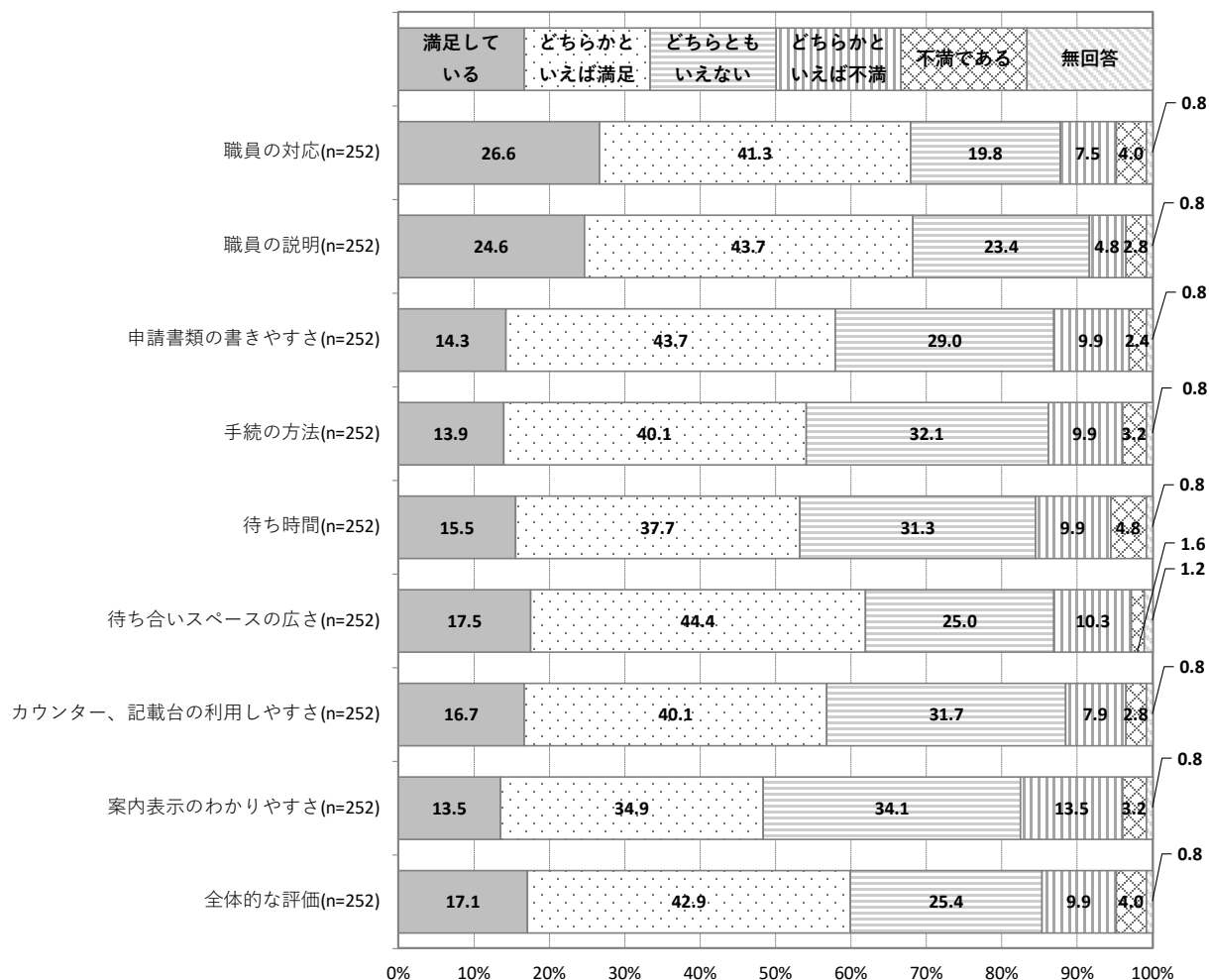


第1章 市民意識調査

問 46-2 市職員の対応等について、どのように感じているか（それぞれ単一回答形式）

【「問 46」で、「はい」の場合のみ回答】

- 「満足している」と「どちらかといえば満足」を合算したとき、「職員の説明」が最多で 68.3%、次いで、「職員の対応」が 67.9%、「待ち合いスペースの広さ」が 61.9%となっています。



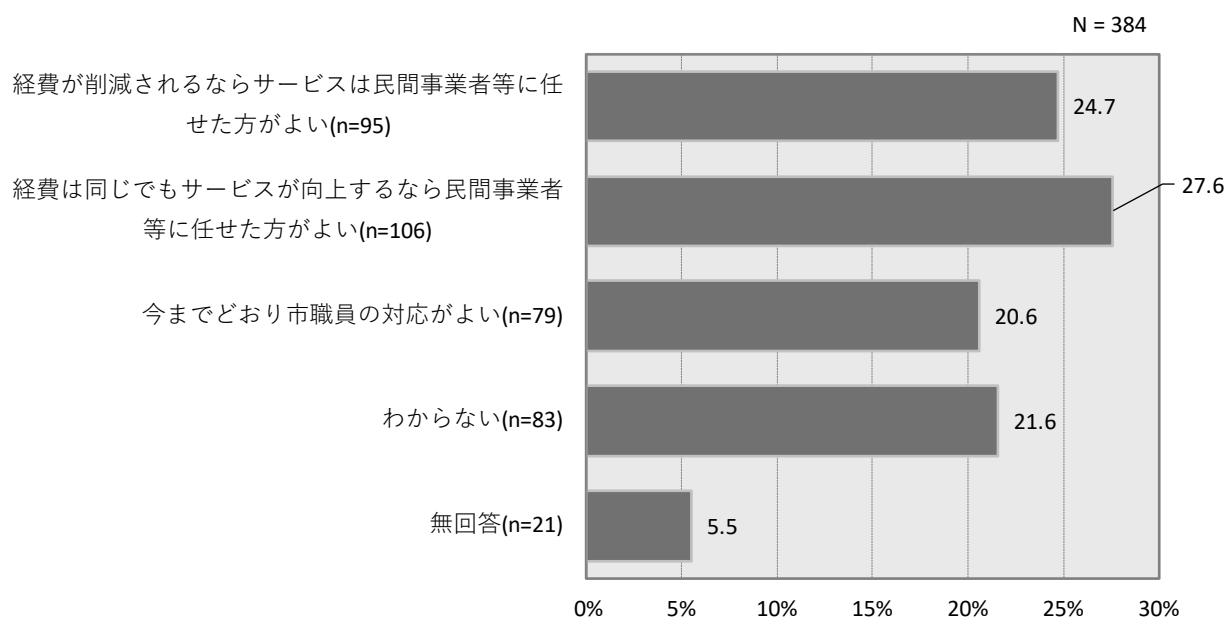
	満足して いる	どちらかと いえば満足	どちらとも いえない	どちらかと いえば不満	不満である	無回答
職員の対応	67 26.6	104 41.3	50 19.8	19 7.5	10 4.0	2 0.8
職員の説明	62 24.6	110 43.7	59 23.4	12 4.8	7 2.8	2 0.8
申請書類の書きやすさ	36 14.3	110 43.7	73 29.0	25 9.9	6 2.4	2 0.8
手続の方法	35 13.9	101 40.1	81 32.1	25 9.9	8 3.2	2 0.8
待ち時間	39 15.5	95 37.7	79 31.3	25 9.9	12 4.8	2 0.8
待ち合いスペースの広さ	44 17.5	112 44.4	63 25.0	26 10.3	4 1.6	3 1.2
カウンター、記載台の利用しやすさ	42 16.7	101 40.1	80 31.7	20 7.9	7 2.8	2 0.8
案内表示のわかりやすさ	34 13.5	88 34.9	86 34.1	34 13.5	8 3.2	2 0.8
全体的な評価	43 17.1	108 42.9	64 25.4	25 9.9	10 4.0	2 0.8

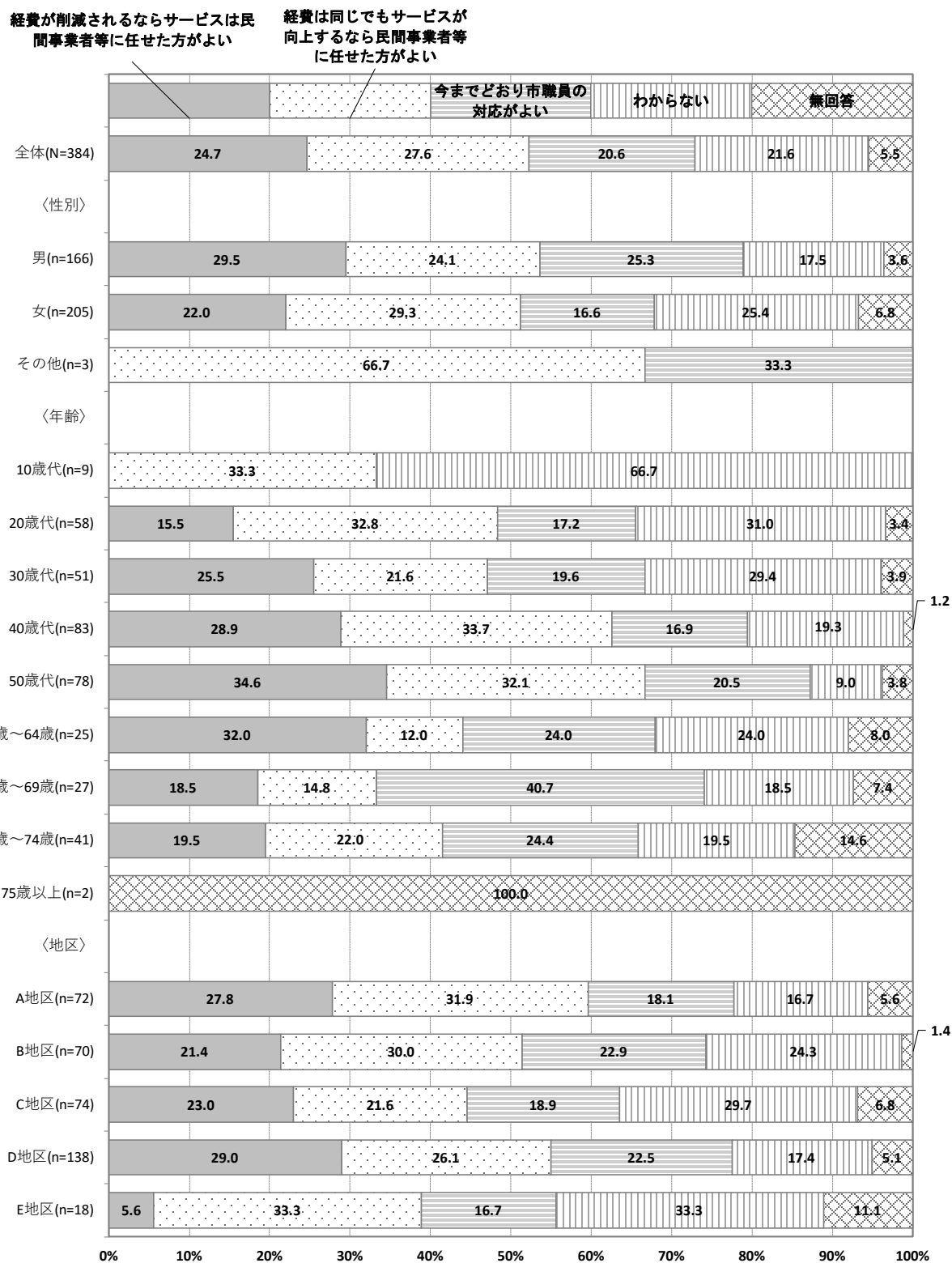
上段:回答数 下段: %

第1章 市民意識調査

問 47 今後、民間事業者等に窓口業務を委託することについてどう思うか（単数回答形式）

- 「経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい」が最多で 27.6%、次いで、「経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい」が 24.7%、「わからない」が 21.6%となっています。

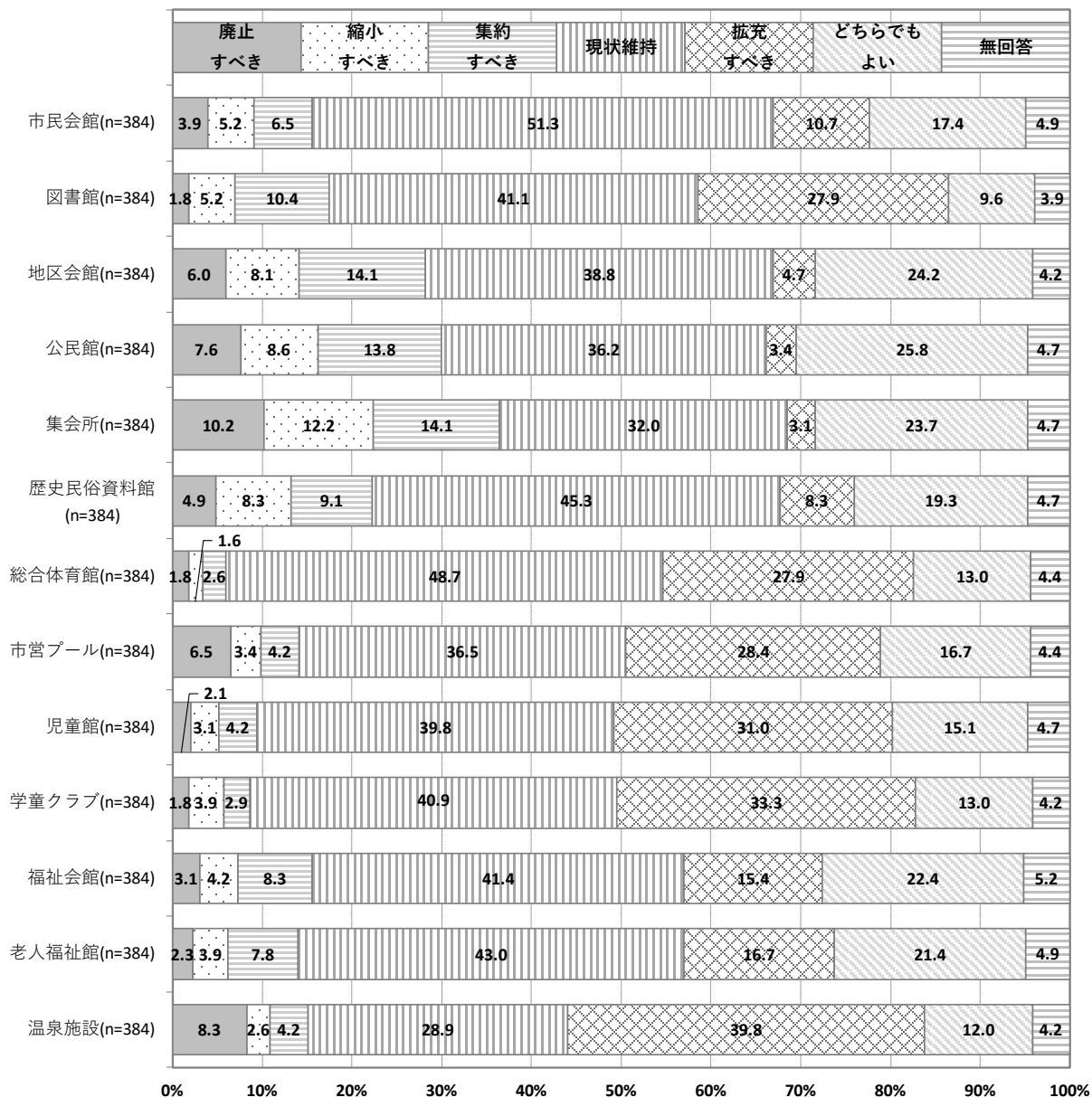




第1章 市民意識調査

問 48 公共施設に関する今後の方向性について、どう思うか（それぞれ単数回答形式）

- 「問 48 公共施設に関する今後の方向性について、どう思うか」は、「現状維持」が全体的に高い割合になっています。「拡充すべき」では、『児童館』や『学童クラブ』、『温泉施設』の割合が3割以上と高くなっています。



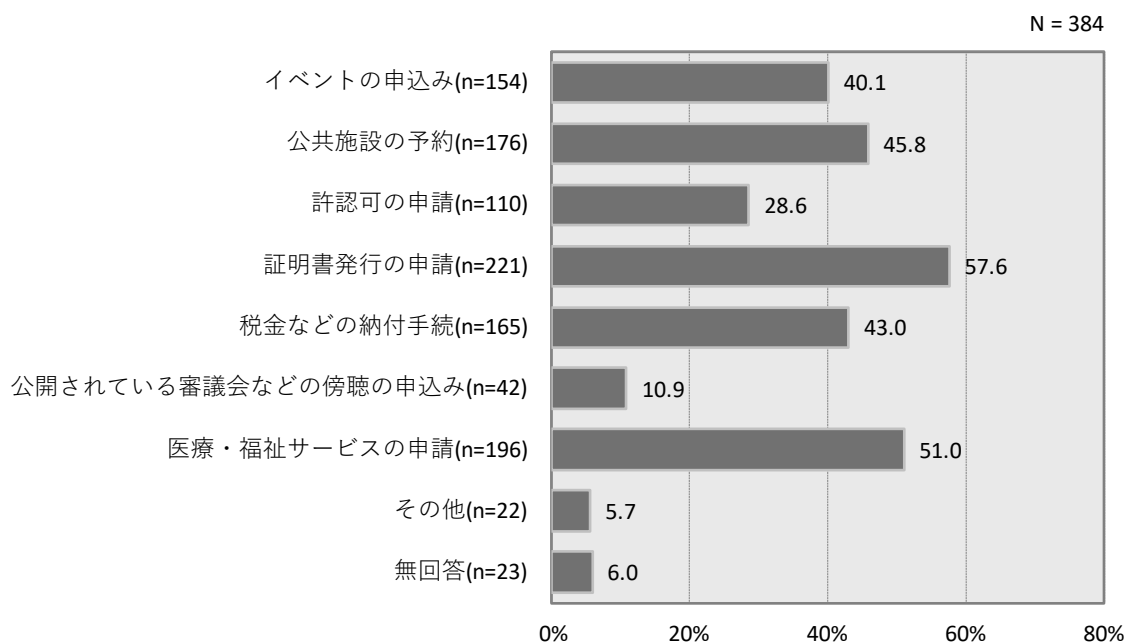
	廃止すべき	縮小すべき	集約すべき	現状維持	拡充すべき	どちらでも よい	無回答
市民会館	15 3.9	20 5.2	25 6.5	197 51.3	41 10.7	67 17.4	19 4.9
図書館	7 1.8	20 5.2	40 10.4	158 41.1	107 27.9	37 9.6	15 3.9
地区会館	23 6.0	31 8.1	54 14.1	149 38.8	18 4.7	93 24.2	16 4.2
公民館	29 7.6	33 8.6	53 13.8	139 36.2	13 3.4	99 25.8	18 4.7
集会所	39 10.2	47 12.2	54 14.1	123 32.0	12 3.1	91 23.7	18 4.7
歴史民俗資料館	19 4.9	32 8.3	35 9.1	174 45.3	32 8.3	74 19.3	18 4.7
総合体育館	7 1.8	6 1.6	10 2.6	187 48.7	107 27.9	50 13.0	17 4.4
市営プール	25 6.5	13 3.4	16 4.2	140 36.5	109 28.4	64 16.7	17 4.4
児童館	8 2.1	12 3.1	16 4.2	153 39.8	119 31.0	58 15.1	18 4.7
学童クラブ	7 1.8	15 3.9	11 2.9	157 40.9	128 33.3	50 13.0	16 4.2
福祉会館	12 3.1	16 4.2	32 8.3	159 41.4	59 15.4	86 22.4	20 5.2
老人福祉館	9 2.3	15 3.9	30 7.8	165 43.0	64 16.7	82 21.4	19 4.9
温泉施設	32 8.3	10 2.6	16 4.2	111 28.9	153 39.8	46 12.0	16 4.2

上段:回答数 下段: %

第1章 市民意識調査

問 49 インターネットを活用した行政サービスについて充実すべきこと（複数回答形式）

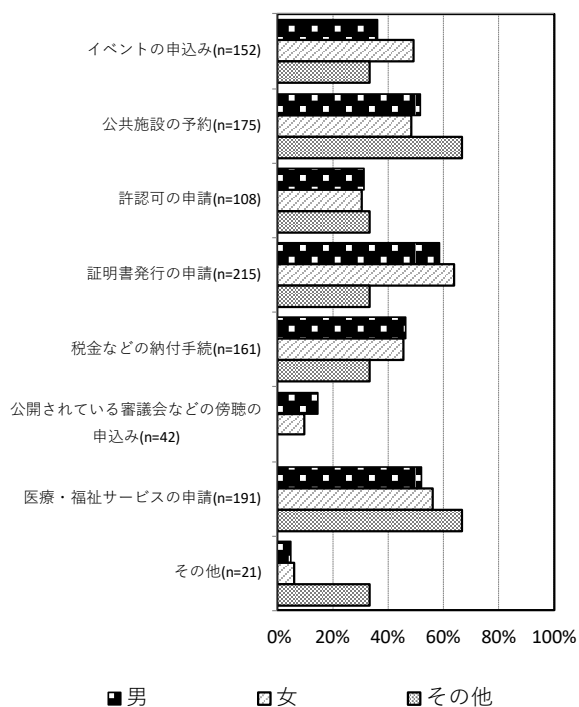
- 「証明書発行の申請」が最多で57.6%、次いで、「医療・福祉サービスの申請」が51.0%、「公共施設の予約」が45.8%となっています。



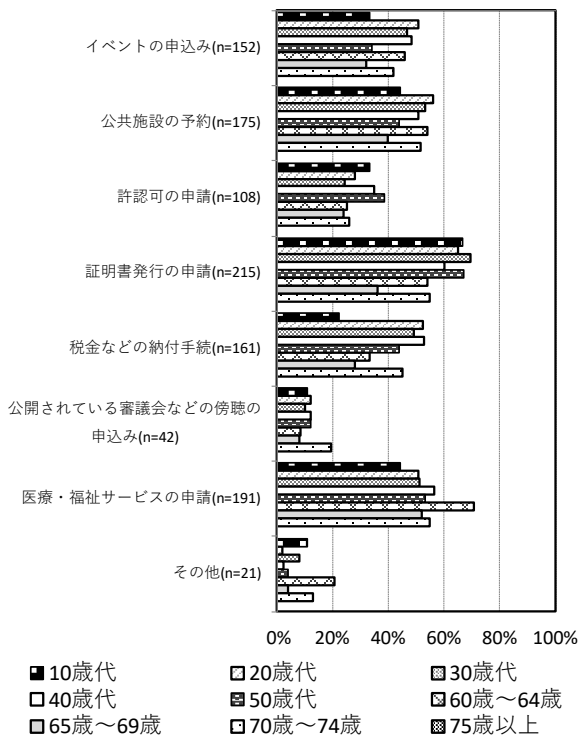
〈その他の回答〉

- ・ ネット以外の方法も残してほしい。
- ・ 使用したことがないのでわからない。
- ・ 老人には操作できないので求めない。
- ・ 選挙だけでできればもっとたくさんの人が投票するはず。普段からインターネット手続きは危険と思って利用せず、今後も自分としては不要だ。
- ・ 選挙
- ・ インターネットを使わないサービスを残してほしい。
- ・ 検診の申込等、インターネットでやっているが、あまり得意ではないのでインターネット以外の方法も残してほしい。
- ・ 本籍取得でオンライン決済できるとよい。

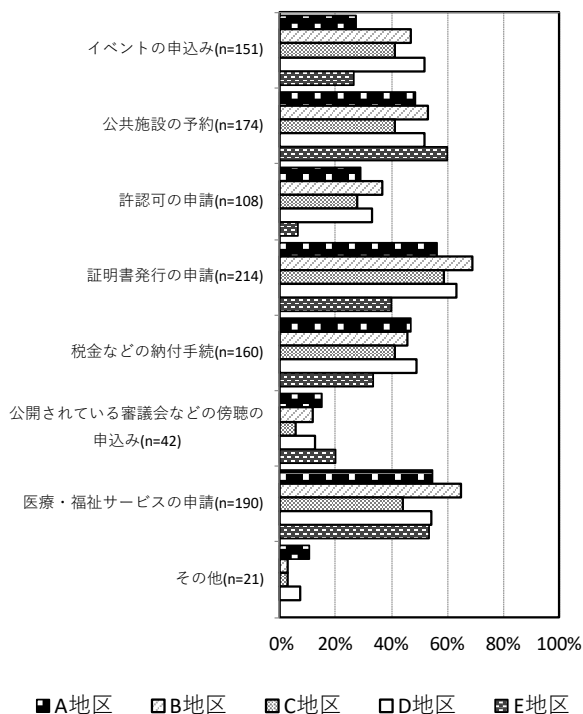
<性別>



<年齢別>



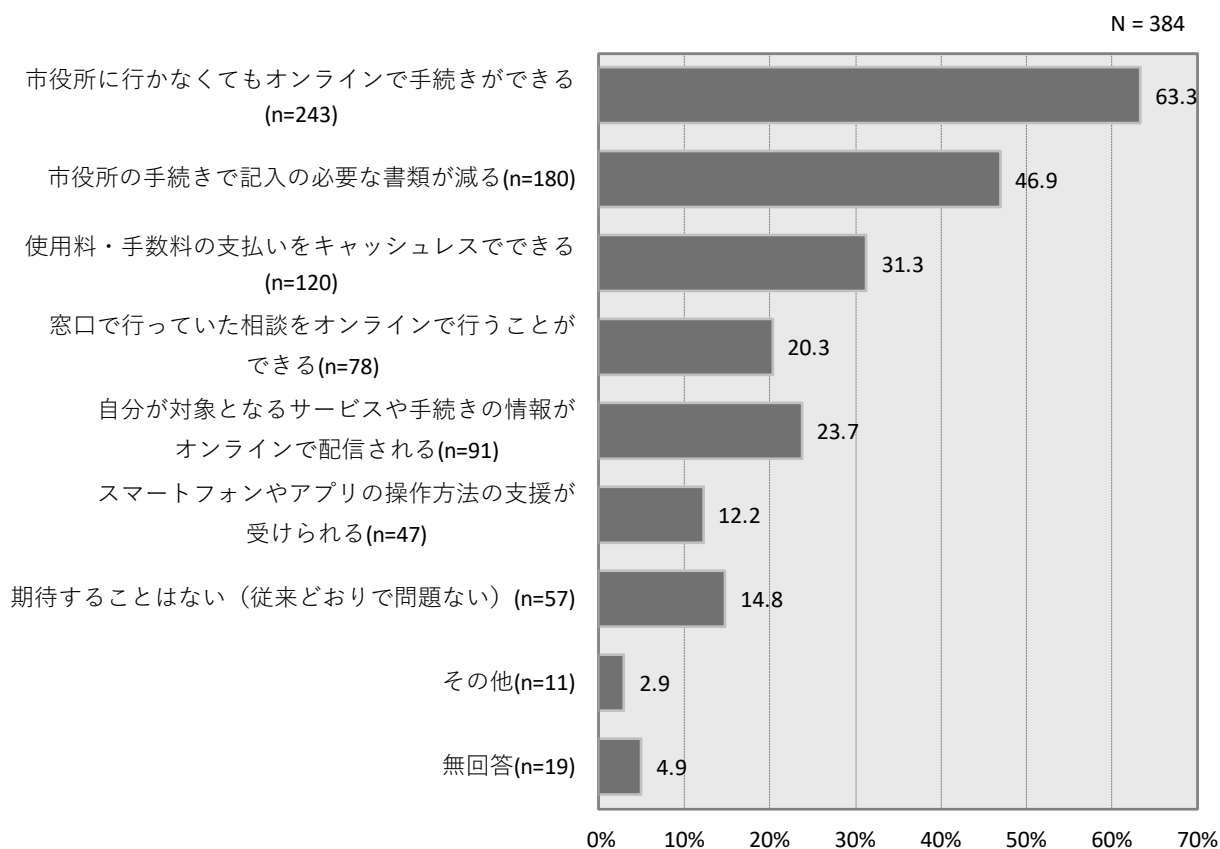
<地区別>



第1章 市民意識調査

問 50 武蔵村山市のデジタル化について期待すること（複数回答形式）

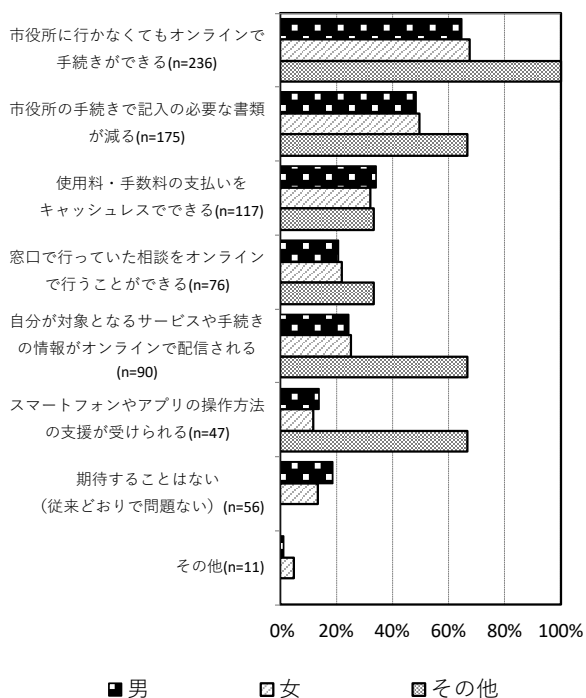
- 「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」が最多で 63.3%、次いで、「市役所の手続きで記入の必要な書類が減る」が 46.9%、「使用料・手数料の支払いをキャッシュレスでできる」が 31.3%となっています。



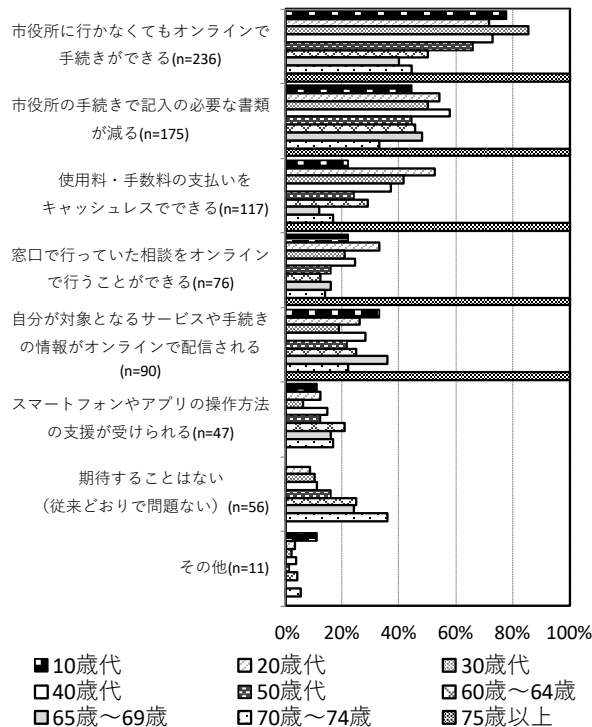
〈その他の回答〉

- ・ 休日開庁日の設定
- ・ インターネットを利用したくない。
- ・ 高齢者にとってデジタル化にされてもついでに行けない。
- ・ ネット関係を持っていない。
- ・ ネットができない方々のサポート
- ・ 検索のしやすさ。情報の更新（古い情報の削除）、管理
- ・ 何も期待していない。
- ・ セキュリティ対策が不安のため、すべてデジタル化にせず選択できるとありがたい。

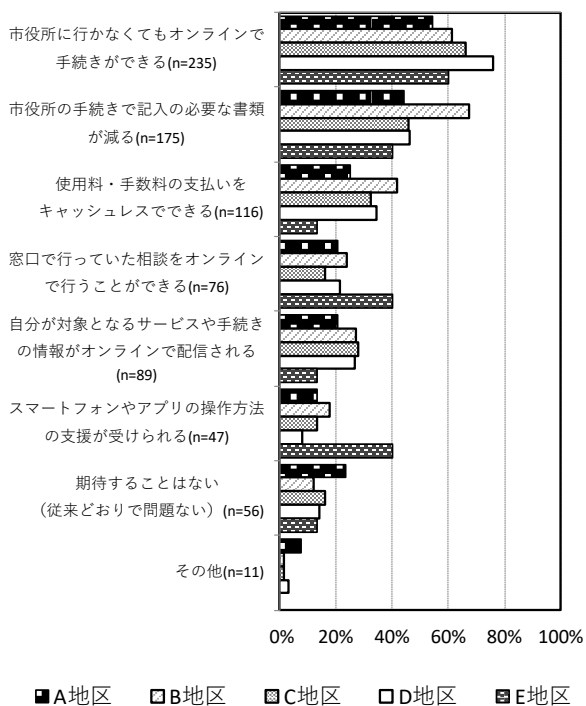
<性別>



<年齢別>



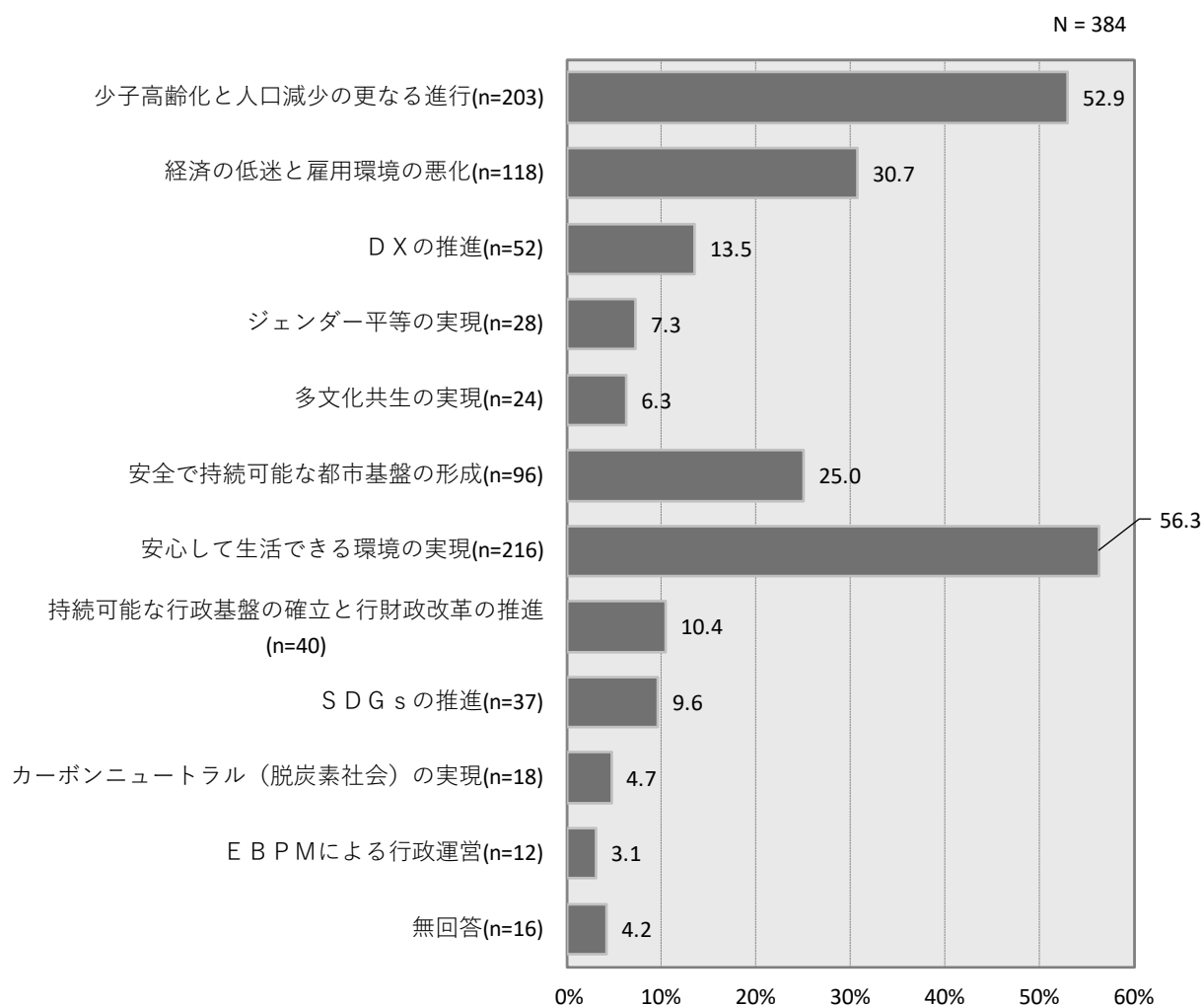
<地区別>



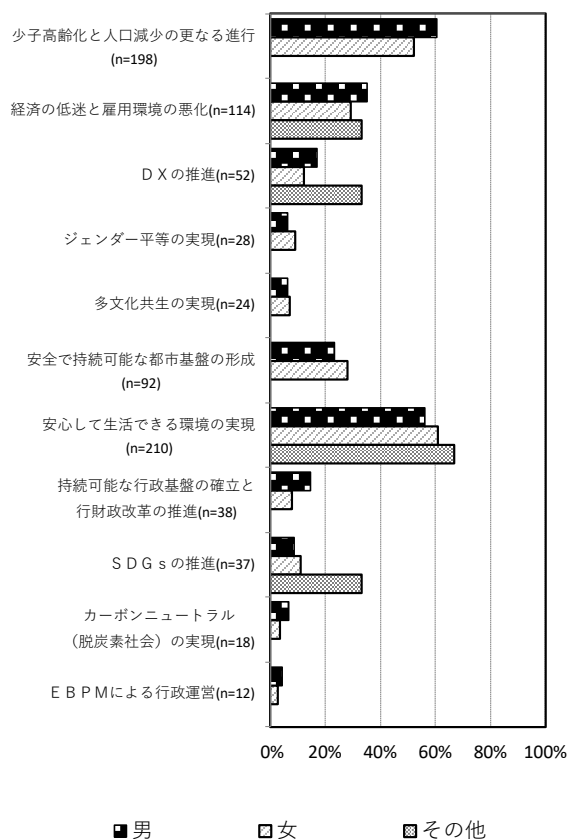
第1章 市民意識調査

問 51 どの社会情勢を重視して行政運営を行うべきか（複数回答形式）

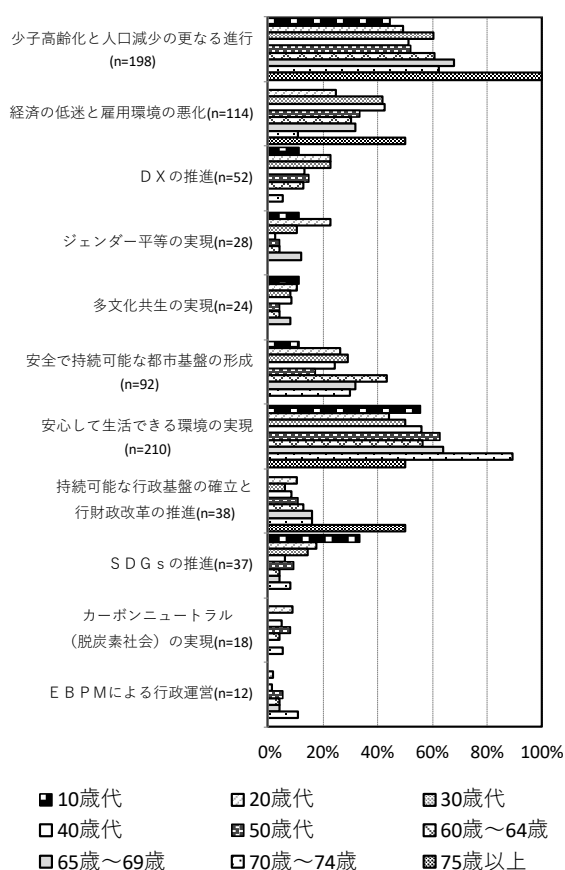
- 「安心して生活できる環境の実現」が最多で 56.3%、次いで、「少子高齢化と人口減少の更なる進行」が 52.9%、「経済の低迷と雇用環境の悪化」が 30.7%となっています。



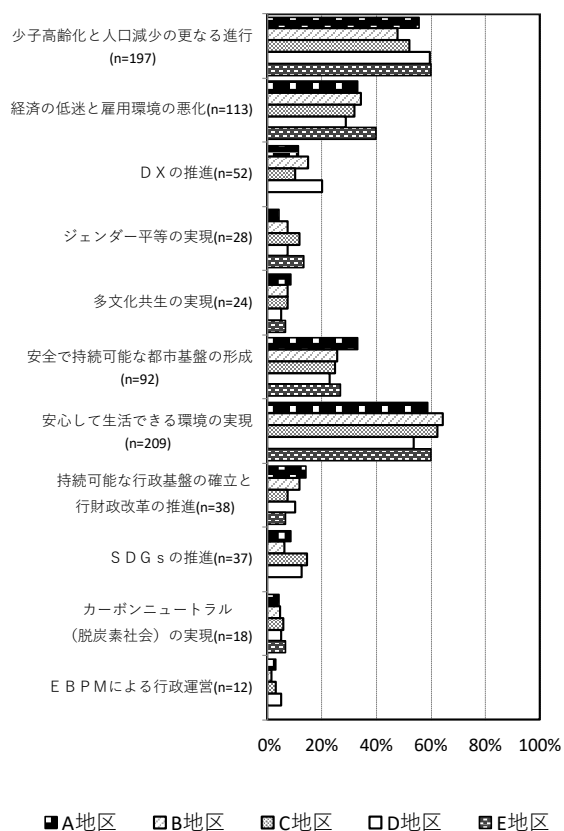
<性別>



<年齢別>



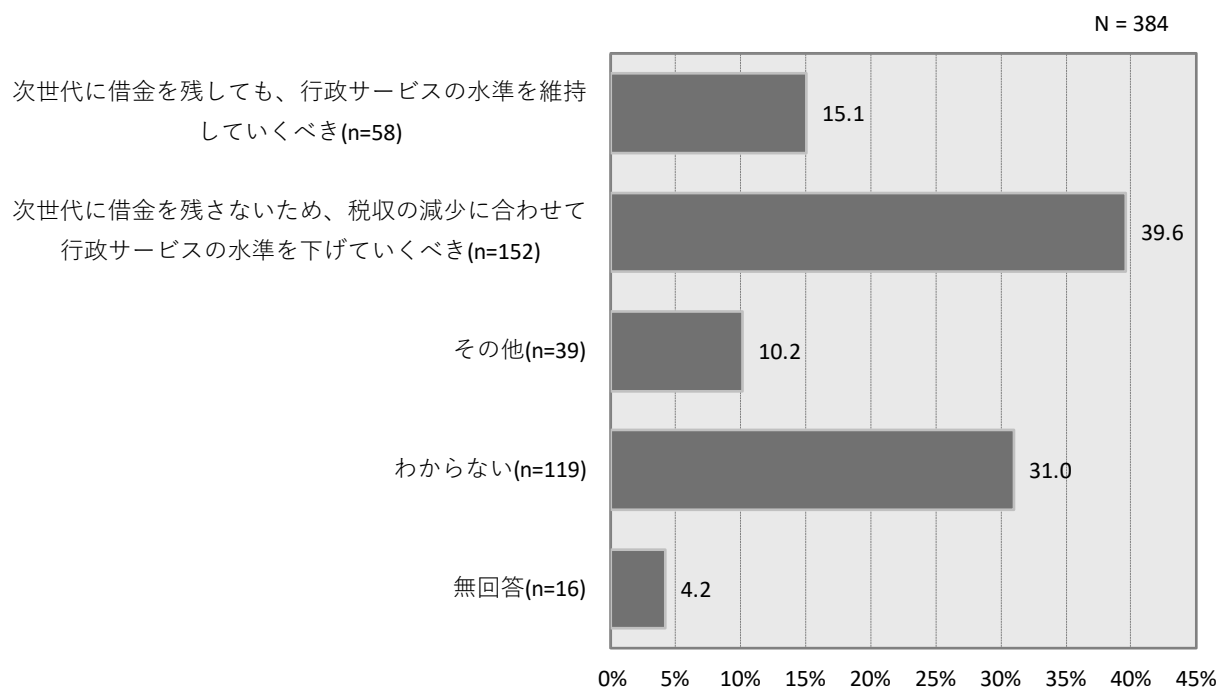
<地区別>



第1章 市民意識調査

問 52① 歳出と行政サービス水準についてどのように取り組むべきか（単数回答形式）

- 「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき」が最多で 39.6%、次いで、「わからない」が 31.0%、「次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき」が 15.1%となっています。



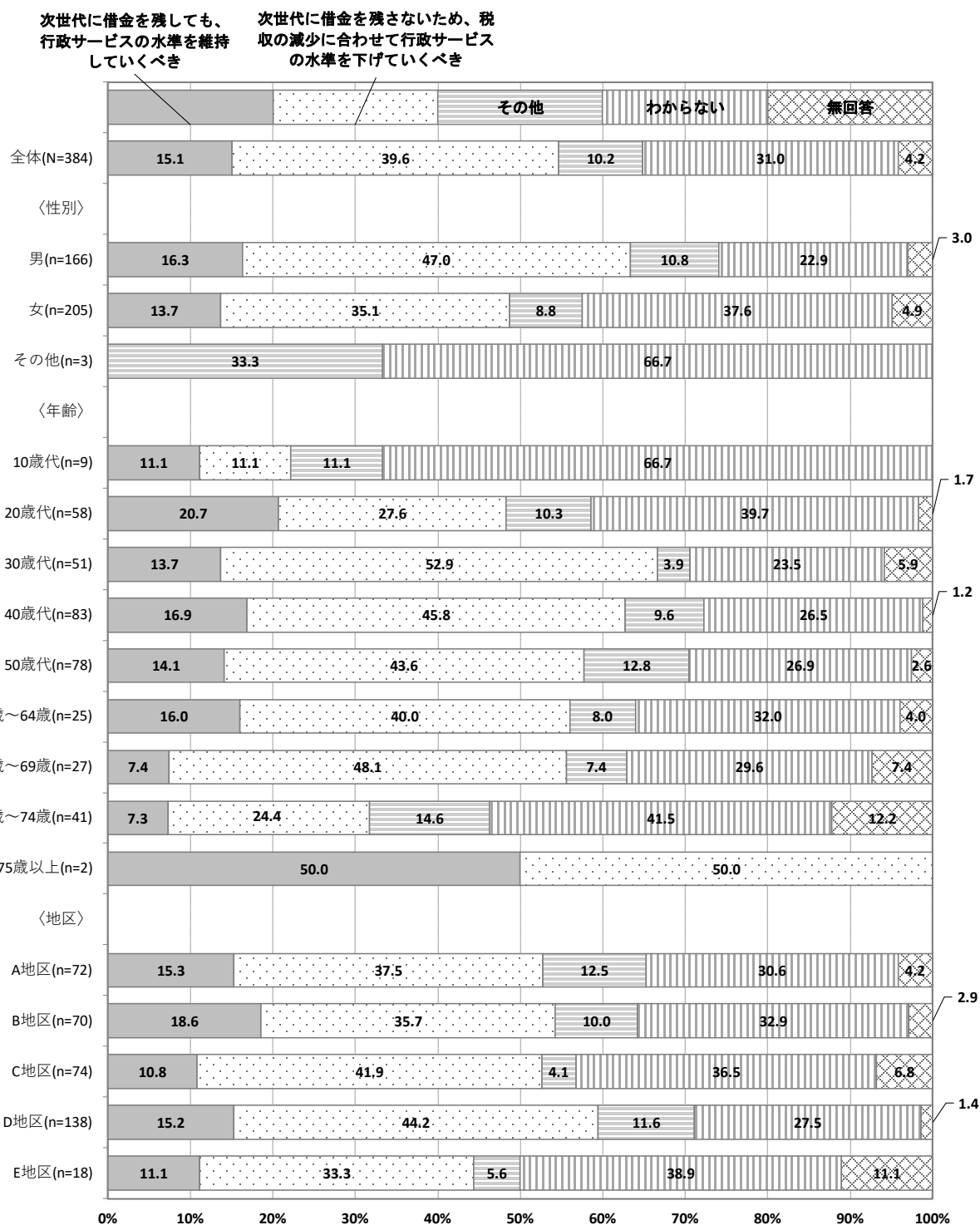
〈その他の回答（意見・要望）〉

- ・ サービス水準は現状維持がよい。
- ・ 次世代に借金を残さず行政サービス水準維持を図るよう検討して欲しい。
- ・ 生活保護、母子家庭等、本当に収入がないのか調べるべきだ。本当に困っている人に支援すべきだ。
- ・ 財政運営においてサービスの水準を下げないように考えるべき。
- ・ 次世代に借金を残さず、行政サービスの水準を維持するべき。
- ・ 少子は恵まれている。
- ・ 「水準を下げる」の一択ではない。必要度に応じるべき。
- ・ 高齢者への支援を徹底的に削減し、未来ある子供達のために使ってもらいたい。
- ・ 税収減少にならないように住みやすい武蔵村山作りをお願いしたい。
- ・ これからの世代の人や子供達に充実したサービスを増やして欲しい。
- ・ 維持するべきものもあるだろうけど、下げても良いものもあると思う。

第1章 市民意識調査

〈その他の回答（解決策の提案）〉

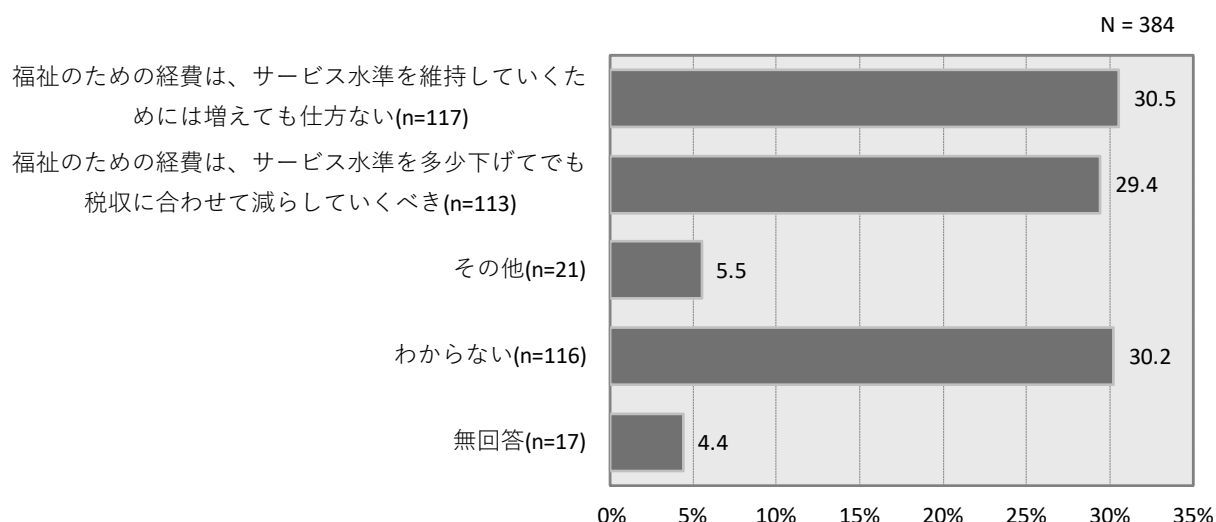
- ・ 少子高齢化を減少させるために若年世帯や大人数家庭への魅力的支援の充実と呼び込み。
- ・ 次世代に借金を残さないため、行政サービスに優先順位をつけ統廃合を促進する。
- ・ 市が運営する地域特産品販売所を作る。市民の技能、技術を情報提供する場を作る。ネットで紹介する。
- ・ 人が流入することをまず考えていくべき。減らすことばかり考えていないでやることやってほしい。
- ・ 観光、住みやすい町づくりを図り、人、金を呼び込む。
- ・ 選択と集中で税収に見合った支出を行う。
- ・ 次世代に借金を残さないよう、行政サービスの取捨選択をする。
- ・ とにかく独身者を減らすことを考え、生活が出来る（夫婦とか家族とか）就労支援、生活できる収入の得られる職場、会社が必要かと思う。ブラック企業をなくす。
- ・ 市議会議員を減らす。
- ・ 市の財政はマイナスにならないよう運用すべきで、マイナスになるなら議員を減らすべき。
- ・ 次世代に借金を残さないため増税し、行政サービスの水準を維持していくべき。
- ・ 水準を下げるもの上げるものの選択が必要
- ・ 行政サービスを維持するための市民増加 PR、企業と協業した活動。借金を残すのではなく歳入について検討していただきたい。
- ・ 受けられる行政サービスがほとんどないので、サービスの水準が下がっても借金を減らすべき。
- ・ 財政が悪化しないように、企業の誘致や子育て世帯を呼び込むように努めるべきだ。
- ・ ニーズに合わせてバランスを取るべき。民営に任せるもの、公営が譲れないものの線引きをしていくべき。事務はスリム化する。
- ・ 税収の減少を理由に次世代に借金を残すことがないよう、税金の使い道を見直すことで行政サービスの維持につとめるべきだ。
- ・ 無駄にお金をもらっている議員の給料を減らしてやりくりするべき。
- ・ 行政サービスの水準を下げるのではなく、あらゆるサービスを見直して不要なサービスを減らしていくべきである。



第1章 市民意識調査

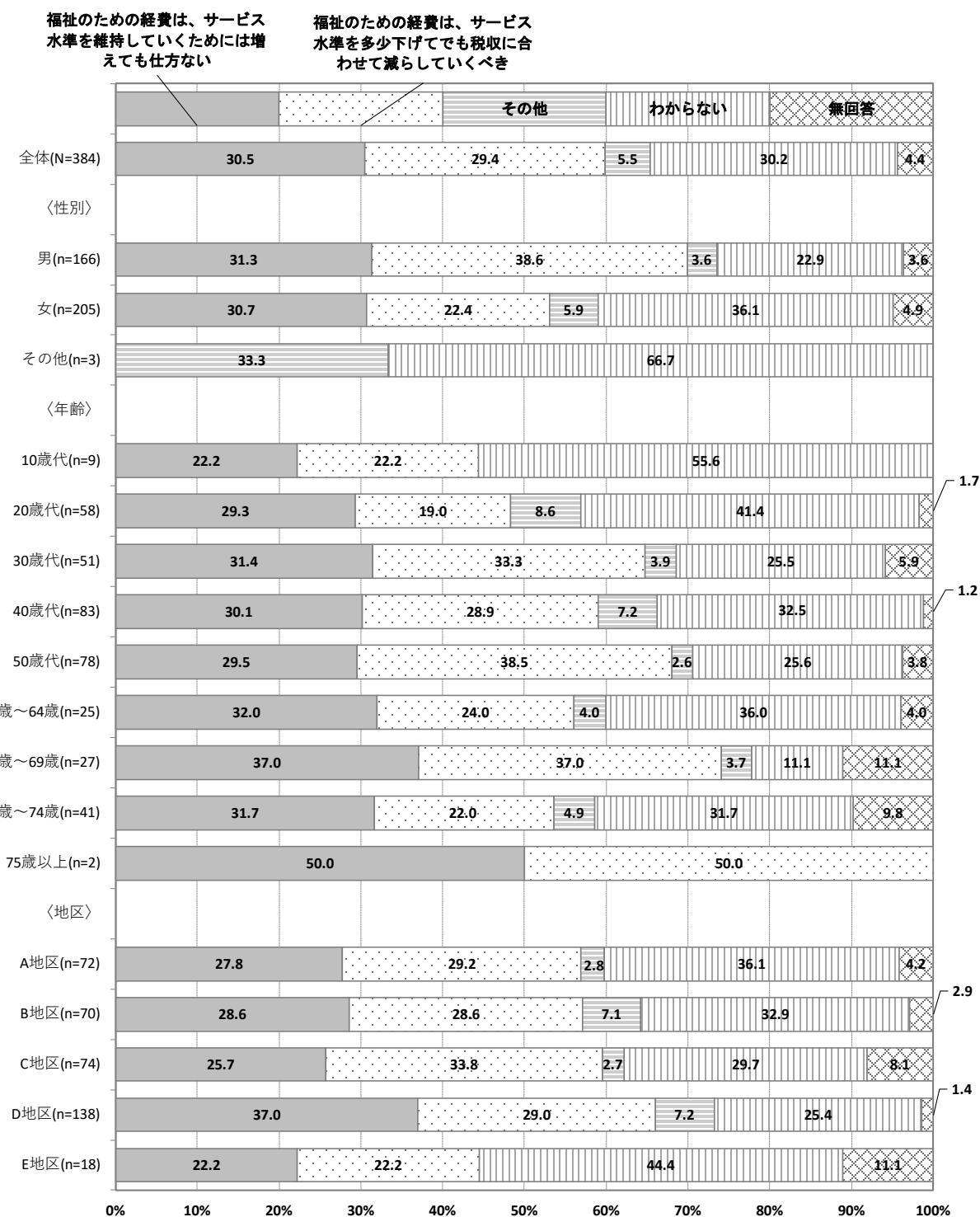
問 52② 福祉に関するサービス水準についてどのように取り組むべきか（単数回答形式）

- 「福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が最多で 30.5%、次いで、「わからない」が 30.2%、「福祉のための経費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき」が 29.4%となっています。



〈その他の回答〉

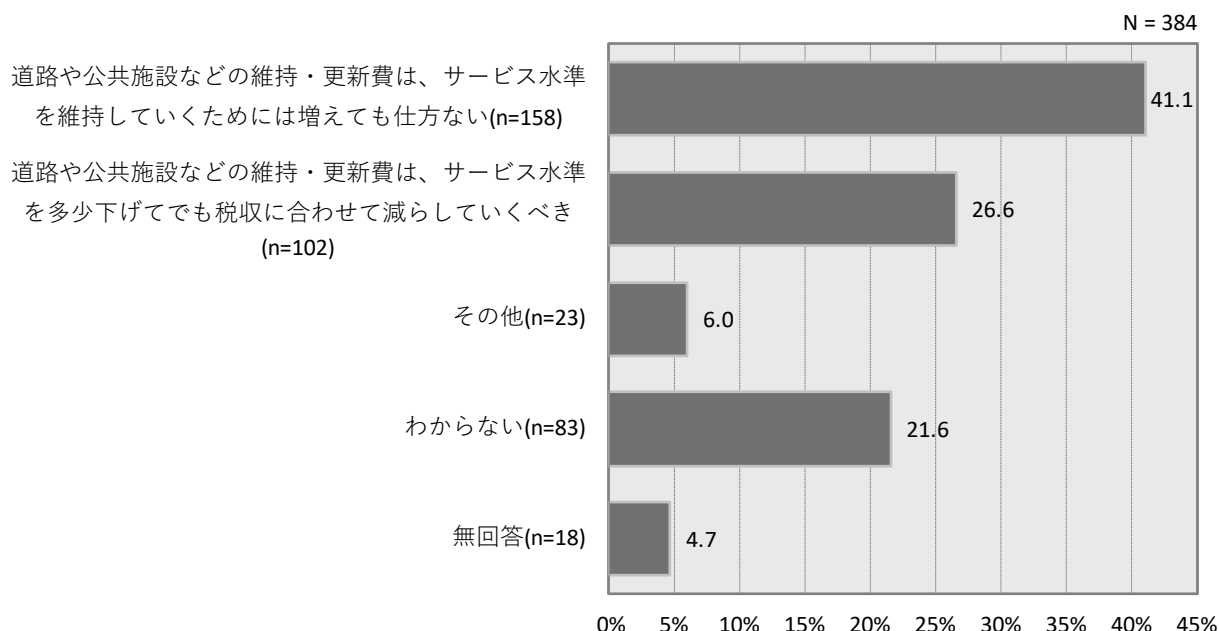
- ・ 全ての福祉サービスを維持するのは難しいため、段階的に縮小していく。
- ・ イベントを催して得た収益は福祉または投資にまわす。
- ・ 福祉サービスの見直し、必要か必要でないかを判断する。
- ・ 市運営の収入源を創設する。
- ・ 現状維持。
- ・ 皆が必要なことは水準を下げず、なかなかない事業を削減すべき。
- ・ 使われているサービスが本当に必要なのかを精査し、バランスがとれるようにする。
- ・ 財政は無限じゃなく有限である。赤字経営するような市政はいらない。
- ・ 児童福祉、障がい者福祉については、サービス水準を維持。主に子どもの給食、障がい者の職業支援の維持、または向上を目指す。
- ・ 福祉サービスは水準を上げる必要があると思います。障がいを持った方々が暮らしやすいようにするために。経費を増やす必要があると思う。
- ・ 最低限の基準を定めプラス α にはお金を払う仕組み作り。介護保険内とするから制約が出てしまうので、介護側も自費でプラス α という概念は必要だ。
- ・ ある程度のサービスに絞り、そこを維持していく方が良いと思う。
- ・ 議員の金からだすべきだ。
- ・ サービス水準を下げることなく、あらゆるサービスを見直して不要なサービスを減らしていくべき。
- ・ サービスに助けられている。個人負担が多少増えてもよいので、サービス水準維持だとありがたい。



第1章 市民意識調査

問 52③ 道路や公共施設などの整備水準についてどのように取り組むべきか（単数回答形式）

- 「道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が最多で 41.1%、次いで、「道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき」が 26.6%、「わからない」が 21.6%となっています。

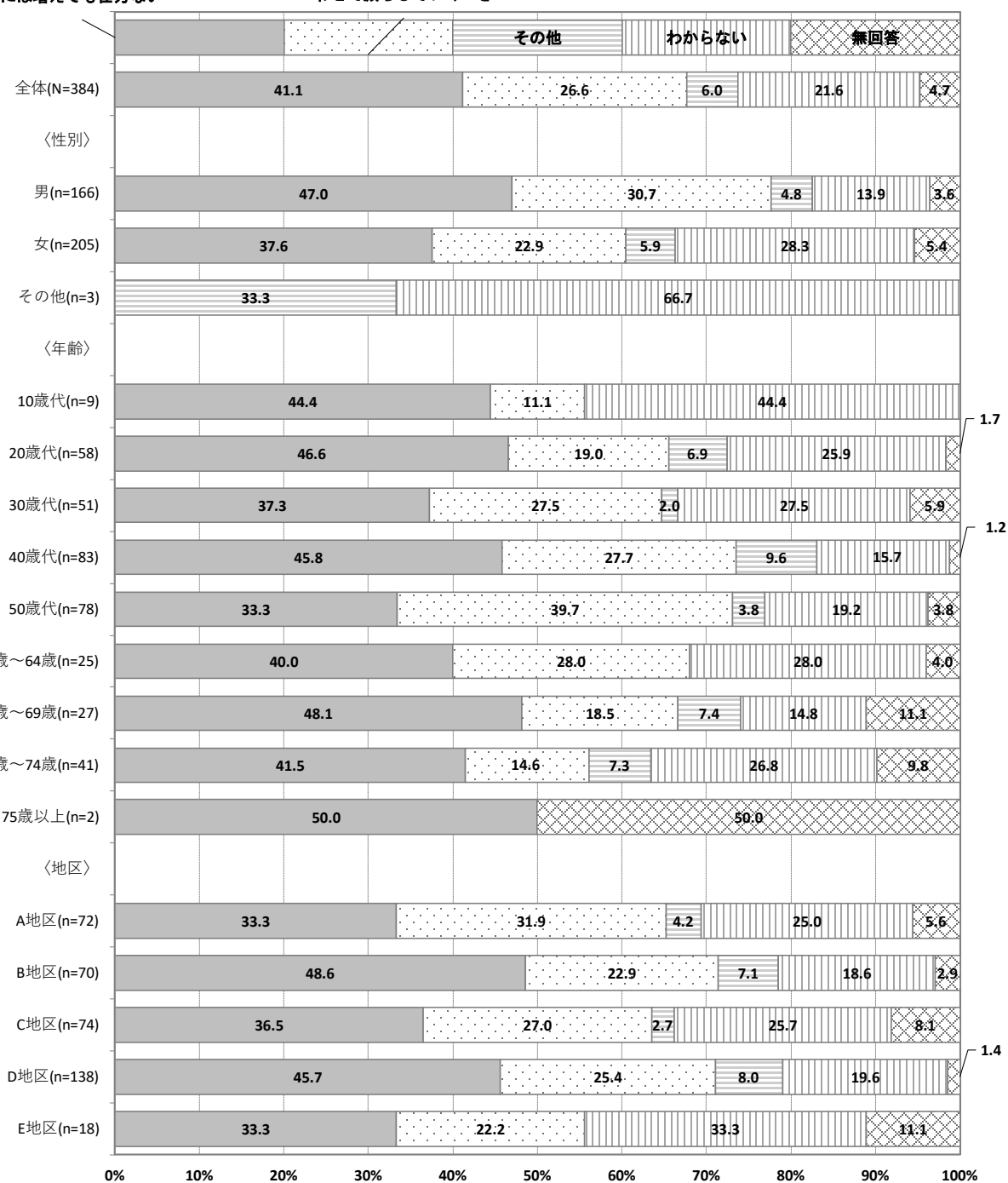


〈その他の回答〉

- ・ 道路や下水道等の整備水準は維持しつつ、公共施設の統廃合を促進する。
- ・ 次世代の技術を取り入れる。
- ・ 整備等は順番に少しずつしていくとよいと思う。ボランティア、支援者に応援してもらい経費削減を目指す。
- ・ 何でも入札などでやらずに、個人事業者などの低価格業者を市内から探す。
- ・ 水準を維持とか下げてとかじゃなくて、別の方向性を探すべきではないか。
- ・ 寄付制度を作る。
- ・ 現状維持。
- ・ 人口減少に合わせた施設の大胆な廃止・集約し、必要な部分のサービス水準はキープすべきだ。
- ・ バランスをとる。優先度、必要度を精査し部分的に見直す。
- ・ 道路のサービス水準を維持。公共施設、特に市役所の再建築はお金がないなら取りやめで良い。
- ・ マイナスにならないよう議会があるのではないかな。
- ・ 主に市営バス（本数が少ないから）
- ・ 無駄な道路工事を減らしてほしい。
- ・ 優先順位をつけて推進していただきたい。付加価値サービスは有料にする等、支出することだけではないのではないかなと思う。
- ・ 優先順位を決めて、最も必要なところに順次お金をかけていく。
- ・ メリハリ。優先順位。増えるのは困るがモノレールには必要な分お金をかけてほしい。上手くやりくりしてほしい。
- ・ 無駄な議員を減らしてやる。
- ・ 維持するのかもしれないのかも含めて増やす、増やさないと一概に言えないので必要なら増やして良いと思う。
- ・ サービス水準を下げることなく、あらゆるサービスを見直して不要なサービスを減らしてほしい。

道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない

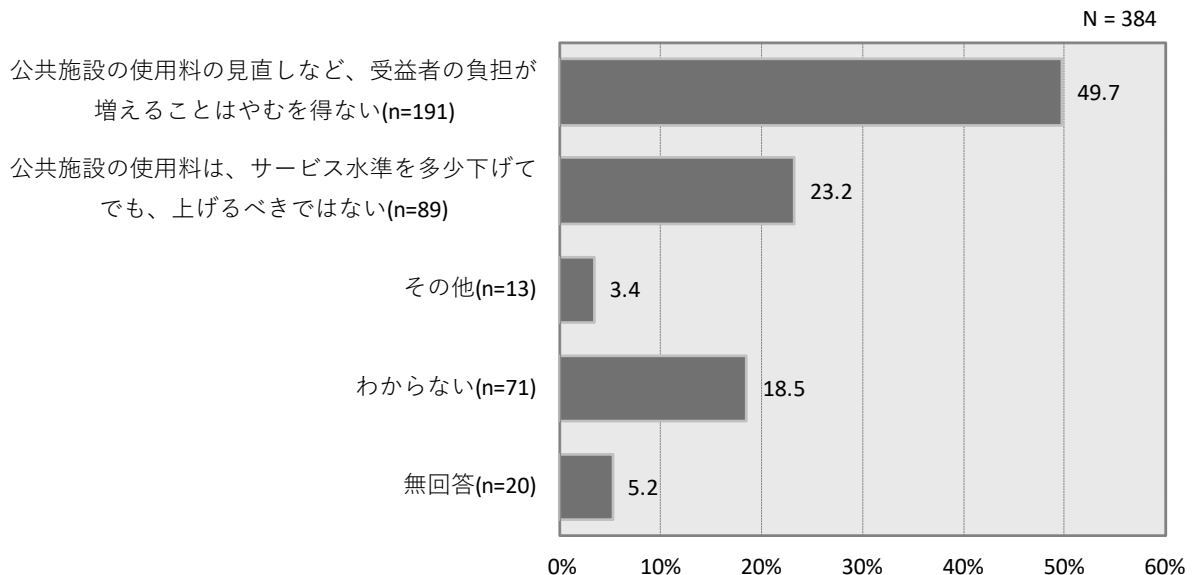
道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき



第1章 市民意識調査

問 52④ 公共施設の使用料とサービス水準についてどのように取り組むべきか（単数回答形式）

- 「公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない」が最多で 49.7%、次いで、「公共施設の使用料は、サービス水準を多少下げても、上げるべきではない」が 23.2%、「わからない」が 18.5%となっています。

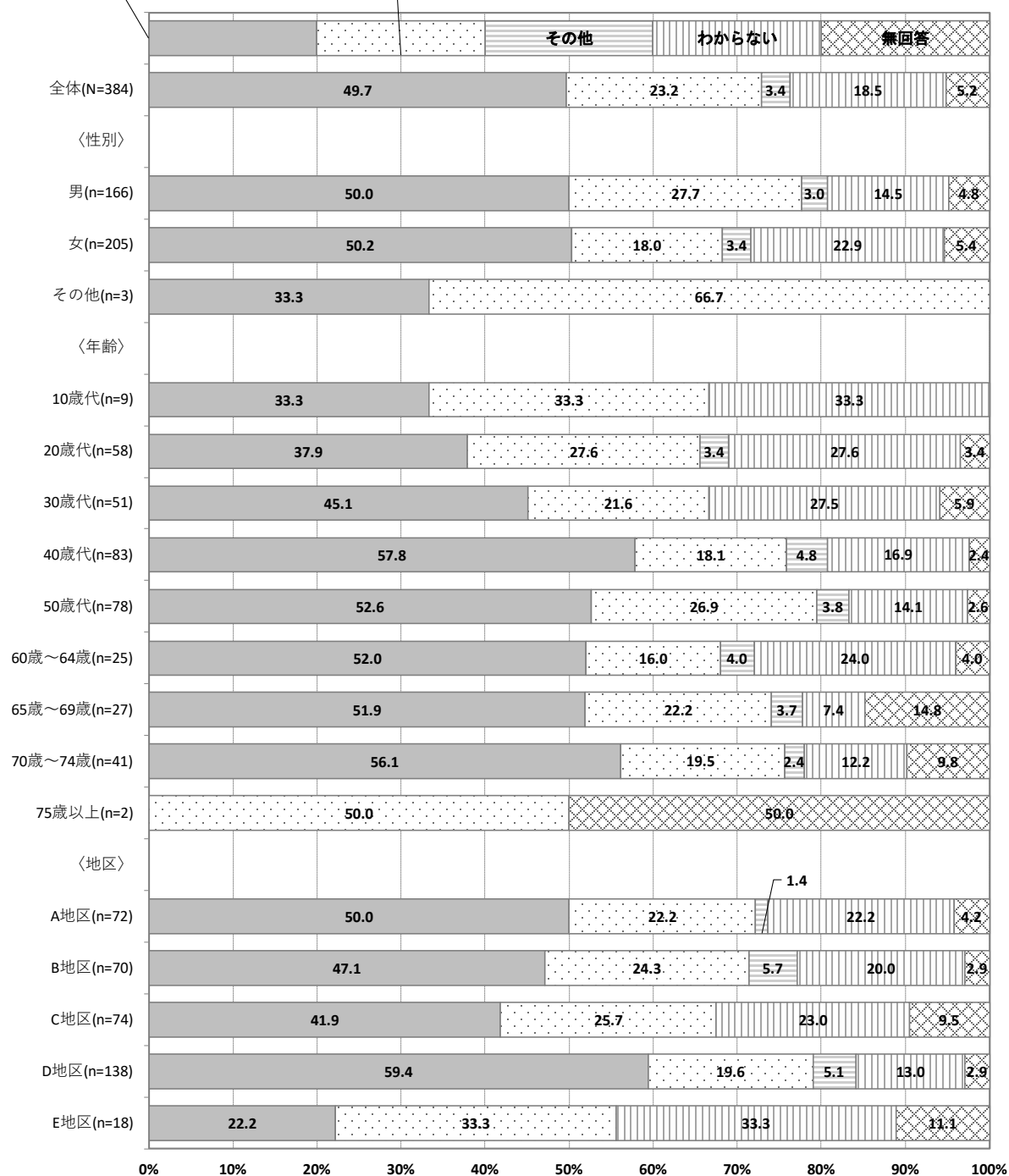


〈その他の回答〉

- ・ 水準は下げない。
- ・ どのくらいの負担とか、どのくらいの水準を下げるかわからない。
- ・ 現状維持。
- ・ 寄付制度を作る。
- ・ 程度による。
- ・ マイナス財政を恥だと思わない市政は無能であるから解散して欲しい。
- ・ 公共施設がしっかりと管理され、使いやすい状態なら値上げもいとわない。
- ・ 昭和の考えをする議員を減らしてその金でやる。
- ・ 使用頻度などで見直しは必要。多少高くなるのは構わないが民間より高かったらメリットがなくなる。
- ・ 使用頻度が少ないもしくはある一定の偏った利用者しか居ない施設は即時廃止もしくは利用負担を増加してほしい。
- ・ あなたがラーメン屋さんで働いているとして、経営状況が悪いからという理由で材料の品質や接客サービスを落として味や接客の質を落とすのでしょうか。それで何か解決するのか。

公共施設の使用料の見直し
など、受益者の負担が増え
ることはやむを得ない

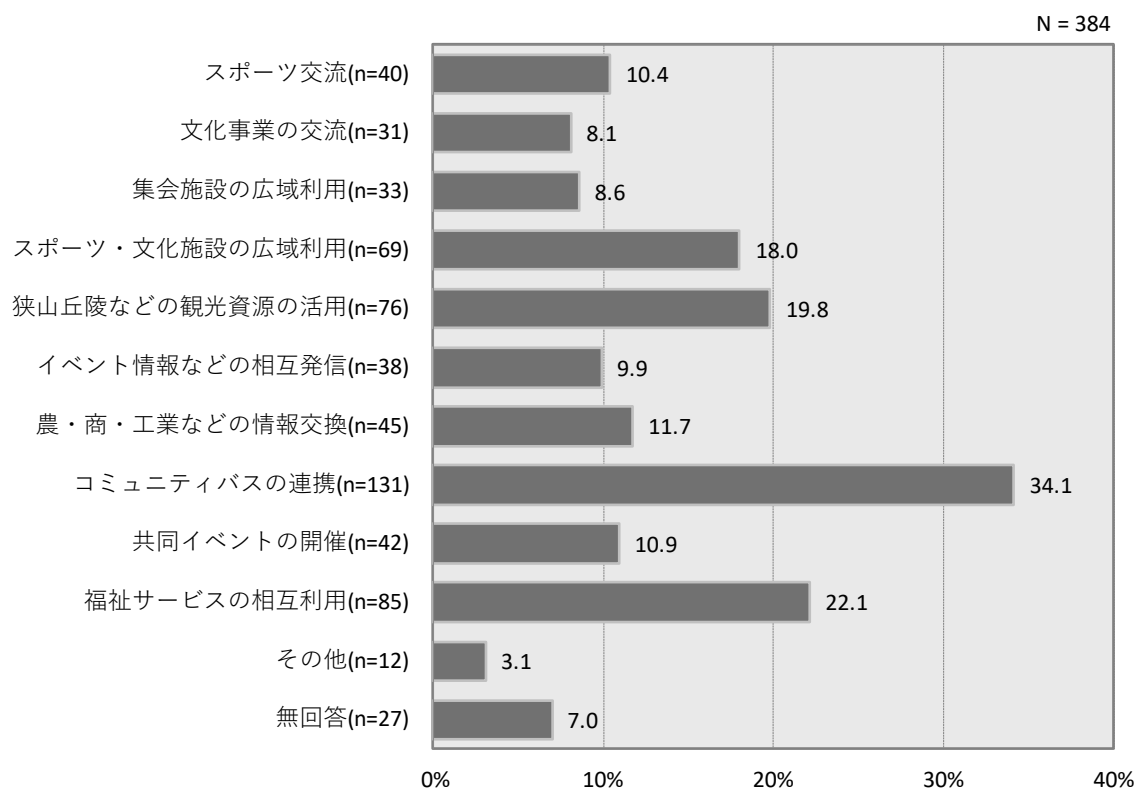
公共施設の使用料は、サービス
水準を多少下げても、上げる
べきではない



第1章 市民意識調査

問 53 今後、近隣自治体と連携し、どのような事業を行うべきだと思うか（複数回答形式）

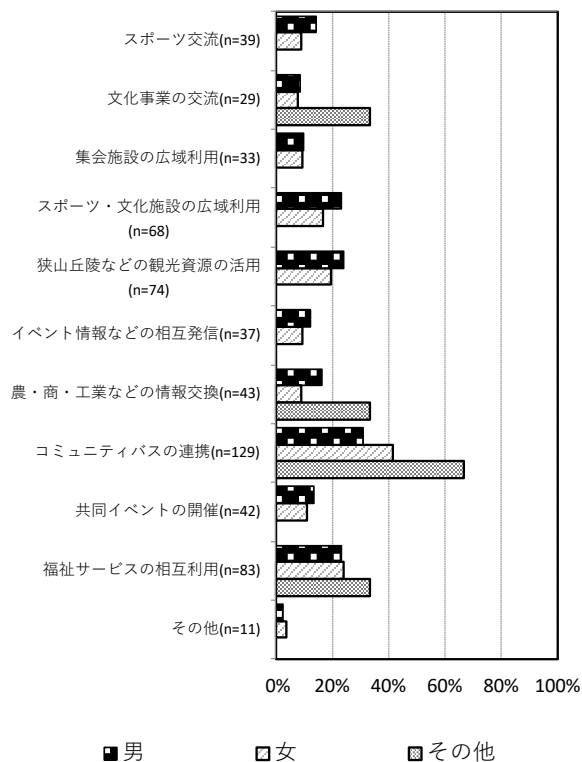
- 「コミュニティバスの連携」が最多で 34.1%、次いで、「福祉サービスの相互利用」が 22.1%、「狭山丘陵などの観光資源の活用」が 19.8%となっています。



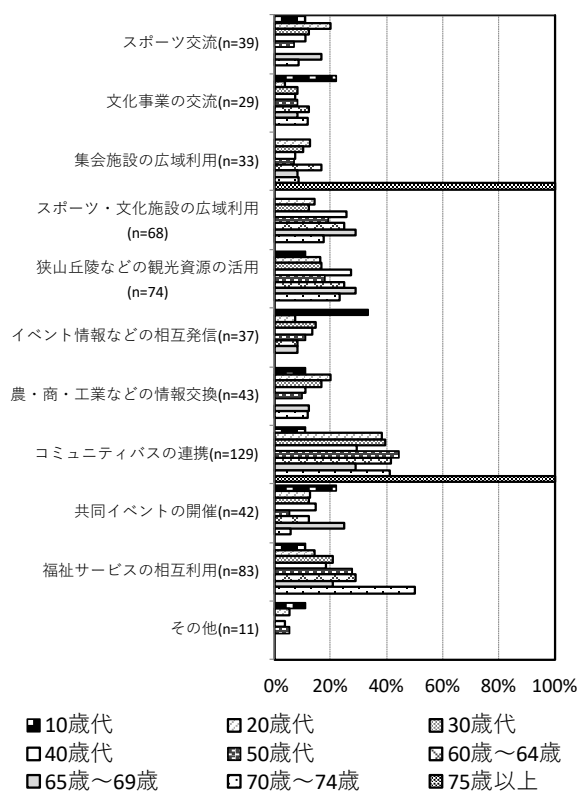
〈その他の回答〉

- ・ いろいろなイベントの開催。
- ・ 興味ない。
- ・ モノレールが新青梅街道を通るが、芋窪街道のように渋滞しないように対策が必要と思う。
- ・ その他、災害対策やインフラ整備。
- ・ 不明。
- ・ テーマパークや遊園地作る。
- ・ 何もしなくていい。
- ・ 必要なし。

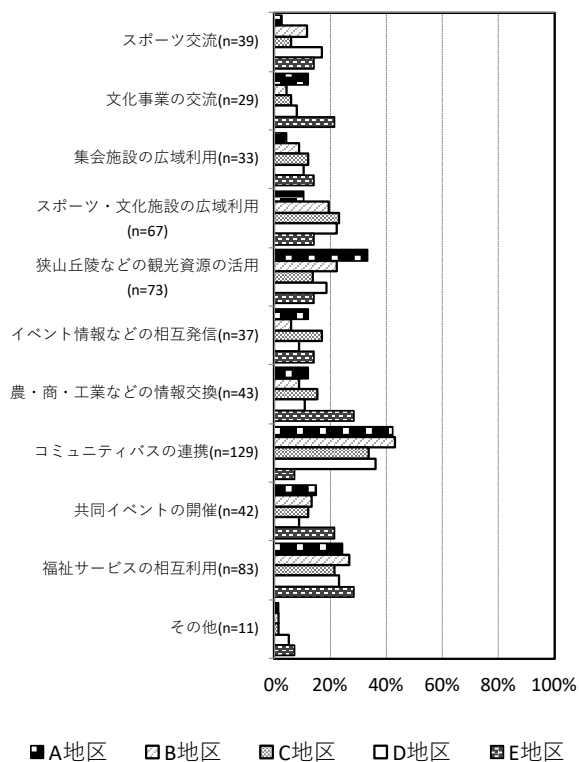
<性別>



<年齢別>



<地区別>



第1章 市民意識調査

問54 市政運営やまちづくりに対する意見や要望（自由回答形式）

施策体系別自由回答集計表

節	項目	件数	節	項目	件数
コミュニティ	地域コミュニティ	3	人権	人権・平和	0
	交流	3		男女共同参画	0
パートナーシップ	情報共有	2	教育	学校教育	1
	市民参加と協働	0		生涯学習	4
健康・医療	健康づくり	0		スポーツ・レクリエーション	0
	医療・救急	2	文化	市民文化	0
	社会保障制度	1		伝統文化・文化財	0
福祉	地域福祉	3	産業	農業	0
	子ども・子育て支援	3		商・工業	1
	高齢者福祉	1		観光	0
	障害者福祉	0	景観	都市景観	1
	生活支援	0		水とみどりのネットワーク	1
暮らし	消費生活	0	環境	自然環境	4
	雇用	0		公園・緑地	3
安全・安心	災害対策	2		地球温暖化対策	0
	消防体制	0		公害対策・環境美化	2
	交通安全	4	計画の推進	行政運営	5
	防犯対策	5		財政運営	11
都市基盤	都市づくり	1		広域行政	1
	道路	11	その他		30
	住宅・宅地	0	合計		151
	下水道	0	回答者数		105
	廃棄物処理とリサイクル	1			
地域交通	モノレール推進	26			
	地域交通	19			

○A地区（中藤・神明・中央・本町）

性別	年齢	住まい	自由意見
女	65歳～69歳	中藤	①市内モノレール実現に向け、合わせて行ってほしいことは各駅前に駐輪場及び時間貸駐車場の確保である。 ②安心して住める町（特に夜間の防犯パトロールとそのPR）。 ③大企業製造の誘致による雇用の確保。社宅整備で人口増加へ期待（税収にも期待）。 ④SDGsの12番リサイクルへの取り組みに特化したまちづくりをめざす。③での企業はリサイクルに取り組みを見せている企業を選ぶ。むさ村フリーマーケット（イオンモールむさし村山）を市でも協賛やPRし、さらに規模を大きくし、フリマと言ったら武蔵村山市となるよう（SDGsリサイクルのまち）にしていく。特色あるまちづくりへ「駅のない町むさしむらやま」ではなく「フリマの町、リサイクルの町むさしむらやま」へ。
女	70歳～74歳	中藤	私は、中藤に住んでおり、車の運転が出来ずバスが交通の手段である。バスの本数が少なくなることが一番困っている。東村山行きは本数があるのに、なぜ村山に来る数は減っていくのか。高齢化が進むというのに、車の免許の返上を求めるのに、バスだけが頼りの人にとって納得がいかない。廃止など考えないでほしい。
男	50歳代	中藤	ちょこバスの本数を少なすぎる。西部バスもちょこバスももっと早くから運営して欲しい。通勤で使えない。
男	50歳代	神明	少子化対策ばかりに力をいれるのではなく、高齢の親を持つ身としては、移動手段（バスの本数の増加等）、ふれあい（交流）の場所、ひとりでも生ける近くのスーパーの充実をしてほしい。デジタル化ばかりだと高齢の親はひとりで何もできなく助けが必要である。この頃はスーパーでも親世代の腰が曲がり、やっと歩いて買い物をしている人を見かけると、身近に身寄りもなく頼れないのだと悲しい気持ちになる。ネット購入もわからず、出来ない高齢者である。もう少し我慢してしまう高齢者の立場になり、住みやすい町にしてほしい。自分も車の免許返納後は足腰が弱くなるため、今のままの異動手段しかないようなら、持ち家ローン返済済みだが、スーパー、病院がたくさんある近くの環境の良い町に移る予定でいる。※犬のフンの持ち帰りを徹底してほしい。
女	50歳代	神明	村山市を財政豊かにしたい。お金を呼び込む。村山市に観光がなくても全国から来るマンホールカード発行・道の駅・狭山の自然を活かし、瑞穂より高い展望台・お城のやぐらの型など、誰もがワクワクするものを作してほしい。幻の軽便鉄道復活も有効である。
女	65歳～69歳	神明	財政減について。行政サービスの低下で考えるのではなく、職員を市内で採用し、交通費、住宅手当等の見直しをまず図るべきである。
男	70歳～74歳	神明	教育にもっと力を入れて欲しい。都で上位にランクされる市になれば自然に人が集まってくると思う。私達の市が古い考え方にならないよう、AIなどを活用してより良い市になりますように。
男	60歳～64歳	神明	モノレールの拡張、充実。マンホールカードの配布、作成をする。
女	50歳代	神明	歩道は斜めに傾いているところも多く、ベビーカーや手押し車等を使っている人は、安定感がなく、危険を感じることも多いと思う。車道に自転車走る表示があるが、交通量の多い新青梅階段とかは特に、車からも自転車からも、メリットを感じない。道路整備について、もっと実態にあったものにしてほしい。

第1章 市民意識調査

性別	年齢	お住まい	自由意見
男	50 歳代	神明	モノレール延伸のため土地を買い上げ、歩道を仮のガードレールで塞いでいるが道路を作り終わったら外して処分してしまうのに、はたしてそんなムダは必要なのか。塞いでいる方がむしろ通行に危険で仕方ない。そういうことも市は分らないのか。普段使わないからどうでもいいのか。市民の税を無駄遣いしないでいただきたい。
女	40 歳代	神明	子供が夜中に具合が悪くなったとき、受け入れてくれる病院が近隣に無く（いっぱいだから受け入れ拒否された）困った。たとえば昼間のみのクリニックの設備を夜間対応に借りるなど、医療従事者の確保に力を入れてくれたらもう少し、武蔵村山が住みやすくなる。
女	40 歳代	神明	かたくりの湯の短いプールや、東経大のプールを借りての期間限定利用ではなく、いつでも使える市民温水プールを作ってほしい。立川市の温水プールは市外利用 800 円。利用助成などを出して、もう少し負担なく使えるような制度を作って頂きたい。また、長年都内勤務ですが、とにかく最寄りの鉄道、モノレールの駅まで出るのが大変。バスの深夜料金は2倍料金で高く、本当に不便過ぎる。都内勤務者は駅まで家族に送迎してもらっている人が多い。モノレールの早期延伸を強く希望するが、おそらく定年までには間に合わないと思っている。せめて駅周辺に駐輪場、駐車場を充実させてほしい。武蔵村山は不便なので、同級生はほぼ引越してしまった。また、各種健診ですが、婦人科系は2年ごとに受けられ、抽選のようですが、1年ごとくらいで受けられたらよいと思う。あと、婦人科系健診に限らずもう少し若い年齢から、色々な健診が受けられたらよいと思う。また、子なし家庭の納税者にも何かメリットがあるとよい。よろしくお願い致します。
男	30 歳代	神明	温水プールがないので作って欲しい、モノレールが早く開通して欲しい、鉄道の駅に出るのがかなり不便。会社で健康診断が充実していないため、市の健診がもっと若い年齢からできるようになるとよい。外国人にも住みやすい街づくりをお願い致します。日本語学習会とか、語学交換や異文化交流会みたいながあるとよい。
女	60 歳～64 歳	中央	市役所移転の計画があるようだが、今の場所で補強をしてずっと利用するのでいいのではないかな。高い金額で市役所を建て移転するより、ほかに使うべきものがあるのではないかな。それよりも福祉課が離れすぎている。今の市役所内に入れないものなのか。バスが14時台とかが少なすぎる。ルートを新しく作って、日中と夜ラスト便をもう少し、せめて1～2本増やしてほしい。上北台や玉川上水から歩くと1時間以上かかり、とても不便である。一日も早いモノレールの実現をお願いしたい。モノレールグッズを増やして、その資金を貯金してあと数年、なるべく開通して欲しい。しかしながら、今の新青梅街道の景観がうっそうとしてしまい、今の解放感がなくなることと、富士山が見えなくなるであろうことは少し困るところだ。西武鉄道があと2km北に東西に走っていたらと思うってしまう。花火大会はとてもいい企画である。他の市にはないイベントで、毎年とても楽しみ。歩いて見に行けて最高だ。かたくりの湯での、長野の姉妹都市イベント等は午後までやってほしい。午前中だと行けないため、長野のいろいろ、お土産やグッズをたくさん売ってほしい。ぜひ買いたい。武蔵村山市の自然を気に入って引っ越してきたため、自然を守ってほしい。今後もまたぜひアンケート協力していきたい。お役に立てるなら嬉しい。

性別	年齢	お住まい	自由意見
男	20 歳代	中央	前例踏襲や現状維持をすることなく、あらゆる面において何が必要か何をすべきかを見直し、現状に最適なサービスとこれの向上を求める。
女	50 歳代	本町	かたくりの湯の再開をお願いしたい。
女	20 歳代	本町	モノレールを早く作ってほしい。MM シャトルのもっと朝の早い時間からは知ってほしい。夜になるととても暗くなり帰りが怖いので灯りを増やしてほしい。高齢者施設をもっと増やしたり、デイホームみたいなところを増やしたりしてほしい。もっと交通が便利になってほしい。この間、武蔵村山市のみ停電があり怖い思いをしたが、何が原因や今何が起きているのかなどの放送がなかったため、不安な気持ちでいっぱいだったので改善してほしい。少しずつ良くなってほしい。
男	65 歳～69 歳	本町	武蔵村山市の人口が増えるような施策を行って欲しい。例えば、昭島市のように保育所と幼稚園の給食費補助（月 2 千円）や学童クラブの間食費の一部補助など。また、市内に住む外国人の相談窓口（今もあるのかな？）を利用し、外国人が住みやすい街づくりをする。出来れば現地語が出来る人を雇用する。職場も斡旋する。地方からの東京への人口流入は止まらないので、その人達を受け入れる準備を考えておく。そのためにはもっと早くモノレールを引き込むよう、陳情をしつこく行う。
女	50 歳代	本町	スマホやネットがなくても高齢者や子供たちがすぐに、家族が安心してサービスを受けられる市になってくれたらと思う。
女	50 歳代	本町	青梅街道が狭すぎる。歩道に電柱が立っており、自転車、歩き、車に惹かれそうでこわい。道を拡げて柵を設置して欲しい。
女	65 歳～69 歳	本町	少子高齢化など税収が見込めない中、武蔵村山市に住みたいと思うよことが大切だと思う。30 年以上住んでいるが、道路状況もわるい、公園が少ないなど他市に比べると子育てもしにくいし、とても住みやすい街とは言えない。最近是他市にふるさと納税している。武蔵村山市に全額納税しようと思える市になってほしいと思う。ごみ袋有料化でごみは削減されたと思うがごみ袋が高すぎる。物価高騰の中、武蔵村山市だけでも安くならないだろうか。他市よりいいと思えるところがひとつでもないと難しい。
女	50 歳代	本町	危険な場所に防犯カメラを設置してほしい。

第1章 市民意識調査

○B地区（三ツ木・岸・中原）

性別	年齢	お住まい	自由意見
男	40 歳代	三ツ木	市内バス、三ツ木エリアは上北台方面のみで不便。武蔵砂川駅や西武立川駅に1本で行けるバスが欲しい。
男	40 歳代	三ツ木	モノレールの早期延伸をお願いしたい。
男	50 歳代	三ツ木	企業誘致をして税金を増やす。
女	40 歳代	三ツ木	私も運転をしています、一時停止しないことが非常に多い。子どもたちが安全に過ごせるように、警察と連携して交通安全の質を上げて欲しい。また、防災（火事等）の SNS 情報が発表されていないことが多いので、防災情報はきちんとアップデートしてもらいたい。図書館をもっと充実させてください。今のままでは、子ども含め利用しにくい。理由は蔵書数が少なく管理も行き届いていない。放課後の子どもや休日の大人たちも利用しやすい環境になれば、防犯の役割や学力アップにつながり、市の質の向上になると思う。どうぞよろしくをお願いしたい。
女	40 歳代	三ツ木	モノレールの早期延伸を実行していただきたい。
女	50 歳代	三ツ木	グラウンドやテニスコートだけではなく屋外でバスケットができる場所を作って欲しい。
女	40 歳代	三ツ木	これからを担ってくれる若い人や子供達を大事にして考えて欲しい。交通の不便が大きいため、モノレールが1番だと思う。近隣には魅力的な図書館も多く、若い人が集まれる施設があると思う。高齢の方も外に出て人と関わる事が健康にも大事だと思うので、そういう場がたくさんあるといいのかなと思う。コミュニティバスがもっと充実していると助かる。子育てしやすい市だと思うため、若い人の意見を取り入れて頑張りたい。
男	65 歳～69 歳	岸	市運営の特産品販売所を作って利益を上げることを計画する。市民の技能・技術を情報提供するネットを作る。日本1位のブランド品を創造する。市民が作る特産品をネット販売する場所を市が運営する。
男	40 歳代	岸	モノレール延伸に伴う新青梅街道の抜本的な再開発が必要と思う。武蔵村山のメインストリートを魅力的なものとしなければ今後の発展は厳しいのではないだろうか。
女	40 歳代	岸	豊かな樹々がなくなり、素敵だと全然全く思えない建売住宅が増えていくのがとても哀しく寂しい。樹々が暑さから守ってくれるのだから（また、他の資源にしても同じく）、そういう観点から街の魅力を増やして欲しい。無くなってしまった自然はそう簡単には戻らない。これからの街づくりを担う若い人たちに、環境保護活動家の講演など積極的に行なって欲しい。夏に涼みにくるような、自然にも私たちのカラダにも優しい街になってほしい。
女	50 歳代	中原	MM シャトル（西ルート）を復活させてほしい。市役所に証明書が発行できるコピー機をおいてほしい。この前、市役所では印鑑証明書が取れず、コンビニまで歩くことになったためである。
男	50 歳代	中原	職員の方々には不満はない。これからも頑張りたい。
女	70 歳～74 歳	中原	家の周りの畑もすべて建売物件に変わってしまった。その時、計画的に道路の作り方を考えて欲しかった。これからできる道路と、これまで立っていた家とうまく繋げられたら良いと思う。駅のない市なので、せめて自転車が走りやすい道路を目指すべきだった。狭山

性別	年齢	お住まい	自由意見
			丘陵や自転車道路の桜並木は美しく、いつまでも残してほしい。そのために自分も草むしりをしたり、花を咲かせたりしていきたいと思う。中原に循環バスがなくなったことはショックだ。6月は祝日がないため祝日を設けてみてはどうか（「雨の日休み」とか「デエダラ休日」など）。
男	30 歳代	中原	早く公共交通の整備をしてほしい。
男	50 歳代	中原	この市では車を持たない家庭はとても不便である。タクシーの予約もできないのは聞いたことがない。ならば公共交通機関のインフラ整備をお願いしたい。
男	50 歳代	中原	町名の変更をすべきではないか。魅力あるネーミングだけで人が集まり価値が上がる。
男	40 歳代	中原	モノレール通して頂きたい。

第1章 市民意識調査

○C地区（三ツ藤・伊奈平・残堀）

性別	年齢	お住まい	自由意見
男	70歳～74歳	三ツ藤	早期モノレールの開通を願っている。
女	65歳～69歳	三ツ藤	モノレール延伸の早期実現・図書館や公民館の充実をお願いしたい。
女	60歳～64歳	三ツ藤	外国人へのごみ分別・ごみ出しの教育。ごみ収集車のごみを落としたことに気づかないで行ってしまう。特にマンションのごみ集積所で可燃ごみの日。ばらまかれたごみが風の強い日にはまわりの民家・道路に飛び散っている。カラスもよってきて荒らす。困ったものだ。
女	20歳代	三ツ藤	交通の便が悪すぎる。せめてモノレールを通してほしい。
男	40歳代	三ツ藤	日産工場跡地などの空いたスペースを有効活用して、税収をあげて、市民に直結する行政サービスを続けて欲しい。
男	70歳～74歳	三ツ藤	自分は、市の公共施設をほぼ使用していない。従ってこのアンケートははっきり言うと戸惑いながら記入した。参考になるか分からないが、一つ言うと何も無く住んでいるには良い街だが、公共交通機関で他市他県に出掛けるのは中々難しい、早くモノレールの延伸をお願いしたい。
女	10歳代	伊奈平	ずっと住みやすい町に！頑張っていたきたい。日産自動車工場地をうまく使い、商業施設を作ったり、緑や水場を作り自然に触ったりできる場所が欲しい。そこを盛り上げれば、市民の充実度が上がっていき、他の地域から遊びに来る人も増えたりするのではないかな。これからも期待している。
男	30歳代	伊奈平	まわりの畑や森林がどんどん減っている。自然を大切にしてほしい。
女	65歳～69歳	伊奈平	40 数年間、武蔵村山市で過ごしてきて、おかげさまで平穏無事に過ごせている。市政に守られてきたのだとこのアンケートで気づかされた。ひとつ不満があるとすれば、道路が狭い。歩道が狭い。（時々あまり車の通らない大きな広い道路を見かけるけど）区画整理が出来ていないなどの点が挙げられる。
女	40歳代	伊奈平	活気のある街になるといいと思う。
女	40歳代	伊奈平	3 項の質問及び回答が理解できなかったため、具体的でイメージできるように改善していただきたい。武蔵村山は自然が豊かで住みやすい市だ。一方で、交通の利便性や医療機関に不便を感じることもある。何か武蔵村山市の「売り」を決めて、都内での認知PR に繋がるまちづくりを希望する。例えば「犬と暮らしやすいまち、武蔵村山市」とし、他のまちでは行われていない犬 OK のお店作り、集客を狙う等、外からの集客に繋がるまちづくりを行うなどだ。これにより地元の商店についても、集客に繋がり、野山北公園の活用促進にも繋がれたらと思う。
女	50歳代	伊奈平	自転車の歩道利用の禁止やそもそもの自転車の法律の利用者への周知をお願いしたい。
男	50歳代	残堀	とにかく市民の税金を今後上げないよう努力すべきである。税金を無駄に使わないこと。職員を増やさないで運営していただきたい。
女	20歳代	残堀	市政運営やまちづくりに関して若い人は関心が少ない。知ろうとするきっかけとして、youtube や TIKTOK、SNS で（SNS マーケティングの強化）情報を発信することが必要かもしれない。知らなければ要望も意見もないためである。

性別	年齢	住まい	自由意見
男	20 歳代	残堀	経済大変ですが子供から大人まで住んだ武蔵村山の日々を安全に快適にさせていただき感謝している。不満なのは、やっぱり駅関係だけである。

第1章 市民意識調査

○D地区（榎・学園・大南）

性別	年齢	お住まい	自由意見
男	60歳～64歳	榎	モノレールの早期延伸及び予定駅周辺整備、交通網整備。武蔵砂川駅への経路短縮。榎、学園、大南地区には交番がない。防犯上問題である。
女	50歳代	榎	<ごみの戸別収集について> ゴミ出しルールの変更で、ゴミ出しがとてもしにくくなった。細かく分別しているが、本当にこんな分別が必要なのか。最終的にどのように処理されているのか、現場をホームページにUPしていただきたい。ごみの取り忘れもかなりある。特に有害ごみだ。有料ごみ袋の収支内訳を公表していただきたい。 <少子化対策について> 出産後すぐに職場復帰を強く望んでいる方にとっては、どこの自治体の政策もあっていると思うが、自宅ですぐに我が子を育てたいと思っている家庭にとっては、どこの自治体も協力してくれない現状だ。すべての子どもが0才から親を離れて育てられる環境にあっていとは言えない。その選択（専業主婦をしながら子育てをする）もできる自治体があれば、若い世帯の転入があると思う。その子にあった環境で育った子どもは、その後の豊かな人材にも続き、長い目で見れば豊かな武蔵村山市に繋がるのではないかと思う。
男	30歳代	榎	大雨時、榎周辺は冠水するため、全体的に古い道や狭い道などは整備が必要と感じる。子育て・高齢者について。うちには対象者がおらず、よくわからないが、市報などで得られる情報には関心がある。各検査（子宮頸がん等）、援助していただけるものは市報よりも、手間ですが封筒でお知らせがあると利用しやすい。市役所・出張所が少ない&少し遠いので、コンビニで利用できるものがあるのは便利だが、イオン内のえのきのような場所がまたあるとありがたい。気軽に利用できる地産地消と姉妹都市での野菜、キノコ販売が近くにあると嬉しい。車がないため、かたくりの湯が非常に遠く、行きたい！魅力的！と思っていても行けずじまいだった。デジタル化なかなか高齢の方には難しく、30代である私たちにも面倒に感じる部分もあるので、双方の良い塩梅で利用できるとよい。
女	70歳～74歳	榎	ご苦労様です。
女	30歳代	榎	ゴミのポイ捨てがひどい。特にタバコの吸い殻があちこちに落ちていて不快だ。歩きタバコをしている人がかなり多いため、路上喫煙を取り締まる条例を敷き厳罰化すべきだ。
女	20歳代	榎	質問の質が低く、とても残念な思いでいっぱい。最後の設問52に関しては最初からマイナスイメージを植え付けられている感じだった。少子高齢化は日本全体の課題としてあるため、財政が厳しくなるのはどこの行政も共通だと思う。その課題をどう対抗していこうか試行錯誤するのが行政の役割なのではないか。お金がないから「サービスの質を落とす」かサービスを維持していく上で「借金を抱えるのは仕方ない」かの2択で考えられる問題ではないと思う。限られた予算の中で予算をどう割り振るかのほうが重要なのではないか。

性別	年齢	住まい	自由意見
男	20 歳代	学園	税収増やすための策を第一に考えるべきだ。サービスの縮小は更なる人口減になるため避けなければならない。モノレールの早期開業は必須である。いつまでも立ち退きが進まない場所に関しては、行政代執行などありとあらゆる合法的な手段を取るべきだ。学園にある商店街の再興は市にとって起爆剤になりうる。一度、商店街前の道路を通行止めにして、イベントをやってみると良い。冒頭の税収を増やすのに市民の負担が増えるのは本末転倒だ。
女	70 歳～74 歳	学園	財政を豊かに出来る人が多く住めるためにモノレールの早期実現と外国企業の誘致（半導体などの）。野山地、かたくり温泉地域に野良猫、犬を助けるためにも、ふれあいセンターを誘致し、都会の人を呼び込む。※現在体育館使用料をとっていますが、子どもの育成クラブに対しては免除を考えて欲しい。
男	65 歳～69 歳	学園	車の税金を納める際、軽自動車の税金は市役所で納められるが、自動車税の納付は納められないのは不便である。
男	20 歳代	学園	1、アンケートが長すぎる。1 から 46 から 1 位～3 位を選ばせるアンケートを答えさせる気を全く感じなかった。 2、【わからない】の項目がもっと必要だと思う。20 代なので高齢者関連の質問は理解不能だった。アンケート製作している方は一度ネットで回答してみて、やりづらさを実感すべきだと思った。
男	40 歳代	学園	交通ルールを守らない人が多い。もっと取り締まるべきだ。子供も高齢者も安心できない。道路も古いし標識も判りづらく危ない。イオンモールが有るのだから、都市計画用地に大手ホームセンターを誘致するなど有効活用して貰いたい。モノレールが通るまでに先に整備しないと後からでは難しい事だと思う。
男	30 歳代	学園	武蔵村山市から一回も出ないで 39 年間住んでいる。昔は自治会の市民運動会などがあり、とても楽しかった印象があった。今の子どもたちにも経験させても良いのかなと思っている。また、武蔵村山市は移住してくる人も車社会が当たり前なのでモノレールが来ても市民の利用者は増えないと思う。反対にイオンモールむさし村山などは遠くから来る方も多いので広い土地を使って大きな商業施設をすれば市が盛り上がると思うし、財政面ではふるさと納税が大きく影響していると思う。寄付したいと思える品が少ないし、逆に市民は他の市町村へ納税するので厳しいと思う。かたくりの湯や総合体育館は市の外れにあるので利用しづらく使いづらい（使いづらかった）。それと赤字だったらかたくりの湯は、わざわざ復活させなくて良いと思った。
女	20 歳代	学園	武蔵村山市の図書館は小さく、蔵書数も少ないので大きくしてほしい。また、学習スペースなどが確保されていないことも不満に感じている。イオンモールに入っていた都市銀行の ATM が廃止され、不便だ。支店ではなく ATM だけでも設置してほしい。
女	50 歳代	学園	かたくりの湯が再開するのが楽しみだ。
男	30 歳代	学園	7 時台のバスが無いため、不便である。また、道幅が狭い住宅道路が多い。イオンモール近くにある広大な土地に、企業や大学など誘致し、付近に社宅などを建てて若い人口、税収などの増加を目指したい。デジタル化の推進による長期的な支出の削減に取り組むべきだ。

第1章 市民意識調査

性別	年齢	住まい	自由意見
女	20 歳代	大南	市自体の運営に主体性を感じられず、都や国などの外部勢力からの依頼をあまりにも受け入れ過ぎている印象を多々感じる。
女	40 歳代	大南	・夜暗いので街灯を増やし、安全なまちづくり・病院が少ないのもっと急患などの受け入れ・道路がガタガタしているので自転車でも走りやすいようにしてほしい・街並みが古臭いので新しくしてほしい。ペットも遊べるドッグランなど（土地が余っていそうなので）の充実を図ってほしい。
男	50 歳代	大南	要介護の高齢者がいる。一番困っているのが入浴だ。長時間（7～8時間）のデイサービスは、退屈、窮屈で体力的に辛く、回数を増やせない。「かたくりの湯」を利用した介助付入浴施設（入浴メイン）があったら助かる人が多いと思う。全額自費でも利用したい家庭は多いと思う。大手のフィットネスジム会社などに委託協力とかで何とかならないものかといつも思っている。雇用も増えるかと思う。
女	60 歳～64 歳	大南	高校1年の夏休みの終わりごろ、立川市から武蔵村山市に移住して、まもなく45年になる。16年しか住んでいない立川市の方が、思い出が強く、武蔵村山市に愛着がわかないのは現在も同じである。それはなぜかと考えたとき、都営団地周辺の商店街の昭和な感じでシャッターが閉まっているところもあり、さびれた感じで近寄りがたいイメージである。客層が団地の住民相手では、この先もおしゃれな商店街に変わっていくのは難しいと思う。あと何年、武蔵村山市に住むかわからないが、住んでよかったと思えるようになりたい。
女	70 歳～74 歳	大南	立川市が発展しているなので、隣町として、立川市街に短時間で行かれる機関があると評価が上がると思う。千葉県流山市のように、子育て支援、子どもの預かり方や集まり方、子どもを育てやすい環境にするアイディア、参考にしても、マネしても良いと思う。イオンモールに行きやすい乗り物。かたくりの湯の再開発。今までのようなことではダメだと思う。野山北公園も近くにあるので、帰りに寄れる（大きい施設にする）目玉となるような食堂、ちょっとしたおしゃべりができるようなファミレスみたいな店を近くに。駐車場も広く、バスは1時間に2回くらいは来た方がよい。
男	40 歳代	大南	至誠に忝るなかりしか、言行に恥ずるなかりしか、気力に欠くるなかりしか、努力に憾みなかりしか、不精に亘るなかりしか。他の市や団体からの評価ばかり気にして、見失っていることはないか。懸命謙虚に活動している市民に思いやりのある市政をしてほしい。昨今、どっちむいて運営しているのか不明で傷心している。
女	50 歳代	大南	安全な暮らしに置いて、空き家なしの武蔵村山市と呼ばれるような対策をしてほしい。悩んでいる空き家関係者の方に寄り添っての対応を切に願う。空き家は自然災害、火災等で周りの住宅も巻き込む。空き家ゼロの武蔵村山市であってほしい。人口減少の社会は現実だ。移民、他国籍の人材を受け入れて孤立させないコミュニティ環境づくりに力を注いでほしい。活気がある市！なんて言われる市になるといい。住民税の中に、森林環境税が含まれ負担が多くなるのは仕方ないが、大南公園の木の整備等必ず市民が納得いくような使い方をしてほしい。荒れた公園は多くある。ぜひ子どもたち、高齢者、市民の皆が気持ちよく使える公園、森林等の整備に使ってほしい。市役所にすごい数の紙書類があるが、デジタル化を少しずつでも進めていけるよう頑張してほしい。

性別	年齢	住まい	自由意見
男	30 歳代	大南	お金がないからサービスの質やなくしていくことを考えているようだが、人が流入してくる政策を行っていくべきで、それができないなら、宅地を農地に変えていき、武蔵村山市なんぞ消してしまえばよいのではと思う。そのくらい魅力も愛着もない。仕方なく住んでいるだけなので消してしまえばいい。とっくに後がないと思うが何も変化がない。
女	70 歳～74 歳	大南	緑の多い武蔵村山市が気に入っている。農地がまだ残っているが、若い人達が好んで農業が出来たらよいと思う。自然を守ることにはなかなか大変だ。娘が立川市に住んでいるが、村山は水がおいしいと褒めてくれる。良いことだ。
男	40 歳代	大南	そろそろ駅を作ってほしい。体育館ももうひとつ立川側にあるとよいと思う。
男	50 歳代	大南	アンケートが長い、多い。雨の日、道路の「水たまり」が多い（まるで甲府市のような）。
女	50 歳代	大南	団地が多く＝税収はない＝生活保護甘すぎる。もっと厳しくして欲しい。賭け事して、酒飲んでいる多い。市民の質が低下すると思う。
女	50 歳代	大南	市役所の対応がひどすぎる。昼休みなのか、窓口対応で1時間待たされる。窓口の案内の張り紙が統一されておらず汚い。建物が暗い。窓口案内係の存在意味がなくそれこそコストの無駄。トイレが古すぎて気持ち悪い。市財がマイナスなら新しい建物より現存するもので工夫して利用していくべき。職員のやる気のなさが市政・まちづくりにつながるのでは。カネをかけることを考えるのではなく、現存する財産で運用するのがあなた方の仕事です。市民税を値上げするのが市政なら全員辞めてほしい。
その他	30 歳代	大南	バス（市営）の本数を増やす。（環境、利便性の向上）。街灯を増やす（裏道の方が暗すぎるため、防犯）。観光地を作る（特産品など）。
男	50 歳代	大南	市内に居住する人以外は、ここが武蔵村山市であると意識せずに来ていたり通過したりしていると思う。災害対策や人権、平和、SDGS などは近隣自治体を巻き込んで、または「東京都」を巻き込んでやるべきことと思う。問 52「財政運営」に「市の財政は一層厳しさを増すことが予想されます」とある。合併も含め、近隣自治体と一緒に進めてはいいかがか。
男	40 歳代	大南	無駄な道路工事を減らしてほしい。年寄りばかりじゃなく若い女性が住みやすい町にする。
男	70 歳～74 歳	大南	狭山丘陵など恵まれた自然環境のある土地柄なのに、その良さを活かしていない。もっと特色のあるまちづくりを望みたい。図書館が古く狭い。そのせいか本棚が2連となっているなど利用しづらい。何とか改善してほしい。多摩都市モノレールの延伸への期待ばかり言われているが、地域限定的なもの、やはりバス路線の充実が欠かせないのではないかな。
女	50 歳代	大南	商店にお総菜など、買いやすくておいしいお店が増えて欲しい。高齢者が多いためである。

第1章 市民意識調査

性別	年齢	住まい	自由意見
男	50 歳代	大南	問 12 の満足度に対して充実希望度はどう捉えてよいのか少々戸惑いました。今後へと分けて考えてみた。調査結果は公表されるのか。今回は 18 才以上だったが、未来を担う子どもたちの意識調査もあると面白いし、考えるきっかけになるのではないかなと思う。
女	70 歳～74 歳	大南	火災のお知らせの放送は止めて欲しい。必要性がわからない。火災の事実のないことが多く、防災無線に対して聞こうという意識が薄らいで、本当に重要なお知らせを聞かなくなってしまう恐れがある。図書館が行ってみたいくなるような魅力的な場所になってほしい。他の市区の人気のある図書館へ研修に行って、取り入れられることはどんどんやってほしい。結構な量のアンケートだった。今後活かしてほしい。
女	30 歳代	大南	とにかく早くモノレールを伸ばすかバスを増やしてほしい。また、土曜日にやっている児童館が少なすぎる。さらに、公園が他の市よりも汚いと思う。もう少し清掃に力を入れてほしい。
男	40 歳代	大南	私たち高齢者には金銭的支援や市で運営する施設など無しで構わないため、これからの子供達のため子育てしやすい街づくりをお願いしたい。今困窮している高齢者がいたとしたらそれは自己責任であるが、生まれてくる子供たちは生まれてくる場所を選べない。誰もが安心して子育てが出来、将来のために学べる市であってほしい。
男	40 歳代	大南	無駄な物の削減。学校行事に居眠りをしに来る市議会議員も必要ない。無駄を省く事をしっかり考えてほしい。
女	40 歳代	大南	武蔵村山市にドッグランを作って欲しい。
女	30 歳代	大南	子供のいる家庭や高齢者の家庭でも市内だけで完結できるような様々な買い物が出来る施設が増えたら良いと思う。現実的に市内にある大型の買い物施設はイオンモールとダイエーのみですが、ダイエーに関しては高齢者がバスを利用していくための経路が限られている。新青梅街道を超えた神明や中央、三ツ木地区はかなり買い物が大変だと考えられるため、そちらの方にも商業施設を増やすなど、市内循環バスでダイエーやそういった新規施設へのルートが出来たら買い物がしやすいかなと思う。買い物は生活でも重要なものなので、市内に選択肢が多ければ住みたい、住み続けたい方が増えるのかなという印象だ。
女	20 歳代	大南	ついに村山に駅ができたらと思ったら、青梅の方に行くためのものなのは意味がないと思う。そちら方面に行く方は車が多く、できたところで利用しない。立川や都心の方に行く交通が不便なためそこを改善して欲しい。このままでは、若者は出ていってしまうと思う。
女	30 歳代	大南	モノレール推進にお金をかけるのではなく他にかけるべき点があると思う。我々が学生の頃からモノレール推進と言っているが結局生活は出来てしまっているのもモノレールが伸びても利用者は少ないのではないかなと思う。
男	30 歳代	大南	大南に在住約 20 年、転職活動中で 30 歳の独身男性。武蔵村山市では、小学生の頃に両親が引越した際に暮らし始めた。私個人は出たり入ったりしながらだが、現在も両親と暮らしている。市役所（主には緑が丘出張所）では、迅速に的確にご対応頂いている。また、日ごろよりの市民生活の維持、向上のため、尽力してくださっていることを感じている。

第1章 市民意識調査

性別	年齢	住まい	自由意見
			限りなく南東端で居住しているため、より近く、充実している立川市・東大和市内の商業・公共施設を利用しがちだ。これは大南に限らず、市内の中心部から少し離れたエリアにお住いの多くの方が該当するだろう。南側では、通勤や通学で武蔵砂川駅や玉川上水駅を長距離移動の拠点としているだろうから、35 歳程度の若い世代が、長期的には利便性を求めて、市外や外の環境を選んでいくのは、自然な流れだと思う。もしこういった遠隔エリアで生まれ育った若い世代にも、働き始めてからも長期的に住んでもらい納税や社会参加をしてもらえるようにする必要があるならば、住みやすい住環境の整備や市内の交通の利便性の向上、暮らしを豊かにする施設や仕組みの充実は、今後も継続的に必要かもしれない。
女	30 歳代	大南	夏場の暑さで外遊具が使えなくなっている。できるのであれば室内で遊べる遊具の設置、場所の提供があれば助かる。

○E 地区（緑が丘）

性別	年齢	住まい	自由意見
女	20 歳代	緑が丘	小さい子どもを育てるには武蔵村山は住みやすいが、学校や仕事の移動の公共交通機関が悪いため引っ越しを考えることがある。

○居住地区無回答

性別	年齢	住まい	自由意見
-	-	-	かたくりの湯を早く使えるようにしてほしい。
-	-	-	民生費の割合が高いのはある程度、仕方ない面もあるが、そのバランスが少しでも減るようなアイデアの創出と実行に期待したい。
-	-	-	村山は緑が充実しているので、キャンプやアスレチックなど施設を作るなどして、観光客を増やして村山を盛り上げて欲しいです。また、うどん、みかんなど村山の良いところをアピール（SNS など）して欲しい。
-	-	-	モノレールを市役所付近まで延長してほしい。立川バスの時間について、少し（本数）が少ないので増やしてほしい。

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

第1編 調査の概要

1. 調査目的

武蔵村山市第五次長期総合計画後期基本計画の策定に当たり、令和4年4月1日から令和6年3月31日までに武蔵村山市に転入した方を対象に、本市への転入理由、住みやすさなどについて御意見を伺い、後期基本計画策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数

調査名	概要	回収数
人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）	令和4年4月1日から令和6年3月31日までに武蔵村山市に転入した方々1,000名を無作為に抽出	137

3. 調査票の配布・回収方法及び調査の実施時期

- ①調査票の配布法：回答用のQRコードを印刷したハガキ（計1,000部）を対象者へ郵送・市役所窓口に来庁された転入者へ回答用のQRコードを印刷したチラシ（計91部）を手交
- ②調査票の回収方法：Webを通じての回収
- ③調査実施時期：令和6年5月28日（火）～6月19日（水）

4. 調査結果の概要について

（1）調査について

○対象者数1,000人、有効回収137件、有効回収率13.7%（前回調査（平成30年度）35.7%）である。

※以下、平成30年10月に実施した前回調査については、「前回」と表記している。

（2）転入理由、住みやすさ等について

○転入元としては、立川市（13.9%、前回14.6%）、東京都23区（11.7%、前回9.1%）、青梅市（5.8%、前回3.1%）の順となった。

○転入理由としては、「住宅の都合（購入、借家の借換）」（27.8%、前回36.0%）、「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（23.5%、前回16.8%）、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（9.6%、前回8.0%）、「結婚のため」（9.6%、前回10.6%）の順となった。

○将来的に、武蔵村山市に住み続けたいかどうかについては、「分からない・決まっていない」（30.7%、前回33.3%）、「どちらかというに住み続けたい」（26.3%、前回25.4%）、「住み続けた

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

い」（25.5%、前回 22.3%）の順となった。「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」とを合わせた定住意向の強い回答群は 51.8%（前回 47.7%）であった。

（3）施策満足度について

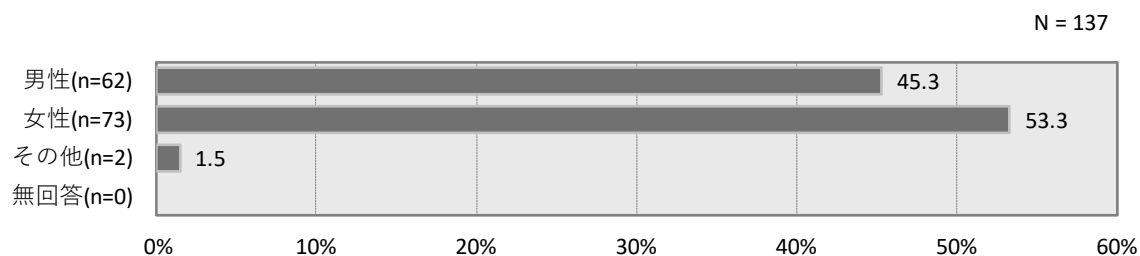
○「満足」と「やや満足」を合算したとき、「買い物等日常生活の利便性」が最多で 77.4%（前回 61.5%）、次いで、「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）」が 76.6%（前回 71.8%）、「緑地・公園・水辺等の自然環境」が 62.1%（前回 54.0%）となっている。

第2編 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）結果

1. あなた（回答者）自身について

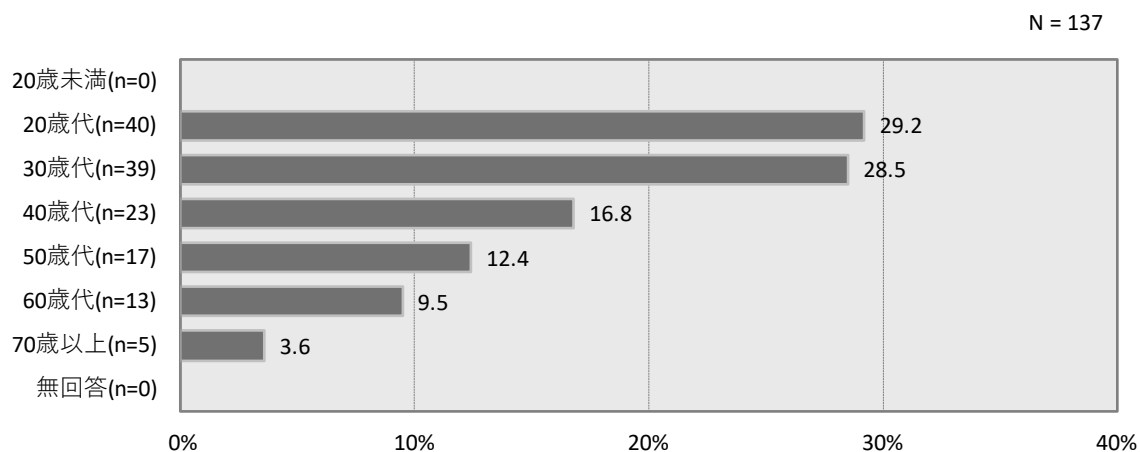
問1 性別（単一回答形式）

●「男性」が45.3%、「女性」が53.3%、「その他」が1.5%となっています。



問2 年齢（単一回答形式）

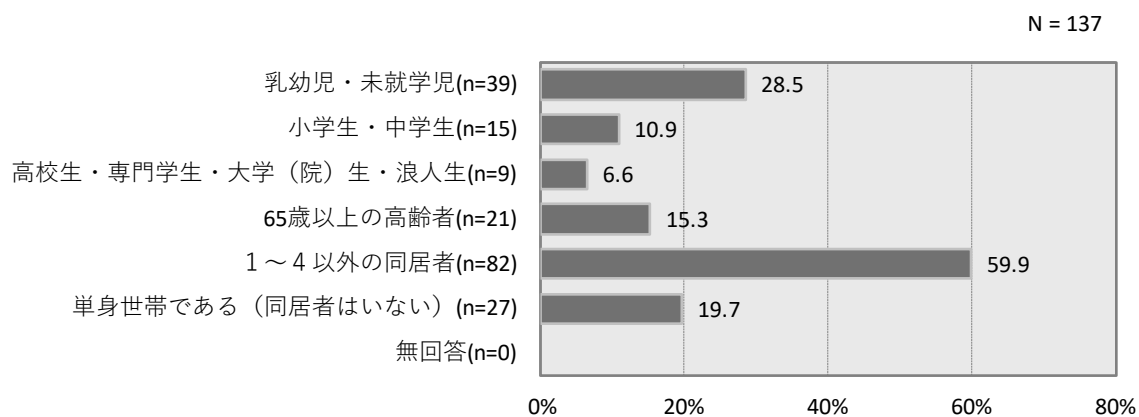
●「20歳代」が最多で29.2%、次いで、「30歳代」が28.5%、「40歳代」が16.8%となっています。



第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

問3 同居者の属性（複数回答形式）

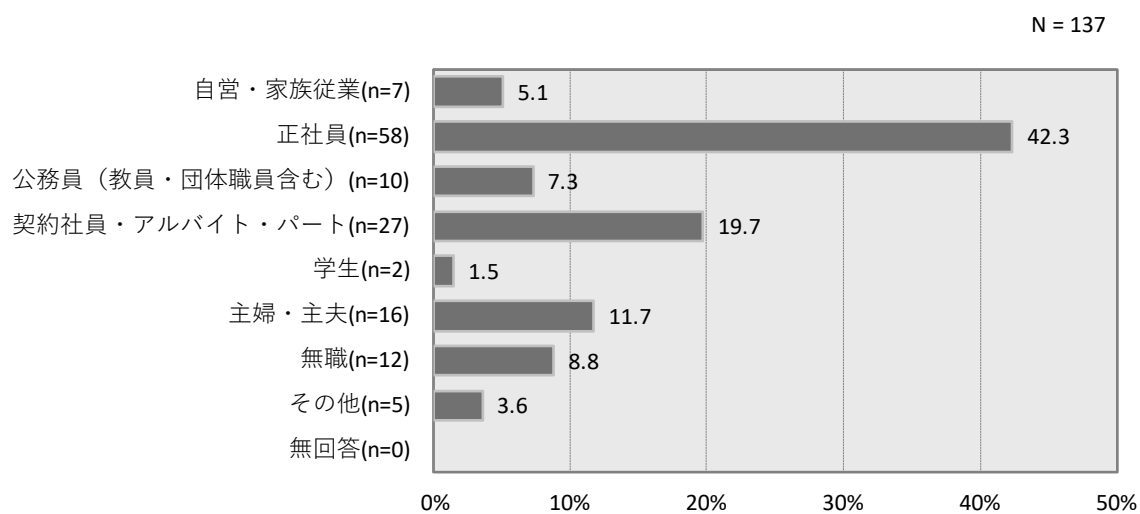
- 「1～4以外の同居者」が最多で59.9%、次いで、「乳幼児・未就学児」が28.5%、「単身世帯である（同居者はいない）」が19.7%となっています。



※「1～4以外の同居者」の「1～4」は「乳幼児・未就学児」、「小学生・中学生」、「高校生・専門学生・大学（院）生・浪人生」、「65歳以上の高齢者」を指す。

問4 職業（単一回答形式）

- 「正社員」が最多で42.3%、次いで、「契約社員・アルバイト・パート」が19.7%、「主婦・主夫」が11.7%となっています。



〈その他の回答〉

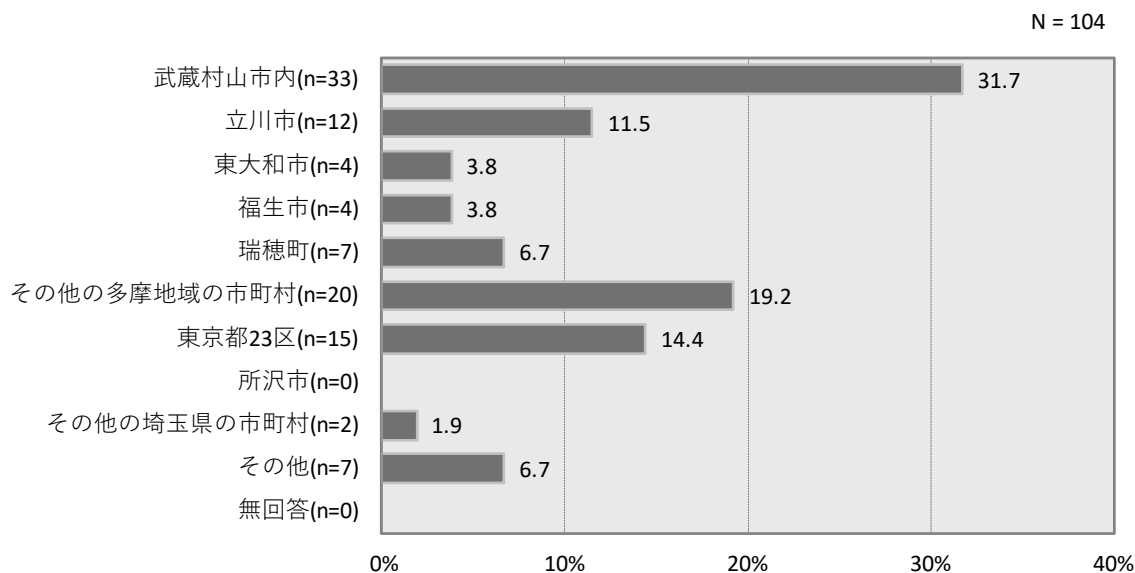
- ・ 年金受給者
- ・ 建設業
- ・ 研修生
- ・ 会社員
- ・ 作業所

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

問5 勤務先、通学先（単一回答形式）

【「問4」で、「自営・家族従業」、「正社員」、「公務員（教員・団体職員含む）」、「契約社員・アルバイト・パート」、「学生」の場合のみ回答】

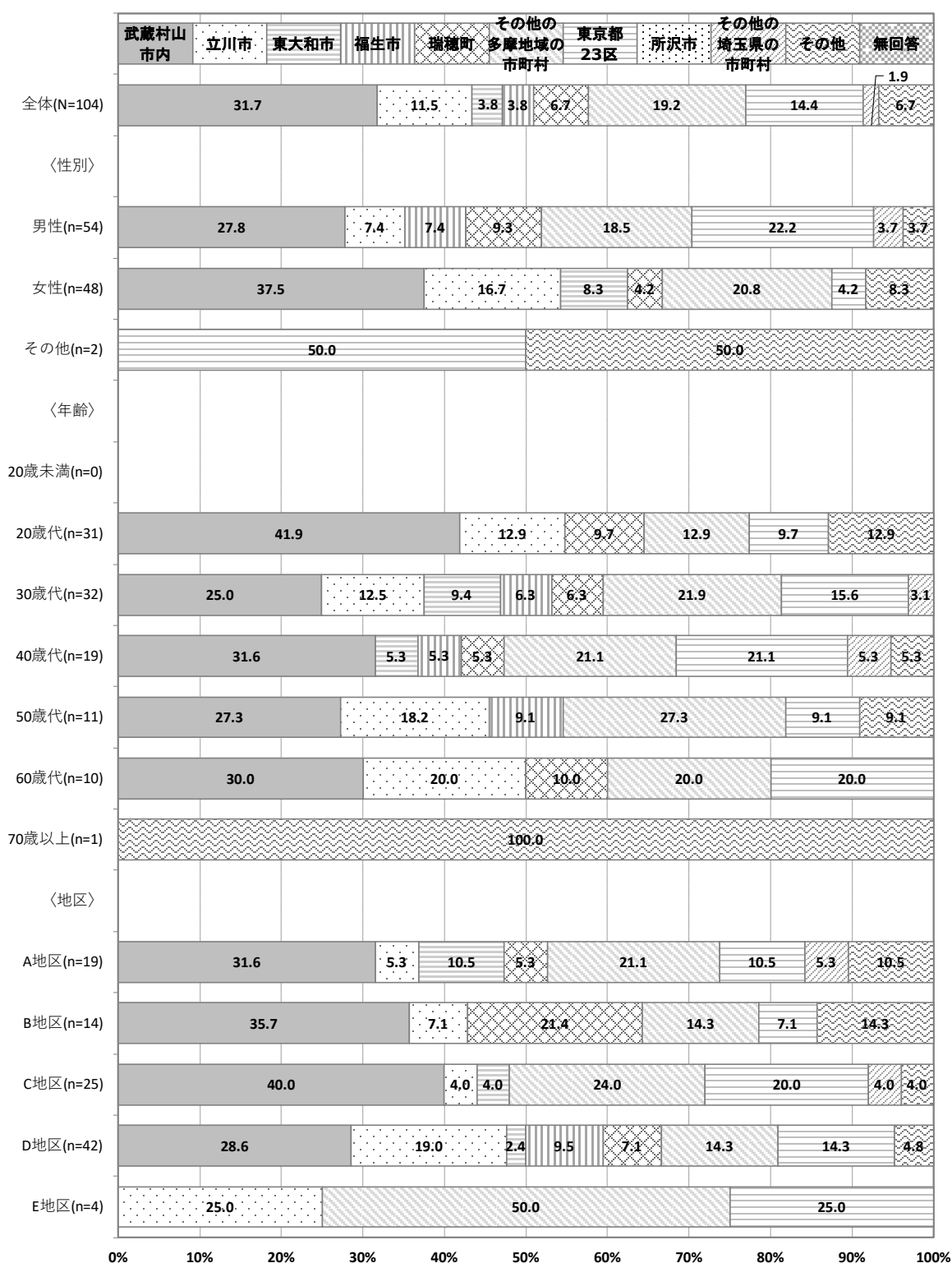
●「武蔵村山市内」が最多で31.7%、次いで、「その他の多摩地域の市町村」が19.2%、「東京都23区」が14.4%となっています。



〈その他の回答〉

- ・ 富山県
- ・ 神奈川県相模原市
- ・ 東京都（国立市、府中市、東村山市）

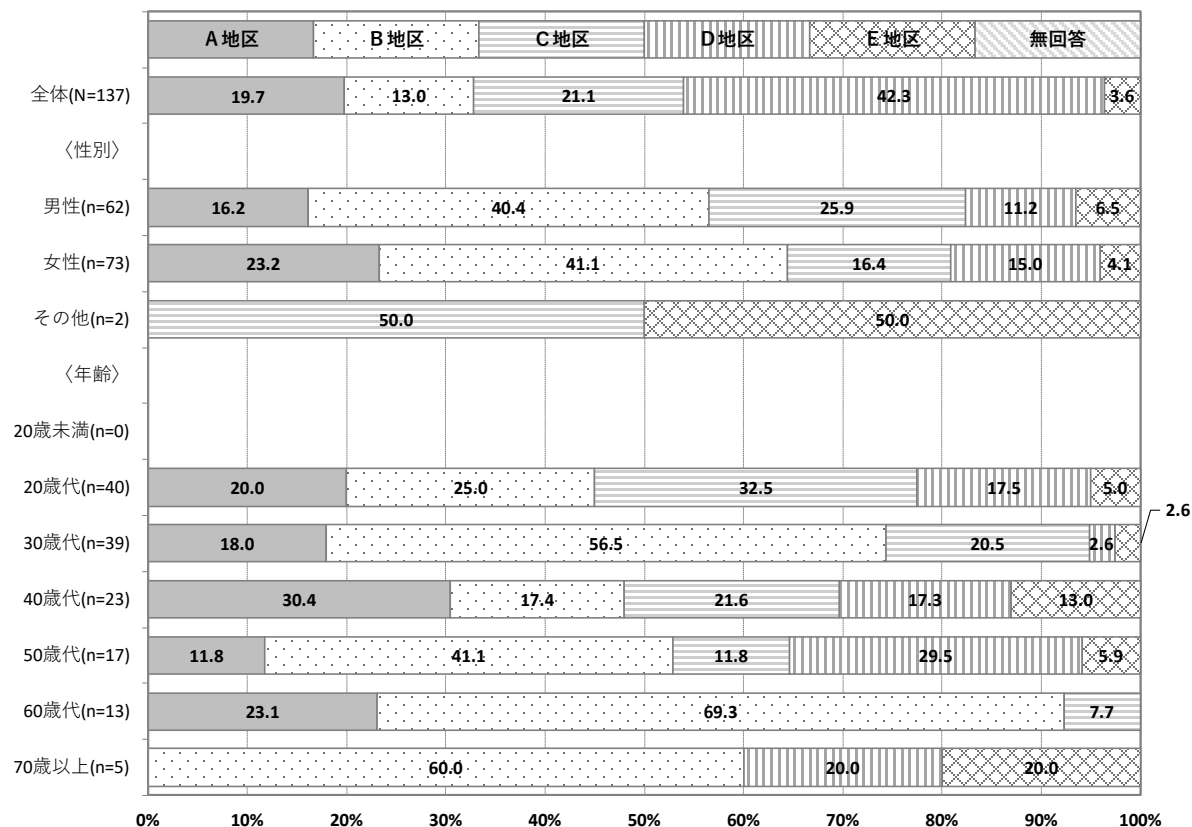
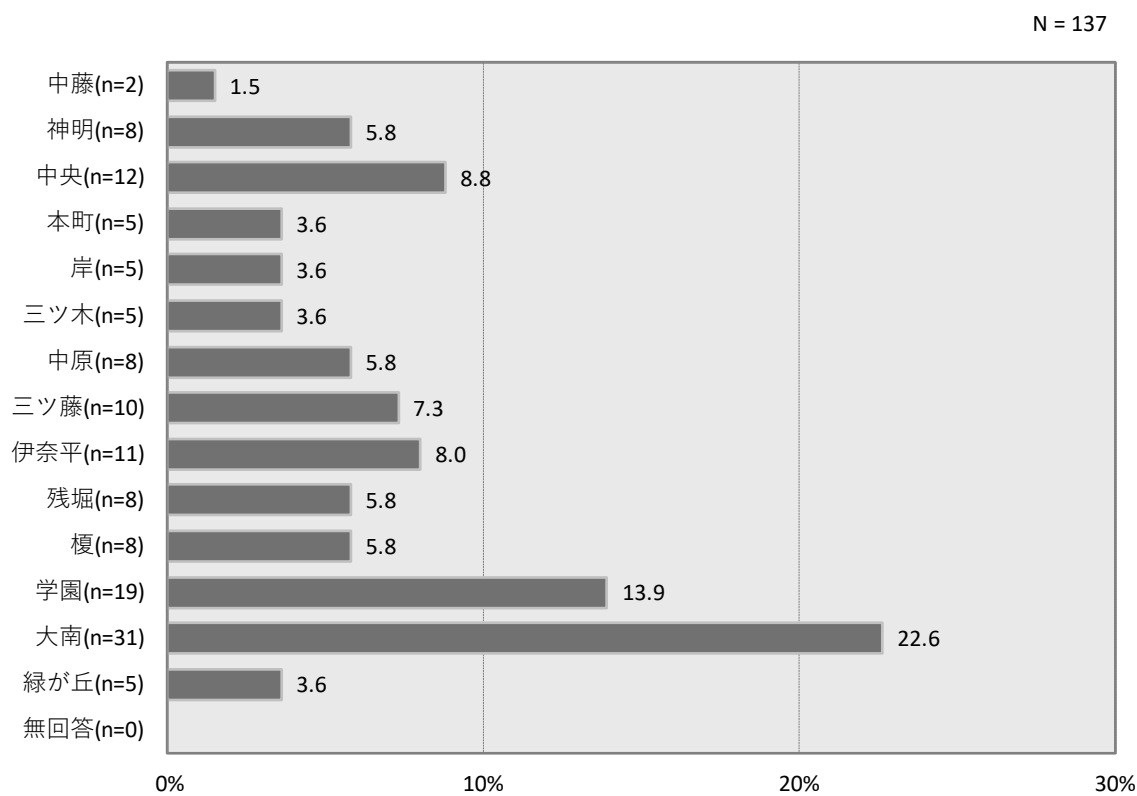
第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）



第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

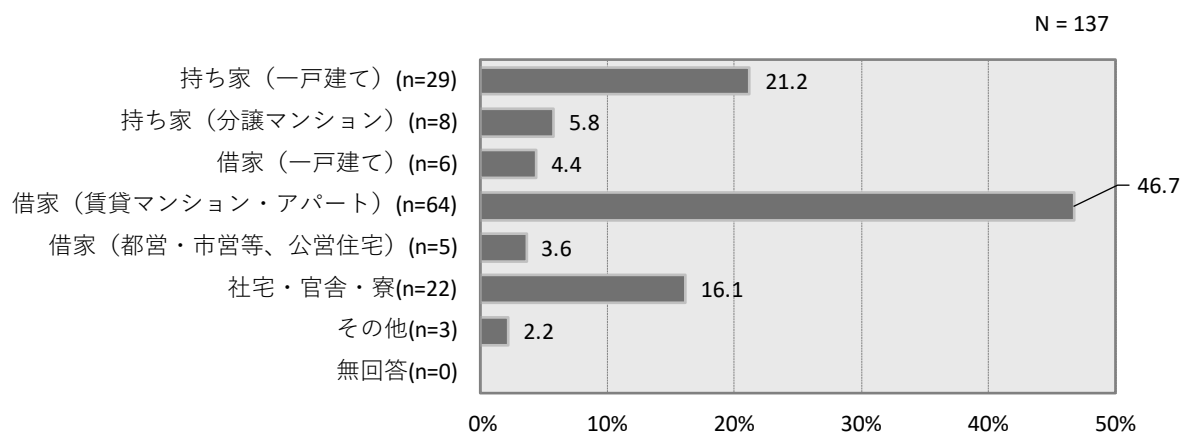
問6 お住まいの地域（単一回答形式）

●「大南」が最多で22.6%、次いで、「学園」が13.9%、「中央」が8.8%となっています。



問7 武蔵村山市の転入前のお住まい（住居）（単一回答形式）

- 「借家（賃貸マンション・アパート）」が最多で46.7%、次いで、「持ち家（一戸建て）」が21.2%、「社宅・官舎・寮」が16.1%となっています。



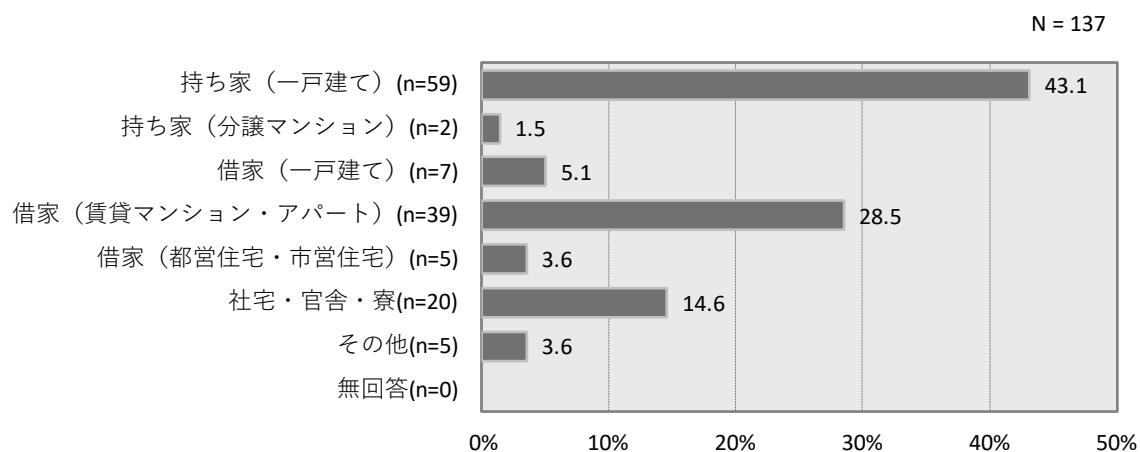
〈その他の回答〉

- ・ 姉のマンション
- ・ 持ち家(1階は店舗に貸し出し)
- ・ 会社の寮

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

問8 武蔵村山市への転入後のお住まい（住居）（単一回答形式）

- 「持ち家（一戸建て）」が最多で43.1%、次いで、「借家（賃貸マンション・アパート）」が28.5%、「社宅・官舎・寮」が14.6%となっています。

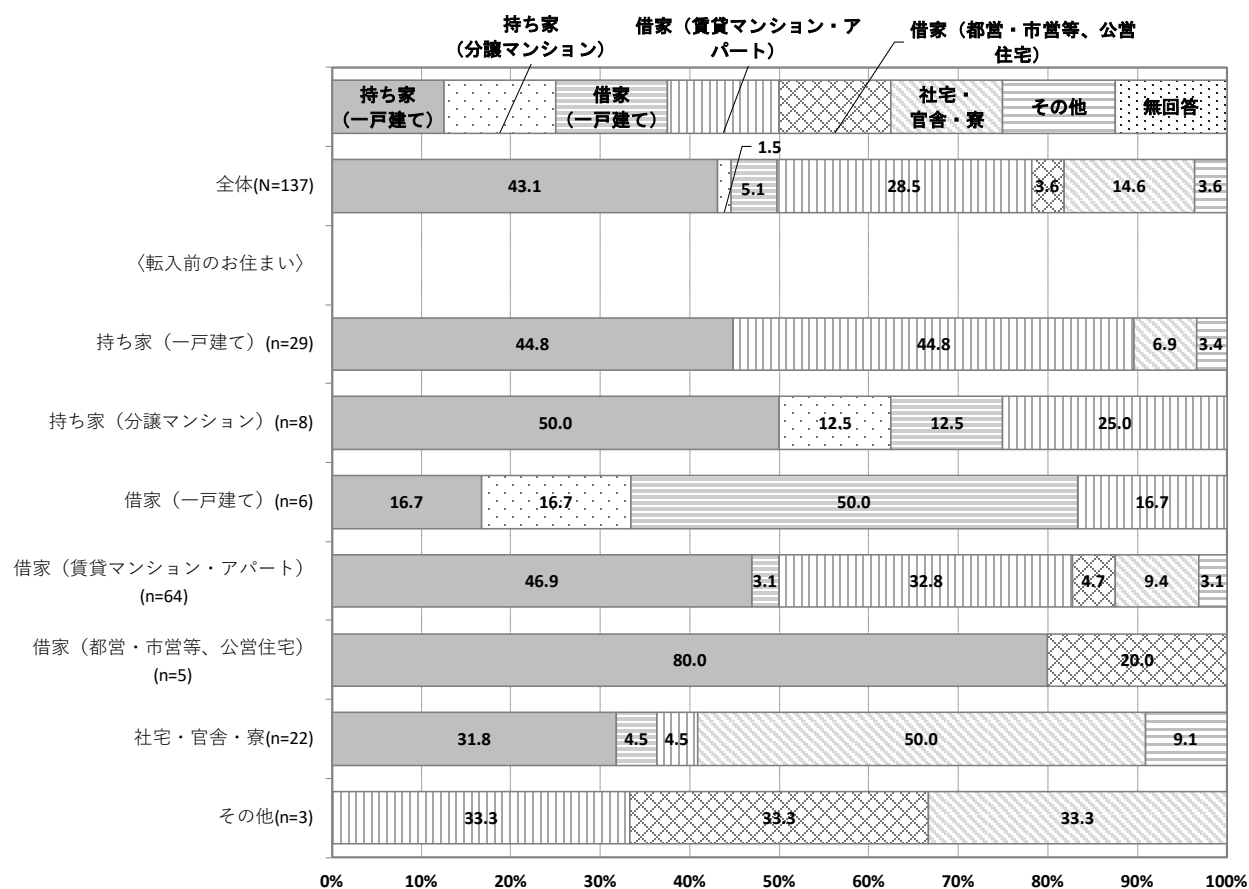


〈その他の回答〉

- ・ UR
- ・ 障害者グループホーム
- ・ 妻実家（戸建）

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

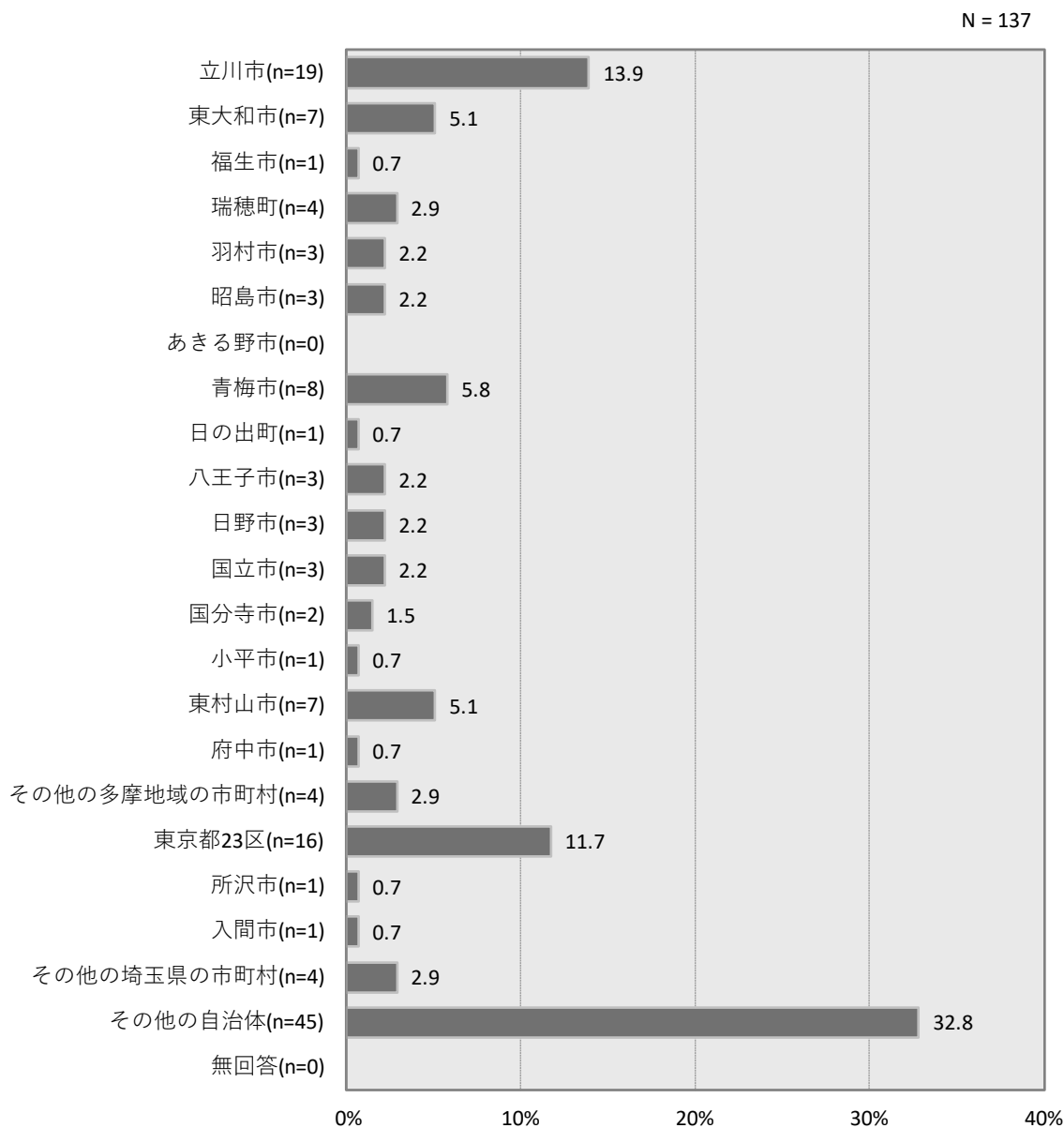
「転入前のお住まい（住居）ごとの、転入後のお住まい（住居）の選択状況」



第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

問9 武蔵村山市への転入前の住所（単一回答形式）

- 「その他の自治体」が最多で32.8%、次いで、「立川市」が13.9%、「東京都23区」が11.7%となっています。

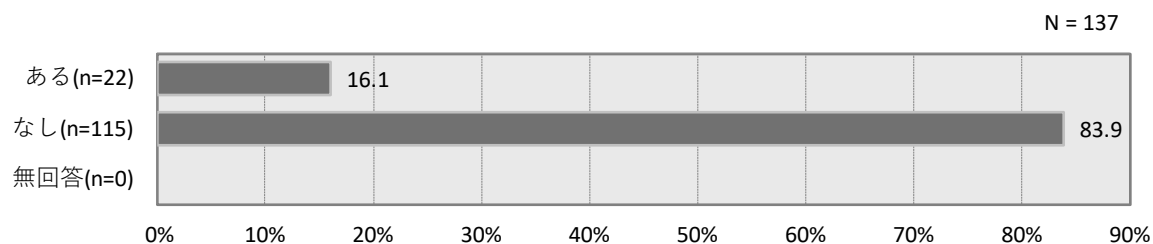


〈その他の回答〉

- ・ 神奈川県
- ・ アリゾナ
- ・ 宮城県
- ・ 愛知県
- ・ 静岡県
- ・ 長野県
- ・ 三重県
- ・ 茨城県
- ・ インドネシア
- ・ 沖縄県
- ・ 青森県
- ・ 岩手県
- ・ 千葉県
- ・ 茨城県
- ・ 愛媛県
- ・ 東京都（江戸川区）
- ・ 大阪府
- ・ 北海道

問 10 武蔵村山市への転入以前に、武蔵村山市にお住まいの経験（単一回答形式）

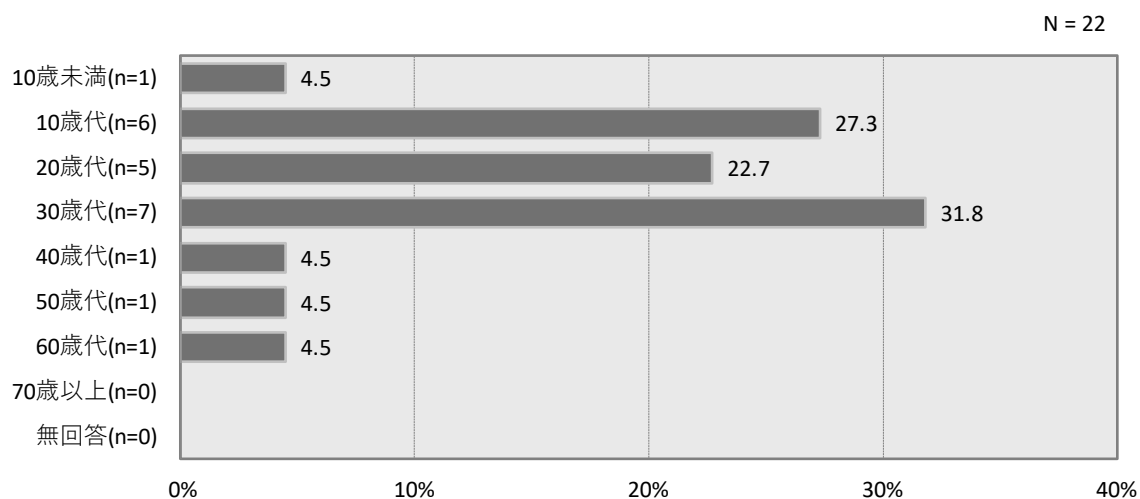
● 「ある」が16.1%、「なし」が83.9%となっています。



問 10-2 過去に武蔵村山市にお住まいだった際の年齢（単一回答形式）

【「問 10」で、「ある」の場合のみ回答】

● 「30 歳代」が最多で31.8%、次いで、「10 歳代」が27.3%、「20 歳代」が22.7%となっています。

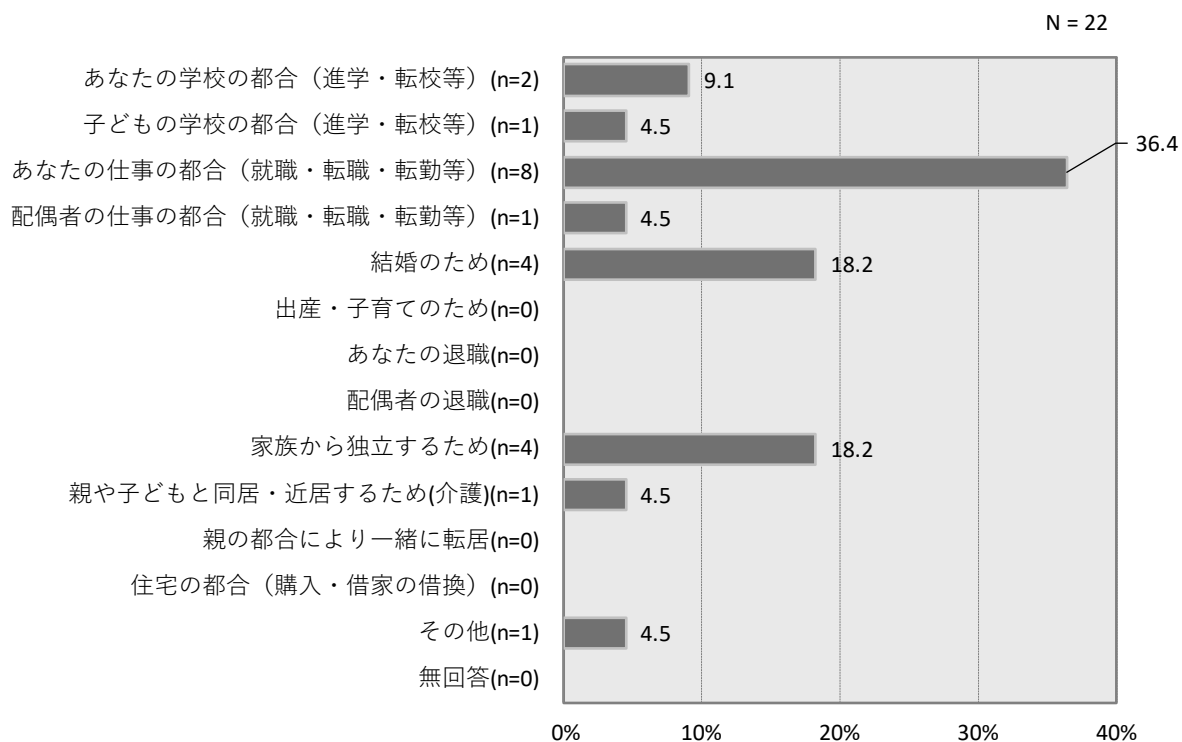


第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

問 10-3 過去に武蔵村山市から引っ越しをした理由（単一回答形式）

【「問 10」で、「ある」の場合のみ回答】

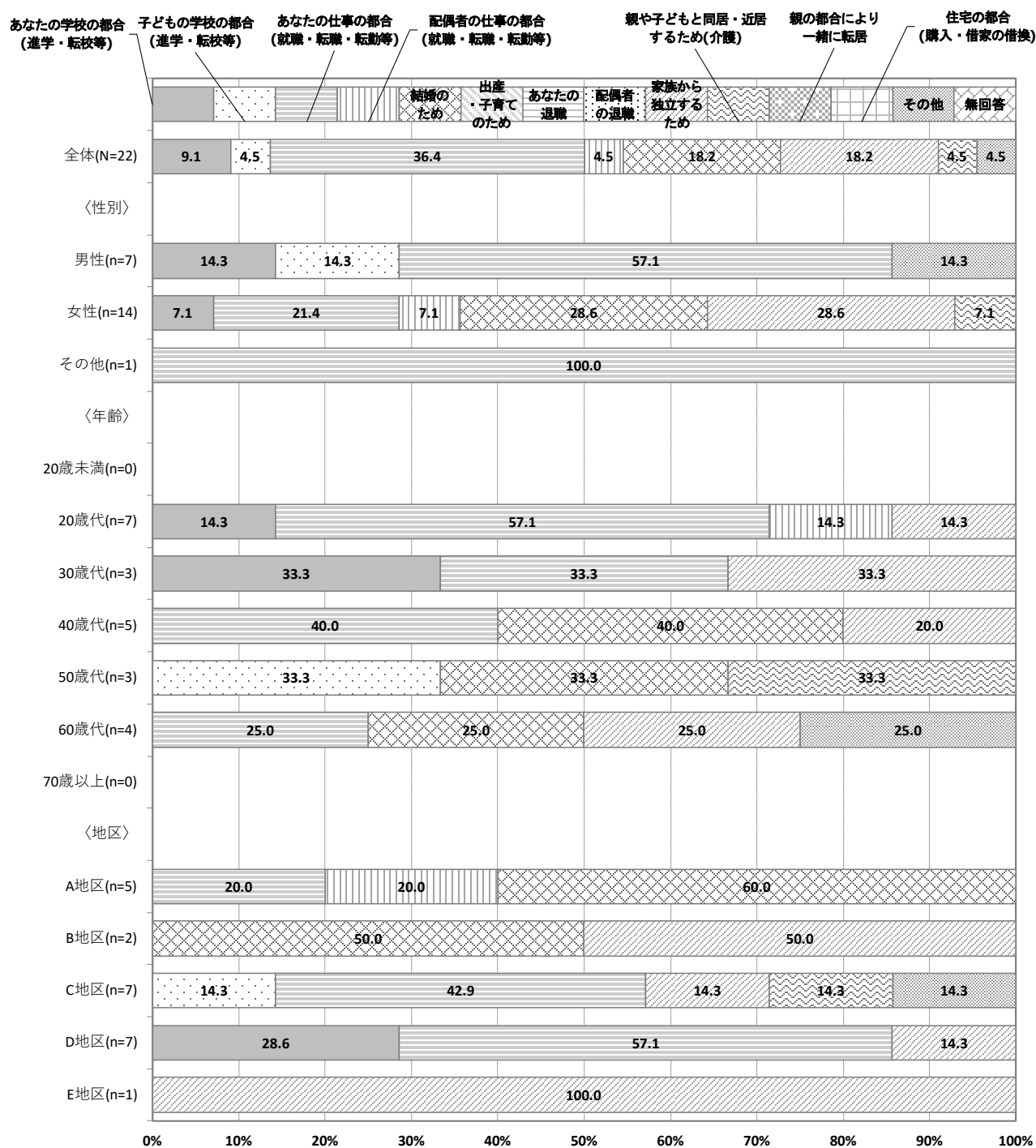
- 「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」が最多で 36.4%、次いで、「結婚のため」が 18.2%、「家族から独立するため」が 18.2%となっています。



〈その他の回答〉

- ・ 単身赴任

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）



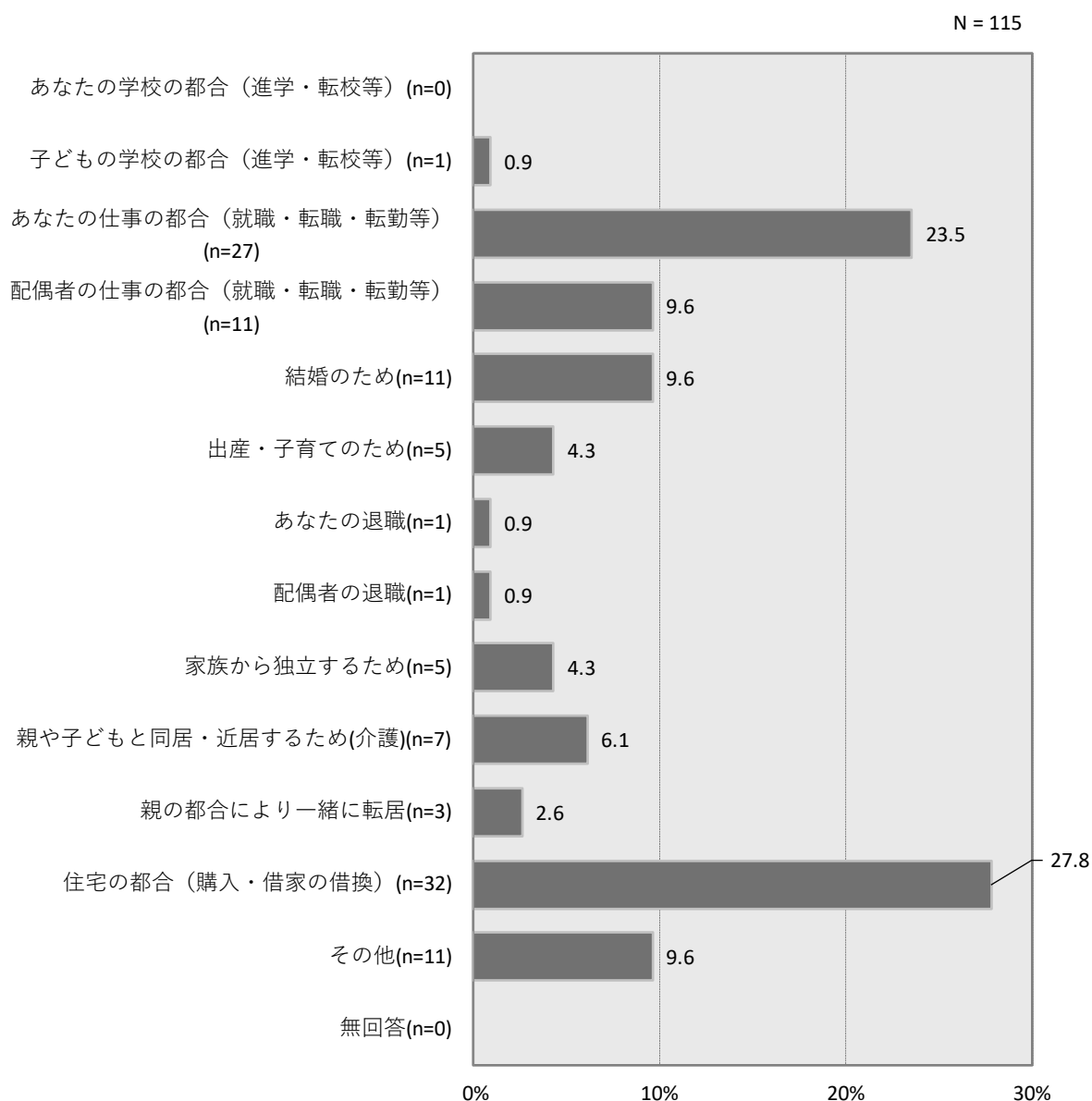
第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

2. 武蔵村山市への転入理由、市の住みやすさ

問 11 武蔵村山市へ引っ越しをした理由（単一回答形式）

【「問 10」で、「なし」の場合のみ回答】

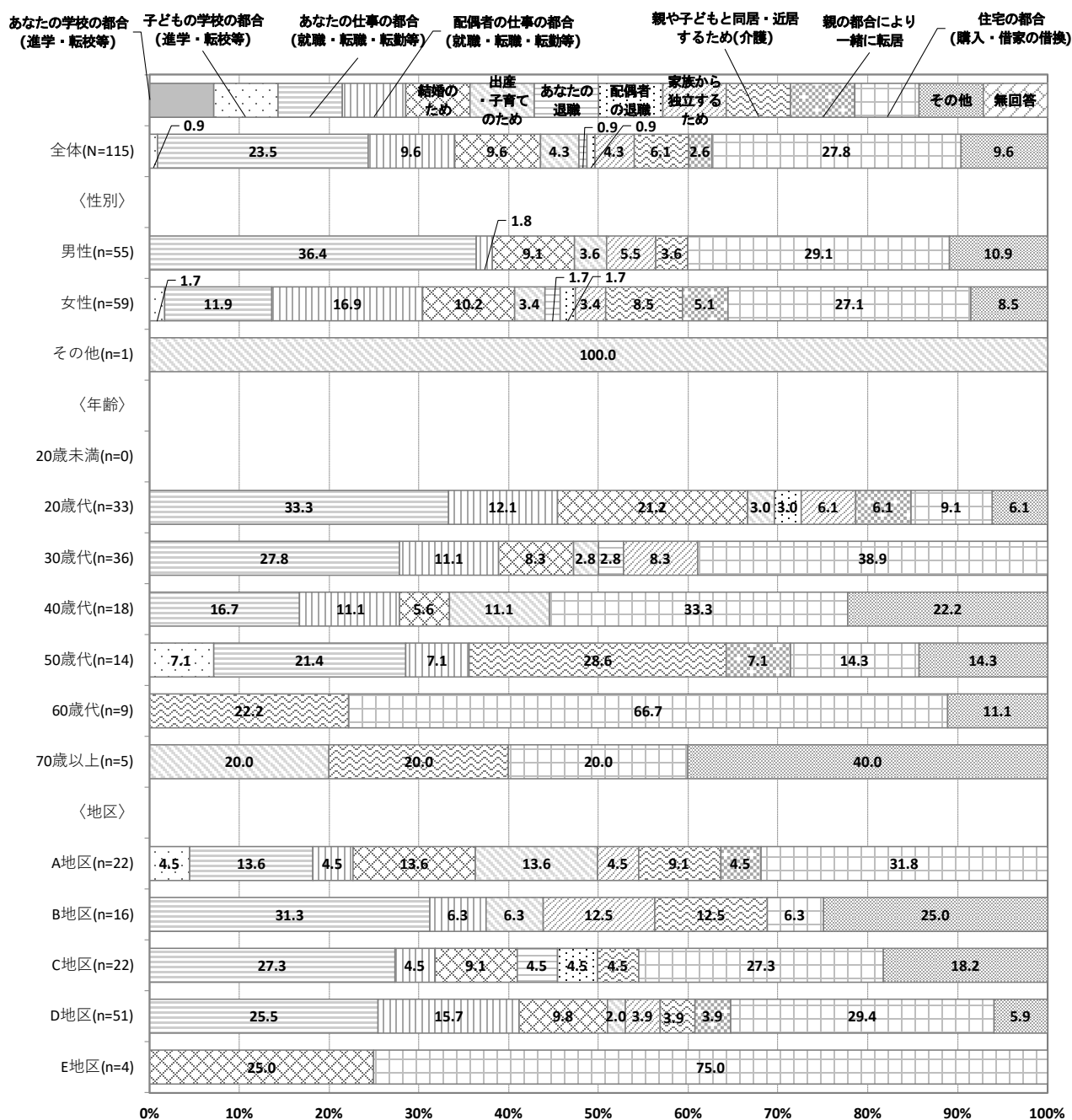
- 「住宅の都合（購入・借家の借換）」が最多で 27.8%、次いで、「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」が 23.5%、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」、「結婚のため」及び「その他」が 9.6%となっています。



第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

〈その他の回答〉

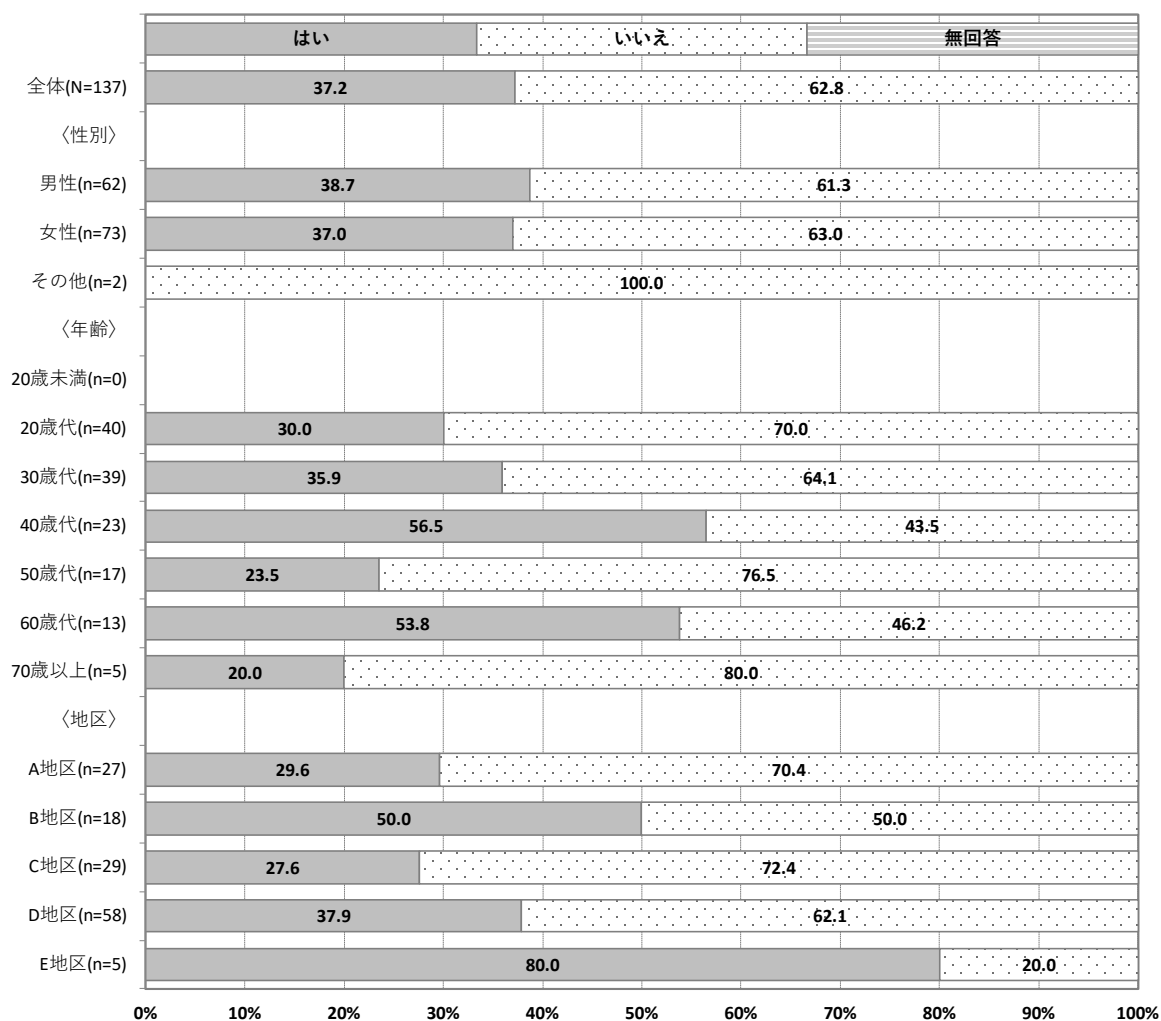
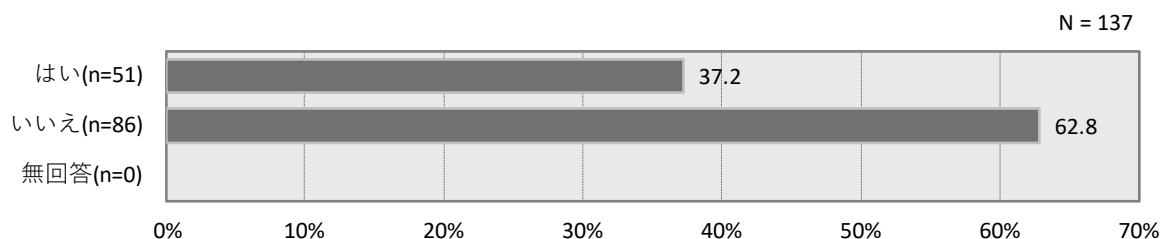
- ・ 店舗、病院
- ・ 自然が多く、都心や近郊にアクセスしやすい為（基本車両移動中心）。
- ・ 親の介護の為。
- ・ 恋人と同棲をするため。
- ・ 広さ
- ・ 退寮期限のため。
- ・ 足を怪我してしまったため、新しい仕事を見つけるまでに時間がかかり、まずは彼氏と一緒にいることを決めた。
- ・ 犬を飼うため戸建てが欲しかったため。
- ・ 立ち退き
- ・ 環境と家の金額
- ・ 子供の近く
- ・ 単身赴任



第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

問 12 引っ越し先を選択する際、武蔵村山市を意識して選んだか（単一回答形式）

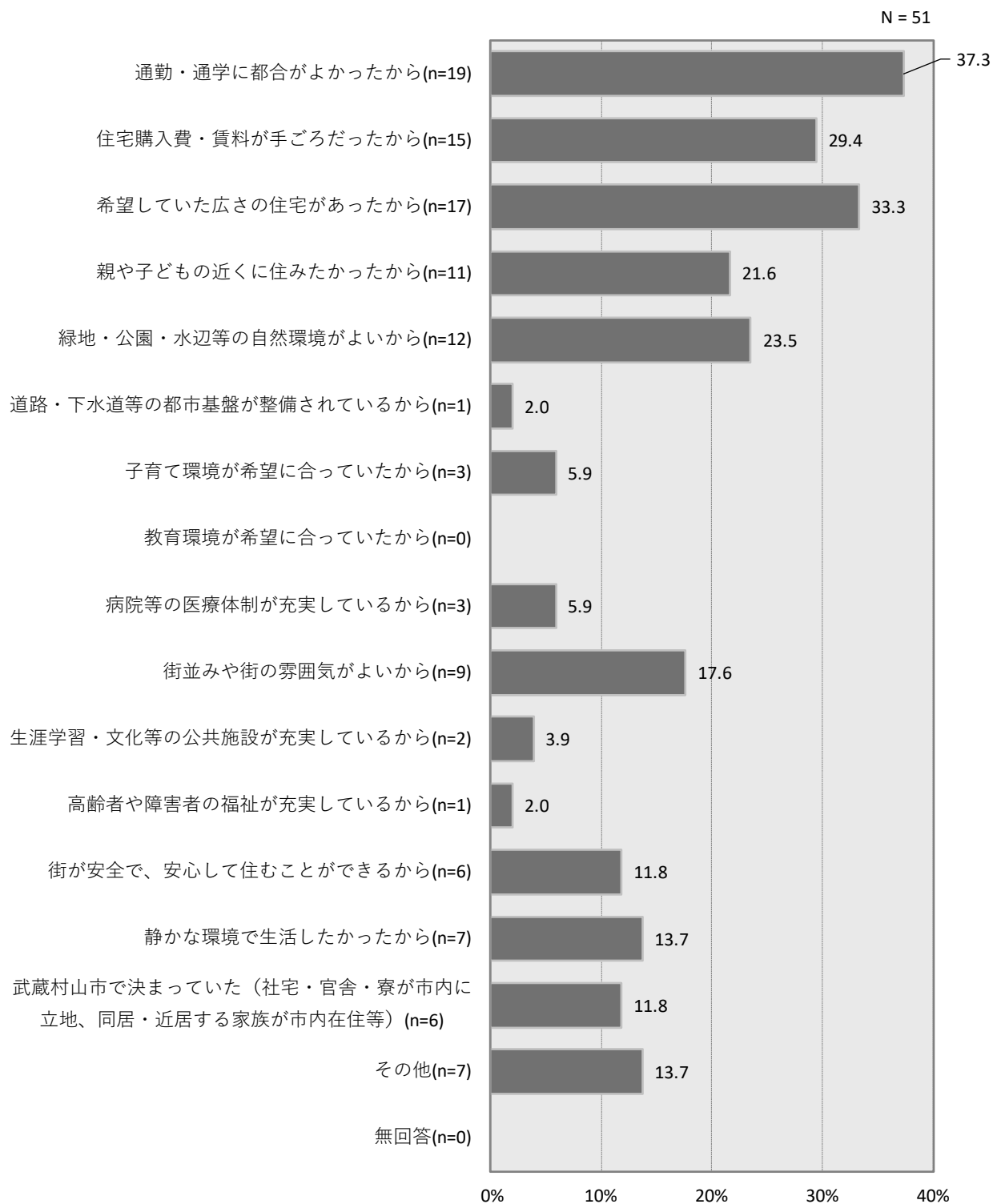
● 「はい」が37.2%、「いいえ」が62.8%となっています。



問 12-2 武蔵村山市を選択した理由（複数回答形式）

【「問 12」で、「はい」の場合のみ回答】

- 「通勤・通学に都合がよかったから」が最多で 37.3%、次いで、「希望していた広さの住宅があったから」が 33.3%、「住宅購入費・賃料が手ごろだったから」が 29.4%となっています。

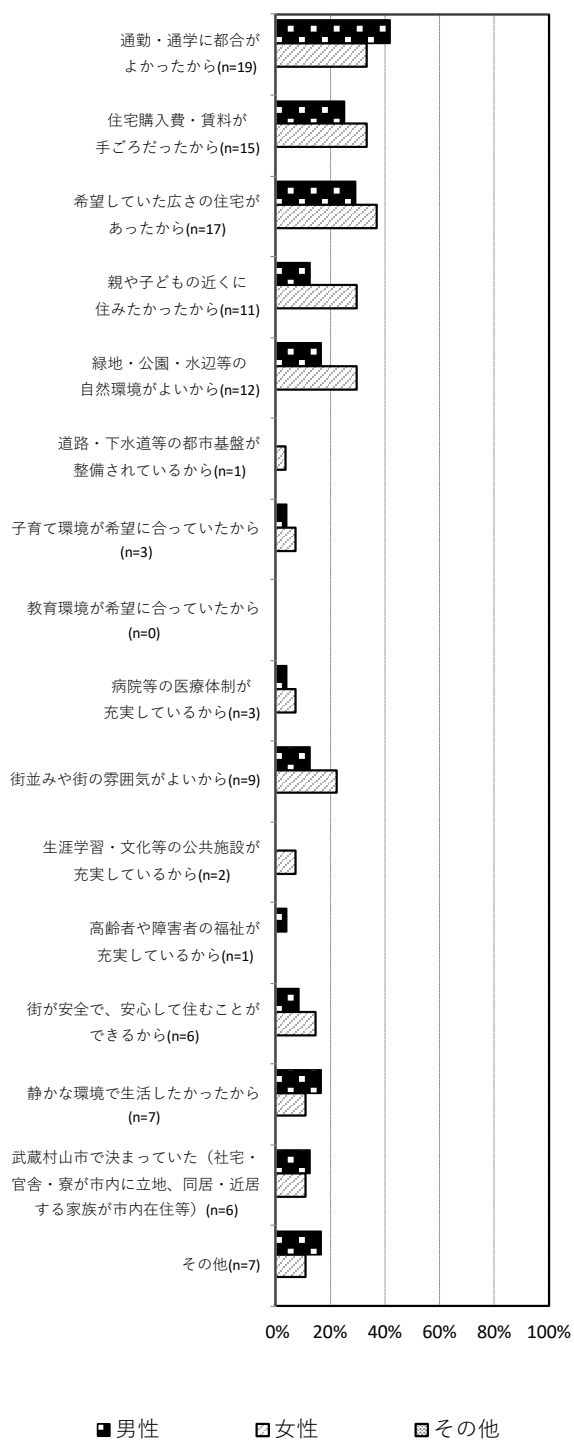


第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

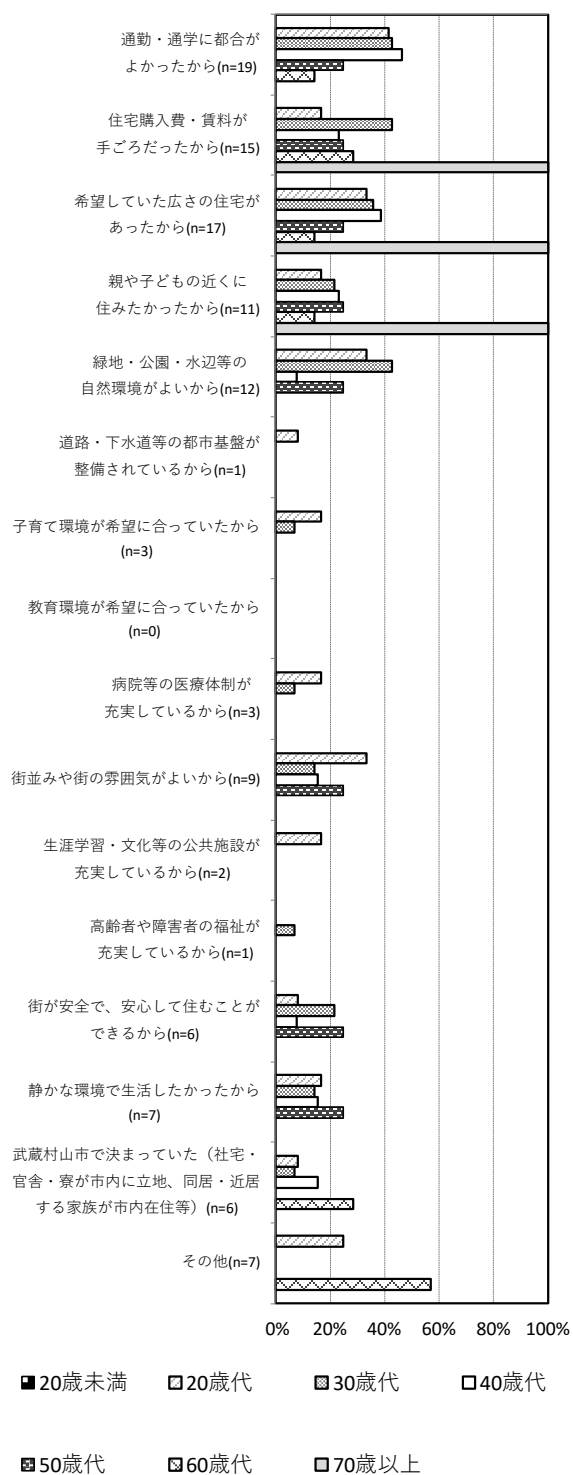
〈その他の回答〉

- ・ 親の同居
- ・ 立川に近い。
- ・ 職場が武蔵村山だから。
- ・ イオンモールが近かった。
- ・ 体調を崩し、仕事を辞めざるを得なかった。
- ・ 猫と一緒に住めること
- ・ 既に家があったから。

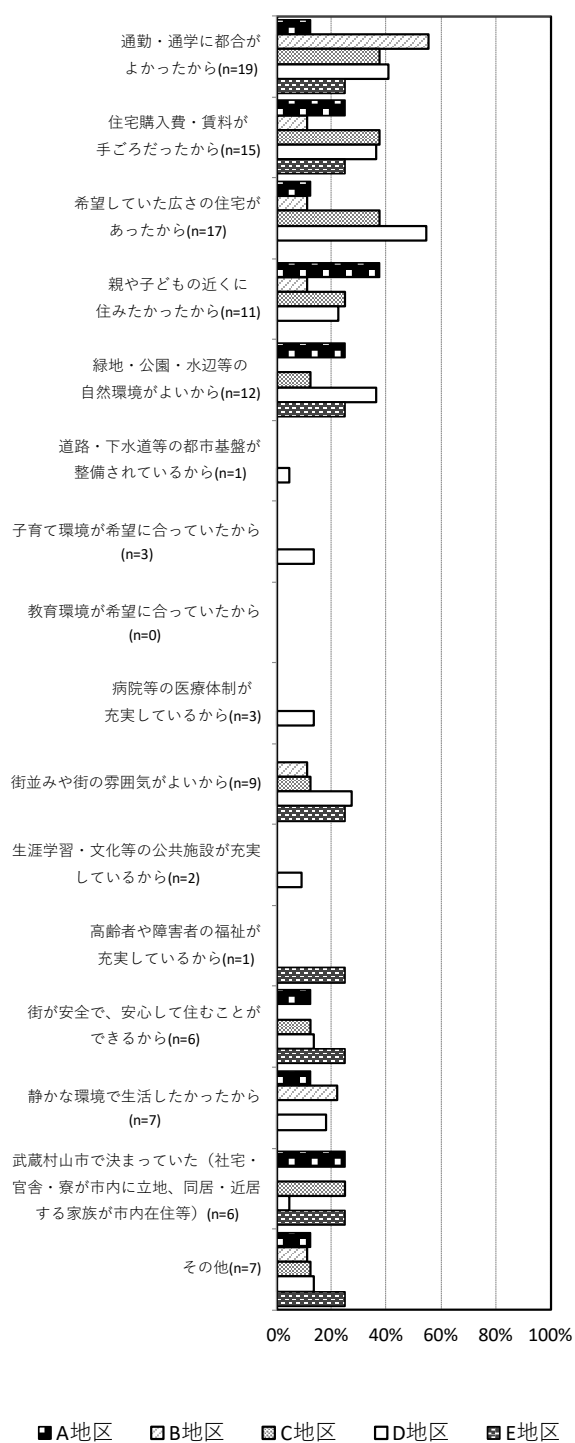
＜性別＞



＜年齢別＞



<地区別>

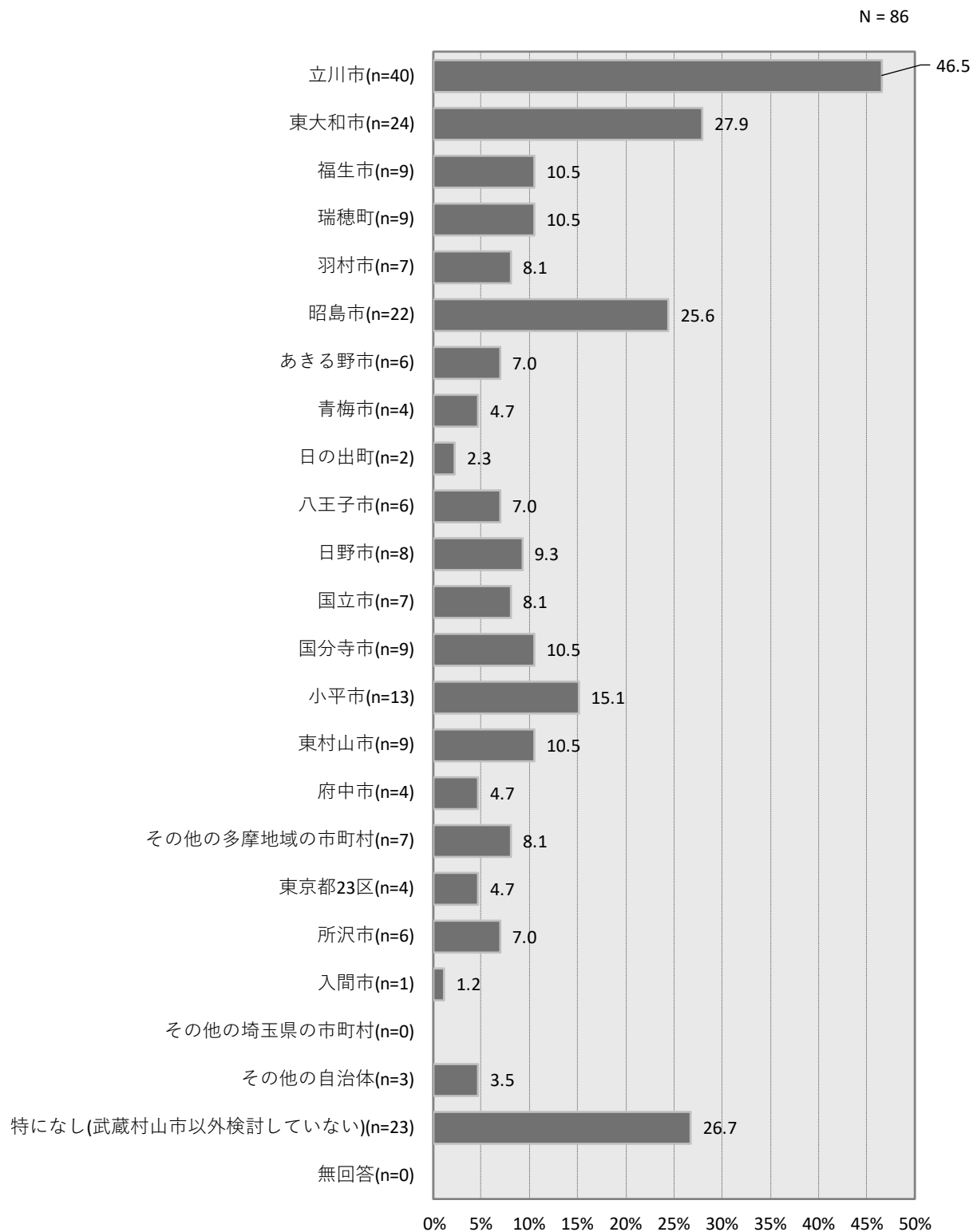


第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

問13 引っ越し先を選択する際、候補に挙がった自治体（複数回答形式）

【「問12」で、「いいえ」の場合のみ回答】

- 「立川市」が最多で46.5%、次いで、「東大和市」が27.9%、「特になし（武蔵村山市以外検討していない）」が26.7%となっています。



〈その他の回答〉

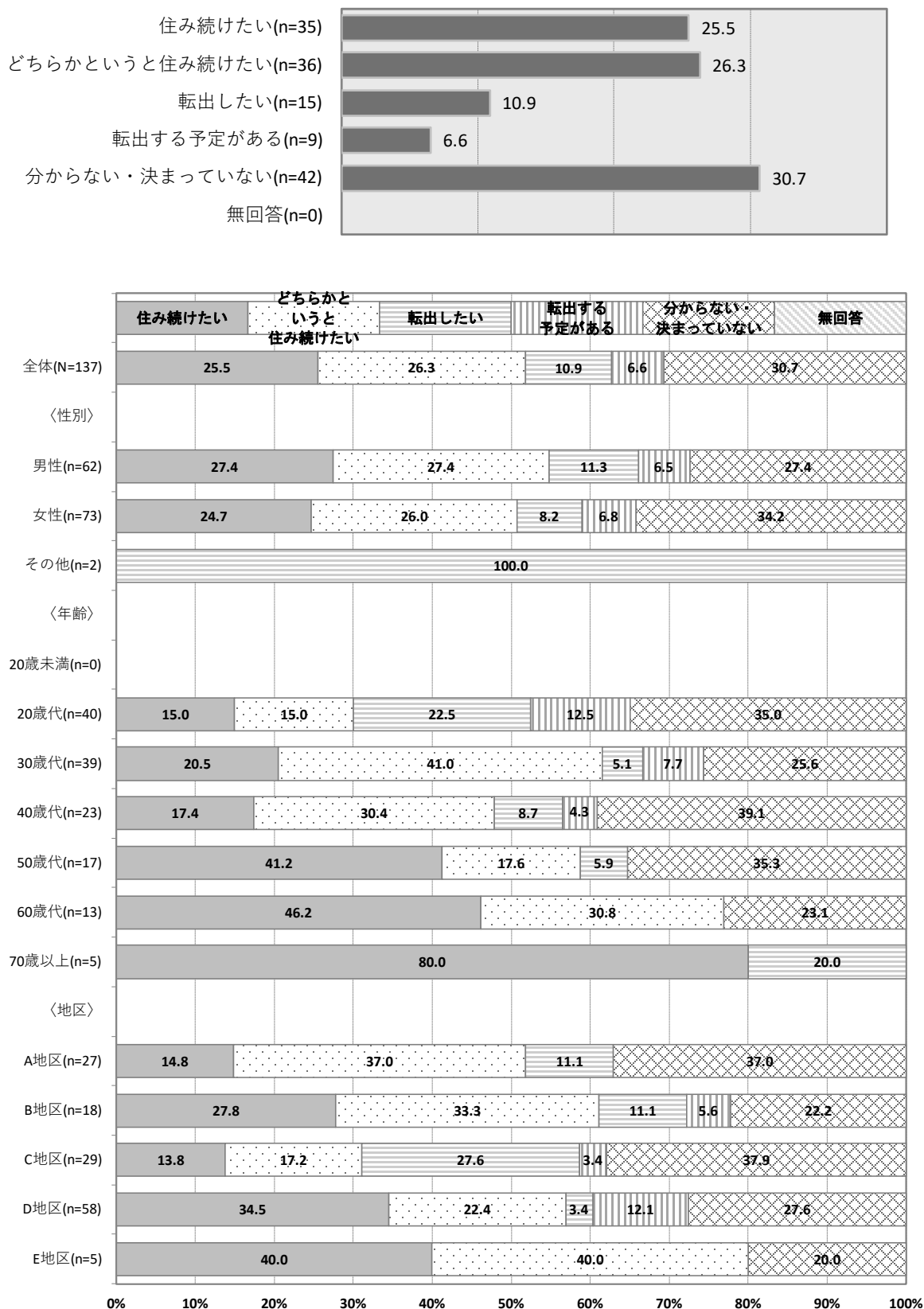
- ・ 相模原市
- ・ 青森
- ・ 南武線、横浜線、小田急線沿い
- ・ 江戸川橋

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

問 14 将来的に武蔵村山市に住み続けたいか（単一回答形式）

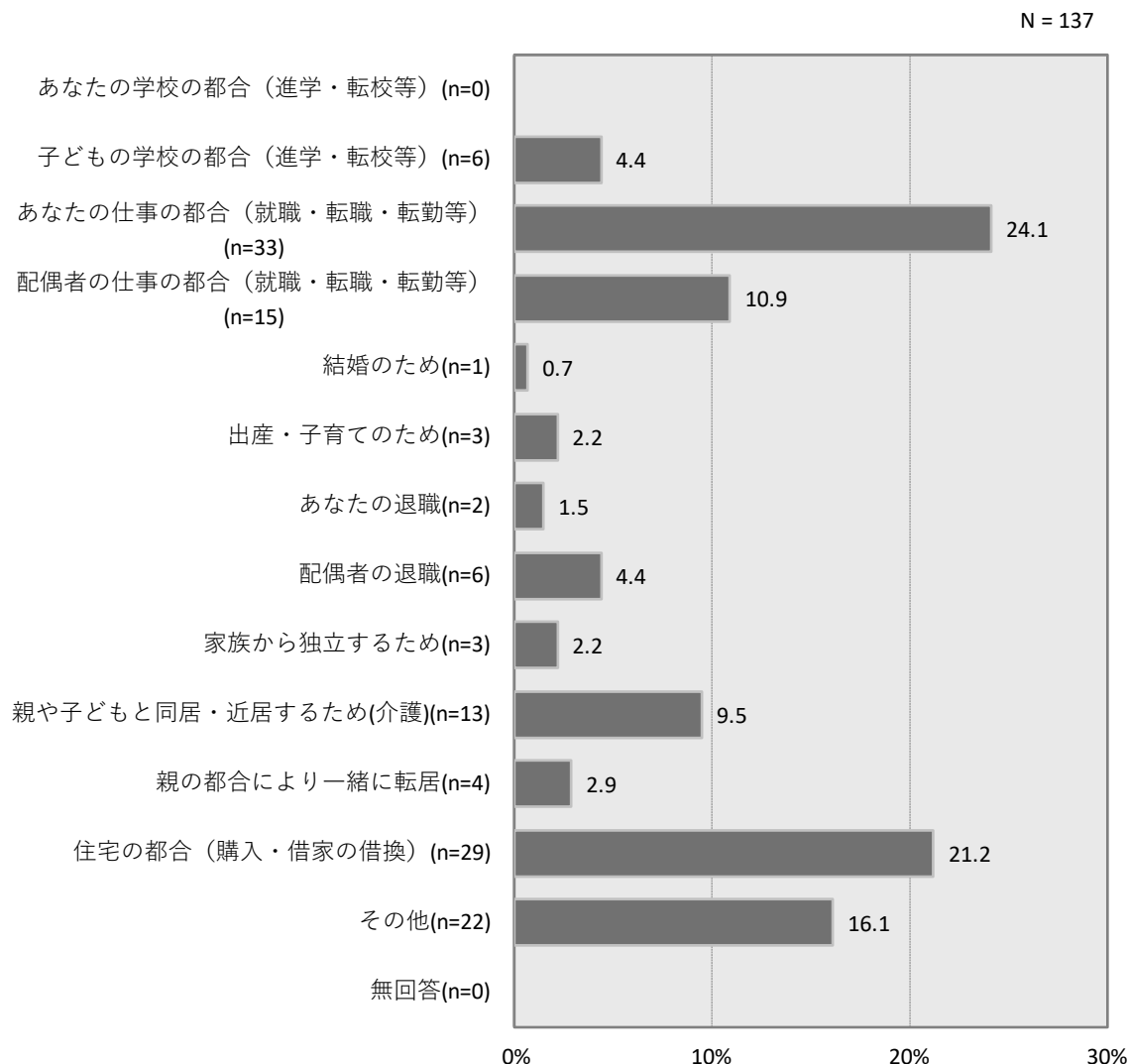
- 「分からない・決まっていない」が最多で 30.7%、次いで、「どちらかというに住み続けたい」が 26.3%、「住み続けたい」が 25.5%となっています。

N = 137



問 15 将来、武蔵村山市から転出することになった場合に考えられる理由（最も大きな理由1つを回答）

- 「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」が最多で24.1%、次いで、「住宅の都合（購入・借家の借換）」が21.2%、「その他」が16.1%となっています。

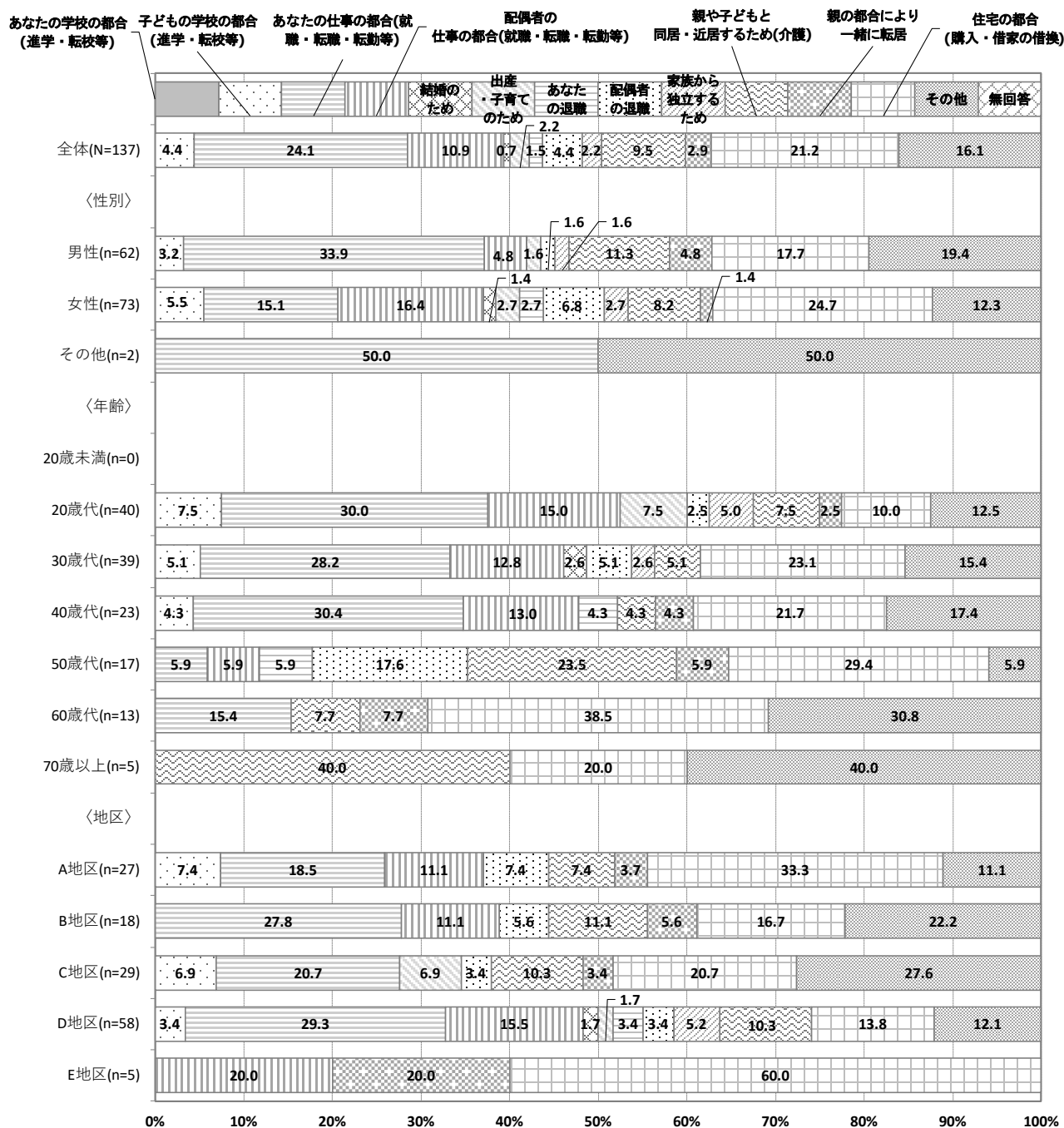


第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

〈その他の回答〉

- ・ 永住
- ・ 住みやすさ
- ・ インドネシアに帰る。
- ・ 公共交通がない。
- ・ 転出しない。
- ・ 行政サービス
- ・ 帰国
- ・ 家計、金銭
- ・ 交通の悪さ
- ・ 何もない街だから。
- ・ 子育てが終わり自身の健康懸念が高まったら。
- ・ 高齢者住宅に移動する為。
- ・ 駅が遠い。
- ・ 交通が不便な為。
- ・ 廃墟が近くにあること、毎日に入るだけで怖いから。
- ・ 離婚しない限りは引っ越さない。

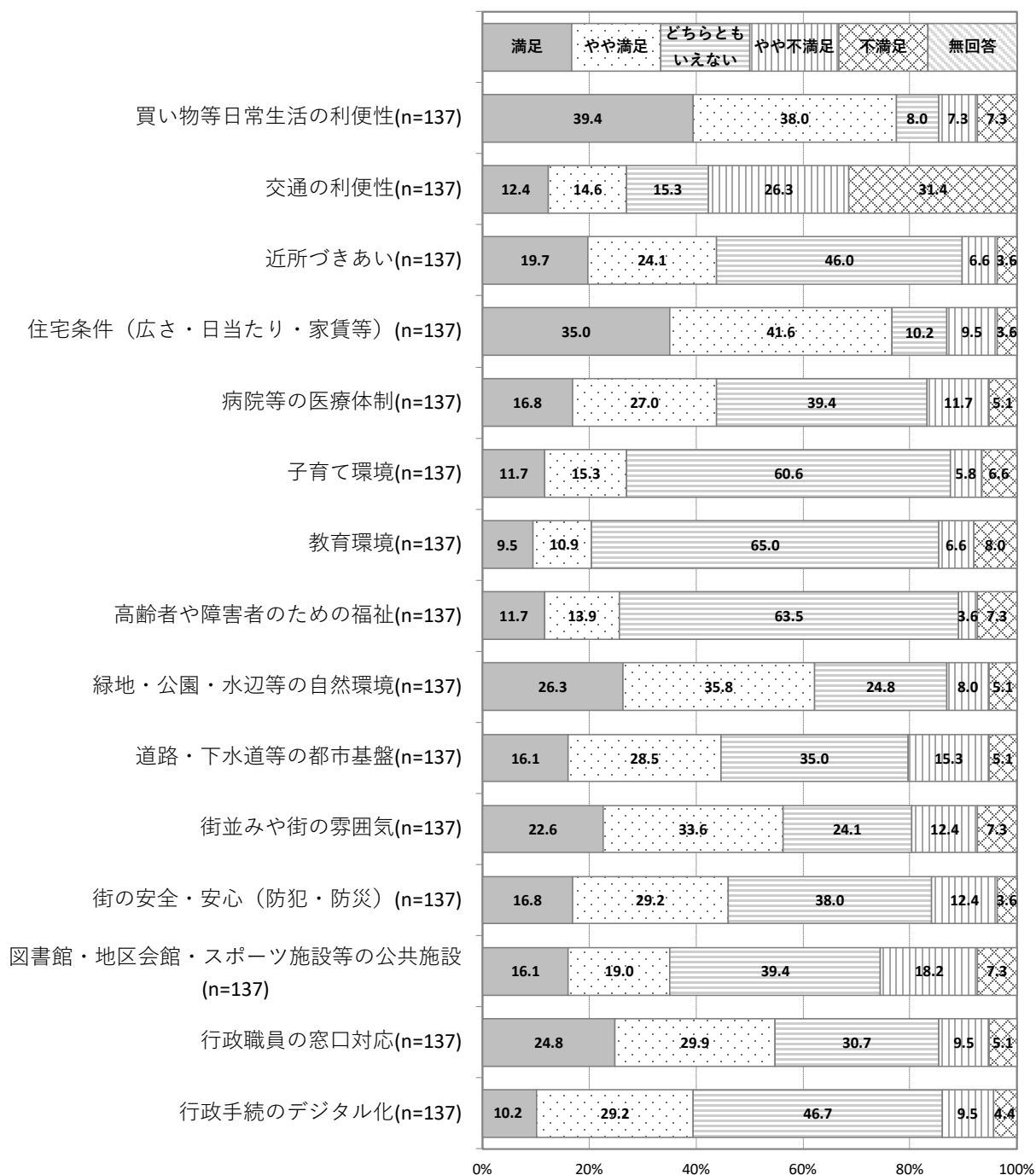
第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）



第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

問 16 武蔵村山市にお住まいになって、以下の各項目に対してどのように思っていたか（それぞれ単一回答形式）

- 「満足」と「やや満足」を合算したとき、「買い物等日常生活の利便性」が最多で 77.4%、次いで、「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）」が 76.6%、「緑地・公園・水辺等の自然環境」が 62.1%となっています。



第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満足	不満足	無回答
買い物等日常生活の利便性	54 39.4	52 38.0	11 8.0	10 7.3	10 7.3	- -
交通の利便性	17 12.4	20 14.6	21 15.3	36 26.3	43 31.4	- -
近所づきあいへの満足度	27 19.7	33 24.1	63 46.0	9 6.6	5 3.6	- -
住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）	48 35.0	57 41.6	14 10.2	13 9.5	5 3.6	- -
病院等の医療体制	23 16.8	37 27.0	54 39.4	16 11.7	7 5.1	- -
子育て環境	16 11.7	21 15.3	83 60.6	8 5.8	9 6.6	- -
教育環境	13 9.5	15 10.9	89 65.0	9 6.6	11 8.0	- -
高齢者や障害者のための福祉	16 11.7	19 13.9	87 63.5	5 3.6	10 7.3	- -
緑地・公園・水辺等の自然環境	36 26.3	49 35.8	34 24.8	11 8.0	7 5.1	- -
道路・下水道等の都市基盤	22 16.1	39 28.5	48 35.0	21 15.3	7 5.1	- -
街並みや街の雰囲気	31 22.6	46 33.6	33 24.1	17 12.4	10 7.3	- -
街の安全・安心（防犯・防災）	23 16.8	40 29.2	52 38.0	17 12.4	5 3.6	- -
図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設	22 16.1	26 19.0	54 39.4	25 18.2	10 7.3	- -
行政職員の窓口対応	34 24.8	41 29.9	42 30.7	13 9.5	7 5.1	- -
行政手続のデジタル化	14 10.2	40 29.2	64 46.7	13 9.5	6 4.4	- -

上段:回答数 下段: %

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

問 17 武蔵村山市に住んで感じていること（自由回答形式）

施策体系別自由回答集計表

節	項目	件数	節	項目	件数
コミュニティ	地域コミュニティ	3	人権	人権・平和	0
	交流	2		男女共同参画	0
パートナーシップ	情報共有	0	教育	学校教育	0
	市民参加と協働	0		生涯学習	2
健康・医療	健康づくり	0		スポーツ・レクリエーション	0
	医療・救急	2	文化	市民文化	0
	社会保障制度	0		伝統文化・文化財	0
福祉	地域福祉	1	産業	農業	0
	子ども・子育て支援	6		商・工業	0
	高齢者福祉	0		観光	0
	障害者福祉	2	景観	都市景観	0
	生活支援	0		水とみどりのネットワーク	0
暮らし	消費生活	0	環境	自然環境	4
	雇用	0		公園・緑地	6
安全・安心	災害対策	0		地球温暖化対策	0
	消防体制	0		公害対策・環境美化	3
	交通安全	2	計画の推進	行政運営	6
	防犯対策	2		財政運営	0
都市基盤	都市づくり	0		広域行政	0
	道路	9	その他		15
	住宅・宅地	6	合計		107
	下水道	0	回答者数		88
	廃棄物処理とリサイクル	3			
地域交通	モノレール推進	23			
	地域交通	10			

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

○A地区（中藤・神明・中央・本町）

性別	年齢	お住まい	自由意見
女性	30 歳代	中藤	中藤付近(旧青梅沿)にはお店がないので、高齢者や子供でも立ち寄れるお店があるとよい。息子が理由もあり区域外通学で東大和市の学校に通っている。武蔵村山市の給食費無償化の対象外との事だが、区域外通学の子でも無償化の対象としている自治体もあるため、武蔵村山市の住民である事、同じ小学生である事、これらをふまえて平等に対応していただけると嬉しい。
女性	60 歳代	中藤	電気自動車に乗っているが市役所の充電システムで充電したいのだが、いつも所沢ナンバーや八王子ナンバーの市外ナンバーの車が充電していて出来ない。市内の人が利用出来ないのに市外の人電気代を負担しないとならないのか理解できないし、そのために市民税を払いたくない。
男性	40 歳代	神明	自然豊かだが子供と遊べるような公園が少ない。商店が少ない。
女性	40 歳代	神明	図書館の本の予約待ちが少なく、満足している。モノレールの駅は、上北台を使っているため、武蔵村山にも早く駅が出来ることを心待ちにしている。
女性	60 歳代	神明	どこに行くにも車が運転出来れば行かれるが、免許返納したらどうなるのかという不安がある。
男性	30 歳代	神明	福祉の充実、道路の整備、図書館など公共施設の建物が古い、路上喫煙が多い、交通量が多い裏道の通学路にガードレールなどを設置してほしい。
男性	40 歳代	神明	子育て世代を増やすための施策を行う。
女性	20 歳代	神明	街中が静かな印象。子供のいるファミリー層は住みやすいと感じる。
女性	30 歳代	中央	電車がなかったので外出時に不便さを感じている。車ありきの生活が必要だと感じた。
男性	30 歳代	中央	快適だ。
女性	30 歳代	中央	車があれば買い物の不便は無いし、職場周辺と違って自然豊かで静かなところがとても住みやすいと感じる。ただ、公共交通機関の不便性は否めない。(そこを妥協して住宅を購入したのだが…)モノレールの延伸が決定したとあるが本当なのか不安を感じる。モノレール延伸が着工したら歩道のがたつきも直ると期待している。以前住んでいた国分寺と比べると交通の便がよくないこと、駅周りの買い物する場所が少ないことが差を感じるが駅周りの買い物箇所が少ないのは不便に感じない。
女性	60 歳代	中央	何も植えてない畑が多い為、土ぼこりが困る。健康にどのような悪影響があるかなど、気になっている。モノレールが早く開通していただきたい。車の速さが気になる青梅街道の歩道整備をもっとしっかり行っていただきたい。
女性	20 歳代	中央	名物が少ないイメージ。活気ある街という感じもしない(イベントがあると、あ、こんなに人いたんだと感じる)。街道があって交通量も多いのだから、若い人が活躍できるような、新しい事をしやすいような街になったら嬉しい。モノレールが通るのはとても良いことだと思うし期待している。殺風景であり遊具が少ない公園が多いので、子供達が楽しく遊べる公園をもっと増やしてほしい(古い錆びたブランコとか修繕もしてほしい)。MM シャトルバスは高齢者、障がい者に加えて、妊婦さんも無料だと良いと思う。むらタクは中々使いにくい。

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

性別	年齢	お住まい	自由意見
男性	20 歳代	中央	政府の援助が欲しい。
女性	20 歳代	本町	駅がないのはとても不便だ。電車があればもっと発展していくと思う。
女性	40 歳代	本町	交通の便が悪いので、早くモノレールを通して欲しい。

○B地区（三ツ木・岸・中原）

性別	年齢	お住まい	自由意見
男性	70 歳以上	三ツ木	行政の遅れがある。
男性	50 歳代	三ツ木	モノレールの延伸は利便性向上に期待するものの、市民のデメリット（財政悪化など）を十分に説明してから計画を進めていただきたい。
女性	50 歳代	岸	ずっと杉並区に近い中野区に住んでいたため、田舎に来たような感覚でいる。勤務先が霞ヶ関や丸の内などで通勤時間が大変だ。電車は良いが、バスに必須のため本数がなく、不便だ。車がないと生活しにくい場所だったのかと思った。
男性	50 歳代	岸	望んだ通りの豊かな自然と都心へのアクセスの良さ。人付き合いもしやすく、皆さん優しい。
男性	40 歳代	岸	駅がない。高速の入口が遠い。
女性	20 歳代	岸	道が狭い。母子手帳もらう時に支援の話を受けたが、現金振り込みにしてほしい。
男性	30 歳代	岸	遅くまで空いているスーパーがない。
男性	20 歳代	中原	きれいな町だと思うが、ちょっと静かな町だった。もしまつりがあればたぶんもっと楽しくなると思う。
その他	70 歳以上	中原	何をなさりたくてお聞きになっているのかが、良く分からなかった。かろうじて問 16 は分からなくもないが、最初の方の設問は個人情報を探られていると疑いたくなる内容と受け取った。他の方がどうお感じになるかは分かりかねるが、少なくとも私は、真面目に答えようと云う気には到底なれなかった。行政の方針や住民に対する謙虚さなどがおおよそ感じられないからだ。ただただ上から目線で仕事のための仕事やっているだけ、今の国政と何ら変わらない。
女性	20 歳代	中原	静かだ。
女性	40 歳代	中原	以前住んでいる所が田舎だったため、車圏内でスーパーがいっぱいあり、イオンもあり良かったと思う。だが、道幅がせまいのと、道路が混みやすいのがストレスである。

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

○C地区（三ツ藤・伊奈平・残堀）

性別	年齢	お住まい	自由意見
女性	40 歳代	三ツ藤	交通の便がとにかく悪く、家庭の事情が無ければすぐに他の自治体へ引越したい。行政手続きも市役所と市民総合センターで分かれていて分かりづらく、バスの本数も少ないので大変不便。タクシーもなかなかつかまらず、都内でここまで不便な街は無い。行政職員の作業誤りや知識不足も多く、手続きにも時間がかかり、これまで住んだ 23 区の自治体と大きな差を感じてしまう。歩道も狭く、障害者や高齢者に全く優しさを感じられない。生まれ育った場所だが、同級生は皆市外に移り住み、戻ってこないのがよく理解できてしまう。鉄道が通らない限りこの先も発展なく、衰退していく一方だと思う。
男性	40 歳代	三ツ藤	公共交通機関が乏しく感じる。
その他	20 歳代	三ツ藤	交通の弁が悪すぎる。こんな状況でシャトルバス廃止はありえない。
女性	30 歳代	三ツ藤	武蔵村山一番好き。
男性	20 歳代	三ツ藤	Sangat menyenangkan dan membuat nyaman（とても楽しくて快適）
男性	60 歳代	三ツ藤	窓口の対応は以前に比べて格段に良くなっている。手続きに関する職員の方の習熟具合にバラツキがあるが、今後の課題だと思い。
男性	40 歳代	伊奈平	伊奈平からの小中学が遠すぎる。子供のインフルエンザの助成がない。副食費が高い。高齢者への待遇は良いが、立川市に比べて子育てはしにくい。待遇が良くないと強く感じる。
女性	20 歳代	伊奈平	お店等の閉店時間が早すぎて急遽の時の対応ができない。道路の両端の木が邪魔して歩行者が渡るのかいるのか見えない。国家公務員だからなのか行くと対応が面倒くさそうな対応をされて申し訳ない感じで行っているのに、そんな対応されると悲しくなる。
女性	30 歳代	伊奈平	病院が少ない。
女性	30 歳代	伊奈平	市役所が暗い感じがする。対応も冷たい印象がある。
男性	20 歳代	伊奈平	車を持っていないときつい時点で、転入者は減る一方だと感じた。バスも立川に行きやすいものが増えれば良いと思った。市からの恩恵は全く感じたことがないので、何か目に見えるもので示していただき、教えてもらいたい。
男性	20 歳代	伊奈平	イオンモール近くの宗教団体の土地をどうにかしないとかなり不満。税金も取れず無駄すぎる。立川駅までの交通をせめてよくしてほしい。
女性	30 歳代	伊奈平	イオンモールやダイエーがあるおかげで生活には全く困らないし楽だが、病院の選択肢が少ないと思う。具体的には近くに耳鼻科や皮膚科が無い。昭島駅のほうまで行かなくてはいけない。車が無いと雨の日は特に不便なので、運転免許取得や車購入のための補助制度などあればいいのと思う。また、以前住んでいた新宿区に比べ、歩道などの雑草の手入れが全くされていないと感じる。歩道の半分以上雑草で覆われていて、通る時に車道まで出なくてはならず、大型トラックなどがたくさん通っている道は子供にとって危ないと思う。歩道の雑草の手入れを行って欲しい。

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

性別	年齢	お住まい	自由意見
女性	30 歳代	伊奈平	昭島駅や西武立川駅からのアクセスが不便。立川からもバスはあるが、地域が市役所周辺ぐらいに限られている印象だ。運賃値上げは致し方ないと思うが、利用者も多いので どの駅からもバスの本数が増えると利便性が向上するのではないかなと思う。買い物場所は大小たくさんあり駐車場も広いので、運転が可能な世代のうちは車があれば過ごしやすい。
男性	30 歳代	伊奈平	アパートに住んでいる。ゴミ捨てのマナーや敷地内が不衛生で非常に困っている。管理会社様にも相談しているが、現行犯でないと処罰が難しいようで、注意喚起はしていただいているが根本解決に至っていない。私有地内での問題ではあるが、少なくともゴミ回収の方には大変なご迷惑を掛けており、心を痛めている。ゴミ捨てルールが守れない人間への何がしか処罰をできる仕組みを強くのぞむ。条例などで処罰ができないものか。
女性	40 歳代	残堀	以前住んでいたところと比べて、バスの運賃が高く、食べ物、特に魚や野菜が高い。
女性	50 歳代	残堀	子供の医療費いつになったら無料になるのか。
女性	20 歳代	残堀	やはり駅が無いことが悔やまれる。モノレールできて欲しい。また、私が住んでいるところは残堀なのだが、基地が近くにあるためジェット機の音などが響く。二重窓の補助金があれば、リフォームできるのになと思う。
女性	40 歳代	残堀	駅が遠く、電車を使う機会が減った。車がメイン。（小さい子供もいる為、電車を使う頻度が減った。）車がないとけっこう不便と感じる。

○D地区（榎・学園・大南）

性別	年齢	お住まい	自由意見
女性	40 歳代	榎	榎の周辺の街頭が少なすぎる。暗くて怖い。公園が少なくて犬の散歩に困る。市役所の方の対応がとても親切で素晴らしい。
女性	30 歳代	榎	転勤族。武蔵村山市は粗大ゴミ以外のほぼ全ての種類で戸別収集があり、本当にありがたい。粗大ゴミも出しやすい。ゴミ分別アプリも使っている。ゴミ袋は他自治体と比べるとやや割高感はあるが、ぜひ維持していただきたい。
男性	20 歳代	榎	駅が無いのが人生で初めてでかなり面倒さを感じた。
男性	20 歳代	榎	電車を利用したくても利用できないのが最大の欠点だと思う。
男性	20 歳代	榎	夜中にバイク騒音がある。
女性	20 歳代	榎	以前住んでいた場所とのちがいはグループホームのほうが自由なところである。毎日充実して楽しんでいる。
女性	30 歳代	学園	ゴミ袋が高い。公園が多くて良い。
男性	30 歳代	学園	都心に行く際に不便だ。モノレールを待ち望んでいる。それ以外は満足している。
男性	50 歳代	学園	学園に住んでいるが、バス便の行き先が立川市と箱根ヶ崎しかなく、ルートを増やして欲しい。例えば武蔵砂川駅行きなど、多摩モノレールの駅行きがあるといい。車がないので移動手段がバスと電車だけなので。
男性	30 歳代	学園	公共交通機関の整備、道路整備、渋滞対策、子育て支援等々の改善を望む。
女性	20 歳代	学園	虫が多い、特にカメムシとセミ。

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

性別	年齢	お住まい	自由意見
女性	40 歳代	学園	粗大ゴミを処理場まで持ち込めて手続き出来たらいいな、と思う。
女性	20 歳代	学園	前居住地の所沢市では、所沢市重度心身障害福祉手当という市の制度があり、精神障害者保健福祉手帳 2 級から対象になるなど、障害者福祉が充実していた。武蔵村山市でも、手当に限らず、障害者家庭の子育て支援などの制度が充実されると助かる。
女性	30 歳代	学園	近くに畑があり、都心と違って少しのんびりした雰囲気がいいなと思った。
男性	40 歳代	学園	緑が多く、都会が苦手な人にとってはとても住みやすい場所だと感じる。
男性	30 歳代	大南	近所の方々がとても親切だ。
男性	60 歳代	大南	日産の跡地を一般の公園にして欲しい。武蔵砂川駅付近の道路整備。
女性	30 歳代	大南	公園が魅力的でない。特に大南公園が十分な広さがありながら、子供の遊具が少なく、遊具が汚れており、街灯が不十分、公園を利用した市や市民の文化的イベントの不足などを感じる。もう少し子育て世代を意識した公園作りをして欲しい。
女性	20 歳代	大南	自然が多くてとても良い。家の目の前が大南公園で、桜がとても綺麗でここに引っ越してよかったと思った。住んでいるところが抜け道になっているからか、夜中はうるさい車やバイクがやや多く感じる。車や自転車があれば比較的どこへでも行きやすい。坂道があまりなく、平面な道が多いので自転車でも辛い。
女性	20 歳代	大南	図書館の多さにありがたさを感じている。
女性	30 歳代	大南	発達障害の子供でもそのはたらく親が育児できるような体制、フォローをして欲しい。療育などに力を入れて欲しい。情報を発信して欲しい。
男性	30 歳代	大南	他市に負けない超絶魅力的な子育て支援制度を導入して欲しい。現役の子育て世代を増やして、街全体を活性化する取り組みに前向きになって欲しい。真如苑の広大な敷地について、公園や開放広場の整備を急ぎ、市の魅力として発信して欲しい。
男性	20 歳代	大南	このアンケートスマホだと読みにくい。しかし、答えられないこともない。
女性	30 歳代	大南	大南公園近くに住んでいるが、夜になると駅から帰るには公園周りがだいぶ暗いようだ。夫が一度ベンチにつまずいてこけた。住宅地なので明るすぎても良くないのと思うが、娘が大きくなって部活などで日が暮れてから帰ってくることもあると思うと暗さが心配になりそう。また、歩行者が歩くには交通量の割に狭い道が多いように思う。小さな子の子育てのフォローに関しては、色々と事業をされているように感じていて、とても助かっている。
女性	50 歳代	大南	静かな所は好きだが、高齢者も歩きやすい歩道や生活の利便性が良くなって欲しいと思う。
女性	30 歳代	大南	昭和記念公園のような 1 日いても子供が遊べる施設、公園が欲しい。いい街だからこそ、武蔵村山市＝〇〇のようなシンボルみたいな何かあれば絶対もっといい街になる。モノレールが早く延伸して便利になって欲しい。
女性	20 歳代	大南	室内の市民プールが欲しい。
男性	40 歳代	大南	車を持たないと大変な街。バスもあるが高いし、電車も駅まで遠い。年をとってお金もなくなり、足腰が弱くなり、子どもたちも独立したら、生活がめちゃくちゃ不便になりそう。イオンもあるが大きすぎて年をとったら買い物するのも持ち帰るのも大変そう。

第2章 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）

性別	年齢	お住まい	自由意見
女性	70 歳以上	大南	人情がある。
女性	60 歳代	大南	駅が遠い。最寄りバスが1時間に一本。近くで買い物の施設がない、今はいいが、後々、宅配頼りにすべきか。
女性	50 歳代	大南	東大和市と立川市に隣接している大南は大型スーパーマーケット、多摩モノレールの桜街道駅に近いので便利だ。緑が丘出張所の職員の方の対応は親切で助かる。
男性	60 歳代	大南	まだ日が浅いので何とも言えない。
女性	30 歳代	大南	思ったより穏やかで経済的にも住みやすい。終電が早いことと、電車の本数が少なめなのが気になる。
女性	20 歳代	大南	歩道が無いところが地味に多い。
女性	20 歳代	大南	武蔵村山市での生活が好き。仕事に便利。住宅価格も住環境も良く、私には合っている。私が感じていることはすべてで大丈夫である。
女性	70 歳以上	大南	公園が近くにあり 散歩を楽しんでいる。コロナの配慮なのだろうか。行事が何もなくて少し寂しく感じている。

○E 地区（緑が丘）

性別	年齢	お住まい	自由意見
男性	30 歳代	緑が丘	以前青梅市に 33 年住んでいた当時は、道幅が狭いところも多く、車等の出入りが、激しく、坂道も非情に多い場所が多く、大変なところも多かったが、武蔵村山市に来た時は、平坦な道が多く、登坂もあまり無く、楽で平らな道で、仕事出勤等も駅まで徒歩や、自転車等で楽に行きやすくなった。
男性	60 歳代	緑が丘	とても静かだ。
男性	60 歳代	緑が丘	交通の利便性を除けば特にない。
女性	60 歳代	緑が丘	水道水の不安がある。
男性	60 歳代	緑が丘	現在こちらに来たばかりなので、今後、町に馴染み感じて行きたいと思っている。

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

第1編 調査の概要

1. 調査目的

武蔵村山市第五次長期総合計画後期基本計画の策定に当たり、令和4年4月1日から令和6年3月31日までに武蔵村山市から転出した方を対象に、転出理由、住みやすさなどについて御意見を伺い、後期基本計画策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数

調査名	概要	回収数
人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）	令和4年4月1日から令和6年3月31日までに武蔵村山市から転出した方々1,000名を無作為に抽出	109

3. 調査票の配布・回収方法及び調査の実施時期

- ①調査票の配布法：回答用のQRコードを印刷したハガキ（計1,000部）を対象者へ郵送・市役所窓口に来庁された転出者へ回答用のQRコードを印刷したチラシ（計95部）を手交
- ②調査票の回収方法：Webを通じての回収
- ③調査実施時期：令和6年5月28日（火）～6月19日（水）

4. 調査結果の概要について

（1）調査について

○対象者数1,000人、有効回収109件、有効回収率10.9%（前回調査（平成30年度）27.7%）である。

※以下、平成30年10月に実施した前回調査については、「前回」と表記している。

（2）転出理由、住みやすさ等について

○転出先としては、東京都23区（16.5%、前回11.7%）、立川市（11.9%、前回11.2%）、東大和市（6.4%、前回5.2%）の順となった。

○転出理由としては、「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（31.2%、前回27.6%）、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（12.8%、前回8.3%）、「結婚のため」（11.9%、前回19.5%）の順となった。

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

○現在の転出先を選んだ理由としては、「通勤・通学に都合がよかったから」（66.7%、前回 52.7%）、「都心へのアクセスのよい地域で生活したかったから」（32.3%、前回 27.1%）、「希望していた広さの住宅があったから」（18.3%、前回 23.5%）の順となった。

○転出先の自治体のよい点としては、「交通の利便性」（68.8%、前回 67.5%）、「買い物等日常生活の利便性」（44.0%、前回 46.4%）、「街並みや街の雰囲気」（25.7%、前回 20.9%）」の順となった。

（3）武蔵村山市の施策満足度について

○「満足」と「やや満足」を合算したとき、「緑地・公園・水辺等の自然環境」が最多で 73.4%（前回 54.9%）、次いで、「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）」が 67.9%（前回 56.7%）、「買い物等日常生活の利便性」が 63.3%（前回 53.6%）となっている。

（4）再び住むための条件について

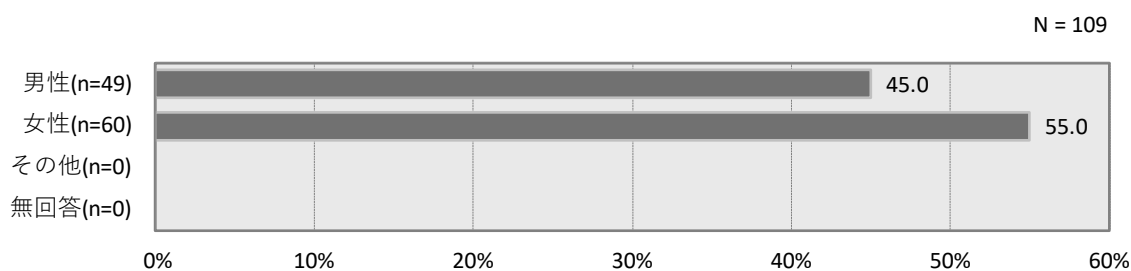
○武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいと思うかについては、「交通の便がよくなれば住みたい」（72.5%、前回 70.0%）、「今のままでも再び住みたいと思う」（19.3%、前回 17.5%）、「子育てがしやすくなれば住みたい」（15.6%、前回 13.7%）の順となった。

第2編 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）結果

1. あなた（回答者）自身について

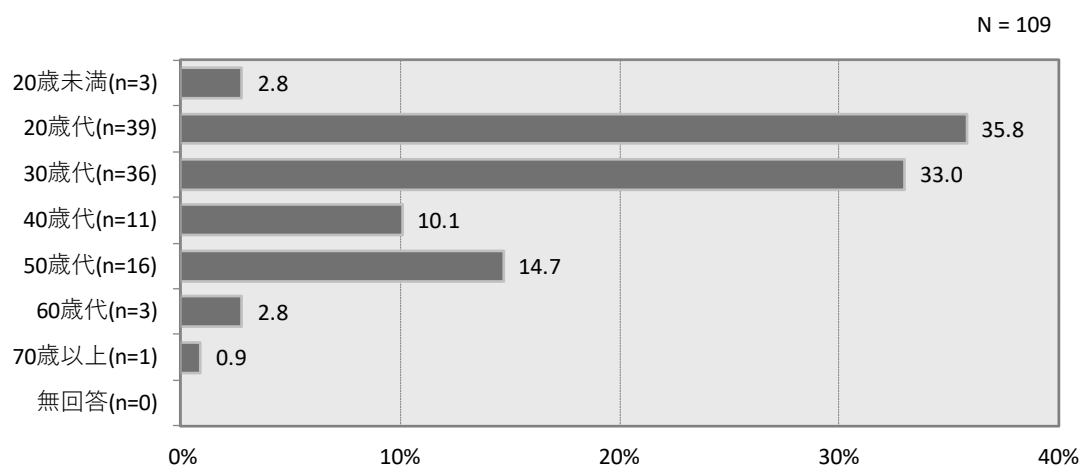
問1 性別（単一回答形式）

●「男性」が45.0%、「女性」が55.0%となっています。



問2 年齢（単一回答形式）

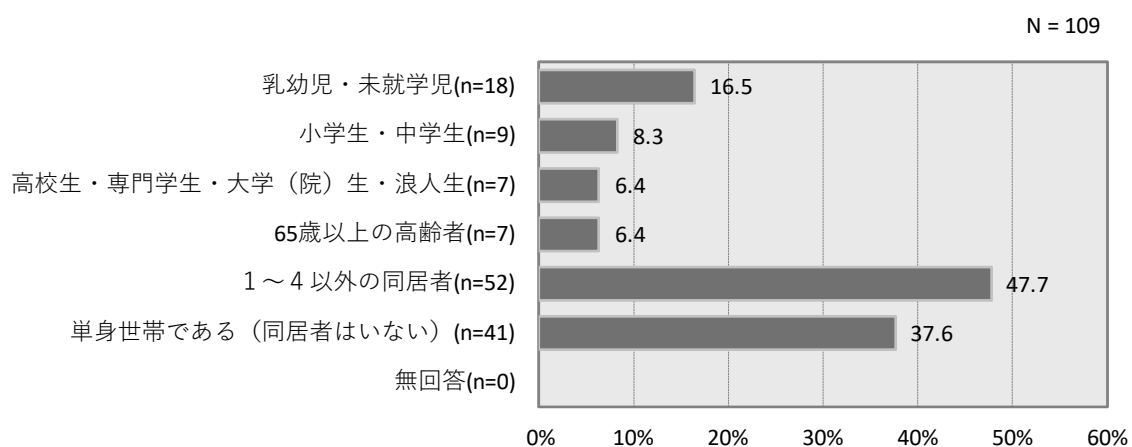
●「20歳代」が最多で35.8%、次いで、「30歳代」が33.0%、「50歳代」が14.7%となっています。



第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

問3 同居者の属性（複数回答形式）

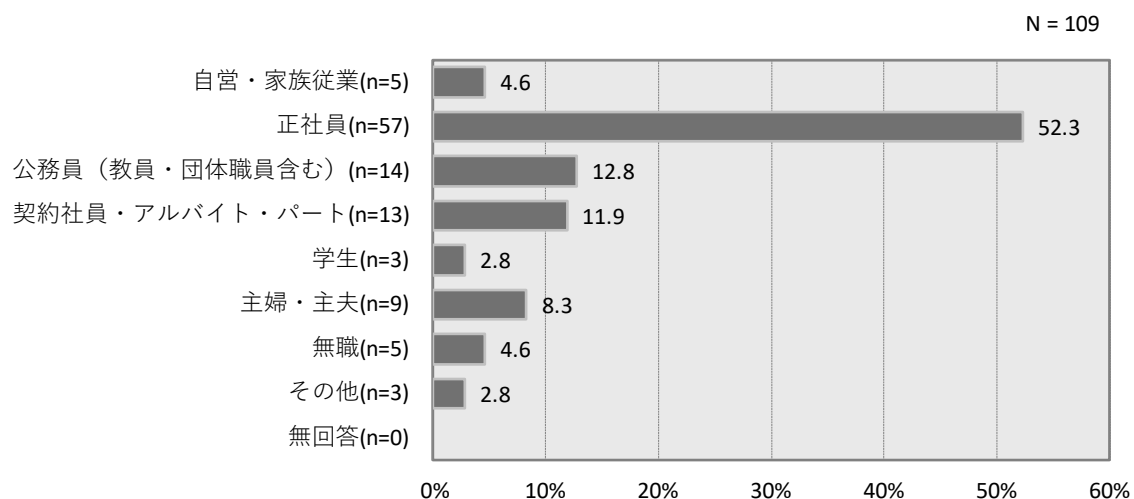
- 「1～4以外の同居者」が最多で 47.7%、次いで、「単身世帯である（同居者はいない）」が 37.6%、「乳幼児・未就学児」が 16.5%となっています。



※「1～4以外の同居者」の「1～4」は「乳幼児・未就学児」、「小学生・中学生」、「高校生・専門学生・大学（院）生・浪人生」、「65歳以上の高齢者」を指す。

問4 職業（単一回答形式）

- 「正社員」が最多で52.3%、次いで、「公務員（教員・団体職員含む）」が12.8%、「契約社員・アルバイト・パート」が11.9%となっています。



〈その他の回答〉

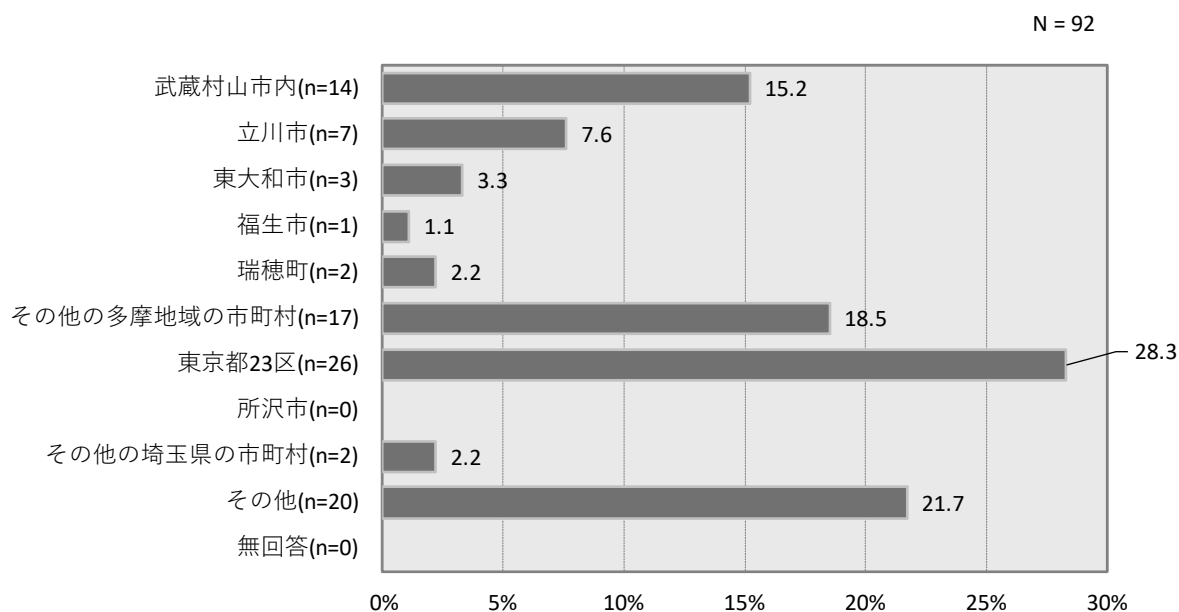
- ・ 不動産賃貸
- ・ 育休中
- ・ 派遣社員

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

問5 勤務先、通学先（単一回答形式）

【「問4」で、「自営・家族従業」、「正社員」、「公務員（教員・団体職員含む）」、「契約社員・アルバイト・パート」、「学生」の場合のみ回答】

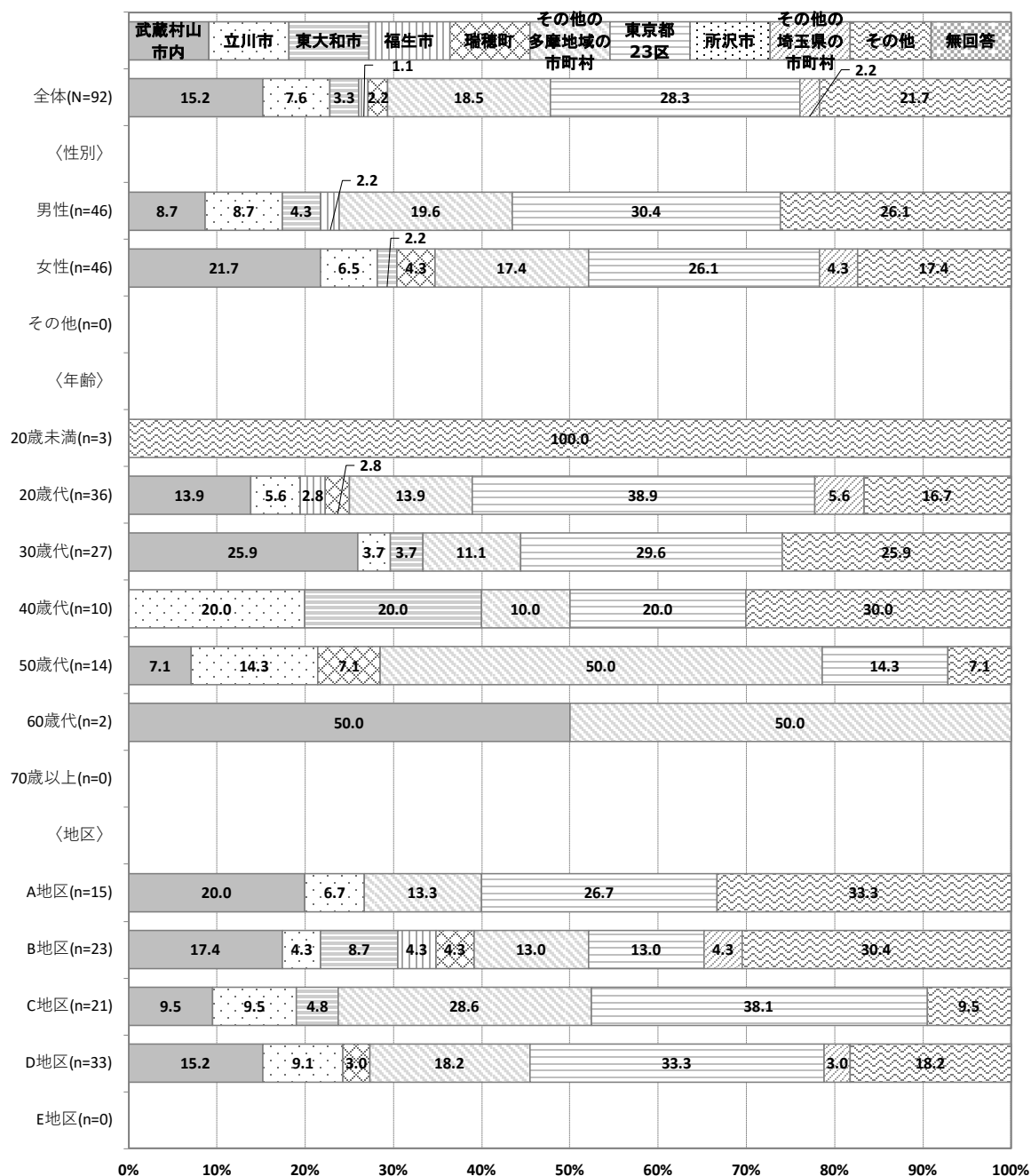
- 「東京都23区」が最多で28.3%、次いで、「その他」が21.7%、「その他の多摩地域の市町村」が18.5%となっています。



〈その他の回答〉

- ・ 東京都（日野市、町田市、東村山市、渋谷区、練馬区、豊島区、新宿区）
- ・ 千葉県（我孫子市、浦安市）
- ・ 神奈川県（座間市、相模原市）
- ・ 福島県いわき市
- ・ 愛知県
- ・ 茨城県（那珂市、ひたちなか市）

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

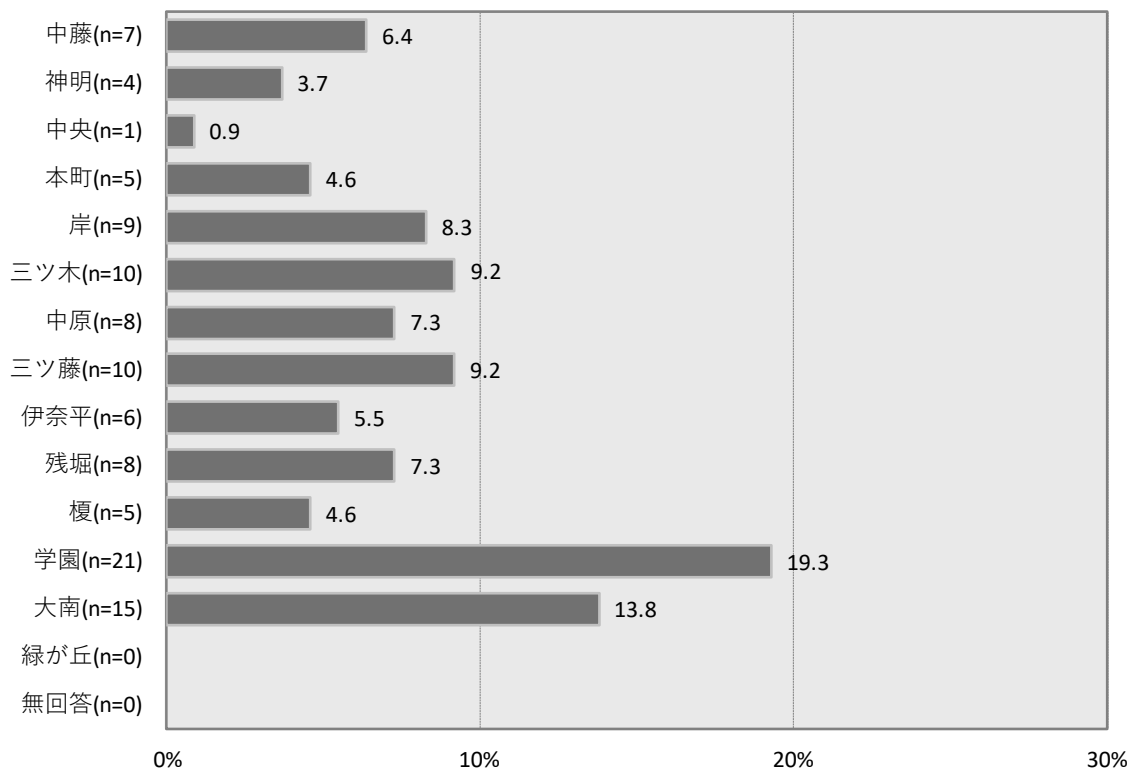


第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

問6 お住まいだった地域（単一回答形式）

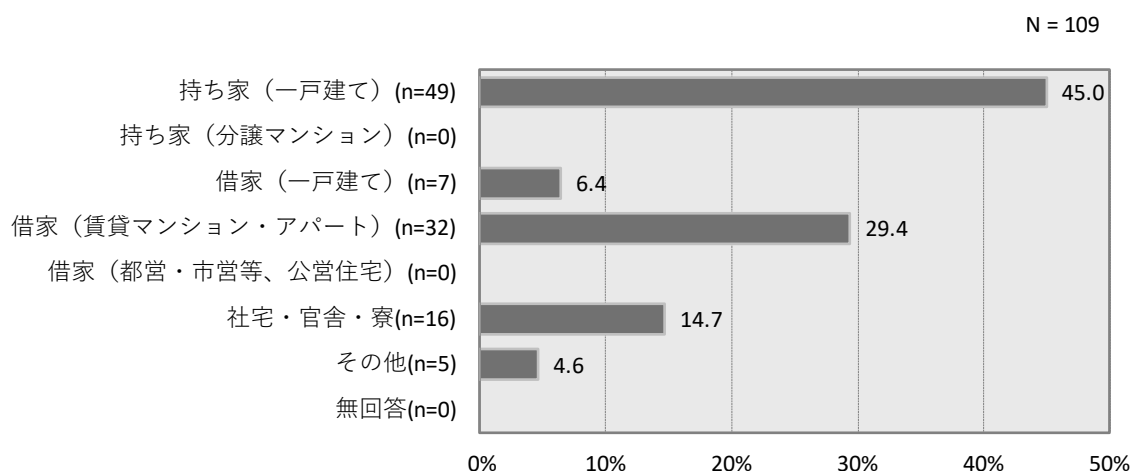
- 「学園」が最多で19.3%、次いで、「大南」が13.8%、「三ツ藤」及び「三ツ木」が9.2%となっています。

N = 109



問7 武蔵村山市からの転出前のお住まい（住居）（単一回答形式）

- 「持ち家（一戸建て）」が最多で45.0%、次いで、「借家（賃貸マンション・アパート）」が29.4%、「社宅・官舎・寮」が14.7%となっています。

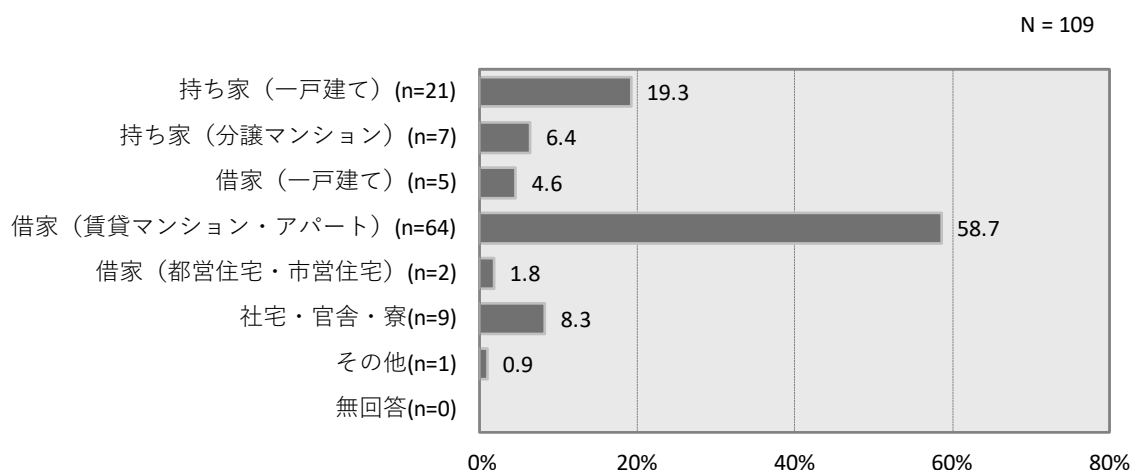


〈その他の回答〉

- ・ 実家
- ・ 親の家
- ・ 当時、交際していた彼の持ち家

問8 武蔵村山市からの転出後のお住まい（住居）（単一回答形式）

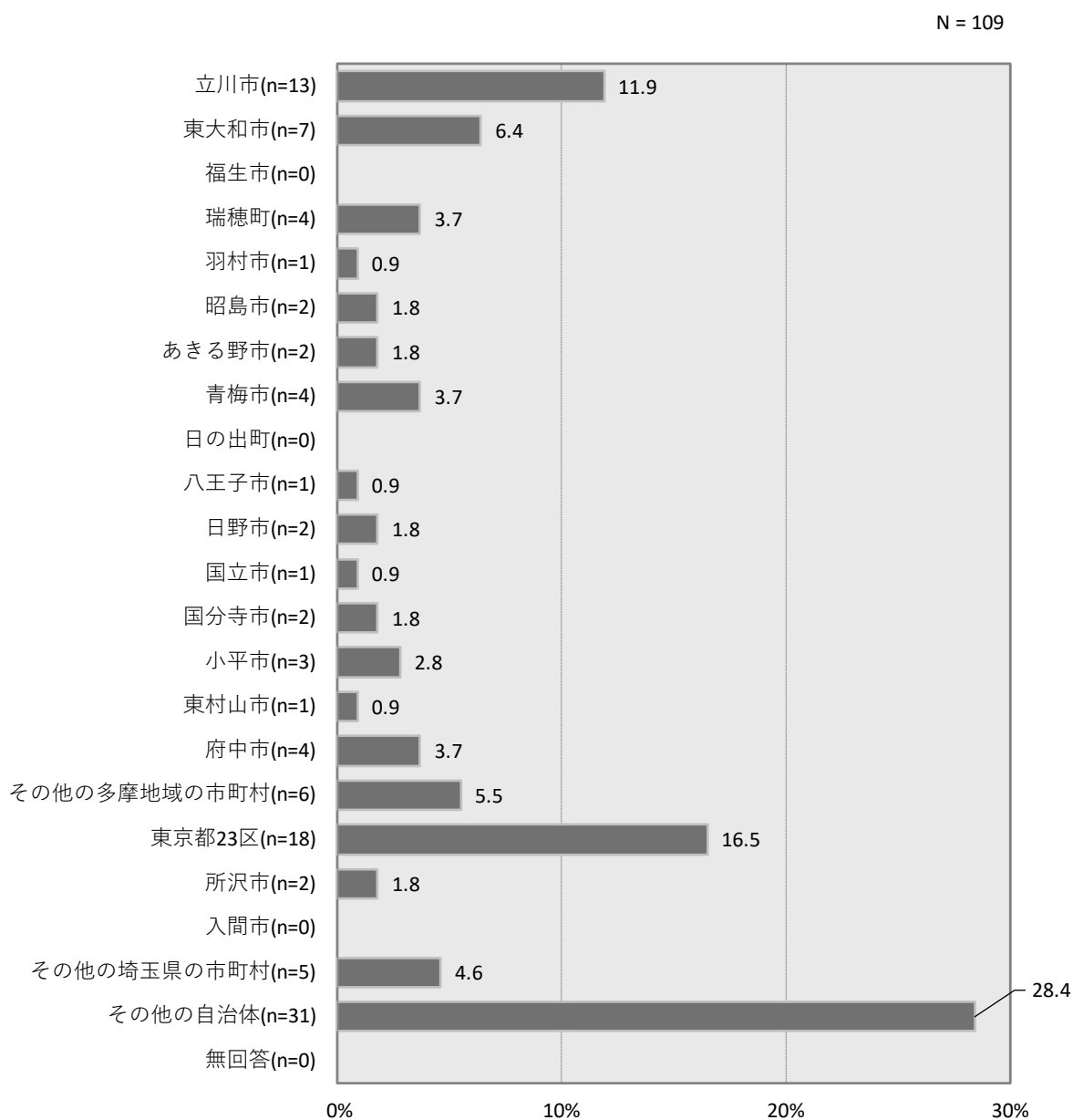
- 「借家（賃貸マンション・アパート）」が最多で58.7%、次いで、「持ち家（一戸建て）」が19.3%、「社宅・官舎・寮」が8.3%となっています。



第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

問9 武蔵村山市からの転出先の住所（単一回答形式）

- 「その他の自治体」が最多で28.4%、次いで、「東京都23区」が16.5%、「立川市」が11.9%となっています。



〈その他の回答〉

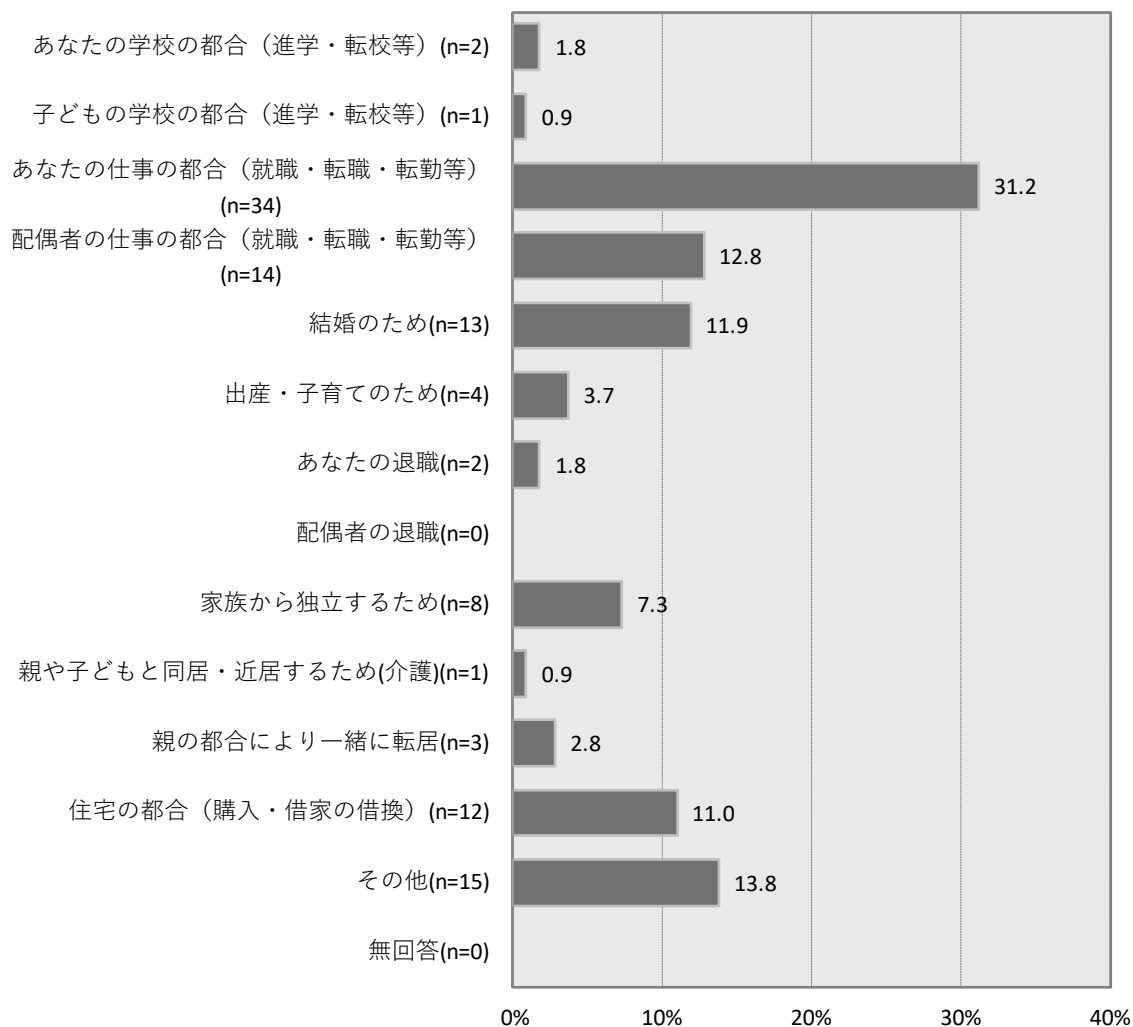
- ・ 茨城県（那珂市、ひたちなか市）
- ・ 福島県いわき市
- ・ 兵庫県三木市
- ・ 神奈川県（川崎市、座間市、横須賀市、伊勢原市）
- ・ 福井県福井市
- ・ 滋賀県
- ・ 愛知県名古屋市
- ・ 東京都（目黒区）
- ・ 千葉県（市川市、船橋市）
- ・ 宮崎県西都市
- ・ 沖縄県宮古島市
- ・ 長野県
- ・ 福岡県
-
- ・ 北海道（札幌市）

2. 武蔵村山市からの転出理由、市の住みやすさ

問 10 武蔵村山市から引っ越しをした理由（単一回答形式）

- 「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」が最多で31.2%、次いで、「その他」が13.8%、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」が12.8%となっています。

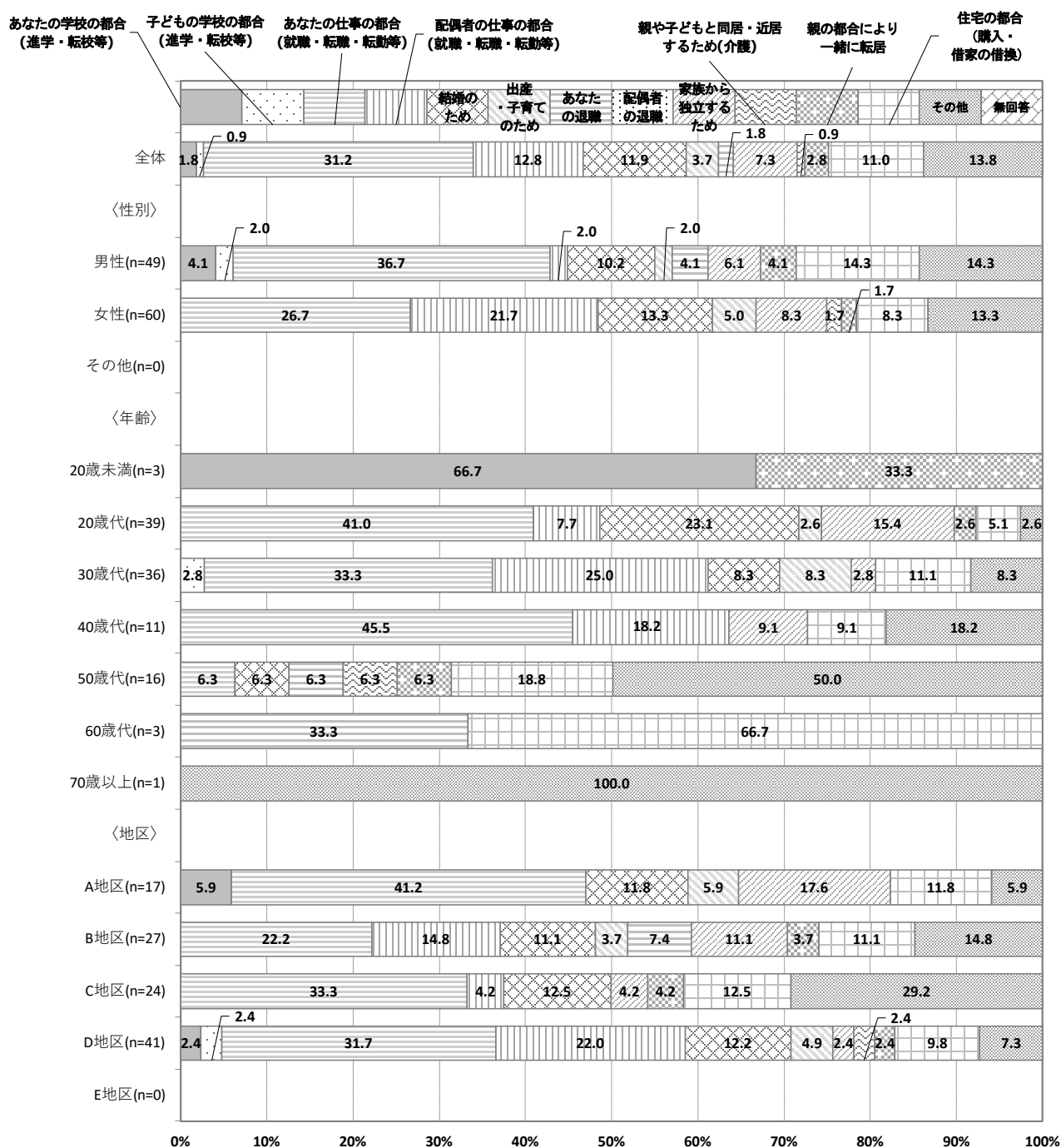
N = 109



〈その他の回答〉

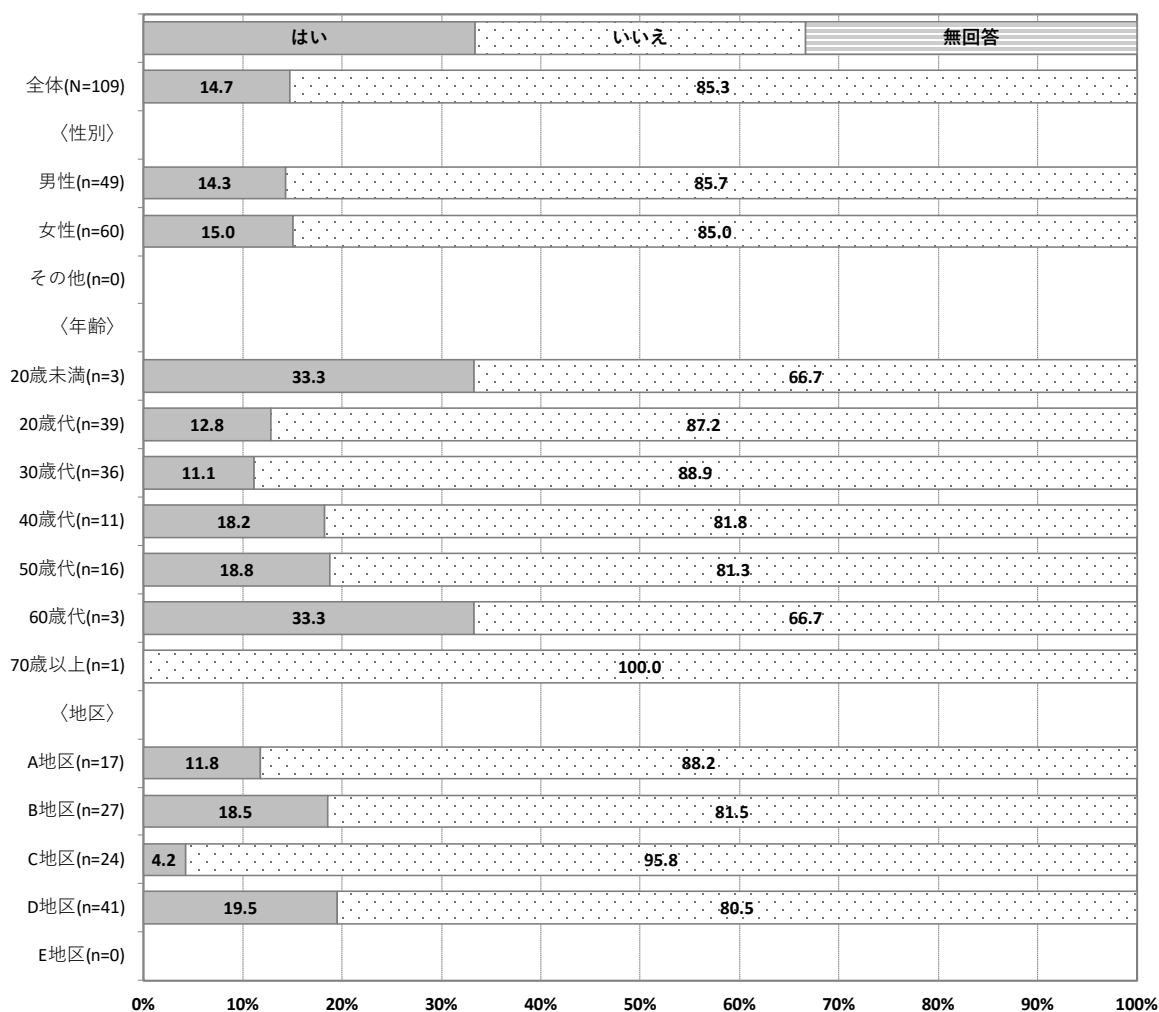
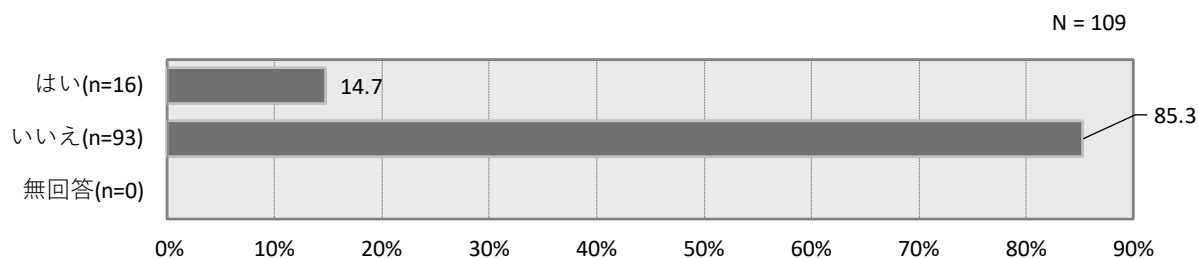
- ・ 転出先が魅力的だったため。
- ・ やりたいことがあったため。
- ・ 私には騒々しい環境だったから。
- ・ 通勤通学の不便さ
- ・ 不動産を相続したため。
- ・ 一身上の都合
- ・ 便が悪いから。
- ・ 交通の不便さ
- ・ ペット可に住むため。
- ・ 病の為。
- ・ 別居
- ・ 交際していた彼と別れたため。

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）



問 11 引っ越し先を選択する際、武蔵村山市でもお住まいをさがしたか（単一回答形式）

● 「はい」が14.7%、「いいえ」が85.3%となっています。

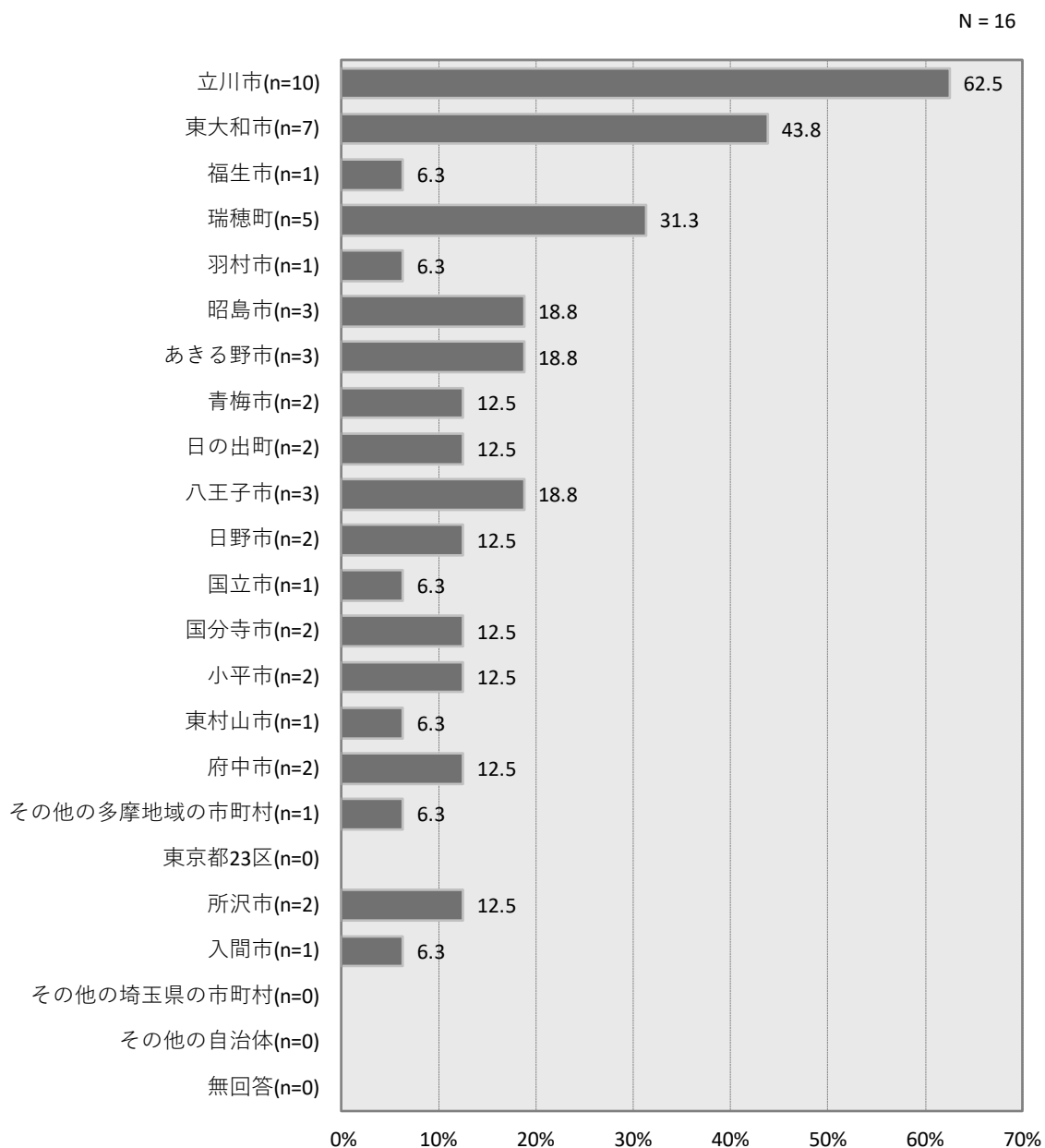


第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

問 11-2 武蔵村山市からの転出先を選択する際、候補に挙げた自治体（複数回答形式）

【「問 11」で、「はい」の場合のみ回答】

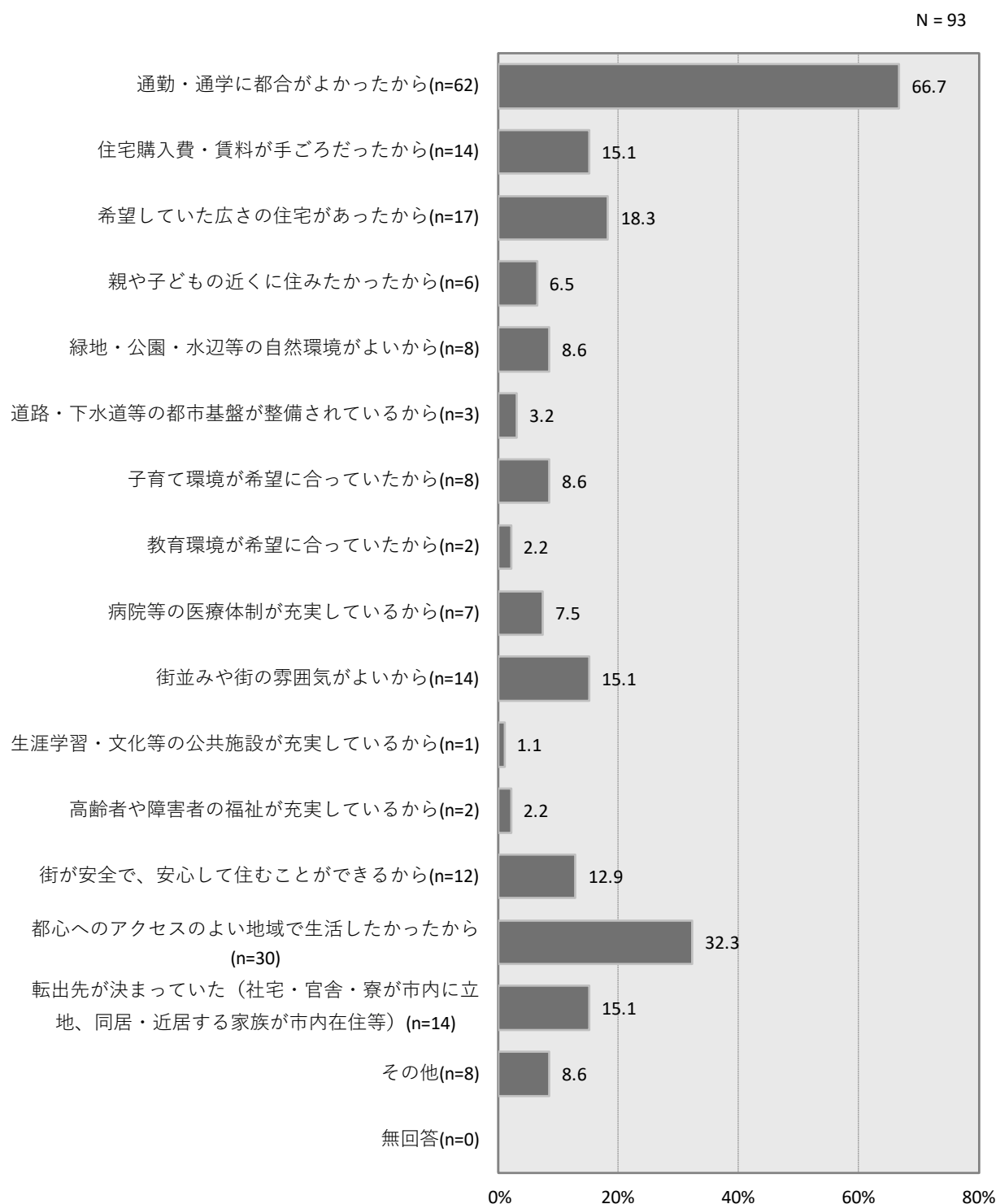
- 「立川市」が最多で 62.5%、次いで、「東大和市」が 43.8%、「瑞穂町」が 31.3%となっています。



問 12 お住まいの自治体を選択した理由（複数回答形式）

【「問 11」で、「いいえ」の場合のみ回答】

●「通勤・通学に都合がよかったから」が最多で 66.7%、次いで、「都心へのアクセスのよい地域で生活したかったから」が 32.3%、「希望していた広さの住宅があったから」が 18.3%となっています。

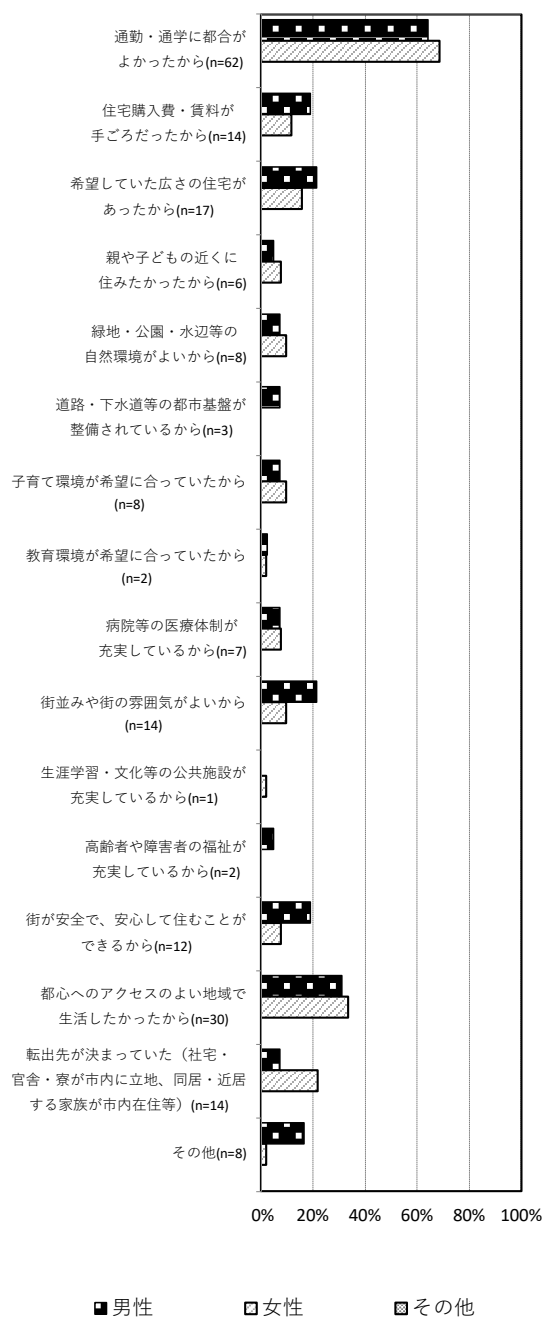


第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

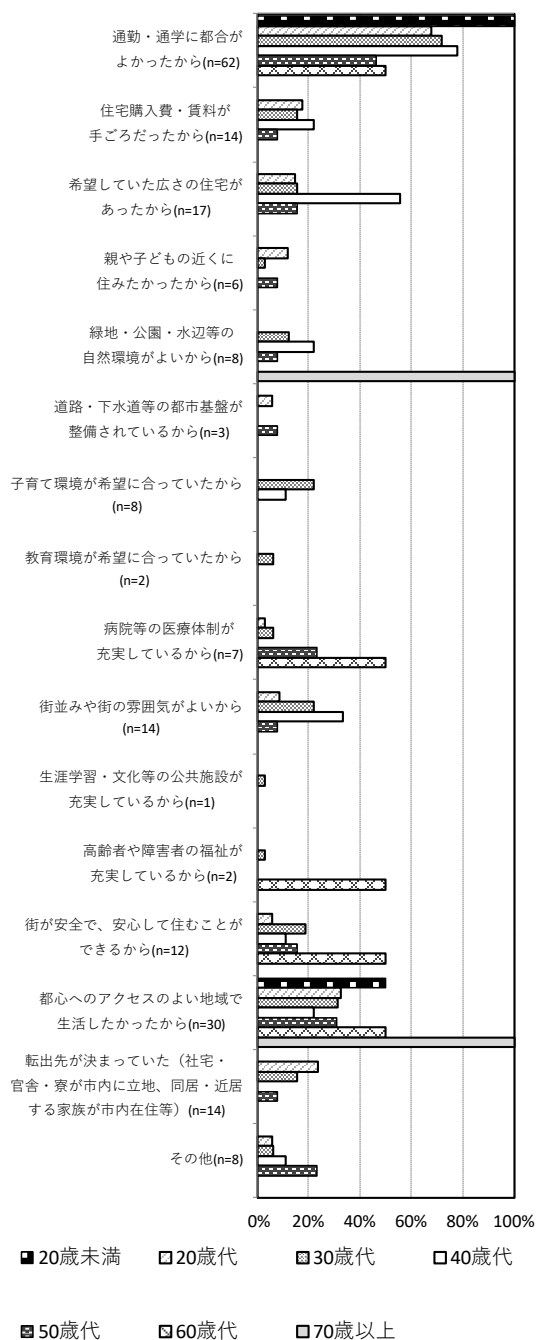
〈その他の回答〉

- ・ 入れる賃貸が見つかったから。
- ・ 転職にあたり、全く知らない所に移住してみたいという思いがあり、東京都以外で探していた。
- ・ 出張の利便性
- ・ 武蔵村山市は駅までのバスの本数が少なく通勤が大変だった。しかたなく転居した。
- ・ 駅近くで予算に合う。
- ・ 実家に住むため。
- ・ ペット可の物件があったから。
- ・ 同居人の職場と私の職場との中間地点
- ・ 嫁の家
- ・ 親と同居

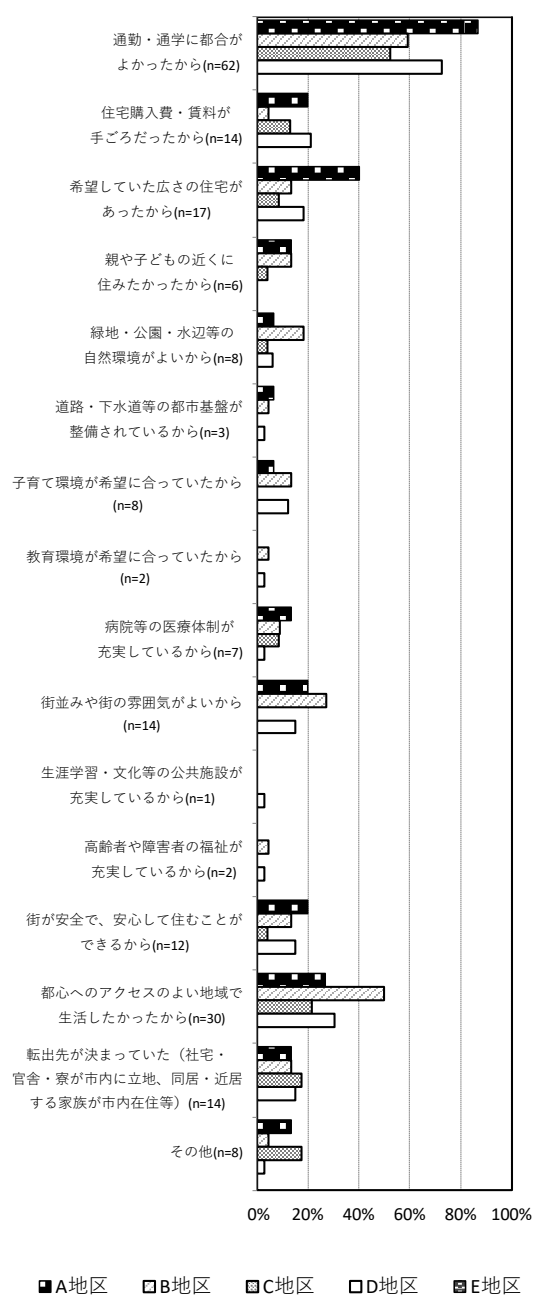
＜性別＞



＜年齢別＞



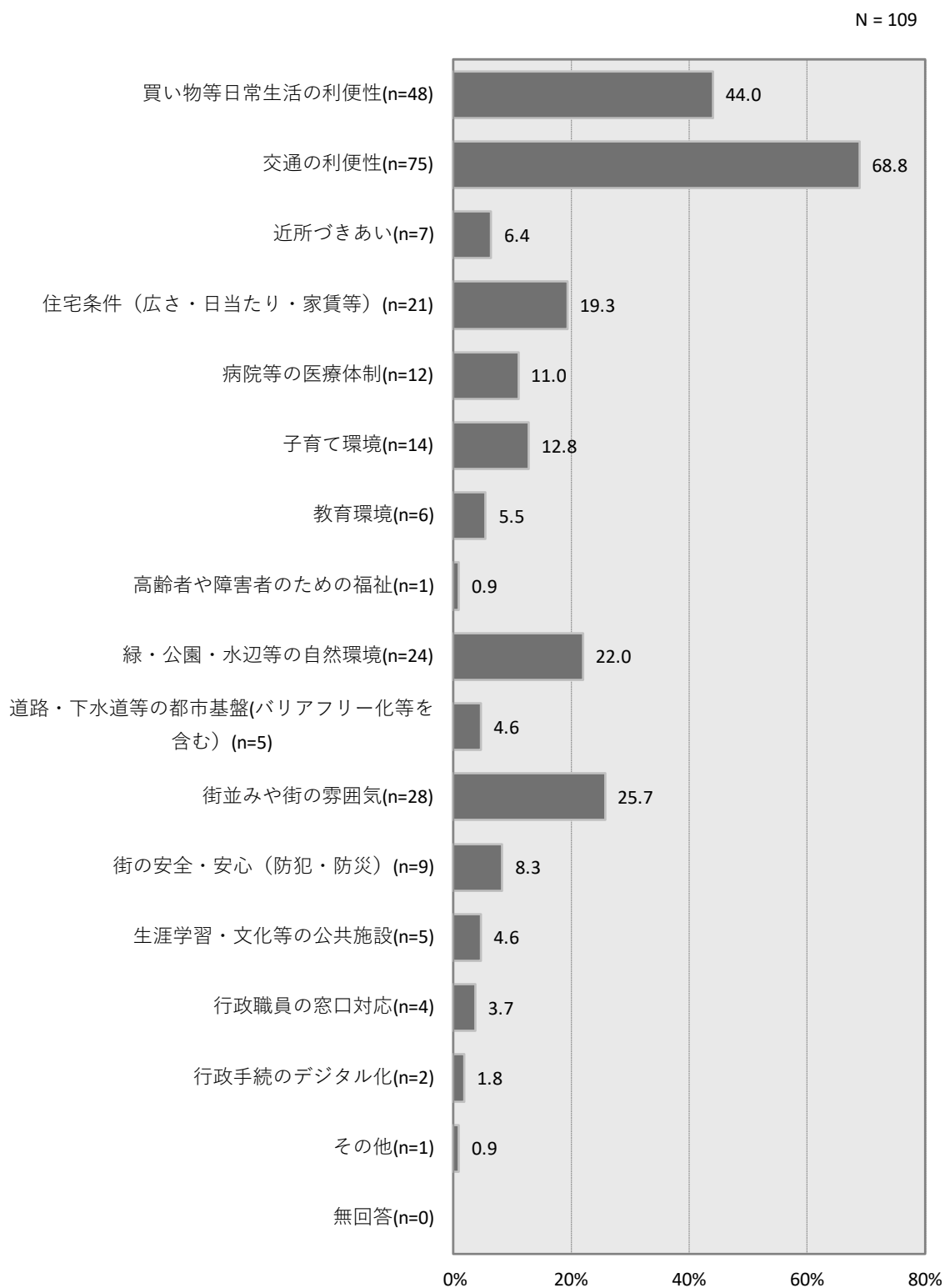
<地区別>



第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

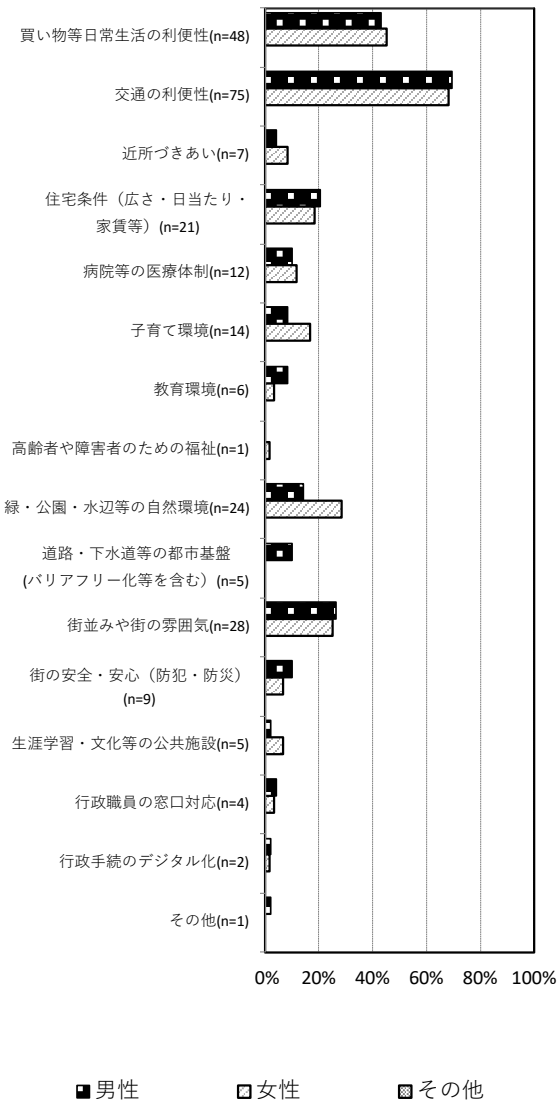
問 13 現在お住まいの自治体のよい点（複数回答形式）

- 「交通の利便性」が最多で 68.8%、次いで、「買い物等日常生活の利便性」が 44.0%、「街並みや街の雰囲気」が 25.7%となっています。



第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

＜性別＞

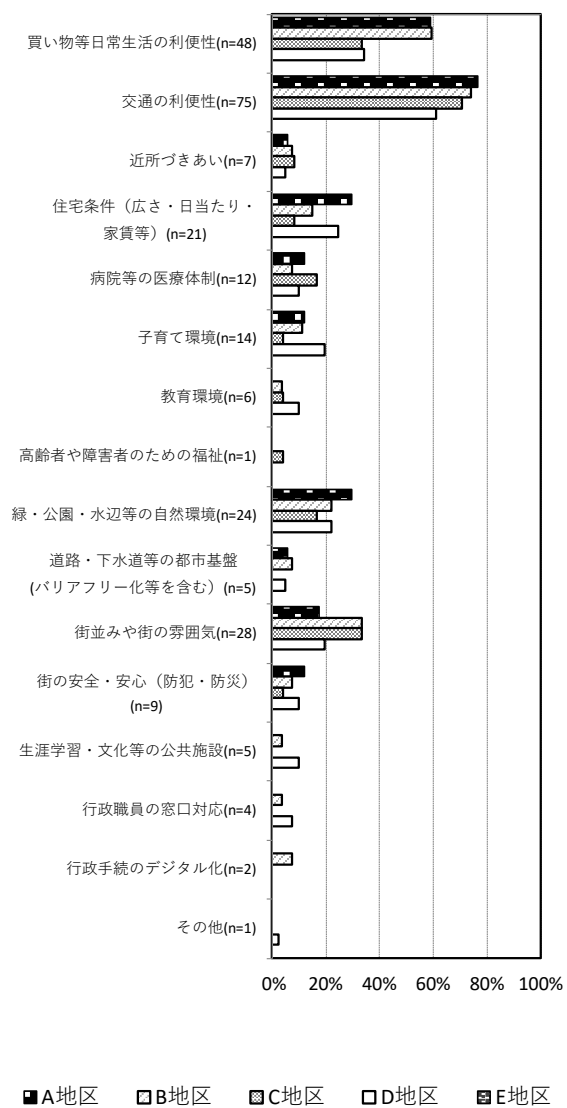


＜年齢別＞



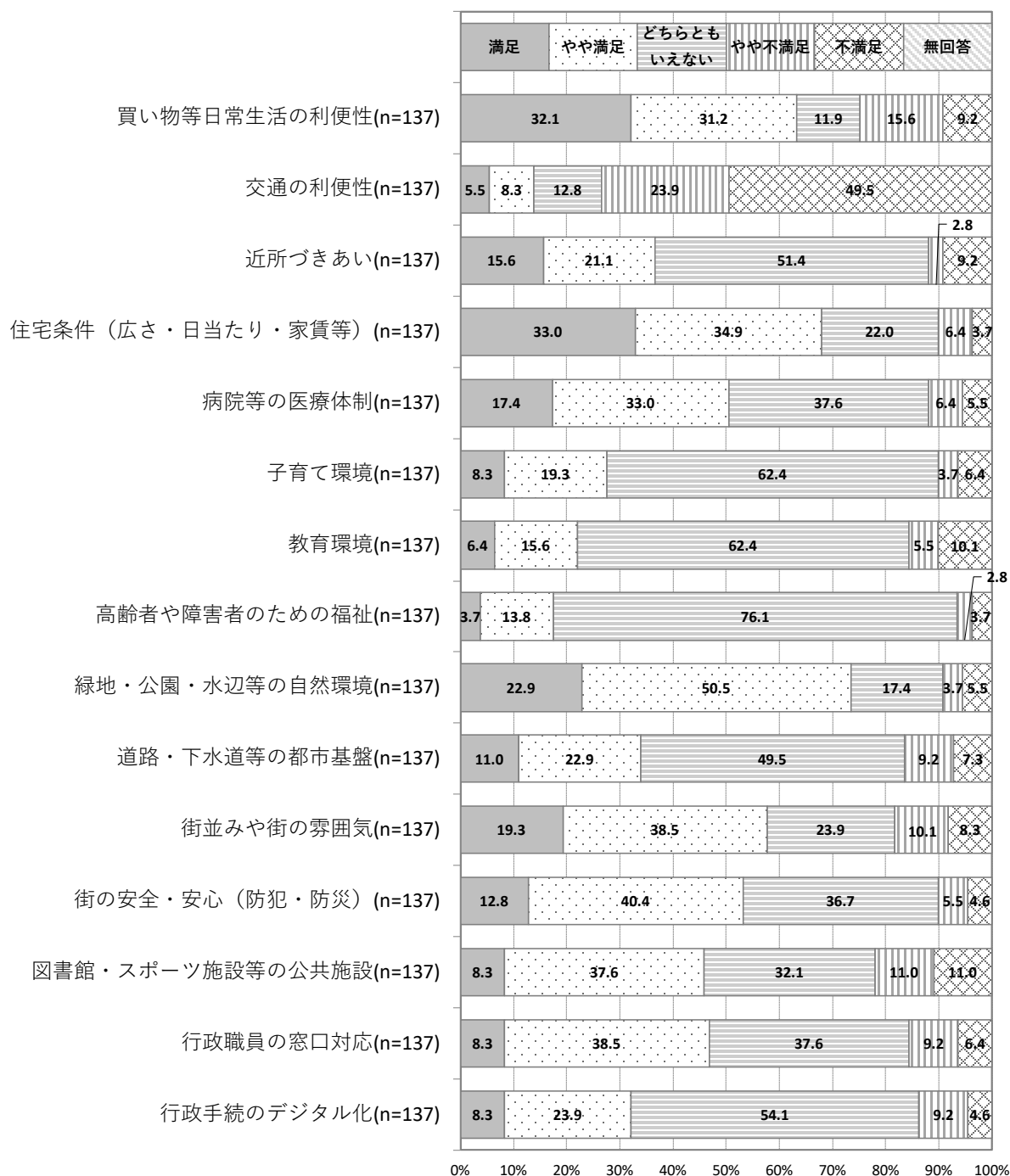
第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

<地区別>



問 14 武蔵村山市にお住まいになっていたとき、以下の各項目に対して、どのように思っていたか
（それぞれ単一回答形式）

- 「満足」と「やや満足」を合算したとき、「緑地・公園・水辺等の自然環境」が最多で 73.4%、次いで、「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）」が 67.9%、「買い物等日常生活の利便性」が 63.3%となっています。



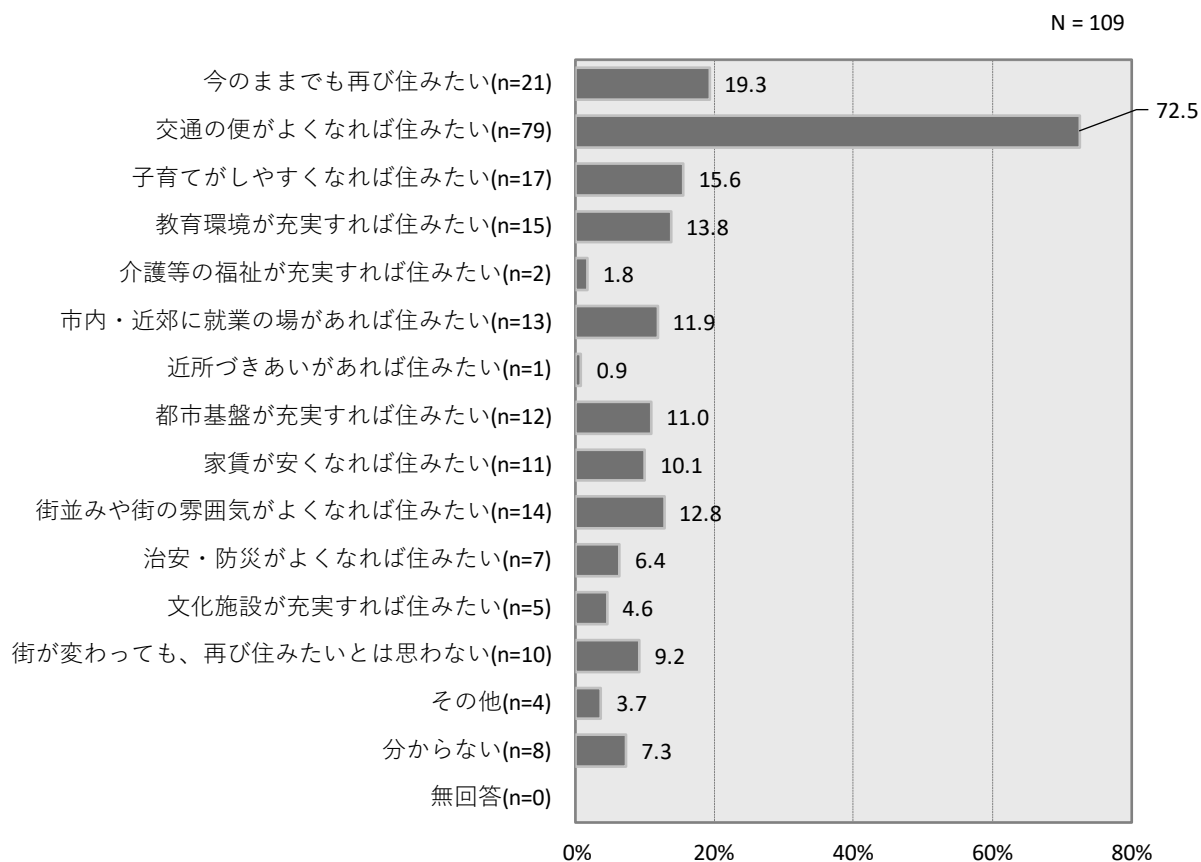
第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満足	不満足	無回答
買い物等日常生活の利便性	35 32.1	34 31.2	13 11.9	17 15.6	10 9.2	- -
交通の利便性	6 5.5	9 8.3	14 12.8	26 23.9	54 49.5	- -
近所づきあいへの満足度	17 15.6	23 21.1	56 51.4	3 2.8	10 9.2	- -
住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）	36 33.0	38 34.9	24 22.0	7 6.4	4 3.7	- -
病院等の医療体制	19 17.4	36 33.0	41 37.6	7 6.4	6 5.5	- -
子育て環境	9 8.3	21 19.3	68 62.4	4 3.7	7 6.4	- -
教育環境	7 6.4	17 15.6	68 62.4	6 5.5	11 10.1	- -
高齢者や障害者のための福祉	4 3.7	15 13.8	83 76.1	3 2.8	4 3.7	- -
緑地・公園・水辺等の自然環境	25 22.9	55 50.5	19 17.4	4 3.7	6 5.5	- -
道路・下水道等の都市基盤	12 11.0	25 22.9	54 49.5	10 9.2	8 7.3	- -
街並みや街の雰囲気	21 19.3	42 38.5	26 23.9	11 10.1	9 8.3	- -
街の安全・安心（防犯・防災）	14 12.8	44 40.4	40 36.7	6 5.5	5 4.6	- -
図書館・スポーツ施設等の公共施設	9 8.3	41 37.6	35 32.1	12 11.0	12 11.0	- -
行政職員の窓口対応	9 8.3	42 38.5	41 37.6	10 9.2	7 6.4	- -
行政手続のデジタル化	9 8.3	26 23.9	59 54.1	10 9.2	5 4.6	- -

上段:回答数 下段: %

問 15 武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいと思うか（複数回答形式）

- 「交通の便がよくなれば住みたい」が最多で 72.5%、次いで、「今のままだでも再び住みたい」が 19.3%、「子育てがしやすくなれば住みたい」が 15.6%となっています。

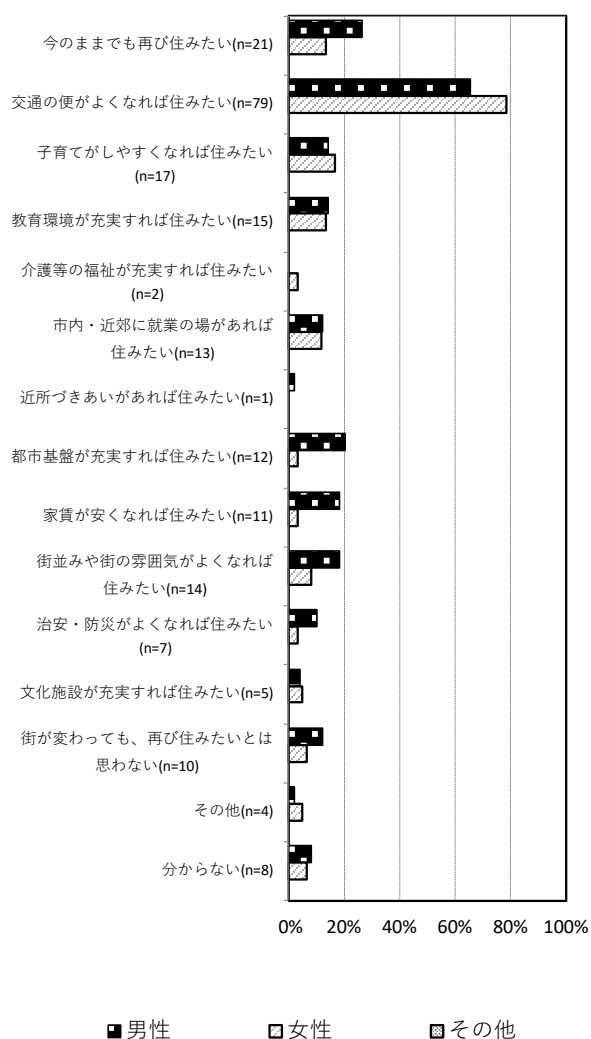


〈その他の回答〉

- ・ 自然がさらに多くなれば。
- ・ 住むことはない。
- ・ 米軍の飛行機が飛ばなくなれば住みたいと思う
- ・ きれいで駐車場のあ大きな公園がほしい。

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

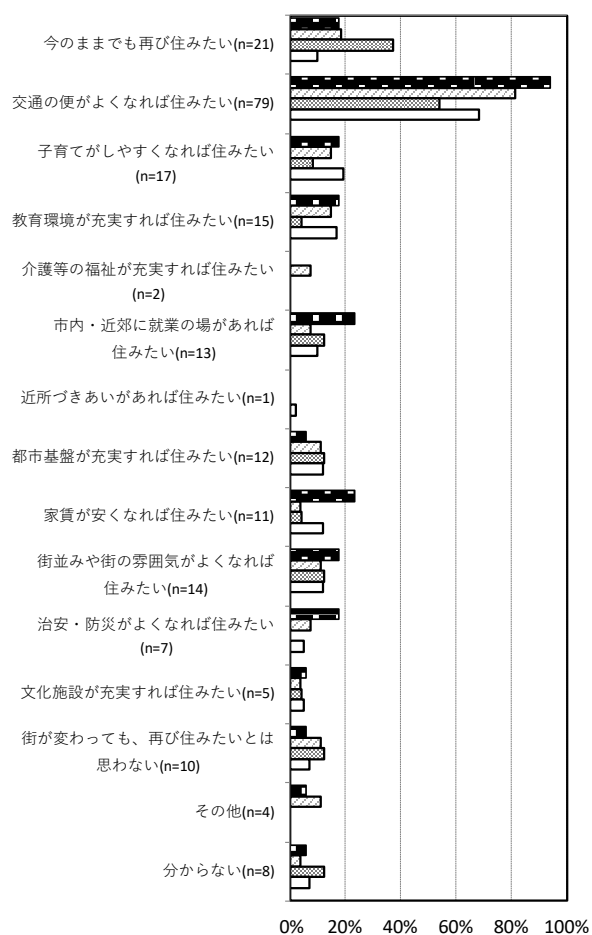
<性別>



<年齢別>



<地区別>



■A地区 □B地区 ▨C地区 □D地区 ▩E地区

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

問 16 武蔵村山市に住んでいた頃感じていたこと（自由回答形式）

施策体系別自由回答集計表

節	項目	件数
コミュニティ	地域コミュニティ	2
	交流	1
パートナーシップ	情報共有	0
	市民参加と協働	1
健康・医療	健康づくり	0
	医療・救急	0
	社会保障制度	0
福祉	地域福祉	0
	子ども・子育て支援	0
	高齢者福祉	0
	障害者福祉	0
	生活支援	0
暮らし	消費生活	0
	雇用	0
安全・安心	災害対策	1
	消防体制	0
	交通安全	0
	防犯対策	3
都市基盤	都市づくり	0
	道路	5
	住宅・宅地	0
	下水道	1
	廃棄物処理とリサイクル	1
地域交通	モノレール推進	32
	地域交通	9

節	項目	件数
人権	人権・平和	0
	男女共同参画	0
教育	学校教育	1
	生涯学習	0
	スポーツ・レクリエーション	0
文化	市民文化	1
	伝統文化・文化財	0
産業	農業	0
	商・工業	0
	観光	0
景観	都市景観	0
	水とみどりのネットワーク	0
環境	自然環境	4
	公園・緑地	2
	地球温暖化対策	0
	公害対策・環境美化	3
計画の推進	行政運営	0
	財政運営	1
	広域行政	0
その他		12
合計		80
回答者数		61

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

○A地区（中藤・神明・中央・本町）

性別	年齢	お住まいだった地域	自由意見
女性	30 歳代	中藤	交通の便が悪いためバスを利用していたが、MMシャトルの利便性が悪すぎて不便である。
男性	30 歳代	中藤	治安が不安（住宅街の街灯の少なさ）、道が極端に狭い、都心へのアクセスが比較的良い、市内循環バスが網羅的に市内の各地域を回っていないことが本当に不便（中藤地区は上北台から帰れないので、わざわざ玉川上水や東大和駅まで移動しなければならない。本当に不便）
女性	50 歳代	中藤	武蔵村山はとにかく交通の便の悪さがよくない。今の住まいは交通の便が良く買い物や病院に通うのも便利だ。子供が小さいうちは自然も多く、近所方も良い方で良かったのだが。
男性	40 歳代	中藤	新しいものは取り入れつつ地元ならではの良いものを残して欲しい、また残せる様にしないといけない。（渡辺酒造やかたくりの湯など）
男性	30 歳代	中藤	都心へのアクセスが不便だった。
女性	30 歳代	神明	駅が無く、バスも本数が少ないため交通に関しては非常に不便さを感じていた。コンビニでも駐車場がついていてそれなりに広いのは武蔵村山市のいいところではあるかと思う。
男性	30 歳代	本町	那珂市は必要なものは揃っていて、県庁所在地の水戸市にも車で 20～30 分で行け、都心にも 2 時間程度で行けるので、武蔵村山市と立川市の関係に近い。違いは那珂市では車は必須だが、武蔵村山市ではなくてもなんとかなる点。しかし、那珂市や周辺では信号や渋滞が少ない。
男性	20 歳未満	本町	新青梅街道沿いはバイクの音がうるさかった。
女性	40 歳代	本町	歩道橋がなくなって残念だった。公園があつたらいいと思った。
男性	20 歳代	本町	職場は武蔵村山のままなので、交通の便の改善が長年の課題のままだと感じており、自分が望む点でもある。
男性	20 歳代	本町	23 区外から区内になる努力を見せてほしい。

○B地区（三ツ木・岸・中原）

性別	年齢	お住まいだった地域	自由意見
男性	30 歳代	三ツ木	実家が武蔵村山市なので、いずれは二拠点生活を実施する。
女性	70 歳以上	三ツ木	道が狭く、自宅のあった場所は消防車も入れなかった。周りの家は広く敷地内で U ターンも出来るのに、接道する道は 4m ない狭い道で、計画道路は有るがいつ実施されるのか不明だ。
女性	50 歳代	三ツ木	不便過ぎる（生活する上で全て）。モノレールが通る計画がいつになるのかも分からない不安定な状況のまま会社が立ち退くことになった。
女性	20 歳代	三ツ木	自然がいい。
男性	50 歳代	三ツ木	都心へのアクセス、公共交通・道路環境の整備、日常の買い物の利便性（徒歩で可能）。
男性	40 歳代	三ツ木	不便だと思うほど不便じゃないと思う。

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

性別	年齢	お住まいだった地域	自由意見
女性	20 歳代	三ツ木	交通の便が悪い。車がないといかなる用事も済ませられない。駅までは運賃の高いバスを利用するしかない。通勤、通学には不便すぎる立地。都心へ出るのだけでも時間がかかる。ただ、自然が豊かで過ごしやすい町であった。
男性	20 歳代	三ツ木	駅が身近にないので、交通の面では不便さを感じていた。その点逆に、現在住んでいる場所と比べ人が少ないため、ベッタウンの良さも感じる。
男性	30 歳代	三ツ木	公園が整備されていない。草ぼーぼー、遊具の劣化。渋滞が多いので、右左折レーンが欲しい。
男性	30 歳代	岸	モノレールを早く延伸開業してほしい。
男性	50 歳代	岸	住民税が高い。
女性	20 歳代	岸	電車が通るようになるといい。山がなくて開けていてどこでもすぐ行けたのでよかった。道がわかりやすくてよかった。支援センターや児童館もう少し先生との関わりがあるといい。
男性	30 歳代	岸	やはり交通の利便性が欲しいところ。
女性	40 歳代	岸	里山はこのまま大切に保存して行ってほしい。なら枯れも一層の対策をして行ってほしい。米軍の飛行機が住宅の上を飛ぶこと、付随しての騒音がある限り、また住みたいとは思えない。
女性	40 歳代	中原	飛行機がうるさい。
女性	20 歳代	中原	生まれてから 27 歳まで武蔵村山市に住んでいた。中高一貫に通っていたため、中学時代から感じていたことは交通の便が悪いことだった。中学高校時代は毎朝父親に昭島駅まで送って貰っていたため、高校を卒業するまではそこまで不満を抱いていなかったが、大学以降自分で駅まで行くことになってからはバスで 30 分かかる自分の家の立地にメリットを感じたことはなかった。自分で運転して学校や職場に行くとしても飲み会に参加できないなどのデメリットがあった。結婚して家を出る時は必ず駅に近い場所に住もうと決めていたため、武蔵村山市を居住地として選択することはなかった。わたしの両親はこの先も武蔵村山市に住む予定なので、今後育児や介護の際に不便を感じることはあると思う。ただ、2030 年中頃にモノレールが走るという話も伺っているので、現状よりも住みやすくなると嬉しいと思っている。

○C 地区（三ツ藤・伊奈平・残堀）

性別	年齢	お住まいだった地域	自由意見
男性	50 歳代	三ツ藤	武蔵村山は良い所だ。
男性	50 歳代	三ツ藤	通勤通学に不便。最寄駅にバスですらいけないのはあり得ない。
女性	30 歳代	三ツ藤	最寄り駅までバスを利用しなければならないことがとにかく億劫だった。職場が新宿だが、バス・電車の利用で片道一時間半弱かかり、疲れた。
女性	50 歳代	三ツ藤	駅がない上、バスが便も元々少なかったのに更に減数した。三ツ藤からの武蔵砂川駅行きのバスが無くなったのも不満だった。

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

性別	年齢	お住まいだった地域	自由意見
女性	50 歳代	三ツ藤	車が無ければ住めない。都心に行かなきゃならないとき困る。
女性	20 歳代	三ツ藤	最寄り駅まで自転車 30 分かかることにストレスを感じていた。
女性	30 歳代	三ツ藤	家周辺の環境はとても静かで落ち着いて生活できた。ただ車だと便利な街だが、新青梅街道は常に交通量が多く、通勤などでは到着時間が読めないところがやや不便だった。電車が通っていたら住み続けていたと思う。
男性	50 歳代	伊奈平	住み始めた頃は何も無いと思ったけど、周りに大型ホームセンターやショッピングモールができるなど、急に住みやすくなったと思う。色々な事情で離れたけど、また住みたい場所でもある。
女性	30 歳代	伊奈平	住みやすい地域だったと思う。
女性	20 歳代	残堀	ショッピングモールやスーパー・ドラッグストアが近くにあったのが便利だったが、交通関係がすごく不便だった。バスの本数も少ないので、自転車や車がないと移動が大変だった。場所によっては街灯が少なく、夜怖かった。便利で安心できる街になるといいと思う。
女性	20 歳代	残堀	イオンモールはいいところだった。
男性	50 歳代	残堀	子供の頃から武蔵村山市に住んでいたことが多かったため、あまり悪い印象はないのですが、移動にはマイカーを利用することが多く、電車やモノレールなどがあれば、もっと住みやすいと感じていた。
男性	20 歳未満	残堀	駅がないため行動範囲が狭まった。
女性	50 歳代	残堀	若い人への支援が薄いので出来る事なら、戻りたいが何もかもなくなった。仕方ないしどうしようもない。

○D地区（榎・学園・大南）

性別	年齢	お住まいだった地域	自由意見
女性	50 歳代	榎	静かで買い物もあちこちにスーパーやイオンがありその点では便利で住みやすかった。だが、やはり交通の便がとにかく悪くペット可の物件を探すのと子供達の通勤のしやすさを考えると武蔵村山市から引越すという選択肢しかなかった。現在の住まいは駅近くのため、何かと便利だ。ですが防犯とか安全面でいうと武蔵村山市の方が住みやすい街だと思う。
女性	30 歳代	榎	武蔵村山市は車があれば便利なところだと思う。今住んでいるところはゴミ袋の決まりはないためとてもありがたい。
女性	30 歳代	学園	モノレールが通るなどの話を昔聞いたことがあったが今はどうなっているのか。とてもいい街だと思うが、交通の便が悪くて出ざるを得なかった。
女性	50 歳代	学園	近いのに遠いと通勤時間に感じていた。子供が多くて面倒なので、1 日でも早く転出したいと思っていた。
男性	20 歳未満	学園	祭の規模がコロナ禍の後では縮小してしまった印象がある。以前の規模に戻す、またそれ以上に発展させ、市民にも市に関心を持ってもらうことが大切であると思った。市に関心を持ってもらうことで、行政の政策にも理解、協力が得られるのではと思う。

第3章 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）

性別	年齢	お住まいだった地域	自由意見
女性	40 歳代	学園	交通の便はイマイチだったが、買い物は不自由なくよかった。小学校が近く、児童も多くなくてアットホームな感じでよかったと思う。現在住んでいるところは子供の医療費がかからないところが良い点だ。
女性	30 歳代	学園	お買い物もしやすくよかった。イオンまでのバスの本数を増やしてもらえたらいいと思う。
女性	20 歳代	学園	バスの路線や本数、時間帯、値段の改善があればいいと思う。
女性	30 歳代	学園	今のところに住んでから幼稚園の月謝が3分の1になった。インフルエンザの予防接種も無償で受けられ助かっている。図書館が広くて綺麗のため、行く事も増え、こども達も本をたくさん読んでいる。
女性	20 歳代	学園	都内の学校、職場に行くまでがとても大変だった。
女性	30 歳代	学園	最寄駅までが遠いと思った。多摩モノレールの駅が早くできてほしい。
男性	30 歳代	大南	自然豊かな町なので大好きだ。交通の利便性がもっと良くなればいいと思う。バスの増便など。
男性	40 歳代	大南	駅が無いのは非常に不便。都内に仕事に出て住んでいる所を聞かれた時に東村山と一回間違えられて説明するのがめんどくさい。住所を書く時、字数が多くめんどくさい。都内に行くのに非常に不便。自慢できるスポットや印象的なところがない。土地の値段が上がらない所がすごく嫌だった。
男性	20 歳代	大南	ガスや下水道整備等のインフラの整備が行き届いていないのが困った。都市ガスは隣の市は行き届いているのにこちらにはごく一部しかなく、雨水は地面にしみこませるタイプのため、近隣の道路は頻繁に冠水している。すでに改善要望をしていたのだが、冠水対策のために土嚢が配布された程度で根本的解決には至っていない。地震などの大災害と組み合わせると市民の命に危険が及ぶので、早急に改善すべきだと思う。
男性	60 歳代	大南	近所付き合いも気持ち良く過ごさせて頂いていた。モノレールが開通し交通の面でもっとよくなる事を望む。
女性	20 歳代	大南	交通の便が悪い、就業先が少ない、スーパーの営業時間が短い、駅周辺になにもない。
女性	30 歳代	大南	勤め先から遠い（通勤に時間がかかる）以外はとても住みやすかった。大きな商業施設やスーパーもちょうど良くあり、雰囲気も好きだった。
男性	30 歳代	大南	一日中鳥の餌やりをして周りに迷惑をかけている人たちをほっておく市の怠慢さが許せない。
男性	30 歳代	大南	教育関係の施設の充実・イオン周りの施設の充実・立川市との交通の利便性。モノレールを早く通してほしい。

第4章 子ども意見の聴取

第1編 調査の概要

1. 調査目的

武蔵村山市第五次長期総合計画後期基本計画の策定に当たり、武蔵村山市立の学校に在学している小学校3年生から中学校3年生までを対象に、市に対するイメージや好きな点、改善してほしい点などについて意見を伺い、後期基本計画策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査対象及び回収数

調査名	概要	回収数
小・中学生アンケート	武蔵村山市立の学校に在学している小学校3年生～中学校3年生を対象とした	965

3. 調査票の配布・回収方法及び調査の実施時期

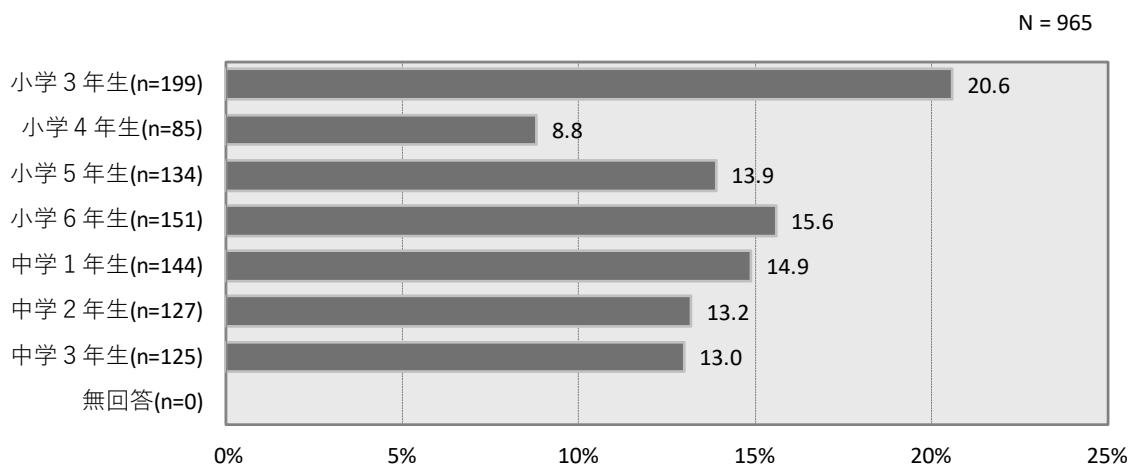
- ①調査票の配布・回収方法：回答用のQRコードを印刷したチラシ（計5,000部）を市内の各学校へ配布・Webを通じての回収
- ②調査実施時期：令和6年7月8日（月）～7月19日（金）

第2編 子ども意見の聴取結果

1. あなた（回答者）自身について

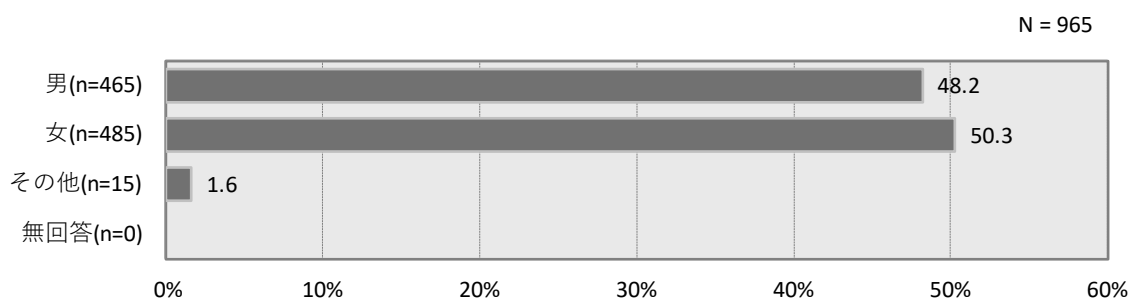
問1 学年（単一回答形式）

- 「小学3年生」が最多で20.6%、次いで、「小学6年生」が15.6%、「中学1年生」が14.9%となっています。



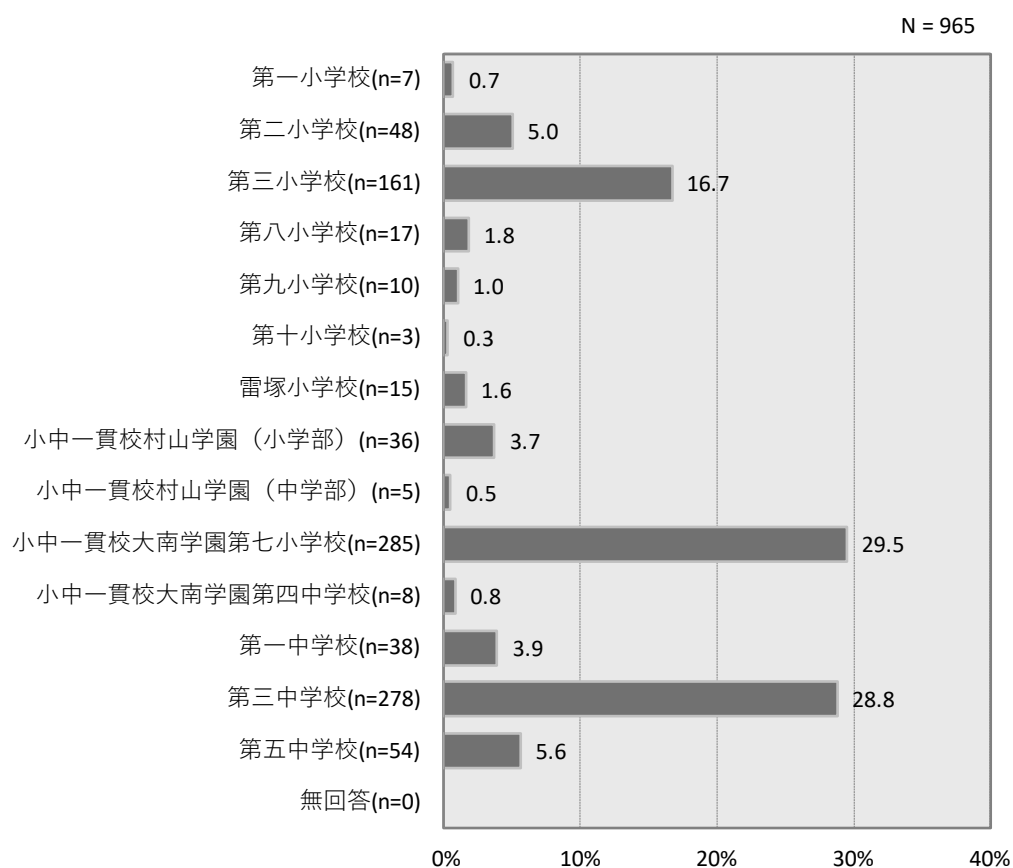
問2 性別（単一回答形式）

- 「男」が48.2%、「女」が50.3%、「その他」が1.6%となっています。



問3 学校について（単一回答形式）

●「小中一貫校大南学園第七小学校」が最多で29.5%、次いで、「第三中学校」が28.8%、「第三小学校」が16.7%となっています。



※1：大量の文章データ（テキストデータ）から、有益な情報を抽出する分析手法のこと。

264

<上位の単語のランキング>

順位	単語	回数
1	自然	340
2	豊か	199
3	田舎	146
4	多い	129
5	駅	71
6	楽しい	56
7	たくさん	55
8	いっぱい	52
9	優しい	51
10	人	45
11	緑	43
12	公園	34
13	少ない	32
14	電車	31
14	市	31

順位	単語	回数
16	場所	27
17	みんな	25
18	所	24
18	多く	24
18	イオン	24
21	静か	23
21	不便	23
23	都会	21
24	住みやすい	20
25	平和	19
26	あまり	16
27	何	15
27	とても	15
27	きれい	15
27	思い	15

<上位の単語ペアの分析>

順位	単語ペア	回数
1	豊か / 自然	177
2	多い / 自然	49
3	いっぱい / 自然	29
4	たくさん / 自然	21
5	人 / 優しい	19
6	多い / 人	14
6	都会 / 田舎	14
8	緑 / 豊か	13
9	みんな / 優しい	12
10	多く / 自然	11
11	緑 / 多い	10

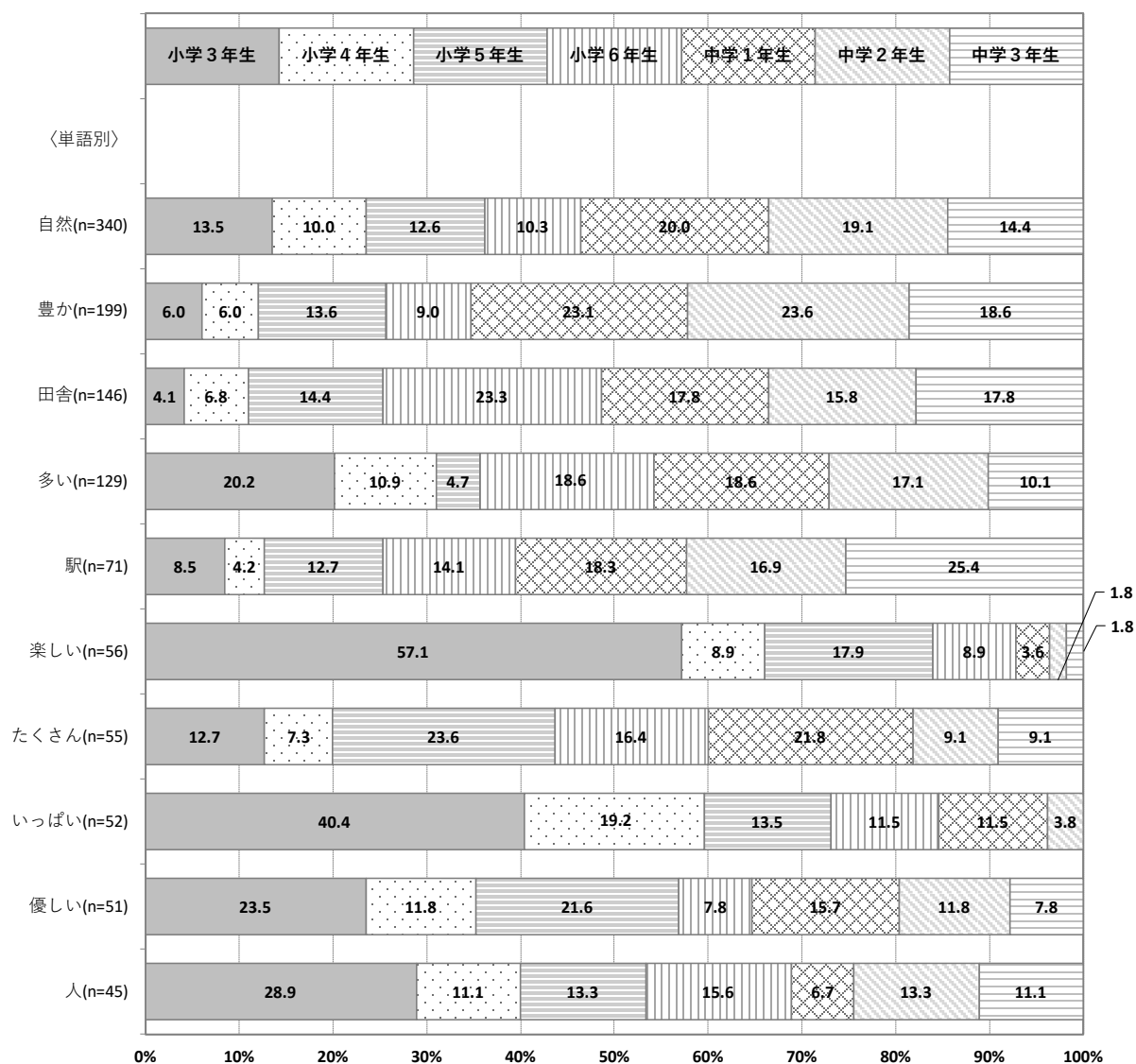
順位	単語ペア	回数
12	公園 / たくさん	8
12	知名度 / 低い	8
14	公園 / 多い	7
14	無い / 駅	7
14	通 / 電車	7
17	多く / 緑	6
17	田舎 / 自然	6
19	みんな / 豊か	5
19	不便 / 駅	5
19	市 / 豊か	5
19	田舎 / 豊か	5

<多く見られた単語の回答（抜粋）>

多く見られたワード	回答内容
自然	自然が多い
	自然がいっぱい。ほのぼのしている。
	自然がたくさんある
豊か	自然豊かでいいところ
	自然豊か。優しい人が多い
	自然が豊かな奇麗なところ
田舎	少し田舎でとても平和な町
	そこそこの田舎
	自然が豊か。優しい市。田舎よりの都会。

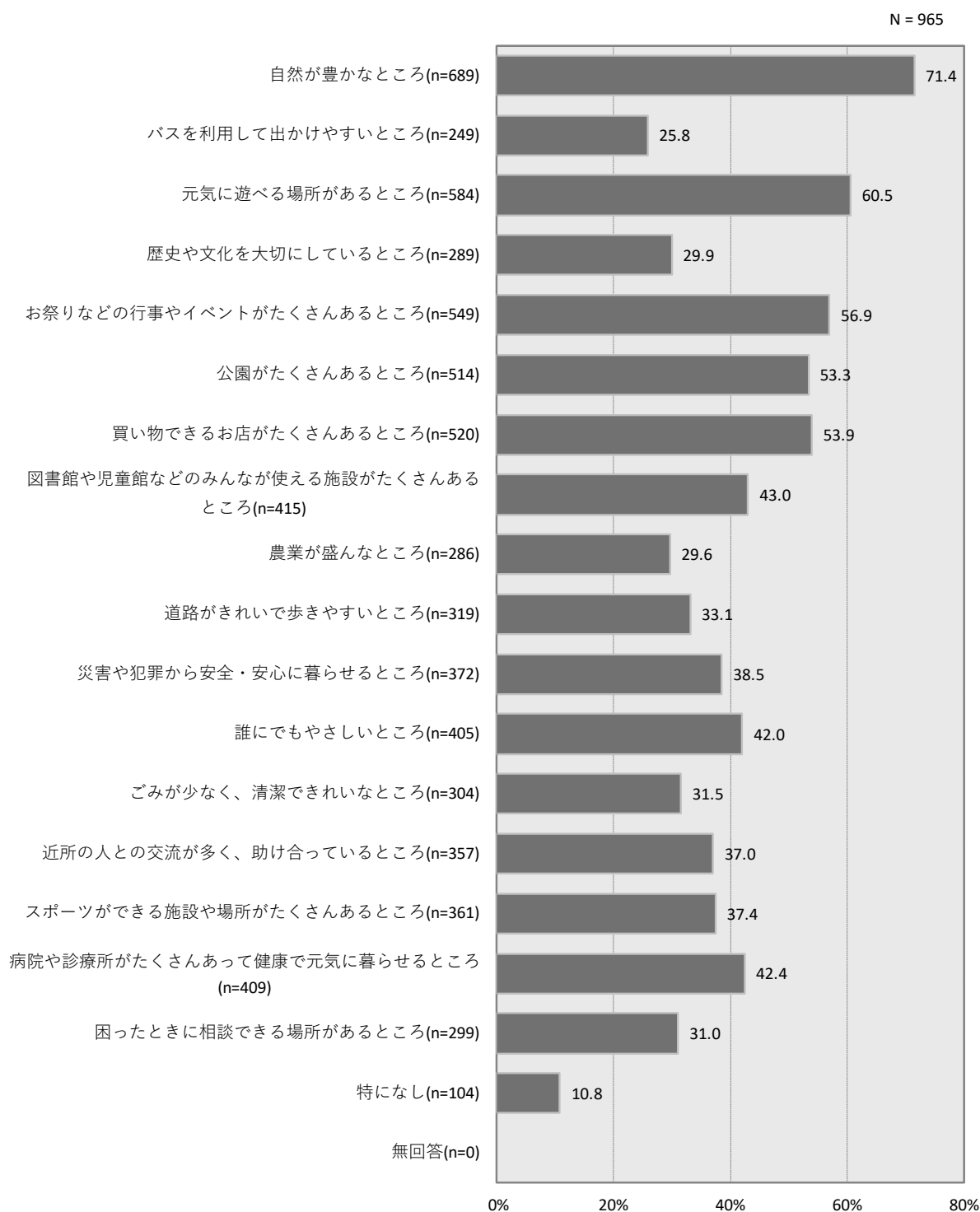
第4章 子ども意見の聴取

＜単語ごとの学年比＞



問5 武蔵村山市の好きな点（複数回答形式）

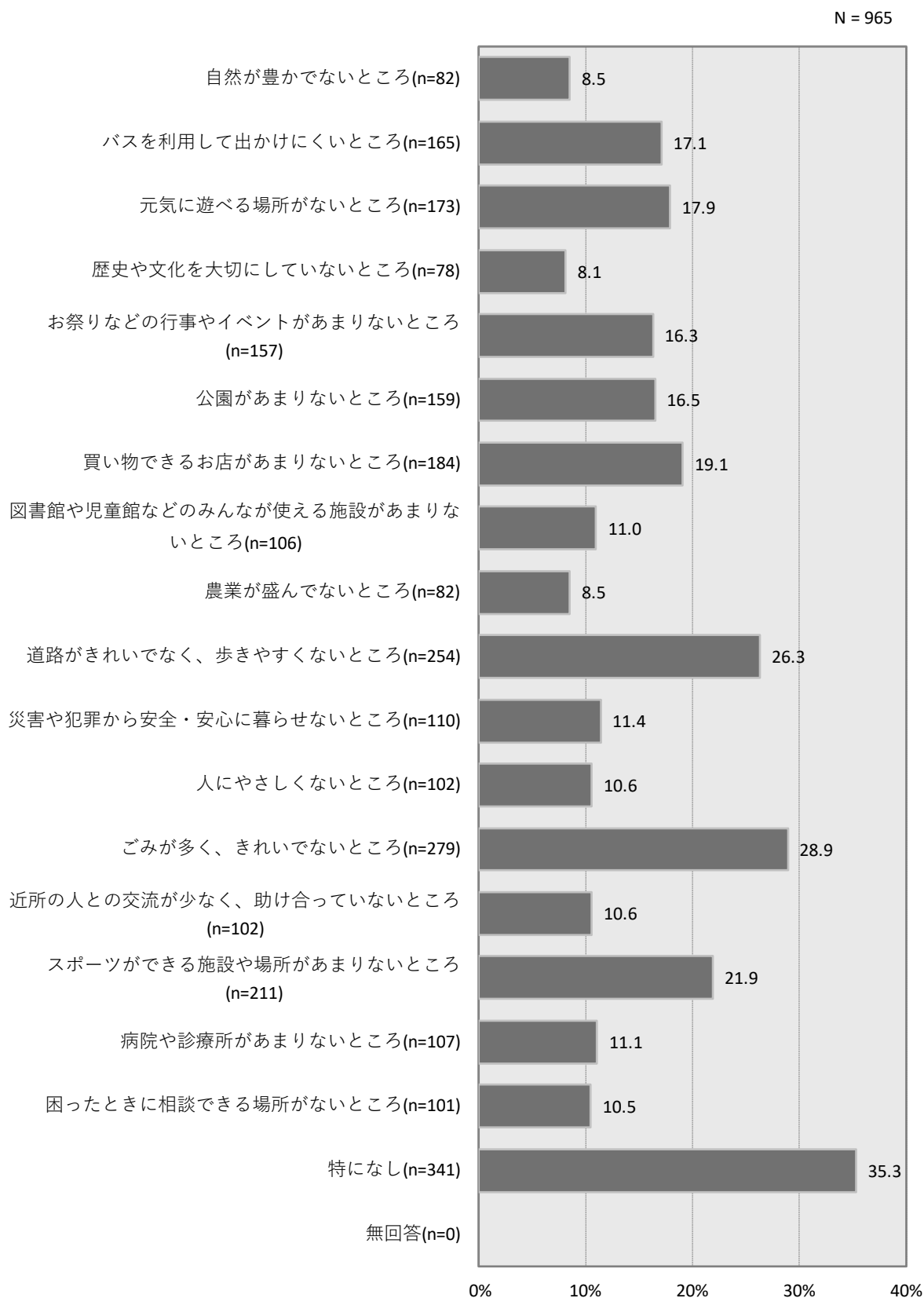
●「自然が豊かなところ」が最多で71.4%、次いで、「元気に遊べる場所があるところ」が60.5%、「お祭りなどの行事やイベントがたくさんあるところ」が56.9%となっています。



第4章 子ども意見の聴取

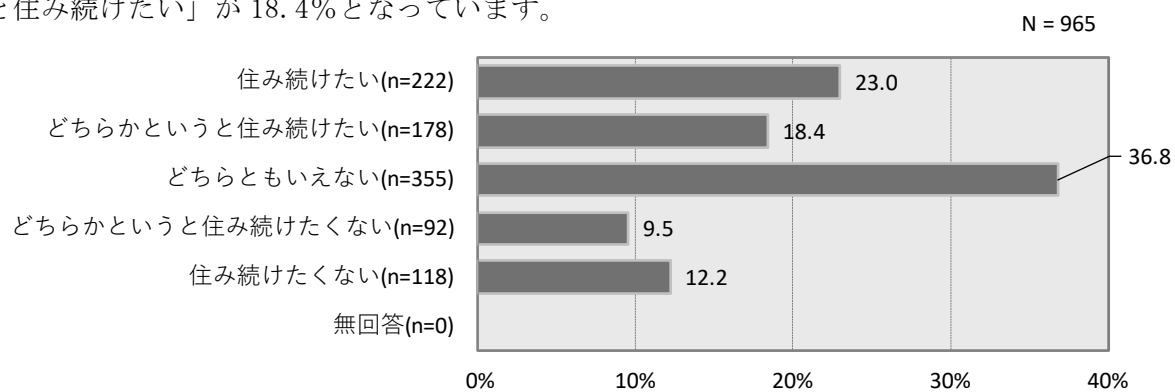
問6 武蔵村山市の改善してほしい点（複数回答形式）

●「特になし」が最多で35.3%、次いで、「ごみが多く、きれいでないところ」が28.9%、「道路がきれいでなく、歩きやすくないところ」が26.3%となっています。

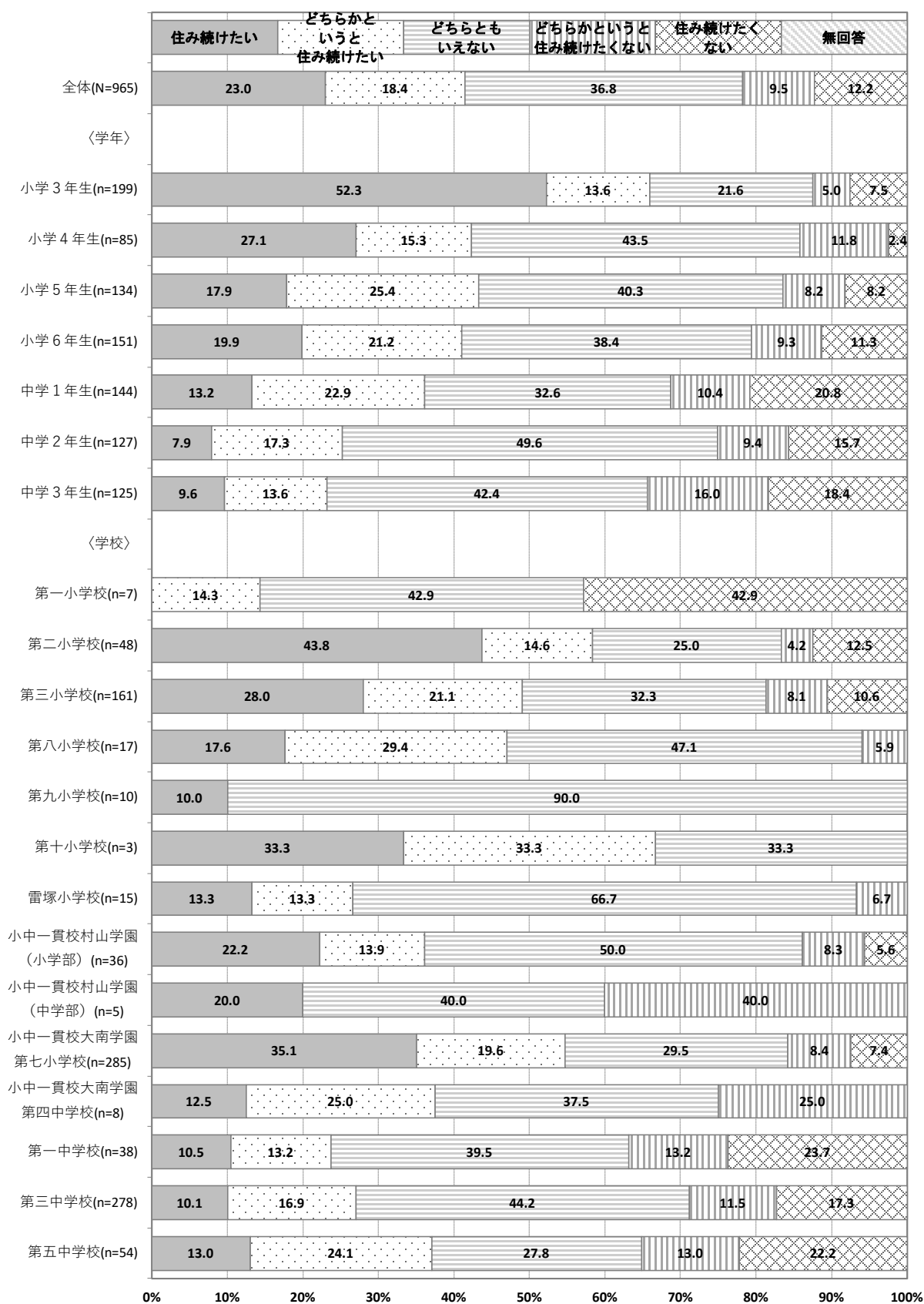


問7 将来も武蔵村山市に住みたいか（単一回答形式）

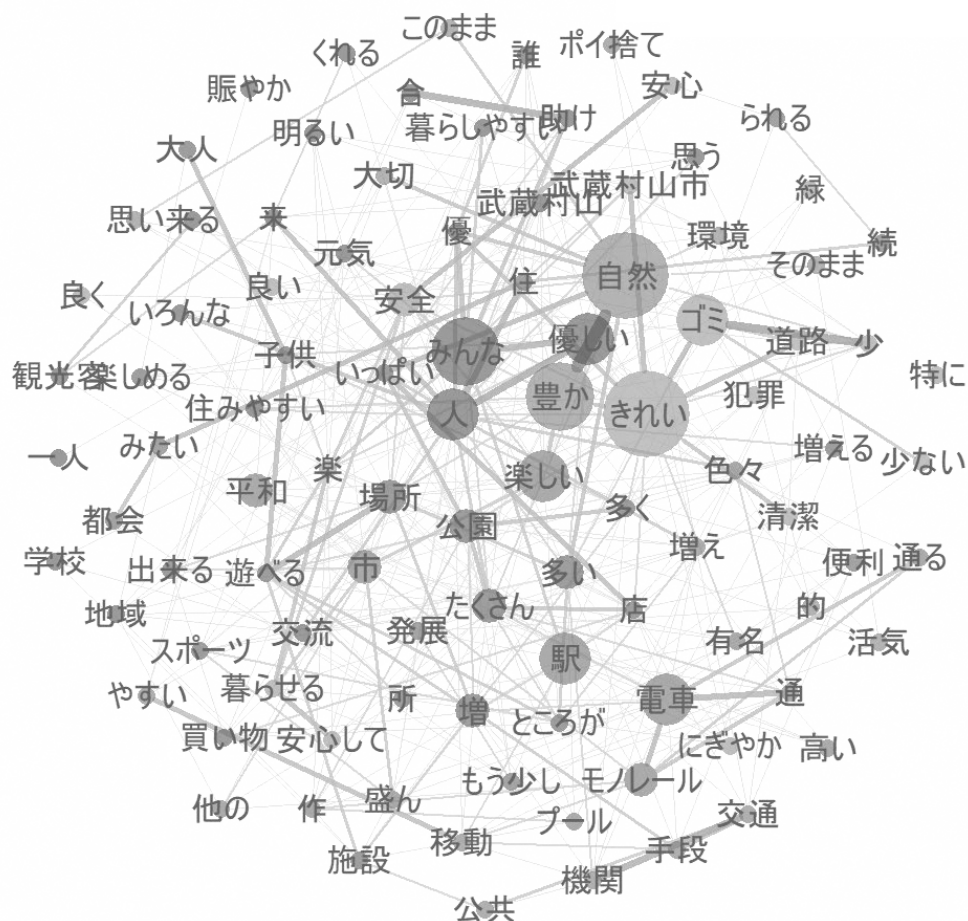
- 「どちらともいえない」が最多で36.8%、次いで、「住み続けたい」が23.0%、「どちらかというに住み続けたい」が18.4%となっています。



第4章 子ども意見の聴取



- ### ＜共起ネットワーク分析＞



271

第4章 子ども意見の聴取

＜上位の単語のランキング＞

順位	単語	回数
1	きれい	102
2	自然	89
3	みんな	71
4	豊か	67
5	人	62
6	駅	59
7	優しい	52
8	ゴミ	51
9	楽しい	46
10	電車	45
11	市	38
12	公園	34
12	多い	34
14	場所	32
14	たくさん	32

順位	単語	回数
16	安全	30
17	増	28
18	平和	26
18	モノレール	26
20	いっぱい	25
20	交通	25
22	都会	24
23	住みやすい	23
23	遊べる	23
23	子供	23
23	楽	23
27	住	20
28	武蔵村山市	19
28	所	19
28	犯罪	19

＜上位の単語ペアの分析＞

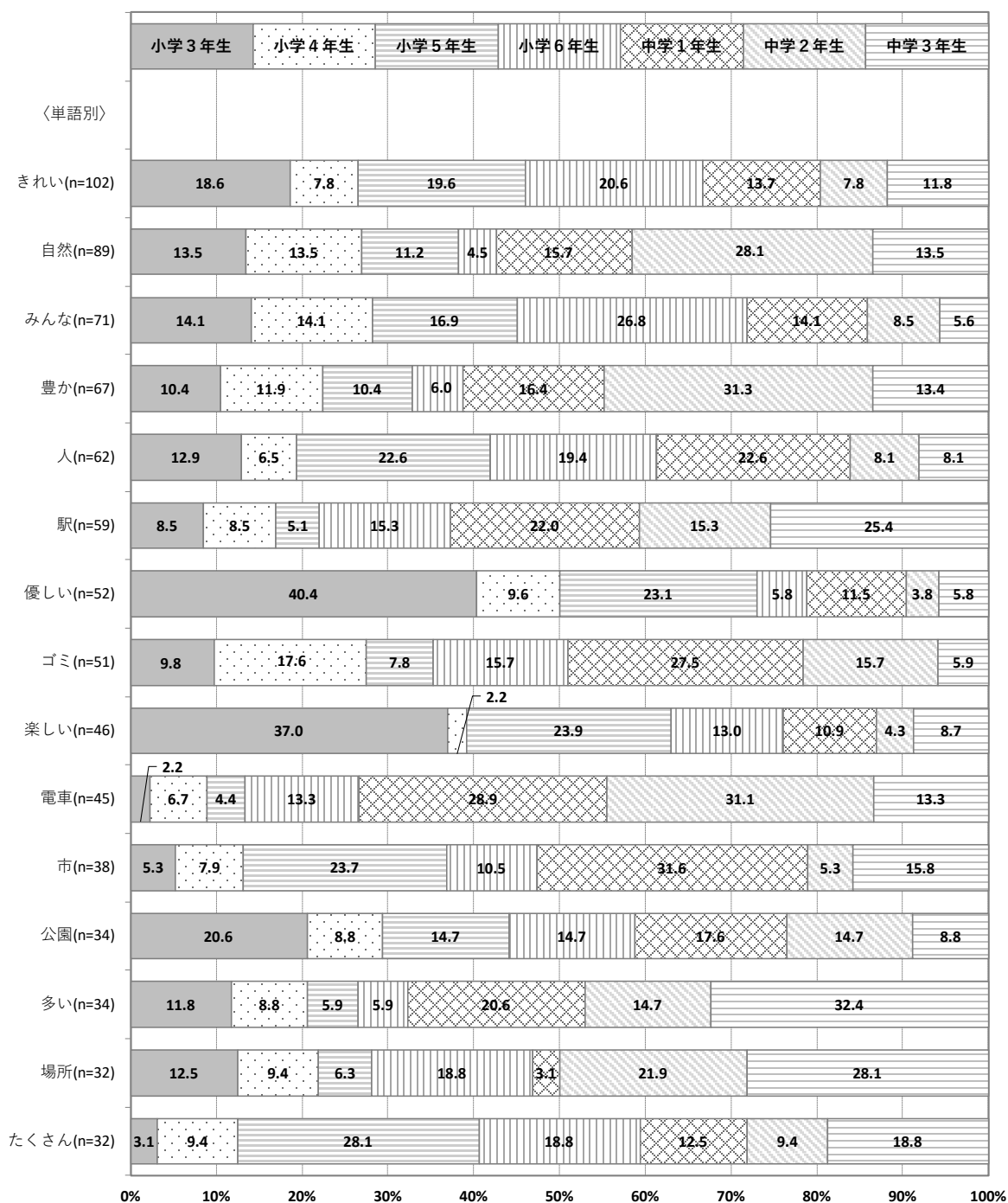
順位	単語ペア	回数
1	自然 / 豊か	47
2	少 / ゴミ	14
3	優しい / 人	11
4	合 / 助け	10
5	機関 / 交通	9
6	人 / 住	8
6	優しい / みんな	8
8	場所 / 遊べる	7
8	通 / 電車	7
10	いっぱい / 自然	6
10	ゴミ / きれい	6
10	みたい / 住	6
10	モノレール / 電車	6

順位	単語ペア	回数
10	便 / 交通	6
10	安心 / 安全	6
10	武蔵村山市 / きれい	6
17	やすい / 移動	5
17	優 / みんな	5
17	大人 / 子供	5
17	子供 / 遊べる	5
17	店 / いっぱい	5
17	手段 / 交通	5
17	暮らせる / 安心して	5
17	来 / 人	5
17	道路 / きれい	5

＜多く見られた単語の回答（抜粋）＞

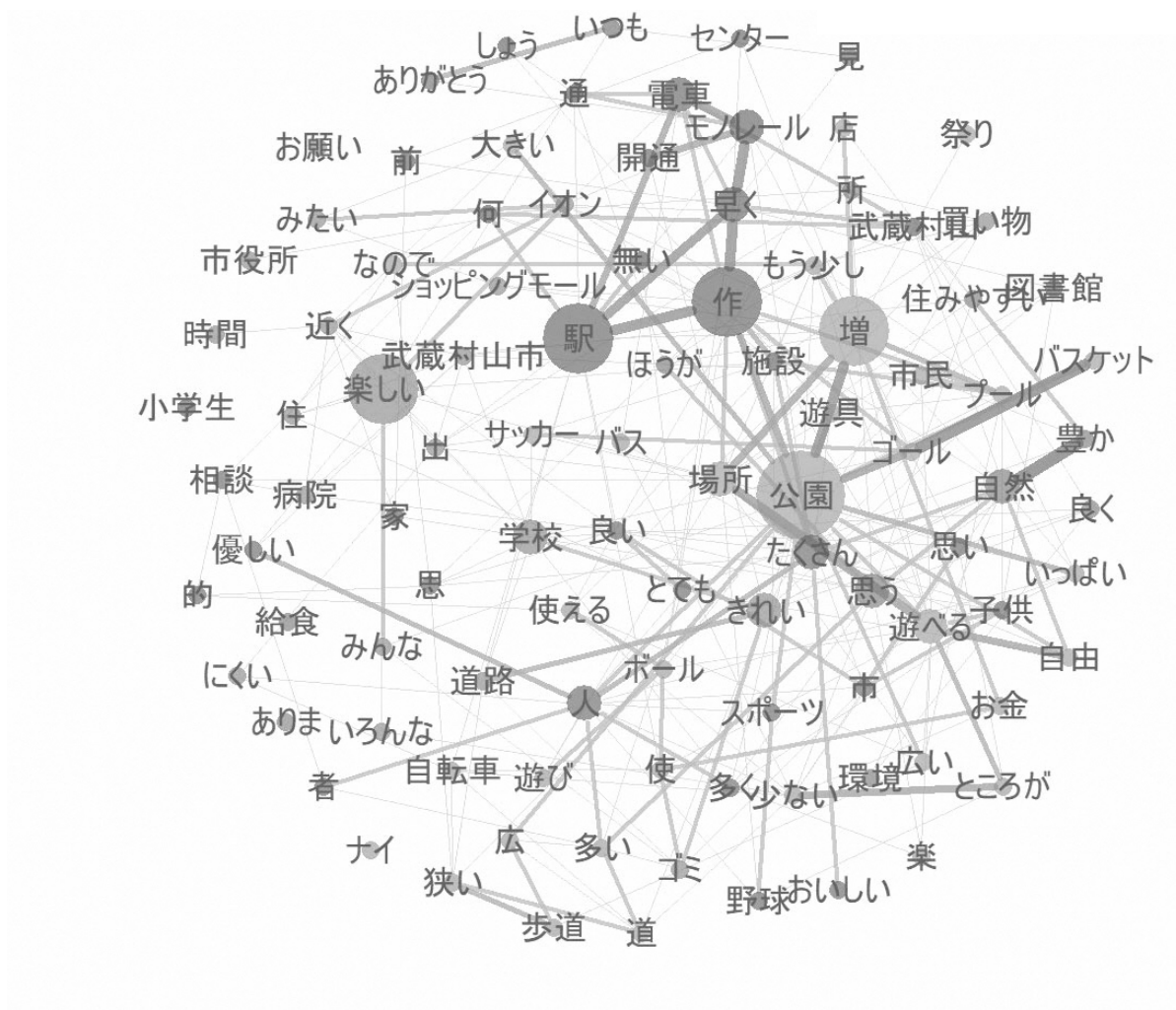
多く見られたワード	回答内容
自然	自然がいっぱいで助け合いができる町
	自然を生かせるまち
	観光客が来る町
	自然を保ちつつも電車などが通っている便利なまち
豊か	ごみを少なくして自然豊かになってほしい
	いろんな果物を盛んにする
	もっと自然が豊かな町になってほしい
	明るく、活発的であるけど、自然が豊かな武蔵村山市になってほしい
駅	駅が家の前にできて欲しい
	駅があるまち
	駅があって住みやすい治安のいいところ

＜単語ごとの学年比＞



問 9 武蔵村山市に対しての自由な意見（自由回答形式）

＜共起ネットワーク分析＞



<上位の単語のランキング>

順位	単語	回数
1	公園	65
2	楽しい	52
3	増	47
4	駅	43
4	作	43
6	モノレール	29
7	電車	24
7	きれい	24
9	自然	23
9	人	23
11	遊べる	21
12	早く	20
12	場所	20
14	たくさん	19
15	学校	18

順位	単語	回数
15	思う	18
17	武蔵村山市	16
17	思い	16
19	武蔵村山	15
19	ゴール	15
19	子供	15
22	イオン	14
22	豊か	14
22	多い	14
22	ゴミ	14
26	市	13
26	近く	13
26	施設	13
26	ありま	13
26	プール	13

<上位の単語ペアの分析>

順位	単語ペア	回数
1	豊か / 自然	11
2	ゴール / バスケット	9
3	モノレール / 早く	7
3	作 / 早く	7
3	作 / 駅	7
3	増 / 公園	7
7	早く / 駅	6
8	ゴール / 公園	5
8	モノレール / 電車	5
8	場所 / 遊べる	5
11	お願い / よろしく	4
11	コンビニ / 増	4
11	公園 / 作	4

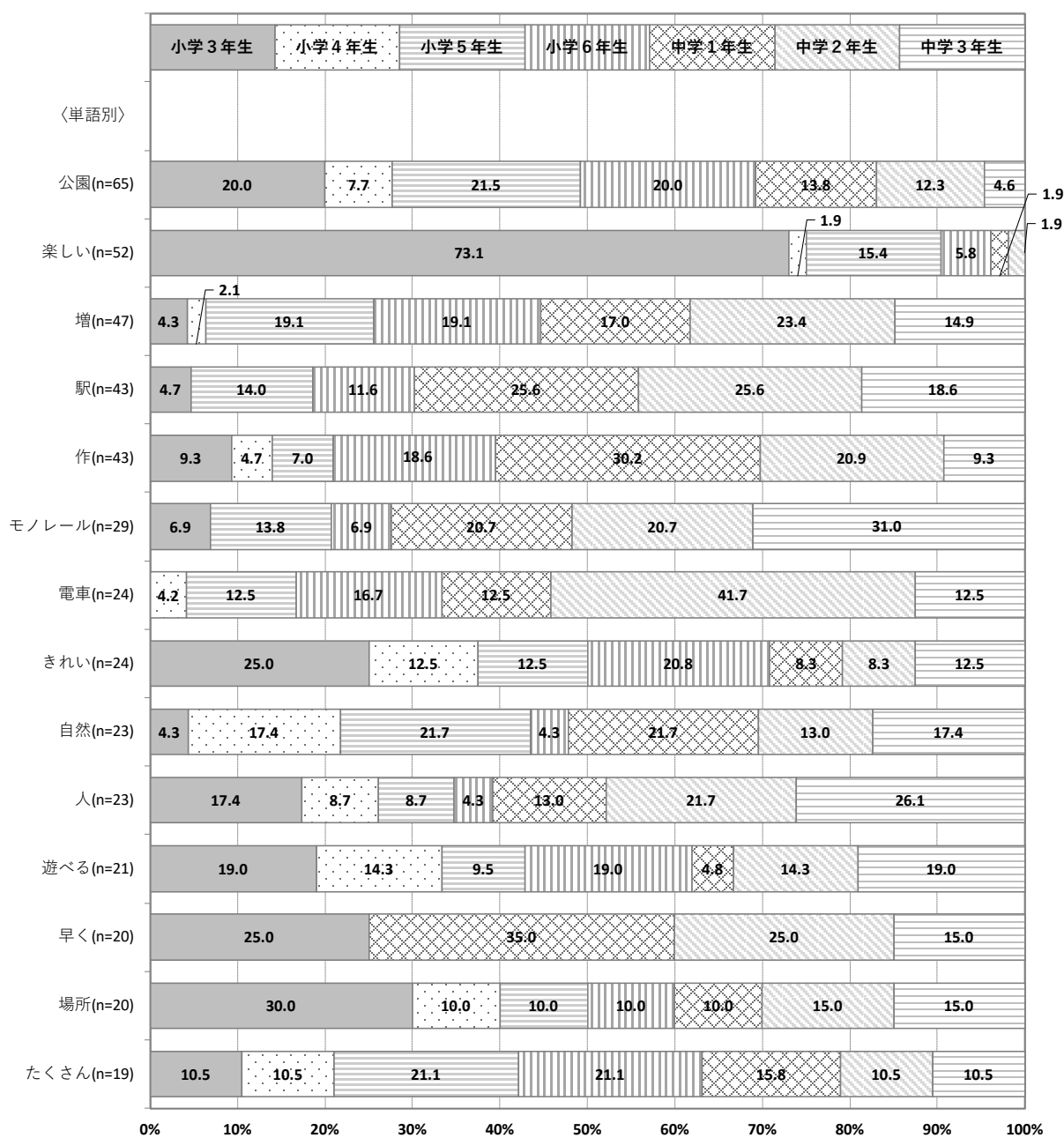
順位	単語ペア	回数
11	場所 / 増	4
11	少ない / ところが	4
11	自由 / 遊べる	4
11	開通 / モノレール	4
11	電車 / 駅	4
19	ありがとう / いつも	3
19	いっぱい / 公園	3
19	きれい / トイレ	3
19	プール / 増	3
19	プール / 室内	3
19	夏 / 祭り	3
19	狭い / 歩道	3

<多く見られた単語の回答（抜粋）>

多く見られたワード	回答内容
公園	公園のトイレをきれいにしてほしい
	公園や遊べるしせつを増やしてほしい
	大きい公園ができてほしい
	小学生用のバスケットゴールのある公園をたくさん作ってほしい
楽しい	住んでいて楽しい
	学校楽しいです！！
	いろんな楽しい施設を造ってほしい
駅	駅をつくってほしい
	モノレールの駅でも電車の駅でもどちらでも良いので、駅を作ってほしい
	教育にもっと力を入れてほしい
	まず一番に駅を作ってほしい
モノレール	多摩モノレールが通って欲しい
	モノレールの計画を早めてほしい
	早くモノレールができてほしい

第4章 子ども意見の聴取

＜単語ごとの学年比＞



巻末資料 各調査の調査票・調査項目

資料① 市民意識調査票

武蔵村山市民意識調査 ご協力をお願い

日頃より、市政運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市では、現在、将来都市像「人と人との絆をつむぐ 誰もが活躍できるまち むさしむらやま」の実現に向け、武蔵村山市第五次長期総合計画に基づき、施策・事業を行っているところです。この第五次長期総合計画の前期基本計画の計画期間が令和7年度をもって満了することから、社会情勢の変化等を踏まえ、市政を総合的かつ計画的に運営するための基本的な方針、行政分野ごとの施策や手段を定めた第五次長期総合計画後期基本計画の策定に取り組んでおります。

計画の策定に当たっては、市民の皆様のニーズを的確に捉える必要があるため、「市民意識調査」を行い、市民の皆様の日常生活について「意識」と「行動」の両面から捉え、それらを踏まえて、よりよい計画づくりを行いたいと考えております。

そこで、市内にお住まいの18歳以上のかた2,000名を無作為に選ばせていただきましたので、市民意識調査にご協力をお願いします。

なお、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、計画の策定以外の目的には一切使用いたしません。

質問の量も多く、答えにくい部分もあるかと存じますが、ぜひ、最後までご回答くださいますようお願い申し上げます。

令和6年5月 武蔵村山市長 山崎 泰大

— 回答方法 —

以下、いずれかの方法によりご回答ください。

1. Web による回答

QRコードにアクセスいただき、ご回答ください。

2. 本調査票による回答

同封の返信用封筒(切手は不要)で、回答期限までに郵便ポストに投函してください。

住所・名前の記載は不要です。



〈回答期限〉 6月19日(水)

〈ご回答に当たってのお願い〉

- ① アンケートは、必ず宛名にあるご本人がご回答ください。
- ② 各項目について、感じたままをお答えください。
- ③ 回答項目のうち、当てはまると思うものの番号に○を付けてください。
- ④ ○の数は、(○は1つ)(○は3つまで)といった()内の指定に合わせて付けてください。
- ⑤ 「その他」に当てはまる場合は、()内にその内容を具体的にお書きください。



この調査票についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

問合せ先

武蔵村山市 企画財政部 企画政策課

電話：042(565)1111 (内線 372)

1. あなた（回答者）自身について

問1 あなたの性別について（○は1つ） ※あなたの現在の性自認でお答えください。

- | | | |
|-----|-----|-------|
| 1 男 | 2 女 | 3 その他 |
|-----|-----|-------|

問2 あなたの年齢について（○は1つ）

- | | | |
|--------|-----------|-----------|
| 1 10歳代 | 4 40歳代 | 7 65歳～69歳 |
| 2 20歳代 | 5 50歳代 | 8 70歳～74歳 |
| 3 30歳代 | 6 60歳～64歳 | 9 75歳以上 |

問3 武蔵村山市内での居住年数について（○は1つ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 2年未満 | 4 10年以上20年未満 |
| 2 2年以上5年未満 | 5 20年以上30年未満 |
| 3 5年以上10年未満 | 6 30年以上 |

問4 あなたがお住まいの地区について（○は1つ）

- | | | | | |
|------|------|-------|--------|--------|
| 1 中藤 | 4 本町 | 7 大南 | 10 中原 | 13 伊奈平 |
| 2 神明 | 5 榎 | 8 三ツ木 | 11 緑が丘 | 14 三ツ藤 |
| 3 中央 | 6 学園 | 9 岸 | 12 残堀 | |

問5 あなたのお住まいについて（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 戸建て住宅(持ち家) | 5 公営住宅(都営・市営) |
| 2 戸建て住宅(賃貸) | 6 社宅・官舎・寮など |
| 3 マンション等集合住宅(持ち家) | 7 その他（ ） |
| 4 マンション等集合住宅(公営住宅を除く賃貸) | |

問6 あなたは結婚（事実婚を含む。）していますか。（○は1つ）

- | | | |
|------|-------------------|-------------|
| 1 未婚 | 2 既婚(配偶者・パートナーあり) | 3 既婚(離別・死別) |
|------|-------------------|-------------|

問7 一緒にお住まいの方で、次に該当する方はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 乳幼児・未就学児 | 4 65歳以上の高齢者 |
| 2 小学生・中学生 | 5 1～4以外の同居者 |
| 3 高校生・専門学校生・大学（院）生・浪人生 | 6 単身世帯である（同居者はいない） |

問 8 あなたの職業について (○は1つ)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1 会社員 →問 8-2 へ | 5 学生 →問 8-2 へ |
| 2 自営業・自由業 →問 8-2 へ | 6 専業主婦 (夫) →問 8-5 へ |
| 3 公務員 (教員・団体職員含む) →問 8-2 へ | 7 無職 →問 8-5 へ |
| 4 パート・アルバイト等の臨時雇用 →問 8-2 へ | 8 その他 () |

問 8-2 【問 8 で「1」から「5」と回答した方にお聞きます。】

あなたの職場 (通学地) は。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1 自宅 | 4 東京都 23 区内 →問 8-3 へ |
| 2 武蔵村山市内 (自宅を除く) →問 8-3 へ | 5 その他 () |
| 3 東京都多摩地区内 (武蔵村山市を除く) →問 8-3 へ | →問 8-3 へ |

問 8-3 【問 8-2 で「2」から「5」と回答した方にお聞きます。】

職場 (通学地) への主な交通手段は。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|------------------------|--------|
| 1 鉄道・モノレール →問 8-4 へ | 4 徒歩 | 7 自家用車 |
| 2 路線バス | 5 自転車 | 8 その他 |
| 3 市内循環バス | 6 バイク・原付 (原動機付自転車) () | |

問 8-4 【問 8-3 で「1」と回答した方にお聞きます。】

最寄駅までの交通手段は。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|----------|-----------|
| 1 徒歩 | 4 自家用車 | 7 その他 () |
| 2 自転車 | 5 路線バス | |
| 3 バイク・原付 (原動機付自転車) | 6 市内循環バス | |

問 8-5 【問 8 で「6」又は「7」と回答した方にお聞きます。】

希望する働き方についてどのように考えていますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|---------------------|-------------|
| 1 フルタイムで働きたい | 3 在宅 (テレワーク等) で働きたい | 5 働きたいと思わない |
| 2 パート・アルバイトで働きたい | 4 起業したい | 6 わからない |

問 9 【結婚している方のみお答えください。】

あなたの配偶者・パートナーの職業は次のどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 会社員 | 5 学生 |
| 2 自営業・自由業 | 6 専業主婦 (夫) |
| 3 公務員 (教員・団体職員含む) | 7 無職 |
| 4 パート・アルバイト等の臨時雇用 | 8 その他 () |

2. 武蔵村山市に住んで感じたこと

問 10 武蔵村山市は住みやすいですか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 4 どちらかといえば住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 5 住みにくい |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 11 あなたは、これからも武蔵村山市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1 住み続けたい →問 11-2 へ | 4 どちらかといえば転居したい →問 11-3 へ |
| 2 どちらかといえば住み続けたい →問 11-2 へ | 5 転居したい →問 11-3 へ |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 11-2 【問 11 で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。】その理由は。(〇は2つまで)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 家や土地を持っているから | 8 子育てをする環境がよいから |
| 2 隣近所の人間関係がよいから | 9 高齢者・障害者にも生活しやすいから |
| 3 地域に愛着があるから | 10 仕事の都合 |
| 4 生活の利便性(交通・買物)がよいから | 11 家族の都合 |
| 5 市に発展性があり、将来に期待できるから | 12 その他 () |
| 6 市のサービスがよいから | |
| 7 緑が多く、自然環境がよいから | |

問 11-3 【問 11 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。】その理由は。(〇は2つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 住宅の問題(借家借地、家が古い等) | 8 子育てをする環境がよくないから |
| 2 隣近所の人間関係がうまくいかないから | 9 高齢者・障害者には生活しにくいから |
| 3 地域に愛着がないから | 10 仕事の都合 |
| 4 生活の利便性(交通・買物)がよくないから | 11 家族の都合 |
| 5 市に発展性がなく、将来に期待できないから | 12 その他 () |
| 6 市のサービスがよくないから | |
| 7 自然環境がよくないから | |

3. 市の取組に対する評価と今後への期待について

問 12 次の事項（（１）から（４）まで）について、これまでの武蔵村山市での生活を通しての満足度はどの程度でしょうか。また、市として今後、充実すべき取組は何だと思えますか。

項目ごとに、満足度と充実希望度について、該当する番号を 1 つずつ選んで ください。

1 市民との協働による地域振興

項 目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例) それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(１) 地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援 ※自治会への加入促進等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(２) 都市間交流の促進 ※姉妹都市（長野県栄村）との相互交流、国際交流事業等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(３) 情報共有の充実 ※広報活動の充実、情報公開の推進等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(４) 市民参加の推進と協働体制の充実 ※市民提案制度、協働事業提案制度等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

2 健康で明るく暮らせるまちづくり

満足度・充実希望度 項目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(5) 健康づくり事業の充実 ※各種健康診査、健康相談等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 医療・救急体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 社会保障制度の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 地域福祉サービスの推進 ※福祉の担い手育成、相談窓口の運用等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 子育て支援の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 高齢者施策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 障害者支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 生活支援の充実 ※生活保護受給者等の自立支援、子どもの貧困対策等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 消費生活の安定と向上 ※消費者相談・情報提供活動の充実等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 安定した雇用の確保 ※求人情報の提供や相談会の開催、就労のための学習機会の創出等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3 安全で快適なまちづくり

満足度・充実希望度 項目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例) それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(15) 防災対策の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 消防・救急体制の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 交通安全対策の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 防犯対策の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 横田飛行場の軍民共同使用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 適正な土地利用の推進 ※新青梅街道沿道まちづくり等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 良好な住環境の整備の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 下水道の整備の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) ごみの減量化とリサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 公共交通の整備 ※多摩都市モノレール・市内循環バス等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4 誰もが学び活躍できるまちづくり

満足度・充実希望度 項 目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(26) 人権意識の高揚と平和意識の醸成 ※人権に関する相談窓口の充実等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) 学校教育の整備・推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 生涯学習の充実 ※各種講座など学習機会の拡充等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) スポーツ・レクリエーションの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 芸術・文化の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) 伝統文化・文化財の保護・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

5 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり

満足度・充実希望度 項 目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(33) 農業の振興 ※農地の保全、農業の担い手育成等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34) 商・工業の活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35) 観光まちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36) 魅力ある街並み景観の形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 水と緑のネットワークづくりの推進 ※親水緑地広場の整備等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40) 公害対策・環境美化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

6 計画の推進に向けて

満足度・充実希望度 項目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(41) 行政運営の推進 ※市民サービスの向上等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(42) 職員の資質向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(43) 公共施設の適正な配置（施設数と立地）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(44) 行政機関のデジタル化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(45) 財政運営の適正化 ※財源の計画的・効率的な運用や自主財源の確保等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(46) 近隣自治体との連携強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 12-2 前問の（１）から（46）までのうち、あなたが優先して取り組むべき施策と思うものを順に 3 つ選び、その番号をお書きください。

順位	1 位	2 位	3 位
番号			

4. 武蔵村山市のまちづくりの施策について

4-1 市民との協働による地域振興

コミュニティ

問 13 あなたは、地域の課題は地域の人々が互いに協力して解決すべきだと思いますか。（○は 1 つ）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 14 あなたは、地域の課題解決のために、何か関わりを持ちたいと思いますか。（○は 1 つ）

- | | |
|----------------------|---------|
| 1 積極的に関わりたと思っている | 4 思わない |
| 2 できる範囲で関わりたと思っている | 5 わからない |
| 3 思っているが、忙しくて関わるできない | |

問 15 あなたは、地域の自治会に加入していますか。（○は 1 つ）

- | | | | |
|--------------|---------------|-----------|---------|
| 1 自治会に加入している | 2 自治会に加入していない | →問 15-2 へ | 3 わからない |
|--------------|---------------|-----------|---------|

問 15-2 【問 15 で「2」と回答した方にお聞きします。】自治会に加入していない理由は。（○は 2 つまで）

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 仕事や子育てなどで忙しく時間がない | 6 いずれ役員等を務めることになり面倒である |
| 2 自治会に関心がない | 7 近い将来、転居や市外への転出が予想される |
| 3 自治会に関心はあるが、活動の内容に魅力がない | 8 自治会が何を行っている組織なのかわからない |
| 4 隣近所とのつきあいがわずらわしい | 9 加入の仕方がわからない |
| 5 加入者とうまく打ち解けることができない | 10 会費を負担したくない |
| | 11 その他（ ） |

パートナーシップ

問 16 あなたは、市政に関する情報をどのような方法で入手していますか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1 市報 | 6 ポスター・掲示板 |
| 2 ホームページ | 7 新聞などのマスメディア |
| 3 フェイスブック・X（旧ツイッター）などの SNS | 8 市で発行しているその他の印刷物 |
| 4 市政情報サービスメール | 9 その他（ ） |
| 5 回覧板 | 10 特に情報を入手していない |

問 17 あなたは、市が発信する情報に対し、どの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

	満足している	ほぼ満足している	やや不満である	不満である	見ていない
道路・公共交通（モノレール・バス等）に関する情報	1	2	3	4	5
防災、防犯対策に関する情報	1	2	3	4	5
子育てに関する情報	1	2	3	4	5
高齢者向け情報	1	2	3	4	5
生涯学習に関する情報	1	2	3	4	5
情報全体（市報・ホームページ・SNS等）	1	2	3	4	5

問 18 あなたは、市が活用する情報媒体について、どの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

	満足している	不満である	見ていない
市報	1	2	3
ホームページ	1	2	3
SNS	1	2	3

4-2 健康で明るく暮らせるまちづくり

健康・医療

問 19 あなたは、健康診断を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 市が行っている特定健康診査を受けている | 4 以前は受けていたが今は受けていない |
| 2 職場（学校）の健康診断を受けている | 5 受けたことがない |
| 3 人間ドックを受けている | |

問 20 あなたは、市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない →問 20-2 へ |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない →問 20-2 へ |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 20-2 【問 20 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。】その理由は。(○は2つまで)

- 1 自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから
- 2 いつも利用者が多く、利用しにくいから
- 3 施設が遠い、又は交通が不便だから
- 4 利用時間帯が限られていて利用しにくいから
- 5 利用申込みの場所・方法が複雑で、気軽に利用しにくいから
- 6 施設についての情報提供が少ないから
- 7 施設の利用方法がわからないから
- 8 その他（ ）

問 21 あなたは、市内に病院や診療所等の医療機関が身近に整っていると思いますか。

(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|--------------|---|----------------|---|-------|
| 1 | そう思う | 3 | どちらかといえばそう思わない | 5 | わからない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 4 | そう思わない | | |

福 祉

問 22 あなたは、武蔵村山市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つまで)

- | | | | | | |
|---|--------------|---|----------------|---|-------|
| 1 | そう思う | 3 | どちらかといえばそう思わない | 5 | わからない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 4 | そう思わない | | |

問 23 あなたが安心して子育てを行うためには、市は特にどのようなことをする必要があると思いますか。

(○は2つまで)

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保 |
| 2 | 未就学児を遊ばせながら保護者が交流できる場の充実 |
| 3 | 子育てに悩む親への相談業務の充実 |
| 4 | 保健所・医療機関などについての情報提供 |
| 5 | 保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実 |
| 6 | 児童館・学童クラブなど、子育て支援サービスの充実 |
| 7 | 子育てサークルなど、自主グループの育成 |
| 8 | 男性の育児参加を進める活動の促進 |
| 9 | 子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援 |
| 10 | 支援が必要な子どもの居場所づくりや学習支援 |
| 11 | その他 () |

問 24 あなたは、少子化対策としてどのような支援や体制づくりをする必要があると思いますか。

(○は2つまで)

- | | |
|----|---------------------------------|
| 1 | 経済的支援措置(保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等) |
| 2 | 出産・育児のための休業・短時間勤務制度の推進 |
| 3 | 仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援 |
| 4 | 出産・子育て退職後の再就職支援 |
| 5 | 保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充 |
| 6 | 小児医療体制整備など子どもの健康支援 |
| 7 | 妊娠・出産の支援体制の充実 |
| 8 | 公的な出会いの場の提供 |
| 9 | その他 () |
| 10 | わからない |

問 25 あなたは、武蔵村山市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|------------------|---------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない | 5 わからない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない | |

問 26 本格的な高齢社会に向けて、あなたはどのような施策が重要だと思いますか。

(○は2つまで)

- | |
|----------------------------|
| 1 高齢者に配慮した交通機関や施設、道路・歩道の整備 |
| 2 高齢者に配慮した住宅の確保・整備 |
| 3 高齢者の雇用・就業機会の確保 |
| 4 高齢者に対する医療制度の充実 |
| 5 寝たきりや認知症にならないための予防対策 |
| 6 寝たきりや認知症に備えた財産の保全などの対策 |
| 7 ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実 |
| 8 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実 |
| 9 生涯を通じた健康づくりの推進 |
| 10 高齢者と若い世代との交流の促進 |
| 11 その他 () |

問 27 障害のある人の自立を支援するために、市はどのようなことを重点的に進めるべきだと思いますか。

(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備 |
| 2 公営住宅への障害者優先入居や障害者向け住宅の整備などの住宅施策の充実 |
| 3 障害者の雇用・就業機会の確保 |
| 4 職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実 |
| 5 災害時の障害者救援対策や緊急時の対応の充実 |
| 6 障害の種類や程度に応じた障害児教育の充実 |
| 7 就労施設等への支援や障害者がつくった作品などの常設展示即売場の開設 |
| 8 点字や手話などのコミュニケーション方法の普及・充実 |
| 9 障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発 |
| 10 相談窓口や障害者のためのネットワークづくりなどの情報提供の充実 |
| 11 スポーツ・文化活動を通じた障害者の社会参加の充実 |
| 12 ボランティアやヘルパー等の育成と活動の支援 |
| 13 グループホーム・ケアホームなどの施設の整備 |
| 14 障害者に対する経済的な支援 |
| 15 その他 () |

暮らし

問 28 消費者支援のために、行政としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（○は2つまで）

- 1 市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実
- 2 商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化
- 3 消費者教育講座や消費生活展の開催などによる消費者の教育と啓発活動の強化
- 4 消費者自身が主体的に活動できる場の提供
- 5 ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供
- 6 消費者・事業者・行政による情報共有や意見交換会の開催
- 7 その他（ ）

4－3 安全で快適なまちづくり

安全・安心

問 29 あなたは、日頃、防災の準備をしていますか。

（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1 準備をしている | →問 29－2 へ | 2 特に準備はしていない |
|-----------|-----------|--------------|

問 29－2 【問 29 で「1」と回答した方にお聞きします。】どのような準備を行っていますか。

（○はいくつでも）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 消火器の設置 | 5 身内との連絡方法の確立 |
| 2 家具などの転倒防止 | 6 避難経路や避難場所の確認 |
| 3 水や食料の備蓄 | 7 防災訓練などへの参加 |
| 4 非常用持ち出し用品の確保 | 8 その他（ ） |

問 30 災害に備えて地域（自治会等）が行うこととして、どのようなことが重要であると思いますか。

（○は3つまで）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 避難経路や避難場所の確認及び周知 | 6 各種訓練等の計画及び実施 |
| 2 災害時の活動体制の強化 | 7 地域内の危険個所の把握及び周知 |
| 3 住民間の情報連絡体制の充実 | 8 避難行動要支援者への支援体制の構築 |
| 4 地域コミュニティの充実 | 9 その他（ ） |
| 5 各家庭での必要物資の備蓄啓発 | |

都市基盤

問 31 あなたは、今後、武蔵村山市内においてどのような土地利用に力を入れてほしいと思いますか。
(○は2つまで)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 戸建住宅など低層の住宅 | 4 積極的な企業立地を図った工業 |
| 2 マンション等の中高層住宅 | 5 生産緑地地区などの農地の保全 |
| 3 店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業 | 6 緑豊かな緑地の保全 |
| | 7 その他 () |

問 32 あなたは、今後、どのような都市基盤整備を推進していくべきと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1 モノレールの早期延伸 | 8 新しい都市計画道路の整備 |
| 2 バス路線の増加・充実 | 9 身近な生活道路の整備、道路の拡幅 |
| 3 横田飛行場の軍民共同使用 | 10 比較的小規模な公園の整備 (街区公園) |
| 4 段差解消などバリアフリー化の推進 | 11 比較的大規模な公園の整備 (総合公園) |
| 5 自転車が走行しやすい空間の整備 | 12 雨水排水の整備 |
| 6 歩道の整備、歩車道の分離、車両の交通規制などの交通安全対策 | 13 土地区画整理事業 (※) |
| 7 新青梅街道沿道まちづくりの推進 | 14 その他 () |

※土地区画整理事業：ある一定の区域（施行地区）において、公共施設（道路・水路・公園等）の整備改善と宅地の利用増進を図るために行われる事業

問 33 あなたは、多摩都市モノレールを利用していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 通勤・通学に利用している | 5 遊びやレジャー施設へ行くために利用している |
| 2 買物等に利用している | 6 その他の利用 () |
| 3 医療・福祉施設へ行くために利用している | 7 利用していない |
| 4 公共施設へ行くために利用している | |

問 34 あなたは、多摩都市モノレールが市内まで延伸した場合、モノレールを主にどのように利用しますか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 通勤・通学に利用する | 5 遊びやレジャー施設へ行くために利用する |
| 2 買物等に利用する | 6 その他の利用 () |
| 3 医療・福祉施設へ行くために利用する | 7 利用しない |
| 4 公共施設へ行くために利用する | |

問 35 あなたが通勤・通学以外で利用する施設や場所への移動時間はどのくらいですか。

(○はそれぞれ1つ)

	5 分以内	10 分以内	20 分以内	20 分超
身近な商店（日常の買物）	1	2	3	4
大規模な店舗	1	2	3	4
病院など（通院）	1	2	3	4
福祉施設（デイサービス等）	1	2	3	4
市役所・出張所等（市の手続等）	1	2	3	4

問 35-2 問 35 の施設へ行くための交通手段は何ですか。(○はそれぞれ1つ)

	徒歩	自転車・ バイク	自動車	バス	その他
身近な商店（日常の買物）	1	2	3	4	5 ()
大規模な店舗	1	2	3	4	5 ()
病院など（通院）	1	2	3	4	5 ()
福祉施設（デイサービス等）	1	2	3	4	5 ()
市役所・出張所等（市の手続等）	1	2	3	4	5 ()

4-4 誰もが学び活躍できるまちづくり

人権・平和

問 36 あなたやあなたの家族が、まわりに認められ、(人権が) 尊重されていると思いますか。

(○は1つ)

1 そう思う	4 どちらかといえばそう思わない →問 36-2 へ
2 どちらかといえばそう思う	5 そう思わない →問 36-2 へ
3 どちらともいえない	6 わからない

問 36ー 2 【問 36 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。】 そう思わない理由は。(○は2つまで)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 性別による差別 | 8 学歴に対する差別 |
| 2 子どもへのいじめ・虐待 | 9 思想・信条に基づく差別 |
| 3 高齢者への差別 | 10 職業に対する差別 |
| 4 障害者への差別 | 11 インターネットによる人権侵害 |
| 5 外国人への差別 | 12 刑を終えて出所した人への差別 |
| 6 感染者等に対する差別 | 13 犯罪被害者等への差別 |
| 7 プライバシーの侵害 | 14 その他の差別 () |

男女共同参画

問 37 あなたは、女性が結婚や出産後も働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

- 1 保育施設や学童クラブの充実
- 2 再就職に対する相談や支援体制の充実
- 3 短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透
- 4 育児休業制度の導入促進
- 5 育児休業制度を利用しても不利にならない評価制度の浸透
- 6 昇進・昇給等、職場における男女平等の浸透
- 7 結婚や出産による退職者の再雇用制度の充実
- 8 職場の上司や同僚の理解や協力
- 9 男性の理解や家事・育児等への参加
- 10 男性の長期の育児休業取得の促進
- 11 女性自身の継続就業や再就職に対する意識の変革
- 12 その他 ()
- 13 必要なことはない
- 14 わからない

問 38 【現在、仕事をされている方（休業中を含む）にお聞きします。】

あなたは、育児や介護を行うために、次にあげる制度を利用したことがありますか。

（○はそれぞれ1つ）

	ある	ない
育児休業（原則として、1歳未満の子を養育するための休業）	1	2
子の看護休暇（小学校就学前の子の病気や負傷等の看護のための休暇）	1	2
介護休業（要介護状態にある家族を介護するための休業（上限93日））	1	2
介護休暇（要介護状態にある家族を介護・世話するための短期の休暇）	1	2

教 育

問 39 子どもたちの教育をより一層充実するために、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。

（○は3つまで）

1 子どもたちの基礎的な学力の向上	9 教職員の研修の充実
2 子どもたちが相談できる体制づくり	10 学校施設・設備の充実
3 子どもたちの体力・健康の向上	11 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境の整備
4 不登校などの子どもへの対応の充実	12 休日の活動機会の充実
5 クラブ活動の充実	13 学習の指導者として市民登用
6 1クラスの児童生徒数の削減	14 外国人などとの交流機会の充実
7 心の教育の充実	15 いじめ対策の強化
8 自然や福祉など体験学習の充実	16 教育DXの推進
	17 教職員の働き方改革の推進
	18 その他（ ）

問 40 生涯学習をより一層充実させるために、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。

（○は3つまで）

1 学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する	7 小・中学校の施設の開放
2 学習するための施設の充実	8 学習相談窓口の充実
3 講座や教室の内容の充実	9 学習の成果を発表する機会の充実
4 土日や夜間の講座の充実	10 異世代交流を促進するような講座の充実
5 高齢者・女性・勤労者・青少年といった対象ごとの講座の充実	11 学習の成果を地域や社会に還元できるような仕組みづくり
6 祭りや催し物など市民の親睦が深められるような場の充実	12 スポーツ・レクリエーションの機会の充実
	13 郷土芸能の充実
	14 その他（ ）

SDGs

問 41 あなたは「SDGs」という言葉を知っていましたか。（○は1つまで）

1 言葉も知っており、内容も知っていた	→問41-2へ	3 知らなかった
2 言葉は知っていたが、内容は知らなかった		

問 41－2 【問 41 で「1」と回答した方にお聞きします。】SDGs の目標達成のために、あなたが日常生活や職場・学校等で取り組んでいることはありますか。(○は1つまで)

- | | | |
|----------------------------|-----------|-------------|
| 1 日常生活の中で気づいたことがあれば取り組んでいる | →問 41－3 へ | 3 特に何もしていない |
| 2 職場や学校等で具体的な活動に取り組んでいる | →問 41－3 へ | |

問 41－3 【問 41－2 で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。】具体的な取組について教えてください。

4－5 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり

産 業

問 42 あなたは、市の産業振興として次のうちどれが重要だと思いますか。(○は2つまで)

- | | |
|---|------------------|
| 1 特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興 | 7 企業の誘致 |
| 2 地域ブランド認証制度(※)を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること | 8 起業者への支援 |
| 3 地産地消の推進 | 9 中小企業の経営安定化への支援 |
| 4 農業経営の近代化 | 10 大学や研究所等の誘致 |
| 5 消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興 | 11 観光イベントの充実 |
| 6 既存企業・工場の育成・支援 | 12 他の自治体との産業交流 |
| | 13 その他() |

※地域ブランド認証制度：武蔵村山市内にある魅力ある商品を武蔵村山地域ブランドに認証し、これを広く他の地域に発信、供給して、武蔵村山地域ブランドのブランドイメージの定着と向上を図る事業

問 43 あなたは、武蔵村山市の観光資源といえば、何をイメージしますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 歴史民俗資料館 | 8 歴史的文化財(神社・仏閣・古民家等) |
| 2 野山北公園・あそびの森・冒険の森 | (具体的にあれば:) |
| 3 里山体験施設 | 9 村山大島紬 |
| 4 村山温泉かたくりの湯 | 10 地場農産物 |
| 5 村山デエダラまつり | 11 地域ブランド(かてうどん等) |
| 6 納涼花火大会 | 12 郷土芸能 |
| 7 祭り・イベント | 13 会社・企業・民間施設 |
| (具体的にあれば:) | (具体的にあれば:) |
| | 14 その他() |

景 観

問 44 あなたが住んでいる地区は、自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない →問 44－2 へ |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない →問 44－2 へ |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 44－2 【問 44 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。】そう思わない理由は。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 緑に親しめる公園が少ない | 6 建物が高いなど眺望が悪い |
| 2 水辺に親しめる公園が少ない | 7 屋外広告物(看板・案内板)が目につく |
| 3 農地が少ない、減った | 8 電線・電柱が多い |
| 4 住宅・店舗・工場などが混在している | 9 自転車等が雑然と置かれている |
| 5 建物のデザイン・色彩が統一されていない | 10 その他 () |

環 境

問 45 よりよい環境づくりのために、市は、今後どのような分野に取り組むべきだと思いますか。

(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 地球温暖化対策の推進 | 11 騒音・振動などの公害の未然防止 |
| 2 川や大気などの汚染対策の推進 | 12 美しい街並みの保全整備 |
| 3 家庭・事業所等から出るごみの減量 | 13 史跡・文化財など歴史的環境の保全 |
| 4 省資源・省エネルギー活動の推進 | 14 環境に配慮した市民活動や企業活動への支援 |
| 5 リサイクルの推進 | 15 環境に関する情報の収集と提供 |
| 6 水辺環境の保全 | 16 環境学習・環境教育の推進 |
| 7 雨水利用など水循環対策の推進 | 17 市民・事業者の自主的な環境活動への支援 |
| 8 公園や緑地など身近な緑の保全 | 18 外来生物の予防と駆除 |
| 9 自然環境の保全 | 19 その他 () |
| 10 自然の動植物の保護 | |

4－6 計画の推進に向けて

行政運営

問 46 あなたは、過去1年間に各種手続や相談のために武蔵村山市役所を訪れたことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------|
| 1 はい →問 46－2 へ | 2 いいえ |
|----------------|-------|

問 46－2 【問 46 で「1」と答えた方にお聞きします。】

あなたは市職員の対応等について、どのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

	満足している	どちらかといえ ば満足	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満	不満である
職員の対応（態度）	1	2	3	4	5
職員の説明	1	2	3	4	5
申請書類の書きやすさ	1	2	3	4	5
手続の方法	1	2	3	4	5
待ち時間	1	2	3	4	5
待ち合いスペースの広さ	1	2	3	4	5
カウンター、記載台の利用しやすさ	1	2	3	4	5
案内表示のわかりやすさ	1	2	3	4	5
全体的な評価	1	2	3	4	5

問 47 今後、民間事業者等に窓口業務を委託することについて、どう思いますか。(○は1つ)

- 1 経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい
- 2 経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい
- 3 今までどおり市職員の対応がよい
- 4 わからない

問 48 現在の市の財政状況や人口減少社会を迎える中、老朽化した公共施設の全てを建て替えることは難しい状況となっています。そこで、次の公共施設に関する今後の方向性について、どう思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	廃止すべき	縮小すべき	集約すべき	現状維持	拡充すべき	どちらでも よい
市民会館	1	2	3	4	5	6
図書館	1	2	3	4	5	6
地区会館	1	2	3	4	5	6
公民館	1	2	3	4	5	6
集会所	1	2	3	4	5	6
歴史民俗資料館	1	2	3	4	5	6
総合体育館	1	2	3	4	5	6
市営プール	1	2	3	4	5	6
児童館	1	2	3	4	5	6
学童クラブ	1	2	3	4	5	6
福祉会館	1	2	3	4	5	6
老人福祉館	1	2	3	4	5	6
温泉施設	1	2	3	4	5	6

問 49 インターネットを活用した行政サービスについて、今後どのようなサービスの充実を求めますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 イベントの申込み | 5 税金などの納付手続 |
| 2 公共施設の予約 | 6 公開されている審議会などの傍聴の申込み |
| 3 許認可の申請 | 7 医療・福祉サービスの申請 |
| 4 証明書発行の申請 | 8 その他 () |

問 50 あなたが、武蔵村山市のデジタル化について期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる
- 2 市役所の手続きで記入の必要な書類が減る
- 3 使用料・手数料の支払いをキャッシュレスでできる
- 4 窓口で行っていた相談をオンラインで行うことができる
- 5 自分が対象となるサービスや手続きの情報がオンラインで配信される
- 6 スマートフォンやアプリの操作方法の支援が受けられる
- 7 期待することはない(従来どおりで問題ない)
- 8 その他 ()

問 51 あなたはどの社会情勢を重視して行政運営を行っていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1 少子高齢化と人口減少の更なる進行 | 7 安心して生活できる環境の実現 |
| 2 経済の低迷と雇用環境の悪化 | 8 持続可能な行政基盤の確立と行財政改革の推進 |
| 3 DX※ ¹ の推進 | 9 SDGsの推進 |
| 4 ジェンダー平等の実現 | 10 カーボンニュートラル(脱炭素社会)の実現 |
| 5 多文化共生の実現 | 11 EBPM※ ² による行政運営 |
| 6 安全で持続可能な都市基盤の形成 | |

※1 DX:「デジタル・トランスフォーメーション」の略で、直訳すると「デジタル変革」であり、「デジタル技術で人々の生活をより良いものに変革する」という意味

※2 EBPM:「エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング」の略で、「証拠に基づく政策立案」という意味。政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠(エビデンス)に基づくものとする

財政運営

問 52 今後、少子高齢化がますます進展する中で、市の財政は、一層厳しさを増すことが予想されます。そこで、市の財政運営と行政サービスとの関係について、どのように取り組む必要があると思いますか。

① 歳出と行政サービス水準について(〇は1つ)

- 1 次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき
- 2 次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき
- 3 その他 ()
- 4 わからない

② 福祉に関するサービス水準について(〇は1つ)

- 1 福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない
- 2 福祉のための経費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき
- 3 その他 ()
- 4 わからない

③ 道路や公共施設などの整備水準について(〇は1つ)

- 1 道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない
- 2 道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき
- 3 その他 ()
- 4 わからない

④ 公共施設の使用料とサービス水準について（○は1つ）

- 1

公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない
- 2

公共施設の使用料は、サービス水準を多少下げてでも、上げるべきではない
- 3

その他（
- 4

わからない

広域行政

問 53 あなたは、今後、近隣自治体と連携し、どのような事業を行うべきだと思いますか。（○は2つまで）

- 1

スポーツ交流
- 2

文化事業の交流
- 3

集会施設の広域利用
- 4

スポーツ・文化施設の広域利用
- 5

狭山丘陵などの観光資源の活用
- 6

イベント情報などの相互発信
- 7

農・商・工業などの情報交換
- 8

コミュニティバスの連携
- 9

共同イベントの開催
- 10

福祉サービスの相互利用
- 11

その他（

自由意見

問 54 最後に、第五次長期総合計画後期基本計画策定にあたって、市政運営やまちづくりに対する意見や要望がありましたら自由にお書きください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

調査票は、

6月19日（水）まで

に、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

資料② 人口移動に関する意向調査（転入者意向調査）調査票

※実際には Web 回答のみであるため、本意向調査票は便宜的に作成・掲載するもの

はじめに、あなた自身のことについて、お伺いします。

問1 性別（回答は1つだけ） ※あなたの現在の性自認でお答えください。

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問2 年齢（回答は1つだけ）

1 20歳未満	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代
5 50歳代	6 60歳代	7 70歳以上	

問3 一緒にお住まいの家族で、下記に該当する方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてを回答）

1 乳幼児・未就学児	2 小学生・中学生
3 高校生・専門学生・大学（院）生・浪人生	4 65歳以上の高齢者
5 1～4以外の同居者	6 単身世帯である（同居者はいない）

問4 職業は次のどれにあてはまりますか。（回答は1つだけ）

1 自営・家族従業	2 正社員	3 公務員（教員・団体職員含む）
4 契約社員・アルバイト・パート	5 学生	6 主婦・主夫
7 無職	8 その他（	）

問5 問4で「1」「2」「3」「4」「5」を選択された方にお伺いします。
勤務先ないしは通学先はどちらになりますか。（回答は1つだけ）

1 武蔵村山市内	2 立川市	3 東大和市	4 福生市
5 瑞穂町	6 その他の多摩地域の市町村	7 東京都23区	
8 所沢市	9 その他の埼玉県の市町村		
10 その他（			）

問6 お住まいの地域は次のどれにあてはまりますか。（回答は1つだけ）

1 中藤	2 神明	3 中央	4 本町	5 学園
6 緑が丘	7 大南	8 三ツ藤	9 榎	10 伊奈平
11 岸	12 三ツ木	13 残堀	14 中原	

巻末資料 各調査の調査票・調査項目

問10-3 過去に武蔵村山市から引っ越しをした理由は何ですか。(最も大きな理由1つを回答)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 あなたの学校の都合(進学・転校等) | 2 子どもの学校の都合(進学・転校等) |
| 3 あなたの仕事の都合(就職・転職・転勤等) | 4 配偶者の仕事の都合(就職・転職・転勤等) |
| 5 結婚のため | 6 出産・子育てのため |
| 7 あなたの退職 | 8 配偶者の退職 |
| 9 家族から独立するため | 10 親や子どもと同居・近居するため(介護) |
| 11 親の都合により一緒に転居 | 12 住宅の都合(購入・借家の借換) |
| 13 その他() | |

武蔵村山市への転入理由、市の住みやすさなどについてお伺いします。

問11 引っ越しをした理由は何ですか。(最も大きな理由1つを回答)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 あなたの学校の都合(進学・転校等) | 2 子どもの学校の都合(進学・転校等) |
| 3 あなたの仕事の都合(就職・転職・転勤等) | 4 配偶者の仕事の都合(就職・転職・転勤等) |
| 5 結婚のため | 6 出産・子育てのため |
| 7 あなたの退職 | 8 配偶者の退職 |
| 9 家族から独立するため | 10 親や子どもと同居・近居するため(介護) |
| 11 親の都合により一緒に転居 | 12 住宅の都合(購入・借家の借換) |
| 13 その他() | |

問12 引っ越し先を選択するとき、武蔵村山市を意識して選びましたか。(回答は1つだけ)

- | | | | |
|------|----------|-------|--------|
| 1 はい | → 問12-2へ | 2 いいえ | → 問13へ |
|------|----------|-------|--------|

問12-2 問12で「1」を選択した方にお伺いします。

武蔵村山市を選択した理由は何ですか。(あてはまるものすべてを回答)

- | |
|--|
| 1 通勤・通学に都合がよかったから |
| 2 住宅購入費・賃料が手ごろだったから |
| 3 希望していた広さの住宅があったから |
| 4 親や子どもの近くに住みたかったから |
| 5 緑地・公園・水辺等の自然環境がよいから |
| 6 道路・下水道等の都市基盤が整備されているから |
| 7 子育て環境が希望に合っていたから |
| 8 教育環境が希望に合っていたから |
| 9 病院等の医療体制が充実しているから |
| 10 街並みや街の雰囲気がよいから |
| 11 生涯学習・文化等の公共施設が充実しているから |
| 12 高齢者や障害者の福祉が充実しているから |
| 13 街が安全で、安心して住むことができるから |
| 14 静かな環境で生活したかったから |
| 15 武蔵村山市で決まっていた(社宅・官舎・寮が市内に立地、同居・近居する家族が市内在住等) |
| 16 その他() |

問13 引っ越し先を選択する際、どの自治体が候補に挙がりましたか。

(あてはまるものすべてを回答)

1 立川市	2 東大和市	3 福生市	4 瑞穂町
5 羽村市	6 昭島市	7 あきる野市	8 青梅市
9 日の出町	10 八王子市	11 日野市	12 国立市
13 国分寺市	14 小平市	15 東村山市	16 府中市
17 その他の多摩地域の市町村	18 東京都23区	19 所沢市	
20 入間市	21 その他の埼玉県の市町村		
22 その他の自治体 (	)		
23 特になし (武蔵村山市以外検討していない)			

問14 将来的に、武蔵村山市に住み続けたいと思いますか。(回答は1つだけ)

1 住み続けたい
2 どちらかというに住み続けたい
3 転出したい
4 転出する予定がある
5 分からない・決まっていない

問15 将来、武蔵村山市から転出するとすれば、その理由は何だと思われますか。

(最も大きな理由1つを回答)

1 あなたの学校の都合 (進学・転校等)	2 子どもの学校の都合 (進学・転校等)
3 あなたの仕事の都合 (就職・転職・転勤等)	4 配偶者の仕事の都合 (就職・転職・転勤等)
5 結婚のため	6 出産・子育てのため
7 あなたの退職	8 配偶者の退職
9 家族から独立するため	10 親や子どもと同居・近居するため(介護)
11 親の都合により一緒に転居	12 住宅の都合 (購入・借家の借換)
13 その他 (	)

巻末資料 各調査の調査票・調査項目

問16 武蔵村山市にお住まいになって、以下の各項目に対する満足度をお聞かせください。

(回答は各項目で1つだけ)

項 目	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満足	不満足
① 買い物等日常生活の利便性	5	4	3	2	1
② 交通の利便性	5	4	3	2	1
③ 近所づきあい	5	4	3	2	1
④ 住宅条件 (広さ・日当たり・家賃等)	5	4	3	2	1
⑤ 病院等の医療体制	5	4	3	2	1
⑥ 子育て環境	5	4	3	2	1
⑦ 教育環境	5	4	3	2	1
⑧ 高齢者や障害者のための福祉	5	4	3	2	1
⑨ 緑地・公園・水辺等の自然環境	5	4	3	2	1
⑩ 道路・下水道等の都市基盤	5	4	3	2	1
⑪ 街並みや街の雰囲気	5	4	3	2	1
⑫ 街の安全・安心 (防犯・防災)	5	4	3	2	1
⑬ 図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設	5	4	3	2	1
⑭ 行政職員の窓口対応	5	4	3	2	1
⑮ 行政手続のデジタル化	5	4	3	2	1

問17 武蔵村山市に住んで感じていることをお書きください。

(以前住んでいた所との違い、武蔵村山市に望むことなど)

以上で調査は終わりです。御協力ありがとうございました。

資料③ 人口移動に関する意向調査（転出者意向調査）調査票

※実際には Web 回答のみであるため、本意向調査票は便宜的に作成・掲載するもの

はじめに、あなた自身のことについて、お伺いします。

問1 性別（回答は1つだけ） ※あなたの現在の性自認でお答えください。

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問2 年齢（回答は1つだけ）

1 20歳未満	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代
5 50歳代	6 60歳代	7 70歳以上	

問3 一緒にお住まいの家族で、下記に該当する方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてを回答）

1 乳幼児・未就学児	2 小学生・中学生
3 高校生・専門学生・大学（院）生・浪人生	4 65歳以上の高齢者
5 1～4以外の同居者 6 単身世帯である（同居者はいない）	

問4 職業は次のどれにあてはまりますか。（回答は1つだけ）

1 自営・家族従業	2 正社員	3 公務員（教員・団体職員含む）
4 契約社員・アルバイト・パート	5 学生	6 主婦・主夫
7 無職	8 その他（ ）	

問5 問4で「1」「2」「3」「4」「5」を選択された方にお伺いします。

勤務先ないしは通学先はどちらになりますか。（回答は1つだけ）

1 武蔵村山市内	2 立川市	3 東大和市	4 福生市
5 瑞穂町	6 その他の多摩地域の市町村	7 東京都23区	
8 所沢市	9 その他の埼玉県の市町村		
10 その他（ ）			

問6 お住まいになっていた地域は次のどれにあてはまりますか。（回答は1つだけ）

1 中藤	2 神明	3 中央	4 本町	5 学園
6 緑が丘	7 大南	8 三ツ藤	9 榎	10 伊奈平
11 岸	12 三ツ木	13 残堀	14 中原	

巻末資料 各調査の調査票・調査項目

問7 転出前のお住まい（住居）は次のどれにあてはまりますか。（回答は1つだけ）

- 1 持ち家（一戸建て）
- 2 持ち家（分譲マンション）
- 3 借家（一戸建て）
- 4 借家（賃貸マンション・アパート）
- 5 借家（都営・市営等、公営住宅）
- 6 社宅・官舎・寮
- 7 その他（ ）

問8 転出後のお住まい（住居）は次のどれにあてはまりますか。（回答は1つだけ）

- 1 持ち家（一戸建て）
- 2 持ち家（分譲マンション）
- 3 借家（一戸建て）
- 4 借家（賃貸マンション・アパート）
- 5 借家（都営住宅・市営住宅）
- 6 社宅・官舎・寮
- 7 その他（ ）

問9 武蔵村山市からの転出先の住所はどちらになりますか。（回答は1つだけ）

- | | | | | |
|---------------|-----------------|-----------|--------|---------|
| 1 立川市 | 2 東大和市 | 3 福生市 | 4 瑞穂町 | 5 羽村市 |
| 6 昭島市 | 7 あきる野市 | 8 青梅市 | 9 日の出町 | 10 八王子市 |
| 11 日野市 | 12 国立市 | 13 国分寺市 | 14 小平市 | 15 東村山市 |
| 16 府中市 | 17 その他の多摩地域の市町村 | 18 東京都23区 | 19 所沢市 | |
| 20 入間市 | 21 その他の埼玉県の市町村 | | | |
| 22 その他の自治体（ ） | | | | |

武蔵村山市からの転出理由、市の住みやすさなどについてお伺いします。

問10 引っ越しをした理由は何ですか。（最も大きな理由1つを回答）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 あなたの学校の都合（進学・転校等） | 2 子どもの学校の都合（進学・転校等） |
| 3 あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等） | 4 配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等） |
| 5 結婚のため | 6 出産・子育てのため |
| 7 あなたの退職 | 8 配偶者の退職 |
| 9 家族から独立するため | 10 親や子どもと同居・近居するため（介護） |
| 11 親の都合により一緒に転居 | 12 住宅の都合（購入・借家の借換） |
| 13 その他（ ） | |

問11 引っ越し先を選択するとき、武蔵村山市でもお住まいを探しましたか。（回答は1つだけ）

- | | | | |
|------|----------|-------|--------|
| 1 はい | → 問11-2へ | 2 いいえ | → 問12へ |
|------|----------|-------|--------|

問11-2引っ越し先を選択する際、武蔵村山市以外で、どの自治体が候補に挙がりましたか。

(あてはまるものすべてを回答)

1 立川市	2 東大和市	3 福生市	4 瑞穂町	5 羽村市
6 昭島市	7 あきる野市	8 青梅市	9 日の出町	10 八王子市
11 日野市	12 国立市	13 国分寺市	14 小平市	15 東村山市
16 府中市	17 その他の多摩地域の市町村	18 東京都23区	19 所沢市	
20 入間市	21 その他の埼玉県の市町村			
22 その他の自治体 (				

問12 現在、お住まいの自治体を選択した理由は何ですか。(あてはまるものすべてを回答)

1 通勤・通学に都合がよかったから
2 住宅購入費・賃料が手ごろだったから
3 希望していた広さの住宅があったから
4 親や子どもの近くに住みたかったから
5 緑地・公園・水辺等の自然環境がよいから
6 道路・下水道等の都市基盤が整備されているから
7 子育て環境が希望に合っているから
8 教育環境が希望に合っているから
9 病院等の医療体制が充実しているから
10 街並みや街の雰囲気がよいから
11 生涯学習・文化等の公共施設が充実しているから
12 高齢者や障害者の福祉が充実しているから
13 街が安全で、安心して住むことができるから
14 都心へのアクセスのよい地域で生活したかったから
15 転居先が決まっていた(社宅・官舎・寮が市外に立地、同居・近居する家族が市外在住等)
16 その他 (

問13 武蔵村山市と比較して、現在お住まいの自治体のよい点は何だと思いますか。

(あてはまるものすべてを回答)

1 買い物等日常生活の利便性	2 交通の利便性
3 近所づきあい	4 住宅条件(広さ・日当たり・家賃等)
5 病院等の医療体制	6 子育て環境
7 教育環境	8 高齢者や障害者の福祉
9 緑・公園・水辺等の自然環境	
10 道路・下水道等の都市基盤(バリアフリー化等を含む)	
11 街並みや街の雰囲気	12 街の安全・安心(防犯・防災)
13 生涯学習・文化等の公共施設	14 行政職員の窓口対応
15 行政手続のデジタル化	
16 その他 (	

巻末資料 各調査の調査票・調査項目

問14 武蔵村山市にお住まいになっていたとき、以下の各項目に対して、どのように思っていましたか。（回答は各項目で1つだけ）

項 目	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満足	不満足
① 買い物等日常生活の利便性	5	4	3	2	1
② 交通の利便性	5	4	3	2	1
③ 近所づきあい	5	4	3	2	1
④ 住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）	5	4	3	2	1
⑤ 病院等の医療体制	5	4	3	2	1
⑥ 子育て環境	5	4	3	2	1
⑦ 教育環境	5	4	3	2	1
⑧ 高齢者や障害者のための福祉	5	4	3	2	1
⑨ 緑地・公園・水辺等の自然環境	5	4	3	2	1
⑩ 道路・下水道等の都市基盤（バリアフリー化等も含む）	5	4	3	2	1
⑪ 街並みや街の雰囲気	5	4	3	2	1
⑫ 街の安全・安心（防犯・防災）	5	4	3	2	1
⑬ 図書館・スポーツ施設等の公共施設	5	4	3	2	1
⑭ 行政職員の窓口対応	5	4	3	2	1
⑮ 行政手続のデジタル化	5	4	3	2	1

問15 武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいと思いますか。

（あてはまるものすべてを回答）

1 今のままだでも再び住みたい	2 交通の便がよくなれば住みたい
3 子育てがしやすくなれば住みたい	4 教育環境が充実すれば住みたい
5 介護等の福祉が充実すれば住みたい	6 市内・近郊に就業の場があれば住みたい
7 近所づきあいがあれば住みたい	8 都市基盤が充実すれば住みたい
9 家賃が安くなれば住みたい	10 街並みや街の雰囲気がよくなれば住みたい
11 治安・防災がよくなれば住みたい	12 文化施設が充実すれば住みたい
13 街が変わっても、再び住みたいとは思わない	
14 その他（	）
15 分からない	

- 問16 武蔵村山市に住んでいた頃感じていたことをお書きください。
(現在住んでいる所との違い、武蔵村山市に望むことなど)

以上で調査は終わりです。御協力ありがとうございました。

資料④ 子ども意見の聴取 調査項目

設問	回答形式	選択肢
問1. あなたの学年について	単一回答	①小学3年生 ②小学4年生 ③小学5年生 ④小学6年生 ⑤中学1年生 ⑥中学2年生 ⑦中学3年生
問2. あなたの性別について	単一回答	①男 ②女 ③その他
問3. あなたの学校について	単一回答	①武蔵村山市立第一小学校 ②武蔵村山市立第二小学校 ③武蔵村山市立第三小学校 ④武蔵村山市立第八小学校 ⑤武蔵村山市立第九小学校 ⑥武蔵村山市立第十小学校 ⑦武蔵村山市立雷塚小学校 ⑧武蔵村山市立第一中学校 ⑨武蔵村山市立第三中学校 ⑩武蔵村山市立第五中学校 ⑪武蔵村山市立小中一貫校村山学園(小学部) ⑫武蔵村山市立小中一貫校村山学園(中学部) ⑬武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校 ⑭武蔵村山市立小中一貫校大南学園第四中学校
問4. 武蔵村山市に対して、どのようなイメージを持っていますか？	自由回答	—
問5. 武蔵村山市の好きな点は何ですか？	複数回答	①自然が豊かなところ ②バスを利用して出かけやすいところ ③元気に遊べる場所があるところ ④歴史や文化を大切にしているところ ⑤お祭りなどの行事やイベントがたくさんあるところ ⑥公園がたくさんあるところ ⑦買い物できるお店がたくさんあるところ ⑧図書館や児童館などのみんなが使える施設がたくさんあるところ ⑨農業が盛んなところ ⑩道路がきれいで歩きやすいところ ⑪災害や犯罪から安全・安心に暮らせるところ ⑫誰にでもやさしいところ ⑬ごみが少なく、清潔できれいなところ ⑭近所の人との交流が多く、助け合っているところ ⑮スポーツができる施設や場所がたくさんあるところ ⑯病院や診療所がたくさんあって健康で元気に暮らせるところ ⑰困ったときに相談できる場所があるところ ⑱特になし

設問	回答形式	選択肢
問6. 武蔵村山市の改善してほしい点は何ですか？	複数回答	①自然が豊かでないところ ②バスを利用して出かけにくいところ ③元気に遊べる場所がないところ ④歴史や文化を大切にしていけないところ ⑤お祭りなどの行事やイベントが少ないところ ⑥公園が少ないところ ⑦買い物できるお店が少ないところ ⑧図書館や児童館などのみんなが使える施設が少ないところ ⑨農業が盛んでないところ ⑩道路がきれいでなく歩きやしくないところ ⑪災害や犯罪から安全・安心に暮らせないところ ⑫人にやさしくないところ ⑬ごみが多く、きれいでないところ ⑭近所の人との交流が少なく、助け合っていないところ ⑮スポーツができる施設や場所が少ないところ ⑯病院や診療所が少ないところ ⑰困ったときに相談できる場所がないところ ⑱特になし
問7. あなたは将来も武蔵村山市に住みたいです。	単一回答	①住み続けたい ②どちらかというに住み続けたい ③どちらとも言えない ④どちらかというに住み続けたくない ⑤住み続けたくない
問8. あなたは武蔵村山市にどのようなまちになってほしいですか。	自由回答	—
問9. その他、武蔵村山市に対しての自由やご意見をお聞かせください。	自由回答 (任意)	—

武蔵村山市第五次長期総合計画後期基本計画
策定に向けたアンケート調査報告書

発行年月／令和 7 年 1 月

発 行／武蔵村山市

編 集／武蔵村山市企画財政部企画政策課
〒208-8501

武蔵村山市本町一丁目 1 番地の 1

TEL 042 (565) 1111 (代表)